

英語の正道

# 英語 B（長文読解）

トナミ教材開発

# 目 次

まえがき      ~本書の特徴と使い方~

## レベル I【文法・語法問題中心の25問】

第1章 同意表現に書き換える.....	1
第2章 文法的に正しい英文を完成する.....	21
第3章 前置詞を選択する.....	41
第4章 基本動詞を活用する.....	61
第5章 派生語に変化させる.....	81

## レベル II【内容確認問題中心の25問】

第6章 内容に一致する文を完成する.....	101
第7章 内容の正誤を判断する.....	121
第8章 文脈に合うキーワードを補充する.....	141
第9章 多義語の意味を判別する.....	161
第10章 同意語を選択する.....	181

## レベル III【記述式問題中心の25問】

第11章 大意・要旨を要約する.....	201
第12章 指示語の内容を答える.....	221
第13章 本文の内容を日本語で説明する.....	241
第14章 下線部の意味・理由を説明する.....	261
第15章 下線部を和訳する.....	281

語句さくいん

コラム一覧

タイトル・出題校一覧

## まえがき

本書は、大学入試合格をめざす学習者はもちろん、英語の実力をつけたいと願う多くの学習者の助けとなるよう編集したものです。本書は、「英文解釈」「長文読解」「英作文」「リスニング」の4分冊の1つという位置づけです。読解の分野が2冊ありますが、本書は文脈に沿った内容把握、要旨要約、指示語、文法、語法に力を入れているのに対し、「英文解釈」では構文と単語に焦点を当てています。両方を同時並行的に学習することがもっとも効率的な学習法であると考えています。

本書の英文材料はすべて入試問題から厳選されたものです。私たちは特に、英文選びに多くのエネルギーを注ぎました。単に入試問題を並べただけではないか、と思われるかもしれませんが、毎年無数に生まれる問題文の中から教材として最適と思われるものを選び出し、学習に最適と思われる順序に並べる作業こそが創造的で価値あるものだと考えました。

本書の難易度と分量については、中～難関高校の1年から3年までを通して、週2時間の授業で適当と考える内容になっています(おおよそ2時間で長文1問のペースです)。全75問のうち最初の5問は高校入試問題から、レベル25問の大部分は国立大学入試問題から選んであります。したがって、これから高校で英語学習を始める生徒が、もっとも本書に適した学習者といえるでしょう。

学校や塾での指導なしに独習する場合は、「本書の使い方」に基づき、ホームページの情報を有効活用するようにしてください。

## 本書の特徴

### <良質の英文で学習の必要事項を網羅>

本書は、全75問の英文と設問および関連コラムの中に、文法・語法などの必須事項の9割以上を盛り込むことに成功しました。文法・語句を独立した文法書や熟語集ではなく、生きた英文素材の中で学習することにより、抵抗感なく身につけ、忘れにくいものとなります。また、内容面からも英文を厳選し、学習意欲を高められるよう、なるべく興味深い題材を探しました。

### <実力をつけるための教材として最適>

本書は、一見すると市販の入試問題集と体裁が似ています。しかし、たいていの問題集の主旨は力試しの実践問題集であるのに対して、本書は問題を解き進めることによって基礎力をつけることを目的とした問題集になっています。また、難関大学受験を目標とする学習者が高1～高2の段階で使うにふさわしい市販の教材は、なかなか見当たりませんが、本書のレベルI～IIでは、入試問題の中から高1～高2レベルでも無理なく読めるものを集めてあります。

### <記述式問題への対策が万全>

英文の素材はすべて入試問題から選びましたが、設問については、元の入試問題に記述式問題を中心としたオリジナル問題を追加してあります。オリジナル問題を取り入れた主旨の1つは、レベルIのように比較的やさしい問題を読みながら、本文を要約したり要点を箇条書きする練習を早いうちから行うことが大切であるという点です。

### <解答・解説のページにコラムも充実>

本書では、問題直後の見開きに全問にわたって丁寧な解説と全文訳がついており、つまづきそうなところはほとんどカバーしてあります。また、少し高度な文法知識をまとめた文法コラムや語彙力アップのための語源研究コラムを読むことで、さらに実力がのびるよう工夫してあります。不明な点があれば、ホームページにて質問を受け付けております。

### <完成度の高い語句さくいん>

参考書・問題集の価値の半分は、さくいんにあると考えています。しかし、長文読解の参考書に語句さくいんがついている問題集は少ないのが現実です。本書では、長文のどの設問にどのような形式で

出題されているかを引ける完成度の高いさくいんを用意しました。たとえば、up to date ならば date で引ける配列とし、辞書代わりにも利用できます。重要語句・語法の大部分が本書に網羅されていることが、このさくいんで証明されています。

#### **< バインダー形式の使いやすいテキスト >**

本書は、バインダー形式で1枚ずつ自由に取り外せるため、書き込みやすく、持ち運びにも便利です。同じページの中で内容が完結するようレイアウトにも工夫を凝らしました。

## 本書の使い方

### <はじめに>

本書は、力試しの問題集ではなく、問題を解きながら着実に実力をつけることを目的として編集した書物です。万人にとって最善の学習法というものはありませんので、学習を進めるなかで自分にもっとも適した学習法を見つけるのが良いと思いますが、どうやって学習すればいいのか初めからわかっている人はまずいないと思います。そこで、多くの学習者にとって効率的で基礎がしっかり身につくと思われる学習法をここで紹介します。まずは、この方法に従って学習を始めてください。

### <向上心と時間を確保>

向上心こそが、本書で実力をつけるための必要条件です。そして1ページ目を開く前に、十分な時間を用意してください。本書は無駄をできるだけ抑え、効率的な学習を目指したテキストではありますが、短期間で都合よく試験の点数をアップさせる類の書物とは違います。どんなに効率的な学習といえども、真の実力を身につけるにはそれなりの時間が必要です。本書全体を学習するのに必要な標準的な時間は150時間です。

### <英文は100%理解を目標に>

本書は、長文総合問題75問で構成されています。素材はすべて入試問題であり、設問には加筆訂正が加えられています。長文の試験問題を早く解くためのテクニックとして「設問から先に見る」「飛ばし読みをする」などよく言われますが、ここでは試験問題と思わずに、長文を上から順序良く読み進めるようにしてください。「大体の意味がわかればよい」という人もいますが、本書の英文に取り組む際には内容の100%理解を前提としてください。大体わかればよいつもりで学習していたのでは、結果的には半分も理解できないことになりかねません。

### <設問は着眼点の道しるべ>

本書の長文には多くの設問がついていますが、これは力試しの練習問題ではなく、長文読解のポイントをさまざまな角度から示したものと考えてください。設問無しで長文を読むと、どうしても単調であきやすくなるので、そこに潤いを与える役割も果たしています。内容に関する設問以外にも、文法・語法の設問も多く取り入れてあり、本文の内容に関係なく下線部だけ見れば答えられるものもありますが、設問さえ正解すればこの英文は合格で、次の英文に進んで良いということにはなりません。

### <長文内容を順序よく理解する>

1つのセンテンスの内容を理解するのに、目を行ったり来たりさせるのではなく、英文の語順で理解するよう普段から習慣づけることが重要ですが、この点については「英文解釈」のテキストの使用方法を参照してください。同様に、1つの長文を読む際にセンテンスの順序で理解することが大切です。この習慣がないと、英文を読む場合に問題がなくても、聞き取りの際に困ることになります。一度読んだ英文は消えてしまうつもりで臨んでください。

### <和訳問題は、自分なりの訳文を書いてみる>

本書の後半になるにつれて「下線部を和訳せよ」という設問の比重が高くなります。ここでは、英文が理解できた場合でも訳文はきちんと書くようにしてください。適切な日本語が思い浮かばないことに気づいたり、解答と見比べることで思わぬ誤解に気づかされることがあります。

### <辞書の引き方>

英文を前から順序良く、100%理解するといっても、わからない単語が出てくるたびに辞書を引くことは好ましくありません。初めて見る単語の意味を文脈から推測する力を身につけることも必要です。前後関係から単語の意味がほぼ推測できる場合は、辞書を引かずに最後まで読み進め、後で念のため辞書で確認するようにしましょう。語句の意味がわからなくて英文の理解が不十分になった場合には、

「これ以上読み進めていても漠然とするだけで何も頭に入らない」と感じたときに初めて辞書を引けば良いでしょう。

#### <重要語句の目安>

本書では、なるべく重要語句(英文を読む際に頻繁に登場する語句)が多く含まれた英文を選択しましたが、どうしても重要度の低い語句が含まれている場合があります。重要度は低いですが意味がわからないと英文理解が苦しくなるような語句には注釈がつけてあります。重要度が低くても内容理解に困らないような語句にはあまり注釈をつけていません。つまり、意味がわからないことで理解の妨げとなるようなキーワードに注釈がついていないとすれば、それは重要語句である可能性が高いので、辞書を引く際には、次に出てきたときに意味が自然に出てくるよう意識的に記憶すべきです。

#### <慣れによって早く読めるようになる>

長文読解に無制限に時間を割いて良いわけではなく、早く読める力をつけることも必要ですが、一朝一夕に身につくものではありません。「難しい英文を、正確に速く読む」には段階が必要です。その一つは、「簡単な英文を正確に早く読む訓練をしながら徐々に難しくする」方法で、本書は概ね英文を易から難へと配列していますので、本書を前のほうから学習することで自然と身につきます。もう一つの方法は、「難しい英文を正確にゆっくり読む訓練をしながら徐々に速くしていく」方法で、英文を見てから内容をイメージする時間を短縮することは慣れによって可能です。なお、「難しい英文をデタラメに速く読む訓練をしながら徐々に正確にしていく」方法というのは存在しません。理解不十分のまま速読を繰り返しても、正確に読めるようにはなりません。

#### <忘れることを恐れずに覚えるべし>

設問にとりあげられている事項や、さくいんに含まれている重要語句は、「どうせ忘れるから」と思わずに、忘れてかまわないというつもりで一旦覚えましょう。翌日には忘れていたかもしれませんが、一回覚えたことのあるものと初めて見るものとは、次回覚えるときのスピードがはるかに違います。設問に入れられなかった重要語句は、Further Expressionsのコーナーで取り上げましたので、本文のイメージと合わせて記憶するようにしてください。

#### <解説とホームページをともに活用>

本書の解説は、通常の参考書と比べると充実したものになっており、指導者がいなくても学習できるようになっています。それでもわからない場合は、ホームページの質問コーナーにて受け付けます。よくある質問は、すでに答えが掲載されている場合もあります。それ以外にも、ホームページにはさらに深く掘り下げた解説を順次掲載しますので、存分に活用してください。

## レベルⅠ 第1章 同意表現に書き換える

### 1 象の鼻が長い理由

Long long ago, there lived a young elephant. He was so curious that he wanted to know everything. He always asked his parents a lot of questions: “What is this?”, “What do you call this plant?”, “Why can birds fly?”, and so on. His parents sometimes answered, but his questions were coming one (1)( ) another, so they became (2)( ) of his questions. One day the young elephant asked them, “What does a crocodile eat?” “Crocodile? We’ve never seen such an animal. We don’t know the answer.”

The young elephant wanted the answer, so he went to see a parrot who knew all about the animals. The parrot answered, “Yes, I know a crocodile. I have seen one from the sky, but I don’t know what he eats. He lives in the Lippocon River. Be (3)( ) of him. He is very large and dangerous.”

He was a little (4)( ) of the crocodile, but (5)he was too curious to stop going to the Lippocon River. He put seventeen melons and some bunches of bananas into his rucksack and started out at night (6)( ) saying anything to his parents. He walked and walked for several days, but (7)he could not find the river. At last he (8)lost his way in the woods. He began to cry because he didn’t know what to do.

“(9)Is there anything wrong?”

He turned around and found a big snake. “Do you know where the Lippocon River is?”

“Of course. It’s about one mile away from here. But why are you going to the river?”

“Do you know about the crocodile there? I would like to know what he eats.”

“A crocodile! He’s a very dangerous animal. (10)a / don’t / have / know / such / thing / to / you. (11)You had better go home at once.”

But the young elephant didn’t listen to the snake. He ran out of the woods and went to the river. There he found a strange animal (12)( ) a long mouth.

“Excuse me, do you know the crocodile?”

“Oh, that’s me. What can I do (13)( ) you?”

“I would like to know what you eat. Will you please tell me?”

“Yes, I will.”

As soon as the crocodile answered, he bit the elephant on the nose.

“Ouch! Oh, let me go, please!” said the elephant.

“I don’t want to. I am very (14)( ) of young elephants.”

Then the young elephant knew what the crocodile ate and pulled himself away from the crocodile (15)as hard as possible. The snake came and said, “You bad boy! Why didn’t you listen to me!” He helped the elephant and pulled him, and at last the crocodile let the elephant go. The elephant was very happy. But soon after, he found his nose became longer like a trunk. He began to cry.

“Don’t cry. You don’t look so bad. I think (16)your nose is very useful. You can reach the leaves on a tall tree, you can wash yourself, and you can carry something with your nose.” The elephant was (17)(pleasant, pleased, pleasing) to hear the words and became (18)( ) of his long nose.

When the young elephant came home, the other elephants were all surprised (19)( )

his long nose. “ It looks very useful, doesn’t it? (20)(long / made / nose / so / tell / us / what / your).” (21)As soon as they got the answer, they all went off to the Lippocon River. This is why elephants have long noses called trunks.

### 設問

(1)(6)(12)(13)(19)空所にあてはまる適当な前置詞を次から選べ。

1. after 2. at 3. for 4. with 5. without

(2)(3)(4)(14)(18)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. afraid 2. careful 3. fond 4. proud 5. tired

(5)(8)(9)(15)(16)(21)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(5) he was ( A ) curious that he ( B ) stop going to the Lippocon River

(8) ( ) lost

(9) What’s the ( ) with you?

(15) as hard as ( A )( B )

(16) your nose is ( A ) great ( B )

(21) No ( A ) had they got the answer ( B ) they all went off to the Lippocon River.

(7)下線部と近い意味の文として間違っているものを次から選べ。

1. he was not able to find the river  
2. he was unable to find the river  
3. he was impossible to find the river  
4. it was impossible for him to find the river

(10)(20)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(11)下線部の否定文として正しいものを次から選べ。

1. You had not better go home at once.  
2. You had better not go home at once.  
3. You did not have better go home at once.

(17)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(22)次の質問に日本語で答えよ。

(A) The young elephant cried twice. Why did he cry?

(B) Why did the other elephants go off to the Lippocon River?

### Further Expressions

#### 〈提案する〉

You had better go at once. 【したほうがいい】

You should go at once. 【すべきだ】

You ought to go at once.

Why don't you go at once? 【してはどうですか】

The snake told him to go at once. 【するように言う】

The snake suggested to him to go at once. 【提案する】

The snake suggested to him that he (should) go at once.

#### 〈どうしたの〉

What is the matter (with you)? 【どうしたの】

Is there anything wrong with you?

Is there anything I can do for you? 【私に何かできますか】

Do you need any help?

What can I do for you?

The snake asked him what had happened to him. 【何が起きたのか】

The snake asked him what had become of him.



## 解答

(1)1 (2)5 (3)2 (4)1 (5)(A)so (B)couldn't (6)5 (7)3 (8)got (9)matter (10)you don't have to know such a thing (11)2 (12)4 (13)3 (14)3 (15)he could (16)of use (17)pleased (18)4 (19)2 (20)tell us what made your nose so long (21)sooner, than (22)(A)道に迷ってどうしてよいかわからなかったから。鼻が伸びてしまったことに気づいたから。(B)ワニに引っ張ってもらうことで、自分の鼻も小象のような便利な長い鼻にするため。

## 解説

- (1)one after another 「次から次に、矢継ぎばやに」  
(2)be tired of A 「A に飽き飽きする」 be は become でも代用できる。  
(3)be careful of A 「A に気をつける」  
(4)be afraid of A 「A を恐れている」  
(5)too 形容詞 for S to 不定詞 「S はとても～なので...できない」 = so 形容詞 that S cannot 動詞。この文では he was so curious の部分が過去形なので、that 節の中も時制の一致により can を could に変え、that he couldn't stop とする。  
(6)without ~ing 「～することなしに」 without saying anything 「何も言わずに」  
(7)S is not able to 不定詞 = S is unable to 不定詞 「S は～することができない」 It is impossible for S to 不定詞 「S が～することは不可能だ」 impossible は「不可能な」という意味なので、To find the river is impossible. 「川を見つけることは不可能だ」とはいえても、He was impossible. 「彼は不可能(な人)だ(?)」となると文意が通らず、「我慢のならない、不愉快な(人だ)」という別の意味になってしまう。  
(8)lose one's way 「道に迷う」 = get lost. woods「森」  
(9)Is there anything wrong? 「何かお困りですか?」 = What's the matter with you?  
(10)don't have to 不定詞 「～する必要はない」 cf. mustn't+動詞 「～してはならない」 such a thing 「そのようなこと」 to know such a thing 「そのようなこと(=ワニのことを)を知ること」

### 特殊な語順の冠詞

< such, half, quite, what + a + (形容詞) + 名詞 >

I've never seen such a tall man. 私はそんな背の高い男を見たことがない。

I waited for you for half an hour. 私は君を30分待った。

He was quite a happy man. 彼はまったく幸せな男だ。

< all, both, half, double + the + 名詞 >

We spent all the money. 私たちはすべてのお金を使った。

< how, so, as, too + (形容詞) + a + 名詞 >

Never have I seen so beautiful a woman. 私はそんなに美しい女性を見たことがない。

It is too small a hat for you. その帽子は君には小さすぎる。

- (11)had better +動詞「～するほうがよい、～しなさい」は2語でひとまとまりの助動詞として扱う。よって、否定文にする際には had better not +動詞「～しないほうがよい」としなければならない。  
(12)with A 「A を(いっしょに)持って(付帯)」 without A 「A なしで」 a strange animal with a long mouth 「長い口を持つ奇妙な動物」  
(13)前置詞 for A 「A のために」は利益・不利益の対象を導く。What can I do for you? 「私は何をあなたのためにできますか?、何かお手伝いできることはありますか?」= May I help you?  
(14)be fond of A 「A が好きである、A を気に入っている」  
(15)as 形容詞 as possible = as 形容詞 as one can 「できるかぎり...に(～する)」 主語が elephant で時制は過去だから as hard as he could. the young elephant...pulled himself away from the crocodile as hard as possible. 「小象はワニから離れようとしてできるかぎり力を込めて彼自身を引っ張った」  
(16)very useful 「とても役立つ」 = of great use. of+抽象名詞で形容詞の働きをする。  
(17)please 「～を喜ばせる」 A is pleasing S. 「A は S を喜ばせている」 S is pleased with A. 「S は A で喜ばされている、S は A を喜んでいる」同様なケースとして、excite 「～を興奮させる」 excited 「興奮させられた」 exciting 「興奮させる」、interest 「興味を持たせる」 interested 「興味を持たせられた、興味を持った」 interesting 「興味を持たせるような、おもしろい」がある。pleasant 「愉快な気持ちにさせる」は pleasing と同じ用法。この文では、the elephant がそのことを聞いて「喜ばされた」としたいので、pleased が適切。to be pleased to hear 「～を聞いてうれしく思う」  
(18)be proud of A 「A を誇らしく思う」

(19) be surprised at A 「Aに驚かされる、Aに驚く」 surprise「～を驚かせる」は(17)の解説を参照。

(20) what made your nose so long「何が君の鼻をそんなに長くしたのか?」なぜ君の鼻はそんなに長くなったのか?」無生物主語の構文。S make O C 「SがOをCにする」

(21) as soon as S V, S V 「...するやいなや～する」 = no sooner V S than S V

(22)(A)本文中どこで小象が cry したかは前半と後半それぞれにある began to cry からわかる。この部分を要約すればよい。(B)本文最終段落は「小象の鼻が長いを見て他の象達は驚いた」「長い鼻は便利だと思った」「理由を聞いた」「みんな川に行った」「象の鼻が長いのはこういうわけさ」という流れになっている。このことから川に行った理由は明らかであろう。

## 全文訳

昔々、ある小象がいた。その小象はとても好奇心旺盛だったので何でも知りたがっていた。彼はいつも両親にたくさんの質問をした。「これなーに?」「この植物はなんていうの?」「鳥はどうして飛べるの?」などなど。彼の両親は時には質問に答えただけで、小象の質問があまりにも次から次へと発せられるものだから、両親は小象の質問にうんざりするようになった。ある日、小象は両親に「ワニは何を食べているの?」とたずねた。「ワニだって! そんな動物見たこともない。何を食べているかなんてわからないよ。」

小象は答えを知りたかったので、動物のことなら何でも知っているオウムに会いに行った。オウムは答えた。「うむ。ワニなら知っているぞ。わしは一度だけ空からワニを見たことがある。じゃが、何を食べているかまではわからん。やつはリッポポン川に住んでおる。やつには気をつけるよ。とてもでかくて危険だからな。」

小象はワニを怖いと思ったが、好奇心のあまりリッポポン川へ行くのをあきらめることはできなかった。小象は17個のメロンと何房かのバナナをリュックに詰めて、夜中両親に何も告げず出発した。小象は幾日も歩きつづけたが、川を見つけることはできなかった。しまいには、とうとう森の中で道に迷ってしまった。彼はどうしてよいかわからず泣き出した。

「何かお困りかな。」

小象が振り返ってみるとおおきな蛇がいた。「リッポポン川がどこにあるか知っていますか?」

「もちろんだとも。ここからだいたい1マイル離れたところだ。だけど、どうして君はその川に行こうとしているのだ?」

「あなたは、そこにいるワニのことを知っていますか? 僕は彼が何を食べているのか知りたいのです。」

「ワニだと! やつはとても危険な動物だ。君は、ワニが何を食べているか、なんて、そんなこと知る必要ないじゃないか。すぐにおうちに帰りなさいな。」

小象は蛇のことばに耳を傾けなかった。彼は森から飛び出し、川に向かった。そこで彼は長い口の奇妙な動物に出会った。

「すみません。ワニをご存知ですか?」

「ああ、それは俺のことだ。俺に何か用か。」

「僕はあなたが何を食べているのか知りたいのです。どうか教えてくださいませんか?」

「ああ、いいよ。」

そう答えるやいなや、ワニは小象の鼻に噛みついた。

「痛いっ! 離して、お願い。」

小象は言った。

「やなこった。俺は小象が大好きなんだ。」

そのとき、ようやく小象はワニが何を食べているのかわかった。そして、精一杯の力でワニから離れようとした。すると、蛇がやってきて言った。

「愚か者! なぜ私の言うことを聞かなかったのだ!」

蛇は小象を助け、引っ張った。ワニはとうとう小象を離した。小象はとても喜んだ。しかし、すぐに自分の鼻が木の幹のように長くなってしまっているのに気がついた。小象は泣き出した。

「泣くんじゃない。そんなに悪くないぞ。おまえの鼻はとても便利そうだ。高い木の葉っぱも食べられるし、自分の体も洗える。それに鼻で何かを運ぶことだってできるぞ。」

小象はそのことばを聞いて喜び、自分の長い鼻を誇らしく思うようになった。

小象がすまかに戻ると、他の象たちはみんな彼の長い鼻に驚いた。

「その鼻は便利そうだね。どうして鼻が長くなったのか教えてよ。」

小象からわけを聞くと、すぐに象たちはみなリッポポン川に向かった。こういうわけで、象はトラUNK(\*注 象の鼻のことを"trunk"という)と呼ばれる長い鼻をもっているのだとき。

## 2 家庭における男女の役割

Family life in the United States is changing. Twenty-five years ago the housewife cleaned, cooked and (1)looked after the children. (2)She was the most important person in the home. The father worked to get the money for the family. He came home (3)(late, lately) at night after a long work every day. So he was very tired and did not see the children very much except on weekends. But today many women work outside the home. They can't be at home with the children all day. They are tired, too, and come home in the evening. They do not want to spend the evening on (4)(cook) dinner. They do not have time to clean the house or wash the clothes. So who is going to look after the children and do the housework?

For every family the answer to (5)this question may be different. But usually (6)the wife herself need not do all the work. Today she can get help. One kind of help is the day-care center to look after children during the day. While children are at these centers, their mothers can go to work. Most children enjoy these centers. There are toys and games and other children to play (7)( ).

Another kind of help may come from the company a woman works in. She can work part-time in the company. In (8)this way she can spend several hours with her children every day.

But (9)the most important help a woman can get is from her husband. Today (10)(help / many men / the housework / their wives / with). In these families the men clean the kitchen and wash the clothes. On some nights, the wife may cook dinner. On other nights the husband may cook. They may both go (11)(shop) and they may clean the house together. The husband may also spend (12)more time at home with the children. Some men may even stop working (13)( ) a while or work only part-time. For these men there is a new word: the "househusband". In the United States more and more men are becoming househusbands every year.

These changes in the home mean changes in the family. Fathers can spend more time with their children because they are at home more. They can learn to understand their children (14)better. The children can learn to know their fathers better. Husbands and wives may also find changes in their marriage. They also may have better understanding of each other.

## 設問

(1)(2)(6)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(1) ( A ) ( B ) of the children

(2) She was ( A ) important than ( B ) other person in the home

(6) the wife herself ( A ) not ( B ) to do all the work

(3) カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(4)(11) カッコ内の動詞を正しい語形に直せ。

(5)(8) 下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(7)(13) 空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(9) 下線部を和訳せよ。

(10) カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(12)(14) 下線部の原級を答えよ。

(15) 本文の内容と一致しないものを次から2つ選び。

1. There are three kinds of help for many housewives who work outside the home.

2. Once the father did not want to see the children as he was very tired after a long work.

3. In the United States there are many househusbands today.

4. Twenty-five years ago fathers and mothers usually had their own work.

5. Though many women can work outside the home, she must do all the housework.

6. One kind of help a mother can get is from the company she works in.

(16) 女性の社会進出の手助けとなっているものを本文に即して日本語で3つ答えよ。

(17) 本文で述べられている家庭状況の変化について30字程度の日本語で答えよ。

(18) 次の各組の下線部の発音が同じ場合には を、異なる場合には × を答えよ。

(A) child (B) house (C) woman

children houses women

## Further Expressions

### 〈世話する〉

The housewives usually look after the children. 【世話する】

The housewives usually take care of the children.

The housewives usually care for the children.

The housewives usually mind the children.

### 〈必要がない〉

The wife need not do all the work. 【必要がない】

The wife does not have [need] to do all the work.

It is not necessary for the wife to do all the work.

It is not necessary that wife (should) do all the work.

## 解答

(1)(A)take (B)care (2)(A)more (B)any (3)late (4)cooking (5)家族のうちの誰が子どもの面倒を見て、家事をするかという問題。(6)(A)does (B)have[need] (7)with (8)女性が会社のパートで働くという方法。(9)全文訳参照 (10)many men help their wives with the housework (11)shopping (12)much (13)for (14)well (15)2,5 (16)昼間子どもを預かってくれるデイケア・センター。仕事のパートタイム制。夫との家事の分担。(17)(A)× (B)× (C)×

## 解説

(1)take care of A 「A を世話する」 = look after A  
(2)最上級 = more 比較級 than any other A  
(3)late 「遅く」 lately 「最近」 lately は通例現在完了形とともに用いられ、過去形で用いるのは結果が現在まで継続している場合に限る。ここでは、come home は習慣的な行為なので、lately は用いられない。

### -ly をつけると意味が変わる副詞

close「接近して」 closely「(抽象的關係で)密接に、綿密に」 late「遅く」 lately「最近」  
full「まともに、まっすぐに」 fully「十分に、完全に」 most「もっとも」 mostly「たいていは」  
hard「熱心に、激しく」 hardly「ほとんど～ない」 near「近く」 nearly「ほとんど」  
high「高く」 highly「非常に、大いに、高度に」 sharp「かっきり、ちょうど」 sharply「鋭く」  
just「ちょうど」 justly「正当に」 short「短く」 shortly「まもなく、すぐに」

(4)spend A on ~ing「A(時間)を～して過ごす」 spend the evening on cooking「夕方を料理して過ごす」  
(5)ひとつ前の疑問文 who is going to look after the children and do the housework?を指している。  
(6)need not = don't have[need] to 「～する必要がない」  
(7)to 不定詞以下が前置詞の目的語を修飾しようとしているとき、原則としてその前置詞が必要である。つまり、Children play with toys.「子どもたちはおもちゃで遊ぶ」から toys to play with「(子どもたちが遊べるおもちゃ)」という形を作る。以下参考までに。toys to play とすると、Children play toys.が元の意味になるが、これは「子どもたちはおもちゃ(という名のゲーム)をプレイする」という意味となってしまうおかし。また Toys play.「おもちゃが遊んでいる」から「遊んでいるおもちゃ(?))」という意味で作っていると考えられなくもないが、ナンセンス。同様な使い方に、I'm looking for a house to live in.「私は住む家を探している」がある。  
(8)直前の She can work part-time in the company を指している。  
(9)the most important help が主語。 a woman can get の前に that を補うと、関係代名詞(目的格用法)の省略であることがわかる。(先行詞に最上級が使われているので which ではなく that を補っている)  
(10)help 人 with 事柄 「(人)(の事柄)を手伝う」 help their wives with the housework「妻の家事を手伝う」  
(11)go ~ing 「～しに行く」のパターン。go shopping「買い物に行く」の他に、go swimming「泳ぎに行く」go skiing「スキーしに行く」などがある。  
(12)more は many と much の比較級。time が不可算名詞なので much。  
(13)for a while「しばらくして」  
(14)better は good と well の比較級。better が副詞で使われているので well。

### 不規則な比較級

good「よい」	well「元気な、よく」	better	best	
bad「わるい」	ill「病気の」	badly「わるく、ひどく」	worse	worst
many「多い(可算名詞)」	much「多い(不可算名詞)」	more	most	
little「少量の」	less	least		

### 比較級・最上級が二つあるもの

old		late	
older	oldest「年をとった、古い」	later	latest「(時間が)遅い」
elder	eldest「年上の(限定用法のみ)」	latter	last「(順序が)遅い」
far			

farther farthest「(距離が)遠い(ただし、現在では距離の意味でも further を用いることが多い)」  
further furthest「(程度が)さらに」

【例文】

John is older than I. ジョンは私より年上だ。  
John is my elder brother. ジョンは私の年上の兄だ。  
I'd like to change a later flight. 私は後の便に変えたいのですが。  
I suggest you take the latter opinion. 私は君に後者の意見をとるよう勧める。  
There is a hotel farther down the street. 通りをもっと先に行くと銀行がある。  
I don't want to talk about it any further. もうこれ以上そのことについて話したくない。

- (15)2. 第 1 段落。父親は稼ぎ手であったため”did not see the children”なのであって、”did not want to see”とは言われていない。5. 第 2 段落に But usually the wife...need not do all the work「妻はすべての仕事をする必要がない」とあるので、she must do all the housework の部分が不適。
- (16) 1 つ目は、第 2 段落に One kind of help is the day-care center...と述べられている。母親が仕事に行っている間、子どもを預かってくれるデイケア・センターは、社会による女性支援である。次に第 3 段落では She can work part-time in the company と述べられている。企業による支援は、パートタイム制である。最後に第 4 段落では the most important help a woman can get is from her husband 「女性が得られる最も重要な支援は、夫からのものである」とあり、夫の支援について述べられている。その後具体的に説明されているように、夫が家事を分担して行うことが妻にとって大きな援助になるのである。以上の 3 点をまとめる。
- (17)(A)単数形の i は[ai]、複数形では[i] よって異なる。  
(B)単数形の s は[s]、複数形では[z] よって異なる。  
(C)woman は単数形するとき[wʊmən]、複数形では[wɪmɪn]という発音になる。 よって異なる。

## 全文訳

米国における家庭生活は変化しつつある。25 年前には主婦は掃除、料理、子どもの世話をしていた。彼女は家庭においてもっとも重要な人であった。父親は家族のためのお金を稼ぐために働いていた。毎日長時間労働後夜遅くに帰宅した。そのため大変疲れており、週末以外に子どもに会うことはあまりなかった。しかし現在では多くの女性が家庭の外で働いている。一日中子どもと家で過ごすことはできない。彼女らも疲れており、夕方に帰宅する。彼女らは夕方を料理には使いたくない。家の掃除や洗濯をする時間がない。それでは誰が子どもの世話をし、家事をするのか？

個々の家庭によってこの問いに対する答えは異なるだろう。しかし通常は主婦自身がすべての仕事を行う必要はない。現在では主婦は援助を受けることが可能だ。援助の 1 つの形が昼間、子どもの世話をするデイケアセンターだ。子どもがこうしたセンターにいる間、母親は仕事に行くことができる。ほとんどの子どもはこうしたセンターを楽しんでいる。そこにはおもちゃとゲームと一緒に遊ぶ他の子どもがいるのだ。

援助のもう 1 つの形は女性が働く会社からのものである。彼女は会社においてパートタイムで働くことができる。こうして毎日何時間かを子どもと過ごすことができる。

しかし(10)女性が受けることができるもっとも重要な援助は夫からのものである。現在多くの男性が妻の家事を手伝うのだ。こうした家庭では男性が台所を掃除し、衣類の洗濯をするのだ。ある晩は妻が夕食を作るだろうし、別の日の晩は夫が夕食を作るだろう。二人とも買い物に行くし、家の掃除も一緒に行う。また夫はより多くの時間を子どもと過ごすことができる。中にはしばらく休職する、若しくはパートタイムだけ働くという男性もいる。こうした男性は新しいことばである「主夫」と呼ばれる。米国では年々主夫になる男性が増えている。

家におけるこうした変化は家族における変化を意味する。父親は在宅する時間が長くなるために子どもと過ごす時間がより長くなるだろう。彼らは子どもをより理解するようになるだろう。子どもは父親をより知るようになるだろう。夫と妻は結婚における変化も分かるであろう。またお互いをより理解できるようになるだろう。

### 3 あなたの嫌いなところ

When I married (1)( ) you three years ago, (2)no other man in the world looked as wonderful as you. You looked like a king on a white horse. I said (3)( ) myself, “I’ve found a perfect man. My dream has (4)( ) true.”

As time passed on, however, I began to notice many things I didn’t like about you. I wanted you to be a perfect man, but you weren’t. When I found (5)the fact, (6)I was so sad and so angry with you that I hurt not only your feelings but also my own.

A week ago I read a newspaper telling about a happy couple. It said, “They are happy because they have often discussed (7)( ) the habits they do not like in each other. Why don’t you try it?”

I thought (8)it was a good idea then. I talked to you about it and you agreed to give it a try. We started. I said first that I did not like your way of eating a grapefruit. You peeled it and ate it like an orange. I did not want to watch such a way of eating at all.

After I finished, it was your turn. You thought and looked at me for a long time (9)( ) your gentle face. At last you said, “Well, I can’t think of anything I don’t like about you.”

(10)Tears ran down my face. I told you about such a small thing as the way of eating a grapefruit, while you did not notice any of my own bad habits. You are too shy to talk about your love for me, but those words were enough to show me your kind heart.

I have often heard (11)( ) unhappy couples who were always complaining (12)( ) each other’s bad habits. I was lucky to learn early in my life that husbands and wives should not think too much (13)( ) the small differences in their habits. No one is perfect. I’ll try to love every part of you.

## 設問

(1)(3)(7)(9)(11)(12)(13)空所にあてはまる適当な前置詞を次から選べ。前置詞が不要な場合は 5 と答えよ。同じ番号を何度用いても良い。

1. in 2. of 3. to 4. with 5. 不要

(2)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

you ( A ) ( B ) ( C ) ( D ) man in the world

(4)空所にあてはまる適当な動詞を答えよ。

(5)(8)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(6)下線部を和訳せよ。

(10)下線部の理由を日本語で答えよ。

(14)夫婦関係のあり方についての筆者の考え方を日本語で答えよ。

(15)次の下線部の発音と異なるものを選べ。

(A) couple 1. country 2. double 3. shoulder 4. touch

(B) enough 1. bough 2. cough 3. tough 4. rough

(C) heard 1. early 2. heart 3. pearl 4. search

(D) thought 1. method 2. smooth 3. through 4. worth

## Further Expressions

### 《一番》

You are the most wonderful man in the world. 【もっとも～である】

You are more wonderful than any other man in the world.

No other man in the world is as wonderful as you.

No other man in the world is more wonderful than you.

### 《結婚する》

I'm married. 【結婚している】

I'm married to a wonderful man.

I married him three years ago. 【結婚する】

I got married to him three years ago.

We have been married for three years.

It is three years since our marriage. 【結婚】

### 《実現する》

My dream has come true. 【実現する】

My dream has been realized.

My dream has become a reality.



## 解答

(1)5 (2)(A)looked (B)the (C)most (D)wonderful (3)3 (4) come (5)「あなた」が完璧な男性ではないということ (6)全文訳参照 (7)5 (8)お互いの気に入らない習慣についてしばしば話し合うこと (9)4 (10)自分がグレイプフルーツの食べ方などという小さなことについて文句を言ったにも関わらず、「あなた」は私の悪い習慣のひとつ気に留めていなかったということがわかり、そこから愛情を感じ取ったから。(11)2 (12)2 (13)2 (14)完璧な人間などいないのだから、夫婦はお互いの習慣の小さな違いについてあまり考えすぎるべきではない。(15)(A)3 (B)1 (C)2 (D)2

## 解説

(1)marry は前置詞を補わずに直接、目的語を取る。I married you. 「私は君と結婚した」

### 自動詞と誤りやすい他動詞

(目的語に前置詞をつけてしまいがちな動詞)

誤って to や into や at を入れがちなもの

answer, attend, approach, enter, reach, resemble

I answered your question.

× I answered to your question. 私は君の質問に答えた。

I attended a lecture.

× I attended at a lecture. 私は講義に出席した。

I entered the room.

× I entered into the room. 私は部屋に入った。

誤って with を入れがちなもの

marry

She will marry him.

× She will marry with him. 彼女は彼と結婚するだろう。

誤って about や from などを入れがちなもの

consider, discuss, follow, leave

Let's consider a plan.

× Let's consider about a plan. 計画をよく考えよう。

He left Tokyo yesterday.

× He left from Tokyo yesterday. 彼は昨日東京を発った。

### 他動詞と誤りやすい自動詞

(目的語を前置詞なしでつけてしまいがちな動詞)

add(to), agree(with), apologize(to), arrive(at), belong(to), complain(about, of), hope(for), insist(on), listen(to), look(at), object(to), wait(for)

She should apologize to him.

× She should apologize him. 彼女は彼に謝るべきだ。

I hope for good weather.

× I hope good weather. 私はよい天気を望む。

I insisted on her honesty.

× I insisted her honesty. 私は彼女の正直さを主張した。

(2)「世界中のほかのどの男性も、あなたほど素晴らしくは見えなかった」=「世界中であなたが一番素晴らしい男性に見えた」 同様に、You looked more wonderful than any other man in the world. ともできる。

(3)say to oneself 「独り言を言う」

(4)come true「実現する」ここでは現在完了形が使われているので、過去分詞 come を補う。

(5)直前を受ける。the fact that you weren't a perfect man のこと。

(6)so 形容詞 that S V 「とても～なので…」ここでは so + 形容詞の部分が sad と angry とふたつある。I was so sad and so angry...that I hurt...「私はあまりに悲しく、あまりに怒っていたので、...を傷つけた」not only A but also B は「A ばかりでなく B も」my own の後には feeling が省略されている。

(7)discuss は前置詞を補わずに直接、目的語を取る。they have often discussed the habits. 「彼らは

よく習慣について話し合った」

- (8)直前の They are happy because they have...discussed the habits they do not like 「彼らは、自分が好きではない習慣について話し合うから、しあわせだって」をまとめる。
- (9)with your gentle face 「(あなたは)穏やかな顔をして」
- (10)Tears ran down my face.「涙が頬を伝って流れ落ちた」直後にその理由が書かれている。ポイントは 3 つ。自分は些細なことをとがめた 相手は何も文句を言わなかった (自分の器量の狭さと)相手の愛情のおおらかさを感じ、感動した。
- (11)hear of A 「A のことを耳にする」 I have often heard of unhappy couples 「私はしばしば、不幸せな夫婦について聞いたことがある」
- (12)complain of/about A 「A に不満を言う」 complaining of each other's bad habits. 「お互いの悪い癖のことを愚痴る」
- (13)think of/about A 「A について考える」 should not think too much of the small differences in their habits. 「お互いの習慣の小さな違いについてあまり考えすぎるべきではない」
- (14)相手の嫌いなどところに気づくという経験を通じて筆者が学んだことは、最後の段落に述べられている。I was lucky to learn early in my life that... 「私は人生の早い時期に...ということを知って運が良かった」という一文がポイントになる。
- (15)(A)couple [ʌ] 3.shoulder [ɒu]  
(B)enough [ʌ] 1.bough [aʊ]  
(C)heard [ɔ:] 2.heart [ɑ:]  
(D)thought [ɔ:] 2.smooth [u:]

## 全文訳

3年前に私があなたと結婚したとき、世界中の他のどの人も、あなたほど素晴らしくは見えなかった。あなたは白馬に乗った王子様のように見えた。私は、独り言を言った。「私は完璧な男性を見つけたわ。私の夢が叶ったわ」

しかし、時間がたつにつれて、私は、あなたのことについて、気に入らない多くのことに気が始めた。私はあなたに完璧な男性であって欲しかったのだが、あなたはそうではなかった。その事実気づいたとき、(6)私はとても悲しく、あなたに対してとても腹を立てたので、私はあなたの気持ちばかりでなく、自分の気持ちをも傷つけた。

一週間前、私は、ある幸せな夫婦について書かれている新聞記事を読んだ。その記事にはこう書かれていた。「彼らは、お互いの気に入らない習慣についてしばしば話し合ってきたので、幸福なのである。あなたも試してみてもどうだろうか」

私は、その時、それはよい考えだと思った。私はそのことをあなたに話して、あなたはそれを試してみることに賛成してくれた。私たちは話し合いを始めた。私が初めに、あなたのグレープフルーツの食べ方が気に入らないと言った。あなたは、まるでオレンジのように、グレープフルーツをむいて食べていたのだ。私は、そのような食べ方は、絶対に見たくなかった。

私が話し終えて、次はあなたの番だった。あなたは長い間、穏やかな顔をして、考えながら私の顔を見ていた。そしてついにはあなたは言った。「そうだな、ぼくには、あなたのこと気に入らないことなんて何も思い付かないよ」

涙が私の頬を流れ落ちた。私は、グレープフルーツの食べ方という小さなことについてあなたに文句を言ったのに、あなたは、私の悪い習慣のどれひとつ気に留めていなかったのだ。あなたはとても内気なので、自分の私への愛情について話してはくれない。でも、それらのことばは、私にあなたの優しい心を示してくれるのに十分なものだった。

私はしばしば、お互いに相手の悪い癖のことをいつも愚痴ってばかりいる不幸せな夫婦について、聞いたことがある。私は人生の早い時期に、夫と妻とは、お互いの習慣の小さな違いについてあまり考えすぎるべきではないということを知って、運が良かった。誰ひとりとして完璧な人などいないのだ。私はあなたのすべてを愛するようにしていこう。

## 4 ふたつの時計

Mary was very good (1)( ) science when she was at school, and (2)she was especially interested in computers, so when she finished her education (3)she decided to work with them.

She very much enjoyed the work in the office she joined, and (4)soon she was able to do very clever things with computers.

“They’re really like friends to me,” Mary told her mother one evening during supper. “I can ask them questions, and they answer just like people, but more politely and without arguing. And they never lie!”

“It sounds (5)( ) the perfect companion – or husband – doesn’t it?” said her mother. They both laughed. “But can any of them think for themselves?”

“I’m afraid they can’t,” Mary said. “(6)You can get no more out of them than the things you’ve put in. It’s called programming.”

“Well,” Mary’s mother said, “I want you to program one of them to give me some advice.”

“All right. I’ll try,” answered Mary. “What do you want advice about?”

“Well,” her mother answered, “you know (7)my two watches, don’t you?”

“Yes,” Mary answered. “What advice can a computer give you about them?”

“Well,” her mother answered, “one of them (8)gains one second every hour, and (9)(another, other, the other) has stopped and won’t start again. I want to know which I should keep. (10)Will you ask one of your computers?”

Mary laughed and answered, “That’s a strange thing to ask a computer, but I’ll do so. I’ll ask Donald. He’s my best computer.”

The next evening Mary got (11)(at home, home) and (12)said to her mother. “Do you remember that you asked about your two watches, Mum?”

“What’s that? My two watches? Oh, yes. I don’t think your computer can give me any advice.”

“Oh, (13)( )!” Mary answered. “Donald had the answer at once.”

“Donald?” said her mother, “Oh, you mean your favorite computer.”

“Yes,” answered Mary. “Donald (14)(advised / has / keep / stopped / that / the / to / watch / you).”

“The watch that has stopped?” Mary’s mother said. “Why did he advise that?”

“Because he pointed out that that watch will be (15)right once every twelve hours, but (16)the other one will be right only once every five years.”

## 設問

(1)(5)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(2)(3)(4)(10)(12)下線部と近い意味になるように次の空所に適当な語句を入れよ。

(2) computers especially \_\_\_\_\_

(3) she made up ( A ) ( B ) to work with them

(4) before ( )

(10) Do you \_\_\_\_\_?

(12) asked her mother if \_\_\_\_\_

(6)(16)下線部を和訳せよ。

(7)下線部について具体的にどのような時計か、それぞれ日本語で答えよ。

(8)(15)下線部の反意語を答えよ。

(9)(11)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(13)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. yes, he can 2. yes, he can't 3. no, he can 4. no, he can't

(14)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(17)2つの時計について、どちらのほうがなぜ優れていると Donald が判断したか、日本語で答えよ。

### **Further Expressions**

#### **【決心する】**

She decided [determined, resolved] to work with computers. 【決心する】

She made a decision [determination, resolution] to work with computers.

She made up her mind to work with computers.

She was determined to work with computers.

She was determined on [upon] working with computers.

#### **【助言する】**

Donald advised her to keep that watch. 【助言する】

Donald advised her that she (should) keep that watch.

Donald gave her a piece of advice. 【助言】

You should keep the watch on Donald's advice.



**【例文】**

I need to repair my watch. 私は時計を修理する必要がある。  
 My watch needs repairing. 私の時計は修理される必要がある。  
 My watch needs to be repaired. 私の時計は修理される必要がある。  
 その他

try → ing 形(ためにやってみる) / to 不定詞(...しようと努力する)  
 mean → ing 形(...することを意味する) / to 不定詞(...するつもりである)  
 be afraid → of ing 形(...するのがこわい) / to 不定詞(こわくて...できない)

**【例文】**

I tried speaking English. 私はためにしに英語を話してみた。(そして、実際に話した)  
 I tried to speak English. 私は英語を話そうと努めた。(しかし、実際話せたかどうかは不明)

- (11)ここでの home は副詞で、get home = come home「家へ帰る」at home は、I'm at home.「私は在宅中である」のように「在宅して」という意味や、Please make your self at home.「どうぞ楽にしてください」feel at home「くつろぐ」のように「気楽に、くつろぐ」という意味など多数の意味がある。  
 (12)“Do you remember...”内の you は her mother のことなので she にする。remember はこの場面と同じ時点のことなので remembered にし、ask は前の時制のことなので had asked(過去完了・大過去)にする。if = whether (or not)「~かどうか」  
 (13)英語では、“No, he can.”や“Yes, he can't”とは言わない。次の文で Donald had an answer at once.「ドナルドはすぐに解答を得たわ」と言っているので“Yes, he can.”「もちろんできるわよ」が正解。  
 (14)advise 人 to 不定詞「(人)に~するようアドバイスする」the watch that has stopped「止まってしまった時計」  
 (15)right「正しい、正確な」wrong「間違った」  
 (16)the other one とは、1 時間に 1 秒狂う時計。right「正しい」every five years「5 年おきに」  
 (17)どちらの時計が優れているか、という問いに対して、メアリーは Donald advised you to keep the watch that has stopped と「止まっている時計」の方が優れていると言っている。その理由は、最後のメアリーのセリフにあるように「止まっている時計は 12 時間に 1 度正しい時間を示すが、もう一方(1 時間に 1 秒進む時計は、5 年に 1 度しか正しい時間を示さないから)」である。コンピューターは 2 つの時計がそれぞれ正確に時刻を示す確率を計算し、比較したわけである。

**全文訳**

メアリーは学生時代、科学が非常に得意で、とくにコンピューターに興味を持っていたので、卒業後、コンピューターを用いた仕事をすることにした。

彼女は、入社した会社での仕事を非常に楽しみ、そのうち、コンピューターで非常に利口なことをできるようになった。

「コンピューターは私にとって本当に友達のようなだわ」ある夜、メアリーは夕食中に母親に言った。「私はコンピューターに質問をすることができるし、それらはちょうど人間のよう、でももっと丁寧、そして自己主張せずに答える。それにコンピューターは嘘をうかない！」

「完璧な友達か夫みたいだね」母親は言った。二人とも笑った。「でも、コンピューターは自分で考えることができるのかしら。」

「できないと思うわ」メアリーは言った。「入力したこと以外は得られないのよ。それをプログラミングと呼ぶわ。」

「じゃあ」母親は言った。「私に助言をくれるようにコンピューターの 1 つをプログラミングしてほしいのだけれど」

「いいわ。やってみる。」メアリー答えた。「何についての助言が欲しいの？」

「あのね」母親は答えた。「私の 2 つの時計を知っているね？」

「ええ」メアリーは答えた。「コンピューターがそれらについてどんな助言を与えることができるの？」

「あのね」母親は答えた。「片方は 1 時間に 1 秒進んで、もう片方は止まっていてもう動かない。私はどちらを持っているべきか知りたいのよ。コンピューターに聞いてくれる？」メアリーは笑って答えた。「それはコンピューターに聞くにはおかしなことね。でも聞いてみるわ。ドナルドに聞こう。彼は私の最良のコンピューターよ。」

次の夜、メアリーは帰宅し、母親に言った。「お母さん、2 つの時計のことを聞いたのを覚えてる？」

「何だったかしら。私の 2 つの時計？ ああ。あなたのコンピューターは私にどんな助言も与えることができないと思うわ。」

「いいえ、彼はできるのよ」メアリーは答えた。「ドナルドはすぐに答えたわ。」

「ドナルド？」母親は言った。「ああ、あなたのお気に入りのコンピューターね」

「ええ」メアリーは答えた。「ドナルドは、止まった時計を持っているように助言したわ。」

「止まった時計？」メアリーの母親は言った。「なぜ彼はそう助言したの？」

「その時計は 12 時間ごとに正しい時間を示すけれど、もう片方は 5 年に一度しか正しくならないから、ですって」

## 5 北米とアジアの教育の違い

A few years ago, a teacher from a Western country visited an elementary school in an Asian country. In one class, she watched sixty young children as they learned to draw a cat. The class teacher drew a big circle on the blackboard, and sixty children copied it on their papers. The teacher drew a smaller circle on top of the first and then put two triangles on top of it. The children drew (1)in the same way. The lesson (2)went on (3)(before, by, until) there were sixty “copy cats” in the classroom. Each student’s cat (4)(board / exactly / like / looked / on / one / the / the).

The visiting teacher watched the lesson and (5)(surprised, was surprised). The teaching methods were very different from the way of teaching in her own country. In her country, after one children’s art lesson, the room always becomes full of different pictures drawn by different pupils. Why? What causes this difference in educational methods? In classroom in any country, teachers teach more than art or history or language. They also teach (6)( ), and each educational system is a mirror that shows the culture of the country.

In a country such as the United States or Canada, which has many national, religious, and cultural differences, people highly value the differences among people. (7)Teachers put a lot of importance on the differences that make each student special. The educational systems in these countries show these values. Students do not memorize information. Instead, they work and find answers themselves. There is often discussion in the classroom. At an early age, students learn to have their own ideas and act on them.

In most Asian countries, (8)( ), the people have the same language, history, and culture. Perhaps for (9)this reason, the educational system in those Asian countries sets a higher value on the goals of a group than on each member’s differences. In the classroom, the teacher speaks and the students listen. There is not much discussion. (10)Instead, the students simply (11)try to memorize rules or information that they have just (12)(been taught, been teaching, taught).

There are advantages and disadvantages to (13)(both, either, neither) of these systems, of education. (14)( ), one advantage to the system in Japan is that students there learn much more math and science by the end of high school than American students. They also study more hours each day and more days each year than North Americans. The system is hard for students, but it prepares them for a country that values discipline and self-control. There is, however, a disadvantage. Memorization is an important learning method in Japanese schools, but (15)many students say that after an exam, they forget much of the information that they have memorized.

The advantage of the educational system in North America, on the other hand, is (16)(that, what, which) students learn to think for themselves. The system prepares them for a country that values creative ideas. There is, however, (17)a disadvantage. When students leave high school, they haven’t memorized as many rules and fact as students in other countries.

## 設問

- (1) 下線部の方法にしたがってできる絵を簡単に描け。
- (2) 下線部と近い意味の語句を次から選べ。
  1. continued 2. finished 3. happened 4. started
- (3)(5)(12)(13)(16) カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。
- (4) カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。
- (6) 空所にあてはまる適語を同じ段落から選べ。
- (7)(15) 下線部を和訳せよ。
- (8)(14) 空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。
  1. for example 2. on the other hand 3. therefore 4. what is more
- (9)(10)(17) 下線部の具体的内容を日本語で答えよ。
- (11) 下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。  
try to learn rules or information by ( )
- (18) 日本を含めたアジア諸国の教育の特徴として筆者が述べているものを次から3つ選べ。
  1. Pictures drawn by different children are quite different from one another.
  2. All the children copy exactly the picture their teacher draws on the blackboard.
  3. Students must work and find answers for themselves, but they don't have to memorize rules or information.
  4. People think it is an important learning method for students to memorize information.
  5. Students are given so much information to memorize at school that they don't have to work hard at home.
  6. Students don't have to find information themselves, and there is not much discussion in the classroom.
  7. Most students say that they don't forget much of the information they have learned even after an exam.
- (19) 北米とアジアでは、文化にどのような違いがあり、それがどのように教育方法に反映しているのか、日本語で具体的に説明せよ。

## Further Expressions

### 《似ている》

This cat looks exactly like that one. 【似ている】

This cat is similar to that one.

These cats look exactly alike.

This cat resembles that one in appearance.

These cats resemble each other in appearance.

This cat has [bears] a strong resemblance to that one.

There is a strong resemblance between these cats. 【類似】

### 《重視する》

Memorization is important in Japanese schools. 【重要な】

Japanese schools put importance on memorization. 【重視する】

Japanese schools highly value memorization. 【高く評価する】

Japanese schools make much of memorization. 【重要とみなす】

### 《いったいなぜ》

What on earth causes this difference? 【いったい】

What in the world causes this difference?

How come they are different from each other? 【どうして】



## 解答

(1)略 (2)1 (3)until (4) looked exactly like the one on the board (5)was surprised (6)culture (7)全文訳参照 (8)2 (9)アジアの国の多くは同じ言語・歴史・文化を持っているという理由。(10)討論がそれほど多くはない代わりに。(11)heart (12)been taught (13)both (14)1 (15)全文訳参照 (16)that (17)北米の学生は高校を卒業するときに、他の国の学生に比べ、事実や法則を多く暗記していないという欠点。(18)2,4,6(19)様々な文化を持つ人々がいる北米では個性の差が重視されるので、学生は情報を暗記するのではなく自分で答えを見つけるよう教えられる。また討論も多く自分の考えをもつよう指導される。同じ文化を持つ人々が暮らすアジアでは個人よりグループ全体の目標に高い価値が置かれるので、討論はあまり行われず、学生は教えられた法則や情報を暗記することが求められる。

## 解説

(1)in the same way とは先生と同じ方法で猫の絵を書いたことをいう。まず大きな円を描き、その上に接するように少し小さな円を描き、最後にその上にふたつの三角形をのせる。on to = onto「～の上へ」  
(2)go on「続く」 = continue  
(3)until「～まで(継続)」 by「～まで(完了)」 until はある時点まで動作を継続する場合に、by はある時点までに動作がすでに完了する場合に使われる。たとえば、You can sleep until noon.「君は昼まで(ずっと)寝ることができる」 You have to finish your homework by midnight.「君は、深夜(の時点)までに宿題を終えなければならない」

### 時を表す前置詞の使い分け

at, on, in  
at : 点 時間、正午、真夜中など  
at one o'clock, at dawn, at noon, at midnight, at Christmas  
on : 日 曜日、午前午後など  
on Sunday, on July 14, on the weekend, on the morning of August 6  
in : 期間 月、四季、年など  
in January, in 2001, in the 21st century, in the morning  
in, after, within  
in : 時の経過「～して、かかって」  
I'll see you in a week. 1週間したらお会いしましょう。  
after : 時の経過「～後に」  
I met him after a week. 1週間後に彼と会った。  
within : 期間内「～以内に」  
I have to see you within a week. 1週間以内に君と会わなければならない。  
until, by, before  
until : 継続「～までずっと」  
I will stay here until Sunday. 私は日曜日までずっとここに滞在する。  
by : 期限「～までに」  
I have to go to university by Sunday. 私は日曜までに大学へ行かなければならない。  
before : 以前「～より前に」  
I went to university before 9 o'clock. 私は大学に8時前に行った。  
since, from  
since : 継続「～以来ずっと」(過去)  
I have been here since 3 o'clock. 私は3時からずっとここにいる。  
from : 起点「～から」(過去、現在、未来)  
I stayed there from April to June. 私はそこに4月から6月までいた。  
for, during, through  
for : 期間の長さ「～の間」  
I've learned English for 4 years. 私は英語を4年間勉強した。  
during : 特定の期間「～の間に、～の間じゅう」  
I studied English during the summer vacation. 私は夏休みの間に英語を勉強した。  
through : 期間全体「～のはじめからおわりまで」  
I studied English through the night. 私は夜通し英語を勉強した。

(4)「(各生徒の猫は)黒板の猫とまったく同じように見えた」という意味。look like A「Aのように見える」 one は cat「猫(の絵)」 exactly は like にかかっているので looked と like の間に入る。  
(5)動詞 surprise「～を驚かせる」は、驚きを与える物を主語にとる(この文では lesson)。したがって、驚きを与えられた人(ここでは teacher)を主語にするときには受動態を用いる。  
(6)空所部の後には「各国の教育制度はその国の文化を映し出す鏡である」とある。このことから、教育

- とは文化を教えるものでもあることがわかる。
- (7) put an importance on A「Aに重点を置く、Aを重視する」 A make B 形容詞「AはBを(形容詞にする) the differences that make each student special「それぞれの生徒を特別なものにするような違い」
- (8) 「多くのアジア諸国では、( )、国民は同じ言語、歴史、文化を持っている」前段落までに述べられた北米の特徴に対して、これからアジア諸国の特徴を述べようとしているので、対比を表す on the other hand「他方で」が適当。
- (9) this reason は直前の文章を指す。北米は「多様な言語・歴史・文化」から「個性重視」が導かれたが、アジアは「同じ言語・歴史・文化」から「集団重視」が導かれた。このアジアについてまとめればよい。
- (10) instead「その代わりに」この文では下線部の前文の there is not much discussion. を指す。
- (11) learn A by heart「Aを暗記する」 = memorize
- (12) 「教えられた規則や情報」という意味になるため、受動態を用いる。現在完了の受動態は have been+過去分詞で表される。
- (13) both「両方」 both A and B 「AもBも」 neither A nor B「AもBも(~ない)」
- (14) 「アジア式の教育と北米式の教育とは利点も欠点もある。( )、日本の教育システムのひとつの利点は...」 For example「たとえば」が適当。
- (15) many students say that...「多くの生徒は...という」 they は many students を指す。much of the information that they have memorized「彼らが覚えた情報の多く」 information は不可算名詞なので many ではなく much を使う。that は関係代名詞の目的格用法で、先行詞は information。
- (16) 接続詞 that は名詞節を導く働きをもつ。that students learn to think for themselves「学生が独力で考えることを学ぶこと」
- (17) 直後の文の内容をまとめればよい。高校卒業時点までに覚えた法則や事実の知識量が他国の生徒より少ない、ことが欠点。
- (18) 1 は北米の教育についての記述。2 は第 1 段落と一致。3 は北米の教育についての記述。4 は第 4 段落に一致。5 は該当記述なし。6 は第 4 段落に一致。7 は第 5 段落最後と矛盾する。
- (19) 第 3 段落に北米やカナダの文化と教育方法について、第 4 段落にアジアの文化と教育方法についての内容が対照的に説明されている。北米は様々な民族、宗教、そして文化の違いを持つ人々がいるので個々の違いが尊重される。そのため教育方法は、それぞれの個性を伸ばすものになる。一方アジアでは、人々が同じ言語、歴史、文化を持っているので、個々の違いよりもグループ全体の目標がより重視される。したがってその教育方法は、教師の言うことを暗記する方に重点がおかれるようになるのである。どういう人々がいて、何が尊重されるため、教育方法がどうであるか、という 3 点をそれぞれまとめる。

## 全文訳

数年前に、西洋の教師がアジアの国の小学校を訪問した。ある授業で、彼女は 60 人の幼い子どもが猫の絵を描くのを学んでいるのを見た。担任の教師が大きい円を黒板に描くと、60 人の子どもたちがそれを自分の紙に写した。先生がより小さい円を最初の円の中に描き、次にそのてっぺんに 2 つの三角形を描いた。子どもたちは同じように描いた。授業は 60 匹の「コピー猫」が教室にあらわれるまで続いた。それぞれの生徒の猫は黒板の上のものにまったく似ていた。

訪問していた教師は授業を見て驚いた。教育方法は彼女自身の国の教育方法と非常に異なっていた。彼女の国では子どもの芸術授業の後には、教室は異なった生徒によって描かれた、異なった絵でいっぱいになった。なぜ、教育方法のこの違いはどうして起こるのか。いかなる国の教室でも、教師は芸術、歴史あるいはことば以上のものを教えている。また、彼らは文化を教える。そして、各国の教育制度は国の文化を示す鏡である。

さまざまな民族、宗教、そして文化の違いのある合衆国やカナダなどの国では、人々の間の違いが高く評価される。(7)教師は各生徒を個性的にするような違いに大きな重点を置く。これらの国の教育制度はこれらの価値を示している。学生は情報を暗記するのではない。その代わりに、彼らは自分自身で考え答えを見つかるのである。教室では、しばしば討論がある。小さいころから、学生は自身の考えをもち、それを実践することを学ぶ。

他方で、ほとんどのアジアの国では、人々が同じ言語、歴史、および文化を持っている。恐らくこの理由で、アジアの国々の教育制度は各構成員の違いよりグループ全体の目標に高い価値を置く。教室では教師が話し、生徒が聴く。討論は多くはない。その代わりに、学生は単に教えられたばかりの法則や情報を暗記しようとする。

これらの教育システムには両方とも利点と難点がある。たとえば、日本の教育システムの 1 つの利点は、日本の学生は高校の終わりまでにアメリカ人の学生よりも数学と科学をはるかに多く学ぶということである。また、彼らは北米人よりも、1 日あたりより多くの時間、1 年あたりより多くの日、勉強する。この制度は学生にとってたいへんであるが、彼らに規律と自己規制に価値を置くような国に対する心の準備をさせる。しかしながら難点もある。暗記は日本の学校の重要な学習方法であるが、(15)多くの学生が彼らが暗記した情報の多くを試験の後に忘れると言う。

他方で、北米の教育制度の利点は学生が自分の考えを持つことを学ぶということである。この制度は国にとって、彼らに創造的な考えに価値をおくよう準備する。しかしながら難点もある。学生が高校を出るとき、彼らは他国の学生と同じくらい多くの法則と事実を暗記していないのである。

## 第2章 文法的に正しい英文を完成する

### 6 やっかいなペット

Michael was six years old when he saw a television program about rabbits (1)(him / made / one / own / to / which / want) very much. Everyday he kept (2)(saying, to say) to his mother, “Can I have a rabbit, please, Mum?” and when she made (3)excuses, “Why can’t I have one?”

His mother knew very well that when small children have pets, (4)(after / have / is / it / look / parents / their / them / to / who) most of the time. “You see,” she said, “children suddenly become (5)eager to have a dog, or a cat, or a rabbit or something, and they think they won’t be able to live without it, and that they’ll love it and look after it (6)carefully and feed it and clean it regularly, and so on. But after a few weeks or sometimes even a few days – they find other interesting things to do, such as watching television, and they begin to (7)neglect their pet, not feeding it and letting it get dirty. Then they have (8)rows with their parents about it, and the parents find themselves having to spend more and more time doing what the children should be doing. But, on the other (9)( ), it is a good idea to train a child from an early age to love animals.”

So finally, on his seventh birthday, (10)Michael’s parents bought him not one but two rabbits.

“It’s better to have two,” his father said to him. “(11)They’ll keep each other company when they’re left alone.” Then he said to his wife, “(12)I hope you made sure they’re both boys or both girls: we don’t want hundreds of the things in a year’s time !”

“Oh, yes,” Michael’s mother answered. “They’re both females.” Michael (13)(delighted, was delighted) with the rabbits, and he enjoyed them more and more (14)( ) they grew up, but they soon became a (15)nuisance to his parents, who had to look after them (16)(during, while) Michael was at school, and who had to find homes for them when the family went on holiday.

They tried to think of various ways of (17)( ) rid of the rabbits, and (18)finally Michael’s father decided that a direct attack would be best, so one day he said to his wife, “What about (19)having one of those rabbits for dinner tonight?”

Michael smiled happily and, before his mother could answer, said, “That would be wonderful, Dad. But do you think she’d be able to hold her spoon?”

They still have the rabbits.

#### 設問

(1)(4)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(2)(13)(16)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(3)(8)下線部の正しい発音を次から選べ。

(3) 1. [iks:kju:ziz] 2. [iks:kju:ziz] 3. [é:kskju:siz] 4. [é:kskju:ziz]

- (8) 1. [rauz] 2. [rouz]
- (5)(7)(15) 下線部と近い意味の語句を次から選べ。
- (5) 1. anxious 2. likely 3. reluctant 4. willing  
 (7) 1. bully 2. dominate 3. hate 4. ignore  
 (15) 1. bother 2. enemy 3. treasure 4. threat
- (6)(18) 下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。
- (6) ( ) care  
 (18) at ( )
- (9)(14)(17) 空所にあてはまる適語を答えよ。
- (10) なぜ両親はウサギを飼うことを認めたのか日本語で説明せよ。
- (11) 下線部を和訳せよ。
- (12) 下線部はどのような理由から言われているか日本語で説明せよ。
- (19) 下線部 having は、「父親」と「Michael」にとってそれぞれ意味が異なる。正しいものを次から1つずつ選べ。
- (A) 父親にとって (B) Michael にとって
1. attacking 2. eating 3. holding 4. inviting 5. neglecting 6. training
- (20) 本文の内容と一致するものを次から3つ選べ。
1. Michael wanted to have a rabbit because he watched a television program about rabbits.
  2. Michael's mother knew that small children would usually look after pets very well.
  3. Michael got rabbits immediately after he asked his mother to own one.
  4. Michael's mother thought it was good for Michael to have pets because he would be trained from an early age to love animals.
  5. Michael's father said that it would be better to have two rabbits because they didn't want hundreds of the things in a year's time.
  6. Michael was delighted with the rabbits at first, but he got tired of them as they grew up.
  7. It was his parents who had to look after the rabbits while Michael was at school.
  8. Michael tried to train one of the rabbits to hold her spoon.

### Further Expressions

#### 《喜ぶ》

Michael was delighted with [at] the rabbits. 【うれしい】

Michael was delighted to get the rabbits.

Michael was glad to get the rabbits.

Michael was pleased with the rabbits.

Michael was pleased to get the rabbits.

To his great delight Michael got two rabbits. 【うれしいことには】

Michael was satisfied with the rabbits. 【満足している】

Michael was content with the rabbits.

#### 《しませんか》

How about having one of those rabbits for dinner? 【しませんか】

What about having one of those rabbits for dinner?

What do you say to having one of those rabbits for dinner?

Why don't we have one of those rabbits for dinner?

Shall we have one of those rabbits for dinner?

## 解答

(1)which made him want to own one (2)saying (3)1 (4)it is their parents who have to look after them. (5)4 (6)with (7)4 (8)1 (9)hand (10)早いうちから子どもに動物を愛する心を養わせるのはいいことだと考えたから。(11)全文訳参照 (12)ウサギがオスメスのペアで、飼ってから何匹も子どもをうまれては困るから。(13)was delighted (14)as (15)1 (16)while (17)getting (18)last (19)(A)2 (B)4 (20)1,4,7

## 解説

- (1)ownは動詞で「所有する」の意味。madeは使役で、rabbits which made him want to不定詞「～したいと彼に思わせたウサギ」となる。  
(2)keep (on) ~ing「ずっと～し続ける」  
(3)excuse は動詞のときは「許す」、名詞のときは「言い訳、おわび」という意味。ここでは名詞で1が正解。動詞のときは2の発音でseが濁音になる。  
(4)it is parents who ~「～のは両親だ」の強調構文である。who 以下は who have to look after them「ペットの面倒を見なければならぬのは(両親だ)」となる。

### 強調構文

< It is A that ~ > : 「～なのはA」 Aを強調する。

It was Tom that I met yesterday. 私が昨日会ったのはトムだった。

\* It is と that を取り除いても残りだけで文が成立する。= I met Tom yesterday. 私は昨日トムに会った。

\* that は who や which など置き換えられる。

It was Tom who I met yesterday. 私が昨日会ったのはトムだった。

\* 形式主語構文では、it is と that を取り除いても文が成立しない。

It is certain that I met Tom yesterday. 私が昨日トムに会ったことは確かだ。

× Certain I met Tom yesterday.

### いろいろな形

It is you that are to blame. 責められるべきは君だ。

It was yesterday that I met her. 私が彼女に会ったのは昨日だ。

It is not until one becomes ill that one knows how valuable health is.

病気になるのはじめて健康がいかに大切であるかを知る。

- (5)children suddenly become eager to have a dog「子どもたちは突然犬を飼いたいと思うようになる」4が正解。be willing to 不定詞「快く～する、すすんで～する」1.be anxious to 不定詞「～することを切望して」2.be likely to 不定詞「～しそうである」3.be reluctant to 不定詞「～するのをいやに思う、したくない」  
(6)look after it carefully「それを注意深く面倒をみる」with care「注意深く」で同じ意味になる。  
(7)neglect「無視する」4.ignore「無視する」が正解。1.bully「～をいじめる」2.dominate「支配する」3.hate「嫌う」they begin to neglect their pet「彼らは自分のペットを無視しはじめる」  
(8)they have rows with their parents about it「彼らはそのことで両親とけんかをする」have a row with A「Aとけんかをする」このrowは1の発音。2は同じrowでもrow「列」とrow「ボートをこぐ、オールでこぐこと」の発音である。  
(9)on the other hand「他方では」  
(10)第2段落最後の行にBut on the other hand, it is good idea to train a child from an early age to love animals.とある。この部分が、母親にペットを飼うことを認めさせた理由である。  
(11)keep A company「Aに同行する、Aと一緒にいる」each other「お互い」when they're left alone「それらが放っておかれるとき」  
(12)ウサギが両方ともオスか、あるいは両方ともメスであると確かめただろうね、という父親の真意はその次の台詞we don't want hundreds of the things in a year's time「私たちは一年に何百匹もほしくない」という言葉に表されている。もしウサギがつかいであったら子どもを産んで増えてしまうから困るのである。  
(13)delight「大喜びさせる」be delighted with/at/by ~ (to 不定詞)「～を(～するのを)喜ぶ」  
(14)more and more「ますます(彼らはそれらを楽しんだ)」とあるのでas they grew up「それらが成長するにつれて」とするのが文脈に沿う。  
(15)nuisance「迷惑なもの」1.bother「面倒、厄介なもの」が正解。2.enemy「敵」3.treasure「宝」

- 4.threat「脅迫」 they soon became a nuisance to his parents「それらはまもなく彼の両親にとって煩わしいものになった」
- (16)during も while も「～の間」の意味であるが、during は前置詞でその後は名詞句しかとらない。一方 while は接続詞で、そのあとに節(S+V の文)をとることができる。よって while Michael was at school「マイケルが学校にいる間」となる。
- (17)get rid of A「A から抜け出す、A を取り除く」 various ways of getting rid of rabbits「それらを片付けてしまうさまざまな方法」
- (18)finally「ついに」 at last で同じ意味になる。
- (19)(A)“What about having one of those rabbits for dinner tonight?” 両親は煩わしくなったウサギをなんとか片付けてしまおうと考えて、ついに direct attack「直接的な攻撃」に出るのである。つまり父親は 1 匹を夕飯で食べてしまっただけで何とかと提案するのである。よって 2.eating が正解。
- (B)父親の提案を理解できていないマイケルはこう答える。“do you think she’d be able to hold her spoon?”「彼女がスプーンをもてると思う？」つまりマイケルは父親の言葉を、ウサギも自分たちと一緒に夕飯を食べてはどうか、という意味に解釈したのである。よって 4.inviting が正解。
- (20)1.最初の行にある。4.第 2 段落の最後の行に、7.第 4 段落の最後の行に述べられている。2.母親が after a few weeks...and they neglect their pet と言っているのが誤り。3.第 3 段落に So finally, on his seventh birthday...とありただちに買ってもらったわけではないので誤り。5.理由の部分が違う、2 匹なら放っておかれたとしても相手がいればいいだろうからである。6.第 4 段落目に he enjoyed them more and more as they grew up とあるから誤り。8.そのようなことは述べられていないので誤りである。

## 全文訳

マイケルは 6 歳のときウサギについてのテレビ番組を見て自分も一匹飼いたいとも思った。彼は母親に毎日「ウサギを飼ってもいいでしょ、お母さん」と言い続け、母親が(飼えない)言い訳をするごとに「どうして飼っちゃいけないの」と言った。

彼の母親は小さな子どもがペットを飼うとき、ほとんどの時間ペットの面倒を見るのは両親であるということをととてもよく知っていた。彼女は言った。「わかるでしょう、子どもは突然犬だとか、猫だとか、ウサギだとか、そういうものを飼いたって熱心になって、それなしでは生きられない、自分はそれを愛して注意深く面倒を見てちゃんとえさをあげて体も洗ってあげるんだ、なんて考えるのよ。でも、何週間か、ときには何日かたつと子どもはほかのおもしろいこと、たとえばテレビを見ることとか、を見つけて自分のペットをかまわなくなり、えさもあげず汚れるままに放っておくのよ。そうすると子どもはそのことをめぐって両親と言い争いして、両親は子どもがすべきことにもっと時間を費やさないといけないことに気づくのよ。でも、幼いころから動物を愛することを子どもに教えるのはいい考えだわ。」

そこでとうとう、マイケルの 7 歳の誕生日に、彼の両親は彼に 1 匹ではなく 2 匹のウサギを買ってやった。「2 匹飼うほうがいいのさ。放ったかれたときでも互いに相手がいるだろうから。」父親は彼に言った。それから彼は妻にむかって言った。「君がウサギが両方ともオスか、両方ともメスが注意したならいいのだが。1 年で何百匹もなんていないからね。」

「あら、大丈夫よ。両方ともメスだから。」マイケルの母親は答えた。マイケルはウサギに喜び、ウサギが育つにしたがってますます楽しんだが、マイケルが学校に行っている間世話をしなければならず、家族で休暇に行くときウサギのための家(預かってくれる家、ということ)を見つけなければならなかった両親にとってウサギはすぐに煩わしいものになった。

彼らはウサギを捨てるためのいろいろな方法を考え、とうとうマイケルの父親は直接的な攻撃がもっともよいだらうと決心し、そこである日彼は妻に向かって言った。「今晚あのウサギたちのうち一匹を夕食にどうだい？」

マイケルはうれしそうに笑って母親が答えるまえに言った。「そんなふうになったらすばらしいだろうね、父さん。でも彼女がスプーンをもてると思う？」

彼らはまだウサギを飼っている。

## 7 校則の日米比較

Japanese schools have (1)(many, much) more rules than American schools. (2)The American school system is not as strict as the Japanese system is, especially where a student's physical appearance is (3)( ). The main difference is in (4)(that, what, which) students wear to school. Elementary school boys can wear short or long pants. Elementary school girls can wear dresses, skirts, shorts or pants.

Public junior or senior high schools may have a dress code, but it is much freer than in Japan. Public schools generally (5)( ) the students to dress for health and (6)(safe, safety) reasons. Few public schools require uniforms, except (7)(during, while) physical education class.

(8)Private schools tend to have a stricter dress code, but it is still not as strict as in Japanese schools. Uniforms are (9)( ) by students at some private schools.

Each (10)(school has its, schools have their) own rules. The school rules may be given to you at the time of enrollment, or they may be given to your child on the first day he or she (11)attends school.

If a student breaks the rules or does (12)(bad something, something bad) at school, different schools have different ways of (13)( ) with the problem. (14)The student's parents are usually contacted. In some states and/or school districts, (15)corporal punishment is not allowed. Teachers and other school employees in these states or districts may not physically hurt a student.

(16)In areas where corporal punishment is allowed, it may be necessary for the school principal to have a student's parents' permission before physically punishing that student.

## 設問

- (1)(4)(6)(7)(10)(12) カッコ内の語句のうち正しいものを選び。
- (2)(8)(14)(15) 下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。
- (2) The Japanese school system is ( ) than the American system
- (8) Private schools have a ( ) to have a stricter dress code
- (14) The school usually gets in ( ) with the student's parents.
- (15) corporal punishment is ( )
- (3)(5)(9)(13) 空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。
- concern deal expect wear
- (11) 下線部の名詞形を答えよ。
- (16) 下線部を和訳せよ。
- (17) 本文によると、学校が生徒の親に連絡を取るのはどのような場合か、日本語で答えよ。
- (18) 次の下線部の発音と異なるものを選び。
- (A) allow 1. owl 2. doubt 3. foul 4. owl
- (B) health 1. break 2. breakfast 3. sweater 4. weapon

### Further Expressions

#### 〈～ほど…でない〉

The Japanese school system is stricter than the American system is. 【より厳しい】

The American school system is not as [so] strict as the Japanese system is.

【～ほど厳しくない】

The American school system is less strict than the Japanese system is.

#### 〈禁止する〉

Teachers must not punish students. 【してはならない】

Parents don't allow [permit] teachers to punish students. 【許可する】

Teachers don't have parents' permission to punish students. 【許可】

Parents don't give teachers permission to punish students.

Parents don't let teachers punish students. 【～させる】

Parents prohibit teachers from punishing students. 【禁止する】

Parents forbid teachers to punish students.



## 解答

(1)many (2)stricter (3)concerned (4)what (5)expect (6)safety (7)during (8)tendency (9)worn (10)school has its (11)attendance (12)something bad (13)dealing (14)touch (15)prohibited (16)全文訳参照 (17)生徒が学校で規則を破ったり悪さをしたとき。 (18)(A)1 (B)1

## 解説

(1)比較級の強め。 rules は数えられる名詞なので many を使う。 much は数えられない名詞に使う。

### 比較の強め

much, far, by far, still, even, a lot, a great deal

This is **much** better than the others. これは他のよりずっとよい。

He is tall, but his brother is **still** taller. 彼は背が高いが、彼の兄はいっそう高い。

many more + 可算名詞と much more + 不可算名詞

There were **many more** applicants than we had expected. 予想よりずっと多くの応募者がいた。

You'll need **much more** money to buy such a house. そんな家を買うとずっと多くのお金がかかる。

- (2)「アメリカの学校の制度は、日本の学校の制度ほど厳しくはない」=「日本の学校の制度はアメリカの学校の制度よりも厳しい」strict「厳しい」を比較級にして stricter を用いる。
- (3)A be concerned「A が関係する、関わる」 where a student's physical appearance is concerned「生徒の身体的な外見に関するところで」
- (4)what students wear to school「生徒たちが学校に着てくるもの」 what は the thing which と言い換えられる、先行詞を含む関係代名詞。ここでは、直前に先行詞となりうる名詞がないので、関係代名詞 which, that は選べず、in that「～という点で」にすると wear の目的語がなくなるので不可。(「着る」という意味で自動詞はない)
- (5)直訳すると Public schools expect...「公立の学校は...を期待している」ただし主語の「公立の学校」が無生物なので、日本語では「公立の学校では...が期待されている」と訳すと意味がとりやすい。
- (6)safe reason「安全な理由」 safety reason「安全上の理由」ここでは後者が適当。 dress for health and safety reason「健康と安全のために洋服を着る」
- (7)前置詞として用いられるのは during。 while は接続詞なので次に主語 + 動詞の文がくる。
- (8)have a tendency to 不定詞「～する傾向がある」= tend to
- (9)wear「着る」ここでは「制服」が主語なので過去分詞にして Uniforms are worn.
- (10)each は単数扱いにする。

### 単数扱いか複数扱いか

all

All children were delighted to hear the news. その知らせにすべての子どもは喜んだ。

\* < all + 可算名詞の複数形 > は主に人に対して用いられ、「すべての～」を意味し、複数扱いとなる。

All the money was stolen. すべてのお金は盗まれた。

\* < all the + 単数名詞 > は主に事物に用いられ、「全部の、全体の、全...」を意味し、単数扱いされる。

All of us were frightened. 私たちみんなぎょっとした。

\* < all of the + 名詞 > が人に対して用いられるときは複数扱いされ、名詞も複数形となる。

All of the milk was spilled. 牛乳はすべてこぼれてしまった。

\* < all of the + 名詞 > が事物に対して用いられるときは単数扱いされ、名詞も単数形となる。

All you have to do is do your best. 君は最善を尽くしさえすればよい。

All is well that ends well. 終わりよければすべてよし。

\* 事物に対して用いられる代名詞 all は、単数扱いされる。人の場合は複数扱い。

each

Each student has received their diploma. 学生はそれぞれ卒業証書を受け取った。

\* < each + 名詞 > は常に単数扱い。名詞の部分も単数形を用いる。また 2 つ以上のものを指す。

Each of the girls was dressed neatly. どの女の子もきれいな格好をしていた。

\* < each of the [these, one's] + 名詞 > は単数扱いが原則だが、名詞の複数形に引かれて複数扱いになることもある。名詞は複数形を取る。なお、every にこの用法はない。

every

Every book was written by a well-known author. どの本も有名な作家によって書かれている。

\* < every + 名詞 > は常に単数扱い。名詞の部分も単数形を用いる。また 3 つ以上のものを指す。

both

There are trees on both sides of the street. 道の両側には木がある。

Both of the girls are my classmates. 女の子両方とも私のクラスメートだ。

\* both は常に複数扱いする。続く名詞も複数形となる。

either と neither

Either day is OK.      どちらの日もよい。

\* < either + 名詞 > は常に単数扱いで、直後の名詞も単数形。neither も同じ。

Either of the students fails the exam.      どちらかの生徒は試験に落ちる。

\* < either of + 名詞 > は常に単数扱いだが、名詞の部分は複数形となる。neither も同じ。  
no

I have no brothers.      私には兄弟がない。

He has no room of his own.      彼は自分の部屋がない。

\* < no + 名詞 > は一般には名詞に複数形を用いる。ただし、ひとつしかないのが自然と思われる場合は名詞に単数形を用いる。

none

None of the boxes are [is] empty.      箱はどれも空ではない。

\* < none of the + 名詞 > は単数・複数両方で扱われるが、複数扱いのほうが多い。名詞は複数形。  
複合形

every-, some-, any-, no-などに-body, -one, -thing などがついた複合形は、常に単数形。

Everybody was expected to bring their lunch.      みんなお昼を持ってくることになっていた。

Everything has gone well.      万事順調である。

(11) attend「出席する」 attendance「出席」

(12) something bad「何か悪いこと」 something はこのように後ろから修飾するのが一般的。

(13) deal with A「Aを扱う、対処する」ここでは前置詞 of の後に続くので dealing と動名詞にする。

(14) The student's parents are usually contacted. 「通常は、その生徒の両親が連絡を受ける」 the school を主語にして「学校がその生徒の両親に連絡をする」とする。get in touch with A「Aと接触する」 touch が正解。

(15) 「体罰は許されない」=「体罰は禁じられている」 prohibit「禁ずる」ここでは corporal punishment「体罰」が主語なので、Corporal punishment is prohibited. と受身形にする。

(16) areas where corporal punishment is allowed「体罰が容認されている地域」 where は場所を表す関係副詞で、where...allowed は areas を後ろから修飾する。it is necessary for A to 不定詞「Aが～することが必要である」ここでは it may be necessary...なので「必要であろう、必要となるだろう」という意味。school principal「校長」 a student's parents' permission「生徒の両親の許可」 parent's ではなく parents' であることに注意。before physically punishing that student「その学生を肉体的に罰する前に」

(17) 第5段落の一行目に If a student break the rules or does something bad at a school 「生徒が学校で規則を破ったり、悪いことをしたとき」とある。

(18) (A) [au] 1 が [ou] で異なる。(B) [e] 1 が [ei] で異なる。

## 全文訳

日本の学校には、アメリカの学校よりもはるかに多くの規則がある。とくに、生徒の体の見た目に關して、アメリカの学校の制度は、日本の学校の制度ほど厳しくはないのだ。大きな違いは、生徒が学校に着てくるものである。小学校の男子児童は半ズボンをはいてきても長ズボンをはいてきてもいいことになっている。小学校の女子児童はワンピースでもスカートでも半ズボンでも長ズボンでも着てきていいことになっている。

公立の中学校や高校には、服装についての規則があるかもしれないが、その規則は、日本よりもはるかに自由なものである。公立の学校では、一般に、生徒たちが健康と安全とを考えて洋服を着てくるものだと考えられている。公立の学校には、体育の授業の時間以外に、制服を着ることを義務付けている学校はほとんどない。

私立の学校は、服装について公立の学校よりも厳しい規則を備えている傾向があるが、その規則でさえも日本の学校ほど厳しくはない。生徒たちが制服を着てくることになっている学校も、私立の学校の中には何校かはある。

それぞれの学校に、独自の規則があつて、そのような校則は、入学の時に示されるかもしれないし、学校に通う初日に子どもに示されるかもしれない。

生徒が学校で、規則を破ったり何か悪いことをしたりした時には、それぞれの学校に、それぞれ違った問題への対処法があるが、通常は、その生徒の親が連絡を受ける。州や学区の中には、体罰が許されていない所もあつて、そういった州や学区においては、教師やその他の学校職員が、身体的に生徒を傷付けることは許されていない。

(17) 体罰が許されている地域においては、生徒に身体的に罰を与える前に、校長がその生徒の両親の許可を得ることが必要となるだろう。

## 8 天才レオナルド・ダ・ヴィンチ

Five hundred years ago, a young man went to Florence, Italy to study art. At that time many of the world's great artists lived there. The man was strong and handsome, and he was quite (1)talented in many things, such as painting, drawing, and making statues. He also sang and played musical instruments skillfully. The man was Leonardo da Vinci. Before long, (2)people were talking about him, believing he (3)would become the greatest artist in Florence.

One day, people heard that he had started a painting for a church. (4)Despite their expectations, however, (5)it went slowly, because Leonardo carefully (6)examined everything he wanted to draw: for example, if he wanted to draw a person, he had to know what a person's muscle were (7)( ) under the skin, and what the bones were (7)( ) under the muscles. In his notebooks, he made (8)(a hundred, hundred, hundreds) of drawings of everything around him, from mountains and swamps (9)( ) the sun and stars. Soon (10)people began to shake their heads, saying that Leonardo could do everything but he would never do anything.

When Leonardo died at the age of seventy-five in 1519, (11)he left only a few paintings, although (12)(been / finished / had / most of them / not). Yet, two of the finished ones — *Mona Lisa* and *The Last Supper* — have attracted art fans of the world to this day.

Leonardo also left a great many notebooks filled (13)( ) drawings and notes. Strangely, however, the notes were written in a language that no one could read, and his sketchbooks contained strange drawings that (14)no one could make out. Then one day, an Italian scholar made a sensational discovery about Leonardo's (15)curious notes. They had not been written in a strange language after all. (16)Instead the writing was backward! They had to be read with a help of a mirror.

Some of the strange drawings in the notebooks were for the inventions that he (17)(came, caught, kept, put) up with as he watched the birds in flight. He had made drawings of aircraft, parachutes, and even prototype helicopters. (18)Moreover, his notebooks contained drawings of a machine to cool the air, cars, and even machine guns and tanks. Just imagine that five hundred years ago, there lived a man who invented (19)such new ideas, many of (20)(that, what, which) are part of the world we live in today.

### 設問

(1)(6)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(1) 1. equivalent 2. famous 3. gifted 4. popular

(6) 1. looked after 2. looked down on 3. looked into 4. looked up to

(2)下線部を、He を主語にした受動態の文に書き換えよ。

(3)下線部と同じ意味・用法の would を含む文を次から選べ。

1. Would you please open the window?

2. He told me that it would not rain the next day.

3. If I had not had his advice, I would not have succeeded.

4. Though we tried to persuade her, she would not listen to us.

5. I would often go to the park when I was young.

(4)(14)(18)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(4) In ( ) of their expectations

(14) no one could ( )

(18) In ( )

- (5)下線部を、it の具体的内容を明示して和訳せよ。  
 (7)空所に与えられた文字で始まる共通の適語を入れよ。  
 (8)(17)(20)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。  
 (9)(13)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。  
 (10)下線部にあらわれる人々の気持ちとして正しいものを次から選べ。  
 1. レオナルドの描く絵が彼らの期待以上にすばらしく、思わずうなずかざるをえなかった。  
 2. レオナルドの描く絵はあまりにすばらしく、嫉妬の炎が燃え上がった。  
 3. レオナルドの描く絵はすばらしいのだが、あまりに1枚の絵に時間をかけすぎる彼のやり方には必ずしも賛同できなかった。  
 4. レオナルドの描く絵は、描けば描くほどどんだんだめになり、失望した。  
 (11)下線部のような状態となった理由を日本語で説明せよ。  
 (12)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。  
 (15)下線部と近い意味の1語を本文中より選べ。  
 (16)下線部を、Instead および backward の具体的内容を明示して和訳せよ。  
 (19)下線部の具体例のうち2つを本文中より選び、日本語で答えよ。  
 (21)本文の内容と一致するように次の空所にあてはまる語句を選べ。  
 (A) When Leonard came to Florence, people thought he would (      ).  
 1. never amount to much      2. sell his notebooks  
 3. become a great painter      4. invent aircraft  
 (B) Leonardo's painting for a church went slowly because he (      ).  
 1. was too poor to buy paints      2. spent much time examining things  
 3. lost his interest in his pictures      4. didn't know what to draw  
 (C) Because his notebooks were written backward, (      ).  
 1. no one could read them at first      2. they contained many inventions  
 3. no one bothered with them      4. they were burned as useless  
 (D) Some of the drawings in the notebooks were of (      ).  
 1. *Mona Lisa* and *The Last Supper*.      2. refrigerators and TV sets  
 3. violins and pianos      4. aircraft and parachutes  
 (E) This passage tells us that Leonardo da Vinci (      ).  
 1. invented a new language      2. wasted a lot of his time  
 3. died too young      4. was an artist of great talent  
 (22)第2音節にアクセントのある語を次から選べ。  
 1. contain      2. helicopter      3. instrument      4. talent

### Further Expressions

#### 〈才能〉

Leonard was **talented** [gifted] in many things. 【才能がある】

Leonard had a **talent** [gift] for many things.

Leonard had a **genius** for many things. 【才能】

Leonard had the **ability** for many things. 【天賦の才能】

Leonard was a **man of many abilities**. 【多才な人】

#### 〈理解する〉

People could not **understand** his strange paintings. 【理解する】

People could not **comprehend** his strange paintings.

People could not **make out** his strange paintings.

People could not **figure out** his strange paintings.

People could not **make head or tail of** his strange paintings.

## 解答

(1)3 (2)He was being talked about by people (3)2 (4)spite (5)レオナルドの絵を描く作業は遅々として進まなかった。(6)3 (7)like (8)hundreds (9)to (10)3 (11)描く前に描こうとしているものを丹念に調べようとしたため、作品の作成がほとんど進まなかったから。(12)most of them had not been finished (13)with (14)understand (15)strange (16)その文章は奇妙な言語で書かれていたのではなく、逆さに書かれていたのである。(17)came (18)addition (19)飛行機・パラシュート(他の解答は解説を参照) (20)which (21)(A)3 (B)2 (C)1 (D)4 (E)4 (22)1

## 解説

- (1)be talented = be gifted 「才能のある」 be gifted は、「(神から才能を)贈られる」というところから「天賦の才能のある」という意味となった。equivalent は「同等の」
- (2)過去進行形の受動態は was[were] being +過去分詞 で書ける。
- (3)people were talking about him, believing he would become the greatest artist. 「人々は、彼(レオナルド)が最も偉大な芸術家になるだろうと信じて、彼についてうわさしていた」この would は、過去の時点からの未来をあらわす用法(時制の一致の際によく用いられる)である。(believing は分詞構文で、主語は people) つまり、he will be the greatest artist. 「彼は最も偉大な芸術家になるだろう」と people believed 「人々は信じた」をつなげるために、will be は believed の時制(過去)に合わせて would be (will の過去)となる。他の選択肢は 1 が依頼、3 が仮定法、4 が意志、5 が過去の習慣である。

### would の用法 (例文の番号は選択肢に対応)

丁寧な表現

1. Would you please open the window? 窓を開けていただけますか?【依頼】  
It would seem difficult for me to go there. 私がそこへ行くのは難しいと思われます。【控えめ】  
I would like to come to your party. パーティーにはぜひ伺いたく存じます。【希望】  
過去の時点からの未来
2. He told me that it would not rain the next day. 彼は明日雨が降らないだろうといった。  
仮定法
3. If..., I would have not succeeded. もし...だったら、私は成功していなかっただろう。  
過去の強い意志 : 「~しようとした」
4. She would not listen to us. 彼女は私たちに聞く耳を持つとしなかった。  
過去の習慣 : 「よく~したものだ」
5. I would often go to the park. 私はよくその公園に行ったものだった。  
現在の推量 : 「~かもしれない、~だろう」
- That would be fine. それでよいだろう。

- (4)despite A = in spite of A 「A にもかかわらず」
- (5)it は下線部の直前にある a painting for a church 「教会のための絵画」を指す。go はここでは「(仕事などが)進む・はかどる」の意味。go slowly で「ゆっくりと進む・はかどらない」となる。
- (6)examine = look into 「調べる」 look after = take care of 「世話する」 look down on = despise 「見下す、軽蔑する」 look up to = respect 「尊敬する」
- (7)like 「~のような」 what A is like 「A はどんな様子であるか」 what a person's muscle were like 「ヒトの筋肉はどのようであるか」 what the bones were like 「ヒトの骨はどのようであるか」
- (8)hundreds of A 「何百もの A」 cf. thousands of A 「何千もの A」 hundred は 200 や 300 などの数詞のときには、複数形とはならないことにも注意。ex. three hundred apples 「300 個のりんご」
- (9)from A to B 「A から B まで」 from mountains and swamps to the sun and stars 「山々や湿原から太陽や星々まで」
- (10)people began to shake their heads 「人々は頭を振りはじめた」直後の saying that Leonardo could do everything but he would never do anything. 「(人々は)言った。レオナルドは何でもできるのに、まったく何もやろうとしないのだ」から、完璧主義なレオナルドの進まぬ仕事ぶりにしびれを切らせていたことがわかる。
- (11)第 2 段落の it went slowly, because Leonardo carefully examined everything he wanted to draw. をまとめる。ポイントは 2 点 描く対象を丁寧に観察した それゆえ作品の作成が進まなかった。
- (12)過去完了形の受身の否定文は had not been + 過去分詞である。not の位置に注意。them は paintings を指す。
- (13)(be) filled with A 「A で満たされている」 notebooks filled with drawings and notes 「スケッチ

とメモで満たされたノート」

(14) make out = understand 「わかる、理解する」

(15) curious = strange 「奇妙な」

(16) instead は前の文全体を受けている。backward は「後ろ向きに・逆に」次の文に、「鏡の助けを借りて読まれなければならない」とあるので、文字が左右逆に書かれていたことがわかる。ちなみに、レオナルドが鏡文字を書いていたのは有名な話で、なぜそういう文字を書いたのかはいまだに謎とされる。

(17) come up with A 「A を思いつく」 = hit upon[on] A

(18) moreover 「さらに・加えて」 = in addition

(19) < 解答 > に挙げた以外では、ヘリコプターの原型・空気冷却機・自動車・機関銃・戦車、がある。

(20) 関係代名詞 which の非制限用法。先行詞は ideas。that に非制限用法はない。what は先行詞を含む関係代名詞なので不可。訳すときは which の前を訳し終えてから、適当な接続詞でつなぎ、which 以下を訳すとよい。

(21)(A) 第 1 段落後半より 3。amount to much 「多くに達する」

(B) 第 2 段落より 2。too poor to buy paints 「絵の具を買うには貧しすぎる」 spend much time ~ing 「~することに多くの時間を費やす」 lose interest in A 「A に対する興味を失う」 know what to 不定詞 「何を~するべきか知っている」

(C) 第 4 段落より 1。no one could read them at first 「最初は誰も読めなかった」 bother with A 「(自動詞では) A で思い悩む、(他動詞では) A で困らせる」 they were burned as useless 「役に立たないものとして、(ノートは) 燃やされた」

(D) 第 5 段落より 4。refrigerator 「冷蔵庫」

(E) この文章はレオナルド・ダ・ヴィンチの芸術家としてのすばらしさを述べているので 4。of + 抽象名詞 = 形容詞。an artist of great talent 「とても才能のある芸術家」

(22) そのほかの選択肢はすべて第 1 音節にアクセントがある。

## 全文訳

500 年前、ある青年が芸術の勉強をするため、イタリアのフィレンツェ（英語名フローレンス）へ行った。当時、世界中の偉大な芸術家たちの多くがそこに住んでいた。その青年は強く、ハンサムだった。そして彼は、絵画、デッサン、彫刻など、多くのことにとてもすばらしい才能を有していた。彼はまた、歌や楽器の演奏も巧みであった。その男の名は、レオナルド・ダ・ヴィンチ。まもなく、人々は彼がフィレンツェでもっとも偉大な芸術家になると信じ、うわさしあった。

ある日、人々は彼が教会のために絵を描き始めたこと聞いた。しかしながら、人々の期待とは裏腹に、レオナルドは彼が描きたがっていたすべてのものを慎重に調べたので、作業は遅々として進まなかった。たとえば、人を描こうとするなら、皮膚の下の筋肉はどのようになっているのか、あるいは、筋肉の下の骨はどのようであるのか、知らなければならなかった。彼はノートに、山々や湿原から太陽や星々まで、彼の周りにあるすべてのもののデッサンを何百も描いた。すぐに、人々は頭を振るようになった。レオナルドは何でもできるのに、まったく何もしようとしない、と言って。

レオナルドが 1519 年に 75 歳で死んだとき、ほとんどの絵は描き終わらなかったが、いくつかの絵だけは残った。しかし、ふたつの完成された絵 - 『モナリザ』と『最後の晩餐』 - は、世界の芸術愛好者を今日まで魅了しつづけている。

レオナルドはまた、スケッチとメモで満たされた多くのノートを残した。しかしながら、奇妙なことにメモはだれも読むことができない言語で書かれており、彼のスケッチブックにはだれも理解することができない奇妙なスケッチが含まれていた。そしてある日、イタリアの学者がレオナルドの奇妙なメモについて世間を驚かせる発見をした。それらは奇妙な言語で書かれたのではまったくなかったのだ。そうではなく、反対に書かれていたのだった！ それらは鏡の助けを借りて読まれなければならなかった。

ノートの奇妙なスケッチのいくつかは、彼が飛んでいる鳥を見たときに思いついた発明品のためのものであった。彼は航空機、パラシュート、さらにはヘリコプターの原型のスケッチまでも作った。そのうえ、空気を冷却する機械、車、そして機関銃や戦車のスケッチまで彼のノートには含まれていた。ちょっと想像してみたらどうだろう。500 年前、そのような新しいアイデアを発明した男が生きていた。そして、その多くのアイデアが今日わたしたちの住む世界の一部になっている。そんなことを。

## 9 光と色の関係

If someone (1)(are, is, was, were) to say the word *color* to you, what would you think about? Would you think about your favorite color? Would you think about your least favorite color? Would you think about color television or color movie? What else would you think about?

Most people would agree that color is very important in their life. (2)Color makes many things, such as flowers and paintings, look beautiful. Color makes many things, such as movies and television, fun to see. Color even helps keep people (3)(safe, safely). For example, color on traffic lights helps people to be careful when they are driving. (4)Bright-colored clothing on bicycle riders makes it easier for car drivers to see them. What are some other reasons (5)(how, what, which, why) color is important?

For many years, (6)people thought that things looked colorful because they had color in them. Around 1700, however, (7)an Englishman named Sir Isaac Newton proved that things look colorful because of the way light reflects them. But (8)in order to understand this, it is important to know something about what makes up light.

Newton held a (9)(peace, piece) of glass called a prism up to a window through which sunlight was shining. (10)Sunlight is often thought of as white light. (11)As he did this, he looked across the room. There he saw that the prism had bent the light into seven parts. Each part was a different color.

Then Newton held (12)(another, other, the other) prism in the path of the light which traveled from the first prism. When he looked across the room, (13)he no longer saw the seven colors. Newton found that the second prism had bent the light so that the colors mixed together. When the colors mixed, they formed white light. (14)(It, That, There, What) was then that Newton knew that (15)sunlight is made up of many colors.

The seven colors Newton found made up a band of side-by-side colors. This band is called a spectrum. The colors of the spectrum are red, orange, yellow, green, blue, indigo, and violet.

設問

(1)(3)(5)(9)(12)(14)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(2)(4)(8)下線部を和訳せよ。

(6)下線部について現在ではどのように考えられているか、本文の内容と一致するものを次から選べ。

1. Things look colorful because they have color in them.
2. Things look colorful because they don't have color in them.
3. Things don't look colorful because they have color in them.
4. Things don't look colorful because they don't have color in them.

(7)(10)(11)(13)(15)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(7) an Englishman ( A ) ( B ) was Sir Isaac Newton

(10) Sunlight is often ( ) upon as white light

(11) ( ) this, he looked across the room

(13) he did not see the seven colors ( A ) ( B )

(15) sunlight is ( ) of many colors

(16)ニュートンの行った2つの実験の方法と結果をそれぞれ日本語で説明せよ。

(17)ニュートンの実験から得られた結論を日本語で答えよ。

(18)発音の異なる組み合わせを次から選べ。

1. blue
  2. piece
  3. saw
  4. through
  5. way
- blew      peace      sew      threw      weigh

**Further Expressions**

**〈みなす〉**

Sunlight is often thought of as white light. 【みなす】

Sunlight is often looked on upon as white light.

Sunlight is often regarded as white light.

**〈構成する〉**

Sunlight is made up of many colors. 【構成される】

Sunlight is composed of many colors.

Sunlight consists of many colors. 【構成する】



## 解答

(1)were (2)全文訳参照 (3)safe (4)全文訳参照 (5)why (6)3 (7)(A)whose (B)name (8)全文訳参照 (9)piece (10)looked (11)doing (12)another (13)(A)any (B)more (14)It (15)composed (16)方法 太陽と部屋の壁の間にガラスの断片のプリズムを置き、太陽光が壁においてどのようになるか観察した。結果 太陽光は屈折し、7つの異なる色の層に分かれた。方法 ひとつのプリズムを通った光をもうひとつのプリズムを通して結果を観察した。結果 屈折によって、7つに分かれた色の層はまた混ぜ合わされてもとの白光に戻った。(17)物質の色は光の反射の仕方によって変わり、光は多くの色の層から成り立っている。(18)3

## 解説

- (1)If S were to...「もしSが...したとしたら」コンマの後の節で動詞が would think となっていることから仮定法過去の文だとわかる。if節内で were to 不定詞が出てきたら、未来のことを仮定している。仮定法なので、主語が単数でも were を使う。
- (2)color makes many things...look beautiful「色は多くのものを美しく見えるようにする」make + A + 動詞の原形「Aに...させる」使役構文。Aにあたるものは many things、動詞にあたるものは look である。look 形容詞「～に見える」 such as「～のような」

### 使役動詞のいろいろ

make

< make + 目的語 + 原形 > : 「...に～させる」(人が主語の場合は強制的、物事の場合は非強制的)

He made me go. 彼は私に行かさせた。

< make + 目的語 + 過去分詞 > : 「...を～にする」

I couldn't make myself understood to them in English. 彼らに私の英語は通じなかった。

(私は、英語で彼らに私自身を理解されるようにすることはできなかった。)

let

< let + 目的語 + 原形 > : 「自由に～させておく」

My mother let me go. 母は私を行かせてくれた。

Let us = Let's 「～しよう」

Let's play tennis together. 一緒にテニスをしよう。

have

< have + 目的語 + 原形 > : 「(人)に～させる、～してもらう」

I must have him help me with my homework. 彼に私の宿題を手伝ってもらわねばならない。

< have + 目的語 + 過去分詞 > : 「(事)を～してもらう」

I had my computer repaired. 私はコンピューターを直してもらった。

< have + 目的語 + 現在分詞 > : 「(人)に～させる」

My wife will have me cleaning my room. 妻は私に部屋の掃除をさせるだろう。

get

< get + 目的語 + to 不定詞 > : 「(人)に～させる」(原形ではなく、to 不定詞であることに注意)

He got his wife to mend his shirt. 彼は奥さんにシャツを縫ってもらった。

help

< help + 目的語 + 原形[to 不定詞] > : 「(人)が～するのを助ける」

My brother helps me [to] do my homework. 兄は私の宿題を手伝ってくれる。

(3)keep + A + 形容詞「Aを...に保つ」keep people safe「人々を安全に保つ」

(4)Bright-colored clothing...makes it easier for car drivers to see them「明るい色の服は、車の運転手が彼らを見つけるのをより容易にする」itは仮目的語で、to see themを指す。themはbicycle riders。make A 形容詞「Aを～にする」SVOCの構文である。

(5)a reason why S V「～である理由」whyまたはa reasonは省略可能。some other reasons why color is important「色が大切なほかの理由」

(6)look 形容詞「～に見える」look colorful「色があるように見える」理由は第3段落 because of the way light reflects them「光がどのようにそれら(物質)を反射するか」つまり、they had color in them「それ(物質)自身の中に色が存在する」わけではない。S not V...because S V「...だから～というわけではない」3.Things don't look colorful because they have color in them.「その中に色があるから色があるように見えるのではない」が適当。2.は「色を持っていないから色があるように見え

- る」なので不適。
- (7) named A「A と名づけられた」 whose name is A「名前が A である」
- (8) in order to 不定詞「～するためには」 it is 形容詞 to 不定詞「...するのが～だ」 what makes up light「光を構成するもの」 what は先行詞を含む関係代名詞。 make up「構成する」
- (9) a piece of glass「一片のガラス」 peace「平和」
- (10) Sunlight is often thought of as white light「日光はよく白光として考えられている」 look on[upon] A as B「A を B とみなす」ともに as は「～として」の意味。
- (11) As he did this, he looked across the room. = Doing this, he looked across the room. 前半と後半で主語が同じ場合の分詞構文。
- (12) another「もうひとつの(単数)」 other「他の(複数)」 the other「他のすべての(単数・複数)」
- (13) no longer = not...any more「もはや」
- (14) It was then that S V「～したのはその時だった」 It was then that Newton knew
- (15) be made up of A「A から成り立つ」 = be composed of A = consist of A
- (16) 一つ目の実験が第 4 段落に、二つ目の実験が第 5 段落に説明されている。一つ目の実験では Newton held a piece of glass...he looked across the room までが実験の方法で、その結果が There he saw...である。bent は bend の過去分詞で「(光を)屈折させる」二つ目の実験は Then Newton held...which traveled from the first prism が実験の方法、Newton found...they formed white light がその結果である。the second prism had bent the light so that the color mixed together. 「二番目のプリズムは光を屈折させたために色が混ざった」 so that はここでは結果を表す。
- (17) 2 つの実験によって、第 3 段落にあるように things look colorful because of the way light reflects them「物が色を帯びて見えるのは光が物に反射する仕方に原因がある」ことが証明され、さらに第 5 段落の最後にあるように sunlight is made up of many colors「日光は多くの色から成り立っている」ということを発見した。物の色は光の反射によって変わり、その光は多くの色でできている、という 2 つの点を押さえる。
- (18) saw「見る」の過去形の発音は[sɔ:], sew「縫う」の発音は[sou]よって、3 が異なる。

## 全文訳

もし誰かがあなたに「カラー」という単語を言ったら何を思い浮かべますか。好きな色ですか。嫌いな色ですか。カラーテレビやカラー映画ですか。他に何を思い浮かべますか。

ほとんどの人が色は生活の中で非常に重要だということに同意するでしょう。(2)色は花や絵などの多くの物を美しく見せます。色は映画やテレビなどの多くの物を、見ていて面白くします。色は人々を安全にするのを助けさせます。たとえば信号の色は人々が運転しているときに注意深くなるのを助けます。(4)自転車に乗っている人々の明るい色の服は、車の運転者が彼らを見るのを容易にします。色が重要であるほかの理由は何でしょうか。

長い間、人々は物が色を帯びて見えるのは物がそれ自体の中に色を持っているからだと考えていました。ところが 1700 年頃、サー・アイザック・ニュートンという名のイギリス人は、物が色を帯びて見えるのは光が物に反射する仕方に原因があるということを証明しました。しかし(8)これを理解するためには光を構成しているものについて知ることが重要です。

ニュートンは日光が降り注ぐ窓にプリズムと呼ばれるガラス片を掲げました。日光はしばしば白い光だと考えられています。彼はこのようにした上で、部屋の反対側を見ました。そこで彼はプリズムが光を七つの部分に曲げているのを見ました。それぞれの部分は異なった色でした。

そしてニュートンはもうひとつのプリズムを初めのプリズムから出ている光の通り道に置きました。彼が部屋の反対側を見たときもう七つの光は見えませんでした。ニュートンは二番目のプリズムは色が混ざるように光を曲げたということに気づきました。色が混ざるとそれらは白い光を形成しました。ニュートンが日光は多くの色から成り立っていることを知ったのはこの時です。

ニュートンが見つけた七つの色は隣り合う色の帯を作りました。この帯はスペクトルと呼ばれます。スペクトルの色は赤、橙、黄、緑、青、藍、紫です。

## 10 コミュニケーションの速度

An important part of the history of the world is the history of communication. In prehistoric times, people had limited knowledge of the world. They had (1)(a few, a little, few, little) information about (2)(geography, geology, geometry), the study of the Earth. People knew very little beyond their small groups (3)( ) what was happening near their homes. Later, people organized into villages, and verbal communication between little towns was possible. Still the people were limited because they had no outside information. Kingdoms and small countries then developed, with a king (4)(direct, directed, directing, directs) the people. Cities developed, too, but still communication was limited to the small geographical area of the country. Much later in history, after the invention of the printing press, many more people learned to read, and communication was improved.

In this modern age, communication is so fast that it is almost instant. People's lives have been changed (5)because of the immediate spread of news. Sometimes, the speed is so rapid that it does not allow people time to think. For example, leaders of countries have only minutes, or at (6)(least, most) hours, to consider all parts of a problem. They are expected to answer immediately. Once they had days and weeks to think before making decisions.

The speed of communication means that all people of the world have a new responsibility. People in different countries must try harder to understand each other. An example is that people with different religions must try to understand each other's beliefs and values (7)( ) they do not accept them. Sometimes their cultures are quite different. (8)(a normal part of life / another culture / considers / is / one group / strange to / what). In some cases, a normal part of one culture might be bad or impolite to the other people. (9)That kind of difference is possibility for misunderstanding. (10)People must learn not to judge others, but to accept them as they are. Then understanding between cultures can be better. Misunderstanding can be (11)(achieved, avoided).

Misunderstandings as a result of the increase in rapid or fast communication can cause serious problems. (12)( ), communicating between or across cultures is important. Better cross-cultural communication is necessary for peace in the world. (13)As the world grows smaller, people must learn to talk to each other better, not just faster.

設問

(1)(2)(4)(6)(11) カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(3)(7)(12) 空所にあてはまる適切な語句を次から選べ。

(3) 1. except 2. in 3. of 4. with

(7) 1. as though 2. even if 3. in case 4. now that

(12) 1. Besides 2. However 3. Nevertheless 4. Therefore

(5) 下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

because news spread at ( )

(8) 次の意味になるように、カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

「ある集団が生活のごく普通の一部であると考えるのが、別の文化にとっては奇妙である」

(9) 下線部を、That kind の具体的内容を明示して和訳せよ。

(10)(13) 下線部を和訳せよ。

(14) 本文の内容と一致しないものを次から選べ。

1. In the past, leaders of the countries had a very long time to think before making decisions.

2. Rapid communications has changed people's lives.

3. Cultures and religions are different around the world.

4. It is easy for people from different cultures to understand each other.

(15) 本文全体を 80 字以内の日本語で要約せよ。

(16) 次の各語のアクセントのある音節を選び。

(A) mod-ern (B) im-me-di-ate (C) re-li-gion (D) com-mu-ni-cate

1 2 1 2 3 4 1 2 3 1 2 3 4

(E) nec-es-sar-y

1 2 3 4

**Further Expressions**

**《引き起こす》**

Rapid communication often causes misunderstandings. 【引き起こす】

Rapid communication often results in misunderstandings.

Rapid communication often brings about misunderstandings.

Rapid communication often leads to misunderstandings.

Rapid communication often gives rise to misunderstandings.

Rapid communication often gives birth to misunderstandings.

**《すぐに》**

Leaders must answer immediately. 【ただちに】

Leaders must answer at once.

Leaders must answer right away.

## 解答

(1) little (2) geography (3) 1 (4) directing (5) once (6) most (7) 2 (8) What one group considers a normal part in life is strange to another culture (9)ある文化にとって普通なことが他の文化にとって悪かったり失礼だったりするという類の差異は、誤解をもたらす可能性がある。(10) 全文訳参照 (11)avoided (12) 4 (13) 全文訳参照 (14) 4 (15)昔に比べてコミュニケーションは非常に迅速になったが、現代ではそれによって生じる重大な誤解を避けるために、他の文化をよりよく理解するよう努めることが重要である。(79字) (16)(A)1 (B)2 (C)2 (D)2 (E)1

## 解説

(1)information は数えられない名詞なので、few は使えない。直前の文に「限られた知識しか持っていなかった」とあるので、a little「少しの」より、little「ほとんどない」の方が適当。  
(2)geography「地理学」 geology「地質学」 geometry「幾何学」 the study of the earth「地球の研究」

### 語源 geo

geo はギリシア語を語源とし、「土地、地球」という意味。

geography は、geo(土地) + graph(書く)から「土地のことを記したもの」「地理学」

geology は、geo(地球) + logy(logos ことば 学問)から「地球に関する学問」「地質学」

geometry は、geo(土地) + metry(計測・「メートル」も同語源)から「土地を測量すること」「幾何学」

(3)空欄の前に「自分たちのグループを超えることはほとんど知らなかった」とあり、その後に「家の周りで起こっていること」とあるので、家の周りで起こっていることを除いては知らなかったのだろうと推測できる。実際に確かめてみても、他の単語を入れると意味の通る文にはならない。  
(4)withがあるので、a king 以下は名詞句でなければいけない。従って、形容詞的な意味になるように現在分詞の directing を選ぶ。direct は動詞の形が主語と合わず、directed は the people の前に by がないので意味が通じない。  
(5)immediate「即座の」(immediately「すぐに」) at once「すぐに」(「同時に」という意味もある)  
(6)at least「少なくとも」 at most「多くても」空欄の前後は、「何分間か、あるいは(多くても・少なくとも)何時間か」 minutes と hours では hours の方が長いので「多くても」となるように most を選ぶ。  
(7)as though S V「まるで...であるかのように」 even if「たとえ...でも」 in case「(英)...だと困るので、...の場合に備えて」(「米)もし...ならば」 now that「もはや...なのだから」 understand「理解する」と accept「受け入れる」の関係を考えると、even if を入れて、「たとえ受け入れないにしても理解しようと努めなければならない」とするのが適当。

### as if と even if

< as if + 仮定法 > : 「まるで~のように」 \* as though も使う

She looks as if she was ill. 彼女はまるで病気のようなのだ。

< even if > : 「たとえ~でも」 \*「~」の内容が現実にもそうである場合は、even though を使う。

I'll go out even if it rains. たとえ雨が降っても、私は外に出る。

I'll go out even though it rains. たとえ雨が降っていようが(実際雨は降っている) 私は外に出る。

(8)what は先行詞を含む関係代名詞。consider A B「AをBだと考える」  
(9)That kind of difference is possibility for...「このような種類の違いは...をもたらす可能性がある」 misunderstanding「誤解」 this kind of difference は、前の文を指す。  
(10)learn not to A but to B「AではなくBすることを学ぶ」 as they are「そのままに」  
(11)besides「そのうえ」 however「しかしながら」 nevertheless「それにも関わらず」 therefore「それゆえ」 直前の文との関係を考えて、「誤解は深刻な問題を引き起こす。それゆえコミュニケーションすることが重要だ」とするのが適当。  
(12)achieve「成し遂げる、達成する」 avoid「避ける」 文化間の相互理解が進むと misunderstanding「誤解」は avoid「避ける」ことができる。  
(13)as + 比較級「...になるにつれて」 as the world grows smaller「世界がより小さくなるにつれて」 talk to each other「お互いに話す」 better, not just faster「ただはやいだけでなく、よりよく」  
(14)1.「かつて、国のリーダーたちは、決断する前に考える時間がたっぷりあった」 第2段落最後。 once「かつて」 = in the past 2.「高速のコミュニケーションは人々の生活を変えた」 第2段落最初。 3.「世界中で、文化や宗教は異なる。」 第3段落。 4.「違う文化の出身の人々が互いに理解することは簡単だ。」 異文化理解の難しさと必要性は、この文章の主題のひとつなので不適。

(15)現代においてコミュニケーションは極めて速くなってきていること(第2段落)、それによって様々な人間が接する機会をもつようになり、文化の異なる人同士の間にも誤解が生まれるかもしれないという問題点(第3段落)、その問題を克服するために、よりよく異文化を理解することが重要であること(第4段落)、という3つの点を押さえまとめる。

- (16)(A)módern「現代の」
- (B)immédiate「即座の、直接の」
- (C)religion「宗教」
- (D)commúnicate「知らせる、情報を伝えあう」
- (E)nécessary「必要な、必然の」

## 全文訳

世界の歴史の中で重要な部分のひとつが、コミュニケーションの歴史である。有史以前の時代では、人々は世界について限られた知識しか持っていなかった。地理学、つまり地球に関する研究に関する情報がほとんどなかったのだ。人々は、自分たちの小さな集団を越えることを、家の近くで起こっていたことを除いてはほとんど知らなかった。その後、人々は村へと組織化し、小さな町間の言語コミュニケーションが可能になった。それでもまだ、外部の情報を持たなかったので人々は制限されていた。その後、王が人々を指図して、王国や小さな国々が発展した。都市も発展したが、それでもなお、コミュニケーションは地方の小さな地理的なエリアに制限されていた。ずっと時代が下って、印刷機の発明の後に、さらに多くの人々が読むことを学び、コミュニケーションは進歩した。

現代では、コミュニケーションは非常に迅速なので、ほとんど瞬間的だ。人々の生活は、ニュースが一瞬で広まるようになったことで変化した。速度が速すぎて、人々に考える時間を与えないこともある。たとえば、国のリーダーは問題のあらゆる面を考慮するために、何分間か、あるいはせいぜい何時間かしか持っていない。ただちに答えを出すことを期待されているのだ。かつては、決定を行う前に、何日、何週間という時間があった。

コミュニケーションの速さは、世界中の人々が新しい責任を負っていることを意味する。異なる国の人々は、いっそう理解し合おうとつとめなければならない。たとえば、異なる宗教を持った人同士が、たとえ自分はそれを受け入れないとしても、互いの信仰や価値観を理解しようとしなければならないということだ。それぞれの文化がまったく異なることもある。ある集団が生活のごく普通の一部であると考えられるものが、別の文化にとっては奇妙なこともある。場合によっては、ひとつの文化の正常な部分が、その他の人々には不道徳であったり無作法であったりするかもしれない。このような違いは誤解を生む可能性を持つ。人々は、他人を判断するのではなくあるがままに受け入れることを学ばなければならない。そうすれば、文化間の理解がよりよいものになり得る。誤解は、回避できる。

迅速なコミュニケーションが増加した結果生まれる誤解は、重大な問題を引き起こす。したがって、文化間の、あるいは多文化に渡るコミュニケーションは重要だ。世界の平和のためには、異文化間のよりよいコミュニケーションが必要だ。世界が小さくなっていくとともに、人々は互いに、単により速くだけでなく、よりよく話をすることを学ばなければならない。

## コラム 語源研究

### 接頭辞 AB

【語源】ラテン語の前置詞 ab「...から(離れて)、...によって」を語源とする。m・p・vの前では a、c・tの前では abs となることもある。aborigine は、ab(から)+origine(期限、初め)「はじめから(いる人たち)」「原住民」で、特にオーストラリアの原住民(アボリジニー)を表すこともある。英語では away のイメージ。

### 【単語】

- ・abduct ab(離れて) + duct(導く) 「どこか離れたところへ導く(=誘拐する)」
- ・abnormal ab(離れて) + normal(ふつう) 「ふつうから離れている(=異常な、例外的な)」
- ・abort ab(離れて) + ort(のぼる) 「生まれる(のぼる)ことから離れる(=流産する、中絶する)」
- ・abrupt ab(離れて) + rupt(破れる) 「(ゴムの両端を引き離すと)ぷちんと切れる(=突然の)」
- ・absent ab(離れて) + sent(存在する) 「(ことは)離れたところに存在する(=不在の、欠席の)」
- ・absolute ab(から) + solute(解き放つ) 「...から解き放たれた(=完全な、絶対の)」
- ・absorb ab(離れて) + sorb(吸う) 「(あるもの)から吸いとる(=吸収する)」
- ・absurd ab(から) + surd(耳の聞こえない) 「...から耳の聞こえない(=常識に反した、ばかげた)」
- ・abstract abs(離れて) + tract(引く) 「(具体的なもの)から引き離された(=抽象的な)」
- ・abuse ab(離れて) + use(使う) 「(本来の用法)から離れて使う(=濫用する、悪用する)」

### 第3章 前置詞を選択する

#### 11 I'm sorry と Excuse me

It is important to know when and (1)( ) what circumstances to use the expressions “I’m sorry” and “Excuse me”.

The most common usage is to show that you are in the wrong. Let’s say (2)you shove someone by accident. You would at once say “Sorry” or “Excuse me”. This shows that you recognize that shoving someone is wrong. “I’m sorry” means “(3)I wish I hadn’t done it.”

“I’m sorry” is also used to show sympathy over a sad piece of news, perhaps that someone is ill or has been injured in an accident. It has nothing to do (4)( ) an apology.

(5)The following situation will illustrate how “I’m sorry” and “Excuse me” are used. X goes into a restaurant, but there are no empty tables. At one table there are three chairs, but only one is (6)occupied. They are the only two (7)vacant chairs in the restaurant, so X goes over to the table and says to the person (8)(seat, seating, sit, sitting) there, “Excuse me. (9)Do you mind if I sit here?” He would not say, “I’m sorry, may I sit here?”, for he has done nothing wrong.

The person may reply, “(10)( )”, and offer X the seat. However, he may reply with, “I’m sorry but I’m waiting for some friends.” He says “I’m sorry” because he has deprived X (11)( ) the use of the seat though, in fact, he has no (12)right to do so. Thus, he needs to explain to X (13)why he will not let him sit there (“I’m waiting for friends.”).

A seat opens up and X sits down. The waiter brings X a glass of water, but X knocks it over by accident and apologizes, “I’m sorry.”

The Japanese do not use expressions corresponding to “I’m sorry” to show sympathy. However, they tend to say “Excuse me” or “I’m sorry” even if they haven’t been in the wrong.

Americans will use “I’m sorry” in serious situations. For example, if one hears that a friend has been seriously injured in an auto accident, one will say, “I’m so sorry that you (14)(hurt, were hurt).” This shows deep sympathy. If the person caused the accident by running a red light, he is unlikely to reply, “I’m so sorry that I ran that light.” This is because the words might come back to haunt him if he were (15)sued later on. (16)He does not say “I’m sorry” because it would indicate his responsibility for causing the accident.

(17)The Japanese are quick to apologize because they expect their apology to be returned (“Excuse me.” “No, it was my fault.”). Americans apologize only when they feel that they are in the wrong.

設問

(1)(4)(11)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(2)下線部と反対の意味になるように次の空所に適語を入れよ。

you shove someone on ( )

(3)下線部と近い意味の文を次から選べ。

- 1. I hope that I shove you    2. I hope that I don't shove you
- 3. I regret that I shoved you    4. I regret that I didn't shove you

(5)(16)(17)下線部を和訳せよ。

(6)(7)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- 1. broken    2. empty    3. given    4. taken

(8)(14)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(9)(13)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

- (9) Do you mind ( A ) ( B ) here?
- (13) why he will not ( ) him to sit there

(10)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

- 1. Yes, of course    2. Certainly    3. Not at all    4. Yes, I do

(12)下線部の反意語を答えよ。

(15)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- 1. accused    2. apologized    3. injured    4. killed

(18)本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。

- 1. "Excuse me" can be used in the same situation as "I'm sorry."
- 2. Americans will use I'm sorry only if they feel that they are in the wrong.
- 3. The Japanese are likely to say "I'm sorry," whether they have done something wrong or fault.
- 4. X says "I'm sorry" for knocking over a glass of water, because he recognizes that it is his fault.

(19)英語で"I'm sorry"が相手に謝る意味以外で使われるのはどのような場合であるか、20字以内の日本語で答えよ。

(20)アメリカ人の"I'm sorry"と日本人の「ごめんなさい」の違いについて日本語で説明せよ。

(21)次の各語のアクセントのある音節を選べ。

- (A) cir-cum-stance    (B) a-pol-o-gize    (C) in-di-cate    (D) re-spon-si-bil-i-ty
- 1    2    3                    1 2    3    4                    1    2    3                    1    2    3 4    5 6

**Further Expressions**

**〈したい〉**

I would like to sit here. 【～したいのですが】 【どうぞ】  
 May [Can, Could] I sit here? - Certainly [Of course, By all means].  
 【～していいですか】 【どうぞ】  
 Do [Would] you mind if I sit here? - Certainly [Of course] not.  
 Do [Would] you mind my sitting here? - No, I don't.

**〈謝罪する〉**

He said to me, "I'm sorry." 【ごめんなさい】  
 He apologized to me for his failure. 【謝罪する】  
 He made [offered] an apology for his failure. 【謝罪】



## 解答

(1)under (2)purpose (3)3 (4)with (5)全文訳参照 (6)4 (7)2 (8)sitting (9)(A)my (B)sitting (10)3 (11)of (12)duty (13)allow (14)were hurt (15)(16)全文訳参照 (17)全文訳参照 (18)3,4 (19)悲しい知らせに対して同情の念を示すとき。(20字) (20)“I’m sorry”は自分に明らかに非があることを認めるときや相手に深い同情を示すときに使い、「ごめんなさい」は自分に非がなくても(人間関係の円滑化のため)相手の謝罪を引き出すことを期待して使われる。(21)(A)1 (B)2 (C)1 (D)4

## 解説

(1)under (these, normal) circumstances「これらの、普通の」状況下で under what circumstances to use the expression “I’m sorry”...「どのような状況下で「ごめんなさい」という表現を使うか」  
(2)by accident「偶然に」 on purpose「わざと」(= intentionally)  
(3)wish と一緒に使う仮定法過去完了「もしも(あのときに)～だったらなあ」の文。I wish I hadn't done it.「私がそれをしていなかったらよかった」=「私はそれをしたことを後悔している」1.「私はあなたを押すことを望む」2.「私はあなたを押すことを望まない」3.「私はあなたを押したことを後悔している」4.「私はあなたを押さなかったことを後悔している」1・2は hope が使われており未来のことを述べているのでふさわしくない。4 は「すべきだったのにしなかったことを後悔する」という逆の意味である。

### wish と仮定法

wish は仮定法過去や仮定法過去完了の if 節内の形と一緒に用いる。

wish + S + 過去形「(今)～であればなあ(仮定法過去)」

wish + S + 過去完了形「(過去)～だったらなあ(仮定法過去完了)」

#### 【例文】

I wish I had time.「(今)時間があればなあ」

I wish I had had time.「(あのとき)時間があつたらなあ」

(4)have something[nothing] to do with A「A と関係がある[ない]」 have nothing to do with an apology「謝罪と関係がない」  
(5)The following situation「次の場合、以下の状況」 illustrate「挿絵を入れる、説明する」  
(6)occupy「占領する・占める」= take  
(7)vacant「空の」= empty  
(8)the person は現在席に座っている状態(能動)なので現在分詞で修飾する。sit「座る」 seat「座らせる」

### 自動詞と他動詞で形が似ているもの

lie「横になる」 lay「(~を)横たえる」 rise「のぼる」 raise「(~を)上げる」 sit「座る」 seat「(~を)座らせる」

(9)Do you mind if S ~?「S が～すると気にしますか?、～してもいいですか?」= Do you mind S's ~ing? Do you mind my sitting here?「私がここに座ることを気にしますか?」  
(10)Do(Would) you mind ~?でたずねられた場合、相手の行為を承諾するときは否定形 No「気にしません」で答える。Not at all「ぜんぜん～ない」1、2 は直接的な依頼表現(please を用いた命令文など)を受けるときに使う。  
(11)deprive A of B「A から B を奪う」 分離の of。deprive X of the use of the seat「X から座席の使用を奪う」

### 分離の of

of には分離「～から...を離す」の用法があり、以下の熟語において典型的に現れる。

clear A of B「A から B を取り除く」、cure A of B「A の B(病気)を治す」、deprive A of B「A から B を奪う」、ease A of B「B を取り除いて A を楽にする」、relieve A of B「B を取り除いて A を安心させる」、rob A of B「A から B を(不法に)奪う」

They robbed him of all the money he had. 彼らは、彼の持っているお金をすべて奪った。

Cancer deprived the man of his voice. がんがその男から声を奪った。

You eased me of my suffering. 君は僕の悩みを取り除いてくれた。

(12)この right は「権利」の意味。よって、反意語は duty「義務」である。その他 right の反意語としては「右」に対する left「左」、 「正しい」に対する wrong「間違っている」がある。  
(13)let + 目的格 + 動詞の原形「自由に～に...させておく」(放任・許可) allow+目的格+to 不定詞「～に...することを許す」  
(14)hurt「傷つける、怪我をさせる」 よって「あなたが怪我を負われる」は you were hurt である。  
(15)sue「訴える」 if he were sued later on.「もしも彼が後で訴えられたとしたら」 accuse「訴える」

- であるから 1. accused が正解。2. apologized「謝罪される」 3. injured「けがする」 4. killed「殺される」
- (16) it は「I'm sorry と言うこと」を指す。would「～だろう」 indicate「...を指し示す、ほのめかす」 one's responsibility for ~ing「...の～したことに対する責任」 cause an accident「事故を起こす」
- (17) the Japanese「日本人」 be quick to 不定詞「すぐ～する」 apologize「謝罪する」 expect A to 不定詞「A が～するだろうと期待する」 they expect their apology to be returned「彼ら(日本人)は謝罪が返されるだろうと期待する」
- (18) 1. in the same situation as “I'm sorry”「I'm sorry と同じ状況で」 第 4 段落以降の例より I'm sorry と Excuse me の用法は異なるので不適。 2. only if they feel...「...と感じるときだけ」 they are in the wrong「彼らは誤っている」 第 3 段落より相手の同情を示す I'm sorry があるので不適。 3. be likely to「...しがちである」 whether they have done something wrong or fault「彼らが何か悪いことや誤りをなそうがなすまいが」 第 7 段落に一致。 4. for knocking over a glass of water「コップの水をひっくり返したために」 第 6 段落及びアメリカ人が謝るのは自分に非があるのを認めるときであることから適する。
- (19) 本文第 3 段落および第 7 段落を参照。ポイントは、to show sympathy「同情を示すこと」である。
- (20) アメリカ人にとって I'm sorry は excuse me と異なり、自分が悪いことをしたと感じたときに使うことが第 1 段落で述べられている。また、それだけではなく、I'm sorry は深い同情を示すときにも使われることが第 2 段落で述べられ、その後具体的に例を挙げて説明されている。一方で日本人の「ごめんなさい」については最後の段落で、たとえ自分に非がなくても使われるということが説明されている。それは because they expect their apology to be returned 「彼らは謝罪が返されるだろうと期待するから」、つまり謝罪によって人間関係を円滑にするためである。
- (21) (A) circumstance 「事情、状況」  
 (B) apologize 「わびる、あやまる」  
 (C) indicate 「指し示す」  
 (D) responsibility 「責任」

## 全文訳

いつ、どのような状況の下で「I'm sorry」と「excuse me」という表現を使うのかということを知ることは重要である。

もっとも一般的な用法は自分が悪かったことを示すことである。偶然にだれかを押ししてしまったと仮定しよう。すぐに「I'm sorry」か「excuse me」と言うだろう。これは人を押すことが悪いことだと認めることを示している。「I'm sorry」は、「私はそれをしなければよかった。」を意味する。「I'm sorry」はまた、誰かが病気になったり事故でケガをしたりといった悲しいニュースに同情を示すために使用される。それは謝罪と関係ない。

(5) 以下の状況は「I'm sorry」と「excuse me」がどのように使用されるのかを具体的に示すだろう。X はレストランに入るが、空いているテーブルがまったくない。あるテーブルには 3 脚のいすがあるが、1 つだけが使われている。レストランにはその 2 つ以外に席はない。そこで X はそのテーブルのところにいき、座っている人に言う。「すみません(excuse me)。ここに座ってもよろしいでしょうか。」彼は何も間違っていることをしていないので、「ごめんなさい(I'm sorry)。ここに座ってもいいですか」とは言わないだろう。

座っていた人は「かまいませんよ」と答えて、X に席を譲るかもしれない。しかし彼は、「ごめんなさい(I'm sorry)。私は友人を待っているのです。」と返答するかもしれない。ここで「ごめんなさい(I'm sorry)」といったのは、彼は X が席に座ることを妨げてしまったからである(実際そうする権利もないのに。)したがって、彼は、X に対し、どうして自分は X を座らせないのかを説明する必要がある(ここでは「私は友人を待っている」)。

空席ができ、X は座る。ウェイターが 1 杯の水を X に持って来るが、X は偶然にそれをひっくり返してしまって「ごめんなさい(I'm sorry)」と謝る。

日本人は、共感を示すのに「excuse me」に対応する表現を使用しない。しかしながら、日本人はたとえ自分に非がなくても「I'm sorry」や「excuse me」と言う傾向にある。

アメリカ人は、「I'm sorry」を深刻な状況で使用するだろう。たとえば、友人が交通事故で重傷を負ったと聞くと、「ケガを負われて、お気の毒です(I'm sorry)。>」と言うだろう。これは深い共感を示す。もし、信号無視をして事故を引き起こしたならば、「信号無視してごめんなさい(I'm sorry)。>」とは返答しないであろう。これは彼が後で訴えられるとしたら、そのことば(I'm sorry)が彼を悩ますからである。(16)彼が「I'm sorry」と言わないのは、そのことばが、彼が事故を引き起こしたという責任を示すかもしれないからである。

(17)日本人は謝ればそのお返しがあることを期待してすぐ謝る。(たとえば、「ごめんなさい」「いやいや、悪かったのは私のほうです。>)。アメリカ人は自分が悪いと感じる場合にだけ謝るのである。

## 12 飛行機の歴史

Man's natural home is the land, but many thousands of years ago he learnt how to travel on the sea – in fact boats are older than anything built for land (1)transport.

Travel on the sea was not a very difficult problem, since wood, which can be found in most places near the sea, floats easily on water. (2)But travel threw the air was quite a different matter, since men new of nothing which could at the same time float in the air and carry a man's wait. For centuries, therefore, flying remained only a dream. In ancient Greek times, there is the story of two men who escaped from an island by sticking wings made of feathers on to themselves with wax. ((3)Unfortunately, we are told, one of them flew too near the sun, and the wax melted, (4)so that he fell to his death in the sea.) Then we have the plans of Leonardo da Vinci, the Renaissance Italian artist and engineer, as a further example of man's interest (5)( ) flying. But it was not (6)( ) rather recent times that (7)the great dream became a fact.

First, man made use (8)( ) the fact (9)(that, what, which) hot air rises to make a light balloon carry people up a short distance (10)above the ground. Then gases (11)(bigger, heavier, lighter, smaller) than air were used (12)in place of hot air, and in the 1870-71 war between France and Prussia a balloon was used by a Frenchman to fly out of Paris when the Prussians were all round (13)it.

But balloons had the disadvantage (14)( ) having to go wherever the wind blew them, so that one never knew where they would come down. (15)It was not until the petrol engine was invented that this difficulty could be overcome. During the 1914-18 war, early aeroplanes, made of wood and canvas and armed with an ordinary machine-gun each, were used by both sides. Great (16)progress was made in knowledge about flying as a result of the needs of the war, so that the years between 1918 and the beginning of the Second World War in 1939 saw an extraordinary development of aeroplanes, which (17)increased greatly (18)( ) size, strength, speed, and safety.

For thousands of years man dreamt (19)(that, what, which) seemed impossible dreams about flying; and then suddenly, in the short space of fifty years, (20)aeroplanes were invented and developed into one of the most important means of transport and instruments of war, without which the atom-bomb might never have been thought of.

## 設問

(1)(16)(17)下線部のアクセントのある音節を次から選べ。

(1) trans-port    (16) prog-ress    (17) in-creased  
      1    2            1    2            1    2

(2)下線部の中から、発音は同じだが綴りの間違ってしている語を3つ選び、正しい綴りを答えよ。

(3)(10)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。

(3) fortunately : unfortunately = fortune : (       )

(10) over : under = above : (       )

(4)(20)下線部を和訳せよ。

(5)(6)(8)(14)(18)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(7)(12)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(7) the great dream came (       )

(12) (       ) of hot air

(9)(11)(19)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(13)下線部の具体的内容を本文中から1語で抜き出せ。

(15)下線部を、this difficulty の具体的内容を明示して和訳せよ。

(21)本文中に述べられている気球の原理を日本語で説明せよ。

### **Further Expressions**

#### **《利用する》**

Man utilized this fact. 【利用する】

Man made use of this fact.

Man put this fact to use.

Man made the most of this fact. 【最大限に活用する】

Man took advantage of this fact. 【利用する】

Man availed himself of this fact.

#### **《してはじめて》**

This difficulty could not be overcome until the petrol engine was invented.

【～してはじめて】

It was not until the petrol engine was invented that this difficulty could be overcome.

It was only when the petrol engine was invented that this difficulty could be overcome.

#### **《とってかわる》**

Gases were used instead of hot water. 【～のかわりに】

Gases were used in place of hot water.

Hot water was replaced by gases. 【とってかわる】

They replaced hot water with gases. 【～を(他の物と)取り替える】

They substituted gases for hot water. 【代用する】

## 解答

(1)1 (2)through knew weight (3)misfortune (4)全文訳参照 (5)in (6)until (7>true (8)of (9)that (10)below (11)lighter (12)instead (13)Paris (14)of (15)ガソリンエンジンが開発されてはじめて、風に吹かれるままになり着陸点を決められないという困難さを克服することができた。(16)1 (17)2 (18)in (19)what (20)全文訳参照 (21)熱せられた気体や空気より軽い気体が空気に浮くこと(浮力)を利用した。

## 解説

- (1)transport は、名詞の場合は前にアクセント、動詞の場合は後ろにアクセントを置くので注意。  
(2)threw through、new knew、wait weight である。  
(3)fortunately「幸運にも」：unfortunately「不幸にも」よって fortune「幸運」の反意語 misfortune「不幸」が正解。  
(4)so that S V「その結果 S は～した」so that は他に「～するために(目的)」という意味もある。また、so (形容詞・副詞) that S V「あまりに～なので...できない」との違いに注意。(動詞) to death「～して死ぬ」fall to his death「落ちて死ぬ」他に starve to death「飢死する」、be frozen to death「凍死する」などがある。  
(5)interest in A「A への関心」man's interest in flying「人々の飛ぶことへの関心」  
(6)it was not until ~ that ...「～になるまで...しなかった」「～になってはじめて...した」it was not until rather recent times that the great dream became a fact「比較的最近になってはじめて、その夢が現実となった」  
(7)dream comes true「夢が実現する」  
(8)make use of A「A を利用する、使う」man made use of the fact...「人々は(...という)事実を利用した」  
(9)かっこの前後が同格「～という」の関係にあるので that を選ぶ。the fact that hot air rises「暖かい空気は上昇するという事実」

### 同格

that「～という」

We know the fact that the earth is round. 私たちは、地球が丸いという事実を知っている。  
I have no doubt that he will succeed. 彼が成功するだろうということに何の疑いも持っていない。  
of 名詞「～という」 of a 名詞「～のような」

The war was carried out under the name of the democracy. 戦争は民主主義の名で遂行された。  
She was an angel of a girl. 彼女は天使のような少女だった。

名詞 + 名詞や代名詞 + 名詞

Our teacher John was a strange man. 私たちの先生であるジョンは変な男だった。

We Japanese should be against the war. 私たち日本人は戦争に反対すべきだ。

- (10)over「...の上に」：under「...の下に」正確には over は「離れて真上に」という意味でおおいかぶさる感じを伴う。under はその反対で「真下に」という意味である。これに対して above は「広く(真上を含む)上の方」を意味し、これの反対は below「...の下に」である。  
(11)その前文に、最初は熱せられた空気を利用して気球を作った、とあるので in place of hot air「熱せられた空気のかわりに」使うようになったガスは gases lighter「より軽い気体」が正解である。  
(12)in place of A「A の代わりに」 = instead of A. instead of hot air「熱い気体の代わりに」  
(13)it は Paris を指す。the Prussians were all round it「プロシア軍がパリの周囲を完全に取り囲んだ」  
(14)have the (dis)advantage of A「A という強み(弱み)を持つ」balloons had the disadvantage of having to go wherever the wind blew them「気球は風が彼らを吹き流すところどこへでも行かなければならないという弱点を持った」  
(15)it was not until S V that ...「S が～してはじめて...した」petrol engine「ガソリンエンジン(英)」this は、the disadvantage of having to go wherever ...の部分で、「風に吹かれるままになるのでどこに降りられるかわからない」を指す。(指示対象中の having to は have to「～しなければならぬ」、so that は「その結果」)could は can「～できる」の過去形。be overcome「克服される」  
(16)progress は、名詞の場合は前にアクセント、動詞の場合は後ろにアクセントを置くので注意。  
(17)increase は、名詞の場合は前にアクセント、動詞の場合は後ろにアクセントを置くので注意。  
(18)increase in A「A の点で増す」aeroplanes, which increased greatly in size, strength, speed, and safety「そして飛行機は、大きさ、強度、速度、安全性の点で非常に増した」  
(19)dream「～を夢見る」かっこの後に名詞ではなくすぐ動詞が来ていることから、先行詞を含む関係代名詞 what を選ぶ。dreamt what seemed impossible「不可能な夢と思われるものを夢見ていた」

(20)develop into A「A に発達する」 means「手段」は語末に必ず s がつき、単複同形。mean「意味する」(「意味」は mean ではなく meaning)と似ているので注意。one of the most important は means of transport「輸送手段」と instruments of war「戦争の道具(= 戦争兵器)」の両方にかかる。without which の先行詞は文頭の aeroplanes「飛行機」関係代名詞を使わないで文を書けば、...and the atom-bomb might never have been thought of without aeroplanes.「そして、飛行機なしでは原子爆弾はけっして考えつかれることはなかっただろう」この which は直前にコンマがあるので非制限用法である。「それなしでは原子爆弾が考案されることのなかった飛行機が発明され...に発展した」とは訳さず、which の前を訳した後に、適当な接続詞(そして、しかし、など)を補い、which 以下を訳すとよい。

### 関係代名詞の制限用法と非制限用法

#### 制限用法と非制限用法

【制限用法】 She has two daughters who became lawyers.

【非制限用法】 She has two daughters, who became lawyers.

\*「制限用法」は、いわゆるふつうの関係代名詞。「彼女は弁護士になった 2 人の娘がいる」

\*「非制限用法」は、関係代名詞 who や which の前にコンマが打ってある。訳は、「彼女には 2 人の娘がいて、彼女たちは弁護士になった」というように、語順に忠実に訳す。また、必要ならば、接続詞を適当に補う。

\*制限用法と非制限用法の意味の違い。制限用法では「彼女は 2 人以上娘がいて、その中の 2 人が弁護士になった」ということを暗示しているが、非制限用法では「彼女は 2 人しか娘がおらず、その娘が両方とも弁護士になった」ということを暗示している。

\*関係代名詞 that には非制限用法はない。

#### 非制限用法の例

My mother bought me a watch, which I don't like very much.

母が時計を買ってくれたが、私はそれをあまり気に入っていない。

My English teacher, whom I met at the station, said he would not give a test today.

英語の先生と駅で会ったのだけど、彼は今日テストしないって言ってたよ。

The tower of London, about which a lecture was given yesterday, is a very famous building.

ロンドン塔は、それについては昨日講義されたが、とても有名な建物だ。

(21)第 3 段落に人類が初めて作った気球についての説明がある。熱せられた空気や空気より軽い気体を利用されたことを述べる。

## 全文訳

人類の本来の生息地は陸である。しかし幾千年前に、海上を移動する方法を覚えた。実際、舟は陸上輸送のために作られたどんなものよりも古くからあるものなのだ。

海上移動はそれほど困難な問題ではなかった、なぜなら木は海のそばのほとんどの場所にあり、そして容易に水に浮くからである。しかし空中での移動はまったく異なる問題である、なぜなら、人類は空中に浮かび同時に人の重量を運ぶことが可能なものをまったく知らなかったからである。それゆえ何世紀もの間、飛行は夢でしかなかった。古代ギリシャの時代に羽で作った翼を口で身体に付け、島から脱出した二人の話がある。(御存知のように不幸にもその内の 1 人はあまりに太陽に近いところを飛んだので口が溶け、(4)海に落ちて死んでしまった。)そして人類の飛行への興味を示すさらなる例として、ルネッサンス期のイタリアの芸術家であり、技術者であったレオナルド・ダ・ヴィンチの設計図がある。しかし、壮大な夢は近代になるまで実現しなかった。

最初に人類は熱せられた空気は上昇するという事実を利用し、地面からわずかに人間を持ち上げる軽い気球を作った。そして熱せられた空気の代わりに空気より軽い気体がいられ、1870年から71年の普仏戦争において、プロシア軍がパリの周囲を完全に取り巻いていた時に、フランス軍がパリから脱出するために気球が用いられた。

しかし気球は風に吹かれればどこへでも行ってしまうという欠点があり、そのためどこに着地するかを知ることはなかった。ガソリンエンジンが発明されるまでこの問題は解決されなかった。

1914年から18年までの戦争中、木と麻布で作られ、それぞれに普通のマシンガンを装備した初期の飛行機が両軍で用いられた。戦争への必要性の結果、飛行に関する知識において長足の進歩があり、その結果、1918年と第二次世界大戦の始まった1939年の間に飛行機は驚くべき進歩を遂げ、大きさ、強度、速度、安全性における多大なる発展であった。

何千年の間人類は飛行に関する不可能に思える夢を見てきた。そして突発的に50年という短期間に(20)飛行機は発明され、そしてもっとも重要な輸送手段と戦争兵器のひとつへと発展した。そしてその飛行機なしには原子爆弾が考案されることはけっしてなかっただろう。

### 13 世間話の日英比較

One of the most frequent uses of language in everyday conversation is for (1)(that, what, which) we might call “small talk,” which refers (2)( ) those familiar words of greeting and light conversation when friends or strangers meet and talk briefly. “How are you?”, “Nice day, isn’t it?”, “Isn’t it cold today?” (3)and so on. Most of (4)(that, what, which) is included in “small talk” has little meaning in “(5)content” but (6)(considerable, considerate, considering) meaning in relationships. That is, if I say, “How are you?” I probably mean something like: “I see you; I want to be friendly.” It probably does not mean that I want to know your state of health! However, if you are in a doctor’s office and he asks “How are you?”, the words might have a different meaning. (7)In that case, the doctor is not just engaging (8)( ) small talk. He really wants to know about your health.

(9)What is said for “small talk” sometimes varies from society to society. In Japan, (10)( ) example, an acquaintance might ask another, (11) “Where are you going?” to (12)(that, what, which) one can reply, “Just over there” (*chotto soko made*). Neither the question (13)( ) the answer means much, apart (14)( ) a sign of friendliness. In English, however, if you ask an acquaintance, “Where are you going?”, you might seem to be very \*nosy, too personal. Rather (15)( ) creating an impression of friendliness, you may annoy or irritate the other person. Similarly, there are no equivalent expressions for “*itadakimasu*” or “*tadaima*” in English — expressions (16)(what, which, who) perhaps might be included in our category of small talk. (17)Thus it is difficult to say what the meaning of words is without also considering the cultural and social contexts in which they appear.

(注) nosy : せんさく好きな

## 設問

- (1)(4)(6)(12)(16) カッコ内の語句のうち正しいものを選び。
- (2)(8)(10)(14) 空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。
- (3) 下線部の略語を次から選べ。  
1. cf. 2. e.g. 3. etc. 4. i.e.
- (5) 下線部と近い意味のものを次から選べ。  
1. 目次 2. 内容 3. 満足
- (7) 下線部の具体的内容を日本語で答えよ。
- (9)(17) 下線部を和訳せよ。
- (11) 「今日はどちらへ? (Where are you going)」に対する日本とイギリスの考え方の違いについて日本語で説明せよ。
- (13)(15) 空所にあてはまる適語を答えよ。
- (18) 本文の内容と一致しないものを2つ選べ。  
1. When an acquaintance of yours asks you "How are you?", you should think that he really wants to know your state of health.  
2. In Japan people often ask another "Where are you going?" without meaning they really want to know where he is going.  
3. In English, if you ask "Where are you going?", you may annoy or irritate the other person.  
4. When a doctor asks you "How are you?", it is meant seriously  
5. Just as Japanese say "*itadakimasu*" or "*tadaima*," British people do the same in English.  
6. "*Itadakimasu*" and "*tadaima*" are expressions which we perhaps might include in our category of small talk.
- (19) small talk に対する筆者の考え方を日本語で説明せよ。

### Further Expressions

#### 〈たとえば〉

For example, Japanese people say "itadakimasu" 【たとえば】

For instance, Japanese people say "itadakimasu"

In Japanese, there are some useful expressions such as "itadakimasu" 【~のように】

In Japanese, there are some useful expressions : "itadakimasu", "tadaima", and so on [force]. 【などなど】

In Japanese, there are some useful expressions : "itadakimasu", "tadaima", etc.

#### 〈しばしば〉

We often use "small talk" in conversation. 【しばしば】

We frequently use "small talk" in conversation.

More often than not, we use "small talk" in conversation.

As often as not, we use "small talk" in conversation.



## 解答

(1)what (2)to (3)3 (4)what (5)2 (6)considerable (7)診療所で医者に「体調はどうですか？」と聞かれる場合。(8)in (9)全文訳参照 (10)for (11)日本では内容にあまり意味はなく親愛の証として常用されるが、イギリスでは個人的なこととして嫌がられる可能性がある。(12)which (13)nor (14)from (15)than (16)which (17)全文訳参照 (18)1,5 (19)内容的には意味がほとんどないかもしれないが、人間関係(の円滑化)に役立つ。

## 解説

- (1)One of the...uses of language... is for X「...なことばの使い方のひとつはXを目的としている」と文の構造を解釈する。ここでは先行詞にあたるものがないため、先行詞を含む関係代名詞 what を入れる。This is what I love.(これは私が愛しているものだ。先行詞はない) This is the thing which I love.(これは私が愛しているものだ。ここでは the thing が先行詞)
- (2)refer to A「A に言及する、A に関係する」 refers to those familiar words「...というありふれたことばに関係する」
- (3)略語はすべてラテン語からきている。cf. = confer「...を参照」 e.g. = exempli gratia「たとえば」 etc. = et cetera「...など」 i.e. = id est「すなわち」 so on は「...など」 etc.は、人間には用いられない。
- (4)(1)と同じく先行詞を含む関係代名詞 what を入れる。most of what is included in “small talk”... 「世間話に含まれるもののほとんどは...」
- (5)「世間話は( )という点ではほとんど意味がない」といえば、かっこ内は「内容」が最適。

### content の用例

#### 満足

- I sleep **in content**. 私は満足して眠った。
- \* 「満足」という意味(名詞)では in を伴うことが多い。
- I'm **content with** my life. 私は人生に満足している。
- \* 「満足な」という意味(形容詞)では be content with という形で用いることが多い。

#### 目次

- This is a table of **contents**. これが目次です。
- \* 「目次」という意味では contents というように通例 s がついた形で用いる。

#### 内容

- His speech lacked **content**. 彼の話には内容が欠けた。
- \* 「形式」に対しての「内容」は不可算名詞となる。

- (6)considerable「(考えられるくらいたくさんある)かなりの、相当な」 considerate「思いやりがある、理解がある」 considering「...を考えると」 has little meaning in “content” but considerable meaning in relationships「中身において意味はほとんどないが、(人間)関係においてかなりの意味がある」
- (7)普段は「体調はどうですか？」と聞かれてもたいした意味はもたないが、医者に行ったときに「体調はどうですか？」と聞かれればそれは意味のあることである、という対比をとらえて答えればよい。
- (8)engage in A「A に従事する」 not just engaging in small talk「ただ世間話に没頭しているのではない」
- (9)What is said for small talk「世間話として話されているもの」 vary from A to A「A から A で変わる(異なる)、A によって変わる」たとえば、The weather varies from hour to hour.「天気は刻々と変わる」また vary には vary from A「A と異なる」という用法もある。たとえば、My opinion varies from his.「私の意見は彼のと異なる」
- (10)for example「たとえば」他にも for instance という言い方もある。
- (11)“Where are you going?”と言うことは日本人にとって親愛の証以外の意味はほとんどなく、一方イギリス人にとっては you might seem to be very nosy「非常にお節介で、あまりにも個人的過ぎると思われるだろう」と第2段落で説明されている。
- (12)先行詞は“Where are you going?”で関係代名詞の目的格用法。reply to A「A に返事する」この to が前に出て to which となっている。“where are you going” to which one can reply...「...と答えることができる“where are you going”」
- (13)neither A nor B「A も B も(...)しない」 neither the question nor the answer「質問も答えも...ない」

- (14) apart from A「Aと離れて、Aはさておき」 apart from a sign of friendliness「親愛の証を別にすれば」
- (15) rather than A「Aよりむしろ」 rather than creating an impression「...の印象を作るよりむしろ」
- (16) 直前の expressions を先行詞とする関係代名詞主格用法。この expressions は前の no equivalent expressions for “itadakimasu” or “tadaima”と同格。関係代名詞を用いることで、改めて「『いただきます』や『ただいま』に相当する表現(expressions)」について説明を加えている。expressions which might be included in our category of small talk「世間話という私たち(が提示した)範疇に含まれるであろう表現」
- (17) It is difficult to say what the meaning of words is「ことばの意味が何であるかを言うことは難しい」without...considering the cultural and social contexts「文化的社会的背景を考慮せずに」the cultural and social contexts in which they appear「ことばが現れる文化的社会的背景」ここで they は words を指す。言い換えると、「ことばが用いられている場所の文化的社会的背景」ということ。context は、「前後関係、文脈、背景」という意味。
- (18) 1.「あなたたちの知り合いが『調子はどう?』と聞いてきたら、彼は本当にあなたの健康状態を知りたがっていると考えべきだ」第1段落後半に It probably does not mean that I want to know your state of health.とあり不適。5.「日本人が『いただきます』とか『ただいま』というのとちょうど同じように、イギリス人も同じことを英語でいう」第2段落後半に there are no equivalent expressions for “itadakimasu” or “tadaima” in Englishとあり不適。
- (19) small talk「世間話」について、筆者は第1段落で...has little meaning in “content” but considerable meaning in relationships「「内容」においてほとんど意味がないが、人間関係においてかなりの意味を持つ」とある。つまり世間話は人間関係をスムーズにするのに役立つのである。

## 全文訳

日常会話においてもっとも頻繁に使用されることばのひとつにいわれる「世間話」があり、これは友人同士や見知らぬ人同士が会って軽い会話を交わす時の挨拶や簡単な会話のありふれたことばを用いるものである。これには「調子はどうですか?」、「心地よい日ですね。」、「寒くないですか。」といったものがある。「世間話」に含まれるものの大部分は「内容」においてはほとんど意味が無いが人間関係において多大な意味を持つ。たとえば「調子はどうですか?」と言えば、恐らく「あなたに会って、仲よくしたい。」といったような意味であろう。相手の健康状態を知りたいのではないだろう!もしあなたが病院にいれば、医者あなたに「調子はどうですか?」と聞き、そのことばは異なる意味をもつだろう。この場合、医者はただ単に世間話をしているのではない。本当にあなたの健康状態について知りたいのだ。

(9)「世間話」に言及されることは時には社会によって異なる。たとえば日本では知人が「どちらまで?」と聞けば、聞かれた方は「ちょっとそこまで」(*chotto soko made*)と答えるだろう。問いも答えも親愛の証以外の意味はほとんどない。しかし、英語ではもし知人に「どちらまで?」と聞いたら、非常に御節介で、あまりにも個人的過ぎると思われるだろう。親愛の気持ちを表すというよりも、聞かれた人を困惑させるか怒らせてしまうだろう。同様に「itadakimasu」や「tadaima」といったおそらく世間話に含まれるであろう表現に相当する表現は英語にはない。(17)それゆえ、ことばの意味が何であるかを、それらが用いられる文化的社会的背景を考えるとなく言及するのは困難なことである。

## コラム 語源研究

### 接頭辞 SUR

【語源】ラテン語の前置詞 super「上へ、超えて」を語源とする。フランス語 sur「...の上に」、イタリア語 su「...の上に」が同語源。たとえば、芸術用語として使われる surrealism は sur(超)+realism(現実主義)で「超現実主義(フランス語で読めば“シュールレアリスム”）」となっている。

### 【単語】

- surface sur(上) + face(顔) 「顔の上(=表面)」
- surpass sur(上へ) + pass(越える) 「上へ越える(=まさる、しのぐ)」
- surplus sur(越えて) + plus(加える) 「越えて加えた分(=余り、余剰)」
- surprise sur(上から) + prise(つかむ) 「上からつかまえる(=不意をつく、驚かす)」
- survey sur(上から) + vey(見る) 「上から見(=ざっと見渡す、概観する、調査する)」
- survive sur(越えて) + vive(生きる) 「(試練を)越えて生きる(=生き残る)」

## 14 「彼」が残してくれたもの

I hardly knew him. But (1)what he did for me has helped to change my life. Perhaps I had better explain.

My name is Mary West. I was born here in London but my parents both came from Ireland. My father died when I was nine. It's strange, you know, but for a time I felt as if (2)he had somehow let me down, (3)as if it were his fault that he had a bad heart. Children can be like that. They often behave as if their parents had (4)only one purpose in life, and that was to be their mothers and fathers. (5)They don't see them as real people.

I'm (6)(an only, only a) child. My mother and I were very poor for a time. She had a brother, who lived in Australia. His name was Bill. Uncle Bill came to London several times to see us. He was very fond of me and took me for walks in Hyde Park. But Australia is a long way away and we didn't see very much (7)( ) him.

One day, nine years ago, when I was twenty-two, I got a letter from a lawyer in Australia. He told me that Uncle Bill had died and (8)(that, what, which) he had (9)some other important news for me. He refused (10)(saying, to say) what it was until he came to London personally to see me. We met in a hotel in London a few weeks later. The news was that Uncle Bill had made a lot of money in Australia and had left it all to me. I could hardly believe it. I felt (11)( ) jumping up and down. But, I didn't, of course.

I gave part of the money to my mother. I used the rest to study (12)architecture and then to start my own business. The business is doing well. I have lots of (13)contracts. But (14)none of this would have been possible if it hadn't been for Bill, the uncle I hardly knew.

## 設問

(1)下線部の具体的内容として正しいものを次から選べ。

1. He came to see her personally.
2. He left her quite a fortune.
3. He left her very poor.
4. He took her for walks in Hyde Park.

(2)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

he had somehow (       ) me

(3)(14)下線部を和訳せよ。

(4)(9)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(5)下線部を、they および them の具体的内容を明示して和訳せよ。

(6)(8)(10)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(7)(11)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(12)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。

novel : novelist = architecture : (       )

(13)下線部のアクセントのある音節を次から選べ。

con-tract

- 1    2

### **Further Expressions**

#### **〈失望する〉**

The news of his death let me down. 【失望させる】

The news of his death disappointed me.

The news of his death was disappointing to me. 【失望させるような】

I was disappointed at [with] the news of his death. 【失望する】

#### **〈大量の〉**

Uncle Bill gave me a lot of money. 【たくさんの】

Uncle Bill gave me lots of money.

Uncle Bill gave me plenty of money.

Uncle Bill gave me much money.

Uncle Bill gave me a good deal of money. 【多量の】

Uncle Bill gave me a great amount [sum] of money.

Uncle Bill gave me a considerable amount [sum] of money. 【相当量の】

Uncle Bill gave me a respectable amount [sum] of money.

Uncle Bill gave me a fortune. 【財産】

## 解答

(1)2 (2) disappointed (3)全文訳参照 (4)子どもたちの母親であり父親であること。(5)子どもたちは親たちを現実の人間としては見ない。(6) an only (7) of (8) that (9) ビルおじさんが彼女に巨額の財産を残してくれたこと。(10) to say (11) like (12) architect (13) 1 (14)全文訳参照

## 解説

- (1)第4段落。fortune「財産」 He left her quite a fortune.「彼は彼女に並外れて大きな財産を残した」  
(2)he had somehow let me down「彼はいくらか私を失望させた」 let + 人 + down = disappoint + 人  
「~を失望させる」ここでは as if の中なので仮定法が使われている。had let me down という過去完了形が用いられているので、同様に had disappointed とする。(仮定法過去完了)  
(3)as if + 主語 + were で「まるで...が~であるかのように」(仮定法過去) it は仮主語で、that 節の中を指す。fault「欠陥、誤り、責任」 bad heart「(健康的に)悪い心臓」これを「邪悪な心」とすると、文脈的におかしい。  
(4)only one purpose「ただ一つの目的」についてはその後 to be their mothers and fathers「彼らの母親であり、父親であること」と説明されている。  
(5)they は children、them は their mothers and fathers を指す。see A as B「A を B とみなす」  
(6)(an) only child「ひとりっ子」他に an only daughter「ひとり娘」、an only son「ひとり息子」もある。  
(7)see much of 人「(人)にたびたび会う」ここでは not と very で「あまり...ない」の形となっている。  
(8) He told me that S V and that S V で「彼は私に~ということと~ということと話した」that 節が2つ and で並べられている。and の後の that は省略不可。  
(9)some other important news for me「私への他の重大な知らせ」の説明はその3文後。The news was that...「その知らせとは、ビルおじさんがオーストラリアで巨額の財をなして、それをすべて私に残してくれたということだった」とある。  
(10)refuse to 不定詞「~することを拒む」refuse は後ろに ing 形をとれない。He refused to say what it was「彼は、それが何であるか言うことを拒否した」  
(11)feel like ~ing「~したいような気がする」I felt like jumping up and down「私は飛び跳ねたい気分だった」  
(12)novel「小説」: novelist「小説家」= architecture「建築」: architect「建築家」  
(13)contract は名詞と動詞でアクセントの位置が異なる。ここでは「契約」という意味の名詞として使われている。「契約する」という意味の動詞であれば2。  
(14)仮定法過去完了「もしも(あのとき)...だったら、(あのとき)...ただただろう」の文。none of this would have been possible「このうちどれも可能にはならなかっただろう」If it hadn't been for A = Without A = But for A「もしも A がなかったら」Bill, the uncle I hardly knew「私がほとんど知らないおじさんであるビル」Bill と the uncle は同格。the uncle の後には目的格の関係代名詞 whom が省略されていると考える。

### 仮定法のいろいろ

#### 仮定法過去

if S 過去形..., S 過去形助動詞 V... 「もし(今)~なら、(今)...なのになぁ」

#### 仮定法過去完了

if S 過去完了..., S 過去形助動詞 have 過去分詞...「もし(過去)~だったら、(過去)~ただただろうに」

#### 仮定法過去と仮定法過去完了の中間

if S 過去完了..., S 過去形助動詞 V... 「もし(過去)~だったら、(今)...なのになぁ」

#### 【例文】

(仮定法過去) If I had enough money, I could buy the picture.

もし(今)十分なお金があれば、(今)その絵を買えるだろうに。

(仮定法過去完了) If I had had enough money, I could have bought the picture.

もし(あの時)十分なお金があったならば、(あの時)その絵を買えただろうに。

(中間) If I had not bought the picture, I would have a lot of money.

もし(あの時)その絵を買わなかったならば、(今)たくさんお金を持っているだろうに。

if + S + were to + 原形 「(未来)もし~ならば」「もしも~してくだされば(控えめで丁寧な依頼)」

Even if the sun were to rise in the west, I would not change my mind.

たとえ太陽が西から昇っても、私は考えを変えない。

If you were to move your chair a bit, we could all sit down.

席を少し動かしていただくと、わたしたちみんなが座れるのですが。

if + S + should + 原形 「万一～ならば」

If it **should** rain tomorrow, we would go by train.      もし万が一明日雨が降ったら、電車で行く。

### 省略が起こるとき

関係詞の省略

This is the book (which) I like.      これが私の好きな本だ。

The woman (whom) I want to meet resembles my mother.      私が会いたい女性は母に似ている。

比較文における省略

My brother is as tall as I (am).      私の弟は私と背が同じくらいである。

My sister runs faster than you (do).      私の姉は君より足が速い。

接続詞 that の省略

I think (that) she is beautiful.      私は彼女がきれいだと思う。

You said (that) you would be a doctor.      君は医者になるといつていた。

It seems (that) my teacher likes animals.      先生は動物が好きようだ。

## 全文訳

私は彼をほとんど知らなかった。しかし、彼が私にしてくれたことは、私の人生を変える手助けとなった。おそらく、私は説明した方がよいだろう。

私の名前はメアリー・ウェストという。私は、ここロンドンで生まれたのだが、私の両親は共にアイルランドの出身だった。私が9歳の時に、父が亡くなった。おかしな話だが、しばらくの間、私は、まるで父が私をどういうわけかがっかりさせたかのように、(3)心臓が悪かったことが父の欠点でもあったかのように感じていた。子どもというのはそんな風を感じるものなのだろう。子どもたちは、しばしば、まるで彼らの両親が人生において目的をひとつしか持っていないかのように振舞う。そしてその目的とは自分たちの母親であり父親であるということである。子どもたちは親を、現実の人間としては見ていないのだ。

私は、一人っ子である。母と私は、しばらくの間とても貧しかった。母には、お兄さんがいて、彼はオーストラリアに住んでいた。彼の名前はビルといった。ビルおじさんは、何度か、私たちに会いにロンドンにやって来た。彼は私のことが大好きで、私をハイドパークへ散歩に連れて行ってくれたものだった。しかし、オーストラリアはとても遠くて、私たちはおじさんにあまり会えなかった。

9年前のある日、22歳の時、私はオーストラリアの弁護士から手紙を受け取った。その弁護士の手紙には、ビルおじさんが死んでしまったことと、私に重要な知らせがあるということが書かれていた。その弁護士は、彼がロンドンに来て私と個人的に会うまでは、その知らせが何であるかを言わないということだった。私たちは、数週間後にロンドンのホテルで会った。その知らせとは、ビルおじさんがオーストラリアで巨額の財を成して、それをすべて私に残してくれたということだった。私は、なかなかそれを信じられなかった。私は、ピョンピョンと飛び跳ねたい気分だった。もちろん、飛び跳ねはしなかったが。

私は、そのお金の一部を母に贈った。そしてその残りを、建築を勉強するために使って、それから、事業を起こすために使った。事業はうまくいっている。私はたくさんの契約をもらっている。しかし、(14)これらのうちのどれも、ビルおじさんがいなければ不可能だったのだ。私のよく知らない、ビルおじさんがいなければ。

## コラム 語源研究

### 語根 CEIV

【語源】ラテン語の capere「とる、つかむ、容れる」を語源とする。イタリア語の capire「わかる、理解する」はこれを語源とする。capacity「能力」、captive「捕虜」、capture「捕らえる」はよく形が残っている。

### 【単語】

- conceive    con(共に) + ceive(つかむ)    「(心の中に)一緒に取り入れる(= 思いつく、想像する)」
- deceive    de(から) + ceive(とる)    「(他人)からとる(= だます)」
- perceive    per(完全に) + ceive(とらえる)    「(五感を通して)完全にとらえる(= 知覚する)」
- receive    re(後に) + ceive(とる)    「取り戻す(= 受け取る、受領する)」

## 15 テレビの功罪

(1)Television now plays such an important part in so many people's lives that it is essential for us to try to decide whether it is a blessing or a curse. Obviously, television has both advantages and disadvantages. But do (2)the former outweigh (3)the latter?

In the first place, television is not only a convenient source of entertainment, but also a (4)(comparably, comparatively) cheap one. For a family of four, for example, it is more convenient as well as cheaper to sit comfortably at home, (5)( ) almost unlimited entertainment available, than to go out in search (6)( ) amusement elsewhere. They do not have to pay (7)( ) expensive seats at the theatre, the cinema, or the opera, only (8)to discover, perhaps, that the show is a rotten one. (9)All they have to do is press a button, and they can see plays, films, operas, and shows of every kind, (10)not to mention political discussions and the latest (11)(excited, exciting) football match. Some people, however, maintain that this is precisely where the danger (12)( ). The television viewer needs do nothing. He takes no initiative. He (13)( ) no choice and exercises no judgement. He is completely (14)passive and (15)(everything / has / him / presented / to) without any effort (16)( ) his part.

Television, it is often said, keeps one informed about (17)current events, allows one to follow the latest developments in science and politics, and offers an endless series of programs which are both instructive and entertaining. The most (18)distant countries and the strangest custom are brought right into one's sitting-room. It could be argued that the radio performs this service just as well; but on television everything is much more living, much more real. Yet here again there is a danger. We get so used (19)( ) looking at it, so dependent on its flickering pictures, that it begins to dominate our lives. A friend of mine told me the other day that his television set had (20)( ) down and that he and his family had suddenly found that they had far more time to do things, and that they had actually begun to talk to each other again. It makes one think, doesn't it!

There are many other arguments for and (21)( ) television. The poor (22)quality of its programs is often criticized. But it is undoubtedly a great comfort to many lonely elderly people. And does it corrupt or instruct our children? I think we must realize that television (23)( ) itself is neither good nor bad. (24)It is the uses to which it is put that determine its value to society.

## 設問

(1)(24)下線部を和訳せよ。

(2)(3)下線部の具体的内容を本文中の英語で答えよ。

(4)(11)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(5)(6)(7)(16)(19)(21)(23)空所にあてはまる適当な前置詞を次から選べ。

1. against 2. for 3. in 4. of 5. on 6. to 7. with

(8)下線部と異なる用法の不定詞を含む文を次から選べ。

1. I awoke one morning to find myself famous.  
2. He worked hard only to fail.  
3. He left England never to return.  
4. He must be a fool to say so.

(9)(10)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(9) They have ( ) to press a button

(10) let ( )

(12)(13)(20)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

- break lay lie make turn

(14)(22)下線部の反意語を答えよ。

(15)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(17)(18)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. far 2. future 3. near 4. past 5. present

(25)テレビの長所と短所として本文中に述べられていることを2点ずつ、各20字以内の日本語で答えよ。

(26)第3音節にアクセントのあるものを次から選べ。

1. advantage 2. determine 3. development 4. entertain

### **Further Expressions**

#### **《両方とも》**

Television has both advantages and disadvantages. 【AとBの両方】

Television has at once advantages and disadvantages.

Television has not only advantages but (also) disadvantages. 【AのみならずBも】

Television has disadvantages as well as advantages. 【Aと同様にBも】

#### **《意見》**

I think that television in itself is neither good nor bad. 【思う】

I want to insist that television in itself is neither good nor bad. 【主張したい】

I want to point out that television in itself is neither good nor bad. 【指摘したい】

I take it that television in itself is neither good nor bad. 【思う】

I am of the opinion that television in itself is neither good nor bad. 【～という意見だ】

In my opinion, television in itself is neither good nor bad. 【私の考えでは】



## 解答

(1) 全文訳参照 (2) advantages (3) disadvantages (4) comparatively (5) 7 (6) 4 (7) 2 (8) 4 (9) only (10) alone (11) exciting (12) lies (13) makes (14) active (15) has everything presented to him (16) 5 (17) 5 (18) 1 (19) 6 (20) broken (21) 1 (22) quantity (23) 3 (24) 全文訳参照 (25) 長所：安上がりで便利に娯楽が得られること(17字) 最新の情報を生きた映像で見られること(18字) 短所：視聴者は受け身で何の努力もしなくなる(20字) 映像に頼りすぎて生活を支配されること(18字) (26) 4

## 解説

- (1) Television ... plays such an important part in so many people's lives that it is essential..to try to...「テレビはとても多くの人々にとっても重要な役割を果たしている、...しよとすることは不可欠である」play an important part in A「Aで重要な役割を果たす」この文は、such that 構文と so that 構文が組み合わさっている。such + 形容詞 + 名詞 + that + S + V「とても...な(名詞)なので~」so + 形容詞 + that + S + V「とても...なので~」この場合、such an important role と so many people's lives がともに that 以下にかかっている。it is essential for + 人 + to 不定詞「人にとって~することが不可欠である」(decide) whether it is A or B「それがAなのかBなのか(決めること)」blessing「(神の)祝福、恩恵、ありがたいもの」curse「のろい、のろいのことば、災いのもと」
- (2) the former「前者」直前の both advantages and disadvantages「長所と短所の両方」のうちの前者(=長所)を指す。直接指しているかどうかは難しいところだが、blessing でもよい。
- (3) the latter「後者」直前の both advantages and disadvantages「長所と短所の両方」のうちの後者(=短所)を指す。直接指しているかどうかは難しいところだが、curse でもよい。
- (4) comparably「同様に」comparatively「比較的」とともに compare「比較する」の派生語。comparable「比較できる、匹敵する」comparably「匹敵するほどに」comparatively cheap「比較的安い」
- (5) with A available「Aを得られる状態で」with almost unlimited entertainment available「ほとんど無限の娯楽を得られる状態で」

### 付帯状況の with

with + 名詞 + 補語(形容詞、分詞、前置詞句など)で「...した状態で、...したまま」という意味になる。  
I wait for you with my eyes closed. 僕は目を閉じたまま君を待つよ。  
Don't speak with your mouth full. 口の中に物が入ったまましゃべるな。  
A comet travels across the sky with its tail gleaming.  
彗星は尾をかすかにきらめかせながら空を駆けていった。

- (6) in search of A「Aを探して」in search of amusement「楽しみを探して」  
(7) pay for A「Aに代金を払う」pay for expensive seats「高い座席にお金を払う」  
(8) pay for expensive seats at the theatre..., only to discover...that the show is a rotten one.「劇場の席に高いお金を払うが、見世物が腐ったものであることを発見するだけに終わる」(only) to discover は、結果の不定詞と呼ばれる用法「~して、そして...する」選択肢それぞれの訳は、1.「私はある朝起きると、自分が有名であることに気が付いた」2.「彼は一生懸命働いたが、失敗に終わった」3.「彼はイングランドを立ち二度と戻ってこなかった」4.「彼はそんなこと言うなんてばかに違いない」1~3は結果を表す to 不定詞だが、4は判断の基準・理由を表す to 不定詞。

### 結果の不定詞

結果の不定詞は不定詞の副詞用法の一種で、「~した結果...」という意味となる。only to や never to と一緒に用いられることも多い。

He grew up to be a great author. 彼は成長して、偉大な著者となった。  
The rocket went up into space, never to return. ロケットは宇宙へ行ったまま二度と戻らなかった。

- (9) All they have to do is ~「やらなければいけないすべてのことは~である」「~しさえすればよい」All they have to do is ~. = They only have to ~.  
(10) not to mention「~は言うまでもなく」= let alone = to say nothing of  
(11) excite「興奮させる」exciting「興奮させる」、excited「興奮させられた」football match は「興奮させる」ものなので exciting。  
(12) lie「横たわる、ある」が適当。lay は「...を横たえる」という他動詞で「危険が...を横たえる」となってしまい不適。this is precisely where the danger lies「まさにここに危険がある」  
(13) make a choice「選択する」He makes no choice「彼は選択をしない」

- (14) passive「受動的」 active「能動的」
- (15) He has everything presented to him.「すべてのものを自分に提示してもらっている」 has は使役で、everything「すべてのもの」を presented to him「自分に提示される」ようにさせる、というのが直訳。Everything is presented to him.「すべてのことが彼に提示される」
- (16) on one's part「～の側で」 without any effort on his part「彼の側にはどんな努力もなく」つまり「彼の側では何も努力せず」ということ。
- (17) current「今の、現在の」 = present
- (18) distant「遠い」 = far
- (19) get used to ~ing「～するのに慣れている」 = be accustomed to ~ing
- (20) break down「故障する」 his television set had broken down「彼のテレビが壊れてしまった」
- (21) for and against television「テレビに賛成したり反対したり」
- (22) quality「質」 quantity「量」
- (23) in itself「それ自体は」
- (24) It is the uses...that determine its value to society.「その使用法こそが、社会に社会へのその価値を決定するのである」強調構文。it is A that...「...なのは A である」 the uses to which it is put「それが用いられる使用法」 put A to use「A を使用する状態にする、A を使う」ここでは受身で用いられていて、it は television を指す。A is put to use「A が使用する状態に置かれる」 the uses to which A is put「A が(用いられる)状態に置かれた使用(方法)」
- (25) 2 段落目と 3 段落目参照。それぞれ、長所が述べられてから、それに反対する側からの短所が述べられる、という形で書かれている。
- (26) 他の単語はすべて第 2 音節にアクセントがある。

## 全文訳

(1) 今日、テレビは、とても多くの人々の生活において非常に重要な役割を果たしているの、テレビがありがたいものであるのか、それとも災いのものであるのかを判断しようと試みるのが不可欠である。明らかに、テレビには長所と短所の両方があるが、前者の方が後者よりも勝っていると言えるだろうか。

第一に、テレビは、娯楽を得るのに便利であるだけでなく、比較的安く娯楽を得ることができる。たとえば、4 人家族にとって、娯楽を探しにどこか外に出かけるよりも、無限に近い娯楽を得られる状態で家の中に気楽に座っている方が、安上がりであるばかりでなく、便利でもある。彼らは、劇場や映画館やオペラハウスで高い席代を払って、そしておそらくは、ひどいショーを見るだけ、というようなことをしなくて済む。彼らは、ボタンを押しさえすれば、政治に関する討論や最近のわくわくするようなフットボールの試合は言うに及ばず、劇や映画やオペラやあらゆる種類のショーを見ることができるのである。しかしながら、正にここに危険があるのだと主張する人々もいる。テレビの視聴者は何もする必要がなく、自発的に何かを行うことはない。視聴者は選択もせず、判断を下すこともない。視聴者は完全に受身で、彼の側からは何も努力せずにすべてを与えられるのである。

しばしば言われることだが、テレビは人に最新のできごとについて情報を与え続け、人が科学や政治における最新の発展についていくことを可能にしてくれ、そして、ためになってももしろい番組を途切れることなく提供してくれる。もっとも遠い国々のことやもっとも珍しい慣習が、正に居間まで運ばれてくるのである。ラジオも同様にこのサービスを行っているという主張もできるだろう。が、テレビで見る方がすべてのものがより生き生きとして、より本物らしく見えるのだ。ところが、ここにまた、危険がある。私たちはテレビを見ることに非常に慣れてしまって、テレビのチラチラする映像に非常に依存してしまうので、テレビが私たちの生活を支配し始めることになる。私の友人は、テレビが故障して、彼とその家族はいろいろなことをする時間がもっとあることに突然気づき、実際もう一度お互いに話し始めたのだと先日私に語った。それは人に考えさせる話ではないか！

テレビに賛成したり反対したりする議論は他にもたくさんある。テレビ番組の質の低さはしばしば批判される。が、テレビは、多くの寂しい老人たちにとっては、疑いなく、大きな慰めとなっている。また、テレビは、私たちの子どもたちを墮落させるだろうか、それとも教育してくれるだろうか。私は、テレビが本質的にはよいものでも悪いものでもないということを認識しなくてはならないと考える。(24) テレビの利用法こそが、社会に対するテレビの価値を決定するのである。

## 第4章 基本動詞を活用する

### 16 サムの生涯

Sam was a grocer in the Bronx, New York City. All his life he had worked hard, first as the only (1)employee in the same small grocery, and then as its owner. The store, which opened at 7: 30 A.M., never closed before eight in the evening — and often later, for Sam never refused to serve late customers when he was still around cleaning up the place. His wife helped, and (2)so did his three children when they were not in school or doing their homework.

(3)Sam took his long days as a matter of course. Like most men of his age and modest background, he regarded work as the normal human fate. He didn't resent (4)( ) pains to assure the financial security of his family because he was (5)( ) that anything (6)of value has to be earned. Surely, (7)it never occurred to Sam to wonder whether this security was costing him too much freedom and personal happiness. For one thing, he didn't (8)( ) himself unhappy or unfairly burdened. He was just a man doing his duty. Besides, he had his rewards: the store had prospered nicely since he had bought it and he felt proud of his success. It was good also to know that he had earned the respect and friendship of his neighbors; it was good to (9)feel needed, responsible, and liked.

For Sam the little store didn't represent only a hard way to (10)( ) a living and to (11)( ) his sons with the education that he had not received himself. It was not just a place to work. (12)It was his true home, his world, the very center of his life, and his pleasure as well. He enjoyed his daily conversations with his customers, the jokes he shared with the policeman \*on the beat, and the (13)company of Fred, the tailor next door, who came every day for an apple and a bit of gossip.

(14)Sam's sons tried in vain to talk him into retiring at seventy. He couldn't imagine a life away from his store, his responsibilities, his friends. Sam (15)( ) his store until he was seventy-four. One morning, as he was carrying a box of apples outside, he collapsed and (16)( ) of his heart attack without having been sick or idle one day. That was pretty much (17)what he had hoped for.

(注) on the beat : 巡回中

#### 設問

(1)下線部の反意語を答えよ。

(2)下線部の具体的内容を表すように、次の空所にあてはまる適当な語句を答えよ。

\_\_\_\_\_, too

(3)(7)(12)下線部を和訳せよ。

(4)(5)(8)(10)(11)(15)(16)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

consider convince die make provide run take

(6)下線部の反意語を次から選べ。

1. invaluable 2. priceless 3. valuable 4. valueless

(9)下線部と近い意味のものを次から選べ。

1. 働くことが必要だと感じている 2. いつも欠乏しているように感じる

3. 人のために役立っていると感じる 4. 多くの要求を感じる

(13) 下線部と近い意味で用いられている company を含む文を次から選べ。

1. I work for my father's company.
2. You may know a man by the company he keeps.
3. A company of travelers are expected to arrive soon.
4. I will be glad of your company on the trip.

(14) 下線部と近い意味の文を次から選べ。

1. Sam's sons were happy to talk about his retirement.
2. Sam's sons failed to persuade him to retire.
3. Sam's sons attempted to discuss their retirement with him.
4. Sam's sons were ready to tell him to retire.

(17) 下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(18) 本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。

1. 小さな食料雑貨店の店員として出発し、その店の経営者となるに至ったサムは自分の成功をしばしば得意げに子どもたちに語った。
2. サムが仕事や苦勞をいとわなかったのは、本来人間は働くべきものであり、価値あるものは労働によって手に入れるべきものだと考えていたからである。
3. 自分が受けなかった教育を息子たちに受けさせてやりたい一心で、サムはつらい労働に耐えた。
4. サムが成功したのは彼の勤勉さもさることながら近所の人々の善意と奉仕に負うところが多かった。
5. サムは仕事にあげくれる自分の姿を不幸である時々ふと思うことがあったが、この苦しみで耐えることが自分に与えられた運命であると考えた。
6. 仕事を第一と考え、74歳まで働き続けて仕事に倒れたのは、むしろサムの望むところであつたらう。

### Further Expressions

#### 《当然と思う》

Sam took his hard work as a matter of course. 【当然と考える】

Sam took his hard work for granted.

Sam took it for granted that he must work hard.

#### 《駄目だった》

Sam's sons tried in vain to persuade him to retire. 【無駄だった】

Sam's sons tried vainly to persuade him to retire.

Sam's sons tried to persuade him to retire, [but] in vain.

Sam's sons tried to persuade him to retire, only to fail. 【失敗した】

Sam's sons tried to persuade him to retire, but without avail. 【無駄だった】

Sam's sons tried to persuade him to retire, but without success. 【成功しなかった】

Sam's sons tried to persuade him to retire, but to no purpose. 【無駄だった】

It was no use trying to persuade him to retire.

#### 《生計を立てる》

The little store was not only a way to earn a [his] livelihood. 【生計を立てる】

The little store was not only a way to earn a [his] living.

The little store was not only a way to make a [his] livelihood.

The little store was not only a way to make a [his] living.

## 解答

(1)employer (2)his three children helped (3)全文訳参照 (4)taking (5)convinced (6)4 (7)全文訳参照 (8)consider (9)3 (10)make (11)provide (12)全文訳参照 (13)4 (14)2 (15)ran (16)died (17)病気や怠慢で休むことなく、死ぬまで毎日店で働きつづけること。(18)2, 6

## 解説

- (1)employee「従業員」その反意語は「雇用主」だから employer である。  
(2)so do A「A もまたそうである」 so did his three children の did は前にある helped を受けている。  
(3)take A as B「A を B としてみなす」 as a matter of course「当然のこととして」  
(4)resent (one's) doing「～するのに腹をたてる、ひどく嫌う」 take pains to 不定詞[with A]「～するの[A]に」骨を折る、努力する」 よって taking が正解。He didn't resent taking pains to assure ~「彼は～を保証するために骨を折ることを嫌がらなかった」  
(5)convince は「納得させる、確信させる」という他動詞である。S be convinced of A[that S V]「S は A[～である]と確信している」  
(6)of + 抽象名詞 = 形容詞。of value = valuable「貴重な」である。よってその反意語は valueless.「無価値な、つまらない」その他は invaluable「(評価できないほど)貴重な」 priceless「金では買えない、大変貴重な」

### 前置詞 + 抽象名詞

< of + 抽象名詞 > で形容詞的な意味となる。

He is a man of courage. 彼は勇気のある人だ。(courageous)

This book is of great use to me. この本は大変役に立った。(very useful)

This matter is of no importance. この事柄は少しも重要でない。(not important)

< with + 抽象名詞 > で副詞的な意味となる。

She speaks French with fluency. 彼女はフランス語を流暢に話す。(fluently)

- (7)it never occurred to Sam to wonder whether ~「～かどうか思い巡らすことがサムの上に浮かぶことはけっしてない」つまり、「～かどうかとサムは思ってもみなかった」 this security was costing him too much freedom and personal happiness.「この安定があまりにも多くの自由と個人的幸せを彼に支払わせていた」つまり、「彼はこの安全のために...を犠牲にしていた」 cost A (人) B(もの)「A に B(被害や損失)をかける」  
(8)consider + 名詞 + 形容詞「...を～と考える」 He didn't consider himself unhappy or unfairly burdened.「彼は(自分を)不幸だとか不当な重荷を負っているとは考えなかった」  
(9)It was good also to know that he had earned the respect and friendship of his neighbors という前文に注目する。 it was good to feel needed = it was good to feel that he was needed.「自分が隣人たちによって必要とされていると感じることは良いものだ」という意味である。必要とされているとは、自分が人のために何かをしているということである。よって、ここでは 3. が正しい。  
(10)make a living by A「A によって生計をたてる」ここでは make が適当だが、他に earn[get, gain] a living でも同じ意味である。  
(11)provide A with B「A に B を供給する、備えつける」 provide his sons with the education「彼の息子たちに教育を与える、受けさせてやる」  
(12)the very center of this「まさに彼の人生の中心」 very は center にかかる形容詞で「ちょうど、まさに」といった意味。 and his pleasure as well.「そしてまた喜びでもあった」 as well = too.  
(13)company はさまざまな意味を持つ単語だが、この company は「同席、付き合い、交際」という意味である。 He enjoyed...the company of Fred「彼はフレッドとの付き合いを楽しんだ」 よって 4.I will be glad of your company on the trip.「旅行でのあなたの同席がうれしい あなたと旅行で一緒にできると嬉しいです」が正解。 1.my father's company「私の父の会社」、2.は「仲間」の意味で You know a man by the company he keeps.は「付き合う仲間を見ればその人の人柄がわかる」ということわざである。 3.a company of travelers「旅行者の一行」  
(14)Sam's sons tried in vain to talk him into retiring.「サムの息子は彼に引退を勧めようと試みたが失敗した」 in vain「無駄に、むなしく」 よって 2.failed to persuade「説得しそこなった」が正解。 3.attempted to discuss「議論しようとして試みた」 4.was ready to 不定詞「...する用意ができていた」  
(15)run の過去形 ran が正解。 run は他動詞で「(会社などを)経営する」という意味がある。  
(16)die of A「A が原因で死ぬ」 he collapsed and died of his heart attack「彼は倒れ、心臓発作で亡く

なった」

(17) That was pretty much what he had hoped for. 「それはほとんど彼の望んだことであった」 That のうける内容は前文の One morning... である。サムにとっては病気などで店に出られなくなるよりも、ある日突然働いているうちに死んでしまうほうがむしろ望ましいことだったのである。

(18) 2 は第二段落に Sam took his long days as a matter of course... とあるので正解。6 は最後の段落の内容と一致するので正しい。1. 「サムは自分の成功をしばしば得意げに子どもたちに語った」という記述は本文にないので誤り。第二段落に he didn't consider himself unhappy or unfairly burdened. とあるので 3. 「サムはつらい労働にたえた」は誤り。サムが成功したのは「近所の人々の善意と奉仕に負うところが多かった」という記述はないので 4 も誤り。5 は第二段落の He didn't resent taking pains... に反するので誤り。

## 全文訳

サムはニューヨークのブロンクス区にある食料雑貨店の店主だった。彼は一生を通じて熱心に働いた。最初は同じ小さな食料雑貨店の一店員として、そして後にはその店の店主として。店は 7 時半の開店から夕方 8 時の閉店時間まで閉じることはなかった。そしてしばしばそれより遅くまで店は閉まらなかった。というのもサムは、まだ店の掃除をしているときには、遅い客でも応対するのを拒まなかったのである。彼の妻は、店を手伝った。そして 3 人の子どもたちも、学校がないときや宿題をしていないときは手伝った。

(3) サムは自分の長い一日一日を当然のものと考えていた。同年代のつましい経歴の人々と同じように、サムもまた働くことは普通の人間の宿命だとみなしていた。彼は家計を確実に安定させるために骨を折ることをいとわなかった。なぜなら彼は、価値のあるものは働いて得なければならないと確信していたからだ。もちろん(7)サムは、この安定のために自由と個人的な幸せとがあまりにも犠牲になっているのではないかなどとは思ってもみなかった。ひとつに彼は、自分が不幸だとか、不当な重荷を負っているとは考えなかったのである。彼はただ自分の義務を果たす人間であった。その上彼には報いもあった。店は彼が購入してからというものよく繁盛したので、彼は自分の成功に誇りを感じていた。隣人たちの尊敬と友情を得られたのもよいことだった。つまり、必要とされ、信頼され、好まれていると感じるのは嬉しいことであった。

サムにとってその小さな店は、生計立て、彼自身受けられなかった教育を子どもたちに受けさせてやるためのつらい道であるだけではなかった。働くための場所というだけでもなかった。(12)それは彼の家であり、彼の世界であり、まさに彼の人生の中心であり、そしてまた喜びでもあった。彼は客との日々の会話や、巡回中の警官とのジョーク、それにフレッドという、毎日一個のりんごと噂話のためにやって来る隣の仕立て屋との付き合いを楽しんでいた。

サムの息子はサムが 70 歳の時引退を勧めて失敗した。サムには彼の店や、彼の責任や、彼の友人たちから離れた生活など想像できなかった。サムは 74 歳まで店を運営した。ある朝彼はりんごの箱を外に運んでいるときに倒れ、一日たりとも病気をしたり怠けたりしないままに、心臓発作で亡くなった。それはほとんど彼が望んだことだったのである。

## コラム 語源研究

### 語根 CEED, CEDE, CESS

【語源】ラテン語の *cedere* 「行く」を語源とする。また *cedere* には、他にも「終わる、退く、譲る」などいろいろな意味があり、*cease* 「やめる」、*cede* 「割譲する、譲渡する」、*cession* 「(権利・財産・土地などの)譲渡」は形がよく残っている例である。

### 【単語】

- access ad(～へ) + cess(行く) 「...へ行くこと(= 接近方法、接近、通路)」
- ancestor ante(前に) + cestor(行く人) 「(時間的に)...の前に行く人(= 祖先、先祖)」
- concede con(共に) + cede(譲る) 「ともに譲り合う(= 容認する、譲歩する)」
- exceed ex(外へ) + ceed(行く) 「(範囲の)外へ行く(= 越える)」
- intercede inter(間に) + cede(行く) 「(争いをしている人の)間へ行く(= 仲裁する)」
- precede pre(前に) + cede(行く) 「(時間的に)...の前に行く(= 先行する)」
- proceed pro(前へ) + ceed(行く) 「(空間的に)前へ行く(= 進む、続ける)」
- recede re(後ろへ) + cede(行く) 「後ろへ行く(= 退く、後退する)」
- secede se(離れて) + cede(行く) 「(組織から)離れていく(= 脱退する)」
- succeed sub(下へ) + ceed(行く) 「(財産が)下へ行く(= 成功する、後を継ぐ)」

## 17 高齢者の社会的役割

When is a person old? (1)There are many individuals who still seem 'young' at seventy or more, while others appear 'old' in their fifties. From another point of view, sumo wrestlers, for instance, are 'old' in their thirties, whereas artists' best years may come in their sixties or even later. But (2)in general, people are old when society (3)( ) them to be old, that is, when they retire from work at around the age of sixty or sixty-five.

Nowadays, however, the (4)demand for new work skills is making more and more individuals old before their time. Although older workers tend to be dependable, and have much to offer from their many years of experience, they are put at a disadvantage by rapid developments in technology. Older people usually (5)acquire / difficult / find / it / more / to the new skills required by technological changes, and they do not (6)( ) the same educational opportunities (7)( ) young workers.

When they finally leave work and retire, people (8)( ) further problems. The (9)majority receive little or no assistance in (10)( ) to their new situation in the community. (11)Moreover, since society at present appears to have no clear picture of what place its old members should occupy, (12)it is unable to offer them enough opportunities to have satisfying social roles after they retire.

In the past, the old used to be (13)looked upon as experts in solving various problems of life. Today, however, (14)they are no longer regarded as such and are seldom expected to (15)( ) significant roles in social, (16)(economic, economical) and community affairs. (17)With the number of older people in the population rapidly increasing, we need greatly to increase and improve the opportunities provided for them so that they can participate in society with dignity and respect.

### 設問

(1)(17)下線部を和訳せよ。

(2)(11)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(2) generally ( )

(11) In ( )

(3)(6)(8)(10)(15)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

adjust consider deal enjoy face play wonder

(4)(9)下線部の反意語を答えよ。

(5)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(7)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(12)下線部の具体的内容を次から選べ。

1. society 2. clear picture 3. to offer them enough opportunities

4. to have satisfying social roles

(13)下線部と近い意味の1語を本文中から選べ。

(14)下線部を、as such の具体的内容を明示して和訳せよ。

(16)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(18)本文の内容と一致するように次の空所にあてはまる適当な語句を選べ。

(A) People are normally regarded as old when ( ).

1. they are in their fifties

2. they are judged to be old by society

3. they consider themselves too old to work

4. they reach the age of seventy

(B) Changes in technology can ( ).

1. enable older workers to make better use of their experience

2. give older people opportunities for new jobs

3. make it easier for older workers to acquire new skills

4. make older people's knowledge and skills out of date

(C) After finally retiring, most people ( ).

1. are given new social roles by society

2. do not need assistance in making the necessary adjustments

3. have few disadvantages in their new situation

4. have to work out their social roles largely for themselves

(D) According to the fourth paragraph, the position of old people in society today largely depend on ( ).

1. how many problems they are able to solve

2. the age at which they finally retire from their work

3. the rapid increase in the number of retired people in the community

4. what opportunities they are given by society

(19) 高齢者をめぐる雇用状況の問題について本文中に述べられている点を日本語で説明せよ。

(20) 高齢者の退職後の社会的状況の問題点について本文中に述べられている点を日本語で説明せよ。

### **Further Expressions**

#### **〈尊敬する〉**

We should respect old people. 【尊敬する】

We should look up to old people.

We should think highly of old people. 【高く評価する】

We should be respectful to [of, toward] old people. 【敬意を表する】

#### **〈参加する〉**

Old people should participate in society with dignity. 【参加する】

Old people should take part in society with dignity.

Old people should join society with dignity.

#### **〈時代遅れの〉**

Older people's knowledge may become out of date because of changes in technology.

【時代遅れの】

Older people's knowledge may become old-fashioned because of changes in technology.

【流行遅れの】

Older people's knowledge may become behind the times because of changes in technology. 【時勢に遅れた】

Older people's knowledge cannot keep up with the times because of changes in technology. 【ついていく】

Older people's knowledge cannot keep abreast of the times because of changes in technology. 【時代に遅れないようにする】

Older people's knowledge cannot keep pace with the times because of changes in technology. 【遅れずに進む】

Older people's knowledge cannot be up to date because of changes in technology.



## 解答

(1)全文訳参照 (2)speaking (3)consider (4)supply (5) find it more difficult to acquire  
(6)enjoy (7)as (8)face (9)minority (10)adjusting (11)addition (12)1  
(13)regarded[considered] (14)お年寄りたちは、もはや人生の諸問題を解決する専門家とはみなされて  
いない。(15)play (16)economic (17)全文訳参照 (18)(A)2 (B)4 (C)4 (D)4 (19)技術の急速  
な進展により新しい技術を習得するのが困難な高齢者は職場において不利な立場に立たされている。  
(20)地域社会の新しい状況に対応するための援助がほとんどなく、また社会自身も高齢者にふさわし  
い社会的地位が用意できていない。

## 解説

- (1)many individuals who still seem 'young' at seventy or more「70歳かそれ以上でもまだ若く見える人々」 while「一方で」 others appear 'old' in their fifties「50歳代で年老いて見える人々」 全体の流れとしては、「若く見える人がいる一方で年老いて見える人々もいる」ということ。  
(2)in general = generally speaking「一般に」  
(3)consider A (to be) B「AをBとみなす」 consider them to be old「彼らを年老いているとみなす」  
(4)demand「需要」 supply「供給」  
(5)it の仮主語構文。find + it + 形容詞 + to 不定詞「～を(形容詞)だと思う」このとき、it は to 不定詞以下を指していて、SVOC の文を作っている。find it more difficult to acquire「身につけるのをより難しいと思う」  
(6)enjoy「楽しむ」でも意味は通じないことはないが、むしろ「持っている、経験する、享受する」という意味。They do not enjoy the same educational opportunities「彼らは同じ教育機会を享受しない」

### 「享受する」の enjoy

enjoy には「楽しむ」のほかに「持っている、経験する、享受する」という意味がある。

We enjoy academic freedom. 私たちは学問の自由を享受する。

She enjoys good health. 彼女は健康に恵まれている。

- (7)same A as B「Bと同じようなA」 the same educational opportunities as young workers「若い労働者と同じような教育機会」 もうひとつ例。His hair is the same color as his father's.「彼の髪は父と同じ色だ」  
(8)face「面する、直面する」 face further problems「さらなる問題に直面する」  
(9)majority「大多数」 minority「少数」あわせて、major「大きいほうの、主要な」 minor「小さいほうの、比較的重要でない」も重要。  
(10)adjust to A「Aに順応する、慣れる」 assistance in A「Aにおける援助」となるよう ing 形にする。receive little or no assistance in adjusting to their new situation in the community.「地域社会における新たな状況に順応するための援助をほとんどあるいは全く受けない」  
(11)moreover = in addition = besides「その上」  
(12)直前の since 節の主語 society を受けている。it が to 以下を表すことが多いので 3 と誤りやすいが、その場合は unable でなく impossible でなければならない。  
(13)look on (upon) = regard = consider「～とみなす」本文中には regard しか出てこないが、穴埋め問題に consider があるので、これを活用させた considered でもよい。to be looked upon as experts「専門家としてみなされる」  
(14)no longer「もはや～でない」 as such の such は直前の as experts in solving various problems of life「生活上の諸問題を解決する専門家」を指している。regard A as B「AをBとみなす」  
(15)play an important role[part] in A「Aにおいて重要な役割を果たす」 significant = important「重要な」ここでは、impotent を significant に置き換えているが、意味に差はない。  
(16)economic「経済の、経済上の」 economical「経済的な、徳用の」 economic affairs「経済上の諸問題」  
(17)with the number...increasing「数字が増えるとともに」この with は付帯状況の with。We need...to increase and improve the opportunities「私たちは機会を増やし改善する必要がある」 increase と improve は並列でともに前の need と後ろの opportunities にかかる。the opportunities provided for them「高齢者のために提供される機会」 provided は opportunities を修飾している。so that「～するために」ここでは、「結果」ではなく「目的」の so that。participate in = take part in「参加する」 dignity「威厳、尊厳」余談だが、dignity には death with dignity「尊厳死」という用語

もある。

(18)(A)第1段落の最後の文、But in general...以下に述べられている。一般的に人は社会によって「老人である」と判断されたとき老人になるのである。2が正解。

(B)第2段落の半ばに they are put at a disadvantage by rapid development in technology とある。それはつまりそのあとにも述べられているように、年配の労働者が新しい技術についていけず、彼らの知識と技術が out of date 「時代遅れの」ものになってしまうからである。よって4が正解。

(C)第3段落の前半にあるように、退職した人の大多数は、地域社会の新たな状況に順応するために援助を受けたりしない。つまり for themselves 「自分自身で」新たな地位を見つけなければならないのである。よって4が正解。

(D)we need greatly to increase...「私たちは...彼らに提供する機会を増やし、改善する必要がある」と第4段落の最後の行にある。つまり現在老人は、私たち周囲の人間=社会が提供する機会によって新たな社会的地位を獲得していくのである。よって4が正解。

(19)第2段落に、高齢者は雇用において不利な立場にあることが述べられている。現代の技術は急速に進展していること、高齢者(年配の人々)は新しい技術を習得するのが困難であること、その結果として高齢者の雇用状況が厳しいものになっていること、といった点をまとめる。

(20)第3段落に述べられている。社会は退職した高齢者に対して、彼らが地域社会で新しい地位を得るための援助をほとんどしていないこと、現代の社会では高齢者にふさわしい地位についての見通しが不明確であること、という2点をまとめる。

## 全文訳

人はいつ老いるのか？(1)70を越えてもまだまだ「若く」見える人はたくさんおり、その一方で50代でも「老いて」見える人もいる。別の観点からみれば、たとえば力士は30代で「年寄り」であり、一方芸術家は最盛期が60代若しくはその後に来る。しかし一般的に社会が老人とみなした時点で老人なのであり、それは60歳若しくは65歳で仕事を退職するときである。

しかし現在新たな仕事の技術への需要により人々は定年より前にますます古臭い人になっている。年配の労働者は頼りになり、長年の経験から多くのことを教えられるものであるが、技術の急速な発展により不利な立場に立たされている。年配の人々は普通技術の変化に必要な新技能を習得するのが困難であり、若い労働者と同様な教育の機会を恵まれない。

ついに仕事を離れ、退職する時、人々はさらなる問題に直面する。大多数は地域社会における新たな状況に順応するための援助をほとんど若しくはまったく享受しない。その上、現在の社会は年配の人々がどのような地位を占めるかについての明確な見通しが無いようであるため、退職後に満足のいく社会的地位を得るための十分な機会を与えることができない。

以前は、老人は人生における様々な問題を解決する専門家として尊敬されていたものだ。しかし現在では彼らはもはやそのようにみなされておらず社会的、経済的な地域社会のできごとにおいて重要な役割を果たすことはめったに期待されない。(17)人口における老人の数が急速に増加するにつれて我々は彼らが尊敬を持ち、尊敬を受けつつ社会参加できるように彼らに提供する機会を増加させ、改善する必要がある。

## コラム 語源研究

### 語根 FACT,FECT

【語源】ラテン語の facere「する、作る」を語源とし、その変化形が fact, fect, fic, fy, facil といろいろな形で現れる。フランス語 faire「する」、イタリア語 fare「する」、スペイン語 hacer「する」、ポルトガル語 fazer「する」はそれぞれラテン語の面影を残している。fact「なされたこと 事実」、factory「作られるところ 工場」、fiction「作られたもの 小説」などは英語で形をよくとどめている例である。

### 【単語】

- affect ad(～へ) + fect(なす) 「～に作用する(=影響する、感動させる)」
- benefit bene(よい) + fit(なす) 「善をなされたこと(=利益)」
- defect de(～から) + fect(作る) 「(完全な状態から)離されたもの(=欠点)」
- effect ex(外へ) + fect(なす) 「外に作用したもの(=影響、結果)」
- infect in(中に) + fect(なす) 「中に作用する(=感染させる)」
- manufacture manu(手) + facture(作る) 「手で作ること(=製造、製品、製造する)」
- perfect per(完全に) + fect(作る) 「完全に作る(=完全な)」

## 18 人と動物の距離

How nice it would be (1)if all the creatures we met out of doors were tame, and would play with us as they do in the fairy stories. Generally they fly away or hide, because they know that most people want to throw stones at them or to pull off their legs and wings, or to hurt their feelings in other ways. So only the flies and the bees, and other folk that want to play games we don't (2)care about, will come near us, and the others (3)( ) off to find a part of the garden where there are no human beings to (4)( ) them.

But (5)now and again we do find creatures quite (6)(tame, wild) and friendly. Sometimes (7)it is hunger that brings them to us, as when the frost (8)( ) birds from digging for worms, or the snow has covered all their food, and they come and beg a few little bits of bread and a sip of water. (9)Sometimes it is the fear that their little naked young ones will catch cold or starve if they are not attended to that makes birds forget their fear of us, and come to their nests even when we stand close by. (10)Sometimes mere curiosity leads creatures to come a little closer, and, if we keep still, closer yet, to stare at the huge animal that has invaded their own particular part of the world.

By (11)( ) advantage of these instincts we can (12)get glimpses of the home life of our fellow-creatures. (13)Children must not think that man is the only person worth making friends with, though as we are human beings we naturally (14)( ) him the most important.

### 設問

(1)下線部と同じ用法の if を含む文を次から 2 つ選べ。

1. Ah, if only I had a pretty doll like that!
2. If he has finished the accounts, he may go home.
3. If I could go to see you, how happy I should be!
4. Shall I get there in time if I take the 4: 30 train?
5. You should read the newspaper carefully, if you are interested in current topics.

(2)(5)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (2) 1. deal with    2. like    3. look after    4. take care    5. worry  
(5) 1. at present    2. in the near future    3. occasionally    4. often    5. today  
(12) 1. learn a lot about    2. look closely into    3. receive presents from  
4. see for brief moments    5. take photographs of

(3)(4)(8)(11)(14)空所にあてはまる適切な動詞を次から選び、適切な語形に直せ。

go    prevent    take    think    worry

(6)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(7)(9)(10)(13)下線部を和訳せよ。

(15)本文の内容と一致するものを次から選べ。

- (A) 1. Most animals are foolish to fear human beings.  
2. Most animals are naturally friendly to human beings.  
3. Most animals realize that human beings are dangerous.

- (B) 1. Only unpleasant insects seem to want to play with us.  
 2. Unpleasant insects have feelings like folk and we should care about them.  
 3. When we are playing we don't care about unpleasant insects.
- (C) 1. One reason animals sometimes approach us is because they want food and drink.  
 2. One reason animals sometimes approach us is because we have given them food and drink.  
 3. One reason animals sometimes approach us is because we offer them food and drink.
- (D) 1. Animals sometimes approach us out of what seems to be just interest.  
 2. It is curious how you can lead animals to water but cannot make them drink.  
 3. If you are curious about animals you can sometimes get them to approach you.
- (E) 1. Children must not think that they are so important, but try to be simple like natural creatures.  
 2. Children should understand that creatures other than human beings are worth making friends with.  
 3. Children should understand that women as well as men are worth making friends with.

### **Further Expressions**

#### **〈妨げる〉**

Due to the frost, birds cannot dig for worms. 【～のために】

On account of the frost, birds cannot dig for worms.

The frost prevents birds from digging for worms. 【妨げる】

The frost keeps birds from digging for worms. 【させないようにする】

The frost hinders birds from digging for worms. 【妨げる】

The frost makes birds unable to dig for worms. 【できない】

The frost makes it impossible for birds to dig for worms. 【不可能な】

#### **〈であればなあ〉**

(How) I wish all creatures were tame! 【～であればなあ】

If only all creatures were tame! 【～でありさえすれば】

I am sorry that all creatures are not tame. 【残念に思う】

#### **〈仲良くする〉**

We should make friends with animals as well as humans. 【親しくなる】

We should get along with animals as well as humans. 【仲良くやっていく】

We should be on good terms with animals as well as humans. 【仲の良い間柄である】

## 解答

(1)1,3 (2)5 (3)go (4)worry (5)3 (6)tame (7)全文訳参照 (8)prevents (9)鳥たちが私たちへの恐怖を忘れるのは、不安のためであることがときどきある。もし自分たちが世話をしなければ、自分たちの小さな羽毛のそろっていないひな鳥たちが、風邪を引いたり飢えたりするのではないかという不安である。(10)全文訳参照 (11)taking (12)4 (13)全文訳参照 (14)think (15)(A)3 (B)1 (C)1 (D)1 (E)2

## 解説

- (1)How nice it would be if all the creatures we met out of doors were tame「もしも私たちが戸外で出会うすべての動物が柔順であるなら、どんなにすてきだろう」 if 節の中が過去形なので、仮定法過去「(実際は違うが)もし～なら...だろうに」である。同じ用法の if を含む文は 1.Ah, if only I had a pretty doll like that!「ああ、私がそんなかわいらしい人形を持っていさえすればなあ(実際には持っていない)」 3.If I could go to see you, how happy I should be!「もしあなたに会いに行けるなら、私はどんなに幸せだろう(実際には行けない)」ともに仮定法過去。他の選択肢は if 節の中が現在形なので、ありうることを仮定する if。4.Shall I get there in time if I take the 4:30 train?「もしも 4時半の電車に乗ったら、私は遅れずにそこにつくだろうか?」
- (2)we don't care about「私たちは心配しない」 worry が近い。look after = take care of「世話をする」 deal with A「Aを扱う」 like=care for「好む」 take care「気をつける、注意する」
- (3)only flies and the bees, and the other folk...will come near us, and the others go off「八工や蜂や、その他の...な動物たちだけは私たちのところへやって来るだろうが、その他のものは立ち去るのである」 come near us と対になっているのでここは go off「立ち去る」
- (4)where there are no human beings to worry them「彼ら(動物たち)を苦しめる人間がいないところ」
- (5)now and again=occasionally「ときおり」 now and again we do find creatures...「しかし時折、私たちは動物が...であると発見する」 at present「現在、目下」

### 頻度(パーセンテージは状況によって変化する)

100%	always
80%	almost always, generally, normally, regularly, usually
60%	frequently, not always, often
50%	sometimes
40%	occasionally, now and then, from time to time, once in a while, at times
20%	hardly ever, rarely, scarcely ever, seldom,
0%	never

- (6)we do find creatures quite tame and friendly「私たちは動物が極めて柔順で友好的であるのを見つけた」 friendly と並置されるのであるから wild「野性的」ではなく tame「飼いならされた、従順な」である。
- (7)it is A that...「...なのは A である」の強調構文。hunger brings them to us.「飢えは彼らを私たちのところへ連れてくる」=「飢えのために彼らは私たちのところへやってくる」という文の hunger を強調している。
- (8)when the frost prevents birds from digging for worms「鳥たちが温まるために穴を掘るのを霜が妨げるとき」 prevent A from ~ing「A が B するのを妨げる」
- (9)これも強調構文。it is the fear...that makes birds forget their fear of us「鳥たちに私たちの恐怖を忘れさせるのは恐れである」 fear that の that は同格「～という」の用法。fear の内容は、their little naked...are not attended to の部分である。little naked young ones「小さくて裸の(羽の出そろっていない)ひなたち」 catch cold「風邪を引く」 starve「飢える」 attend to A「Aの言うことを聞く、Aの世話をする」 makes birds forget「鳥たちに忘れさせる」 make は使役で、make + A + 原形「Aに～させる」の意味。
- (10)mere curiosity「単なる好奇心」 lead A to 不定詞「Aに～する気にさせる、仕向ける」この to 不定詞は to come と to stare のふたつある。a little closer「もう少し近くに」 if we keep still「もし私たちが静かにしているなら」挿入の文なのでカッコにくくって考えるとよい。still はこの場合形容詞で「静かな、静止した」 closer yet「(動物たちは)近づいたままで」 stare at A「Aをじっと見る」 the huge animal that has invaded...「...に侵入してきた巨大な動物(ここでは人間を指す)」

- (11)By taking advantage of these instincts「これらの本能を利用することで」 take advantage of A 「A を利用する」
- (12)glimpse「ちらりと見ること、一瞥」 get a glimpse of A「A をちらっと見る」 see for brief moments「短い間見る」 we can get glimpses of the home life of our fellow-creatures「私たちは私たちの仲間である動物の生態をかいま見ることができる」
- (13)must not think「(絶対に)考えてはいけない」 must not は強い否定である。man「人間」ここでは、a human being のこと。worth ~ing「~に値する、する価値がある」 make friend with A「A と友達になる」
- (14)we naturally think him the most important「私たちは自然に彼をもっとも重要であると考える」 think A (to be) ~ 「A を ~ であると考える」
- (15)(A)3 が正解。第 1 段落に they know that most people want to throw stones... とある。  
 (B)1. 「不快な虫のみが私たちと遊びたがっているように見える」が正解。第 1 段落の only the flies and the bees... と同じ内容。2、3 のようなことは言っていない。  
 (C)第 2 段落に they come and beg a few little bits of bread and a sip of water「彼らはパンのわずかなかけらと一口の水を乞いにやって来る」とある。2. 「動物たちが私たちに近づいてくるひとつの理由は、私たちが彼らにえさや飲み物を与えていたからである」人間がえさを習慣的に与えていたから寄ってくるのではなくて、動物たちが食べ物乞いにやって来る、と本文にはある。よって 2 ではなく 1 が正解。  
 (D)1. Animals sometimes approach us out of what seems to be just interest「動物はときどきただおもしろそうに見えるだけのものために私たちに近づく」が正解。第 2 段落に Sometimes mere curiosity leads creatures to come a little closer... とある。2. 「動物たちは水場に導けるが、彼らにそれを飲ませることができないことは興味深い」や 3 のような記述はない。3. get them to approach 「彼らを近づけさせる」 get は使役で、get + A + to 不定詞で「A を ~ させる」の意味。  
 (E)2 が正解。creatures other than human beings「人間以外の生物、動物」第 3 段落の最後の Children must not think that... という部分と内容が一致する。1. 「子どもたちは、自分をとても重要な存在であると考えてはならないが、自然界の生き物のように単純であるように努力すべきである」は前半は良いが try to be simple like natural creatures という部分が本文にない。3 は性別の話は本文にはない。

## 全文訳

もしも私たちが戸外で出会うすべての動物が柔順で、おとぎ話の中で彼らがするように私たちと遊んでくれるなら、どんなにすてきだろう。たいてい彼らは逃げ去るか隠れてしまう。なぜなら彼らは、ほとんどの人々が自分たちに石を投げつけるか、足や羽を引っ張るか、あるいは他の方法で自分たちの感情を害しようとするのを知っているからである。だからハエや蜂や、私たちが気につけない遊びをしたがるその他の動物たちだけは私たちの近くにやって来るだろうが、それ以外の動物たちは、自分たちを苦しめるような人間のいない楽園を見つけるために立ち去るのである。

しかし時折、私たちは動物がきわめて柔順で友好的であるのを見つける。(7)彼らが私たちのところにやって来るのは時に飢えのためなのである。たとえば霜のせいで鳥たちが温まるために穴を掘れないとき、あるいは雪が彼らの食べ物すべてを覆ってしまったとき、かれらはパンのわずかなかけらと一口の水を乞いにやって来る。鳥たちが私たちへの恐怖を忘れ、私たちが近くに立っているときでさえ自分たちの巣にやって来るのは、不安のためであることがときどきある。もし自分たちが世話をしなければ、自分たちの小さな羽毛のそろっていないひな鳥たちが、風邪を引いたり飢えたりするのはないかという不安である。そして彼らは、(10)単なる好奇心で動物たちがもう少し近寄ってくることもときどきある。そしてもし私たちが静かにしているなら、彼らは近寄ったままで世界の中で自分たちの特別な場所に入り込んできた巨大な動物をじっと見つめる。

これらの本能を利用することで、私たちは私たちの仲間である動物の生態をかいま見ることができる。(13)子どもたちは人間だけが親しくなる価値のある唯一の人だと考えてはならない。私たちが人間であるために、私たちが自然に人間をもっとも重要であると考えるにしても。

## 19 異国日本への挑戦

“Oh no! I can’t eat that!” These are the words Melissa spoke when she saw *natto* (1)(at first, for the first time, in the first place). Finally, (2)in spite of her fear, she ate one small bean.

For Melissa, eating the one bean was an act of courage because Melissa was a very (3)(brave, generous, mature, timid) person. For example, whenever she and her cousins were together, Melissa was the only one who was afraid to ride in a boat or compete in a sports activity or try something new. Thus, it was a major challenge for her to come to Japan — a country with different foods, customs and language. It was not easy for her to use chopsticks, but she did it; it was (4)(confusing, confused) for her to find her way on the trains, but she did it; and it was very hard for her to eat different foods, but she did it.

Sometimes Melissa felt (5)(embarrassed, embarrassing) when she did (6)something (7)(that, what) Japanese people would never do. She has the unusual habit of using her feet like she uses her hands, so in Japan she (8)(could, should, would) often pick up her bag and move it with her foot. When she was told not to do that, she felt bad and ashamed. Then she smiled and said “Well, now I know.”

(9)The more she met with Japanese people, the more she grew to respect and like them. Of course, she was (10)(disappointed, disappointing) when people she met would not try to talk to her, (11)( ) they were students who were studying English. One young man started to talk with her but suddenly became (12)(embarrassed, embarrassing) and left in the middle of the conversation. When Melissa visited an English class once, (13)no one spoke to her. Later the students in the class (14)( ) among themselves and held an imaginary conversation with her in Japanese. They (15)( ) to talk to her and to ask her questions.

Generally (16)( ), Melissa (17)( ) a good time in Japan and really enjoyed (18)( ) new things and trying to meet different people. She was the courageous one, trying to learn and to communicate with others. (19)Unfortunately it was the Japanese students, safe in their own country, around her who were afraid and were too timid to talk to someone so kind and friendly as Melissa.

## 設問

(1)(3)(4)(5)(7)(8)(10)(12)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(2)(13)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(2) ( ) she was fearful

(13) she was not ( A ) ( B ) by ( C )

(6)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(9)(19)下線部を和訳せよ。

(11)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. as if 2. even though 3. now that 4. unless

(14)(15)(16)(17)(18)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

challenge have pretend speak talk

(20)本文の内容と一致するように次の空所にあてはまる語句を選び。

(A) In Japan, Melissa managed to ( )

1. eat with chopsticks, eat different foods and find her way on Japanese trains
2. pick up her bags with her feet
3. have an imaginary conversation with Japanese students
4. eat "natto," ride in a boat, and play a rough sport

(B) The only unfortunate thing about Melissa's visit to Japan was that ( ).

1. she couldn't learn to eat the food
2. she was scolded about her use of her feet
3. Japanese people didn't respect her
4. Japanese people wouldn't talk to her

(21)アクセントの位置が異なる組み合わせを次から選べ。

- |            |           |            |            |
|------------|-----------|------------|------------|
| 1. courage | 2. differ | 3. fortune | 4. imagine |
| courageous | different | fortunate  | imaginary  |

## Further Expressions

### 《にもかかわらず》

Though [Although] she was fearful, she had to eat natto. 【～であるが】

In spite of her fear, she had to eat natto. 【～にもかかわらず】

For all her fear, she had to eat natto.

With all her fear, she had to eat natto.

Despite her fear, she had to eat natto.

Notwithstanding her fear, she had to eat natto.

### 《突然》

Suddenly the young man became embarrassed. 【突然】

All of a sudden the young man became embarrassed.

All at once the young man became embarrassed.

### 《困惑する》

Melissa didn't know how to take trains in Japan. 【わからない】

Melissa was at a loss how to take trains in Japan. 【途方にくれて】

It was confusing for Melissa to find how to take trains in Japan. 【困惑させる】

Melissa was confused to find how to take trains in Japan. 【困惑する】

Melissa had no idea how to take trains in Japan. 【どうしてよいかわからない】

Melissa was at wit's end how to take trains in Japan. 【途方にくれて】



## 解答

(1)for the first time (2)though (または although) (3)timid (4)confusing (5)embarrassed  
(6)足でかばんを拾ったり移動させたりするなど、足を手のように使うこと。(7)that (8)would (9)  
全文訳参照 (10)disappointed (11)2 (12) embarrassed (13) (A) spoken (B) to (C) anyone  
[anybody] (14) talked (15) pretended (16) speaking (17) had (18) challenging (19)全文訳  
参照 (20) (A)1 (B)4 (21)1

## 解説

- (1)at first「はじめのうち」 for the first time「初めて」 in the first place「まず第一に」  
(2)in spite of[despite] + 名詞 = though (または although) + S + V 「...だけれども」  
(3)brave「勇敢な」 generous「寛大な」 mature「成熟した」 timid「臆病な」 例を見れば timidが適当。  
(4)confuse「困惑させる」ここでは主語itが「困惑させる」なのでit was confusing for her「それは彼女  
を困惑させる」となる。同じ意味の文章で、主語をsheにすると、主語sheが「困惑させられる」に  
なるので、she was confused by it「彼女はそれによって困惑させられる」となる。  
(5)embarrass「恥ずかしい思いをさせる」ここでは主語sheが「恥ずかしい思いをさせられる」ので、  
She felt embarrassed.  
(6)the unusual habit of using feet like she uses her hands「足を手のように使う普通ではない習慣」  
の部分をもとめればよい。  
(7)something that Japanese people would never do = what Japanese people would never do「日  
本人であれば絶対にしないようなこと」thatは関係代名詞の目的格用法。  
(8)wouldが正解。これは過去の習慣、習性を表すwouldである。she would often pick up her bag and  
move it with her foot「彼女はしばしば足で鞆を拾い、動かしたものだ」  
(9)the more..., the more...「...すればするほど~」meet with A「...を経験する (米)約束して...と  
会う」ここではmeet with A=meet A「Aと会う」と考えてよい。grow to不定詞「...(する)となる」  
これはrespect「尊敬する」とlikeの両方にかかる。  
(10)disappoint「失望させる」ここでは主語sheが「失望させられる」ので、She was disappointed.  
(11)as if「まるで...であるかのように」even though「たとえ...でも」now that「(今や)...である以上」  
unless「もしも...でなければ」  
(12)embarrass「恥ずかしい思いをさせる」ここでは主語sheが「恥ずかしい思いをさせられる」ので、  
She became embarrassed.  
(13)I spoke to him.の受動態は、He was spoken to by me.(toを忘れないよう注意) no + 名詞 =  
not...any + 名詞  
(14)talk among themselves「彼らの間で話し合う」  
(15)pretend to不定詞「...するふりをする」ing形は不適。pretended to talk「話しかけるふりをした」  
(16)generally speaking「一般的にいて、概して」  
(17)have a good time「楽しい時を過ごす」  
(18)challenge「挑戦する」enjoy ~ing「~して楽しむ」  
(19)Unfortunately「不幸なことには」it was the Japanese students...who were afraid and were  
too timid...「~することを怖がり、あまりに臆病になっていたのは、日本人学生だった」it was A  
who...「...なのはAであった(強調構文)」students, safe in their own country「自分の国で危険のな  
い学生」be afraid to不定詞「怖くて...できない」too timid to不定詞「あまりに臆病で...できない」  
someone so kind and friendly as Melissa「メリッサほど親切で友好的な人」so + 形容詞 + as = as +  
形容詞 + as  
(20)(A) 1.「日本では、メリッサは何とかして、箸を使いこなし、変わった食べ物を食べ、電車で目的地  
に到着することができた」(B) 4.「メリッサの日本訪問にとって唯一不幸だったのは、日本人が彼女に  
話しかけようとしなかったことだった」  
(21)courage「勇気」courageous「勇気のある」

## 全文訳

「えー、私、これは食べられないわ！」これはメリッサが初めて納豆を見たときに言ったことばであ  
る。結局彼女は怖がりつつも、小さな豆を1粒食べた。

メリッサは非常に臆病だったので、メリッサにとってその1粒の豆を食べることは勇気ある行為で  
あった。たとえば、彼女は従兄弟と一緒にいるときは常にボートに乗ったり、スポーツで競ったり、

何か新しいことをするのを恐れるのはメリッサのほうだった。よって彼女にとって日本 異なる食物、習慣、言語を持つ国 に来ることは大きな挑戦であった。箸を使うことは彼女にとって容易ではなかったが、使いこなした。電車で目的地に到着するには困惑したが、やり遂げた。変わった食物を食べるのは非常に困難だったが、彼女は食べた。

メリッサはときどき日本の人々がけっしてしないようなことをした時に気まずい思いをした。彼女は足を手のように使用する異常な習慣を持っているので、日本でよく足で鞆を拾い、移動させた。そういうことをしないように言われたとき、彼女は気まずく恥しい思いをした。そして笑って、「ええ、今分かったわ。」と言った。

(9)日本の人々に会う回数が増えるにつれ、彼女は彼らをますます尊敬し、好きになっていった。もちろん、たとえ英語を学んでいる学生であっても彼女に話しかけようとしない人々に会ったときに彼女はがっかりした。ある若者が彼女に話し始めたが、突然困惑し、会話の途中で去ってしまった。かつてメリッサが英語の授業を訪れたとき、誰も彼女に話しかけなかった。その後その授業の学生達は彼女同士で話し、日本語で彼女との架空の会話をした。彼らは 彼女に話しかけ、彼女の質問に答えるふりをしたのだ。

概してメリッサは日本で楽しい時を過ごし、新たなことに挑戦することや様々な人々と会うことを本当に楽しんだ。彼女は勇気ある人であって、学問をし、他者との意志の疎通を図ろうとした。(19)不幸なことに、メリッサほど親切で友好的な人に話しかけることができないほど怖がりでありに臆病だったのは自分の国で安穩としている彼女の周りにいる日本人学生であった。

### コラム 語源研究

#### 語根 PORT

【語源】ラテン語の portare「運ぶ」を語源とする。portable「持ち運びできる」、porter「荷物運搬人、(駅や空港などの)ポーター」に形がよく残っている。

#### 【単語】

- deport de(離れて) + port(運ぶ) 「運び去る(= 国外に追放する)」
- export ex(外へ) + port(運ぶ) 「外へ運ぶ(= 輸出する)」
- import im(中へ) + port(運ぶ) 「中へ運ぶ(= 輸入する)」
- important im(中へ) + port(運ぶ) + ant(ほどの) 「中へ運ぶ価値のある(= 重要な)」
- report re(戻る) + port(運ぶ) 「運んで帰ってくる(= 報告する、報道する)」
- support sub(下) + port(運ぶ) 「下から運び上げる(= 支える、支持する)」
- transport trans(越えて) + port(運ぶ) 「向こう側へ運ぶ(= 輸送する)」

### コラム 語源研究

#### 語根 TRACT

【語源】ラテン語の trahere「引く」を語源とする。trace「(引きずった跡 )跡、たどる、引く」、track「人や車を通った跡、小道」、tractor「(引っ張るもの )トラクター」、trail「跡、引きずる」、train「(引きずって行くもの )列車」、train「(引っ張る )教育する、訓練する」、training「訓練」、treat「(問題や人を引き回す )扱う、治療する、処理する」、treaty「(処理されたもの )条約」などは同語源。

#### 【単語】

- abstract ab(離れて) + tract(引く) 「(具体的なもの)から引き離された(= 抽象的な)」
- attract ad(...に) + tract(引く) 「...の方に引き寄せる(= 引く、引きつける、魅惑する)」
- contract con(共に) + tract(引く) 「一緒に引き合う(= 契約する)」
- detract de(下に) + tract(引く) 「下に引く(= そらす、価値や名声を減ずる)」
- distract dis(分離) + tract(引く) 「別の方向に引く(= そらす、散らす)」
- extract ex(外へ) + tract(引く) 「外に引き出す(= 抜粋する、引き出す)」
- protract pro(前に) + tract(引く) 「前に引っ張る(= 長引かせる、引き伸ばす)」
- retract re(後へ) + tract(引く) 「後ろへ引き戻す(= 引っ込める、撤回する)」
- subtract sub(下に) + tract(引く) 「下に引く(= 減じる、引く)」

## 20 科学と人命

Everybody knows that science is a large and important part of our world today. In fact, at almost every moment of our lives, (1)whether we are conscious of it or not, we are relying upon science. It helps us out with many a difficulty that our (2)forefathers never (3)learned to overcome. It brings us many an enjoyment they never dared to hope for. It puts into our hands many a power they never even dreamed of.

As a (4)(matter, problem, question) of fact, (5)it is no exaggeration to say that many of us would not be here at all (6)if it were not for science. Take your own classmates for example. (7)( ) the conditions of a couple of centuries ago, before medical science was well developed, a (8)(consider) proportion of them would not have lived (9)(enough long, long enough) to reach even the age level of your class.

Some would have died at birth, (10)( ) causes which we now prevent. Others would have died early, (10)( ) sicknesses like \*smallpox, which we have practically wiped out through \*vaccination, or (10)( ) a number of “children’s diseases,” such as \*diphtheria and \*scarlet fever, which we now control by various forms of treatment or prevention. (11)A number would certainly have died (10)( ) \*appendicitis or other such diseases, for many of the surgical operations of the present day were unknown.

For another example, take a gathering of persons of all ages, like those who assemble on a graduation day — mothers, fathers, old folks, as (12)(far, long, many, well) as children. The percentage of “those who wouldn’t be there if it weren’t for science” would be even higher. For people today live much longer than was the case a century or two ago. For instance, the average length of life in this country around the 1850’s was about forty years. Now the average length of life is more than sixty-five years; and further progress is steadily being (13)( ), year (14)( ) year. A quarter of a century of added life — (15)this is indeed a precious gift. It is there because of the successful efforts of science.

Of course, it is not only medical science and the fields connected with health which (16)( ) an important part in our lives; it is not only when we are ill that we call upon science. Practically all of the time, in health or sickness, awake or asleep, we are (17)making use of its powers.

When we listen to music or a speech over the radio, when we see a movie or watch television, when we talk on the telephone or send a telegram, when we read a book by electric light, when we travel by car, plane, rail, or steamboat, when we put a supply of food into a refrigerator or a pile of clothes into a washing machine, whenever we flick a switch, press a button, or read a dial, we are calling upon the sciences and making them work for us. Many of the things we now do in this way, with the help of science, make (18)the story of Aladdin’s lamp into an every-day occurrence for each one of us.

(注) smallpox : 天然痘    vaccination : ワクチン接種、種痘

diphtheria : ジフテリア    scarlet fever : しょう紅熱    appendicitis : 虫垂炎 (盲腸炎)

### 設問

(1)下線部を、it の具体的内容を明示して和訳せよ。

(2)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. ancestors    2. descendants    3. offspring    4. successors

(3)(5)(17)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(3) learned to get ( )

- (5) it is not too ( ) to say  
 (17) ( ) its powers
- (4)(9)(12) カッコ内の語句のうち正しいものを選び。  
 (6) 下線部と意味が異なるものを次から選べ。  
 1. but for science 2. except science  
 3. were it not for science 4. without science
- (7)(10)(14) 空所にあてはまる適当な前置詞を次から選べ。  
 1. by 2. from 3. to 4. under 5. with
- (8) カッコ内の語句を正しい形容詞形に直せ。  
 (11) 下線部の具体的内容として正しいものを次から選べ。  
 1. Many classmates 2. A number of children's diseases  
 3. Various forms 4. The number of classmates
- (13)(16) 空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。  
 call look make play take
- (15) 下線部の具体的内容を日本語で答えよ。  
 (18) 下線部の意味として正しいものを次から選べ。  
 1. 魔法のおかげで、あらゆる願い事がかなえられたという話  
 2. 魔法のおかげで、人間の欲望に際限がなくなってしまったという話  
 3. ランプのおかげで、暗闇の恐怖と不便さから救われたという話  
 4. ランプの発明が科学の発達の幕開けとなったという話
- (19) 本文の内容と一致するものを次から4つ選べ。  
 1. 現在、科学技術は我々の生活の隅々にまで影響を与えているので、それに気付かないことさえある。  
 2. 現代科学がもたらした功績には、我々の先祖が思いもかけなかったものもある。  
 3. 科学の進歩の恩恵を受けているのは、現在のところ、主に先進国の人々である。  
 4. およそ200年前には、現代では既に克服されている伝染病で命を落とす子どもがたくさんいた。  
 5. 医学の進歩により、1850年代に比べると、筆者の国の平均寿命は25年ほど長くなった。  
 6. 科学を過信するのは危険である。  
 7. 我々が科学技術の恩恵に浴することができるのは、それが両刃の剣であることを知って慎重に研究を進めてきたからである。  
 8. 科学の発達は、いわゆる「ヴァーチャル・リアリティー」を産み出し、現実と虚構の境界線があいまいになってきた。

### Further Expressions

#### 〈明白な〉

It is no exaggeration to say that science is important to our lives. 【過言ではない】

It is not too much to say that science is important to our lives.

It goes without saying that science is important to our lives. 【言うまでもない】

Needless to say, science is important to our lives. 【言うまでもなく】

Of course, science is important to our lives. 【もちろん】

It is clear [obvious, apparent, evident, manifest] that science is important to our lives.

【明白な】

#### 〈もし(今)なかったら〉

If it were not for science, we could not live. 【もし今なかったら】

Without science, we could not live.

But for science, we could not live.

Were it not for science, we could not live.

#### 〈もし(昔)なかったら〉

If it had not been for science, many people would have died. 【もし過去になかったら】

Had it not been for science, many people would have died.

Without science, many people would have died.

But for science, many people would have died.

## 解答

- (1)我々が科学に頼っていることに気がついていようといまいと (2)1 (3)over (4)matter  
(5)much (6)2 (7)4 (8)considerable (9)long enough (10)2 (11)1 (12)well (13)made  
(14)1 (15)寿命が 25 年、延びたこと (16)play (17)utilizing[using] (18)1 (19)1,2,4,5

## 解説

- (1)whether...or not 「～であろうとなかろうと」 be conscious of A「A に気づいている、A を自覚している」 it は we are relying upon science「私たちが科学に頼っている(こと)」を指す。  
(2)forefather「祖先、先祖」 ancestor「祖先、先祖」 descendant「子孫」 offspring「子、子孫」 successor「継承者」  
(3)overcome「克服する」 = get over。 learn to「～できるようになる」  
(4)as a matter of fact 「実のところ」  
(5)It is no exaggeration to say ~ = It is not too much to say ~「～と言っても過言ではない」 exaggeration「誇張」は exaggerate「誇張して言う」の派生語。  
(6)if it were not for A = were it not for A = but for A = without A「もしも～がないとしたら」 仮定法過去の文。 if it were not for science「もしも科学がないなら」

### 「もしも～がなかったら」の文

if it were not for A = were it not for A = without A = but for A「もしも A がないなら(仮定法過去)」

【例文】「もしも君の助けがなければ、私の計画は成功しないだろう」

If it were not for your help, my project wouldn't succeed.

= Were it not for your help, my project wouldn't succeed.

= Without your help, my project wouldn't succeed.

= But for your help, my project wouldn't succeed.

仮定法過去完了「もしも A がなかったら」の場合。

【例文】「もしも君の助けがなかったら、私の計画は成功しなかっただろう」

If it had not been for your help, my project wouldn't have succeeded.

= Had it not been for your help, my project wouldn't have succeeded.

= Without your help, my project wouldn't have succeeded.

= But for your help, my project wouldn't have succeeded.

- (7)under the condition (that S V) 「(～という)条件下で」 under the conditions of a couple of centuries ago「2、3 世紀前の状況では」  
(8)considerable 「かなりの」 consider「考える」の派生語で considerable「考えられる」「考慮に値するくらい多くの」「かなりの」同じ consider の派生語に considerate「思いやりがある、理解がある」もある。 a considerable proportion「かなりの割合」  
(9)形容詞 + enough to + 不定詞「～するのに十分...で」 long enough to reach「届くのに十分長く」

### enough to の構文

形容詞 + enough + to 不定詞は「～するのに十分...で」という意味を表す。

He was brave enough to attempt it. 彼はそれをやってみるほど勇敢だった。

You were kind enough to show me the way. 君は親切にも道を教えてくれた。

- (10)die from A「A(が原因)で死ぬ」 病気など直接的な原因の場合は die of を使い、けが・過労など間接的な原因の場合は die from 使うことが多いが、実際はあまり区別されない。

### die と結びつく前置詞

die of A : 「(病気・老衰・飢えなどで死ぬ)」

My teacher died of cancer. 私の先生はがんで死んだ。

die from A : 「(けが・過労・不摂生などで死ぬ)」

The policeman died from overwork. その警官は過労で死んだ。

die in A : 「(事故・戦争などで死ぬ)」

She died in a traffic accident. 彼女は交通事故で死んだ。

His friend died in poverty. 彼の友人は貧困のうちに死んだ。

die for A : 「A のために死ぬ」

I died for love. 私は恋に殉じた。

- (11)A number「たくさんの人」 前段落の Take your own classmates for example「たとえば君自身のクラスメートを考えてみよう」から続いているので、1 が正解。2 は diseases would have died とは

- 言わないので不適。 a number of「たくさんの」 the number of A「A の数」 the number of classmates「クラスメートの人数」
- (12)as well as A「A と同様に、A だけでなく」 as far as「(程度の限度)...の及び限りでは」 as long as「(時間の限度・条件)...する限りは」 as many as「...と同じくらい多く」
- (13)make progress「進歩する」 progress を主語にして受身にした文。
- (14)year by year「年ごとに、年々」
- (15)this は前の a quarter of a century of added life「付加された人生の 4 分の 1 世紀(25 年)」を指す。
- (16)play an important part in A「A に重要な役割を果たす」 medical science and the fields connected with health which play an important part in our lives「私たちの生活に重要な役割を果たしている医学と健康に関連する分野」
- (17)make use of = utilize = use「使う」
- (18)科学の発達を肯定的に捉えているので 1 が正解。2.「人間の欲望に際限がなくなってしまった」が不適切。3.「暗闇の恐怖と不便さ」が不適切。4.ランプの発明と科学の発達とは無関係。
- (19) 1.第 1 段落 whether we are conscious of it or not より適。2.第 1 段落より適。3.本文と無関係。4.第 2、3 段落より適。5.第 4 段落。A quarter of a century of added life” 6,7,8 本文に書かれていない。

## 全文訳

科学は今日の世界の大きく重要な部分であるということを知っている。実際、私たちの生活のほとんどすべての瞬間に、私たちが意識しようとしまいと私たちは科学に頼っている。科学は私たちの祖先がけっして克服できなかったたくさんの困難から私たちが抜け出すのを助ける。科学は私たちの祖先がけっして望むことさえできなかったたくさんの楽しみを私たちにもたらす。科学は私たちの祖先が夢見ることさえできなかったたくさんの力を私たちに与える。

実のところ、もし科学が存在しなかったのなら私たちの多くはまったくここにいなかったと言っても過言ではない。たとえばあなたのクラスメートを考えてみよう。2 世紀ほど前の医学が十分に発達する前の状況下では、彼らのかかり多くがあなたのクラスの年齢に届くまで長く生きていないだろう。

現在では防ぐことのできる原因で誕生時に死ぬ者もいるだろう。私たちがワクチンで事実上、絶滅させた天然痘などの病気や現在、私たちが様々な治療や予防によって抑制しているジフテリアやしょう紅熱などの多くの小児病によって早くに死ぬ者もいるだろう。かなり多くの人々は虫垂炎などのような病気によって確実に死んでいるだろう。現代の外科手術の多くは知られていなかったのだから。

他の例として卒業式の日に集まるような様々な年代の人々の集まりを考えてみよう。母親たち、父親たち、老人たち、そして子どもたち。「科学が存在していなかったらここにいなかった人」の割合はさらに高いだろう。なぜなら今日の人々は 1,2 世紀前よりもずっと長く生きるからである。たとえば、1850 年頃のこの国の平均寿命はおおよそ 40 歳だった。今では平均寿命は 65 歳以上である。これは恒常的に伸びていっている。寿命の 25 年の伸び、これは本当に貴重な贈り物である。これは科学の成功のお陰である。

もちろん、私たちの生活で重要な役割をしているのは医学や健康に関わる分野だけではない。私たちが科学を必要とするのは病気の時だけではない。実際には常に、健康なときも病気の時も、起きているときも寝ているときも私たちは科学の力を利用しているのである。

音楽や演説をラジオで聞くととき、映画やテレビを見るとき、電話で話したり電報を打つとき、電灯で本を読むとき、車や飛行機や鉄道や蒸気船で旅をするとき、冷蔵庫に食物を入れたり洗濯機に服を入れたりするとき、スイッチを入れたりボタンを押したりダイヤルしたりするとき、私たちは科学に頼り、科学を私たちのために働かせているのである。私たちが現在このように行っている多くのことは、科学の手を借りてアラジンの魔法のランプの物語を私たち一人一人の日常のできごととしている。

## コラム 語源研究

### 語根 SIGN

【語源】ラテン語の signare「記号で示す、彫る、印をつける」を語源とする。sign「符号、記号、署名する、合図する」、signal「信号」、signature「署名」は形がよく残っている。

### 【単語】

- assign ad(...に) + sign(印をつける) 「...に印をつける(= 割り当てる、任命する、指定する)」
- design de(下に) + sign(印をつける) 「下に印をつける(= 下図を作る、設計する、計画する)」
- resign re(再び) + sign(印をつける) 「再び署名する(= 辞職する、断念する)」

## 第5章 派生語に変化させる

### 21 賃金の男女不平等

“Equal pay for equal work” is a phrase used by the American women who (1)complain about (2)(feel / is / they / treatment / unjust / what) by society. Clearly it is unfair, they say, for women to be paid less than men for the same work.

(3)People who hold the opposite view (mainly men) have an answer to this. They say that men have more responsibilities than women: a married man is (4)expected (5)(and to make / his family / money / to earn / to support) the important family (6)(decide), and therefore it is right for men to be paid more. (7)There are some people who hold even stronger views than this and are against married women working at all. When wives go out to work, they say, the home and children are neglected. If women are (8)(discouraged, encouraged) by equal pay to take full-time jobs, (9)they will be unable to do the things they are best at doing: making a comfortable home and (10)bringing up children. They will have to (11)give up their traditional position in society.

(12)This is exactly what they *want* to give up, the women who disagree say. (13)They want to escape from the limited place which society expects them to fill, and to have freedom to (14)choose between a career or home life, or a mixture of the two. Women have the right not only to equal pay but also to equal opportunities.

These women have expressed their opinion forcefully by using the (15)famous (16)(state) about human rights made in the American (17)(Declare) of Independence in 1776: “all men are created equal.” They point out that the meaning of this sentence was “all *human beings* are created equal.”

#### 設問

(1)(4)(14)(15)下線部の名詞形を答えよ。

(2)(5)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(3)下線部の人々の主張を日本語で説明せよ。

(6)(16)(17)カッコ内の語句を正しい名詞形に直せ。

(7)(13)下線部を和訳せよ。

(8)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(9)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

It will be ( ) for them to do

(10)(11)下線部と近い意味の動詞1語を答えよ。

(12)下線部の具体的内容を25字程度の日本語で説明せよ。

(18)本文の内容と一致するように次の空所にあてはまる適当な語句を選べ。

(A) [Paragraph 1] The women use the phrase “equal pay for equal work” to make an appeal that ( ).

1. men should be paid less than women
2. women’s work should not be harder than men’s

3. women's rates of pay should not differ from men's

4. men should be kinder to women at work

(B) [Paragraph 2] People who disagree with the women who complain believe that ( ).

1. men have more to do in the home than women

2. men have to work much harder than women

3. men can earn money more easily than women

4. men's responsibilities are different from women's

(C) [Paragraph 3] The women who disagree say that ( ).

1. women need opportunities to get out of the house more often

2. women want more freedom in deciding the kind of lives they lead

3. women are no longer interested in taking care of their homes

4. if women are given equal pay, their opportunities will be greater

(D) [Paragraph 4] The women use the statement "all men are created equal" to show that ( ).

1. a basic principle of American society is that men and women are equal

2. the position of women has improved a little in modern times

3. men and women had equal power in early American society

4. governments always consider men's rights more important than women's

### **Further Expressions**

#### **〈賛成する〉**

Some people agree with [to] the idea. 【賛成する】

Some people are in favor of the idea. 【賛成して】

Some people support the idea. 【支持する】

Some people are positive about the idea. 【肯定的な】

Some people stand by the idea. 【支持する】

Some people stand up for the idea. 【味方する】

#### **〈異なる〉**

Men's responsibilities differ from women's. 【異なる】

Men's responsibilities are different from women's. 【異なっている】

There is a difference between men's responsibilities and women's responsibilities.

【違い】



## 解答

(1)complaint (2)what they feel is unjust treatment (3) 男性は家族を養うというより大きな責任があるので女性より賃金が多いのは正当である。(4)expectation (5)to earn money to support his family and to make (6)decision (7)全文訳参照 (8)encouraged (9)impossible (10)raising (11)abandon (12)家を居心地よくすることや子育てをすること(20字) (13)全文訳参照 (14)choice (15)fame (16)statement (17)declaration (18)(A)3 (B)4 (C)2 (D)1

## 解説

- (1)complain「文句を言う」 complaint「文句」  
(2)what は先行詞を含む関係代名詞。what they feel「彼女たちが感じること」 unjust「不当な」 treatment「取り扱い」  
(3)They say that 以下をまとめる。「男により大きな責任がある」と「賃金が多いのは当然」を盛り込むとよい。  
(4)expect「期待する」 expectation「期待」 なお、expectancy「期待されるもの、予測」という名詞もある。  
(5)make decision「決定をする、意思を決める」 be expected to 不定詞「～することが期待される」 and to make の to も expected にかかる。 support「養う」  
(6)decide「決める」 decision「決定」  
(7)There are some people who hold...and are against...「...を持ち、...に反対である人々もいる」 even は比較級 stronger を強める。this は下線部の前の文で述べられている「男性の方が給料がよいのは正当であるという意見」を指す。be against A「A に反対である」 married women working「働く既婚の女性」married と working は両方 women を修飾している。at all は強調。  
(8)discourage「がっかりさせる、思いとどまらせる」 encourage「勇気づける、励ます」 女性の給料が男性と equal pay「同じ給与」になったら、当然女性がフルタイムの仕事につきやすくなるので encourage。  
(9)人 + be unable to 不定詞 = It is impossible for + 人 + to 不定詞。人 + be impossible to 不定詞とは言わないことに注意。

### 「A が～するのは(形容詞だ)の文で、人を主語にとれない形容詞

「It is 形容詞 to 不定詞」のみ可能な形容詞。

dangerous「危険な」、difficult「難しい」、easy「やさしい」、hard「難しい」、painful「苦痛な」、(im)possible「(不)可能な」、tough「困難な」、useful「有益な」、useless「役に立たない」

【例文】「私がフランス語を学ぶのは難しい」

- × I am difficult to learn French.
- It is difficult for me to learn French.
- × It is difficult that I learn French.

「It is 形容詞 that S V」もとれる形容詞。

(in)convenient「便利(不便)な」、delightful「楽しい」、(un)important「重要な(重要でない)」、natural「当然な」、(un)necessary「(不)必要な」、regrettable「遺憾な」

【例文】「君が学校へ行くことは必要だ」

- × You are necessary to go to school.
- It is necessary for you to go to school.
- It is necessary that you go to school.

### 「A が～するのは(形容詞だ)の文で、事柄を主語にとれない形容詞

人の感情を表す形容詞

angry「怒った」、ashamed「恥じて」、delighted「喜んで」、disappointed「失望した」、excited「興奮した」、glad「喜んで」、happy「楽しい」、pleased「喜んで」、proud「誇りにする」、sorry「気の毒な」、surprised「驚いた」、thankful「感謝している」

【例文】「私とその知らせを聞くことはうれしい」

- × It is glad for me to hear the news.
- I am glad to hear the news.

### 意志を表す形容詞

ambitious「熱望して」、anxious「切望して」、eager「熱望して」、hesitant「躊躇して」、keen「熱望して」、ready「喜んで～する」、willing「快く～する」、zealous「熱中して」

【例文】「彼は成功することを熱望している」

× It is eager for him to succeed.

He is eager to succeed.

### 能力を表す形容詞

able(～できる)、unable(～できない)

【例文】「私はそのなぞなぞを解くことができない」

× It is unable for me to solve the riddle.

I am unable to solve the riddle.

It is impossible for me to solve the riddle.

(10)bring up「(子どもなどを)育てる」 = raise

(11)give up「あきらめる・やめる」 = abandon

(12)This is exactly what they want to give up「これがまさに彼女たちがやめたがっていることである」 This の指す内容はその前段落にある the things they are best at doing「彼女たちがもっとも得意とするところ」つまり「家を居心地の良いものにし、子どもを育てること」である。女性がフルタイムの仕事につくためにはこの伝統的な地位をあきらめねばならないが、それはまさに彼女たちがあきらめたがっているものである、と述べている。

(13)escape from A「A から逃れる、自由になる」 the limited place which society expects them to fill「社会が彼女たちに(占めることを)期待するところの限られた地位」 place は「場所」でもいいが「地位」とした。fill はここでは「地位を占める」の意味。

(14)choose「選ぶ」 choice「選択」

(15)famous「有名な、名高い」 fame「名声、評判」

(16)state「はっきり述べる、言明する」 statement「声明、陳述」

(17)declare「宣言する」 declaration「宣言」

(18)(A)pay「給料」 make an appeal that「...を訴える」 第 1 段落よりこのスローガンは男女間の賃金格差是正のためであることがわかる。

(B)disagree with A「A と同意しない」 women who complain「不平を言う女性」 第 2 段落より男性の責任の大きさが根拠になっている。

(C)the women who disagree「同意しない女性」 2.freedom in deciding the kind of lives they lead「彼女らが送る生活の種類を決める自由」 第 3 段落より 2 が正解。

(D)1.basic principle「基本原則」 第 4 段落より 1 が正解。

## 全文訳

「同じ仕事には同じ給料を」とは、自分たちが社会から不当な扱いを受けていると感じることに不平を言うアメリカ人女性たちによって使用された文句である。彼女たちの言うことには、女性が男性と同じ仕事をしてもらえない給料しかもらえないというのは明らかに不公平である。

この考えに反対する人たち(主に男性であるが)には、これに対する答えがある。彼らは、女性には女性より多くの責任があると言う。つまり、妻帯者は彼の家族を養うためにお金を得ること、そして家族の重要な決定をすることが期待されている。したがって、男性の方が給料がよいというのは正しいことであると言う。(7)これよりさらに強い考えをもち、結婚した女性が仕事をする<sup>こと自体に反対する人々もいる</sup>。彼らは、妻が仕事に出かけると家と子どもが無視されると言う。男性と等しい給料を与えることで女性がフルタイムの仕事に就くことが奨励されるならば、彼女らがもっとも得意とすること、つまり居心地のよい家を作って子どもを育てること、ができなくなる。彼女らは社会における自分たちの伝統的な地位をやめなければならないだろう。

これがまさに彼女たちがやめたがっていることである、と意見を異にする女性は言う。(13)彼女たちは、社会が自分たちに成すことを要求する、限られた地位から自由になりたいと思っており、キャリアか家の生活、またはその 2 つを混ぜたものを選ぶ自由が欲しいと思っている。女性には単に等しい賃金をもらう権利だけではなく、等しい機会をもつ権利がある。

これらの女性たちは 1776 年にアメリカの独立宣言で作られた人権に関する有名な声明を使用することによって、力強く彼女たちの意見を述べた。「すべての人 (men) は等しく作られている」。この文の意味は「すべての人間 (human beings) は等しく作られている」だと彼女たちは指摘する。

## 22 障害児たちに贈る本

(1)When Jean Little was young, she had a turtle that she (2)( ) after the British poet Robert Browning. The name she gave her pet was an early sign of Jean's interest in literature. She (3)(have / known / may / not) then that she wanted to write books. However, she did know that she loved reading them.

Jean Little was born in Taiwan in 1932. Her mother and father were American doctors who had gone to Taiwan to live. Jean was (4)(blind, deaf, dumb) when she was born, but she did (5)( ) some (6)sight as she (7)( ) older. Jean was lucky because her mother, father, two brothers, and a sister often read books to her. She listened to many stories. At an early age, Jean was able to read (8)on her own.

When Jean was seven, the Little family left Taiwan and moved to Canada. There, Jean had some problems. The children at school made (9)( ) her because of her poor eyesight. She just did not seem to fit in. Jean began spending more and more time in the library. (10)She liked being around books better than she liked being with people. (11)Jean's feelings about life changed the more she read. With each new book, she dreamed and thought about a career as a writer. Jean's love for literature grew.

(12)Growing up with poor eyesight was not easy. Still, she has (13)achieved a lot in life. She has (14)chosen to make (15)( ) the ability part of her sight disability.

Jean studied English language and literature at the University of Toronto. Then she began a career teaching children with handicaps. Working with these children (16)( ) her to (17)believe that she should be writing books in which disabled boys and girls could see themselves. (18)Jean Little's first books, then, were for children in her own classes. Jean Little's books have been translated (19)( ) many languages. As a result, she is a pen pal to children across the world. Some of her books have (20)( ) important prizes.

### 設問

(1)(8)(10)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(1) Jean Little had a turtle in her ( )

(8) by ( )

(10) She ( A ) reading books to ( B ) company with people.

(2)(5)(7)(16)(20)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

gain grow lead name win

(3)かっこ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(4)かっこ内の語句のうち正しいものを選べ。

(5)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。

eye : sight = ear : hearing = nose : ( A ) = tongue : ( B )

= body : touch

(9)(15)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. the most of    2. fun of    3. head or tail of    4. nothing of

(11)下線部を和訳せよ。

(12)(13)(14)(17)下線部の名詞形を答えよ。

(18)下線部はどのような目的で作られた本か、日本語で説明せよ。

(19)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(21)本文の内容と一致するものを次から選べ。

1. When she named her pet Robert Browning, she had already had a strong will to write books.
2. Jean's nationality was American.
3. Jean spent her university student days in the United States.
4. The first books Jean wrote were for adults.

### **Further Expressions**

#### **《からかう・いたずら》**

The children at school made fun of her. 【からかう】

The children at school made a fool of her. 【笑いものにする】

The children at school laughed at her. 【ばかにして笑う】

The children at school spoke ill of her. 【悪く言う】

The children at school ridiculed her. 【あざける】

The children at school mocked her.

The children at school pulled her legs. 【からかう】

The children at school played a trick on her. 【いたずらする】

The children at school played a joke on her. 【からかう】

#### **《より好む》**

I like reading books better than keeping company with people. 【より好む】

I prefer reading books to keeping company with people.

I prefer to read books rather than to keep company with people.

I would rather read books than keep company with people.

Reading books was preferable to keeping company with people. 【好ましい】

#### **《育てる》**

Jean grew up in Canada. 【育つ】

Jean was brought up in Canada. 【育てられる】

Jean's parents brought her up in Canada. 【育てる】

Jean's parents raised her in Canada.

Jean's parents nurtured her in Canada.

Jean's parents fostered her in Canada.

## 解答

(1)youth(childhood も可) (2)named (3)may not have known (4) blind (5)gain (6)A.smell B.taste (7) grew (8)herself (9)2 (10)(A) preferred (B) keeping (11)全文訳参照 (12) growth (13)achievement (14)choice (15)1 (16)led (17)belief (18)障害を持つ少年少女が自身を見られるように作られた本。 (19)into (20)won (21)2

## 解説

- (1)When A is young = in A's youth「A が若いころ」 when Jean Little was young を「ジーン = リトルが子どものころに」ととれば、in one's childhood「...の子ども時代に」と書き換えることも可能。  
(2)name A after B「B にちなんで A に名をつける」 a turtle that she named after the British poet 「彼女がイギリスの詩人にちなんで名をつけたカメ」  
(3)may not have 過去分詞「...ではなかったかもしれない」一般に、助動詞+have+過去分詞で過去のことを表現する。

### 助動詞の過去形の作り方

過去形のあるものがある。ただし、その助動詞が過去の意味だけで使われるとは限らない。  
can could、may might、will would、shall should

< 助動詞 + have + 過去分詞 >

She must have been a beauty when she was young. 彼女は若いころ美人だったに違いない。  
You should have seen the sunset. 君はあの夕日を見るべきだったよ。  
He may have read this book already. 彼はすでにこの本を読んでしまったかもしれない。  
She might have got a train already. 彼女はすでに電車に乗ってしまったかもしれない。  
\* may have done と置換可能だが、実現しなかったことが明らかな場合に用いられることもある。  
She can't have been there. 彼女がそこにいたはずがない。

- (4)直後に sight「視力」という単語が出てくるので、眼の話だろうと推測できる。blind「盲目の」 deaf「耳の聞こえない」 dumb「口がきけない」  
(5)前に強調の did があるので原形にする。gain「獲得する」 gain some sight「いづらか視力を得る」  
(6)eye「眼」と sight「視覚」、ear「耳」と hearing「聴覚」、nose「鼻」と smell「嗅覚」、tongue「舌」と taste「味覚」、body「体」と touch「触覚」はすべて五感を表す。ちなみに「第六感」は sixth sense である。  
(7)grow older「年を取る、成長する」 as she grew older「成長するにつれて」  
(8)on one's own「自分で」 = by oneself  
(9)make fun of A「A をからかう」 because of her poor eyesight「彼女の貧弱な視力のために」  
(10)prefer A to B「B よりも A の方を好む」 keep company with A「A と付き合い合う」  
(11)the more...「...すればするほど」 the more she read「彼女が読書すればするほど」  
(12)grow「成長する」 growth「成長」  
(13)achieve「達成する」 achievement「達成」  
(14)choose「選ぶ」 choice「選択」  
(15)make the most of A「A を最大限に活用する」 make the most of the ability part of disability「視覚障害の中の能力の部分を最大限に活用する」  
(16)lead A to 不定詞「A を...するよう導く」 Working...led her to believe「仕事彼女に信じよう導いた」  
(17)believe「信じる」 belief「信じること、信仰」  
(18)直前の文をまとめる。books in which disabled boys and girls could see themselves「障害を持つ少年少女がその中に自分自身を見ることが出来る本」  
(19)translate into A「A に翻訳する」 translated into many languages「多くの言語に翻訳された」  
(20)win a prize「賞をとる」  
(21)1.a strong will「強い意志」 第 1 段落の最後より不適。 2.nationality「国籍」 ジーンは台湾生まれで 7 歳のときにカナダに移り住んだが、第 2 段落にあるように両親がアメリカ人なのでジーンもアメリカ人でこれが正解。 3.第 5 段落より大学時代を過ごしたのはトロントで、カナダの都市。 4.第 5 段落より彼女が最初に書いた本は、自分のクラスの子どもたちに向けたもの。

## 全文訳

ジーン・リトルは、幼いころ英国の詩人口バート・ブラウニングにちなんで命名したカメを飼って

いた。彼女がペットに与えた名前は、文学への関心を示す初期の徴候だった。彼女は当時、自分が本を書きたいと思っていることを知らなかったかもしれない。しかし、本を読むことを愛しているということは知っていた。

ジーン・リトルは、1932年に台湾で生まれた。母と父は、台湾に移住したアメリカ人医師だった。彼女は生まれた時、盲目だった。しかし、成長するにつれある程度の視力を獲得した。ジーンは幸運だった。母親、父親、2人の兄、そして姉が、しばしば彼女に本を読んでくれたのだ。彼女は多くの物語を聞いた。ジーンは早い時期に、自分で読むことができた。

ジーンが7歳の時、リトル家は台湾を去り、カナダに移った。そこで、ジーンは問題に直面した。学校の子どもたちが彼女を貧弱な視力のことでからかったのだ。彼女は、まったく環境になじめそうになかった。ジーンはますます多くの時間を図書館で過ごすようになった。人と一緒にいることより、本のまわりにいることの方が好きだった。(11)ジーンの人生に対する感情は、たくさん読めば読むほど変化していった。新しい本を読むたびに、彼女は作家業について夢見たり考えたりした。ジーンの文学への愛は大きくなっていった。

貧弱な視力しか持たずに成長するのは容易ではなかった。それでも、彼女は人生の中で多くのことを達成した。彼女は、視力障害の中で役に立つ部分を最大限に利用しようと決めたのだ。

ジーンは、トロント大学で英語と英文学を勉強した。その後、障害を持った子どもを教える仕事を始めた。これらの子どもと仕事をしたことは、彼女に、障害を持つ少年少女がその中で自分を見られるような本を書くべきだと確信させた。ジーン・リトルの最初の本は、そのようなわけで、自分が受け持ったクラスの子どもたちのためだった。

ジーン・リトルの本は多くの言語に翻訳されている。その結果、彼女は世界中の子どものペンパルになっている。彼女のいくつかの本は大きな賞を受賞した。

## コラム 語源研究

### 語根 DUC

【語源】ラテン語の ducere「引く、導く」を語源とする。

#### 【単語】

• abduct	ab(離れて) + duct(導く)	「どこか離れたところへ導く(=誘拐する)」
• conduct	con(共に) + duct(導く)	「共に導く(=導く、案内する、指揮する)」
• deduce	de(から) + duce(導く)	「(事実)から導く(=推定する、演繹する)」
• deduct	de(下へ) + duct(導く)	「(数字を)下へ導く(=差し引く、控除する)」
• educate	e(外へ) + ducate(導く)	「(素質を)引き出す(=教育する)」
• induce	in(中へ) + duce(導く)	「(事柄)の中へ導く(=説いて~する気にさせる)」
• introduce	intro(中へ) + duce(導く)	「内に導き入れる(=紹介する、導入する)」
• produce	pro(前へ) + duce(導く)	「前方へ導く(=製造する、生産する、生み出す)」
• reduce	re(後ろへ) + duce(導く)	「後ろへ引き戻す(=減少させる)」
• seduce	se(離れて) + duce(導く)	「(普通から)離れたところに導く(=そそのかす、誘惑する)」
• subdue	sub(下へ) + due(導く)	「(支配者の膝下へ)下へ導く(=征服する)」

## コラム 語源研究

### 語根 FER

【語源】ラテン語の ferre「運ぶ」を語源とする。fare「運賃」、ferry「渡り舟、フェリー」などはこれに影響を受けている。また、fertile「肥沃な」は、ferreの別の意味「生む」から来ている。

#### 【単語】

• confer	con(共に) + fer(運ぶ)	「(意見を)一緒に運びあう(=話し合う、協議する)」
• defer	de(離れて) + fer(運ぶ)	「離れて運ぶ(=延ばす、延期する)」
• differ	dis(離れて) + fer(運ぶ)	「区別して、離して運ぶ(=異なる)」
• infer	in(中に) + fer(運ぶ)	「心の中に運び込む(=...を推察する)」
• offer	ob(...に向かって) + fer(運ぶ)	「(相手)に向かって用事を運ぶ(=提供する、申し出る)」
• prefer	pre(前に) + fer(運ぶ)	「(時間的に)前に運ぶ(=...をより好む)」
• refer	re(元へ) + fer(運ぶ)	「元のところに運び返す(=言及する、参照する)」
• suffer	sub(下で) + fer(運ぶ)	「下で支える(=苦しむ、経験する)」
• transfer	trans(越えて) + fer(運ぶ)	「...を越えて運ぶ(=移動させる、転任させる、譲渡する)」

## 23 日本人は働き過ぎか

(1)Japanese are said to work too much. Our (2)excessive (3)industry is not always appreciated by other countries. The Japanese themselves believe they are a very diligent and hardworking people. They (4)( ) pride in this, and sometimes pass judgement on others who seem to work less. Comments like “Europeans work too little” and “the French are lazy” are heard often enough in Japan.

But Japanese who have lived in Europe and have seen Europeans at work ask the question: Are we Japanese as (5)(industrial, industrious) (6)(are / as / others / say / we)? (7)There are some scenes which will give you second thoughts about “Japanese diligence.” Golf courses in the outskirts of Tokyo are busy from dawn to dusk every day. (8)They, too, are filled with company workers. Pachinko (pinball game) parlors and coffee shops (9)reveal a similar picture. Businessmen drop in for a rest between appointments with customers.

But fact or not, Japanese society is much more (10)(tolerable, tolerant) than most Western societies toward workers who “relax” and “play” on company time. Where does this difference come from? Probably it comes from (11)a basic difference between Japan and the West in the concept of work. For the typical Japanese “salaryman,” work means more than just doing desk work in his office. Playing golf and going out drinking with business associates are also “work.”

For French people who have been (12)( ) up as Catholics, on the other hand, work and leisure are two different (13)concepts. A French journalist explained: “For us, labor is God’s punishment on mankind. Liberation from labor is a blessing. (14)(differ / from / is / much / this / very / we / where) Japanese workers.”

設問

(1)(8)下線部と近い意味になるように次の空所に適当な語句を入れよ。

(1) It \_\_\_\_\_.

(8) They , too, are ( ) of company workers.

(2)(13)下線部の動詞形を答えよ。

(3)下線部と近い意味の1語を本文中より選べ。

(4)(12)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

bring grow make take

(5)(10)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(6)(14)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(7)下線部を和訳せよ。

(9)下線部の具体的内容を10字程度の日本語で答えよ。

(11)下線部の具体的内容について、日本とフランスを対比させながら50字程度の日本語で答えよ。

(15)次の各語のアクセントのある音節を選べ。

(A) ex-cēs-sive (B) in-dus-try (C) ap-pre-ci-ate (D) Eu-ro-pe-an

1 2 3

1 2 3

1 2 3 4

1 2 3 4

(16)次の下線部の発音と異なるものを選べ。

(A) course 1. abroad 2. bought 3. warn 4. worm

(B) scene 1. creature 2. secret 3. secretary 4. species

**Further Expressions**

**《という話だ》**

It is said that Japanese people work hard. 【～という話だ】

Japanese people are said to work hard.

They say [that] Japanese people work hard.

I hear [that] Japanese people work hard. 【～と聞いている】

Rumor has it that Japanese people work hard. 【～といううわさだ】

As [So] far as I know, Japanese people work hard. 【私の知るかぎり】

To the best of my knowledge, Japanese people work hard.

**《誇りにする》**

Japanese people are proud of their diligence. 【誇りにする】

Japanese people take pride in their diligence.

Japanese people pride themselves on their diligence.



## 解答

(1)is said that Japanese work too much (2)exceed (3)diligence (4)take (5)industrious (6)as others say we are (7)全文訳参照 (8)full (9)会社員でいっぱいであること。(14字) (10)tolerant (11)日本では仕事がレジャーでの付き合いも意味するのに対し、フランスでは仕事と余暇にはっきりとした区別があること。(54字) (12)brought (13)conceive (14)This is where we differ very much from (15)(A)2 (B)1 (C)2 (D)3 (16)(A)4 (B)3

## 解説

- (1)It is said that S V = S is[are] said to 不定詞「Sは～とされている」  
(2)excessive「度を越した、過度の」 exceed「超過する」  
(3)industry「産業 勤勉」ここでは「勤勉」の意味。同義語は第2段落の diligence。  
(4)take (a) pride in A「Aを誇りに思う」  
(5)industryの形容詞は、「産業」 industrial「産業の」、「勤勉」 industrious「勤勉な」と2種類ある。ここでは後者の意味。また参考までに、industrial revolutionで「産業革命」、industriousの同義語に、diligentやhardworkingがある。  
(6)as 形容詞 as A say[think, expect]「Aが言う[考える、期待する]ほど...である」最後に industriousを省略して、元に戻せばas industrious as others say we are industriousとなる。  
(7)scene「場面」 give second thoughts「考え直させる」 diligence「勤勉」  
(8)filled with A = full of A「Aでいっぱいの」この文のtheyはgolf courses in the outskirts of Tokyo「東京郊外のゴルフコース」を指す。  
(9)reveal a similar picture「同じような光景を示す」 a similar picture「同じような光景」とはつまり、filled with company workers「会社員でいっぱいであること」  
(10)tolerable「我慢のできる」 tolerant「寛容な」 Japanese society is...tolerant...toward workers who “relax” and “play” on company time「日本社会は仕事にくつろいだり遊んだりする労働者に寛容である」 Japanese society is tolerableとすると「日本社会はわりとよい」という意味となる。  
(11)下線部の後の内容をまとめればよい。日本人は works means more than just doing desk work in his office「仕事は事務所におけるデスクワーク以上のものを意味する」、つまり余暇にも playing golfやgoing out drinkingなど仕事が入る。一方、カトリックのフランス人は work and leisure are two different concepts「仕事と余暇がふたつの異なる概念である」以上の2点を対比してまとめればよい。  
(12)bring up「育てる」 grow up「育つ」ここでは people who have been brought up「育てられた人々」  
(13)conceive「思いつく、心に抱く」 concept「概念、観念」 conception「心に抱くこと」  
(14)This is where we differ very much from Japanese workers.「これが、私たちが日本の労働者たちと異なる点である」 This is where S V「これが～なところである」 differ from A「Aと異なる」  
(15)(A)excéssive「度を越した、過度の」  
(B)industry「産業、勤勉」  
(C)appréciate「正しく理解する、価値を認める」  
(D)Européan「ヨーロッパの、ヨーロッパ人」  
(16)(A)courseは[kɔ:rs] 異なるのは4.worm[wɔ:m]である。  
(B)sceneは[sim] 異なるのは3.secretary[sɛkrəteri]である。

## 全文訳

日本人は働き過ぎだといわれている。私たちの過度な勤勉さは常に他の国々から評価されるわけではない。日本人自身は、自分たちが非常に勤勉で働き者の民族であると信じている。彼らはこのことを誇りにし、ときどき、彼らより少ししか働かないような他の人々を判断する。「ヨーロッパ人は働かなさ過ぎる」や「フランス人は怠惰だ」とような批評は、日本でかなり頻繁に聞かれる。

しかし、ヨーロッパに住み、ヨーロッパ人が働くのを見たことのある日本人は、疑問を持つ。すなわち「私たち日本人は、他の人々が言うほど勤勉だろうか。(7)『日本の勤勉さ』について再考させる場面がある。東京郊外のゴルフコースは毎日、夜明けから夕暮れまでいっぱいだ。それらも会社員で満たされている。パチンコ(ピンボールゲーム)パーラーや喫茶店も同様だ。ビジネスマンが顧客との約束の合間に休息のために立ち寄る。」という疑問である。

しかし日本人の勤勉さが事実であるうとなかると、日本社会は労働時間にくつろいだり遊んだり

する労働者に対し、ほとんどの西洋社会よりもずっと寛大である。この違いはどこから来るのだろうか？おそらくそれは日本と西洋における、仕事という概念への根本的な違いから来ている。典型的な日本人サラリーマンにとって、仕事とは、オフィスでただデスク・ワークをすること以上を意味する。ゴルフをしたり仕事上の知り合いと外へ飲みに行くことも「仕事」なのである。

一方、カトリック教徒として育てられたフランスの人々にとって仕事と余暇とはふたつの対立する概念である。あるフランスのジャーナリストはこう説明した。「私たちにとって、労働は人間への神の処罰です。労働からの解放は祝福です。これが、私たちが日本の労働者とともに異なるところです」

## コラム 語源研究

### 語根 PONE、POS

【語源】ラテン語の ponere「置く」を語源とする。スペイン語 poner「置く」、イタリア語 porre「置く」は同語源。

#### 【単語】

- compose com(共に) + pose(置く) 「(文字を)一緒に置く(=組み立てる、創作する、作曲する)」
- decompose de(離れて) + compose(構成) 「構成をばらばらにする(=分解させる、腐敗させる)」
- depose de(離れて) + pose(置く) 「高いところから離して置く(=高位から退ける、退位させる)」
- deposit de(下に) + posit(置く) 「(管理)下へ置く(=置く、預金する)」
- dispose dis(離れて) + pose(置く) 「(適当に)離して置く(=配置する、処理する)」
- expose ex(外へ) + pose(置く) 「見えるように外へ置く(=さらす、暴露する)」
- impose im(中に) + pose(置く) 「(上から)中に向かって置く(=課す)」
- oppose ob(反対に) + pose(置く) 「反対に置く(=反対する)」
- postpone post(後で) + pone(置く) 「(時間的に)後におく(=延期する)」
- propose pro(前に) + pose(置く) 「(自分や他人の)前に置く(=提案する、結婚を申し込む)」
- purpose pur(前に) + pose(置く) 「前において目指すもの(=目的)」
- repose re(再び) + pose(置く) 「再び身を置く(=横になる、休む)」
- suppose sub(下に) + pose(置く) 「(仮定の)下に置く(=...だと思ふ、想像する)」
- transpose trans(越えて) + pose(置く) 「(向こうに)越えて置く(=入れかえる、置き換える)」

## コラム 語源研究

### 語根 SERV

【語源】ラテン語の servare「見守る、維持する、助ける」、servire「仕える、尽くす」を語源とする。serve「仕える」、servant「使用人」、service「勤務、業務、公益事業、奉仕」、serf「農奴」はよく形が残っている。

#### 【単語】

- conserve con(完全) + serve(保つ) 「完全に保つ(=保存する、保護する)」
- deserve de(完全) + serve(尽くす) 「十分尽くすほどの(=...に値する)」
- observe ob(対して) + serve(見守る) 「...に対して注意を払う(=観察する、守る)」
- preserve pre(前に) + serve(保つ) 「(時間的に)前もって保つ(=保つ、保存する、守る)」
- reserve re(後ろに) + serve(保つ) 「後ろに保つ(=取っておく、予約する、たくわえ)」

## 24 樹木の効用

Trees are useful to Man in (1)three very important ways; they provide him with wood and other products; they give him shade; and they help to prevent drought and floods.

Unfortunately, in many parts of the world, Man has not realized that (2)the third of these services is the most important. (3)In his eagerness to draw quick profit from the trees, he has cut them down in large numbers only (4)to find that he has lost (5)the best friends he had.

Two thousand years ago (6)a rich and powerful country cut down its trees to build warships, with which to gain itself an empire. It gained the empire but, without its trees, its soil became hard and poor. (7)When the empire fell to pieces, the home country found itself faced by floods and starvation.

Even (8)where a government realizes the importance of a plentiful supply of trees, it is difficult for (9)it to persuade the villager to see (10)this. The villager wants wood to cook his food with; and he can earn money by making charcoal or selling wood to the townsman. He is usually too lazy or too careless to plant and look after new trees. So, unless the government has a good system of control, or can educate the people, the forests slowly disappear.

This does not only mean that the villagers' sons and grandsons have fewer trees. (11)The results are even more serious: (12)for where there are trees their roots break the soil up, allowing the rain to sink in, thus preventing (13)it being washed away easily; but where there are no trees, the rain falls on hard ground and flows away on the surface, causing floods and carrying away with (14)it the rich top-soil, in which crops grow so well. (15)When all the top-soil is gone, nothing remains but worthless desert.

## 設問

- (1) 下線部の具体的内容 3 点を日本語で答えよ。
- (2)(5)(9)(10)(13)(14) 下線部の具体的内容を本文中より抜き出せ。
- (3)(6)(7)(15) 下線部を和訳せよ。
- (4)(8)(12) 下線部と用法が同じ語を含む文を次から選べ。
- (4) 1. I was delighted to see him.  
2. She promised to write every day.  
3. He has no reason to be so angry.  
4. I awoke to find a burglar in my room.  
5. The policeman blew his whistle to stop the car.
- (8) 1. This is where you are wrong.  
2. He wanted to live in a country where it never snows.  
3. Where there is a will, there is a way.  
4. Ask him where to put the books.  
5. If every citizen performs as badly as you do, where will the country be?
- (12) 1. We did the job for nothing.  
2. I didn't call on you for fear of disturbing you.  
3. For production to be increased they must improve their organization.  
4. For all the sweat and blood the situation appeared unchanged.  
5. I asked her to stay, for I had something to tell her.
- (11) 下線部の具体的内容を、樹木がある場合とない場合を対比させながら 100 字以内の日本語で説明せよ。
- (16) 名詞形に直したときにアクセントの位置が移動するものを次から選べ。  
1. allow    2. educate    3. prevent    4. provide
- (17) 第 2 音節にアクセントのある語を次から 2 つ選べ。  
1. control    2. empire    3. product    4. profit    5. result    6. surface
- (18) 下線部の発音が同じものの組み合わせを次から選べ。  
1. allow    2. break    3. charcoal    4. flood    5. important  
drought    surface    slowly    wood    worthless

## Further Expressions

### 〈直面する〉

The country was faced by [with] starvation. 【直面する】

The country was confronted by [with] starvation.

The country was on the verge of starvation. 【瀕している】

The country was on the brink of starvation.

The country was in danger of starvation. 【危機にある】

The country was unhappy in the face of starvation. 【直面して】

### 〈崩壊する〉

The empire finally fell to [into] pieces. 【ばらばらに崩れる】

The empire finally fell down. 【倒れる】

The empire finally collapsed.

## 解答

- (1)人間に木材やその他の生産物を与える。日陰をつくる。干ばつや洪水を防ぐ。  
(2)they help to prevent drought and floods (3)全文訳参照 (4)4 (5)trees (6)全文訳参照 (7)全文訳参照 (8)3 (9)a government (10)the importance of a plentiful supply of trees (11)樹木がある場合は、その根が土壌を割り雨が地面に浸透するため、土壌が簡単に水に流されることはないが、樹木がない場合は、水が土壌の硬い表面を流れるため洪水になり、肥沃な表層部分を流し去ってしまう。(96字) (12)5 (13)the soil (14)rain (15)全文訳参照 (16)2 (17)1, 5 (18)1

## 解説

- (1)ways ;の後にその3点を説明している。shade「影」 drought「干ばつ」 floods「洪水」  
(2)the third of these services「これらの有用性の3点目」とはつまり前段落の three very important ways の3点目のことである。  
(3)In his eagerness to draw quick profit「素早い利益(=すぐ現金化できるような利益)を引き出す」という熱意のために」 his eagerness を to 不定詞が形容詞のように修飾している。draw はここでは「引き出す」 in large number「大量に」 cut them down「それらを切り倒す」 代名詞の位置に注意。

### 動詞 + 人称代名詞 + 副詞

一般に、動詞 + 副詞の熟語で、かつ目的語が人称代名詞のとき、代名詞が動詞と副詞の間に来る。

I'll pick you up there.      そこで君を拾おう。      × I'll pick up you there.

He took it out.      彼はそれを取り出した。      × He took out it.

Did you get it over?      君はそれを克服したかい。      × Did you get over it?

動詞 + 前置詞の熟語のときには、人称代名詞は前置詞の後ろに来る。

He called on her.      彼は彼女を訪問した。      × He called her on.

- (4)to 不定詞は大きく分けて名詞用法、副詞用法、形容詞用法の3つがある。only to find that...「(人は大量にそれらを切り倒し、その結果)...とわかるだけである」これは副詞用法の1つで結果の不定詞。よって4が正しい。1も副詞用法だが、感情が生じた原因を表す用法。2は名詞用法の1つで目的語として使われている。3は形容詞用法で to 不定詞が reason の内容を説明している。5は目的を表す副詞用法。

### to 不定詞の用法 (例文中の1~5は選択肢の番号に対応している)

名詞用法: to 不定詞「...すること」

2.She promised to write every day.      彼女は毎日手紙を書くことを約束した。

形容詞用法: A to 不定詞「...なA」

3.He has no reason to be so angry.      そんなにも怒る(ような)理由は彼にはない。

副詞用法(目的・原因): to 不定詞「...するために」

1.I was delighted to see him.      私は彼を見たために喜んだ。(=見て喜んだ) 【原因】

5.The policeman blew his whistle to stop the car.      警官は車を止めるために笛を吹いた。【目的】

副詞用法(結果): to 不定詞「(~した結果)...する」

4.I awoke to find a burglar in my room.      目覚めると(その結果)強盗が部屋にいるのを発見した。

- (5)the best friends he had.「最良の友人」とは彼が切り倒してしまった木のことである。to draw quick profit「即座の利益を得るために」人間は短期的な利益を求めて干ばつや洪水を防いでくれる木々を切り倒してしまう、と言っている。friends が複数形なので答えは trees となることに注意。

- (6)warships「軍艦」 to build warships「軍艦を建造するために」 gain oneself A「(人)にAを得させる」 an empire「帝国、領土」 warships, with which to gain itself an empire「それ(軍艦)を用いて領地を獲得する(ための軍艦)」ここでは非制限用法なので、「それを用いて領地を獲得した」と訳出するとよい。

### 前置詞 + 関係代名詞 + to 不定詞

to 不定詞が形容詞用法で、かつ修飾される語が前置詞の目的語であるとき、前置詞 + 関係代名詞 + to 不定詞と書くことがある。

I am looking for a house in which to live.      私は住む家を探している。

(= I am looking for a house to live in.)

I needed something with which to write.      私は何か書くものが必要だった。

(= I needed something to write with.)

- (7)fall to pieces「粉々になる、ばらばらになる」 home country「本国」 find + 名詞+形容詞「~が...であることに気づく」 find itself faced by A「自身がAに直面していると気づく」 starvation「飢餓」  
(8)本文の where は副詞節を導く接続詞「...するとき」である。Even where a government realize the importance of...「政府が...の重要性を理解している場合であってさえ」 3.Where there is a

- will, there is a way.「決意があるところには道がある = 精神一到何事が成らざらん」が同じ用法。
- 1.This is where you are wrong.「そこがあなたの間違っているところだ」 2...in a country where it never snows.「雪の降らない国では」 4.Ask him where to put the books.「どこに本を置けばよいか彼に尋ねなさい」 5.where will the country be?「どこに国家があるだろうか?」
- (9)前に Even where a government realize the importance of a plentiful supply of trees「政府が樹木の豊富な供給の重要性を理解している場所であってさえ」とあり、itはこの a government を受けている。
- (10)to persuade the villager to see this.「(政府が)村人たちにこれを理解するよう説得すること」 this が指すのはその前にある the importance of plentiful supply of trees「樹木の供給の重要性」である。
- (11)even more serious: の後に the results の具体的な説明が説明されている。break up「割る」 flow away「流れさる」 the rich top-soil「肥沃な一番上の土壌、表層部の土」 in which crops grow so well「作物がよく育つところ」は the rich top-soil を説明する。
- (12)問題の for は理由・根拠を導く接続詞「というも...だから」である。接続詞なので、主語+動詞が後に続く。同じ用法は 5.I asked her to stay, for I had something to tell her.「私は彼女にいてくれるよう頼んだ、というも彼女に言うことがあったからだ」 1.for nothing「無料で」 2.for fear of A[that S V]「A[that...]を恐れて」 3.For production to be increased they must improve their organization.「生産を増やすために、彼らは組織を改善しなければならない」これは、for の後に主語+動詞が続いていないので前置詞。 4.For all A「A にもかかわらず」
- (13)their roots break the soil up, allowing the rain to sink in, thus preventing it being washed away easily.「それらの根は土壌をわり、雨をしみこませ、こうしてそれが簡単に洗い流されるのを防ぐのである」 it は the soil「土壌」である。
- (14)the rain falls on the hard ground...causing floods and carrying away with it the rich top-soil「雨は硬い地面に流れ落ち...洪水を起こし、そしてそれとともに一番上の肥沃な土壌を流し去ってしまう」 it はこの文の主語 the rain である。直前の floods「洪水」は複数形なので it は受けられない。
- (15)top-soil「最上部の土壌」 be gone「なくなる」 nothing remains but A「A しか残らない」 worthless desert「価値のない砂漠」
- (16)それぞれの名詞形は allow allowance, educate education, prevent prevention, provide provision である。アクセントが移動するのは 2.educate educación で動詞は第一音節、名詞は第二音節にアクセントがある。他は変わらない。
- (17)1.contról, 5.result よって 1、5 が正解。
- (18)答えは 1.allow[ə'laʊ] drought[draʊt]

## 全文訳

樹木は 3 つの非常に重要な用途があり人間の役に立つ。というのは、それらは人間に木材やその他の生産物を与えてくる。また日陰を与えてくる。そして干ばつや洪水を防いでくれるのである。

あいにく世界の多くの場所で、人間はこれらの有用性のうち 3 点目がもっとも重要であるということを理解していない。(3)樹木からすぐ現金化できるような利益を引き出そうとする熱意のために、人は大量にそれらを切り倒し、その結果人は最良の友人を失ってしまったとわかるだけである。

2000 年前、(6)豊かで強力な国は軍艦を作って、それを使って領地を獲得するために木々を切り倒した。それによって領地を得ることはできたが、樹木がなかったのでその土壌は硬くて貧しいものになってしまった。(7)帝国が解体したとき、その本国は自国が洪水と飢饉に直面していることに気づいたのだ。

政府が樹木の豊富な供給の重要性を理解している場合であってさえ、村人たちにこのことを納得させるのは政府にとって難しいことである。村人たちは食事の調理をするために木材を求める。そして彼は石炭を作り、町の人々に木材を売ることでお金を稼ぐことができる。彼はたいてい怠惰すぎたり不注意すぎるために、新しい木々を植えたり世話をすることができないのである。よって政府が統制するためのよいシステムを持つか、国民を教育することができなければ、森はだんだんと消えてしまう。

このことは、村人の子どもや孫たちにより少ない樹木しか残らないということだけを意味するのではない。その結果は一層深刻である。というも樹木がある場所ではそれらの根が土壌をわり、雨をそこにしみこませ、したがって土壌が簡単に洗い流されることを防ぐのである。しかし樹木がない場所では、雨が硬い地面を流れ落ち、洪水をおこし、そしてそれと一緒に、作物がよく育つ一番上の肥沃な土壌を流し去ってしまう。(15)最上部の土壌がすべてなくなってしまったとき、そこには価値のない砂漠以外、何も残らない。

## 25 意思を伝える能力

While most people can communicate *satisfactorily*, few can do so *effectively*. Because the spoken word is so powerful, as a society we are increasingly beginning to realize that it is very important to be able to make others understand our message. As the world became more (1)(compete), as job become more scarce, and as the communication age control our lives more and more, it is becoming clear that being able to communicate satisfactorily is not enough.

Most people understand that communication is important. In both the personal and professional life, the ability to communicate well can make the difference between (2)(succeed) and (3)(fail). When we meet someone for the first time, our first impression of that person will, (4)( ) a large extent, be based (5)( ) how effectively they can communicate. If a person's manner of speech is nervous or (6)(bored, boring) you will assume that they are nervous or (6)(bored, boring). While most people know that it is important to make a good first impression, not everyone has mastered the (7)necessary skills.

Effective communication is also (8)(essence) in the work environment. (9)Employees who can communicate effectively will be prompted faster and will be more successful, whether they are making client presentations or communicating their ideas to the boss. In some instances, an employer may be prepared to (10)put up with someone who has difficulty (11)( ) communicating, but this person will not be prompted as far or as rapidly as they had mastered the skills of successful communication.

Even when trying to find employment, getting a job depend upon the ability to communicate effectively. Most job interviews are, (12)( ) reality, a test of how well you communicate. The interviewer already knows what sort of work experience you have from your job (13)(apply) form. The interview is an opportunity for the interviewer to judge a person face (14)( ) face. If you communicate effectively and answer and ask questions well, then you will create a good impression.

## 設問

(1)(8)かっこ内の語句を適当な形容詞形に直せ。

(2)(3)(13)かっこ内の語句を適当な名詞形に直せ。

(4)(5)(11)(12)(14)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(6)かっこ内の語句のうち正しいものを選び。

(7)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(9)下線部を和訳せよ。

(10)下線部と意味が異なる語句を次から選べ。

1. bear    2. compensate    3. endure    4. stand    5. tolerate

(15)本文の内容と一致しないものを次から3つ選べ。

1. Many people can make others understand their views and ideas effectively.
2. It is important to be more than a satisfactory communicator from now on.
3. The ability to communicate well in private and in the workplace is very necessary to be successful.
4. Even effective communicators cannot make a good impression on other people upon first meeting.
5. Few fail to understand that it is necessary to create a good first impression even though they may have not yet mastered the necessary communication skills to do so.
6. An employer will not fully reward workers who are poor at expressing themselves at work and with clients.
7. Sometimes, employers may agree to keep workers who have unsatisfactory communication skills.
8. Usually, effective communication is necessary to be successful in a job interview.
9. It is rare to have an opportunity to make a good impression by asking and answering questions effectively during an interview.

(16)アクセントの位置が同じ組み合わせを次から選べ。

1. communicate    2. impress    3. prepare    4. satisfy  
communication    impression    preparation    satisfaction

## **Further Expressions**

### **《がまんする》**

Most people cannot put up with someone who has difficulty in communicating.

#### **【がまんする】**

Most people cannot stand someone who has difficulty in communicating.

Most people cannot tolerate someone who has difficulty in communicating.

Most people cannot endure someone who has difficulty in communicating.

Most people cannot bear someone who has difficulty in communicating.

Most people cannot forbear someone who has difficulty in communicating.

### **《大部分は》**

Our first expression of people will, to a large [great] extent, be based on how they can communicate. **【大部分は】**

Our first expression of people will, to a large [great] degree, be based on how they can communicate.

Our first expression of people will, for the most part, be based on how they can communicate.

Our first expression of people will mostly be based on how they can communicate.



## 解答

(1)competitive (2)success (3)failure (4)to (5)on (6)boring (7)初対面のときにより第1印象を与えるわざ[コミュニケーションを円滑に進めるわざ] (8)essential (9)全文訳参照 (10)2 (11)in (12)in (13)application (14)to (15)1, 4, 9 (16)2

## 解説

- (1)compete「競争する」 competitive「競争的な」 competition「競争」これと合わせて、compete「競争する」 competent「能力のある(競争する能力がある)」 competence「能力」も覚えておくとうい。 the world became more competitive「世界はより競争が激しくなった」
- (2)succeed in A「Aに成功する」 success「成功」また succeed to A「Aを継承する」 succession「相続、連続」という派生関係もある。
- (3)fail「失敗する」 failure「失敗」
- (4)to a large[great] extent「大いに」
- (5)be based on A「Aに基礎をおく、~に基づく」
- (6)bore「退屈にさせる」 a person's manner of speech is boring「ある人の話し方が退屈にさせるようなものである」主語の「話し方」は「退屈にさせる」ものなので boring が適当。
- (7)第2段落の内容をまとめる。「よい第1印象を与える」を中心にまとめるとよいが、「コミュニケーションを円滑に進めるわざ」と捉えてもよい。
- (8)essence「本質」 essential「不可欠の、本質的な」
- (9)Employees who can communicate effectively「効果的に意思の疎通が行える社員」 promote「昇進させる」 whether they are making... or communicating...「...をなすにしても、...を伝えるにしても」 make client presentations「顧客へ発表をする」 communicate their ideas to the boss「上司に自分の考えを伝える」

### whether の用法

whether A or not 「...かどうか」 \* or not は省略可能。

whether A or B 「...か...か」

I asked her whether she loves him or not. 私は彼女に彼を愛しているかどうか尋ねた。

I don't know whether he is still in Kyoto or he's gone to Sendai.

彼はまだ京都にいるのか仙台に行ってしまったか私にはわからない。

\* if と交換可能なとき : 動詞の目的語となるとき

I asked her if she loves him. 私は彼女に彼を愛しているかどうか尋ねた。

\* if と交換不可能なとき : 前置詞の目的語 whether to 不定詞 主語または補語 となるとき

It depends on whether you will go or not. それは君が行くかどうかにかかっている。

I'm wondering whether to drive or take the train. 車で行くか電車に乗るか考えているところだ。

Whether it is true or not does not concern me. それが本当かどうかは私にはどうでもよい。

whether A or not 「...であろうとなかろうと」 \* or not は省略不可。

whether A or B 「...であれ...であれ」

Whether I like it or not, I'll have to deal with it. 好きであろうとなかろうと扱わねばならない。

Whether I win or lose, my teacher will criticize me. 勝っても負けても先生は私を非難するだろう。

(10)put up with = bear = endure = stand = tolerate「我慢する」 compensate「補償する」

(11)have difficulty in ~ing「~に苦労する、~するのが難しい」 in は省略されることもよくある。

(12)in reality「実際には、実は」

(13)apply「申し込む」 application「申し込み、出願」

(14)face to face「面と向かって」 to judge a person face to face「面と向かって人を審査する」

(15)1.「多くの人々は他人に観点や考えを効果的に他人に理解させることができる」 make + 人 + 原形「(使役構文)人に~させる」本文の冒頭より一致せず。2.「これからは satisfactory な communicator 以上のものになることが重要である」 from now on「これからは」第1段落最後に「satisfactorily に会話できるだけでは不十分だ」とあるので本文と一致。3.「うまくコミュニケーションを取る能力は私的な場においても仕事場においても成功するためには必要である」第2段落より本文と一致。4.「効果的な communicator でさえ最初のミーティングでよい第一印象を与えることはできない」本文にないので一致せず。5.「たとえそうするのに必要なコミュニケーションスキルを身につけていなくても、ほとんどの人はよい第一印象を与えることは必要だ、と理解しそこなうことはない」 even

though「たとえ...でも」第2段落最後より一致。6.「雇用者は仕事や顧客に対して自分自身をうまく表現できない労働者を十分報いることはない」第3段落より一致。7.「雇用者は、時には満足できないコミュニケーションスキルしか持っていない労働者も保持することに同意する」第3段落に employer may be prepared to put up with「雇用者には我慢する用意があるかもしれない」とあるので一致。8.「通常、効果的なコミュニケーションは仕事の面接で成功することに必要である」第4段落より一致。9.「面接の間に効果的にやりとりすることによってよい印象を得る機会をもつことはあまりない」第4段落より、不一致。

(16)いずれも動詞と名詞の組み合わせだが、アクセントの位置が同じものは 2.impress「感銘、印象を与える」impression「印象」のみ。

## 全文訳

大多数の人々は「思い通りに」意思の疎通ができるが、「効果的に」行える人はほとんどいない。話しことが非常に有力なものなので、社会として、我々は他人に自分の伝えたいことを理解させることができることがたいへん重要であることをだんだんと認識し始めている。世界がより競争が激しいものになるにつれ、仕事はますます不足するようになるにつれ、そしてコミュニケーションの時代が我々の生活をますます支配するようになるにつれ、思い通りに意思の疎通ができるだけでは不十分であることが明確になってきている。

大多数の人々は意思の疎通が重要であることは理解している。私生活と仕事の両方において、きちんと意思の疎通ができるか否かが成功と失敗の分かれ目である。我々が誰かに初めて会う時、その人の第一印象は相当な程度、その人がどれほど効果的に意思の疎通ができるかによるのである。ある人の話し方が神経質もしくは退屈であれば、その人を神経質もしくは退屈な人であると思うだろう。大多数の人々はよい第一印象を与えることが重要であることは分かっているが、すべての人々がそのために必要な技術を持っているわけではない。

効果的な意思の疎通は職場の環境においても重要である。(9)顧客への発表をするにしても、上司に自分の考えを伝えるにしても、効果的に意思の疎通が行える社員は他の人より出世が早く、成功するであろう。いくつかの例では、雇用者は意思の疎通が困難な人でも我慢するようにしているかもしれないが、効率よく意思の疎通ができる技術を持った人のように出世しないだろうし、その速度も遅いだろう。

職を探す時でも、職を得られるかどうかは効果的に意志の疎通ができる能力による。実際ほとんどの就職面接はいかにあなたがきちんと意思の疎通ができるかの試験なのである。面接官は申し込み用紙からあなたがどんな仕事をしてきたかはすでに知っている。面接は面接官にとって面と向かって面接者を審査する機会なのである。もしあなたが効果的に意思の疎通を図れ、質問や回答をきちんとすれば、よい印象を与えることになるだろう。

## コラム 語源研究

### 語根 MIT

【語源】ラテン語の mittere「投げる、送る」を語源とする。message「(送られるもの)伝言」、mission「(送られる)使節、使命」、missile「(投げられるもの)ミサイル」は同語源。

### 【単語】

- admit ad(...に) + mit(送る) 「(許可して)...に送り入れる(=認める、入場を許す)」
- commit com(完全) + mit(送る) 「すべて送って委ねる(=犯す、託す、送る)」
- compromise com(共に) + promise(約束する) 「共に約束しあう(=妥協する)」
- demise de(下に) + mise(送る) 「下の代に送る(=譲渡、継承、譲る)」
- dismiss dis(離れて) + mit(送る) 「離れたところに送り出す(=解散させる、解雇する)」
- emit ex(外へ) + mit(送る) 「外へ送り出す(=音や光を出す、放つ)」
- intermit inter(間に) + mit(送る) 「合間に送り入れる(=一時中断する、断続する)」
- omit ob(離して) + mit(送る) 「...から離して送る(=除外する、忘れる)」
- permit per(...を通して) + mit(送る) 「(入り口を)通過させてあげる(=許す)」
- promise pro(前に) + mise(送る) 「前に送る(=約束する)」
- remit re(後ろへ) + mit(送る) 「元の状態に送り返す(=送金する、赦免する、和らげる、戻す)」
- submit sub(下に) + mit(送る) 「(管理)下に送る(=服従させる、提出する)」
- transmit trans(越えて) + mit(送る) 「(山などを)越えて送る(=送る、伝える、伝達する)」

## レベル II 第 6 章 内容に一致する文を完成する

### 26 男女の役割の変化

Many changes are (1)taking place in the way in which men and women look at their roles in society. We see these changes most dramatically in job and business situations. It is no longer unusual to find a male nurse or a female construction worker. Years ago, (2)( ), a man who worked as a nurse would have been (3)looked down upon for doing “a woman’s job,” and (4)a female construction worker would not have been approved by her male co-workers. (5)However dramatic these changes are, they are not as important as the changes that have taken place between men’s and women’s roles in family life.

The fact that so many women today have (6)(entered, entered into) the job market and are building independent careers for themselves has (7)altered the traditional family structures in many ways. For one thing, household work that used to be done by women is now often shared equally by men and women. Men have discovered at (8)( ) that (9)they too are capable of preparing the family dinner, rather than thinking that they are only capable of taking out the garbage.

Perhaps the greatest change that has taken place in the family is in parents’ new attitude toward (10)bringing up their children. While it is true that only mothers can breastfeed their (11)infants, (12)nowhere is it written that fathers cannot bathe their own babies or change diapers. And more and more of them are doing just that. These days, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share.

As a result of these changes, (13)men and women are more aware of the uniqueness in their own lives. (14)No longer do we insist that little boys play with trucks and grow up to be doctors, while little girls play with dolls and grow up to be housewives. Many men no longer feel that they have to maintain a manly attitude all the time, and many women no longer feel that (15)they should be (16)(obey). Changes like these (17)(are not occurred, do not occur) overnight or even in a few weeks, because they involve fundamental changes in attitudes and behavior.

#### 設問

(1)(3)(10)下線部と近い意味の動詞を次から 2 つずつ選べ。動詞は原形で示してある。

1. abolish 2. compensate 3. despise 4. disdain 5. endure 6. establish  
7. happen 8. investigate 9. nurture 10. occur 11. postpone 12. raise

(2)(8)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

- (2) 1. although 2. however 3. moreover 4. thus  
(8) 1. all 2. last 3. many 4. much

(4)(5)(9)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(4) male construction workers would not have approved ( ) their female co-worker

(5) no ( A )( B ) dramatic these changes are

(9) they too are ( ) to prepare the family dinner

(6)(17)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(7)(11)下線部と近い意味の 1 語を本文中から抜き出せ。

(12)下線部の意味として正しいものを次から選べ。

1. 父親が自分の赤ん坊をお風呂に入れたり、おしめを替えたりすることができるとはどこにも書かれていない。
  2. 父親が自分の赤ん坊をお風呂に入れたり、おしめを替えたりすることができないとはどこにも書かれていない。
  3. 父親が自分の赤ん坊をお風呂に入れたり、おしめを替えたりすることができると書かれている。
  4. 父親が自分の赤ん坊をお風呂に入れたり、おしめを替えたりすることができないと書かれている。
- (13) 下線部はどのようなことを言っているのか日本語で説明せよ。
- (14) 下線部を和訳せよ。
- (15) 下線部の意味として正しいものを次から選べ。  
1. housewives 2. attitudes 3. men 4. women
- (16) カッコ内の語句を適当な形容詞形に直せ。
- (18) 本文の内容と一致するように次の空所にあてはまる適当な語句を選べ。  
(A) Today, little girls probably ( ).  
1. play with dolls and trucks 2. always play with dolls  
3. play with trucks more than with dolls 4. don't play with dolls  
(B) American men are finding that they can ( ).  
1. breastfeed a child 2. attend to a child's needs  
3. share in household chores 4. attend to a child and share in household chores  
(C) Because women have gone out and acquired careers, this has changed ( ).  
1. their household spendings 2. the eating habits  
3. the family structure 4. the role of a child
- (19) 本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。  
1. 家庭電化器具の発達は、女性を家事労働から解放した。  
2. 家庭における女性の余暇が増えたことは一般化できない。  
3. 社会における男性と女性の役割に大きな変化が起こっている。  
4. 社会における女性の役割について日本と米国の間には大きな相違がある。  
5. 育児に関して、男性と女性の役割に大きな変化が生じた。  
6. 田舎では、男性と女性の役割分担がはっきりしている。  
7. 社会における女性の役割について、現実と理想の間に大きなギャップがある。  
8. 職場において、男性と女性の間の差別問題は解決した。
- (20) 第1音節にアクセントのある語を次から2つ選べ。  
1. attitude 2. career 3. fundamental 4. opposite

### Further Expressions

#### 〈軽蔑する〉

Some people look down on [upon] men who are doing woman's job. 【見下ろす】

Some people make light of men who are doing woman's job. 【軽視する】

Some people despise men who are doing woman's job. 【軽蔑する】

Some people scorn men who are doing woman's job.

Some people disdain men who are doing woman's job.

#### 〈現在は〉

Today, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share. 【今日】

These days, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share.

Nowadays, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share.

At present, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share.

For the present, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share.

#### 【さしあたり】

For the time being, being a full-time parent is a job that fathers and mothers both share.

## 解答

(1)7,10 (2)2 (3)3,4 (4)of (5)(A)matter (B)how (6)entered (7)change (8)2 (9)able  
(10)9,12 (11)babies (12)2 (13)それまでは性別によって役割を決められていたが、最近では自分の個性にあわせて役割を選べるようになったということ。(14)全文訳参照 (15)4 (16)obedient  
(17)do not occur (18)(A)1 (B)4 (C)3 (19)3, 5 (20)1,4

## 解説

- (1)take place = happen=occur「(事が)起る」  
(2)It is no longer unusual to find a male nurse or a female construction worker.「男性の看護婦や女性の建設作業員を見つけることも、もはや珍しくはない」という前文に対し、Years ago,...「数年前は...」と過去の状況を現在と対照的に述べている。however「しかしながら」が適当。although「...であるけれども」はふつう文頭において使う。moreover「その上」thus「したがって」  
(3)look down on[upon] A = despise A = disdain A「Aを見下す、軽蔑する」 a man who worked as a nurse would have been looked down upon「看護婦として働く男性は、見下されていた」  
(4)approve of A「Aをよく思う、Aに賛成する」approve は他動詞として前置詞を伴わずに「(事に)賛成する」という意味で使われることもある。  
(5)however ~ = no matter how ~「たとえどんなに~でも」 However dramatic these changes are「どんなにこれらの変化が劇的であっても」。  
(6)この enter は「加わる、一員になる(=join)」という意味の他動詞。「Aに入る」という意味で enter into は使わない。enter into A「A(事業など)を始める」 so many woman today have entered the job market「今日は多くの女性が労働市場に加わった」  
(7)alter = change「~を変える」 The fact...has altered the traditional family structures「...という事実が伝統的な家族の構造を変えた」  
(8)at last「ついに」 Men have discovered at last「男性はついにみつけた」 at all「(否定文で)全然」  
(9)S is capable of ~ing「~する能力がある」この場合 be able to 不定詞「~することができる」と同じ意味。  
(10)bring up = raise=nurture「育てる」 bringing up their children「子どもを育てる」  
(11)infant は「幼児」年齢にはかなり幅があるが、ここは only mothers can breastfeed infants「母親だけが幼児に母乳で育てることができる」という文脈なので、children より babies が適当。  
(12)否定語の強調のために前に出て倒置が起きている。語順を元に戻すと it is written nowhere that...「...はどこにもかかれていない」 bathe A「Aを入浴させる」 diaper「おむつ」

### 否定のいろいろ

not all, no

【部分否定】 Not all human beings are wise. 人間はみな賢いというわけではない。

【全否定】 No human being is wise. 人間はみな賢くない。

not every, not any, none

【部分否定】 I don't like every one of them. 私は彼らの誰もが好きなわけではない。

【全否定】 I don't like any one of them. 私は彼らを誰一人好きではない。

【全否定】 I like none of them. 私は彼らを誰一人好きではない。

not both, not either, neither

【部分否定】 He doesn't know both of us. 彼は私たち二人とも知っているわけではない。

【全否定】 He doesn't know either of us. 彼は私たちのどちらとも知らない。

【全否定】 He knows neither of us. 彼は私たちのどちらとも知らない。

not always, never

【部分否定】 I'm not always at home on weekends. 私はいつも週末にいるとは限らない。

【全否定】 I'm never at home on weekends. 私は週末にいることはない。

二重否定 : 肯定を表す。

Nobody had nothing to eat. 誰も食べ物がないということではなかった。

I never see him without thinking of my son. 彼を見るときいつも息子を思い出す。

There was no one who does not feel sympathy. 同情を感じないものはいなかった。

Such a case is not uncommon today. そのような例は今日では珍しくない。

(13)men and women are more aware of the uniqueness in their own lives 「男性と女性は、自分自身の人生が独自なものであるとより気づくようになっていく」その後には男性はもう男性らしい態度を維持せねばならないと感じてはいないし、女性は従順でなければならないと感じてはいない、と述べられている。つまり現代では、男女の仕事や家庭での役割に対する意識の変化によって、既

成の価値観にしばられずに自分の個性にあった役割を選ぶようになってきたのである。

- (14)これも否定語の強調による倒置。語順を元に戻すと we no longer insist that...「私たちはもはや...と主張したりしない」 no longer = not any longer「もはや～ない」 little「小さな」不可算名詞につく little「ほとんど～ない」と混同しないように。S grow up to be A「大人になって）Aになる」
- (15)この一文は Many men no longer feel...and many women no longer feel というように、men と women が対になっている。many women no longer feel that they should be obedient.「多くの女性は(自分が)従順であるべきだとはもう思っていない」よって they は women を指す。
- (16)obey「従う」 形容詞形は obedient「従順な」
- (17)occurは「起る」という意味の自動詞。changes...do not occur overnight「一夜にして変化が起きる」
- (18)(A)第4段落。「少女は人形で遊ぶものだ、もはや私たちは主張しない」とあるので、女の子だからといって人形遊びだけをストラックのおもちゃで遊ぶことはない、とは限らないので 1.「人形やストラックで遊ぶだろう」が適当。probably が半分以上の確信を持った文章であることを考えると、3や4は言い過ぎ。

#### 話し手の確信度

90%以上

certainly, definitely, inevitably, necessarily, undoubtedly, unquestionably

50%～90%

doubtless, likely, presumably, probably

50%ないしそれ以下

conceivably, maybe, perhaps, possibly

(B)第2段落の Men have discovered at all...と第3段落の And more and more of them ...という文に注目。前者は男性が自分で家事をすることもできると発見したということ、後者はますます多くの男性が、赤ん坊を入浴させたりおむつをかえてやるようになったと述べている。よって正解は4。find that S V「～だとわかる」 attend to A「Aの世話をする」 share in A「Aを分担する、分かちあう」 household chores「家事」

(C)acquire careers「職を得る」本文第2段落に The fact that...has altered the traditional family structures in many ways.とあるので3が正解。their household spendings「家計」

- (19)正解は3、5でどちらも本文の要点である。その他、1、2は家庭電化器具や余暇についての記述はどこにもないので誤り。4、6は米国や田舎といった場所の限定は本文にはないので誤り。7、8は女性の社会進出による問題点のような実際の事柄は本文では扱われていないので誤り。
- (20)áttitude「姿勢」 ópposite「反対の」で1、4が正解。

#### 全文訳

男女の社会における役割への見方に様々な変化が起きている。このような変化は仕事とビジネスの場面でもっとも顕著に見られる。男性の看護師や女性の建設労働者を見つけることはもはや非日常のことではない。しかし数年前なら看護師として働く男性は「女性の仕事をしている」として見下され、女性の建設労働者は男性の同僚に認められなかっただろう。これらの変化がどんなに目覚しくても、それらは、家庭での男女の役割の間で起こった変化ほど重要ではない。

今日、非常に多くの女性が労働市場に参入し、自分自身で独立したキャリアを積んでいるという事実は、伝統的な家族の構造を多くの点で変えた。ひとつには、かつては女性がしていた家事は、今ではしばしば男性と女性によって等しく分担される。男性はついに、自分たちがごみを出すことしかできないと考えるのではなく、自分たちも家族の夕食を用意することができるということに気づいた。

おそらく家族の中で起こったもっとも大きな変化は子育てに対する親の新しい姿勢に見出せる。母親だけが幼児に母乳を与えることができるというのは真実であるが、父親が自分の赤ん坊を入浴させたりおむつを変えたりすることができないとはどこにも書いていない。ますます多くの父親はまさにそうしている。最近では、一日中、親であることは、父親と母親との両方が共有する仕事なのである。

これらの変化の結果として、男性と女性は、自分自身の人生が独自のものであることにより気づき始めている。(14)私たちはもはや少年はトラックで遊んで将来は医者になることを主張しないし、一方で少女は人形で遊んで将来は主婦になることも主張しない。多くの男性はもはや自分が常に男性的な態度を維持しなければならないとは感じていないし、多くの女性はもはや自分が従順でいなければならないとは思っていない。これらのような変化は一夜にして、または数週間でおこるわけではない。なぜなら、これらは態度や行動の根本的な変化を含むからである。

## 27 間接喫煙の害

Most people know that cigarette smoking is (1)harmful to their health. Scientific research shows that it causes many kinds of diseases. In fact, many people who smoke get lung cancer. However, Edward Gilson has lung cancer, and he has never smoked cigarettes. He lives with his wife, Evelyn, who has smoked about a pack of cigarettes a day throughout their marriage. The Gilsons have been married for 35 years.

No one knows for sure why Mr. Gilson has lung cancer. (2)( ), doctors believe that (3)secondhand smoke may cause lung cancer in people who do not smoke. Nonsmokers often breathe in the smoke from other people's cigarettes. This is secondhand smoke. Edward Gilson has been breathing this type of smoke for 35 years. Now he is dying of lung cancer. However, he is not (4)alone. The U.S. Environmental Protection Agency reports that about (5)fifty-three thousand people die in the United States each year as a result of exposure to secondhand smoke.

The smoke that comes from a lit cigarette contains many different poisonous chemicals. In the past, scientists did not think that these chemicals could harm a nonsmoker's health. Recently, though, scientists changed their opinion after they studied a large group of nonsmokers. They discovered that even nonsmokers had unhealthy amounts of these (6)toxic chemicals in their bodies. As a matter of fact, almost all of us (7)( ) tobacco smoke at times, whether we (8)( ) it or not. (9)( ), we cannot (10)( ) secondhand smoke in restaurants, hotels, and other public places. Even though many public places have nonsmoking areas, smoke flows in from the areas where smoking is (11)( ).

It is (12)even harder for children to avoid secondhand smoke. In the United States, nine million children under the age of five live in homes with at least one smoker. Research shows that these children are sick more often than children who live in homes where no one smokes. The damaging effects of secondhand smoke on children also continue as they grow up.

(13)The children of smokers are more than twice as likely to develop lung cancer when they are adults as children of nonsmokers. The risk is even higher for children who live in homes where both parents smoke.

People are becoming very aware of the danger of secondhand smoke. (14)( ), they have passed laws that (15)( ) people from smoking in many public places. Currently, 45 states in the United States have laws that restrict, or limit, smoking. The most well-known law (16)( ) people to smoke on short domestic airline flights, i.e., flights within the (17)( ).

After smoking for most of her life, Evelyn Gilson has finally (18)quit. She feels that if more people know about the dangers of secondhand smoke, they will stop, too. Her decision (19)(comes / help / late/ to / too) her husband. However, there is still time to protect the health of others, especially children, who live with smokers.

### 設問

(1)(3)(4)(18)下線部と近い意味のものを次から選べ。

- (1) 1. 無害な    2. 有害な    3. 困難な    4. 迷惑な  
(3) 1. 汚れた    2. 中古の    3. 体内の    4. 間接的な

- (4) 1. 唯一の 2. 孤独な 3. 私的な 4. 独身の
- (18) 1. 禁煙する 2. 逃れる 3. 辞退する 4. 返済する
- (2)(9)(14)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。
1. As a result 2. At first 3. For example 4. In addition 5. Nevertheless
- (5)下線部を算用数字で表せ。
- (6)下線部と近い意味の1語を同じ段落から抜き出せ。
- (7)(8)(10)(11)(15)(16)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。
- avoid breathe forbid permit prohibit realize
- (12)下線部と置き換えられない語句を次から選べ。
1. far 2. much 3. still 4. very
- (13)下線部を和訳せよ。
- (17)空所にあてはまる適語を答えよ。
- (19)かっこ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。
- (20)本文の内容と一致するように次の空所にあてはまる語句を選べ。
- (A) Edward Gilson got long cancer, probably because ( ).
1. he smoked cigarettes for 35 years
  2. his wife, Evelyn, smoked cigarettes for 35 years
  3. he had many kinds of diseases
  4. his wife, Evelyn, also had lung cancer
- (B) The U.S. Environmental Protection Agency reports that, every year in the United States, about fifty-three thousand people die ( ).
1. because of lung cancer
  2. because of too much smoking
  3. as a result of exposure to poison
  4. as a result of exposure to other people's smoking
- (C) In the past, scientists believed that poisonous chemicals in cigarettes ( ).
1. could not harm the health of nonsmokers
  2. could harm the health of nonsmokers
  3. could not harm the health of smokers
  4. could harm the health of children
- (D) In the United States, it is hard to keep children away from secondhand smoke because ( ).
1. people do not smoke in public places
  2. the parents of nine million children are smokers
  3. nine million children under the age of five live with at least one smoker
  4. many public places have nonsmoking areas
- (21)第1音節にアクセントのある語を次から選べ。
1. damage 2. disease 3. nevertheless 4. report

### Further Expressions

#### 〈害する〉

Smoking is harmful to our health. 【有害な】

Smoking does harm to us. 【害を与える】

Smoking does us more harm than good. 【薬にはならず害になるほうが大きい】

Smoking damages our health. 【害する】

#### 〈～が原因で〉

Many people get lung cancer because of secondhand smoke. 【～のために】

Many people get lung cancer on account of secondhand smoke.

Many people get lung cancer owing to secondhand smoke.

Many people get lung cancer due to secondhand smoke. 【～が原因で】

Many people get lung cancer as a result of secondhand smoke. 【～の結果】

Lung cancer often results from secondhand smoke. 【～に起因する】

Secondhand smoke often results in lung cancer. 【～に終わる】



## 解答

(1)2 (2)5 (3)4 (4)1 (5)53000 (6)poisonous (7)breathe (8)realize (9)3 (10)avoid  
(11)permitted (12)4 (13)全文訳参照 (14)1 (15)prohibit (16)forbids (17)country (18)1  
(19)comes too late to help (20)(A)2 (B)4 (C)1 (D)3 (21)1

## 解説

- (1)harmful to A「Aに有害な」 cigarette smoking is harmful to their hearth「喫煙は健康に有害だ」  
(2)No one knows for sure...( ), doctors believe that...「(ギルソン氏が肺がんになった理由に)だれも確信を持っていない。( ), 医者たちは(間接的な煙が肺がんの原因だと)信じている」前文に対して後の文は逆説的な関係になっているから、Nevertheless「にもかかわらず」が正解。  
(3)secondhand smoke「間接喫煙」 secondhand は「間接の、また聞きの」という意味の他に「中古の」という意味もあるが、文意にあうのは4である。  
(4)However, he is not alone.「しかしながら、彼が唯一ではないのだ」ギルソン氏だけでなく毎年多くの人が間接喫煙で亡くなっている、とその次の文で説明されている。よってここは1が正解。  
(5)thousand「1000」が fifty-three「53」あるということである。  
(6)toxic = poisonous「有害な」 toxic chemicals「有害な化学物質」  
(7)almost all of us breathe tobacco smoke「私たちのほとんど全員がタバコの煙を吸う」 all of A「Aみんな、全員」は複数扱いである。  
(8)realize「悟る、実感する」 whether we realize it or not「私たちがそれに気づこうが気づくまいが」  
(9)almost all of us breathe tobacco smoke at times「私たちのほとんどは、タバコの煙をときどき吸っている」という文を受けて in restaurants, hotels...と例を挙げているから For example が正解。  
(10)we cannot avoid secondhand smoke in restaurants「私たちはレストランや...での間接喫煙を避けることができない」  
(11)the areas where smoking is permitted「喫煙が許されている場所」  
(12)far, much, still は比較級を強めて「さらに、なお一層」という意味。 very は原級「とても」と最上級「まさに」につくが比較級にはつかない。  
(13)more than 数詞「~より多い」 A is twice as ~ as B「AはBの2倍~である」~にあたる部分は likely to develop lung cancer when they are adult「彼らが大人のと看肺がんを発病しがちである」喫煙者の子どもと、非喫煙者の子どもが比較されている。

### 数詞

#### 大きい基数詞

hundred(100) thousand(1,000) million(1,000,000) billion(1,000,000,000) trillion(1兆)

序数詞 : 1の位が1,2,3のときのみ形が異なる。

first(1st) second(2nd) third(3rd) fourth(4th) fifth(5th) sixth(6th) ... X-th(Xth) ... twenty-first(21st)  
twenty-second(22nd) twenty-third(23rd) ... thirtieth(30th) one hundredth(100th)

倍数詞 : 3倍以上は基数詞 + times

twice(2) three times(3) four times(4)...X times(X)

分数 : 基数詞 - 序数詞。分子が2以上の時には序数詞にsがつく。

one third(1/3) two-thirds(2/3) three-fourths(3/4) four-fifths(4/5) half(1/2) quarter(1/4)

#### ラテン語から来た接頭辞

uni(1) du(2) bi(2) tri(3) quadri(4) quint(5) sex(6) sept(7) oct(8) nov(9) dec(10) cent(100) mil(1000)

#### ギリシア語から来た接頭辞

mono(1) amphi(2) di(2) tri(3) tetra(4) penta(5) hexa(6) hepta(7) octa/octo(8) ennea(9) deca(10)

### 数の表現

#### 序数詞の慣用表現

This is the third tallest building in the country. これが国で3番目に高い建物だ。

In intelligence he is second to none. 知性においては彼は誰にも劣らない。

#### 倍数表現

You are twice as strong as I. 君は私の2倍強い。

He has three times as many books as I have. 彼は私の3倍の本を持っている。

This book is twice the size of that one. この本はあの本の2倍の大きさがある。

He earns half as much money as she does. 彼は彼女の半分だけ稼ぐ。

This apple is half as big again as that one. このりんごはあのりんごの1.5倍の大きさだ。

Even if we multiplied it tenfold, that would be twenty percent. たとえそれを10倍しても20%だ。

- (14)前文との関係に注目すると、People are becoming very aware of the danger of secondhand smoke.「人々は間接喫煙の危険をとて意識するようになってきている」という文を受けて they

- have passed laws「彼らは法案を通過させた」と言っているのだから、As a result「その結果」が適切。
- (15) prohibit people from smoking in many public places「多くの公共の場で、人々に喫煙を禁止する」禁止するという意味の単語は prohibit と forbid の 2 つあるが、from smoking とあるのでここでは prohibit が正解。prohibit A from ~ing「A が ~するのを禁止する」
- (16) forbids people to smoke「人々に喫煙を禁止する」forbid A to 不定詞 = forbid A's ~ing「A に ~するのを禁止する」the most well-known law が主語なので三単現の s がつく。
- (17) flights within the country「国内便」short domestic airline flights, i.e...とってそれを他の表現で言いかえているのである。i.e.はラテン語の id est の略で「すなわち」の意味。domestic は「国内の」という意味のほかに「家庭の、家庭的な、家畜の」といった意味もある。
- (18) Evelyn Gilson has finally quit.「エブリン = ギルソンは最終的にやめた」つまり禁煙することにしたという意味である。
- (19) come to 不定詞「~ するようになる」too late to help「助けるには遅すぎる」late は副詞である。
- (20)(A) 第 1、第 2 段落に書かれている。ギルソン氏が肺がんになったのはおそらく妻のタバコの煙を間接的に吸ったためである。2 が正解。
- (B) 第 2 段落の最後に as a result of exposure to secondhand smoke「間接的に煙にさらされた結果」と述べられているので 4 が正解。3 は poison「毒物」にさらされた、というのが言いすぎである。
- (C) 第 3 段落の 2 行目に述べられている。かつて科学者たちは、タバコの有害物質が非喫煙者の健康を害するとは考えていなかったのである。1 が正解。
- (D) 第 4 段落に nine million children under the age of five live in homes with at least one smoker とあるので 3 が正解。1 と 4 は子どもを間接喫煙から守るのが難しいことの原因にならない。2 は 900 万人の子どもの両親ともに喫煙者であるというのが間違い。
- (21) 1.damage「損害」が正解。4.report「報告」

## 全文訳

ほとんどの人々はタバコの喫煙が健康に有害であることを知っている。科学的な研究によりタバコの喫煙が多くの種類の病気を引き起こすことが明らかになっている。実際、多くの喫煙者は肺がんになる。しかしながら、エドワード = ギルソン氏は肺がんを患っていたが、けっしてタバコを吸ったことがなかった。彼は妻のエブリンと住んでいたが、結婚生活を通して彼女が日にだいたい 1 箱のタバコを吸っていたのである。ギルソン夫婦は結婚して 35 年になる。

誰も確信をもってなぜギルソンさんが肺がんを患っているのかわからない。にもかかわらず、医者たちは間接喫煙がタバコを吸わない人々に肺がんを起こすかもしれない、と考えている。タバコを吸わない人々はしばしば他人のタバコの煙を吸い込む。これが間接喫煙である。エドワード = ギルソン氏はこの種の煙を吸いつづけて 35 年になる。今では、彼は肺がんで死のうとしている。しかしながら、彼が唯一のケースではない。アメリカ合衆国環境保護局は、間接喫煙の煙にさらされた結果、毎年約 53000 人が亡くなっていると報告している。

火のついたタバコから出る煙は、多くの異なる有毒な化学物質を含んでいる。昔、科学者たちはこれらの化学物質はタバコを吸わない人々の健康を害するとは考えていなかった。けれども最近、タバコを吸わない人々の大規模な集団を研究した後、科学者たちは意見を変えた。科学者たちは、タバコを吸わない人でさえ、彼らの体に健康を害するほどの量のこれらの有害化学物質を有していることを発見した。それを認識しようがまいが、実際は私たちのほとんど全員がときどきタバコの煙を吸っている。たとえば、レストラン、ホテル、他の公共場所において、私たちは間接喫煙を避けることはできない。たとえ、多くの公共場所が禁煙場所を持つとしても、喫煙が許されている場所から煙が流入する。

子どもたちにとって、間接喫煙を避けることはよりずっと困難になる。アメリカ合衆国では、5 歳以下の 900 万人の子どもたちが、少なくとも一人の喫煙者と一緒に家に住んでいる。ある研究によると、これらの子どもたちは誰もタバコを吸う人がいない家に住む子どもたちよりもよりしばしば病気になるということが明らかになっている。子どもたちへの間接喫煙の損害を与える効果は、子どもたちが成長しても継続する。

(13)喫煙者の子どもたちは、大人になると、タバコを吸わない人の子どもたちより 2 倍肺がんを発病しやすい。肺がんになる危険性は、両親がともにタバコを吸う家に住んでいる子どもがずっと高い。

人々が間接喫煙の危険を意識するようになってきている。その結果、彼らは多くの公共場所で人々にタバコを吸うことを禁止する法案を通過させた。現在、アメリカ合衆国の 45 の州が喫煙を制限したり限定したりする法律を有している。もっともよく知られた法律は人々に短距離の国内線、つまり国内の航空便でタバコを吸うことを禁じている。

人生のほとんどでタバコを吸った後、エブリン = ギルソンは最終的にやめた。彼女は、もしもっと多くの人々が間接喫煙の危険について知れば彼らもやめるだろう、と感じている。彼女の決定は彼女の夫を助けるには遅すぎた。しかしながら、喫煙者と一緒に住む、とくに子どもたちといった、他の人たちの健康を守る時間はまだある。

## 28 人工知能と人間の脳

In order to talk about (1)artificial intelligence, we have to first discuss how the human brain works. This is not easy because it is an area where even the (2)experts (3)(agree, disagree). No one knows for sure how the human mind arrives at (4)(conclude). But we can begin by pointing out some of the differences between the way humans think and the way computers operate.

Let's say that we are playing a guessing game. You must guess whether a piece of fruit is a grape, an orange, or a banana. You cannot see, touch, or taste the fruit in order to make your decision. But you know one fact about it. It is not round.

Immediately you know that of the three choices — grape, orange, or banana — the fruit is (5)( ). You know this on the basis of one fact: the piece of fruit is not round. This seems like a very simple guessing game. But stop for a moment and think about how you knew which fruit to guess. You have seen many grapes, oranges, and bananas, and from this experience you know that grapes and oranges are round. Probably, no one ever told you (6)this. You (7)observed it for yourself by looking at these fruits. You were told that the piece of fruit you were guessing was not round. So you automatically eliminated grapes and oranges as (8)( ) and decided (9)(against, on, to) the correct answer — a banana.

What would happen if you asked a computer to solve this same problem? First of all, you would have to find a language for asking the computer this problem. The computer, remember, does not understand natural — or human — language. Second, the computer would be frustrated by the question. Computers cannot tell the difference between grapes, oranges, and bananas. (10)Besides, they have not learned from (11)( ) that bananas are not round while grapes and oranges are.

We (12)tend to think of computers as super brains because they can add, (13)( ), multiply, and divide numbers at (14)terrific speeds. But the computer cannot tell the difference between grapes, oranges, and bananas even when it is given an (15)obvious clue! Sometimes the computer doesn't seem so (16)( ), after all.

There are many areas in which the human mind differs from the computer. For example, the computer differs from us in (17)(that, what, which) it has no emotions. It can base decisions only on very simple facts. In other words, it cannot (18)make distinctions between a good decision and a better decision. It cannot recognize that a decision may be good in one (19)( ) but bad in another. The computer operates strictly on the basis of logic, which is an organized system of reasoning. But this system does not always (20)work for humans.

### 設問

(1)下線部の反意語を答えよ。

(2)(7)(20)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(2) 1. artisans 2. people 3. philosophers 4. specialists

(7) 1. celebrated 2. expressed 3. noticed 4. respected

(20) 1. fix 2. obey 3. please 4. serve

(3)(9)(17)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(4)カッコ内の語句を適当な名詞形に直せ。

(5)(8)(11)(13)(16)(19)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

(5) 1. a banana 2. a grape 3. an orange 4. a strawberry

(8) 1. choices 2. decisions 3. favorites 4. ways

(11) 1. expectations 2. experiences 3. experiments 4. explanations

- (13) 1. attract 2. contract 3. distract 4. subtract  
 (16) 1. educational 2. honest 3. intelligent 4. interesting  
 (19) 1. climate 2. computer 3. country 4. situation  
 (6) 下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。  
 (10)(12)(14)(15)(18) 下線部と意味が異なる語句を次から選べ。  
 (10) 1. In Addition 2. Moreover 3. On the contrary 4. On top of that  
 5. What is more  
 (12) 1. are apt to 2. are inclined to 3. are liable to 4. are sure to  
 5. have a tendency to  
 (14) 1. amazing 2. astonishing 3. marveling 4. marvelous 5. surprising  
 (15) 1. clear 2. distinct 3. evident 4. manifest 5. obscure  
 (18) 1. determine 2. differentiate 3. discriminate 4. distinguish  
 5. tell the difference  
 (21) 本文の内容と一致するように次の各文に続く適当な文を選べ。  
 (A) We humans know that “banana” is the correct answer because  
 1. we know the answer beforehand.  
 2. we can feel, taste, and smell the fruit directly.  
 3. we can get bananas more easily than oranges and grapes.  
 4. we have a total image of a banana.  
 (B) One of the reasons the computer cannot solve the guessing game is that  
 1. it knows only a human language.  
 2. the game is too simple for the computer.  
 3. it has never actually seen fruits.  
 4. there are too many correct answers.  
 (C) One of the differences between humans and computers is that  
 1. humans have feelings, but computers do not.  
 2. humans are able to forecast the weather, but computers cannot.  
 3. humans understand logical arguments, but computers do not.  
 4. humans can calculate correctly, but computers cannot.  
 (D) Artificial intelligence is  
 1. necessary to improve human living conditions.  
 2. too limited to be a useful tool for humans.  
 3. not receiving very much attention from scientists.  
 4. able to solve problems which require only logical evaluation.  
 (22) 次の各語のアクセントのある音節を選べ。  
 (A) ar-ti-fi-cial (B) in-tel-li-gence (C) com-put-er (D) au-to-mat-ic  
 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 1 2 3 4

### Further Expressions

#### 《識別する》

Computers cannot **make distinctions** between grapes and oranges. 【識別する】

Computers cannot **distinguish [discriminate, differentiate]** between grapes and oranges.

Computers cannot **tell the difference** between grapes and oranges.

Computers cannot **tell [distinguish, discriminate]** grapes from oranges.

#### 《しがちだ》

We are **apt to** think of computers as super brains. 【～する傾向がある】

We are **liable to** think of computers as super brains.

We are **inclined to** think of computers as super brains.

We are **prone to** think of computers as super brains.

We **have a tendency to** think of computers as super brains.

We **tend to** think of computers as super brains.

## 解答

- (1)natural (2)4 (3)disagree (4)conclusions (5)1 (6)ブドウとオレンジは丸いということ。  
(7)3 (8)1 (9)on (10)3 (11)2 (12)4 (13)4 (14)3 (15)5 (16)3 (17)that (18)1 (19)4  
(20)4 (21)(A)4 (B)3 (C)1 (D)4 (22)(A)3 (B)2 (C)2 (D)3

## 解説

- (1)artificial「人工の」 natural「自然の」  
(2)expert「専門家」 artisan「職人、熟練工」 philosopher「哲学者」 specialist「専門家」  
(3)This is not easy「これは容易ではない」の理由なのだから、it is an area where even the experts disagree「それは専門家たちでさえ一致しない分野である(だから)」となるのが文脈的に正しい。  
disagree「一致しない」  
(4)conclude「結論を下す」 conclusion「結論」  
(5)ブドウ、オレンジ、バナナの中で丸くないのはバナナだけ。  
(6)thisはその前文にある grapes and oranges are round「ブドウとオレンジは丸い」を指す。あなたはこれを from this experience「この経験から」知ったのだから no one told you this「だれもこのことをあなたに教えたのではない」と言っているのである。  
(7)observe「観察する (観察などで)...だと気づく (意見・考えを)述べる (規則などを)遵守する (誕生日、祝祭日などを)祝う」選択肢は、～の各意味と対応している。celebrate「祝う」express「述べる」notice「気づく」respect「尊敬する、(規則を)尊重する」observed it...by looking at these fruits「これらの果物を見ることによって気づいた」  
(8)decisions「決定」 favorites「好み」 ways「道、やり方」 choices「選択、選択肢」 you automatically eliminated grapes and oranges as choices「君は選択肢としてぶどうとオレンジを自動的に除いた」  
(9)decide on A「Aに決定する」 decided on the correct answer「正しい答えを決定する」 decide to不定詞「～しようと決意する」 decide against[for]～ing「～しないことに[することに]決める」  
(10)besides「...のほか、...に加えて」と異なるのは、on the contrary「反対に」他のものは、in addition「その上」 moreover「その上」 on top of that「それに加えて(=in addition to)」 what is more「その上」  
(11)expectations「期待」 experiences「経験」 experiments「実験」 explanations「説明」 they have not learned from experiences that bananas are not round while grapes and oranges are.「コンピューターは、バナナは丸くはないがぶどうとオレンジは丸いことを経験から学んだことがない」人は経験から学ぶ。  
(12)tend to 不定詞「...する傾向がある」と異なるのは、be sure to「必ず...する」 他は be apt to「...する傾向がある」 be inclined to「...しがちである」 be liable to「...しがちである」 have a tendency to「...する傾向がある」  
(13)add「足し算する」、multiply「掛け算する」、divide「割り算する」と並んでいるので、空欄には subtract「引き算する」が入ると考えられる。他の語の意味は、attract「(注意・興味などを)引く、(人や動物を)引きつける」 contract「契約、契約する」 distract「(人・注意などを)そらす( attract)」  
(14)動詞 marvel は「驚く」という意味であり、marveling の形になっても、「驚いている」という現在分詞の意味になるだけで、「驚くべき、すごい、すばらしい」という意味にはならない。一方、amaze, astonish, surprise は、程度の差こそあれ、すべて「驚かせる」という意味で、ing 形になると「驚かせるような、驚くべき」という意味となる。marvelous「驚くべき」は marvel「驚く」の派生形。  
(15)obscure「あいまいな」 clear「明瞭な」 obvious, clear, distinct, evident, manifest はすべて「明白な、はっきりした」という意味。  
(16)educational「教育の、教育的な」 honest「正直な」 intelligent「知能の高い」 interesting「おもしろい」 Sometimes the computer doesn't seem so intelligent「ときどきコンピューターはあまり知能が高いように見えない」直前に「たとえ明白なヒントが与えられていたとしても、コンピューターはぶどうとオレンジとバナナの違いを答えられない」とあるので、文脈から intelligent が適当。  
(17)differ in A「Aという点で異なる」 in that S V「...という点で」 the computer differs from us in that it has no emotions「コンピューターは、感情を持たないという点で私たちと異なる」  
(18)make distinctions=differentiate=discriminate=tell the difference「区別する」 determine「決心する、決心させる、決定する」のみ「区別する」の意味がない。  
(19)It cannot recognize that a decision may be good in one situation but bad in another.「決定が、ある状況においてはよくても、他の状況においてはよくない、ということコンピューターは認識できない」

- (20)work for A「Aのために働く」 serve は他動詞で「～に仕える、～のために尽くす」という意味。  
3.please「よろこばせる」
- (21)(A)4 が正解。直接は書かれていないが、丸くないということからすぐに答えが分かるのは、これらの果物に対して様々な情報(= 全体的なイメージ)を持っているからだと考えられる。  
(B)3 が正解。コンピューターは果物を見たことがないので、経験からバナナが丸くないことを学んでいない。 2.「ゲームがコンピューターには単純すぎるから」は本文にないし、4.「正しい答えが多すぎるから」は正しい答えはひとつしかないはずなので誤り。  
(C)1 が正解。最後の段落に書いてある。emotions = feelings 2.「人間は天気を予報できるがコンピューターにできない」や 3.「人間は論理的な議論を理解できるが、コンピューターはできない」や 4.「人間は正しく計算できるが、コンピューターはできない」は本文には書かれていない。  
(D)4 が正解。artificial intelligence「人工知能」は、A.I.とも略される。4.「論理的な評価のみを求め問題しか解決できない」は、最後の段落によれば、コンピューターはロジックに基づいて動くシステムなので、論理を越えて状況に応じた柔軟な判断をすることができない、と書いてある。1.「人間の生活状況を改善するために必要である」や 3.「科学者たちにあまり注目されていない」は本文に書かれていない。2.「機能が限られすぎていて、人間にとって役に立つ道具とはならない」は、コンピューターのロジックが必ずしも人間のために働くとは限らないとは書かれているが、機能が限られているためではない。
- (22)(A)artificial「人工の、人工的な」 3 が正解。  
(B)intéligence「知能、情報」 2 が正解。  
(C)compúter「コンピューター」 2 が正解。  
(D)automátic「自動の、機械的な」 3 が正解。

## 全文訳

人工知能について話すためには、まず人間の脳がどのように働くのかを議論しなければならない。専門家間でさえ意見が一致しない分野であるので、これは容易ではない。人間の脳がどのようにして結論に達するかは、誰も確実には知らない。しかし、私たちは、人間が思考する方法とコンピューターが作動する方法の違いを指摘することから始めることができる。

なぞなぞをしよう。あなたは、ある果物が、ブドウかオレンジか、それともバナナかを推測しなければならない。決定するためにその果物を見たり、触ったり、味わったりすることはできない。しかし、果物に関する事実をひとつ知っている。果物は丸くないのだ。

すぐに、果物が3つの選択肢 ぶドウ、オレンジ、バナナ のうち、バナナであることが分かる。果物が丸くないという事実に基づいて、このことが分かるのだ。これは非常に単純ななぞなぞのように見える。しかし、しばらく立ちどまって、どの果物を推測すべきかを自分がどのようにして知ったかについて考えてほしい。あなたは今までにたくさんのブドウ、オレンジ、バナナを見てきた。そして、この経験から、ブドウとオレンジは丸いことを知っている。恐らく、あなたにこのことを教えた人はいなかっただろう。果物を見ることにより、自分でそれに気づいたのだ。あなたは推測しようとしている果物が丸くないことを伝えられた。それで、自動的にブドウとオレンジを選択肢から除去し、正しい答え バナナを選んだのだ。

もし同じ問題を解くようにコンピューターに依頼すれば、何が起ころうか。まず、コンピューターにこの問題を尋ねるための言語を見つけなければならないだろう。コンピューターは、覚えておいてほしいのだが、自然な つまり人間の 言語を理解しない。次に、コンピューターは質問に挫折するだろう。コンピューターはブドウ、オレンジ、バナナを見分けられない。そのうえ、バナナが円形ではなく、一方ブドウとオレンジは円形であることを経験から知っているわけではない。猛烈な速度で数を足したり、引いたり、かけたり、割ったりすることができるので、私たちはコンピューターを高性能の脳と見なす傾向がある。しかし、明白な手掛かりを与えられる場合でさえ、コンピューターはブドウ、オレンジ、バナナを見分けることができない!結局コンピューターは、それほど知的に見えないこともあるのだ。

人間の心がコンピューターと異なる多くの領域がある。たとえば、コンピューターは感情を持っていない点で私たちと異なる。コンピューターは、非常に単純な事実しに決定を基づかせることができない。言い換えれば、よい決定とよりよい決定を区別することができない。決定が、ある状況ではよくても別の状況においては悪いかもしれないことを認識できない。コンピューターは、ロジック(組織化された、論理的思考のシステムである)に基づいて厳密に作動する。しかし、このシステムは、必ずしも人間のために働くとは限らない。

## 29 シートベルトの重要性

In many countries now seat belts are (1)compulsory for the driver and front seat passenger at least.

Most doctors believe that seat belts (2)(being / from / people / seriously / save) hurt in a crash, but there are some people who still think that it is more dangerous to wear a seat belt than not to wear one.

They say that a seat belt may trap (3)one in a car that is burning, or that has fallen into a river or the sea and is sinking, so that one is burnt to death or drowned.

But (4)(half / lead / less than / of car accidents / of one percent / to) fire or sinking, and in any case, a seat belt may easily prevent a person from (5)(being knocked, knocked, knocking) unconscious in an accident, so that he or she is able to (6)( ) the seat belt immediately and get out of a car that is on fire or sinking.

People who object to seat belts also sometimes say that without one, one may be thrown right out of a car in a crash, but doctors will tell you that (7) that is the last thing one wants to happen: if one is thrown out of a car, one hits something, usually the road, and usually hard and at speed. (8)( ) remain inside a car in the case of a crash.

There is also the question of personal freedom; some people say that (9)it is an attack on their freedom to force them to wear a seat belt, whether they want to or not. But even in a democracy there are a lot of things a person is denied the right to do though he or she wants to do them. I may, for example, want to play music loudly all night; it interferes with my freedom (10)( ). But my neighbors have their own rights to freedom, just as I have. They want to be free to sleep quietly at night, and if I stop them doing so, I am interfering with (11)their freedom.

How does this affect seat belts? In what way does it interfere with the rights of others if someone refuses to wear a seat belt? Well, first of all because common sense tells us that a driver without a seat belt has (12)(less, more) control of a car if there is an accident, so that he or she is (13)(less, more) likely to be a danger to others, who after all also have the right to be protected as much as possible from accidents.

But also there is the question of the cost of being hurt. A driver expects to be taken to hospital (14)( ) of charge by ambulance if he or she is hurt in a crash. He or she also expects to be looked after properly in hospital, again (14)( ) of charge. Who pays for this? In most countries the people who pay the taxes (15)do so. And they have a right to demand that the amount they pay should be kept as (16)(high, low) as possible by making sure that people do not hurt (17)( ) unnecessarily by not taking proper care such as wearing a seat belt.

### 設問

(1)下線部の反意語を次から選べ。

1. necessary 2. obligatory 3. required 4. voluntary

(2)(4)かっこ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(3)下線部の具体的内容として正しいものを次から選べ。

1. 車の後部座席に座っている人 2. 車の前部座席に座っている人  
3. 車の運転者 4. シートベルトを着用しないで車に乗っている人

- 5.シートベルトを着用して車に乗っている人
- (5)(12)(13)(16)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。
- (6)(8)(10)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。
- (6) 1. fasten 2. put 3. tie 4. undo
- (8) 1. It is better to 2. The driver should not  
3. It is not recommended to 4. The seat belts must
- (10) 1. if I am allowed to do this 2. if I am not allowed to do this  
3. because it allows me to do whatever I like to  
4. though it allows me to do whatever I like to  
5. when it forces me to do this
- (7)下線部を和訳せよ。
- (9)下線部の具体的内容を20字以内の日本語で答えよ。
- (11)下線部の具体的内容を15字以内の日本語で答えよ。
- (14)2つの空所に共通にあてはまる適語を答えよ。
- (15)下線部の具体的内容を25字以内の日本語で答えよ。
- (17)空所にあてはまる適語を答えよ。
- (18)シートベルト着用反対者の意見として本文中に述べられているものを次から2つ選べ。
- シートベルトを着用していると、事故にあった時に、容易に自動車から脱出する事が出来ない。
  - シートベルトを着用していると苦しくて、運転しづらい。
  - シートベルトを着用していると事故に遭っても死亡や重傷に至る確率が低い、などとは一概には言えない。
  - シートベルトを着用していると事故を起こす確率が低くなる、などとは言えない。
  - シートベルトを着用したくない者もいるわけだから、各個人の意思を無視して着用を強制するのは問題だ。
  - シートベルトを着用しているからといって、税金が安くなるわけではない。
- (19)次の英文は、本文の内容をまとめたものである。空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。
- While most doctors believe that seat belts protect lives, some people still think ( A ) with a seat belt is more dangerous than ( B ) one. These people argue wrongly that driving without seat belts makes ( C ) from a burning car, or one sinking in deep water more likely. Similarly, while no seat belt may ( D ) passengers to be thrown out of their cars in an accident, the ( E ) are they will be injured much ( F ) by hitting the road.
- Some people believe they should have the freedom to choose to wear a belt or not. One person's ( G ) should not interfere with another person's, however, and other people have the right to be protected from drivers who do not take proper ( H ).
- Finally, in order to make the cost of ambulance and hospital care low, taxpayers have the right to expect people to wear seat belts and ( I ) unnecessary accidents.
- freedom 2. worse 3. chances 4. without 5. avoid 6. allow
  - driving 8. care 9. escape

### Further Expressions

#### 《義務》

Seat belts are compulsory for the drivers. 【必須の】

Seat belts are obligatory for the drivers.

Seat belts are required for the drivers. 【要求されている】

The drivers are supposed to wear seat belts. 【～することになっている】

#### 《無料で》

The driver will be looked after in hospital free of charge. 【無料で】

The driver will be looked after in hospital without charge.

The driver will be looked after in hospital for nothing.

The driver will be looked after in hospital for free.



## 解答

(1)4 (2)save people from being seriously (3)5 (4)less than half of one percent of car accidents lead to (5)being knocked (6)4 (7)全文訳参照 (8)1 (9)国がシートベルト着用を強制すること。(10)2 (11)隣人の持つ夜静かに眠る自由。(14字) (12)less (13)more (14)free (15)救急車や治療など事故で生じたけがの費用を払うこと。(25字) (16)low (18字) (17)themselves (18)1,5 (19)(A)7 (B)4 (C)9 (D)6 (E)3 (F)2 (G)1 (H)8 (I)5

## 解説

- (1)compulsory「強制的に」 voluntary「自主的に」 obligatory「義務的な、強制的な」  
(2)save A from B「AをBから救う」 save people from being...hurt in a crash「人々を事故で傷つけられることから救う」  
(3)この one は、火災や川に沈んだときシートベルトが邪魔になって逃げ遅れる人、つまりシートベルトを着用している人全員を指している。  
(4)less than「～以下」 half of one percent「0.5%」 lead to A「Aに至る」例えば、All roads lead to Rome.「すべての道はローマに通ず」のように使う。less than half of one percent of car accidents lead to fire or sinking「自動車事故の0.5%以下が火災や沈没に至る」  
(5)prevent A from ~ing「Aが～するのを妨げる」 knock「～を強打する」人+be knocked unconscious「(人が)強打して気を失う」 prevent a person from being knocked unconscious「人が強打して気を失うことを妨げる」  
(6)fasten「しっかり固定する」 tie「結ぶ、つなぐ」 undo「ほどく、ゆるめる」 so that he or she is able to undo the seat belt immediately and get out of a car「その結果、シートベルトを直ちに緩め、車から出ることができる」  
(7)the last thing「もっとも最後のこと」「一番...でないもの」例文として本文では、the last thing which one want to happenのように、目的格関係代名詞 which が省略されている。one は、「一般的な人々」

### the last + 名詞

< the last + 名詞 + to 不定詞 > : 「もっとも～しそうにない」

He would be the last man to betray you.

= He is the last man who would betray you. 彼はあなたを裏切るような人ではまったくくない。

The last thing we want is gossip. ゴシップだけはごめんだ。

- (8)It is better (for A) to 不定詞「(Aは)～したほうがよい」 It is better to remain inside a car「車の中に残ったほうがよい」  
(9)itは仮主語で、to force them to wear a seat belt を指す。  
(10)it interferes with my freedom「それは私の自由を妨げる」 itは空欄の中の if 節を指すと考える。if I am not allowed to do this「もし私が大きなヴォリュームで音楽を聴くことを許されないと...」が適当。  
(11)their freedom の内容は to be free to sleep quietly at night を指す。  
(12)a driver without a seatbelt has less control of a car「(事故が起きると)シートベルトなしの運転手は(シートベルトをしている運転手より)車を制御できない」常識では、シートベルトなしの運転者は、車のコントロールを失うだろう。  
(13)he or she is more likely to be a danger to others「その人は、他人にとって危険な存在によりなりがちである」車のコントロールを失った車は、他人により迷惑をかけることになる。  
(14)free of A「Aを免除された」 free of charge = without charge = for free「無料で」  
(15)do so は前の文の pay for this を受けている。this は the cost of being hurt「けがの費用」を指す。  
(16)they have a right to demand that the amount...should be kept as low as possible「総額ができるだけ低く保たれるべきである、と彼らは主張する権利を持つ」この文の主語の they は the people who pay the taxes「納税者たち」のこと。ならば、事故後に支払われる費用をできるだけ抑えようとするだろう。  
(17)人+hurt oneself「(人が)傷つく」 people do not hurt themselves「人々がけがをする」  
(18)1.第3段落にある。5.第6段落にある。  
(19)(A)第2段落に some people who still think...シートベルトをつける方が危険だといまだに考えている人がいる、とある。よって driving with a seat belt is more dangerous で 7.driving が正解。  
(B)一部の人にはシートベルトをつけるほうが、つけないよりも危険いと考えるのであるから more dangerous than without one となる。4.without が正解。  
(C)第3段落に They say that a seat belt may trap one in a car that is burning...とある。つまり

彼らはシートベルトをしなければ燃える車の中からも脱出できる、と考えているわけである。よって driving without seat belts makes escape from a burning car となる。9.escape が正解。

(D)第 4 段落に、シートベルトがなければ one may be thrown right out of a car in a crash とあるので、これと内容が同じになるように no seat belt may allow passengers to be thrown out of their cars in accident とする。6.allow が正解。

(E)the chances are that ~「～する見込みがある」よって 3.chances が正解。the chances are they will be injured 「彼らが傷つく可能性がある」

(F)2.worse が正解。第 5 段落の最後に it is better to remain inside a car in the case of a crash.「衝突事故の際は車の中にとどまる方が良い」とあるので they will be injured much worse by hitting the road 「彼らは道路に体を打つことでよりひどく傷つくかもしれない」

(G)第 6 段落に述べられている。一人の人間は他の人に侵害されてはならない自由への権利を持っているが、他の人にも権利はあるのだ、という文脈である。よってここは One person's freedom should not interfere with another person's となる。1.freedom が正解。

(H)8.care が正解。drivers who do not take proper care 「適切な注意を払わないドライバー」他のドライバーは彼らから身を守る権利があることは、第 7 段落に述べられている。

(I)5.avoid が正解。the right to expect people to...avoid unnecessary accidents 「人々が不必要な事故を避けるよう期待する権利がある」

## 全文訳

多くの国々で現在、シートベルトの着用は少なくとも運転者と助手席の乗客との義務となっている。ほとんどの医者は、シートベルトが衝突の際に人々が激しくケガをするのを防ぐと信じているが、シートベルトをする方がしないよりも危険だといまだに考えている人々がいる。

彼らはシートベルトは燃えていたり川や海に落ちて沈んでいっている車の中に人をとじこめて、人を死に追いやったりおぼれさせたりする可能性があると言う。

しかし火事や沈没を引き起こすのは自動車事故の 0.5 パーセント未満に過ぎないし、どの場合でもシートベルトは人が事故で打たれて意識不明になるのを防ぎ、すぐにシートベルトをはずして、燃えたり沈んだりしている車から出られるようにする。

シートベルトに反対する人々はときどき、シートベルトをしていなければ、衝突事故の際に人が車の外に投げ出されるかもしれないというが、医者は(7)それはもっとも起きて欲しくないことだと言うだろう。つまり、もし人が車から投げ出されたら、人は何か たいいていの場合、道路に、普通、激しく、速いスピードでぶつかる。衝突事故の際は車の中にとどまっている方がよい。

個人の自由の問題もある。つまり、本人の希望がどうであろうとシートベルトの着用を強いることは、自由への攻撃だと言う人々がいるのである。しかし民主主義においてさえ、ある人が望んでもそれをする権利を否定されることはたくさんある。たとえば、私は毎晩、大きな音で音楽を演奏したいかもしれない。もし私がそうすることを許されなければそれは私の自由を邪魔している。しかし私の近所の人々は私と同じように自由への権利をもっている。彼らは夜、静かに眠りたいし、もし私がそれを止めたら私は彼らの自由を邪魔していることになる。

これはシートベルトとどう関係するのだろうか。もし誰かがシートベルトの着用を拒否したら、他人の権利をどのように邪魔しているのだろうか。何よりもまず、常識的に、シートベルトをしていない運転者は事故があった場合、車をあまり制御できていないので、そもそも事故からできる限り保護される権利を持っている他人に対し、より危険となりやすいと考えられる。

しかしまた、ケガをした際の費用の問題もある。衝突事故でケガをした運転者は救急車により無料で病院に連れて行かれると予想される。病院では、これまた無料で適切に世話をされると予想される。これは誰が支払うのか。ほとんどの国では税金を払っている人々が支払っているのである。そして彼らは、人々がシートベルトの着用などの適切な注意を怠って不必要にケガをしたりしないようにすることで、できる限り払う額を小さく抑えるべきであると要求する権利を持つ。

## コラム 語源研究

### 語根 HERE

【語源】ラテン語の haerere「付着している、粘りつく、離れない」を語源とする。heredity「遺伝」、hesitate「(現状にしがみつき口ごもる )ためらう、躊躇する」も同語源。

### 【単語】

- ・adhere ad(...に) + here(粘りつく) 「...に粘りつく(=くっつく、粘着する、固守する)」
- ・cohere com(共に) + here(粘りつく) 「一緒に粘りつく(=密集する、結合する)」
- ・inherent in(中に) + herent(粘りつく) 「中にくっついている(=本来備わる、生まれつきの)」

## 30 子どもの成長と親の役割

All children are born pure and good. In this sense our children are from heaven. Each and every child is already unique and special. They enter this world with their own particular (1)destiny. An apple seed naturally becomes an apple tree. It cannot produce pears or oranges. As parents, our most important role is to recognize, respect, and then support our child's natural and unique growth process. We are not (2)(required, requiring) in any way to change them into (3)(be / should / they / think / we / who). Yet (4)we are responsible to support them wisely in ways that draw out their individual (5)gifts and (6)strengths.

Our children do not need us to fix them or (7)make them better, but they are dependent on our support to grow. We provide the rich ground for their seeds of greatness to sprout . They have the power to do the rest. (8)Within an apple seed is the perfect plan for that child's development. (9)Instead of ( A )( B )( C ),( D )( E ).

As parents we must remember that Mother Nature is always responsible (10)( ) our children's growth and development. Once, when I asked my mother the secret of her parenting approach, she responded this way: "While (11)(raising, rising) six boys and one girl, (12)I eventually discovered there was little that I could do to change them. I realized it was all in God's hands. I did my best and God did the rest." This realization allowed her to trust the natural growth process. It not only made the process easier for her, but also helped her not to get (13)( ). This knowledge is important for every parent. If one doesn't believe (14)( ) God, one can just remember "gene" – It's all in the gene.

Besides being born pure and good, every child comes into this world with his or her own unique problems. As parents, our role is to help children to face their unique challenges. I (15)(brought, grew) up in a family of seven children and, although we had the same parents and the same (16)opportunities all seven children turned (17)(down, in, out, over) completely different. I now have three daughters aged twenty-five, twenty-two, and thirteen. Each one is, and has always been, completely different, with a different set of strengths and (18)weaknesses.

As parents, we can help out children, but we cannot take away their unique problems and challenges. With this knowledge, we can worry less, instead of focusing on changing them or solving their problems. Trusting more helps the parent as well as the child. We can let our children be themselves and focus more on helping them to grow in reaction to life's challenges. When parents respond to their children from a more relaxed and trusting place, children have a greater opportunity to trust (19)( ) themselves, their parents, and the unknown future.

Each child has his or her own personal destiny. (20)Accepting this reality reassures parents and helps them to relax and not to take responsibility for every problem a child has. (21)Too much time and energy is wasted trying to know what we could have done wrong or what our children should have done instead of accepting that all children have issues, problems, and challenges. Our job as parents is to help our children to face and cope (22)( ) them successfully. Always remember that our children have their own set of challenges and gifts, and there is nothing we can do to change who they are. Yet we can make sure that we give them the opportunities to become the best they can be.

設問

- (1)(5)(6)(16)(18)下線部と近い意味の語句を次から2つずつ選べ。名詞は単数形で示してある。
1. ability
  2. advantage
  3. chance
  4. doom
  5. fate
  6. fault
  7. merit
  8. occasion
  9. shortcoming
  10. talent
- (2)(11)(15)(17)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。
- (3)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。
- (4)(7)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。
- (4) it is (        ) to us to support them
- (7) (i        ) them
- (8)下線部の主語を1語で答えよ。
- (9)下線部の空所A～Eにあてはまる語句を次から選べ。
1. our children are already good
  2. thinking that
  3. to make our children good
  4. we must do something
  5. we must recognize that
- (10)(14)(19)(22)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。
- (12)(20)(21)下線部を和訳せよ。
- (13)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。
1. in the way
  2. on the way
  3. out of the way
  4. under way
- (23)本文の内容と一致するように次の各文に続く適当な文を選べ。
- (A) The passage mainly discusses
1. how we should learn from our children.
  2. how we should change our children.
  3. how we should make our children pure and good.
  4. how we should bring up our children.
- (B) According to the first paragraph, our duty as parents is
1. to help our children to develop their individual gifts and strengths.
  2. to help our children to develop our individual gifts and strengths.
  3. to support our children and draw out our own individual gifts and strengths.
  4. to support our children wisely in our own way.
- (C) In the second paragraph, the author says
1. our children are independent of our support to grow.
  2. we must recognize our children to be already good.
  3. we must do something to make our children good.
  4. we must do something instead of thinking.
- (D) In the third paragraph, the author uses the story of his mother because
1. he thinks she could change her children when they were little.
  2. he thinks she discovered no one believed in God.
  3. he thinks her parenting approach is secret.
  4. he thinks what she said is important for parents.
- (E) In the fourth paragraph, the author introduces his daughters
1. to show how they are different from each other.
  2. to show what kind of parents they have.
  3. to help them to face their unique challenges.
  4. to help every child to come into this world.
- (F) According to the fifth paragraph, our trust in the child is important because
1. trusting more helps not only the child but also the parent.
  2. trusting more helps not the parent but the child.
  3. trusting more helps the parent rather than the child.
  4. trusting more helps the child rather than the parent.
- (G) According to the sixth paragraph, parents waste too much time and energy in the sense that
1. they accept that all children have issues, problems, and challenges.
  2. they challenge all children to have issues and problems.
  3. they worry too much about what they and their children could or should have done.
  4. they always remember that their children have their own challenges and gifts.

## 解答

(1)4,5 (2)required (3)who we think they should be (4)up (5)1,10 (6)2,7 (7)improve  
(8)plan (9)(A)2 (B)4 (C)3 (D)5 (E)1 (10)for (11)raising (12)全文訳参照 (13)1 (14)in  
(15)grew (16)3,8 (17)out (18)6,9 (19)in (20)全文訳参照 (21)全文訳参照 (22)with  
(23)(A)4 (B)1 (C)2 (D)4 (E)1 (F)1 (G)3

## 解説

- (1)destiny=doom=fate「運命」 their own particular destiny「彼ら自身の固有な運命」  
(2)require「～が必要である、要求する」 We are not required「私たちは(子どもたちを変化させることを)求められていない」  
(3)change them into A「彼らを A に変える」 A に入るのは who we think they should be「彼らがそうあるべきだと、私たちが考えるところの人」 who they should be「彼らがそうあるべきところの人」に we think が挿入されて、who we think they should be という形になっている。  
(4)be up to A to 不定詞「～するのは A(人)の義務、責任である」 we are responsible to support them「私たちは彼らを支持する義務がある」  
(5)gift=ability=talent「才能」 their individual gifts「彼ら個々の才能」  
(6)strength=advantage=merit「強み、長所」 their individual...strengths「彼ら個々の長所」  
(7)make them better「彼らをより良くする」つまり、「改善する」と同じことで improve が入る。  
(8)語順を元に戻せば、the perfect plan for that child's development is within an apple seed「その子どもの発育にとって完全な計画は、りんごの種の中にある」主語は、plan である。  
(9)Instead of の後に節や to 不定詞は来られないから、まず thinking that が来て、Instead of thinking that S V( ) S V「A と考えるのではなく B」というのが基本構造になる。A には we must do something「私たちは何かしなくてはならない(と考えるのではなく...)」が来て、something の内容を説明するのに to make our children good「私たちの子どもを善良にするための」が続く。次に B にあたる we must recognize that「私たちは認識しなければならない」が来て、that 以下の内容として our children are already good。「私たちの子どもは既に善良である(そのことを)」が続く。  
(10)be responsible for A「A に責任を負う」 Mother Nature is always responsible for our children's development「自然の摂理が常に私たちの子どもの発達に責任を負う」  
(11)raise「上げる、育てる」 rise「上がる」 While raising six boys and one girl「6人の男子と1人の女の子を育てる間」  
(12)eventually「結局、最終的に」 there was little that S V「...はほとんどなかった」無冠詞の little は否定的な意味合いになる。that I could do to change them「彼らを変えるためにできること」  
(13)helped her not to get in the way「彼女を邪魔にならないよう助けた」 get out of the way「(邪魔にならないように)退く」は文脈的におかしい。  
(14)believe in A「A(の存在)を信じる」 one doesn't believe in God「神を信じない人」  
(15)bring up A「A を育てる」 grow up「成長する」 I grew up in a family of seven children「私は7人子どもがいる家族に育った」  
(16)opportunity=chance=occasion「機会」 the same opportunities「同じ機会」  
(17)turn down「断る」 turn in「提出する」 turn out「～とわかる」 turn over「ひっくり返る」 all seven children turned out completely different「7人全ての子どもたちは完全に異なっているとわかった」  
(18)weakness=fault=shortcoming「欠点、弱点」 with a different set of...weakness「異なる一連の短所を持った」  
(19)trust「信頼する」は自動詞のとき in をとる。trust in themselves「彼ら自身を信じる」  
(20)主語は Accepting this reality「この現実を受け入れること」 reassures parents and help them to...「両親を安心させ、...することを助ける」 to 以下は2つのことが述べられている。to relax「リラックスすること」と、not to take responsibility for A「A に責任を負わないこと」 every problem a child has「子どもの持つ全ての問題」  
(21)Too much time and energy is wasted「あまりにも多くの時間とエネルギーが浪費されている」が基本の文構造。それを trying to 以下が説明している。what we could have done wrong「私たちがしたかもしれない間違ったこと」 wrong は we could have done wrong things the things が what に吸収されて文頭に出たため取り残されたもの。what our children should have done「私たちの子どもたちがすべきだったこと」 instead of accepting that S V「...を受け入れないで」 all children have issues, problems, and challenges「全ての子どもたちに問題、難問、挑戦がある」  
(22)cope with A「A を上手く処理する」 cope with them successfully「それらを上手く処理する」  
(23)(A)4 が正解。2 と 3 は文意に反する。1 は内容とずれている。(B)第1段落の最後で述べられている。1 が正解。2 は our individual が their individual の間違い。3 も同様。4 は文意に反する。(C)2。「私たちは子どもをすでに善き存在であると認識しなければならない」が正解。1 と 3 は文意に反する。4。「私たちは考えるかわりに何かをしなければならない」とはどこにも述べられていない。(D)4 が正解。第3段落に This knowledge is important for every parent「この知識は親にとって重要である」とある。(E)1 が正解。第4段落の最後に Each one is, and has always been, completely different...とある。(F)1 が正解。第5段落に Trusting more helps the parent as well as the child。「より信頼することは、子どもはもちろん親も助ける」とある。(G)3 が正解。第6段落に Too much

time and energy is wasted...と述べられている。

## 全文訳

すべての子どもは純粹で善良なものとして生まれる。この意味では我々の子どもは天国からの授かりものである。それぞれの子ども、すべての子どもはすでに個性的で特別なのである。彼らは彼ら自身の固有な運命を持ってこの世界に入ってくるのだ。林檎の種子は当然林檎の木となる。洋梨や蜜柑を生み出すわけがない。親として、もっとも重要な役割は子どもの自然な、そして独特の成長過程を理解し、敬意を表し、支持することである。我々は決して子どもたちをこうあるべきだと自分たちが思うように変化させてはならない。さらに彼らの個々の才能と長所を引き出すように賢く彼らを支持する義務があるのだ。

子どもたちは我々に対して自分たちの悪いところを直し、よりよくしてくれるよう要求する必要はないが、成長するための助けには依存しているのだ。我々は彼らの偉大さの趣旨が発芽するように肥沃な土壌を用意するのだ。それ以外のことをする能力を彼らは持っている。林檎の種子には子どもの成長のための完全な計画があるのだ。我々は子どもを善良にするために何かすべきだと考える代わりに子どもはすでに善良であるということを理解すべきである。

親として自然の摂理が常に子どもの発達と成長に責任を負っているということを理解すべきだ。かつて私が母親に親としての態度の秘訣をきいたとき、彼女はこう答えた。「6人の息子と1人の娘を育てる中で、(12)結局彼らを変えるために私ができることはほとんどないということが分かったわ。それはすべて神の手の内にあるのよ。私は私のやれることをやって、あとは神様がやってくださったのよ。」こうした認識によって彼女は自然な成長過程に任せることにしたのだ。それにより彼女にとってその過程が容易なものとなっただけでなく、彼女が邪魔にならないようにもしたのだ。この知識はすべての親にとって重要である。神の存在を信じないのならば、ただ「遺伝子」を思い出せばよい一すべては遺伝子の中にある。

純粹で善良なものとして生まれてくるだけでなく、すべての子どもは自分自身の独自の課題を持ってこの世界に生まれてくるのだ。親として、我々の役割は子どもが自分自身の独自の挑戦に立ち向かうのを助けることだ。私は7人の子どもがいる家族で育ち、我々は同じ両親を持ち、同一のできごとを経験したが、7人全員は完全に異なる人だとわかった。私は現在25歳、22歳、13歳の3人の娘がいる。それぞれは今もそうだし、ずっとそうだったように、異なる長所と短所を持ったまったく異なる人である。

親として子どもを助けることはできるが、彼ら独自の問題と課題を取り除くことはできない。この知識により彼らを変化させようとか彼らの問題を解決しようとかすることなく、心配は減らすことができる。信頼は子どもだけでなく親も助けるのだ。我々は子どもたちを子どもたち自身に任せ、生活の変化に対する彼らの成長を助けることにより専念することができる。親が子どもに対しよりリラックスし、信頼し合える場から子どもに反応するとき、子どもは自分自身、両親、未だ来ぬ未来を信じるより重要な機会を得るのだ。

それぞれの子どもは自分自身の個人的な運命があるのだ。(20)この真実を受け入れることにより親を安心させ、リラックスさせ、子どもの持つ問題すべてに対して責任を持たなくてもよくなるのだ。(21)すべての子どもには課題、問題、試練があるということを受け入れることをせずに、我々がしたかもしれない間違ったことや子どもたちがすべきだったことを知るのにあまりにも多くの時間とエネルギーを浪費しすぎている。親としての我々の仕事は子どもたちがそれらと対峙し、うまくこと処理するのを手伝うことである。我々の子どもは自分自身の一連の試練と才能があるのであり、彼らのありようを変化させることが何ひとつできないということを常に肝に銘じておくべきである。しかし我々は彼らが最良となりうるための機会を与えるということを確実にすることができる。

## Further Expressions

### 〈結局は〉

Eventually I thought there was little that I could do to change my children. 【結局は】

Finally I thought there was little that I could do to change my children.

After all I thought there was little that I could do to change my children.

In the long run I thought there was little that I could do to change my children.

In the end I thought there was little that I could do to change my children.

There was little that I could do to change my children in any event [case]. 【とにかく】

There was little that I could do to change my children at any rate.

### 〈責任〉

We are responsible to support them. 【義務がある】

We are in charge of supporting them. 【責任がある】

It is up to us to support them.

It is our responsibility to support them. 【責任】

It is our duty to support them. 【義務】

## 第7章 内容の正誤を判断する

### 31 文字発達の歴史

Primitive man learned to speak long before he developed a system of writing. But while his early spoken language may have been (1)nothing more than a few sounds, early man could (2)(transfer, transform, transmit, transport) messages across distances (3)( ) means of signals from drums, smoke, and fire. (4)It was probably a desire to record messages that led to the development of alphabets. For early man, who could speak and who could send messages, could not put those messages into (5)permanent forms. The desire to have permanent (6)records may not be easily understood in today's world, where electronic science has made disk and tape recordings commonplace. If early man wanted to leave records of past events to (7)(remember, remind) him of good times and bad, he had to depend on his memory, and on primitive markings such as piles of stones, cuttings on sticks, etc. The limitations of (8)this system led early man to (9)( ) to rock drawings for the expression of more (10)sophisticated ideas. This form of writing depended on pictures to convey ideas, and though more advanced than previous developments, it was still too limited for man to be entirely (11)satisfied. Man finally was able to develop a system of picture writing that associated symbols and sounds. (12)This system, which was originated by the early Sumerians and Egyptians around 3,000 B.C., is based on the same (13)(principal, principle) that we use today in most world alphabets. It was about 1,000 B.C. that the Phoenicians took the complicated picture signs of Egyptians and simplified them into about 30 symbols, each one (14)( ) for a consonant sound. Finally, about 800 B.C., the ancient Greeks refined this Phoenician alphabet and added signs for vowel sounds. The alphabet used in English, and in many other world languages, is called the Roman alphabet because it was developed by the Romans, who had taken (15)(almost, most) of (16)it from another Italic people, the Etruscans, who (17)( ) their turn had learned it from the ancient Greeks. Letters on ancient monuments in Rome prove that the Roman alphabet used today had been (18)perfected by A.D. 114.

## 設問

(1)(10)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (1) 1. less than a few sounds    2. more or less a few sounds  
3. only a few sounds    4. rather a few sounds

- (10) 1. advanced    2. creative    3. fashionable    4. positive

(2)(7)(13)(15)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(3)(17)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(4)下線部を和訳せよ。

(5)下線部の反意語を次から選べ。

1. eternal    2. everlasting    3. perpetual    4. temporary

(6)(18)下線部のアクセントのある音節を次から選べ。

- (6) re-cord    (18) per-fect  
1 2            1 2

(8)(12)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(9)(14)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

- depend    rely    represent    stand    turn

(11)下線部の形容詞形を答えよ。

(16)下線部の具体的内容として正しいものを次から選べ。

1. their alphabet    2. their language    3. their sign    4. their sound

(19)本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。

1. ギリシア人はフェニキア人の作り出した文字を改良し、さらにいくつかの母音を表す文字を付け加えた。
2. 今日の世界で用いられているアルファベット文字の表音の原則は、初期のシュメール人やエジプト人の用いていた文字に見られるものである。
3. 今日の世界で用いられているアルファベット文字は、ローマ人が独自に作り出した文字である。
4. 初期のシュメール人やエジプト人の用いた絵文字はあまりに複雑で、意味を明確に表すことができなかった。
5. フェニキア人はエジプト人の用いた絵文字を簡略化し、母音と子音を合わせて30個ほどの音を表す文字を作り出した。
6. ローマ人の用いていたアルファベット文字は、エトルリア人経由でギリシア人に伝わり、ギリシア文字を生んだ。

### Further Expressions

#### 《希望する》

- Primitive man desired to record messages. 【強く望む】  
Primitive man had a desire to record messages. 【願望】  
Primitive man hoped to record messages. 【望む】  
Primitive man hoped that he could record messages.  
Primitive man was anxious for recording messages. 【切望する】  
Primitive man was anxious to record messages.  
Primitive man was impatient to record messages.  
Primitive man was eager to record messages.



## 解答

- (1)3 (2)transmit (3)by (4)全文訳参照 (5)4 (6)1 (7)remind (8)記憶力に頼ったり石の山を作ったり枝に切り込みをいれることによって過去の出来事を記録すること。(9)turn (10)1 (11)satisfactory (12)表象と音とを結びつけた絵文字によって出来事を記録すること。(13)principle (14)standing (15)most (16)1 (17)in (18)2 (19)1、2

## 解説

- (1)nothing more than a few sounds「いくらかの音に過ぎない」 nothing more than 名詞 = only ~ 「~にすぎない」 less than a few sounds「少しの音にも満たない」 more or less a few sounds「多かれ少なかれ少しの音」 rather a few sound「どちらかという少しの音」  
(2)transfer「移動させる」 transform「変形させる」 transmit「送る、伝える」 transport「輸送する」 目的語が「メッセージ」なのでここでは transmit が適当。early man could transmit messages across distances「初期の人類はメッセージを遠くへ送ることができた」  
(3)by means of A「A(の手段)によって」 by means of signals「合図によって」  
(4)It was...a desire...that led to the development「発達に導いたのは願望だった」 it is A that ~の強調構文で、主語 desire が強調されている。A desire to record messages「メッセージを記録する願望」 S lead to A「SはAにつながる、SがAを引き起こす」  
(5)permanent「永遠の、永続的な」 その反意語は 4.temporary「一時的な」である。他はすべて permanent に意味が近い語。  
(6)récord「記録」 ただし動詞では recórd「記録する」とアクセントの位置が移動する。よって1。  
(7)S remind A of B「SはA(人)にBを思い出させる」 S remember A「SはAを思い出す」 remind him of good times and bad「彼によい時や悪い時を思い出させる」  
(8)This system とは前文で述べられている初期の人類が記録のために使ったシステムのことである。he had to depend on his memory, and on...とある。piles of stones「石の山」 cutting on sticks「枝を切り込むこと」  
(9)turn to A「Aの方へ向く」で turn が正解。The limitations of this system led early man to turn to rock drawings「このシステムの限界が初期の人類を岩に絵を描くことへと向くよう導いた」  
(10)sophisticated ideas「高度なアイデア」 sophisticated「洗練された、高度な」 advanced「高等の、進歩した」が似た意味。creative「創造的な」 fashionable「流行の」 positive「積極的な」  
(11)satisfied は動詞 satisfy「満足させる」の過去分詞形である。この形容詞は satisfactory「満足な」  
(12)This system とは前文で述べているシステムのことであり、Man finally was able to develop a system of picture writing that associated symbols and sounds.「人類はついに、表象と音を結びつけた絵文字のシステムを開発することができた」 picture writing「絵文字」 associate「結びつける」  
(13)principle「原則、主義」 principal「支配者、社長」また principal は形容詞で「主要な」の意味がある。This system...is based on the same principle「このシステムは同じ原則に基づいている」  
(14)stand for A「Aを表す」 consonant「子音」 vowel「母音」 simplified them into about 30 symbols, each one standing for a consonant sound「それらを約30の記号に単純化し、それぞれの記号がひとつの子音を表した」分詞構文。主語が前の文と異なるので、分詞の前に each one という主語を置いている。

### 分詞構文とは

主語について

同じ主語のとき : 分詞の主語は省略

Walking along the street, I met my teacher. 道を歩いていると、先生に会った。

主語が異なるとき : 分詞の前に主語を書く

It being Sunday, most shops were closed. 日曜だったので、ほとんどの店は閉まっていた。

I will start, weather permitting. 天候が許せば私は出発する。

完了形の分詞構文 : Having + 過去分詞の形。that 節内の大過去に相当する

Having failed twice, I didn't want to try again. 2度失敗していたので再度挑戦しなくなかった。

否定 : 分詞の前に not をつける

Not knowing what to do, I asked him for help. どうしてよいかわからず、彼に助けを求めた。

受動態の分詞構文 : 文頭の Being はふつう省略される

(Being)Written quickly, the letter had many mistakes.速く書かれたので手紙に間違いが多かった。  
意味

時 : 「~すると」 When S V でいいかえられる

Seeing the police officer, he ran away. 警官を見ると彼は走り去った。

原因・理由 : 「~なので」 Because S V でいいかえられる。

Being honest, he is trusted everyone. 正直なので、彼はみなに信頼される。

付帯状況 : 「～しながら、～して」

The girl sat on the grass, looking at the sunrise. 日の出を見ながら彼女は草の上に座っていた。

条件 : 「～すれば」 If S V でいいかえられる

Turning to the right, you will find it easily. 右に曲がれば、それを容易に見つけれられるでしょう。

譲歩 : 「～だとしても」 Though S V でいいかえられる

Granting that it is true, I cannot hate her. もしそれが本当たとしても、私は彼女を憎めない。

(15)most は名詞。most of A「A の大部分」 almost は副詞。almost all the A「ほとんどすべての A」 the Romans, who had taken most of it「ローマ人たちはアルファベットのほとんどを受け継いだ」

(16)it was developed by the Romans, who had taken most of it from another Italic people「それはローマ人たちが発展させ、ローマ人たちはほとんどすべてのそれを他のイタリアの民族から受け継いでいた」この文の中のふたつの it は両方とも前の alphabet を受けている。who 以下が大過去であることに注意。

(17)in one's turn「自分の番になって」

(18)perfect「完全な」動詞「完成する」では perfect とアクセントが移動する。よって 2。

(19)本文後半に Greeks refined this Phoenician alphabet and added signs for vowel sounds.とあるので 1 が正しい。また、本文中頃に This system which was originated by the early Sumerians and Egyptians around 3000 B.C., is based on the same principle that we use today in most world alphabets.とあるので 2 も正解。3 は「ローマ人が独自に作り出した」わけではないので間違い。4 は絵文字が複雑だったというのは正しいが、意味を明確に表すことができなかったとは言っていない。5 は「母音と子音合わせて 30 個」という記述が間違い。子音を表す記号を約 30 個に単純化したのである。6 は本文最後の方に、アルファベットは、古代ギリシア人からそれを受け継いだエトルリア人を經由してローマ人に伝わり、ローマ・アルファベットが生まれた、とあるので誤り。

## 全文訳

原始人は物を書くシステムを開発するよりずっと以前に、話すことを学んだ。しかし、初期の話しことばはいくつかの音にしかすぎなかったかもしれないが、初期の人類は太鼓や煙、火から出る合図により、メッセージを遠くへ送ることができた。(4)アルファベットの開発を引き起こしたのはおそらく、メッセージを記録するという願望だった。初期の人類は話したりメッセージを伝えることはできたが、メッセージを永続的な形にすることができなかったのである。永続的な記録を持つという願望は、電子科学がディスクレコードやテープレコードをありふれたものにした今日の世界では容易に理解できないかもしれない。初期の人類がもし、過去のできごとの記録によってよい時や悪い時を思い出したければ、記憶力が、石の山や枝木の切込みなどの原始的な記しに頼らなければならなかった。このシステムの限界が、初期の人類を、より高度なアイデアを表現するために岩に絵を描くことへと導いた。この書き方はアイデアを伝えるために絵に頼り、それ以前のやり方よりも進んだものではあったが、人類が完全に満足するにはまだ制限がありすぎた。人類はついに、表象と音とを結び付けた絵文字のシステムを開発することができた。このシステムは初期のシュメール人やエジプト人によって紀元前約 3000 年に始められたが、世界のほとんどのアルファベットにおいて今日、私たちが使うのと同じ原則に基づいている。フェニキア人がエジプト人の複雑な絵文字を受け継ぎ、それらをそれぞれひとつの子音を表す約 30 の記号に単純化したのは紀元前約 1000 年だった。最後に、紀元前約 800 年、古代ギリシャ人がこのフェニキア人のアルファベットを改良し、母音のための記号を付け加えた。ローマ人は古代ギリシャ人からアルファベットを学んだエトルリア人という他のイタリアの民族からアルファベットのほとんどを受け継ぎ、英語や世界の他の多くの言語で使われているアルファベットを開発したため、それらはローマ・アルファベットと呼ばれている。ローマにある古代の記念碑の文字は、現在使われているローマ字が西暦 114 年までに完成されたことを示している。

## コラム 語源研究

### 語根 CLAIM、CLAM

【語源】ラテン語の clamare「叫ぶ、呼ぶ」を語源とする。claim「求める、要求する、主張する、主張」、clamor「やかましく叫ぶ、喧騒」には形がよく残っている。

### 【単語】

- |            |                      |                                |
|------------|----------------------|--------------------------------|
| • acclaim  | ac(...に) + claim(叫ぶ) | 「(ヒーローに)大声で呼びかける(=拍手喝采して歓迎する)」 |
| • disclaim | dis(反対) + claim(叫ぶ)  | 「反対のことを叫ぶ(=否認する)」              |
| • exclaim  | ex(外へ) + claim(叫ぶ)   | 「外へ叫ぶ(=叫ぶ、言う)」                 |
| • proclaim | pro(前に) + claim(叫ぶ)  | 「前に向かって叫ぶ(=宣言する)」              |
| • reclaim  | re(後ろに) + claim(呼ぶ)  | 「(良い状態を)呼び戻す(=更生させる)」          |

## 32 祖母の形見

Sally arrived early. As she walked around the old house, (1)she couldn't help feeling sad because of what was about to happen. (2)It was almost a year since her dear grandmother had (3)passed away in this house (4)at the ( ) of ninety-two. The family had very much wanted to keep all her things. Unfortunately, the family business had failed and left them with heavy debts. In the end, the bank had forced the family to have an auction sale to repay their debts. The auction was to be held today.

Sally wandered into the yard where all her grandmother's things were neatly arranged, including dishes, old (5)furniture, and the like. She was especially anxious to see the quilt that had been in her family for over one hundred years. She found it in a corner of the yard, lying on her grandmother's bed as she always remembered it. Coming close, Sally began to touch gently the patches of cloth which had been (6)(sewn, sown) together with so much love and care.

If this quilt could talk, she thought, the stories it would surely tell! (7)Her entire family history was contained within its borders. For instance, there was the patch of cloth from her great-grandmother's baby dress. Another square was made up of material from her grandmother's wedding dress. There were even bits of cloth from her own mother's graduation and wedding dresses.

Around the edges of this family treasure there were, of course, the newer additions. These pieces of cloth were related directly to Sally and her cousins, recording baby births, graduations, weddings, and other happy occasions. Sally was so glad that her grandmother had kept all these pieces.

Sally had never attended an auction before. She had heard you had to (8)bid for things you wanted. In other words, people offered money for an item, and the person who offered the most money would get it. Over the previous several weeks, she had (9)(failed, managed, succeeded) to save \$100 in order to bid on the quilt. Surely this will be enough, she had thought. Now the big moment had arrived. Looking around, Sally was surprised to see how many people had turned (10)(down, in, out, up), some from far away.

As the auction began, Sally waited. Finally, the time came to bid on the quilt. She held her purse tightly and listened. The first bid was \$50. She was (11)(shocked, shocking). It was so high! Quickly other people bid and soon the bidding reached \$85. (12)It was now or never. (13)(Made, Making, Taken, Taking) a deep breath, Sally yelled out "\$100!" For a moment there was silence. Hope filled her. She glanced again at the quilt, thinking how pleased her grandmother would have been with her at this moment.

Just then, from the back, another person shouted "\$125!" In an instant, Sally's eyes filled with tears. That was it. She had lost her chance. Suddenly feeling very miserable, she couldn't help wondering why so many people would be interested in that old, torn, dirty quilt. The quilt finally sold for \$500 to a complete stranger. For the rest of the auction, with an empty feeling inside her, Sally just stayed around to bid for a few small items that reminded her of her childhood.

After the sale, she went to the counter to pay for the few items that were now hers. The woman at the cash register handed her a rather large box. When Sally opened it, (14)there was the quilt. "There must be some mistake. Someone else got this," she said. At that moment, she noticed a handwritten note attached to the quilt with a safety pin, which read:

*Dear Madam,*

*Before the auction, I noticed you admiring the quilt. Clearly, this object was very precious to you. Your sadness at losing the bid was so apparent that it broke my heart. Although you don't know me, please accept this quilt as my gift. (15)I don't expect repayment from you. I only ask that you do a similar favor in the future for a stranger who happens to cross your path.*

*Yours,*

*A Sentimental Stranger*

設問

- (1)(2)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。  
(1) she couldn't help ( ) feel sad  
(2) a year had ( )
- (3)下線部と近い意味の動詞 1 語を答えよ。  
(4)下線部が「92 歳で」という意味になるように空所にあてはまる適語を答えよ。  
(5)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。  
a desk, tables : furniture = a pencil, pens : ( )
- (6)(9)(10)(11)(13)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。  
(7)(15)下線部を和訳せよ。  
(8)下線部についてその具体的な方法を日本語で説明せよ。  
(12)下線部について、そのときの状況も含めて具体的な意味を日本語で説明せよ。  
(14)下線部の理由を日本語で説明せよ。  
(16)次の各問に対する答えとして適当なものを選び。  
(A) Why did Sally's family have to sell her grandmother's belongings?  
1. Her grandmother wished them to sell all her belongings.  
2. Most of the items were too old and dirty to keep.  
3. They needed the money to pay off their debts.  
4. They wanted to forget the hard times they'd had with her grandmother.  
(B) Which of the following best describes the grandmother's quilt?  
1. Each patch of the quilt was a reminder of a special family occasion.  
2. Every time the family celebrated a special occasion, a new quilt was made.  
3. The family put some treasures inside the quilt every time they celebrated a special occasion.  
4. The quilt carried a motto belonging to Sally's family.  
(C) Which of the following best describes Sally's feelings during the bidding for the quilt?  
1. As soon as she heard the first bid, she was confident that with \$100 she could get the quilt.  
2. From the start of the bidding until someone bid \$125, she was sure that her bid would be the highest.  
3. She was too nervous to look at anything except the quilt.  
4. Straight after she bid, she thought her bid had been successful.  
(D) Which best describes how Sally felt when she opened the box?  
1. She thought her expectations had been realized.  
2. She thought it was not intended for her.  
3. She thought someone was playing a game.  
4. She thought the owner did not want it.  
(E) What did the handwritten note in the box ask Sally to do?  
1. It asked her to do something kind for another person.  
2. It asked her to give some money to a stranger at the auction.  
3. It asked her to pay for the quilt with the stranger's money.  
4. It asked her to sell the quilt again at an auction.
- (17) 本文の内容と一致するものを次から 3 つ選べ。  
1. The dishes and furniture which had belonged to her grandmother reminded Sally of the whole family history.  
2. All the items were priced before the auction started.  
3. Before the auction, Sally knew how attractive the quilt would be to other people.  
4. Sally was very happy because the quilt attracted many people at the auction.  
5. Sally did not expect people to bid so much for the quilt.  
6. Sally mended and washed the quilt before the auction.  
7. After the quilt was auctioned, Sally lost her enthusiasm.  
8. The person who bought the quilt noticed the pain on Sally's face after she lost the bidding.  
9. Sally was sure that she knew who had left the message for her.

## 解答

- (1)but (2)passed (3)died (4)age (5)stationery (6)sewn (7)全文訳参照 (8)競売で人々が払う金額を申し出るときに、最も高い値をつける。(9)managed (10)up (11)shocked (12)サリーは100ドルしか持っていなかったで、キルトの値が85ドルに上がった今しか競り落とすチャンスはなかったということ。(13)Taking (14)競売に負けたサリーの姿に心を打たれた人が、贈り物としてそのキルトをサリーにプレゼントしたから。(15)全文訳参照 (16)(A)3 (B)1 (C)4 (D)2 (E)1 (17)5, 7, 8

## 解説

- (1) cannot help ~ing = cannot help but ~「~せずにはいられない」 she couldn't help feeling sad「彼女は悲しまずにはいられなかった」  
(2) it was almost a year since ~「~からほとんど1年である」= A year had passed since ~.  
(3) pass away は die の婉曲表現としてよく用いられる。her dear grandmother had passed away「彼女の愛する祖父は亡くなった」  
(4) at the age of A「A歳で」  
(5) a desk, tables : furniture「机、テーブル:家具」という関係と等しくするのだから、a pencil, pens「鉛筆、ペン」に対して「文房具」stationery が適当。stationery は furniture と同じ不可算名詞。  
(6) sew「縫う」の過去分詞形 sewn, sown は sow「種などをまく」の過去分詞。the patches of cloth which had been sewn together「縫い合わせられた布切れ」  
(7) her entire family story「彼女の家族のすべての歴史」be contained within A「Aの中に含まれている」 its borders はここではキルトのことを言っているので「縁取り、縁飾り」の意味である。  
(8) bid for things「ものに値をつける、競り合う」その方法は In other words「言いかえれば...」以降で説明されている。欲しい品物に他の人より高い値をつけるのである。  
(9) manage to 不定詞「どうにか~する」fail to 不定詞「~しそこなう、~を怠る」succeed in ~ing「~するのに成功する」she had managed to save \$100「彼女はどうかして100ドルを貯めた」  
(10) turn down「断る」turn in「(米)提出する」turn out「わかる」turn up「現れる(=appear)」people had turned up「人々が現れた」  
(11) shock は「ショックを与える」なので、主語が she なら she was shocked「彼女はショックを与えられた」=「彼女はショックを受けた」となる。  
(12) It was now or never.「それは今か、そうでなければ決してなかった」100ドルしか持っていなかったサリーにはこのときしかチャンスがなく、今を逃せば競り落とすことはけっしてできなかった。だからこのときサリーは思い切って「100ドル!」と叫んだのである。  
(13) take[draw] a deep breath「ほっと一息つく、深呼吸する」Taking a deep breath, Sally yelled out "\$100!"は、Sally took a deep breath, and she yelled out "\$100!"を分詞構文で表現したものだ。  
(14) 箱の中にキルトが入っていた理由はメモの中に述べられている。Your sadness at losing the bid was so apparent that it broke my heart.や please accept this quilt as my gift とあることから、この贈り主がサリーの悲しみに心を打たれてキルトをプレゼントしようとしたことがわかる。  
(15) repayment「報酬、報復」a similar favor「同様の親切な行為」happen to 不定詞「偶然...する」cross one's path「偶然出会う」a stranger who happens to cross your path「あなたが偶然出会う見知らぬ人」  
(16)(A)第1段落に the family business had failed and left them with heavy debts...とある。  
(B)3段落から4段落にかけて、grandmother's quilt がどんなものであったか述べられている。正解は1.「キルトの布切れはそれぞれ、家族の特別なできごとを思い起こさせた」2は a new quilt was made が、3は treasures が誤り。4.「そのキルトはサリーの家族のモットーを伝えた」キルトには家族の歴史を伝えていたとはあるが、モットーについてはなにも述べられていないので誤り。  
(C)4.「値をつけた直後は、彼女は競りに成功したと思った」が正しい。第6段落に The first bid was \$50. She was shocked. It was so high!とあるので1と2は誤り。第5段落に Looking around, Sally was surprised to see how many people had turned up...とあるので3は誤り。  
(D)サリーは箱を受け取った直後”There must be some mistakes. Someone else got this.”と言っている。2.「彼女はそれが自分に宛てられたものではないと思った」が正解。be intended for A「Aに用いられる予定である」expectation be realized「期待が実現される」  
(E)キルトに添えられた手紙には I only ask that you do a similar favor in the future for a stranger who happens to cross your path.とあるので1が正解。favor「親切な行為」= something kind  
(17)5.「サリーは人々がキルトにそんなにも高い値をつけると予想しなかった」7.「キルトが競り落とされると、サリーは熱意を失った」8.「キルトを買った人は競りに失敗した後サリーの顔に浮かんでいた苦しみに気づいていた」1.「彼女の祖母の皿や家具はサリーに家族の歴史のすべてを思い出させる」これは The dishes and furniture of quilt の誤り。9.「サリーは誰が自分のためにそのメッセージを残していったかわかる自信があった」このようなことは書かれていないので誤り。

## 全文訳

サリーは早く着いた。古い家の中を歩き回っている間、彼女はこれから起ころうとしていることのために悲しくならざるを得なかった。彼女の愛する祖母がこの家で92歳で亡くなってから一年が経とうとしていた。家族は祖母のものをとめておきたかった。不幸にも家族の事業が失敗し、多くの借金が残った。とうとう、銀行はその家族に、借金を返済するために競売会をするよう強いた。競売会は今日、行われようとしていた。

サリーは皿や古い家具のようなものを含む、祖母のすべてのものがきれいに並べられている庭へ入って行った。彼女はとくに100年以上の間、彼女の家にあったキルトを見たかった。それは庭の隅に、彼女の記憶の中にあるとおり、祖母のベッドに横たわってあった。近づくと、サリーは多くの愛情と細心の注意を払って縫い合わせられた布切れを優しく触り始めた。

彼女は考えた。もしもこのキルトが話せたら、これは必ず物語を語るだろう。(7)家族の歴史のすべてがこの縁取りの中に含まれていた。たとえば、彼女の曾祖母のベビー服からとった布切れがある。別の四角いきれは祖母のウェディングドレスの布地で作られていた。彼女の母の卒業式の衣装やウェディングドレスの布さえ少しあった。

この家族の宝物の縁の周りにはもちろん、比較的、新しく加えられたものもあった。それらの布きれば、サリーや彼女のいとこに直接関係し、誕生、卒業、結婚や他のおめでたいできごとを記録していた。サリーは祖母がそれらのきれをすべて取っておいてくれたことがとてもうれしかった。

サリーはそれまで競売に参加したことがなかった。彼女は欲しいものに値をつけなくてはならないと聞いていた。言い換えると、人々がある品物に払う金を申し出、もっとも高い値をつけた人がそれを手に入れるのである。ここ数週間、彼女はキルトに値をつけるため、どうにかして100ドルを貯めた。彼女はこれは間違いなく十分だと思った。そして今、重要な瞬間が訪れたのである。周りを見回して彼女はあまりに多くの人々が現れ、何人かは遠くから来ていることに驚いた。

競売が始まると、サリーは待った。ついにキルトに値をつける時が来た。彼女は財布を握り締め、耳をすませた。最初の値は50ドルだった。彼女はショックを受けた。その値は非常に高かった。他の人がすばやく値をつけ、すぐに85ドルになった。もう今しかなかった。深呼吸をしてサリーは「100ドル！」と叫んだ。一瞬、沈黙が訪れた。彼女は希望を抱いた。彼女は再びキルトを見つめ、この瞬間に祖母と一緒にいたらどんなに喜ぶだろうと思った。

ちょうどその時、後ろから、他の人が「125ドル！」と叫んだ。一瞬でサリーの目は涙でいっぱいになった。もう終わりだった。彼女はチャンスを失った。急に激しいみじめさを感じながら、彼女はなぜこんなにも多くの人々があの古い、裂けた、汚いキルトに興味を持つのか不思議に思わないわけにはいかなかった。キルトは最終的に500ドルでまったく見知らぬ人に売られた。競売会の残りの間、空虚な気持ちでサリーはその辺りにただ座り、子ども時代を思い出すいくつかの小さな品に値をつけていた。

せりの後、彼女ののものになった数少ない品の清算をしに彼女はカウンターへ行った。レジの女性が彼女にわりと大きな箱をよこした。サリーがそれを開けると、キルトが入っていた。「何かの間違いだわ。他の人がこれを手に入れたのよ。」彼女は言った。その時、彼女はキルトに安全ピンで手書きのメモがつけられているのに気づいた。そこにはこう書かれていた。

### 親愛なるマダム

競売の前にあなたがキルトに見とれているのに気づきました。これはあなたにとってとても貴重なものだとはっきりわかりました。競売に負けた時のあなたの悲しみは非常に明らかで、私の心を打ちました。あなたは私を知らないでしょうが、どうかこのキルトを私からの贈り物として受け取ってください。(15)報酬は期待しません。将来、出くわす見知らぬ人に、同様のことをしてあげてくださいよう、お願いするだけです。

感傷的な者より

## Further Expressions

### 【思わず悲しくなる】

When Sally heard the news, she cried despite herself. 【思わず】

When Sally heard the news, she cried in spite of herself.

When Sally heard the news, she could not help crying. 【せざるを得ない】

When Sally heard the news, she could not help giving a cry.

When Sally heard the news, she could not (help) but cry.

When Sally heard the news, she burst into tears. 【突然泣き始める】

When Sally heard the news, she burst out crying.

When Sally heard the news, she was beside herself with grief. 【我を忘れて】

### 【いつも必ず】

When she saw the quilt, she always remembered her grandmother. 【必ず】

When she saw the quilt, she never failed to remember her grandmother.

When she saw the quilt, she remembered her grandmother without fail.

Whenever she saw the quilt, she remembered her grandmother. 【～するときいつも】

Every [Each] time she saw the quilt, she remembered her grandmother.

She never saw the quilt without remembering her grandmother. 【～することなしに】

### 33 同時通訳の仕事

Simultaneous translation, translation while the speaker is talking, is an important job in the United Nations (U. N.). (1)This makes it possible for the representatives of 185 nations to talk to each other as though they were speaking the same language.

There are six official U. N. languages – Arabic, Chinese, French, Spanish, English and Russian – but speakers tend to talk fast (2)no matter which one they use. And there is no time to look (3)(down, out, over, up) in a dictionary once the talking starts.

(4)It's not just a matter of putting what is said into another language, but of saying it elegantly and quickly.

“Sometimes the speakers are speaking so fast that I (5)(suppose, think, wonder) if people understand them (6)in the original,” said an interpreter who has been translating for 25 years. “A person can't speak faster than they think. Sometimes you come out of a meeting feeling terribly tired (7)as if your brain has been squeezed like an orange,” she went on, “but when you do a good job, you come out of there feeling extremely good.”

(8)Simultaneous interpreters made their first public appearance after World War II. But the first session of the U. N. General Assembly, held in London, relied on a slower process – the speaker speaks, then waits for the interpreter.

It was when the General Assembly met for its second session in New York, (9)(that, what, when) simultaneous interpreters made the first large-scale public appearance at the United Nations. Then they were jokingly called “telephonists” – telephone operators – because of their headsets and microphones, and because many of them were young women. But the new interpreters sped up the proceedings very much, and by the end of the session, (10)everybody wanted them.

Now there are some 120 full-time interpreters at the U. N. headquarters and (11)as many as 150 may be on the job for special big events. The pay can range from \$44,830 a year to nearly \$100,000 for a few veterans. But the chief says that (12)she has a hard time finding good help, since (13)(qualified, qualifying) interpreters can make more money at some other places without being employed directly by the U. N.

While some interpreters are American-born, most are not, coming from 22 nations now. Many interpreters learned their languages as children, at the knees of multilingual parents or from growing up in more than one country; but others picked them up in school. A few studied at foreign language institutes in Russia or China. Some colleges and universities in the United States and elsewhere offer specialized training, but (14)there are no requirements beforehand for this job beyond a good (15)( ) of languages and the intellectual muscle to wrestle with any subject in the world.

#### 設問

(1)(2)(11)(14)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(1) This ( ) the representatives of 185 nations to talk to each other

(2) ( ) one they use

(11) no ( ) than 150

(14) there are no requirements in ( )

- (3)(5)(9)(13) カッコ内の語句のうち正しいものを選び。
- (4)(6)(8)(12) 下線部を和訳せよ。
- (7) 下線部の意味として正しいものを次から選べ。
1. 脳がオレンジをしぼるように酷使されたこと
  2. 脳がオレンジのような新鮮さを求めていたこと
  3. 脳の形がまるでオレンジみたいだったということ
  4. 脳がオレンジのようにすっきり整然としていたこと
- (10) 下線部の理由として正しいものを次から選べ。
1. 同時通訳を採用することによって会議が速く進行したから
  2. 同時通訳が若い女性だったから
  3. 戦後の相互理解と平和に役立つと考えられたから
  4. そのような会議の運営方法が世界の潮流になってきたから
- (15) 空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。
1. command 2. gift 3. interest 4. speaker
- (16) 本文の内容と一致するように次の質問に対する答えを選び。
- (A) 国連本部の通訳者の構成はどうなっているか。
1. 22人がアメリカ生まれ 2. ほとんどがアメリカ生まれ
  3. 大部分がアメリカ以外の生まれ
  4. アメリカ生まれとそれ以外の人はほぼ同数
- (B) 通訳者の言語習得の背景として、筆者が指摘していないものはどれか。
1. 子どものように無心に外国語を学んだ
  2. 何カ国語か話せる親のもとで育った
  3. 何カ国かで過ごしそこで成長した
  4. ロシアや中国の語学学校に通った
- (C) 通訳に必要な資質は何だと筆者は述べているか。
1. 明るくはっきりした声の質と体力が持続すること
  2. 集中力と暗記力、そしてそれを支える広範な予備知識
  3. 言語運用能力とどのような話題にも対処できる知力
  4. 言葉で正しい命令ができる能力とどんな問題にでも耐えられる体力
- (17) simultaneous translation の歴史を日本語で要約せよ。
- (18) 次の各語のアクセントのある音節を選び。
- (A) in-ter-pret-er (B) in-sti-tute (C) in-tel-lect-ual
- 1 2 3 4      1 2 3      1 2 3 4

### Further Expressions

#### 《あらかじめ》

Simultaneous interpreters need not do anything **beforehand**. 【あらかじめ】

Simultaneous interpreters need not do anything **previously**.

Simultaneous interpreters need not do anything **in advance**.

Simultaneous interpreters need not do anything **ahead of time**.

#### 《はもちろん》

Simultaneous interpreters must speak some official languages **let alone** English.

【BはもちろんのことAも】

Simultaneous interpreters must speak some official languages **to say nothing of** English.

Simultaneous interpreters must speak some official languages **not to speak of** English.

Simultaneous interpreters must speak some official languages **not to mention** English.

Simultaneous interpreters must speak some official languages **even more** English.

Simultaneous interpreters must speak some official languages **much more** English.

Simultaneous interpreters must speak some official languages **still more** English.



## 解答

(1)enables (2)whichever (3)up (4)全文訳参照 (5)wonder (6)全文訳参照 (7)1 (8)全文訳参照 (9)that (10)1 (11)less (12)全文訳参照 (13)qualified (14)advance (15)1 (16)(A)3 (B)1 (C)3 (17)同時通訳者は第二次世界大戦後初めて公の場に登場し、ニューヨークで行われた第2回総会以降国連でも活躍するようになり、現在国連には常勤通訳者が120人いる。(18)(A)2 (B)1 (C)3

## 解説

- (1)itは仮目的語で to talk to each other を指す。make it possible to 不定詞「～を可能にさせる、～が可能になる」この make は SVOC の構文で、「O を C にする」の意味。make it possible for A to 不定詞 = enable A to 不定詞。representative「代表者」  
(2)no matter which one they use = whichever one they use「どの言語を使おうと」

### 疑問詞

< No matter 疑問詞 S V > = < 疑問詞-ever >

no matter how = however「たとえどんなに(どのように)...であろうと」 no matter what = whatever「たとえ何を...しようと」 no matter when = whenever「たとえいつ...しようと」 などなど

#### 【例文】

- No matter how cold it is outside, the rooms are comfortably heated.  
= However cold it is outside... 外がいかに寒くても、部屋は心地よく暖められている。
- No matter what you say, I will support you.  
= Whatever you say... 君が何と言おうと、僕は君を支持するよ。
- No matter when you call me, I shall be prepared.  
= Whenever you call me... 君がいつ僕を呼んでも、いつでも準備できているよ。

< 疑問詞 + to 不定詞 >

What to read is an important question. 何を読むべきかは重要な問題だ。  
The problem is how to start. 問題は、どうやって始めるか、だ。  
I don't know where to go. 私はどこへ行けばよいのかわからない。  
Please tell me which bus to take. どのバスに乗ればいいのか教えてください。

- (3)look up「(辞書などで)調べる」 There is no time to look up in a dictionary「辞書で調べている時間はない」よって up が正解。look down on A「A を見下す」 look out「(通例命令文で)気をつける」 look over「ざっと目を通す」
- (4)It's not just a matter of..., but of ~.「それは、...ということだけではなく、~ということでもある」 it は simultaneous translation「同時通訳」を指す。not (just) A but B「(だけ)ではなく B も」ふたつの of はともに matter「事柄、問題」にかかっている。put A into B「A を B に翻訳する」この文では、A = what is said「いわれたこと」 B = another language「他の言語」となっている。what は先行詞を含む関係代名詞文「~というもの」 saying it elegantly and quickly「それを上品(優雅)にかつすばやくいう」この it は文中に直接指している語はないが、直前で言われている内容をふまえて、「話し手がいったことの翻訳した文」という意味で使われている。
- (5)wonder if S V「~かなと思う」 suppose も think も if をとれず that 節を伴う。
- (6)in the original「原文で」 I'd like to read "Hamlet" in the original.「ハムレットを原文で読みたい」というのと同じ用法。「演説者があまりに早く話すので、母国語の聴衆でさえ原文で演説を理解することは難しいのではないかと思う」という意味になっている。
- (7)as if「まるで~のように」 squeeze「絞る、圧搾する」ここでは「脳の酷使」を比喻している。
- (8)make one's appearance「姿を現す」 made their first public appearance「初めて公に姿を現した」
- (9)it is A that ~「~なのは A だ(強調構文)」強調構文は it is that を取り除いても文が成立する。取り除いて成立しなければ it は仮主語の構文である。この場合成立するので、強調構文の that が適当。
- (10)直前の文 the new interpreters sped up the proceedings very much が理由。sped は speed「速度を速める」の過去形。proceed「進む」 proceeding「進行」 proceed の派生語には procedure「手順」、process「過程」もある。
- (11)no more than「...に過ぎない」 no less than「...ほどもたくさん」 not more than「多くても...」 not less than「少なくとも...」 as many as は量の多さに主眼をおいた比較なので、no less than が同様の意味。

### 比較の熟語

「多くても」 not more than

150

not less than 「少なくとも」

no more than 「~しかない」

no less than 「~もある」

\* more の否定は量に対して否定的な観測、less の否定は量に対して肯定的な観測となっている。  
 \* つまり、反意語の原級(no more few[little], no less many[much])に戻してみるとわかりやすい。  
 no more than 150 books = as few as 150 books 150 冊しかない本  
 no less than 150 books = as many as 150 books 150 冊もの本

- (12) have a hard time ~ing「～するのにつらいめにあう、困難である」 finding good help「よい助け(手)を見つける」つまり、「よい通訳を見つける」と意識できる。
- (13) qualify「資格を与える、適任とする」 interpreter「通訳」を修飾するので過去分詞にする。
- (14) beforehand = in advance「前もって、あらかじめ」
- (15) a good command of A「Aを自由に操れる、Aに堪能だ」 1. command が正解。command には「命令」のほかに「制御する力、(言語を)自由に操る力」という意味がある。gift も「(天賦の)才能」という意味だが、言語に対する能力なのでここでは command が正しい。interest は前置詞に in をとるので誤り。a good command of languages「言語を自由に操る能力」
- (16) (A)最後の段落に While some interpreters are American-born, most are not, coming from 22 nations now.とある。大部分の人はアメリカ以外の 22 개국出身であるとあるから、3 が正解。  
 (B)最後の段落の Many interpreters learned their languages...以下で、通訳者には複数の言語を話す親のもとで育った者、複数の国で育った者、ロシアや中国の外国語研修所で勉強した者がいることが述べられているが、1 のようなことは指摘されていない。  
 (C)最後の行に、there are no requirements beforehand for this job beyond...とありその後に通訳者に必要な資質がなにか説明されている。a good command of language「言語を操る能力」 the intellectual muscle to wrestle with any subject in the world「世界のどのような話題にも取り組む知的な力」 3 が正解。
- (17) 第 4 段落にあるように、同時通訳者は第二次世界大戦後初めて公の場に登場したこと、第 2 回国連総会以後国連でも活躍するようになったこと、そして第 5 段落にあるように現在では 120 の常勤通訳者が国連にいること、という 3 点を押さえ、まとめる。
- (18) (A) interpreter「通訳者」 2 が正解。(B) institute「会、学会」 1 が正解。(C) intellectual「知性の、知力」 3 が正解。

## 全文訳

同時通訳、つまり演説者が話すのと同時に行う通訳は、国際連合(国連)において重要な役職である。これは 185 か国の代表がまるで同じ言語を話しているかのように話しをしようことを可能にする。

国連公用語は 6 つあり、それらはアラビア語、中国語、フランス語、スペイン語、英語、ロシア語だが、どれを使おうと、演説者は速く話す傾向がある。また、ひとたび演説が始まると辞書を引いている暇はない。

(4) 通訳は言われたことを別の言語に翻訳することだけではなく、それを上品にかつ迅速に言うということである。

「しばしば演説者はあまりに速く話すので私は人々がそもそも(6)原文で彼らを理解しているのか疑問に思うことがあります。」25 年のキャリアを持つ通訳者は言った。「人は自分が考えるより速く話すことはできません。ときどき、自分の脳がオレンジのように絞られたかのようにひどく疲れを感じて会議から出ることがあります。」彼女は続けた。「しかしよい仕事をしたときはとてもよい気分です。」

(8) 同時通訳者は第二次世界大戦の後、初めて公の場に登場した。しかしロンドンで開かれた最初の国連総会の会期は現在より遅い手順に依存していた。すなわち、演説者は話し、それから翻訳者を待つのである。

同時通訳者が国連で初めて大々的に公の場に姿をあらわしたのは国連総会がニューヨークで 2 回目の会議を開催したときである。そのとき彼らはヘッドホンとマイクのために、また、多くが若い女性だったことから、冗談交じりで「テレフォニスト」、つまり電話交換手と呼ばれた。しかし新しい通訳者たちは進行を非常に速め、会期の終わりには皆に求められた。

現在では、国連本部にはおよそ 120 人の常勤通訳者がおり、特別な大きいイベントの際には 150 人もが仕事につく。報酬は年に 44830 ドルから何人かのベテランへは 100000 ドル近くと様々である。しかし優秀な通訳者は直接、国連に雇われなくても他の場所でもっと稼ぐことができるため、(12) よい通訳者を見つけるのは困難であるとチーフは言う。

アメリカ生まれの通訳者もいるが、ほとんどは違い、現在、22 か国から来ている。複数の言語を話す親の下や、複数の国で育つことで子どもの頃から言語を学んだ通訳者も多いが、学校で学んだ者もいる。ロシアや中国の外国語研修所で勉強した者もいる。アメリカその他のいくつかの大学は特別な訓練を提供しているが、この仕事には、言語を操る力と世界のどのような話題にも取り組む力以外に事前に求められるものはない。

## 34 非言語コミュニケーション

In a small movie theater in Berkeley, California, a group of American college students watched a short but (1)disturbing movie. Later each of the students was interviewed about his or her impressions of the film. In Tokyo a group of Japanese college students watched the same movie and later were also interviewed about their reactions.

(2)What neither group of students realized at the time was that while they watched the movie another movie was being made of them. This famous study was part of a growing body of research into what is commonly known as “nonverbal behavior.” The researcher wanted to find out if young people from two different cultures who observed the same thing would react in very similar ways. The result: (3)( ). As shown by the films of their reactions, the students in the two cultures did behave in almost the same way while they watched the film. They showed surprise, anger and disgust in their facial expressions and in the ways they moved their bodies. However, when they were being interviewed an interesting difference was observed. The Americans expressed their feelings about the movie much more openly than the Japanese. (4)The Tokyo students when interviewed were much more controlled and revealed far less of their feelings through their nonverbal behavior than did the Americans.

(5)This study and many others like it help to teach us (6)an important lesson about people around the world. In many cases when we are not thinking about others around us and when we can act most “naturally,” we behave in ways that can be seen all over the world. However, each culture teaches us how and when we may smile – and when we should look serious; we learn when we may look into another’s eyes – and for how long – and when we should look (7)( ); we learn rules for standing, sitting, walking, and much more. (8)These ways of acting are as much a part of a culture and a part of how we communicate with others as is the language we speak.

It is not surprising, therefore, that many teachers today believe that we should study more about such nonverbal behavior (9)( ) we usually do and that a good place to start is in language classes. Indeed, research shows that (10)speaking and nonverbal behavior are part of a single process. Watch two people talking together and observe how they nod and gesture. If you watch very closely (11)you will see that every movement is done to the rhythm of the speech. (If you could study this in slow motion you would see that we even blink to the rhythm of speech!) Moreover, all of the learning of how to move and act begins from the time we are very young. Babies only one week old can be seen to move slightly to the rhythm of the voices of adults in the room.

Not (12)( ) are speaking and movement related in a kind of harmony, but it is also true that the wrong kind of action can completely change or even (13)spoil the meaning of something that is said. I once met a person in Japan who had studied English for many years in a language laboratory. (14)So accustomed to sitting alone in a booth to practice English was he that he came to speak English best with his eyes closed. (15)Needless to say, it was very difficult to enjoy a face-to-face conversation with this man, though he sounded just fine on the telephone. An inappropriate facial expression or gesture can upset communication far more than a noticeable accent or an (16)occasional error in grammar.

## 設問

(1)(13)(16)下線部と近い意味のものを次から選べ。

(1) 1. boring 2. sad 3. uninteresting 4. upsetting

(13) 1. alter 2. care 3. ignore 4. ruin

(16) 1. fatal 2. frequent 3. infrequent 4. tiny

(2)下線部の内容と一致するものを次から選べ。

1. 学生たちは映画を見ていた時、他のグループも映画を見ていることを知らなかった。

2. 学生たちは映画を見ていた時、自分たちが別の映画を撮影することになるとは知らなかった。

3. 学生たちは映画を見ていた時、自分たちが撮影されていることを知らなかった。

4. 学生たちは映画を見ていた時、別の映画が用意されていることを知らなかった。

(3)(7)(9)(12)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

(3) 1. yes 2. yes... and no 3. no 4. either yes or no

(7) 1. back 2. cheerful 3. away 4. angry

(9) 1. because 2. before 3. when 4. than

(12) 1. always 2. that 3. less 4. only

(4)(8)(11)(15)下線部を和訳せよ。

(5)下線部について、方法と結果を日本語で説明せよ。

(6)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(10)下線部はどういうことをいっているのか日本語で説明せよ。

(14)下線部のように筆者が感じた理由として最も適当なものを次から選べ。

1. その人は電話のように決まった表現で話すこと以外は得意でなかったから。

2. その人は語学練習室で英語を独習によって身に付けたので、人と面と向って話したことがなかったから。

3. その人は英語を目をつぶって話すくせがついていたから。

4. その人は語学練習室での機械的な練習で、無表情に話すくせがついていたから。

(17)本文の内容と一致するものを次から選べ。

1. Strong accents and errors in grammar disrupt communication more than inappropriate facial expressions.

2. People from different cultures tend to behave differently when they are thinking about others around them.

3. People usually try to nod and blink consciously to the rhythm of the speech to avoid misunderstandings.

4. Nonverbal behavior is a kind of common language of the world.

## Further Expressions

### 《習慣・慣れ》

He was accustomed to sitting alone in a language laboratory. 【慣れている】

He was used to sitting alone in a language laboratory.

He was in the habit of sitting alone in a language laboratory. 【～する習慣だ】

He made it a rule to sit alone in a language laboratory. 【必ず～することになっている】

He made a point of sitting alone in a language laboratory.

### 《嫌になる》

The students were tired of the movie. 【飽きる】

The students were fed up with the movie. 【うんざりする】

The students began to hate the movie. 【嫌う】

The students thought that the movie was disgusting. 【胸が悪くなるような】

The students had enough of the movie. 【もうたくさんだ】

## 解答

(1)4 (2)3 (3)2 (4)全文訳参照 (5)二つの異なる文化出身の若者たちに同じ映画を見せ、見ている間とその後の非言語的行動を観察する。結果、映画を見ている間彼らはほとんど同じように振舞ったが、その後のインタビューではアメリカ人の学生の方が日本人の学生より率直に自分の感情を表現した。(6)私たちは自然に振舞えるときは誰でも同じような振舞いをするが、他人の目があるときは自分の属する文化で良いとされている振舞いをする。(7)3 (8)全文訳参照 (9)4 (10)話すことも非言語的行動も他者とのコミュニケーションをとるためのものである。(11)全文訳参照 (12)4 (13)4 (14)3 (15)全文訳参照 (16)3 (17)2

## 解説

- (1)disturb「かき乱す、不安にする」 a short but disturbing movie「短いけれど心をかき乱す映画」 upsetting「心をかき乱すような」
- (2)下線部は What...was that...が基本的な文構造になっている。What neither group of students realized「どちらの学生グループも気づかなかったこと」 while they watched the movie another movie was being made of them「彼らがその映画を見ている間に、その彼らを材料として別の映画が作られていた」つまり、映画を見ていた学生たち自身にカメラが向けられていたということである。3が正解。
- (3)その後の文に the students in two cultures did behave in almost the same way「二国の学生たちはほとんど同じように振舞った」とある。しかしさらにその後で However...an interesting difference was observed.「しかしながら、興味深い違いが観察された」とあるので、調査の結果は yes でも no でもなかったということになる。正解は2。
- (4)The Tokyo students...were much more controlled「東京の学生たちはずっと抑えられていた」 revealed far less of their feeling「彼らの感情をずっと少なくしか明らかにした」 much と far は比較級を強めている。than did the Americans「アメリカ人たちがそうしたよりも」
- (5)方法、結果はともに第2段落で述べられている。同じ映画を見せられた二つの異なる文化出身の学生が、どのような非言語的行動をするのかを調べる研究であるが、鑑賞中とその後のインタビューと両方で反応を観察したこと、結果として二つ場面で学生の行動が異なったことを明記する。
- (6)an important lesson「重要な教訓」 その直後に具体的に説明されている。when we are not thinking about others「私たちが他人のことを考えていないとき」他人の存在が意識されないとき私たちは自然に振舞い、その姿は全世界で似ている。他人がいるときは文化に学んだ振舞いをする。その対比をまとめる。
- (7)look back「振り返る」 look cheerful「元気そうに見える」 look away (from A)「(Aから)目をそらす」 when we may look into another's eyes...and when we should look away「いつ他人の眼を覗き込んでよく、いつ眼をそらすべきか」
- (8)as ~ as A「Aと同じほど~」の構文である。Aにあたるのは the language we speak「私たちが話す言語」「同じほど~」の「~」にあたるのは much a part of culture and a part of how we communicate with others「(Aと同じほど)十分に文化の一部であり、私たちが他人とコミュニケーションをとる方法の一部である」
- (9)we should study more...than we usually do「私たちは普段しているよりももっと(...について)研究すべきだ」 more ~ than の比較文で、do = study である。
- (10)a single process「単一の過程」話すことも非言語的行動も、同じ過程の一部であるということ。それは後の文で具体的に説明されているが、つまりどちらも他人とのコミュニケーションの過程の一部であるということ。
- (11)you will see that...「...とわかるだろう」 every moment is done to the rhythm of speech「すべての瞬間は話のリズムにつれて行われる」この to は「~にあわせて、応じて」という意味。
- (12)not only A but also B「Aだけでなく B もまた」の構文。ここでは not only が文頭に出ているので Not only are speaking and movement...と倒置が起きている。
- (13)spoil「台無しにする」 alter「つくりかえる」 ignore「無視する」 ruin「破滅させる、だめにする」 spoil the meaning of something that is said.「言われていることの意味を台無しにする」
- (14)下線部は so ~ that...の構文であるが so ~ の部分が文頭に出て倒置が起きている。もとに戻すと he was so accustomed to sitting alone...that he came to speak English best「彼は一人で座っていることにあまりに慣れてしまったので、(...のとき)一番上手く英語を話すようになった」 be accustomed to ~ing「~に慣れる」上手く話せるのはどんな時かということ、with his eyes closed

- 「目を閉じながら」なので 3 が正解。2 は「独習によって身に付けた」「人と面と向かって話したことがない」とはなく、4 は「無表情」とは本文にない。
- (15)face-to-face conversation「面と向かっての会話」 he sounded just fine on the telephone「彼は電話ではとても上手く聞こえる」 A sound fine「A はすばらしく聞こえる」
- (16)occasional「時折の」 fatal「命取りになる、致命的な」 frequent「たびたびの」 infrequent「まれな、たまの」 tiny「ごく小さい」 an occasional error in grammar.「たまにする文法の間違い」
- (17)2 が正解。第 3 段落の内容と一致する。1 は最後の行に述べられていることと逆である。3 は consciously「意識的に」というところが間違い。4 は他人の目を意識したときの非言語的行動は、文化によって異なると言っているので間違いである。

## 全文訳

カリフォルニア州パークレーの小さな映画館で、アメリカの大学生のグループが、短い心をかき乱す映画を見た。その後、各学生に映画の印象についてインタビューが行われた。東京でも大学生が同じ映画を見て、その後で彼らの反応についてインタビューが行われた。

そのときどちらの学生のグループも気づいていなかったが、彼らが映画を見ている間、彼らから別の映画が作られていたのである。この有名な研究は、「非言語的行動(nonverbal behavior)」として一般に知られていることについての研究の発展しつつある一部分である。同じものを見たふたつの異なる文化出身の若者たちが同じように反応するかどうかを研究者は調べたかったのである。結果は... yes であり、no であった。彼らの反応はそのフィルムによって示されているように、映画を見ている間、二国の学生たちはほとんど同じように振舞った。彼らは、顔の表情や体の動かし方で驚き、怒り、嫌悪を表現した。しかしながら、彼らがインタビューを受けているとき、興味深い違いが見られた。アメリカ人たちは日本人たちよりずっと率直に映画の感想を表現した。そして、(4)東京の学生は、インタビューされたとき、アメリカ人よりずっと抑えられていて、非言語的行動ではずっと乏しい感情しか表さなかったのである。

この研究とそれに似た他の多くの研究は、世界中の人々について重要な教訓を私たちに示すのに役立つ。つまり、周囲に他人の存在を考慮することがなく私たちがもっとも「自然」に振舞える時の多くの場合、私たちは全世界で見られるであろうように振舞う。しかしながら、各文化は、どのように、そしていつ、私たちが微笑めばよいのか、そしていつ真剣な顔つきをすればよいのか、を教えてくれる。私たちはいつ、そしてどのくらいの間、他人の目をのぞきこんでいいのか、いつ目をそらすべきなのか。(8)これらのような行動様式は、私たちが話す言語と同様に文化の一部であり他人とのコミュニケーションのとり方の一部である。

それゆえ、今日の多くの教師たちが今よりもっと非言語的行動について研究すべきであり、それを始めるのによい場所が言語の授業であると考えていることは驚くべきことではない。実際、ある研究は、話すことと非言語的行動は単一の過程の一部であることを示している。いっしょに話している二人を見て、どのように彼らがうなずき、ジェスチャーをするか観察してみるとよい。もしかなり近くで見ると、(11)どの動きも会話のリズムにあわせて行われていることがわかるだろう。(もしあなたがスローモーションでこれを研究できるなら、まばたきさえ会話のリズムに合わせてしていることがわかるだろう)。 もっといえば、すべての動き方や行動の仕方の習得はとて若い時期から始まる。生後たった 1 週間の赤ちゃんも、部屋で大人たちの声のリズムに合わせてわずかに動くことが見られるのである。

話しと動きがある種の調和で関係しあっているだけでなく、不適切な種類の行動は話されている意味をまったく変え、だめにまでしてしまいうる。私はかつて語学の練習室で長年英語を研究してきた日本人に会ったことがある。彼は、ブースで一人座って英語を使うことにあまりに慣れていたので、目を閉じたときにもっとも英語をうまく話せるようになっていた。(15)いうまでもなく、電話なら問題なく思われるが、この男と面と向かっての会話を楽しむことは非常に難しかった。 不適切な顔による表現やジェスチャーは人目を引くアクセントやたまの文法ミスよりずっとコミュニケーションをだめにしうるのである。

## 35 麻酔のはじまり

In the winter of 1844, a young man named William Morton began his studies at Harvard Medical College in Boston. He had no money for his education, and he was struggling hard to support himself. In those days no special training was required to pull teeth. So young Morton worked hard as a dentist (1)in order to pay his way through school.

Like his fellow dentists, Morton was bothered by the great pain that his patients had to suffer. Many people were so afraid to have their teeth (2)(pull, pulled, pulling) that they would suffer for years before going to the dentist. While a tooth was being pulled, patients would scream with pain. (3)They often had to be tied to the chair so that the dentist could work. When the tooth finally came out, both patient and dentist would be (4)exhausted.

As he walked through the hospitals, young Morton could hear the screams of patients in operating rooms. He heard lectures sorrowfully telling their students that sometimes the pain of surgical operations was so great that a patient would die from shock. Little wonder that (5)the young medical student was concerned with the problem of pain. And little wonder that when he finished medical school, he began to experiment with ways of relieving (6)it.

At first Morton considered the possibility of putting the patient into a \*trance during surgery. But (7)another solution occurred to him after a visit with Dr. Charles Jackson, who was both a geologist and a (8)chemist. Dr. Jackson often experimented with gasses, particularly \*nitrous oxide and \*ether. During the conversation Dr. Jackson mentioned that (9)he had once accidentally \*inhaled some ether and had become (10)(unconscious, unconsciously). After a few minutes (11)he had recovered consciousness without any memory of what had happened while he was unconscious.

Morton thought of this conversation when he read that nitrous oxide gas also had a similar effect. From his medical books he learned Sir Humphry Davy had experimented with this gas and had (12)observed how some people who had inhaled nitrous oxide had become (13)(insensible, insensitive) and were unable to feel pain. For (14)this reason Davy concluded that the gas might be useful in surgical operations. But (15)since he could find no evidence that the gas had ever been used for this purpose, Davy did not carry his work any further.

One evening Morton decided to put Davy's conclusion to the test. He cautiously poured some ether into a cloth. Then he walked toward his dog, and holding (16)him gently, he placed the ether near his nose. In a few minutes the dog slumped to the floor. Morton examined the animal and noticed that his breathing and heartbeat were (17)normal. After a few minutes, the dog awakened and wagged his tail. This opened the successful way of pulling teeth without pain.

(注) trance : 失神    nitrous oxide : 亜酸化窒素    ether : エーテル

inhale : 吸入する    slump : 前にかがみこむ

## 設問

(1)(5)(7)(9)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

- (1) ( A ) ( B ) he could pay his way through school  
(5) the young medical student concerned ( ) with the problem of pain  
(7) he ( ) on another solution  
(9) he had once ( ) to inhale some ether

(2)(10)(13)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(3)(6)(11)(16)下線部の具体的内容を本文中の英語で答えよ。

(4)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (4) 1. excited 2. relieved 3. satisfied 4. tired  
(12) 1. gave remarks 2. celebrated festivals 3. obeyed rules 4. watched carefully

(8)(17)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。

- (8) geologist : geology = chemist : ( )  
(17) common : uncommon = normal : ( )

(14)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(15)下線部を、the gas の指す物質を明示して和訳せよ。

(18)次の各問いに対する正しい答えを次から選べ。

(A) What work did young Morton begin while he was at Harvard Medical College?

1. So as to finish his medical school he asked Sir Davy to help his study.
2. In order to pay his way through school he worked hard as a dentist.
3. He decided to be successful after he graduated from college.
4. He tried to attend the lectures of Dr. Jackson as often as possible.

(B) When Morton heard the screams in operating rooms, what did he want to do?

1. He wished to become a famous dentist by making use of ether.
2. He determined to prevent both patient and dentist from being exhausted.
3. He wished to find some easy way of relieving the pain of patients.
4. He determined to set free the man tied to the chair.

(C) What hint did Morton get from the conversation with Dr. Jackson?

1. Morton was struck by the fact that a man became unconscious after having inhaled ether.
2. Morton continued to sympathize with the pain of patients.
3. Morton imagined the possibility of using his dog in his dental experiment.
4. Morton was not given any medical knowledge through Dr. Jackson's experiences.

(D) Why did Morton place a cloth near his dog's nose after he poured some ether into it?

1. Because he had accidentally inhaled some ether and become unconscious.
2. Because he wished to find out if his dog's breathing and heartbeat were normal.
3. Because he wanted to experiment on the effect of ether on an animal.
4. Because he wanted to test his knowledge as a practical dentist.

(E) Why was Morton convinced of his success in the experiment with his dog?

1. It is because his dog had recovered consciousness without any memory trouble.
2. It is because his dog awakened and wagged his tail after a few minutes.
3. It is because his dog inhaled ether without rejecting his master's order.
4. It is because his dog was not obliged to be tied to the chair nearby.



## 解答

(1)(A)so (B)that (2)pulled (3)patients (4)4 (5)himself (6)pain (7)hit (8)chemistry (9)happened[chanced] (10)unconscious (11)Dr. (Charles) Jackson (12)4 (13)insensible (14)亜酸化窒素を吸引した人の感覚が麻痺し、痛みを感じなくなったという観察結果があること。(15)デイビーは亜酸化窒素がそれまでにこの目的で使われたという証拠を見つけることができなかった。彼は研究をそれ以上進めなかった。(16)his dog (17)abnormal (18)(A)2 (B)3 (C)1 (D)3 (E)2

## 解説

- (1)in order to 不定詞「～するために」 so that he could...に直す際、主語と時制に注意する。so that には、「(目的)～するために」と「(結果)その結果～」の二つの用法がある。
- (2)have A pull one's teeth = have one's teeth pulled「歯を抜いてもらう」
- (3)They は前文の patients を指す。They often had to be tied to the chair「彼らはよくいすに縛りつけられねばならない」
- (4)exhausted「疲れきった」 relieved「安心させられた、安心した」
- (5)be concerned with A = concern oneself with A「A に関係している」 the young medical student was concerned with the problem of pain「若い医学生は痛みの問題に関係している」 be concerned about A「A を心配する」と区別すること。
- (6)he began to experiment with ways of relieving it「彼はそれを和らげる方法を実験し始める」直前に relieve「和らげる」とあるので pain「痛み」が適当。patients「患者」は複数形で使われているし、it から離れているし、人の代名詞として it は使わないので不適。
- (7)B(考え・アイディア)occur to A(人) = A hit on(upon) B「A の心に B が浮かぶ」 another solution occurred to him「他の解決法が彼の心に浮かんだ」
- (8)geologist「地質学者」 : geology「地質学」 = chemist「化学者」 : chemistry「化学」
- (9)happen[chance] to 不定詞「偶然～する」 he had once accidentally inhaled some ether「彼はかつて偶然エーテルを吸い込んだ」
- (10)become の次は形容詞が来る。become unconscious「気絶する」
- (11)意識を失ったのはエーテルを吸引した Dr. Jackson である。
- (12)observe「観察する」は watch carefully「注意深く見る」に近い。give remarks「意見を与える」 celebrate festival「祭りを祝う」 obey rules「規則に従う」
- (13)insensible「意識がない」 insensitive「人の気持ちに鈍感な」 some people who had inhaled nitrous oxide had become insensible「亜酸化窒素を吸い込んだ人々が意識を失った」
- (14)this reason は some people who had inhaled nitrous oxide had become insensible and were unable to feel pain「亜酸化窒素を吸い込んだ人々は意識を失い痛みを感じられなくなった」を指す。
- (15)since「～なので」 evidence that S V「～という証拠」 that は同格「～という」の用法。the gas had ever been used for this purpose「その気体がこれまでこの目的のために使われた」 the gas は nitrous oxide「窒素酸化物」を指す。did not carry his work any further「それ以上研究を進めなかった」 further は程度を表す比較級。
- (16)Then he(=Morton) walked toward his(=Morton's) dog, and holding him(=his dog) gently, he(=Morton) placed the ether near his(=his dog's) nose となっている。
- (17)common「常識的な」 uncommon「非常識な」 normal「正常な」 abnormal「異常な」
- (18)(A)第 1 段落より 3 が正解。1.so as to 不定詞「～するために」 2.in order to 不定詞「～するために」 pay his way through school「学費を支払う」 as a dentist「歯科医として」 3.decide to be successful「成功しようと決意した」 4.as often as possible「できるかぎりの頻度で」
- (B)heard the screams in operating rooms「手術室で叫び声を聞いた」 第 3 段落より、痛みの問題に取り組むようになるので 3 が正解。2 や 4 は一面的には正しいが、2 は「手術の際の疲労」とは言いえないし、4 は「手術のためにいすに縛りつけられた人」としていないなどから、より直接的な選択肢である 3 の方が適切である。1.by making use of ether「エーテルを使うことによって」 2.「彼は患者と歯科医の両方の疲労を防ごうと決意した」 3.find some easy way of relieving the pain of patients「患者の痛みを和らげる簡単な方法を見つける」 4.set free the man tied to the chair「いすに縛りつけられた人を自由にする」
- (C)what hint「どんなヒントを」 第 4・5 段落より 1 が正解。1.Morton was struck by the fact「～という事実に感銘を受けた」 after having inhaled ether「エーテルを吸い込んだ後に」 having は時制をひとつ繰り上げている。2.sympathize with the pain of patients「患者たちの痛みに同情する」 3.imagined the possibility of using his dog「彼の犬を使う可能性を想像した」 4.was not given any medical knowledge「なんの医学的知識も与えられなかった」
- (D)place a cloth「布を置く」 after he poured some ether into it「その(=布の)中にエーテルを注ぐ」 第 6 段落より 3 が正解。1 はモートンが意識を失ったことがあるわけではないので誤り。2 は 3 より狭く限定しすぎているので不適。1.「彼(=モートン)が偶然エーテルを吸い込み、意識を失ったか

ら」 2.find out if his dog's breathing and heartbeat were normal「犬の呼吸と心拍が正常であるかどうか探り出す」 3.experiment on the effect of ether on an animal「動物におけるエーテルの効果を実験する」 4.test his knowledge as a practical dentist「実践的な歯科医としての知識を試す」 (E)convinced of his success「成功を確信する」最後の段落より2が正解。1は犬がしっぽをふっただけで、記憶については触れられていないので誤り。1.recovered consciousness without any memory trouble「なんの記憶異常もなく意識を回復する」 2.awakend and wagged his tail after a few minutes「数分後に目を覚まし、しっぽを振った」 3.without rejecting his master's order「主人の命令を拒否せずに」 4.was not obliged to be tied to the chair nearby「そばのいすに縛りつけられる必要がなかった」

## 全文訳

1844年の冬、ウィリアム・モートンという名の青年がボストンのハーバード・メディカル・カレッジで勉強を始めた。彼は自分の教育費を持っておらず、生活するために苦心した。当時、歯を抜くために特別な訓練は必要なかった。そのため青年モートンは学費を払うために歯医者として懸命に働いた。

仲間の歯医者と同様、モートンは患者のひどい痛みを気にした。多くの人々は歯を抜かれることをあまりに怖がり、痛みで叫ぶほどだった。彼らは時として、歯医者が仕事をできるようにいすに縛り付けられなくてはならなかった。歯がやっと抜けた時には、患者も医者も疲れ切っていた。

青年モートンは病院内を歩いているとき、手術室からの患者の悲鳴を聞いた。彼はまた、外科手術の痛みは時にあまりにひどく、患者がショックで死ぬほどであると悲しげに学生に教える講義を聞いた。若い医学生が痛みの問題に関係したのもあまり不思議ではない。そして彼が医学校を卒業したとき痛みを和らげる方法の実験を始めたもの不思議ではない。

まずモートンは手術の最中に患者を失神させておく可能性を考えた。しかし地質学者であり科学者であるチャールズ・ジャクソン教授を訪ねた後、彼に他の解決方法が思い浮かんだ。ジャクソン教授はしばしば気体、とくに亜酸化窒素とエーテルの実験をした。話している最中、ジャクソン教授はかつて、誤ってエーテルを吸い、意識を失ったことがあると言った。数分後、彼は意識のない間に起こったことの記憶がないまま、意識を回復した。

モートンは亜酸化窒素も同様の効果を持つということを読んだとき、この会話を思い起こした。彼は医学書から、ハンフリー・デイビーが気体の実験をし、亜酸化窒素を吸い込んだ人々がどのように感覚がなくなり痛みを感じられなくなるのかを観察したことを知った。この理由により、デイビーはその気体が外科手術に役立つだろうと結論付けた。しかしデイビーはこの気体がこのような目的のために使われたことがあるという証拠を見つけられなかったため、研究をさらに進めなかった。

ある夜、モートンはデイビーの結論を試してみることにした。彼は慎重にエーテルを布にたらし、それから犬のほうへ歩み寄り、犬をやさしく抱えながら犬の鼻の近くにエーテルを持っていった。数分後、犬は床に倒れ込んだ。モートンはその動物を観察し、呼吸と心拍が正常であることに気づいた。数分後、その犬は目を覚まし、しっぽをふった。これが、痛みを伴わずに歯を抜く方法の成功への道を開いた。

## Further Expressions

### 〈思いつく〉

He came up with a new solution.

He hit [struck] on [upon] a new solution.

A new solution occurred to him.

A new solution struck him.

### 〈注意する〉

Davy observed some people. 【観察する】

Davy watched some people carefully. 【注意して】

Davy watched some people with care.

Davy looked out for some people. 【気をつける】

Davy paid attention to some people.

Davy kept an eye on some people.

Davy saw to it that people would not become insensible. 【取り計らう】

Davy made sure that people would not become insensible. 【念を入れる】

Davy looked out that people would not become insensible. 【気をつける】

### 〈偶然〉

He inhaled some ether by accident [chance]. 【偶然】

He chanced [happened] to inhale some ether. 【偶然～する】

Accidentally he inhaled some ether. 【偶然】

As chance would have it, he inhaled some ether.

## 第8章 文脈に合うキーワードを補充する

### 36 習慣とは何か

Habit is second nature.

Habit is something a person learns to do over and over again without thinking about how to do it. Many everyday actions are habits. Imagine (1)(be / difficult / how / it / shoelaces / tie / to / would / your) if you had to think of every action needed to complete the bowknot. A habit is different (2)( ) an instinct. (3)An instinct is behaviour that is ( A ), instead of ( B ).

Most habits begin as actions that a person is aware (4)( ). (5)The ( A ) the person performs an action, the ( B ) it becomes. Strong habits become automatic, and require little or no thought.

Psychologists generally agree that a stimulus (something that starts an action) must be present each time the habit is (6)carried out. For example, a red light is a stimulus to an experienced driver. It triggers the response of pressing the brake pedal. To learn this habit, each new driver must practise under actual traffic conditions, learning to press the brake pedal when the light is red.

Many psychologists believe that people will learn a habit only if it benefits them. Psychologists call this satisfaction a reward or a reinforcement. If the habit satisfies people, they tend to keep it. When a habit offers no reward or becomes unpleasant, they may break (discard) it. For example, some people get pleasure from smoking. (7)( ) the pleasure (reward), smoking becomes a habit. If the habit becomes unpleasant (no longer brings a reward), a person may stop smoking.

Psychologists who support the reward idea of habit formation disagree with an older idea. The older idea said that “paths” were made in the nervous system when an act was repeated. However, psychologists have taught rats habits and then cut their nervous systems at many points. (8)( ) the cuts, the rats continued to perform the habits. This result suggests that the learning of habits does not depend on specific nerve connections and does not (9)occur only in particular parts of the brain.

Some habits are simple and require only movements of the muscles. When (10)approaching a door, a person (11)grasps the doorknob. This action is called a simple motor act. The movement seems quite natural, but the person once had to learn this habit. A doorknob is a strange thing to a child when first (12)encountered. The child may play with the doorknob many times before learning to open the door by turning the knob.

Some habits are more than simple motor acts. They are thoughts and attitudes we have about things and people. Psychologists call them habits of adjustment. Some of these habits are “good” and others are “bad,” depending on how they (13)affect other people. (14)We learn “good” habits to act as others expect us to act. Neat appearance and pleasant manners are considered good habits. A person may learn “bad” habits, thinking something can be gained from them. But such habits may be (15)(annoyed, annoying) to others.

## 設問

- (1) カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。
- (2) (4) 空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。
- (3) 空所にあてはまる適当な語句の組み合わせを次から選べ。  
1. (A) acquired (B) inherent 2. (A) inborn (B) inherent  
3. (A) inborn (B) learned 4. (A) learned (B) acquired
- (5) 空所にあてはまる適当な語句をそれぞれ次から選べ。  
1. easier 2. harder 3. later 4. more 5. sooner
- (6) (9)(10)(11)(12)(13) 下線部と近い意味の語句を次から選べ。動詞は原形で示してある。  
1. catch 2. come close to 3. happen 4. influence 5. meet 6. perform
- (7) 空所にあてはまらない語句を次から選べ。  
1. Because of 2. In spite of 3. On account of 4. Owing to 5. Thanks to
- (8) 空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。  
1. Apart from 2. Contrary to 3. Despite 4. Instead of 5. Without
- (14) 下線部を和訳せよ。
- (15) カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。
- (16) 本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。  
1. The stronger habits become, the more automatic they become.  
2. A red traffic light is the response of pressing the brake pedal.  
3. When a habit does not provide any reward, people may throw it away.  
4. No psychologists support the reward idea of habit formation.
- (17) アクセントの位置が異なる組み合わせを次から2つ選べ。  
1. continue 2. habit 3. occur 4. satisfy  
continual habitual occurrence satisfactory

## Further Expressions

### 《反対する》

Psychologists disagree with the idea. 【反対する】

Psychologists denies the idea. 【否定する】

Psychologists object to the idea. 【反対する】

Psychologists are against the idea. 【反対である】

Psychologists are opposed to the idea.

### 《いらだたせる》

Bad habit may make other people irritated. 【いらだたせる】

Bad habit may irritate other people.

Bad habit may annoy other people. 【悩ませる】

Bad habit may be irritating to other people. 【腹立たしい】

Bad habit may be annoying to other people. 【迷惑な】

Bad habit may get on other people's nerves. 【いらだたせる】

### 《影響を受ける》

Other people's habits have had an effect on [upon] us. 【影響を与える】

Other people's habits have acted on us. 【作用する】

We have been affected by other people's habits. 【影響する】

We have been influenced by other people's habits.

We have been open to the influence of other people's habits. 【受けやすい】

We have been subject to the influence of other people's habits.

## 解答

(1)how difficult it would be to tie your shoelaces (2)from (3)3 (4) of (5)(A)4 (B)1 (6)6 (7)2 (8)3 (9)3 (10)2 (11)1 (12)5 (13)4 (14)全文訳参照 (15)annoying (16) 1, 3 (17)2, 4

## 解説

- (1)「靴ひもを結ぶことがどれほど困難になるか」という文にする。
- (2)be different from A「Aとは違う」 different from an instinct「本能と異なる」
- (3)acquired「獲得した、後天的な」 inborn「生まれつきの、先天的な」 inherent「生まれつき存在する、固有の」 learned「経験によって身についた」 instinct「本能」
- (4)be aware of A「Aに気づいている」 actions that a person is aware of「人々が気づく行動」
- (5)the 比較級...the 比較級「...になればなるほど～」 perform an action「ある行動を行う」「ひとつの行動をその人が多く行えば行うほど、その行動を行うことは簡単になる」
- (6)carry out「遂行する」 = perform
- (7)in spite of A「Aにもかかわらず」 in spite of the pleasure (reward), smoking becomes a habit. 「その喜び(報酬)にもかかわらず、喫煙は習慣となる」では文意が通らないので2が正解である。そのほかの選択肢はすべて「～のために、～のせいで」という意味である。
- (8)ネズミの神経組織の多くの箇所を切断したが、the rats continued to perform the habits「切断したにもかかわらず、ネズミはその習慣を行いつづけた」というのであるから、「その切断にもかかわらず」と逆接でつなぐ必要がある。3.Despite「～にもかかわらず」が正解。apart from A「Aから離れて、Aのほかに」 contrary to A「Aとは反対に」 instead of A「Aの代わりに」
- (9)occur「(物事が)起こる」 3.happenが正解。does not occur only in particular parts of the brain「脳の特定の部位においてのみ起こるわけではない」
- (10)approach「...に近づく」 2.come close toが正解。when approaching a door「ドアに近づくとき」
- (11)grasp「つかむ、握る」 1.catchが正解。a person grasps the doorknob「人はドアノブをつかむ」
- (12)encounter「出会う」 5.meetが正解。when first encountered「はじめてドアノブと出会ったとき」 when a doorknob is encountered by a childと補って考えるとよい。
- (13)affect「影響を及ぼす」 4.influenceが正解。affectは主に好ましくない変化に用いられる。how they affect other people「どのようにそれらが他の人々に影響を及ぼすか」
- (14)ここではactは「行動する」という意味で、目的語を取らない。ひとつ目のto actは「行動するために」ふたつ目のto actはothers expect us to actで「他人が、私たちが(そのように)行動することを期待している」as...は「...のように」
- (15)annoyは「苛立たせる」 may be annoying「苛立たせるようなものであるかもしれない」
- (16)1.「習慣は強まれば強まるほど、より自動的にになっていく」、2.「赤信号は、ブレーキペダルを踏むことによって起きる反応である」、3.「習慣によって何の報酬も得られなくなると、人々はその習慣を捨てる」、4.「心理学者たちは、習慣形成に関する報酬という考え方を支持しない」
- (17)hábit「習慣、癖」 habitual「習慣的な」 sátsify「満たす、満足させる」 satisfáctory「満足な」で2,4がそれぞれアクセントの位置が異なる。

## 全文訳

習慣は第二の天性である。

習慣とは、人がその方法について考えることなく、何度も繰り返して行うようになるようなものである。多くの日常的な行動は、習慣なのである。もしあなたが、蝶結びを結ぶために必要なひとつひとつの行動を考えなくてはならないとしたら、靴ひもを結ぶことがどれほど困難になるかを想像してみなさい。習慣は、本能とは違う。本能とは先天的に身に付いている振る舞いのことで、学ぶものではない。

ほとんどの習慣は、自覚のある行動として始まる。ひとつの行動をその人が多く行えば行うほど、その行動を行うことは簡単になる。強い習慣は自動的になり、ほとんど考えなくても、あるいはまったく考えなくてもよいようになる。

心理学者は、習慣が行われるときにはいつも、刺激(行動を引き起こすもの)が存在するに違いないという意見で、だいたい一致している。たとえば、赤信号は経験を積んだ運転手にとって刺激となる。その刺激によって、ブレーキペダルを踏むという反応が引き起こされる。この習慣を身に付けるために、新米の運転手は、実際の交通の条件下で練習して、信号が赤いときにはブレーキペダルを踏むということを身につけなくてはならない。

多くの心理学者は、その行動が自分のためになるときのみ、人は習慣を身に付けるのだと信じている。心理学者は、このような満足をもたらすもののことを、報酬あるいは強化と呼ぶ。もし習慣が人々を満足させるならば、人々はその習慣を続ける傾向にある。習慣が何の報酬ももたらしてくれなかったり、不快なものになった時には、人々はその習慣を破る(破棄する)であろう。たとえば、喫煙によって喜びを得る人もいる。その喜び(報酬)のために、喫煙は習慣となるのである。もしその習慣が不快なものとなれば(もはや報酬を得られなくなれば)、人は喫煙を止めるであろう。

習慣形成に関して報酬という考え方を支持する心理学者は、古い考え方に反対する。古い考え方によると、ある行動が繰り返されると、神経組織の中に「経路」が作られるという。しかしながら、心理学者がネズミに習慣を教え込んでそれからネズミの神経組織の多くの箇所を切断したところ、切断したにも関わらず、ネズミはその習慣をやり続けたのである。この結果によって、習慣を身に付けるということは特定の神経の結合によるものでなく、また、脳の特定の部位において起こるものでもないということが示された。

習慣の中には、単純で筋肉の動きしか要求しないようなものもある。ドアに近付くと、人はドアのノブをつかむ。この行動は、単純運動行動と呼ばれる。この動きはきわめて自然であるように思われるが、人は一度はこの習慣を学ばなければならなかったのだ。初めてドアのノブを見た時、ノブは子どもにとっては奇妙な物である。子どもは、ノブを回してドアを開けるということを学習するまでに、何回もドアノブで遊ぶことになるだろう。

習慣の中には単純運動行動よりも優位なものもある。それらの習慣とは、私たちの物事や人々に対する考え方や態度のことである。心理学者は、この習慣を、適応の習慣と呼ぶ。これらの習慣の中には、それらが他の人々にどのような影響を及ぼすかによって、「よい」ものも「悪い」ものもある。(14) 私たちは、他の人々が私たちにしたいと思っていることをするために、「よい」習慣を身に付ける。きちんとした外見や気持ちのよい作法は、よい習慣であるとみなされる。人は、そこから何かを得られるだろうと考えて、「悪い」習慣を身に付けるかもしれない。しかし、そのような習慣は、他の人々を苛立たせているかもしれないのである。

## コラム 語源研究

### 語根 DIC

【語源】ラテン語の dicere「言う、話す、示す」を語源とする。フランス語 dire、イタリア語 dire、スペイン語 decir、ポルトガル語 dizer はすべて「言う」という動詞。diction「言葉づかい」、dictionary「辞書」、dictum「意見、声明」、dictator(「いろいろ指示を言う人」)独裁者は形がよく残っている。dictate は「書き取る」ではなく「書き取らせるために話す」ことである。似た形の dicare「宣言する、神に捧げる」が語源となっていることもある。

### 【単語】

- abdicate ab(離れて) + dicare(宣言する) 「...から離れると宣言する(=王位や権利を捨てる)」
- contradict contra(反対) + dict(言う) 「反対しのことを言う(=否定する、矛盾する)」
- dedicate de(下に) + dicare(捧げる) 「(ある人や目的)の下に身を捧げる(=捧げる)」
- indicate in(中に) + dicare(宣言する) 「(人々の中へ知らせる(=指し示す、徴候である))」
- predict pre(前に) + dict(言う) 「(時間的に前もって言う(=前もって言う、予言する))」

## コラム 語源研究

### 語根 VOC、VOK

【語源】ラテン語の vocare「呼ぶ、召集する」を語源とする。vocabulary「語彙」、vocal「声の」、vocation「神のお召し、召命、天職」、voice「声」は同語源。

### 【単語】

- advocate ad(...に) + vocare(呼ぶ) 「人々に助けを呼びかける(=主張者、支持者、主張する)」
- convoke con(共に) + voke(呼ぶ) 「一緒に呼び集める(=召集する)」
- equivocal equi(等しい) + vocal(呼ぶ) 「同じように呼びかける(=両義にとれる、はっきりしない)」
- evoke ex(外へ) + voke(呼ぶ) 「外へ呼び出す(=引き起こす、呼び起こす、呼び出す)」
- invoke in(中に) + voke(呼ぶ) 「神を自分の中に呼ぶ(=祈願する、切願する)」
- provoke pro(前に) + voke(呼ぶ) 「呼んで前に引っぱり出す(=怒らせる、感情を引き起こす)」
- revoke re(後へ) + voke(呼ぶ) 「呼び戻す(=無効にする、廃止する)」

### 37 動物から受ける恩恵

Animals have been used by people for different purposes for many thousands of years. Apart (1)( ) their obvious value in (2)( ) us with food, (3)they do valuable work in many different areas. Horses and oxen pull plows on farms; dogs find people buried alive under collapsed buildings after earthquakes; rats are used by scientists in medical research; monkeys are sent into space — the list is endless. When we consider uses such as these, the use of animals as pets may not seem particularly important to our way of life. However, there is a growing amount of evidence which suggests that keeping pets can bring great benefits to people's mental and physical health.

In the past fifty years, animals have increasingly been used to help mentally (4)( ) people. There have been several examples of success in (5)this area. After World War II, doctors of psychology found that pets helped soldiers to (6)( ) from psychological problems caused in battle. More recently, doctors treating children who have extreme difficulty in communicating with other people, (7)(discovered, discovering, who discovered) that they showed a remarkable improvement in their condition when they swam in a pool with dolphins. The dolphins played with the children, changing the game to keep their attention. (8)( ) a result, the children were happier, their (9)( ) ability improved, and some started to communicate (10)( ) the first time in their lives.

Perhaps the most interesting finding (11)(appeared, appearing, which appeared) in a recent study of the effects of having a pet on a (12)(few, large, many, small) number of ordinary people. While keeping a dog or cat as a pet, (13)they had fewer health problems such as colds, headaches and stomachaches than they had before. Some doctors believe that the reason for (14)this is that the reduction in stress produced by pets strengthens the physical structure through the action of chemicals released in the brain. From this evidence, it (15)( ) that (16)animals can have ( A ) effects not only on people's ( B ) and emotional state but also on their ( C ) condition. The reasons for these benefits are not yet clear, but it certainly seems that, (17)( ) their more (18)traditional uses, animals can help to make people healthier and happier.

設問

(1)(8)(10)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(2)(4)(6)(9)(15)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

appear disturb learn recover supply

(3)(5)(14)下線部の具体的内容を次から選べ。

(3) 1. animals 2. horses and oxen 3. people

(5) 1. food supply 2. labor 3. mental treatment

(14) 1. having fewer health problems

2. having headaches and stomachaches

3. keeping a dog or cat as a pet

(7)(11)(12)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(13)下線部を they の具体的内容を明示して和訳せよ。

(16)空所にあてはまる適当な語句の組み合わせを次から選べ。

1. (A) negative (B) mental (C) physical

2. (B) negative (B) physical (C) mental

3. (A) positive (B) mental (C) physical

4. (B) positive (B) physical (C) mental

(17)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. due to 2. in addition to 3. in spite of 4. thanks to

(18)下線部の例として、以下の動物はどのような使われ方をしているか本文に即して日本語で答えよ。

(A)馬 (B)犬 (C)ネズミ

**Further Expressions**

**〈供給する〉**

Animals can provide us with food. 【供給する】

Animals can supply us with food.

Animals can furnish us with food.

Animals can provide food to us.

Animals can supply food to us.

Animals can furnish food to us.

**〈改善する〉**

Pets bring great benefit to people. 【利益】

Pets are greatly beneficial to people. 【有益な】

People receive [get] great benefit from pets. 【利益】

People derive much pleasure from pets. 【満足】

Pets make people's lives better. 【より良い】

Pets improve people's lives. 【改善する】

Pets change people's lives for the better. 【より良いほうへ】



## 解答

(1)from (2)supplying (3)1 (4)disturbed (5)3 (6)recover (7)discovered (8)As (9)learning (10)for (11)appeared (12)large (13)ペットとして犬や猫を飼っている普通の人々においても、ペットを飼う前にもっていた風邪や頭痛や腹痛といった健康の問題が少なくなった。(14)1 (15)appears (16)3 (17)2 (18)(A)農場で鋤を引く。(B)地震後に倒壊した建物から生存者を見つける。(C)医学研究のための実験に使われる。

## 解説

- (1)apart from A「A は別として」 apart from their obvious value「明らかな価値は別として」  
(2)value in ~ing「~するという価値」 value in supplying us with food「私たちに食料を供給するという価値」  
(3)Animals have been used by people...they do valuable work「動物たちは人間によって使われてきた。彼らは貴重な仕事をしている」から they は animals を指す。また、同文中の their も animals を指す。  
(4)mentally disturbed「精神が混乱した」 to help mentally disturbed people.「精神的に錯乱した人々を手助けすること」以下の具体例と合わせて考える。  
(5)mental treatment「精神治療」以下の具体例と合わせて考える。  
(6)recover from A「A から回復する」= get over A  
(7)doctors treating children..., ( ) that they showed a remarkable improvement「子どもたちを扱っていた医師が、劇的に改善することを( )した」文の構造は、doctors が主語、かっこ内が動詞、treating children ...other people は doctors の修飾語である。よって、discovered が適当。  
(8)as a result 「結果として」  
(9)learning ability「学ぶ能力」 their learning ability improved「彼らの学ぶ能力が改善された」  
(10)for the first time「はじめて」 for the first time in their lives「生涯はじめて、生まれてはじめて」  
(11)the most interesting finding ( ) in a recent study「もっとも興味深い事実は、最近の研究に( )した」文の構造は、主語が finding、動詞がかっこ内、in a recent study 以下は修飾語となっている。したがって、appeared が入る。  
(12)a large number of A「多くの A」 a small number of A「わずかな A」 small は意味的におかしく、many や few は数の強調のときには使わない。large は他に great や good で言い換えられる。  
(13)they had fewer health problems such as cold「彼らは風邪のような健康上の問題をより少なく抱えた」 they は前の文の a large number of ordinary people「多くの普通の人々」を指す。A such as B = such A as B「B のような A、たとえば B といったような A」この文で A にあたるものは health problems、B にあたるものは colds, headaches, stomachaches である。they had fewer...problems...than they had before「彼らは、彼らが(ペットを)もつ以前より少ない問題を抱えた」比較の fewer で、than によりペットを飼う以前と以後を比べている。  
(14)this は前文の内容を指す。the reason for this「健康上の問題が減った理由」  
(15)It appears that S V「~のように思える、~であるらしい」  
(16)animals can have (A) effects not only on people's (B) and emotional state but also on their (C) condition.「動物たちは、人々の(B)や感情の状態だけでなく、人々の(C)の状態に対しても、(A)である効果を持ちうる」本文はこれまで動物の人間に対するよい効果を述べてきたので(A)には positive「積極的な」が入る。Not only A but also B「A だけでなく B も」この文では、「人々の(B)や感情の状態だけでなく」と「人々の(C)の状態に対しても」が対比的におかれているので、(B)には emotional「感情的な」に近い mental「精神的な」が入り、(C)にはそれと対比される physical「身体上の」が入る。  
(17)due to A「A のためで、A の理由で」 in addition to A「A に加えて」 in spite of A「A にもかかわらず」thanks to A「Aのおかげで」 but it certainly seems that, ( ) their more traditional uses, animals can help to make people healthier and happier.「しかし確かに、伝統的な利用法(1. の理由で 2. に加えて 3. にもかかわらず 4. のかげで)、動物たちは、人々をより健康にしより幸せにする手助けをしてくれるように思える」本文では「動物の効用 = 伝統的な利用法 + 最近の利用法(心を癒す動物たち)」という構図になっているので、in addition to を入れて、「伝統的な利用法に加えて(現代の愛玩動物たちは...)」とするのが適当となる。  
(18)いずれも第 1 段落を参照。

## 全文訳

動物は何千年ものあいだ、様々な目的のために人々によって使用されてきた。人間に食料を供給するという明らかな価値は別として、彼らは多くの異なった領域で貴重な仕事をする。馬と雄牛は農場で鋤を引く。犬は地震の後に潰れているビルの下に生き埋めになっている人々を見つける。ネズミは医学の研究で科学者に利用される。猿は宇宙に送られる。このような例は無数にある。これらのような用途を考えると、ペットとしての動物の使用は我々の生活様式に特別重要には見えないかもしれない。しかしながら、ペットを飼うことは人々の精神的・物理的な健康に大きな利益をもたらすことができるということを示す証拠が増加している。

ここ 50 年間で、動物は精神的に異常をきたした人々を助けるのにますます使用されるようになってきた。この領域にはいくつかの成功例があった。第二次世界大戦の後に、心理学の博士は、軍人が戦争によって引き起こされた心の問題から回復するのにペットが助けになることを発見した。より最近の例では、他人との意思疎通が極端に困難な子どもを扱っていた医師が、子どもたちがプールでイルカと一緒に泳ぐと症状が劇的によくなることを発見した。イルカは子どもたちの注意を引くように遊びを変えながら一緒に遊んだ。その結果、子どもたちはより幸せになり、学習能力は向上し、そして人生で初めて意思疎通を始めた者もあらわれた。

恐らくもっとも興味深い発見は、多くの一般人がペットを飼うことの効果についての最近の研究にあるだろう。ペットとして犬が猫を飼っている間、彼らには風邪や頭痛および胃痛などの健康問題が以前より少なくなった。この理由はペットのおかげでストレスが減り、それによって、脳で放出される化学物質の作用で体の構造が強くなったのだと信じる医師もいる。この証拠から、人々の精神や感情の状態だけでなく体の状態に対しても動物はよい効果を持っているようである。これらの効果の理由はまだ明確でないが、動物は、より伝統的な用途に加えて、人々をより健康でより幸福にするのを助けることができるのは確実であるように思える。

### コラム 語源研究

#### 語根 QUI,QUE

【語源】ラテン語の quaerere「求める」を語源とする。query「質問」、quest「探求」、question「質問」、quiz「簡単なテスト、クイズ」などに形がよく残っている。

#### 【単語】

- acquire ad(...へ) + quire(求める) 「(能力を)求めて手に入れる(=得る、身につける)」
- conquer con(完全に) + quer(求める) 「強く求める(=征服する)」
- exquisite ex(外へ) + quisite(求める) 「求めて探し出す(=この上なくすぐれた)」
- inquire in(中へ) + quire(求める) 「(聞きたいことを相手の頭の)中へ求める(=聞く、尋ねる)」
- require re(再び) + quire(求める) 「(何度も)求め続ける(=必要とする、要求する)」

### コラム 語源研究

#### 語根 SPEC

【語源】ラテン語の specere「見る、観察する」、spectare「眼を注ぐ、見る、観察する」を語源とする。special「特別な」、species「(見えるもの)種」、specific「(形が見える)明確な」、specimen「(見るもの)見本」、spectacle「見世物」、spectator「(見る人)見物人、観客」、spectrum「(出現)スペクトル」、speculate「投機する、...と思う」などは同語源。

#### 【単語】

- aspect ad(...に) + spect(見る) 「...を見るときに見えるもの(=外観)」
- conspicuous con(完全に) + spicuous(見る) 「完全に見える(=人目を引く、顕著な)」
- despise de(下に) + spise(見る) 「見下す(=軽蔑する)」
- expect ex(外へ) + spect(見る) 「(何かを求めて)外を見る(=期待する)」
- inspect in(中を) + spect(見る) 「中を見る(=詳しく調べる、点検する)」
- introspect intro(中に) + spect(見る) 「自分の心の中を見る(=内省する)」
- perspective per(完全に) + spect(見る) 「完全に見通す(=見通し、遠近法)」
- prospect pro(前に) + spect(見る) 「前を見る(=見込み、見通し)」
- respect re(後ろに) + spect(見る) 「何度も振り返ってみる(=尊敬する)」
- retrospect retro(後ろに) + spect(見る) 「後ろを見る(=追憶、回想)」
- suspect sub(下で) + spect(見る) 「下から見る(=疑う、怪しいと思う)」

## 38 見知らぬ訪問者

I was out of work, but any day now I expected to (1)hear from up north. I (2)(laid, lay, lied) on the sofa and listened to the rain. (3)Now and then I'd lift myself up and look through the curtain for the mailman.

There was no one on the street. Nothing.

I hadn't been down again five minutes when I heard (4)someone (5)(have walked, to walk, walk, walked) onto the porch, wait, and then knock. I lay still. I knew it wasn't the mailman. I knew his steps. (6)You can't be too careful if you're out of work and you get notices in the mail or else pushed under your door. They come around wanting to talk, too, especially if you don't have a telephone.

The knock sounded again, louder, a bad sign. I lifted up and tried to see onto the porch. But (7)whoever was there was standing against the door, another bad sign.

Another knock, and I said, "Who's there?"

"This is Aubrey Bell," a man said. "Are you Mr. Slater?"

"(8)is / it / want / what / you?" I called from the sofa.

"I have something for (9)Mrs. Slater. She's won something. Is Mrs. Slater home?"

"Mrs. Slater doesn't live here," I said.

"Well, then, are you Mr. Slater?" the man said. "Mr. Slater..." and the man sneezed.

I got off the sofa. I (10)(locked, unlocked) the door and opened it a little. He was an old guy, fat and heavy under his raincoat. Water ran off the coat and dripped onto the big suitcase he carried.

He smiled and set down the big case. He put out his hand.

"Aubrey Bell," he said.

"I don't know you," I said.

"Mrs. Slater," he began. "Mrs. Slater filled (11)(down, out, over, up) a card." He took cards from an inside pocket and looked through them for a minute.

"Mrs. Slater," he read. "Two-fifty-five South Sixth East Street? Mrs. Slater is a winner."

(12)He took off his hat and nodded solemnly, slapping the hat against his coat as if that were that, everything had been settled.

He waited.

"Mrs. Slater doesn't live here," I said. "What'd she win?"

"I have to show you," he said. "May I come in?"

"I don't know. If it won't take long," I said. "I'm pretty busy."

"Fine," he said. "I'll just slip out of this coat first. (13)And the boots. Wouldn't want to mess up your carpet. I see you do have a carpet, Mr..."

His eyes had lighted and then dimmed at the (14)(cite, sight, site) of the carpet. He shuddered. Then he took off his coat. He shook it out and hung it over the back of a chair. He bent over and took off his wet boots. He set his case inside the room, and stepped into a pair of slippers.

I took one more look down the street for the mailman, and shut the door.

(15)( ) some effort he undid the locks on his case which fell open heavily. Quietly, as

if he was in church, he said, “Do you know what (16)this is?”

I moved closer. “I’d say it was a vacuum cleaner. I don’t need one,” I said. “(17)No way.”

“Nobody said you needed one. But here,” he handed me a card with a signature on it, “Mrs. Slater won a free vacuuming and carpet cleaning and I am here to do it.”

Already he was unpacking his case and beginning to assemble the vacuum cleaner.

### 設問

(1)(3)下線部と近い意味の語句を選べ。

- (1) 1. catch the footsteps of the mailman    2. hear voices  
3. listen to the sound of the rain    4. receive a letter

- (3) 1. at all times    2. from time to time    3. once upon a time  
4. some time or other

(2)(5)(10)(11)(14)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(4)下線部の人物が来た目的を日本語で説明せよ。

(6)下線部を和訳せよ。

(7)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

anyone ( A ) ( B ) there

(8)カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。

(9)下線部の人物について本文に書かれている内容を日本語で説明せよ。

(12)下線部と反対の意味になるように次の空所に適語を入れよ。

He (       ) on his hat

(13)(17)下線部の意味として正しいものを次から選べ。

- (13) 1. I’ll bring my boots, too.    2. I’ll take off my boots, too.  
3. The boots won’t take long.    4. These boots won’t slip out.

- (17) 1. しかし新しい掃除機もほしい気もする  
2. それに掃除機を置く場所もない  
3. ミセス・スレーターはなんてすばらしいんだ  
4. だから掃除機なんていらぬ

(15)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(16)下線部の具体的内容を次から選べ。

1. a church    2. a vacuum cleaner    3. his suitcase    4. the locks on his case

### **Further Expressions**

#### **《ときどき》**

Sometimes I looked through the curtain for the mailman. 【ときどき】

Occasionally I looked through the curtain for the mailman.

On occasion I looked through the curtain for the mailman.

From time to time I looked through the curtain for the mailman.

At times I looked through the curtain for the mailman.

Now and again I looked through the curtain for the mailman.

Now and then I looked through the curtain for the mailman.

Every now and then I looked through the curtain for the mailman.

Once in a while I looked through the curtain for the mailman.

## 解答

(1)4 (2)lay (3)2 (4)スレーター夫人が当てた無料掃除サービスと無料カーペットクリーニングサービスを行うため。(5)walk (6)全文訳参照 (7)(A)who (B)was (8)what is it you want (9)無料掃除サービスと無料カーペットクリーニングサービスに当選し、住所は 2-50-5 東 5 番街南である。(10)unlocked (11)out (12)put (13)2 (14)sight (15)With (16)2 (17)4

## 解説

- (1)hear from 人「(人)から便りをもたらす」  
(2)lie は自動詞で「横になる」、lay は他動詞で「～を横にする、横たえる」ここでは、「私がソファの上に横になった」のであって、「私がソファの上で横にした」わけではないので、動詞は lie を選択する。lie「横になる」の過去形は lay、過去分詞形は lain であり、ここでは過去形を選ぶ。ちなみに、lay「～を横にする」は過去形・過去分詞形ともに laid である。lie にはもうひとつ「うそをつく」という動詞があるが、こちらの過去形・過去分詞形は lied。  
(3)now and then「ときどき」 at all times「いつも」 from time to time「ときどき」 once upon a time「かつて」 some time or other「いつか」  
(4)この男の最後の台詞に、スレーター夫人が無料掃除サービスと無料カーペットクリーニングサービスをあてたこと、そして I am here to do it.と言っていることから、彼がそのサービスを行うためにやってきていることがわかる。  
(5)hear + 人 + 原形「(人)が～するのを聞く」 heard someone walk「誰かが歩いていくのが聞こえた」

### 知覚動詞のいろいろ

知覚動詞は <動詞 + 目的語 + 原形または現在分詞または過去分詞> という形をとる。受身の場合は、原形が to 不定詞に変わる。

I watched her go out of the room. 私は彼女が部屋を出るのを見た。

I watched her going out of the room. 私は彼女が部屋を出て行くのを見た。

× I watched her to go out of the room.

視覚 : see, observe, watch 「...が～するのを見る」

I saw him walk across the street. 私は彼が通りを横切るのを見た。

I saw him walking across the street. 私は彼が通りを横切っているのを見た。

聴覚 : hear 「...が～するのが聞こえる」

I heard our dog bark. 私は犬がほえるのが聞こえた。

I heard our dog barking. 私は犬がほえているのが聞こえた。

I heard my name called by someone. 私は自分の名前が誰かに呼ばれるのを聞いた。

feel 「...が～するのを感じる」

He felt something touch his cheek. 彼は何か彼の頬に触れるのを感じた。

She felt her heart beating wildly. 彼女は心臓が激しく打っているのを感じた。

(6)cannot be too 形容詞「あまりに～という状態にはなれない」「どんなに～しても～しすぎることはない」 can't be too careful if you're out of work and...「もし失業中で...ならば、どんなに注意深くなくても注意深くなりすぎるといことはない」 get notices in the mail or else pushed「...に押し入れられた手紙や他のものの中に通知を受け取る」

(7)whoever = anyone who

(8)What is it (that) you want? 目的格の関係代名詞の省略と考えれば、「あなたが欲することは何ですか?」という意味に取れる。

(9)男がミス・スレーターについていくつかのことを述べている。"Two-fifty-five South Sixth East Street?..." "Mrs. Slater won a free vacuuming and carpet cleaning..."ミス・スレーターが住んでいる場所と彼女が何に当選したかという点をまとめる。

(10)lock「錠を下ろす」 unlock「錠をあける」直後に「ドアを少し開いた」とあるので、unlock。

(11)fill out「(米)記入する」= fill in

(12)take off「脱ぐ」 put on「着る」

(13)下線部は、And I'll just slip out of the boots (then).の省略された形。slip out of = slip off = take off「(服などを)脱ぐ」 slip into = slip on = put on「(服などを)着る」ただし、put や take より slip という動詞を使ったときのほうが「するりと着る」という滑らかさが出る。

(14)dim「薄暗くなる、曇る」 at (the) sight of A「Aを見て」 cite「引用する」 site「場所」

(15)with effort「努力して」 without any effort「努力せずに」

(16)直後に It was a vacuum cleaner.とある。

(17)No way.「とんでもない!」「掃除機なんていない。掃除機をくれるなんて冗談じゃない!」という意味となるので、4が正解。

## 全文訳

私は失業中であつたが、今すぐにも北から便りがあるのを心待ちにしていた。私はソファーに横たわって雨音を聞いていた。私は時折起き上がっては、カーテンを通して郵便配達人の姿を探していた。通りには人影がなかった。誰一人としていなかった。再び横になって5分もしないうちに、私はだれかが玄関に歩いてきて、立ち止まり、ノックする音を聞いた。私は横になったままであつた。私は、それが郵便配達人でないことを知っていた。私は彼の足音を知っていたのだ。(6)もし失業中にドアの下に入れられた手紙や他のものに含まれる通知を受け取ったときは、どんなに注意してもし過ぎることはない。とくにあなたが電話を持っていないならば、それらは話しながら巡ってくる。再び、ノックが鳴った。さっきよりも大きく。悪い兆候だ。私は起き上がり、玄関を覗こうとした。しかし、誰かはわからないがそこにいる人はドアに寄りかかる感じで立っていた。また悪い兆候だ。またノックがして、私は「どちらさまですか。」と言った。「私はオーブリー・ベルです。」と、男性は言った。「あなたはスレーターさんですか。」「どのようなご用件でしょうか。」私はソファーから呼んだ。「スレーター夫人に用がござりまして。彼女は何か賞品を当てました。スレーター夫人はご在宅でしょうか。」「ミセス・スレーターはここに住んでいません」と私は言った。「ええ、それでは、あなたはスレーターさんですか。」と男性は言った。「スレーターさん...」言いながら男性はくしゃみをした。私はソファーを立て、ドアの鍵を開け、少し開けた。彼は年を取り、レンコートの下は太って重そうな人であつた。水がコートから流れ落ちて、彼が持っている大きなスーツケースに垂れた。彼は微笑んで、大きなケースを置いた。彼は手を差し出した。「オーブリー・ベルです。」と彼は言った。「私はあなたを存じません。」私は言った。彼は、「ミセス・スレーターは」と始めた。「ミセス・スレーターはカードに記入なさいました。」彼は内ポケットからカードを取りだして、しばらく眺め回した。彼は、「ミセス・スレーター」と読んだ。「2-50-5 東5番街南。ミセス・スレーターは当選者である。」彼は帽子をとり、まったく当然のようにコートを帽子ではたいて、いかめしそうに首を縦に振った。彼は待っていた。「ミセス・スレーターはここには住んでいません。」と、私は言った。「彼女は何を当てたのですか。」「お見せしましょう。おじゃましてもよろしいでしょうか。」と彼は言った。「時間がかからないならばかまわないですよ。私はかなり忙しいのでね。」と、私は言った。「よろしいでしょう。」と、彼は言った。「まずはコートを脱がせてください。それからブーツも。カーペットを台無しにされたくはないでしょう。あなたはカーペットをお持ちのようにお見受けしますが。」彼の目が輝き、カーペットを見て目が曇った。彼は身震いをし、コートを脱いだ。それを払って、いすの背もたれにかけた。そして、かがんでぬれた靴を脱いだ。彼はケースを室内に置くとスリッパに履き替えた。私は郵便配達人いなかを確認するために通りをもう一度見てからドアを開めた。多少苦労して、彼はケースのロックをはずし、ケースは重そうに開いた。彼は、まるで教会にいるかのように静かに「これが何かわかりますか。」と言った。私はもっと近づいた。「それは電気掃除機だ。私にはそんなもの必要ありません。」と私は言った。「ぜんぜん要りません。」「だれもあなたが掃除機を必要としているなんて言っていないよ。でも、ここに...」彼は私に署名付のカードを手渡した。「ミセス・スレーターは無料掃除サービスと無料カーペットクリーニングサービスを当て、私はそのためにここにいるのですよ。」すでに、彼はケースを開けて、電気掃除機を組み立て始めていた。

## コラム 語源研究

### 語根 TEND

【語源】ラテン語の tendere「張る、広げる、伸ばす」を語源とする。tend「(伸ばす)...する傾向がある」、tense「びんと張った、緊迫した」、tension「びんと張ること、緊張」、tent「(張られるもの)テント」は同語源。

### 【単語】

• attend	ad(...に) + tend(伸ばす)	「...に足や心を伸ばす(=出席する、使える、注意して聞く)」
• contend	con(共に) + tend(張る)	「一緒に勢力を伸ばしあう(=戦う、争う、議論する)」
• distend	dis(離れて) + tend(伸ばす)	「離れたところまで伸ばす(=膨張させる)」
• extend	ex(外へ) + tend(伸ばす)	「外へ伸ばす(=拡張する)」
• intend	in(中に) + tend(伸ばす)	「中に手足を伸ばす(=意図する、~するつもりである)」
• pretend	pre(前に) + tend(伸ばす)	「前に伸ばす(=ふりをする、偽る)」

### 39 知識から知へ

Every English schoolboy, even the laziest, knows that the Normans conquered England in 1066. It is just part of the furniture of his mind. But can it really be called “knowledge”? (1)( ) if it is just a connection between a name, “the Normans”, a place, “England”, and a date, “1066”. These are merely bits and pieces of information arranged in a kind of metal mosaic. (2)A boy who merely learns the arrangement by heart can hardly be said to know anything — still less, to understand what he knows.

After all, who were the Normans? What kind of people were they, and where did they come from? What kind of culture did they have? What was their literature, their poetry, their traditional folklore? And what was England (3)( ) at that time? What kind of people were the English? What was their culture, their literature, (4)( ) (5)that of the Normans? And then, why did the Normans invade England? And why were the English (6)( )? And finally, (7)why did all this take place in the crucial year, 1066?

These are all questions that have to be answered if (8)the historical statement is to have any meaning — if the boy who repeats the statements is to have any knowledge of (9)( ). Even so, the answers to these questions are only items of knowledge, mere fragments of a mosaic or jig-saw puzzle, which gradually come together in the mind and so form what is called “knowledge.” And even so this knowledge is (10)(meaningful, meaningless) unless it is somehow related to the actual position of the knower, and so forms what is called “wisdom”.

(11)This is, in fact, the aim of education: not just to give information about this or that, but to relate bits and pieces of knowledge to each other in a unified vision or understanding of life. (12)The more things it concludes, the better, provided it doesn't merely include them, but goes on to relate them to each other.

## 設問

(1)(3)(4)(6)(9)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

(1) 1. Even 2. Maybe 3. Not 4. So

(3) 1. like 2. likely 3. look 4. seem

(4) 1. in comparison with 2. in connection with 3. in order to  
4. in place of

(6) 1. defeated 2. lost 3. overcome 4. won

(9) 1. what he is saying 2. what he knows 3. what is called "wisdom"  
4. what was their culture

(2)(11)(12)下線部を和訳せよ。

(5)(8)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(7)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

why did all this ( ) about in the crucial year

(10)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(13)本文の内容と一致するものを次から選べ。

1. The historical statement of the Normans' conquest of England enhances the mind of every English schoolboy.

2. The furniture of every English schoolboy's mind is really called "knowledge".

3. To get knowledge, we don't need mere fragments of a mosaic or jig-saw puzzle of information.

4. In order to form "wisdom", it is useful to think the relation of oneself to knowledge.

5. The aim of education is just to give information about this or that.

(14)本文の大意を information, knowledge, wisdom の 3 語を用いて 60 字以内の日本語で書け。  
設問中の 3 語は区別した日本語に訳して用いること。

### **Further Expressions**

#### **《少しずつ》**

Only items of knowledge **gradually** come together in the mind. 【だんだんと】

Only items of knowledge come together in the mind **little by little**. 【少しずつ】

Only items of knowledge come together in the mind **step by step**.

Only items of knowledge come together in the mind **by degrees**. 【次第に】

#### **《起きる》**

Why did this war **happen** in the year 1066? 【起きる】

Why did this war **occur** in the year 1066?

Why did this war **come about** in the year 1066?

Why did this war **break out** in the year 1066?

Why did this war **take place** in the year 1066?



## 解答

(1)3 (2)全文訳参照 (3)1 (4)1 (5)文化と文学 (6)1 (7)come (8)1066年にノルマン人がイングランドを征服した。(9)1 (10)meaningless (11)全文訳参照 (12)全文訳参照 (13)4 (14)名前や年号のような単なる情報の断片はその意味を理解することで知識になり、更に現実の本人の立場に関係して初めて知を形作る。(60字)

## 解説

- (1)can it really be called..?という前文に対する答え Not(it can not be called knowledge を省略した形)が入る。Not if it is just a connection between...「もしもそれが...の間のただのつながりでしかないとしたら、それはそうではない」
- (2)learn A by heart「Aを暗記する、暗唱する」merely learns the arrangement by heart「ただ配列を覚えるだけ」A boy...can hardly be said to ~「...な少年は~とはほとんど言えない」still less = much less「いわんや、ましてや~ない」
- (3)what was England like「イングランドはどのような状態だったのだろうか」wasがあるので動詞の3.look 4.seem は不適切。likely は be likely to 不定詞で「~しそうである」
- (4)What was their culture...in comparison with that of the Normans?「ノルマン人のものと比較すると彼らの文化はどうだったのか？」in comparison with A「Aと比較して」in connection with A「Aに関連して」in order to 不定詞「...のために」in place of A「Aのかわりに」
- (5)What was their culture, their literature, in comparison with that of Normans「彼らの文化や、文学はノルマン人のものと比較してどうだったのか？」thatは直前の culture と literature である。
- (6)why were the English defeated?「なぜイギリス人は負けたのか？」wereがあるので defeat「打ち負かす」を受身にした形が適切。overcome「打ち勝つ、克服する」
- (7)take place=come about「(事件などが)起こる」なお他動詞「(事件などを)起こす」の場合は、take place=bring about となる。in the crucial year「決定的な年に」
- (8)the historical statement「歴史的記述」前段落のような問題を抱える歴史的記述とは、第1段落の the Normans conquered England in 1066.である。
- (9)if the boy who repeats the statements is to have...「その記述を暗唱する少年が...を持つべきだとしたら」if S be to do はここでは「~するべき(義務)」である。この一文は、もし歴史的記述が意味を持つべきだとすれば(これらの問題はすべて答えられねばならない)という前文と同じ内容を言い換えて説明している。歴史記述が意味を持つとは、少年が自分で暗唱していることに対し知識を持つことである。よって正解は1.

### be to のいろいろ

予定 : 「~することになっている」

We are to meet at six. 私たちは6時に会う予定だ。

義務 : 「~すべきだ」

We are to wait till he comes. 私たちは彼が来るまで待たなければならない。

You are not to leave this building. 君はこの建物から出てはいけないうことになっている。

運命 : 「~する運命になっている」

He was never to see his family again. 彼は2度と家族に会うことはなかった。

可能 : 「~できる」

The ring was not to be found anywhere. 指輪はどこにも見つからなかった。

意志 : 「(if節で)~したいと思うなら」

If you are to win the game, we must start training now. もし試合で勝つつもりなら、もう練習を始めなければならない。

(10)unless it is somehow related to the actual position of the knower「それが何らかの方法で知っている本人の現実の立場に関係していない限り」その条件を満たさなければ知識 knowledge は meaningless「無駄」である。そしてその条件を満たすことで知識は知を形づくる、と言っている。(and so forms what is called “wisdom”)

(11)This is, in fact, the aim of education「事実、これが教育の目的である」その後が the aim の具体的な説明になっている。not just to give..., but to relate ~「ただ...を与えるのではなく、~に関係づけることである」this or that「あれやこれや」bits and pieces of knowledge「知識の断片や部分」relate A to[with] B「BとAを関係づける」in a unified vision or understanding of life「生活の統合された洞察と理解において」

- (12)the more things it concludes, the better.「それが多くのものを結論づけるほどより良い」 the 比較級 S V, the 比較級 S V「すればするほどますます」の構文で the better の後に it(education) is が省略されている。provided (that) ~ 「もしも ~ ならば」 go on to do「つづけて ~ する」
- (13)4 が正解。it is useful to...「(自分自身と知識との関係を考えること)は役立つ」は第 3 段落の内容に一致する。1.The historical statement...enhances the mind of every English schoolboy.「...の歴史的記述はすべてのイギリス人の学生の心を高めた」は第 1 段落に It is just part of the furniture of his mind とあるから誤り。2 は第 1 段落で Not if it is just a connection between a name とありただ名前同士のつながりでしかないとしたらそれは知識とは呼べない、といているので誤り。3 は、単なる情報のモザイクやジグソーパズルのかげらはより集まって知識をつくる、と第 3 段落にあるので誤り。5.第 4 段落に教育の目的はただこれやあれについての情報を与えるのではなく、to relate bits and pieces of knowledge to each other である、と述べられているので誤り。
- (14)information「情報」、knowledge「知識」、wisdom「知」ノルマン人、イングランドといった個々の名前が集まることで知識を形成する。しかしその歴史的意味が理解できたとしてもそれで満足ではなく、その知識が知識を有する人自身の現実の立場と結びつくことで、初めて「知」とよべるものになる。歴史的記述は情報 知識 知と発展していくことを説明する。

## 全文訳

イギリスのどんな生徒でも、たとえそれが一番怠惰な生徒であってさえ、1066 年にノルマン人がイングランドを征服したということは知っている。それは彼の記憶の中ではただのどうでもよい事柄に過ぎない。しかし、それが果たして「知識」と呼べるのだろうか？いや、呼べない。もしもそれが「ノルマン人」という名前や、「イングランド」という地名や、あるいは「1066 年」という日付のつながりでしかないとしたら。これらは金属のモザイクのようにきちんと並べられた、単なる情報の断片や部分に過ぎない。(2)ただその配列を覚えただけの少年は、何かを知っているとはほとんど言えないし、まして自分の知っていることを理解しているとは言えない。

結局、ノルマン人とは誰だったのだろうか。彼らはどんな種類の人々で、どこから来たのだろうか？どんな文化を彼らは持っていたのだろうか？文学は、詩は、伝統的な民間伝承はどんなものだったのであろうか？そのときイングランドはどんな状態だったのだろうか？イギリス人とはどのような人々だったのか？彼らの文化や文学はノルマン人のものと比較するとどうであったのか？それに、なぜノルマン人はイングランドを侵攻したのか？なぜイギリス人は負けたのか？そして結局、なぜ 1066 年という決定的な年にこの一連のできごとがおこったのか？

これらはすべて、答えられなければならない問題である。もしもその歴史的記述が意味を持つべきだとすれば。もしもその記述を暗唱する少年が、自分の言っていることに関する知識を持つべきだとすれば。しかしたとえ答えられたとしても、これらの問題に対する答えというのは、単なる知識の項目名であり、ジグソーパズルやモザイクのかげらに過ぎない。それらは徐々に頭の中に集まっていゆる「知識」と呼ばれるものを形成する。けれどたとえ形成されたとしても、知っている本人の実際の立場になんらかの方法で関係し、そうすることによって「知」と呼ばれるものを形づくるのでないかぎり、それは無意味である。ある。

(11)言ってしまうと、これが教育の目的なのである。つまりただ単にこれやあれについての情報を与えるのではなく、生活の統合された洞察と理解において、知識の断片あるいは部分を互いに関係づけていくことである。(12)もしそれらを含むだけでなく、続いてそれらを互いに関係づけるのなら、教育は多くのことを結論づければ結論づけるほどよい。

## コラム 語源研究

### 語根 CIDE, CISE

【語源】ラテン語の caedere「切る、殺す」を語源とする。scissors「切るもの はさみ」にも CISS という変化した形が見える。

### 【単語】

- ・ concise con(完全に) + cise(切る) 「きっぱり切った(=簡潔な)」
- ・ decide de(離す) + cide(切る) 「(迷いなどを)切り離す(=決める)」
- ・ precise pre(前) + cise(切る) 「前のほう(端)を切り捨てる(=正確な)」
- ・ homicide homo(ヒト) + cide(殺す) 「殺人」
- ・ suicide sui(自身) + cide(殺す) 「自殺」

## 40 外国語学習と誤り

Errors are (1)inevitable when you are trying to learn something as (2)complex as a new language. Since most errors result (3)( ) the learning process itself, try to look on them as a potential source of information and a way of (4)improving your skills. Here are a few suggestions on how to deal (5)( ) errors.

Some people are so worried about making mistakes that they don't say anything (6)( ) they are sure they can say it correctly. This leads (7)( ) a (8)vicious circle: they make errors because they haven't practiced enough, yet at the same time they deprive themselves (9)( ) the opportunity to practice for fear (10)( ) making mistakes. Remember that (11)language learning is a gradual process during which the student moves through successive approximations of skill. This process requires much practice, which includes making errors and being corrected. (12)Don't hold back until that magic future moment when you think you will be able to speak without making errors. (13)( ) practice, that moment will never come.

Errors often occur in speech because of pressure to (14)respond quickly. Speaking involves many things (15)simultaneously: choosing meaning, correct grammar, (16)appropriate vocabulary, and proper (17)(pronounce). (18)Since meaning is most important, a speaker often concentrates on it and lets other aspects slip. This is natural, and, (19)( ) a result, you are likely to make a lot more errors in speaking than in writing. Fortunately, listeners are much more (20)tolerant than readers. (21)( A ) don't have time to analyze every mistake you may make, but ( B ) do. (22)Therefore, when ( A ), don't let concern with grammar and vocabulary destroy your fluency. On the other hand, when ( B ), give extra care to correctness.

## 設問

(1)(2)(4)(14)(15)(16)(20)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(1) 1. foreseeable 2. negligible 3. unavoidable 4. unpredictable

(2) 1. complicated 2. disgusting 3. important 4. interesting

(4) 1. finding fault with 2. making better 3. making use of 4. showing off

(14) 1. address 2. listen 3. reply 4. think

(15) 1. at the same time 2. one after another 3. with a wide range

4. with high speed

(16) 1. colloquial 2. contemporary 3. simple 4. suitable

(20) 1. absent-minded 2. broad-minded 3. self-interested

4. short-tempered

(3)(5)(7)(9)(10)(19)空所にあてはまる適当な前置詞を次から選べ。同じ番号を何度用いてもよい。

1. as 2. from 3. in 4. of 5. on 6. to 7. with

(6)(13)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. during 2. despite 3. though 4. unless 5. while 6. without

(8)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。なお、その中に vicious circle の訳語を含めること。

(11)(12)(18)下線部を和訳せよ。

(17)カッコ内の語句を適当な名詞形に直せ。

(21)空所にあてはまる適当な語句の組み合わせを次から選べ。

1. (A) Listeners (B) readers 2. (A) Readers (B) listeners

3. (A) Writers (B) speakers 4. (A) Speakers (B) writers

(22)空所にあてはまる適当な語句の組み合わせを次から選べ。

1. (A) listening (B) reading 2. (A) reading (B) listening

3. (A) writing (B) speaking 4. (A) speaking (B) writing

(23)第1段落と第2段落の内容を合わせて50字以内の日本語で要約せよ。

(24)次の各語のアクセントのある音節を選べ。

(A) in-ev-i-ta-ble (B) si-mul-ta-ne-ous (C) ap-pro-pri-ate

1 2 3 4 1 2 3 4 5 1 2 3 4

(D) con-cen-trate

1 2 3

### Further Expressions

#### 《不可避》

Errors are inevitable in learning a foreign language. 【避けられない】

We can't avoid making errors in learning a foreign language. 【避ける】

We can't be free from errors in learning a foreign language. 【悩まされない】

We can't escape from errors in learning a foreign language. 【逃れる】

We can't keep from making errors in learning a foreign language. 【供給する】

#### 《恐れる》

Many people don't speak English for fear of making mistakes. 【恐れて】

Many people fear that they may make mistakes when speaking English. 【恐れる】

Many people are afraid that they may make mistakes when speaking English.

## 解答

(1)3 (2)1 (3)2 (4)2 (5)7 (6)4 (7)6 (8)十分に練習していないから間違えるのに、間違えることを恐れてさらに練習しなくなるという悪循環。(9)4 (10)4 (11)全文訳参照 (12)全文訳参照 (13)6 (14)3 (15)1 (16)4 (17)pronunciation (18)全文訳参照 (19)1 (20)2 (21)1 (22)4 (23)言語を習得する過程では誤りを避けられず、誤りとその訂正を通じて繰り返し練習することが大切である。(48字) (24)(A)2 (B)3 (C)2 (D)1

## 解説

- (1)inevitable「避けられない」 foreseeable「予見できる」 negligible「無視できるほどの、とるに足らない」 unavoidable「避けられない」 unpredictable「予測できない」 Errors are inevitable「誤りは避けられない」
- (2)complex「複雑な」 complicated「込み入った、複雑な」 disgusting「気分の悪くなるような、不愉快な」 something as complex as a new language「新しい言語と同じくらい複雑な」
- (3)result from A「Aに起因する」 most errors result from the learning process itself「大部分の誤りは学ぶ過程自体から生ずる」
- (4)improve「改善する」 find fault with A「Aの文句をいうこと」 make better「よりよくする」 make use of「Aを利用する」 show off「(能力や成果を)見せびらかす」 a way of improving your skills「あなたの技術を改善する方法」
- (5)deal with A「Aを扱う」 how to deal with errors「誤りをどう扱えばよいのか」
- (6)Some people are so worried about making mistakes that they don't say anything「間違えることがとても心配で、何も言わない人がある」 they are sure they can say it correctly「彼らはそれを正しく言えると確信している」 unless を入れ、unless they are sure...「彼らが...を確信していない限り～」とすればよい。 despite「～にもかかわらず」や while「～けれども」など他の接続詞では意味が通じない。
- (7)lead to A「Aに至る」 This leads to a vicious circle「これは悪循環にいたる」
- (8)vicious circle「悪循環」 具体的内容はその後 they make errors...にある。
- (9)deprive A of B「AからBを奪う」 they deprive themselves of the opportunity「彼らは自分たち自身から機会を奪っている」
- (10)for fear of A「Aを恐れて」 for fear of making mistakes「間違えることを恐れて」
- (11)gradual process「漸進的な過程」 関係代名詞 whichの先行詞は a gradual process である。 process during which the student moves through...「生徒たちが...を通じて前進する過程」 move through A「Aを通じて動く」 successive approximations of skill「技能の一連の近似」
- (12)hold back「ためらう」 until magic future moment「魔法のような未来の瞬間まで」 when は that magic future moment にかかりその内容を説明している。 when you think (that) you will be able to speak without making errors.「自分は間違えることなく話すことができると、あなたが思うとき」
- (13)直前に This process requires much practice.「この過程(=語学習得の過程)は多くの練習を要する」とあるので、 Without practice, that moment will never come.「練習なくしては、その瞬間(=夢のような未来の瞬間)はけっしてやってこない」となる。
- (14)respond「答える」 address「演説する、話しかける」 reply「答える」 pressure to respond quickly「早く答えねばならないという圧迫感」
- (15)simultaneously「同時の」 at the same time「同時に」 one after another「次々に、一人ずつ」 with a wide range「大きな幅を持つ」 Speaking involves many things simultaneously「話すことは同時に多くのことを必要とする」
- (16)appropriate「適切な」 colloquial「口語の、話し言葉の」 contemporary「同時代の、現代の」 suitable「適した、ふさわしい」 appropriate vocabulary「適切な語彙」
- (17)pronounce「発音する」 pronunciation「発音」 スペリングに注意。 proper pronunciation「適切な発音」
- (18)since「...だから」 meaning is most important「意味が最も重要である」 a speaker often concentrates on it「話し手はしばしばそれに集中する」 it は meaning「意味」を指す。 let other aspects slip「他の側面を逃してしまう」 let A slip=let slip A「Aを逃す、うっかりもらす」

### 最上級と the

名詞を修飾する場合(限定用法)、the がつく。

She is the cleverest girl in the class. 彼女がクラスで一番賢い。

補語として用いられている場合(叙述用法)で同一物の比較のときは the がつかないことが多い。

The rain was heaviest then. 雨はそのとき最も激しかった。

The village is most beautiful in spring. その村は春が最も美しい。

\*ただし、あきらかに次に名詞が省略されている場合は、the をつける。

He is the tallest in the class. 彼はクラスで最も背が高い。(boy が省略されていると考える)

副詞の最上級は、the をつけたりつけなかったりする。

He runs (the) fastest in the world. 彼は世界で最も速く走る。

(19)as a result「その結果として」

(20)tolerant「寛容な」 absent-minded「ぼんやりした、忘れっぽい」 broad-minded「心の広い」 minded は形容詞、副詞につけて「～という心(気質)をもった」という意味を表す。self-interested「利己主義の」 short-tempered「短気な」 listeners are much more tolerant than readers「聞き手は読み手よりもずっと寛容である」

(21)Fortunately, listeners are much more tolerant than readers.「幸運なことに、聞き手は読者よりもずっと寛容である」という前の文を受けてその理由を説明している。A don't have time to analyze every mistake you may make, but B do「A はあなたが犯すかもしれないすべての間違いを検討する時間がないが、B にはある」 聞き手は時間がなく、読者にはそれがある。だから聞き手は読者よりも寛容なのである。

(22)Therefore「したがって」とあるから話は聞き手と読者について述べた前文からの続きである。when A, don't let concern with grammar and vocabulary destroy your fluency.「A のときには、文法や語彙への関心があなたの流暢さを破壊させてはいけない」。let + 目的語 + 動詞の原形で、目的語は concern with grammar and vocabulary である。when B, give extra care to correctness.「B のときには正確さに余分な注意を払いなさい」 聞き手や読者に対して、話し手や書き手がどうあるべきかを述べている。流暢さを壊してはいけないのは話し手、書き手は逆に流暢さよりも言葉の正確さに注意しなくてはならない。

(23)第 1 段落にあるように、言語の習得において誤りは避けられないものであるということ。そして第 2 段落にあるように、言語は間違え訂正するという練習を通じてこそ上達するものなのだよということ。この 2 つのポイントを押さえてまとめる。

(24)(A)inévitable (B)simultaneous (C)appropriate (D)concentrate「集中する、集まる」

### 全文訳

新しい言語のように複雑なものを学ぼうとするとき、誤りは避けられない。大部分の誤りというのは学ぶ過程自体から生ずるので、誤りを情報源となりうるもの、あなたの技能を向上させる道だと見なすようにすることだ。誤りをどう扱えばよいのか、以下にいくつか案を示そう。

間違えることがとても心配で、それを正しく言える自信がない限り何も言わない人々がいる。だがこれでは悪循環に陥る。というのも彼らは十分に練習していないから間違えるのであるが、それと同時に、間違えることを恐れるため自分が練習する機会を自分で奪ってしまっているのだ。(11)ことばの習得は徐々に進む過程であり、その間に学習者は一連の技能に近いものを通して進歩していくのだということ覚えておくべきだ。この過程は、誤りをおかすことと訂正されることを含む多くの練習を要するのである。(12)あなたは、誤ることなく話すことができると自分で思えるような、夢のような未来の瞬間まで、ためらってはならない。練習なくしてその瞬間は決してやってこないだろう。

誤りはしばしば会話の中でおこる、なぜなら早く応えなければならぬという圧迫感があるからだ。話すことは多くのことを同時に必要とする。意味を選ぶこと、正しい文法、適切な語彙、そして正しい発音。(18)意味がもっとも重要なので、話し手はしばしばそれに集中して他の側面を見逃してしまう。これは当然のことである。そして結果的に、あなたがたは話すときには書くときよりずっと多くの誤りを犯しがちである。しかし幸運なことに、聞き手というのは読者よりもずっと寛容である。聞き手にはあなたの言った間違いのすべてを検討している時間はない。だが、読者にはその時間があるのである。したがって話すときには、文法や語彙への関心が滑らかな会話の流れを壊してしまうようなことがあってはならない。その一方であなたは、書くときにはことばの正しさに、余分に注意を払いなさい。

## 第9章 多義語の意味を判別する

### 41 車社会がもたらしたもの

Cars did not become necessities for families in the United States until after World War II. Before that time, cars were seen mainly as toys for the rich. By the end of the war, however, people were (1)( ) of saving their money and limiting their use of items. They were ready to have some fun. (2)( ) Europe and Japan, whose industries had been (3)wiped out by World War II, factories in the United States could quickly be changed from production of wartime items to mass production of such luxury items as cars. Two other factors also (4)( ) the population of the United States take cars into their lives – low oil prices and drivable roads. With the (5)(discover) of oil fields in both Texas and Oklahoma, (6)the price of gasoline was well within the reach of the average household. Also, the flat, open plains of the Midwest were well (7)( ) laying down new roads designed for easy travel by car.

As cars (8)( ) in (9)(popular) in the United States, there were also changes in lifestyle. Farmers who were once (10)cut off from society by the isolation of (11)(urban, country) life now took weekend trips into the city. As well, workers in the (12)(cities, countryside) no longer needed to stay in \*inner city housing in order to keep their jobs at nearby factories. Those who made enough money moved out of the cities and into the suburbs. (13)Now that each family had its own car, driving to and from work out of the suburbs became a common practice. The car boom also (14)( ) about changes in many businesses. All at once \*drive-in movie theaters and \*drive-thru restaurants began to appear across the country.

Cars not only changed the way people lived, they also changed (15)the way they thought. Traditionally, parents were the strongest \*role models for teenagers because young people spent (16)( ) of their time in and around the home when they weren't in school. However, (17)once they had their own driver's license and had access to cars, teens began spending more time out "cruising" with friends. Therefore, they became (18)( ) likely to follow the behavior of their parents and (19)( ) likely to follow the behavior of their fellows. The term cruising actually (20)( ) to the act of driving with the purpose of seeing others while being seen.

In the United States, cars remain necessities for most people even as large cities attempt to build faster and more efficient public transportation systems. (21)The increasing costs of buying and maintaining cars make these items the second largest expense in homes in the United States after the cost of housing itself.

(注) inner city : 大都市の中心の低所得者が住む地域

drive-in movie theater : 車に乗ったまま見ることができる映画館

drive-thru restaurant : 車に乗ったまま食事をする事ができるレストラン

role model : 模範となる人

設問

(1)(4)(8)(14)(20)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

bring grow help refer tire

(2)(7)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

(2) 1. Like 2. Unlike 3. With 4. Without

(7) 1. fit to 2. suited for 3. unsuitable to 4. unfit for

(3)(10)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. despised 2. destroyed 3. overtaken 4. spread 5. removed

(5)(9)カッコ内の語句を適当な名詞形に直せ。

(6)(13)(17)下線部を和訳せよ。

(11)(12)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(15)下線部における「考え方」の変化について、30字程度の日本語で説明せよ。

(16)(18)(19)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. least 2. less 3. more 4. most

(21)下線部によると、家庭が負担する大きい費用の1位と2位はそれぞれ何か、次から選べ。

1. 1位：住居費、2位：車の購入代と維持費

2. 1位：住居費、2位：公共機関の交通費

3. 1位：車の購入代と維持費、2位：住居費

4. 1位：公共機関の交通費、2位：住居費

(22)本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。

1. In spite of the car boom in the United States, the lives of teenagers were the same as ever.

2. Two factors that helped Americans to buy cars were narrow streets and many gas stations.

3. Though cars allowed Americans to move around freely, their lifestyle did not change at all.

4. Before the coming of the car age, parents were the chief models for young people.

5. Cars became more and more popular, until they became a status symbol among American people.

6. One reason why Europeans did not buy as many cars as Americans did after World War II was that few factories in Europe were producing cars.

**Further Expressions**

**〈～の目的で〉**

The term "cruising" refers to the act of driving with [for] the purpose of seeing others.

**【～の目的で】**

The term "cruising" refers to the act of driving with the [a] view of seeing others.

The term "cruising" refers to the act of driving with a view to seeing others.

The term "cruising" refers to the act of driving in order to see others. 【～するために】

The term "cruising" refers to the act of driving so as to see others.

**〈値段が安い〉**

Oil is cheap. 【安い】

Oil is not expensive. 【高くない】

The price of oil is low. 【値段が安い】

The price of oil is not high. 【値段が高くない】

You can buy oil at a low price. 【安価で】



## 解答

(1)tired (2)2 (3)2 (4)helped (5)discovery (6)全文訳参照 (7)2 (8)grew (9)popularity  
(10)5 (11)country (12)cities (13)全文訳参照 (14)brought (15)若者たちは両親ではなく仲間の行動を模範とするようになった。(29字)(16)4 (17)全文訳参照 (18)2 (19)3 (20)refers (21)1  
(22)4,6

## 解説

- (1)be tired of A「Aに飽きる」
- (2)大戦によって産業が壊滅したヨーロッパや日本と、素早く生産物の転換をできたアメリカの工場のこと対照的に述べられている。よって2.Unlikeが正しい。
- (3)industries had been wiped out「産業が一掃された=壊滅された」よって2.destroyed「破壊された」に近い。
- (4)A help B (to) do「AはBが~するのを促進する、~するのに役立つ」
- (5)discover → discovery「発見」
- (6)within the/one's reach「十分に手の届くところにある」 well は副詞で「十分に」 the average household「平均的な世帯、家族」
- (7)be suited for[to] A「Aに適している、ふさわしい」 wereがあるので fit to は不適。 the flat, open plains of the Midwest were well suited for laying down new roads.「中西部の平らで開けた土地は新しい道を敷設するのによく適していた」
- (8)grow in A「(Aの点で)増える、発展する」
- (9)popular → popularity「人気」
- (10)Farmers who were once cut off from society「かつて社会から切り離されていた農夫たち」 5.removed「離れた、隔たった」に近い。
- (11)cut off from society by the isolation of country life.「田舎暮らしの孤立によって社会から隔てられていた」 農夫たちの説明であるから country が正解。 urban「都市の」
- (12)workers in the cities no longer needed to stay in inner city housing「都市に住む労働者たちはもはや旧市街に住む必要がなくなった」 inner city「旧市街」に住んでいる労働者だから cities が正しい。
- (13)Now that...「今や...だから」 drive to work「車で仕事に行く」 common practice「一般的な慣例、やり方」
- (14)bring about A「Aを引き起こす」
- (15)They also changed the way they thought「彼らは考え方を変えた」Traditionally...以降にその説明がなされている。家にいることの少なくなった若者たちは、両親ではなく自分の仲間たちの行動を模範として、それに従うようになったのである。
- (16)young people spent most of their time in and around the home when they weren't in school. 「若者たちは学校にいないとき家の中やその周囲でほとんどの時間を過ごした」
- (17)once ~ 「一度~すると」 access to A「Aの入手(利用)の権利(方法)」 “cruising”は「クルージング」 cruise とは「船などで巡航する」の意味。
- (18)they became less likely to follow the behavior of their parents「彼らは自分たちの両親の行動にならなくなった」
- (19)...and more likely to follow the behavior of their fellows.「彼らの仲間の行動によりならうようになった」
- (20)refer to A「Aに言及する、関係する」 The term cursing actually refers to ~ 「事実、クルージングという用語は~に関係する」これは一般的事実を述べる文なので現在形になる。
- (21)the second largest expense in homes「家庭において二番目に大きな支出」 after the cost of housing itself「住居自体の支出の次に」 after は「順番が~の次に、あとに」よって1.が正解。
- (22)1.正しいのは4.Before the coming of the car age, parents were the chief models for young people.「車の時代が来る以前、両親は若者にとって主要な模範であった。」これは第3段落の内容に合致する。6.One reason why Europeans did not buy as Americans did after World War II was that few factories in Europe were producing cars.「第二次世界大戦後、ヨーロッパの人々がアメリカ人ほど車を買わなかった理由の一つは、ヨーロッパには車を製造する工場がほとんどなかったことである。」これは第1段落に合致する。他は、1.車のブームで若者たちの行動が大きく変わったのだから間違い。2.車の購入を促進した理由は narrow streets「狭い道」ではないので間違い。

3.車はアメリカ人のライフスタイルを大きく変えたのだから誤り。5.車は金持ちの玩具から大部分の人々の必需品になったのだから until they became a status symbol「ステータスシンボル(地位の象徴)になるまで」は間違いである。

## 全文訳

アメリカ合衆国の家族にとって車が生活必需品になったのは、第二次世界大戦後のことであった。それまで車は金持ちの玩具としてみられていた。しかし人々は戦争が終わるまでに、貯蓄したり商品の利用を控えたりするのに飽きてきていた。彼らは楽しむ準備ができていた。大戦によって産業が壊滅したヨーロッパや日本と異なり、アメリカの工場は軍需品の製造から車のような奢侈品の大量生産へと、素早く転換をはかることができた。その他にも二つの要因のために、アメリカの住人は自分たちの生活に車を取り入れるよう促された。その要因とは、低価格の石油と運転しやすい道路である。テキサスとオクラホマの油田が発見されたので、(6)ガソリンは平均的な家族にも十分手の届く値段になった。また中西部の平らで開けた平地は、車で通りやすいような新しい道を敷設するのによく適していた。

アメリカでは車の人気が増すにつれ、ライフスタイルも変化した。かつては田舎での孤立した生活のために、社会から隔離されていた農夫たちが、今や週末には都市まで出てくる。その上、都市の労働者たちも、近くの工場での仕事を続けるために都心の旧市街に住む必要は、もはやないのである。十分なお金を稼いだ人は、都心を離れて郊外に移った。(13)各家庭が自分たちの車を持っている以上、車で郊外から仕事に通うことは一般的なやり方になった。車ブームは多くの職業にも変化をもたらしした。突然ドライブインの映画館やドライブスルーのレストランが国中に現れはじめた。

車は人々の生活を変えただけでなく、それらは人々の思考も変えてしまった。伝統的には、若者にとって、もっとも強く模範となる人物は両親であった。若者は学校に行かないときほとんどの時間を、家やその周辺で過ごしていたからである。しかし(17)一度彼らが自分の運転免許証をとり、車を使えるようになると、若者たちはより多くの時間仲間と一緒に「クルージング」をして過ごすようになった。そのために彼らは両親の態度にならず、仲間たちの態度にならうようになった。事実、クルージングという用語は、他人を見る一方で他人に見られるために運転する行為であることを指しているのである。

アメリカでは、大都市がより速くより効率的な公共交通機関の建設を試みているときでさえ、いまだ大部分の人々にとって車は必需品である。車を購入し、維持する費用が増大しているので、アメリカの家庭ではこれらのものにかかる費用が、住居費について二番目に高い。

## コラム 語源研究

### 語根 VID,VIS

【語源】ラテン語の videre「見る」が語源。フランス語 voir「見る」、イタリア語 vedere「見る」、スペイン語 ver「見る」、ポルトガル語 ver「見る」なども同語源である。video「ビデオ」とはラテン語で videre を直説法 1 人称単数現在形に活用させた形で「私は見る」という意味。vision は「見ること」から「視力、光景」に、visit は「見に行く」から「訪ねる」に、visualize「目に見えるようにする」、visage「顔、容貌」、visible「見ることができる」、view「見る」など、形は少し異なるが意味をよく残している。

### 【単語】

- advise ad(...の方へ) + vise(見る) 「(人の方へ見る(= 助言する))」
- envisage en(中に) + visage(容貌) 「(心の中で容貌を形づくる(= 心に描く))」
- envy en(中を) + vy(見る) 「(相手の)中身をじっと見る、横目で見る(= 羨む、ねたみ)」
- evident e(外へ) + vident(見る) 「(はっきりと)外に見える(= 明白な)」
- improvise im(否定) + pro(前もって) + vise(見る) 「前もって見ておかない(= 即興で作る)」
- interview inter(相互に) + view(見る) 「相互に見合う(= 会見する、面接する)」
- provide pro(前もって) + vide(見る) 「前もって見ておく(= 備える、供給する)」
- revise re(再び) + vise(見る) 「再び見直す(= 改訂する)」
- supervise super(上から) + vise(見る) 「(高台の上から見る(= 監督する))」
- survey sur(上から) + vey(見る) 「上から見る(= ざっと見渡す、概観する、調査する)」
- television tele(遠い) + vision(見る) 「遠くのものを見ること(= テレビ)」

## 42 白石と黒石のトリック

Many years ago when a person who (1)owed money could be thrown into jail, a merchant in London (2)had the misfortune to owe a huge sum (3)( ) a money-lender. The money-lender, who was old and ugly, (4)fancied the merchant's beautiful teenage daughter. He proposed (5)a bargain. He said he would (6)cancel the merchant's debt if he could have the girl instead.

Both the merchant and his daughter were (7)horrified at the proposal. So (8)the cunning money-lender proposed that they let Providence decide the matter. He told them that he would put a black pebble and a white pebble into an empty money-bag and then the girl would have to pick out one of the pebbles. If she chose the black pebble she would become his wife and her father's debt would be canceled. If she chose the white pebble she would stay with her father and the debt would be canceled. But if she (9)refused to pick out a pebble her father would be thrown into jail and she would starve.

(10)Reluctantly the merchant agreed. They were standing on a pebble-covered path in the merchant's garden as they talked and the money-lender stooped down to pick up the two pebbles. As he picked up the pebbles the girl, sharp-eyed with fright, noticed that he picked up two black pebbles and put them into the money-bag. (11)He then asked the girl to pick out the pebble that was to decide her fate and that of her father.

Imagine that you are standing on the path in the merchant's garden. What would you have done if you had been the unfortunate girl? If you (12)(had, had had, have, have had) to advise her what would you have advised her to do?

What type of thinking would you use to solve the problem? You may believe that careful logical analysis must solve the problem if there is a solution. This type of thinking is straightforward vertical thinking. The other type of thinking is lateral thinking.

The girl in the story put her hand into the moneybag and drew out a pebble. (13)Without looking at it she fumbled and let it fall to the path where it was immediately lost among all the others.

'Oh, (14)how clumsy of me,' she said, 'but never mind — if you look into the bag you will be able to tell which pebble I took by the color of the one that is left.'

(15)Since the remaining pebble is of course black, it must be assumed that she has taken the white pebble, since the money-lender dare not admit his dishonesty. In this way, by using lateral thinking, the girl changes what seems an impossible situation into an extremely advantageous one. (16)The girl is actually better off than if the money-lender had been honest and had put one black and one white pebble into the bag, for then she would have had only an even chance of being saved. (17)As it is, she is sure of remaining with her father and at the same time having his debt canceled.

### 設問

(1)(2)(4)(6)(7)(9)(17)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(1) 1. borrowed money 2. stole money 3. was in debt 4. was in charge of money

(2) 1. failed to have a chance to owe 2. missed the fortune to owe  
3. mistakenly owed 4. unfortunately owed

(4) 1. admired 2. esteemed 3. imagined 4. liked

(6) 1. call off 2. put off 3. set off 4. take off

(7) 1. angry with 2. delighted with 3. frightened of 4. worried about

- (9) 1. turned down 2. turned in 3. turned out 4. turned up  
 (17) 1. Apparently 2. In reality 3. In spite of 4. Seemingly
- (3) 空所にあてはまる適当な前置詞を次から選べ。  
 1. from 2. of 3. for 4. to
- (5) 下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。
- (8)(11) 下線部における money-lender について正しく述べているものを次から選べ。  
 (8) 1. The money-lender had a tricky plan in mind.  
 2. The money-lender was afraid of God's punishment.  
 3. The money-lender was sure that he would win the lawsuit.  
 4. The money-lender made up his mind to cancel the bargain.
- (11) 1. When he asked the girl, he felt uneasy because he thought she might see through his design.  
 2. When he asked the girl, he thought her father would pay back the debt after she picked up the pebble.  
 3. When he asked the girl, he was pessimistic about the result which was going to come.  
 4. When he asked the girl, he was confident that he would have his ambition realized.
- (10) 下線部の反意語を次から選べ。  
 1. gradually 2. hesitatingly 3. obviously 4. willingly
- (12) カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。
- (13) 下線部における娘の行為を正しく説明しているものを次から選べ。  
 1. Her actions were natural. 2. Her actions were intentional.  
 3. Her actions were spontaneous. 4. Her actions were reckless.
- (14) 下線部と近い意味の正しい文を次から2つ選べ。  
 1. doing such a thing was very clumsy for me.  
 2. I was very clumsy to do such a thing.  
 3. it was very clumsy for me to do such a thing.  
 4. it was very clumsy of me to do such a thing.
- (15)(16) 下線部を和訳せよ。

### Further Expressions

#### 《気が進まない》

The merchant was **reluctant to** agree with his proposal. 【気が進まない】

**Reluctantly**, the merchant agreed with his proposal. 【しぶしぶ】

The merchant agreed with his proposal **against his will**. 【不本意ながら】

The merchant could not **refuse** his proposal. 【拒否する】

The merchant could not **reject** his proposal.

The merchant could not **decline** his proposal.

The merchant could not **turn down** his proposal.

#### 《ふりをする》

She **pretended** that she dropped the pebble by mistake. 【ふりをする】

She **made believe** that she dropped the pebble by mistake.

#### 《あやうく》

She was **almost** deceived by the money-lender. 【もう少しで～するところだった】

She was **nearly** deceived by the money-lender.

She **came near** (being) deceived by the money-lender.

She **narrowly escaped** (being) deceived by the money-lender. 【危機一髪だった】

## 解答

(1)3 (2)4 (3)4 (4)4 (5)黒石と白石を入れた空の財布から娘がひとつ石を取り出す。もしそれが黒石だったら娘は高利貸しの妻になり、父親の借金は帳消しにされる。もし白石だったら娘は父親のもとにとどまり、父親の借金も帳消しにされる。(6)1 (7)3 (8)1 (9)1 (10)4 (11)4 (12)had had (13)2 (14)2,4 (15)全文訳参照 (16)全文訳参照 (17)2

## 解説

- (1)a person who owed money「お金を借りていた人」 was in debt「借金をしていた」が正解。 borrowed money「お金を借りた」は、owe が「借りている」という状態を指すのに対し「借りる」という行為を指すので不適切。
- (2)have the misfortune to 不定詞「不幸にも～する」よって4が正解。1.fail to 不定詞「～しそこう」 3.mistakenly「間違つて」 had the misfortune to owe a huge sum「不幸にも多額の借金を負った」
- (3)owe A to B「AをB(人、店)に負う」 owe a huge sum to a money-lender「高利貸しに多額の借金を負う」
- (4)fancyは「心に描く、～と思う」のほかに「好む」という意味がある。ここではその意味で liked が近い。esteem「評価する、思う」 imagine「想像する」 The money-lender...fancied the merchant's beautiful teenage daughter「高利貸しは、商人の美しい10代の娘を好きになった」
- (5)a bargain「取引」その具体的内容は次の段落に述べられている。小石を財布から取り出すという方法と、その小石が黒か白かによって、どういう結果になるのかを説明する。
- (6)cancel the merchant's debt「商人の借金を帳消しにする」 call off が「中止する、とりやめる」という意味なので正解。put off「延期する」 set off「出発する」 take off「離陸する、脱ぐ、取り除く」
- (7)be horrified at A「Aにショックを受ける、ぎょっとする」 frightened of「ぎょっとする、怖いと思う」が近い。Both the merchant and his daughter were horrified at the proposal.「商人も彼の娘もその提案にショックを受けた」
- (8)「ずるがしこい高利貸しは神に問題を決定してもらうことを提案した」 Providence「神」 わざわざ「ずるがしこい」と言っている理由は第3段落で明らかになるが、高利貸しは黒石だけを財布に入れておくことを、提案した時点で考えていたわけである。よって1.「わなにかける計画を抱いていた」が正しい。2.God's punishment「神の罰」 3.win the lawsuit「訴訟に勝つ」 4.make up one's mind「決心する」
- (9)refuse=turn down「断る」 turn in「提出する」 turn out「わかる」 turn up「上げる、現れる」 if she refuse to pick out a pebble「もし彼女が小石を取り出すことを拒んだら」
- (10)reluctantly「いやいやながら、しぶしぶ」 willingly「喜んで」 gradually「徐々に」 hesitatingly「ためらって、躊躇して」 obviously「明らかに」
- (11)「それから高利貸しは少女に、彼女と彼女の父親の運命を決めることになる小石をとりだすよう求めた」高利貸しは財布の中に黒石しか入れなかったのだから、当然娘が黒石を引き、妻となることを彼は確信していたのである。4が正解。1.uneasy「不安な」 see through his design「彼の計画を見抜く」 2.pay back「返済する」 3.pessimistic「悲観的な」 4.he was confident he would have his ambition realized「彼は彼の野心が実現されることに自信があった」 would は時制の一致で、過去の時点から見た未来。have his ambition realized「彼の野心は実現される」 have は使役で have + A + 過去分詞「Aを～される」の意味。
- (12)この文と前文は、過去の事実と反する仮定をする、仮定法過去完了の文である。What would you have done if you had been the unfortunate girl?「もしもあなたがその不幸な少女であったなら、どうしただろうか?」このようにif節の中の動詞は過去完了形になる。よってif you had had to advise her「もしもあなたが彼女に助言したとしたら」が正しい。
- (13)she fumbled and let it fall to the path「彼女はへまをしてそれを小道に落とした」最後の段落からわかるように、小石の敷き詰められた道に落として何色の石を引いたのかわからなくさせたのは、もちろん娘の策略である。2.Her actions were intentional「彼女の行動は意図的であった」が正解。3.spontaneous「自発的な」は「計画性がなく衝動的にしたくなってする」という意味なので誤り。4.Her actions were reckless「彼女の行動はむこうみずだった」
- (14)how clumsy of me「なんて私は不器用なんだろう」感嘆文。I と it を主語に普通の文になおすと、2.I was very clumsy to do such a thing.と 4.it was very clumsy of me to do such a thing.となる。clumsy は人間の性質をあらわす形容詞なので clumsy of me とし for me とは言わない。よって1と3は間違い。

### 「It is 形容詞 of 人 to 不定詞」型の形容詞

人の性質をあらわす形容詞が来る。

bad「ひどい」、bold「大胆な」、brave「勇気のある」、careless「不注意な」、clever「賢い」、crazy「正気でない」、cruel「残酷な」、decent「親切な」、foolish「おろかな」、generous「寛大な」、good「親切な」、honest「正直な」、kind「親切な」、naughty「わんぱくな」、nice「親切な」、noble「気高い」、polite「礼儀正しい」、right「正しい」、rude「失礼な」、selfish「わがままな」、sensible「分別のある」、silly「おろかな」、stupid「おろかな」、sweet「優しい」、thoughtful「思いやりある」、unkind「不親切な」、wicked「意地の悪い」、wise「賢い」、wrong「悪い」

It was brave of him to go into the burning house. 勇敢にも彼は燃えさかる家に飛び込んだ。

It is kind of you to come. わざわざ来てくれてあなたはなんてご親切なんでしょう。

It is stupid of her to say such a thing. そんなこというなんて彼女はどうかしている。

- (15)it must be assumed...という本文に since「～なので」で始まる理由を説明する文が2つついている。the remaining pebble「残っている小石」 of course black「もちろん黒い」 it must be assumed that...「...と見なされねばならない」 dare not admit his dishonesty「あえて彼のごまかしを認めようとはしない」 この場合 dare「あえて～する」は助動詞なので、否定形では dare not 動詞の原形という形になる。
- (16)be better off「より良い、幸せな」 well offの比較級。than if the money-lender had been honest...「高利貸しが正直だという状況より(よかった)」 仮定法過去完了の文になっていることに注意。過去の事実に反する仮定をしている。for then she would have had only an even chance of being saved.「というも、そうだったら(もしも高利貸しが正直で、1つの黒石と1つの白石を財布に入れていたなら)彼女が助かる可能性は半分しかなかったろうから」 for「～というも」 an even chance「五分五分の可能性」
- (17)as it is=in reality「実際のところ、実情は」 apparently「明らかに」 seemingly「見たところでは」

### 全文訳

昔、借金をしている人が牢屋へ投獄されていたようなころ、ロンドンの商人が高利貸しに対して不幸にも大量の借金を負っていた。高利貸しは、年老いていて醜かったが、商人の美しい10代の娘を気に入っていた。彼はある取引を提案した。もし少女を娶ることができたら、商人の借金を帳消しにする、と。

商人と娘はその提案に対してショックを受けた。そこで、ずるがしこい高利貸しは神に問題を決定させることを提案した。彼が言うに、空の財布に黒と白の小石を入れ、少女がひとつ小石を取り出さねばならない。もし彼女が黒い小石を取り出したら、彼女は高利貸しの妻となり、彼女の父親の借金は帳消しにされる。もし白いのを取り出したら、彼女は父親のもとにとどまり、借金も帳消しにされる。しかし、もし彼女が石を取り出すのを拒んだら、彼女の父親は牢屋へ投獄され、彼女は飢えるだろう。

商人はしぶしぶ承諾した。商人と娘は言われた通り商人の庭にある小石に満ちた小道に立ち、高利貸しはふたつの小石を拾うためめがんだ。高利貸しが小石を拾ったとき、娘は、恐怖のあまり目を大きく見開いていたので、高利貸しがふたつの黒い小石を拾い、財布の中に入れてのに気がついた。それから、高利貸しは、少女に、彼女と彼女の父親の運命を決めることになる小石を取り出すよう求めた。

商人の庭の小道であなたたちが立っていることを想像してみてほしい。もしあなたが不幸な少女だったら、どうしていただろうか？もしあなたが彼女にアドバイスするとしたら、何を彼女にアドバイスしたであろうか。

問題を解決するためにどのようなタイプの思考をあなたは使うだろうか？もし解決法があるなら、注意深い論理的分析が問題を解くと信じているかもしれない。この種の思考は正直な垂直的思考である。もうひとつのタイプの思考は、水平思考(一定な型にとられない自由な発想を重視する)である。

話の中の少女は、財布の中に手を入れ、ひとつ小石を取り出した。すると、取り出した小石を見ないうちに、彼女は財布をして、取り出した小石を小道に落としてしまい、他の全ての小石の中にそれを見失ってしまった。

「ああ、なんて私は不器用なんでしょう！」彼女は言った。「でも、気にしなくていいわ。お財布の中を見れば、残った石の色からどの小石を私が取り出したのかわかるもの」

(15)もちろん残っている小石は黒色なので、高利貸しは自分のごまかしをあえて認めることはしなかったから、彼女が白い小石を取り出したのだらうとみなされた。このように水平思考を使うことで、少女は絶体絶命の状況を極端に有利なものに変えてしまった。(16)実際少女はもし高利貸しが正直で、袋に黒い小石と白い小石をひとつずつ入れる状況よりよい状態だった。というも、そうだったら、彼女が助かる可能性は五分五分だったらうから。そして実際、もちろん彼女は父親のもとにとどまり、同時に借金も帳消しにされたのだった。

## 43 エネルギーの重要性

We need energy to cook our food, to light and heat our homes and to drive our transport. We cook our food by (1)( ) wood or coal or gas or oil, or with electricity. We light and heat our homes with the same energy sources. We need petrol and oil for our cars and coal or oil or electricity for our trains, ships and aeroplanes. The factories that make our clothes, our furniture, our refrigerators, our dishwashers and our packaged food all (2)( ) on energy.

(3)If it were not for energy, all this would stop. Nothing could be made in factories. Cars and trains and ships and aeroplanes would no longer be possible. Our homes would be dark and cold and we would have to eat (4)(law, low, raw, row) food. Our lives would be hardly worth (5)( ); indeed, we would not (6)( ) for very long.

The population of the world is increasing and (7)so are the energy demands of each person. Each of us (8)(want, wants) more and more energy. We want a larger car or a bigger house. We want more clothes and more labour-saving devices. We want to go farther away for our holidays. If these demands are (9)( ), then each year we use up more energy than we did the previous year.

The result is that (10)(being used in the world / the population / is / the amount of energy / even faster than / increasing). Actual (11)consumption of energy does not, however, provide a true measure of world energy needs because many people (12)desperately need energy but do not get it. People in Europe, North America and Japan have a high standard of living and (13)on the average use over ten (14)( ) as much energy per person as people in poorer countries in Asia and Africa. If we were to provide all the people in the poorer countries with as much energy as those in Europe, North America and Japan, we would have to (15)raise the world energy production at least tenfold. (16)This would not only be economically very difficult but very damaging to the environment.

The energy needs of the rich and the poor are entirely different. For the rich, more energy means a second car, more travel, more labour-saving devices and so on. For the poor, it is literally (17)a matter of life and death. (18)Most of the world's poor lack the energy for the basic necessities of life. For them, energy privation means hunger instead of food, shacks instead of houses, cold instead of warmth, disease instead of health; (19)in short, (20)poverty instead of affluence.

This huge difference raises urgent questions. Is it right that such a gap should exist? What can we do about it? Can we ignore the poor and continue to live in luxury? Should we not reduce our energy consumption (21)to make more available to the poor? Even if we were (22)to do this, it would only be a small contribution to solving the problem. Whichever way we look at it, the world needs more energy.

### 設問

(1)(2)(5)(6)(9)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

burn depend live meet survive

(3)(19)(20)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(3) ( ) for energy, all this would stop.

(19) to be (b )

(20) ( A )( B )( C ) poverty instead of affluence

(4)(8)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

- (7)下線部の意味として正しいものを次から選べ。
1. エネルギーの需要はそうにそれぞれの人に共通している
  2. それぞれの人のエネルギー需要は人口の増加に比例している
  3. 各人のエネルギー需要も同様に増加している
  4. 各人はそのとおり同様のエネルギーを需要としている
- (10)かっこ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。
- (11)下線部の反意語を答えよ。
- (12)下線部の名詞形を答えよ。
- (13)下線部の意味として正しいものを次から選べ。
1. 平均して
  2. 一律に
  3. 個別的には
  4. 通常では
- (14)空所にあてはまる適語を答えよ。
- (15)下線部と近い意味・用法の raise を含む文を次から選べ。
1. I would like you to raise the subject of study.
  2. After her husband died, she had to raise her children by herself.
  3. They found it difficult to raise enough money for a new house.
  4. The workers wanted the company to raise their salaries.
- (16)下線部を、This の内容を明示して和訳せよ。
- (17)(21)(22)下線部の意味として正しいものを次から選べ。
- (17) 1. a question of survival    2. an established fact    3. a real-life situation  
4. an ordinary step in the life cycle
- (21) 1. in order to lead a luxurious life    2. to make the poor consume energy  
3. to make use of more energy    4. to enable poor people to obtain more energy
- (22) 1. to ignore the poor    2. to reduce our energy consumption  
3. to raise urgent questions    4. to live in luxury
- (18)下線部を和訳せよ。
- (23)本文の内容と一致しないものを次から選べ。
1. Were it not for energy, people would not be able to enjoy travelling by car, train or aeroplane.
  2. Gas, oil and coal are essential for the production of the necessities of life.
  3. People in Asian and African countries consume more energy than those in Europe, North America and Japan.
  4. The amount of energy used by people in the world has been increasing year after year.

### Further Expressions

#### 《不可欠な》

Energy is important [essential, vital] to us. 【重要な】

Energy is of great importance to us.

Energy is indispensable to us. 【不可欠な】

We can't dispense with energy. 【なしで済みます】

We can't do without energy.

#### 《減らす》

We should reduce [lessen, decrease, diminish] our energy consumption. 【減らす】

We should cut down our energy consumption. 【削減する】

#### 《尽きる》

What shall we do when all our energy is used up? 【使い切る】

What shall we do when we run short of energy? 【切らす】

What shall we do when we run out of energy?

Many countries lack energy. 【欠けている】

Many countries are lacking in energy.

Many people are suffering from want of energy. 【不足】

Many countries are badly in need of energy. 【ひどく必要としている】



## 解答

(1)burning (2)depend (3)But (4)raw (5)living (6)survive (7)3 (8)wants (9)met  
(10)the amount of energy being used in the world is increasing even faster than the population  
(11)production (12)despair (13)1 (14)times (15)4 (16)エネルギー生産を 10 倍に引き上げる  
ことは単に経済的に非常に困難だけでなく、環境にとても有害だろう。(17)1 (18)全文訳参照  
(19)brief (20)(A)Energy (B)privation (C)means (21)4 (22)2 (23)3

## 解説

- (1)前置詞(by)のあとなので動名詞形。by burning wood or coal「木や石炭を燃焼させることで」  
(2)depend on A「A に頼る」The factories...depend on energy「工場はエネルギーに頼っている」  
(3)仮定法過去の書き換え。If it were not for A = But for A = without A「もし A がなければ」  
(4)raw「生の」他は law「法律」、low「低い」、row「列」we would have to eat raw food「私たちは生物を食べなければいけないかもしれない」  
(5)be worth ~ing = be worth (one's) while ~ing = be worth (one's) while to 不定詞「~する価値がある」Our lives would be hardly worth living「私たちの生活は生きる価値がほとんどなくなるだろう」  
(6)survive「生き残る」we would not survive for very long「私たちはそれほど長く生き残らないだろう」  
(7)So do A「A もまたそうである」So the energy demands of each person are.「エネルギーの需要もまたそうである」ここでの so は increasing を指している。2 は「比例している」が誤り。

### so SV と so VS

< so V S > : 「S もまたそうである」

“She likes wine.” “So do I.” 「彼女はワインが好きです」「私もです」

\* 前の文を受けて、異なる S が同じ状況にあることを表す。S にアクセントがくる。

< so S V > : 「S はまさにその通り」

“It is raining outside.” “So it is.” 「外は雨だね」「まさにそうだね」

\* 相槌を打つ表現で強い肯定を表す。S V は前の文の繰り返しで、S は変わらない。V にアクセント。

\* < so V S > も < so S V > も最初と最後を強く読むので、強調したい語が何かで意味の違いを抑える  
とよい。前者は「S もだよ」で S を強調、後者は「そうになっているんだね」で V を強調している。

- (8)Each of A「それぞれの A」は単数扱いする。  
(9)この meet は「(希望や要求を)満たす」の意味。these demands are met「これらの需要が満たされる」  
(10)the population のあとに is increasing が省略されていることに注意。the amount of energy  
being used in the world「世界で使われているエネルギーの総量」even faster than the  
population「人口の増加よりずっと速く(増えている)」  
(11)consumption「消費」production「生産」  
(12)desperately「ひどく、絶望的に」despair「絶望」  
(13)on the average「平均して」  
(14)ten times as much as A「A の 10 倍の」ten times as much energy per person as people in  
poorer countries「より貧しい国の人々の 10 倍の 1 人あたりのエネルギー」  
(15)we would have to raise the world energy production at least tenfold.「私たちは世界のエネルギー  
生産量を少なくとも 10 倍に上げなければならないだろう」この raise は賃金や料金、量を高く  
するという意味の「上げる」よって答えは 4.「労働者たちは会社に給料を上げるよう求めた」その  
他は 1.「私はあなたに研究テーマを提出してもらいたい」で raise「提起する」2.「夫がなくなってから、  
彼女は子どもを一人で育てねばならなかった」で raise「育てる」3.「彼らは新しい家のためのお  
金を調達するのが難しいと知った」で raise「調達する」  
(16)This は前の文の to raise the world energy production at least tenfold「世界のエネルギー生産を  
最低 10 倍に引き上げること」を指す。would は仮定法過去の用法。前の文の if 節の影響を受けて  
いて、現実にはありえない仮定の結果を述べている。つまり「(エネルギー生産を 10 倍にするなどそ  
もそもありえないが)10 倍にすることは...」というニュアンスとなる。not only A but (also) B = not  
only A but B as well「A だけでなく B も」be economically very difficult「経済的にとてもむずかし  
い」very damaging to the environment「環境に対してとても有害な」  
(17)a matter of life and death「生死にかかわる問題」だから 1 が正解。2.「既成事実」3.「実生活の状  
況」4.「ライフサイクルにおける普通の歩み」  
(18)Most of the world's poor「世界の貧しい人のほとんど」lack A「A を欠いている」the energy for  
the basic necessities of life「生活の基本的な必需品のためのエネルギー」necessity には「必要」と

いう意味もあるがこれは不可算名詞である。この文では necessities というように可算名詞の複数形なので「必需品」

(19)in short = to be brief「手短かに言えば」

(20)前の energy privation means hunger instead of food 以下くりかえしで、energy privation means「エネルギーの欠乏は～を意味する」が省略された同じ構造になっている。

(21)to make more (energy) available to the poor「貧しい人々により多くのエネルギーを役立てる」available to A「Aに役立てられる、Aが利用できる」1.「裕福な生活を送るために」2.「貧しい人にエネルギーを消費させる」3.make use of A「Aを利用する」4.「貧しい人々により多くのエネルギーを得ることを可能にする」4が正解で、2は「(強制的に)消費させる」が誤りで3は貧しい人に触れていないので誤り。

(22)この文は仮定法で前文を受ける。If S were to 不定詞「もしSが～するようなことがあっても」未来の実現可能性が乏しい仮定を表す。do this は reduce our energy consumption「エネルギー消費量を減らす」を指す。1.「貧しい人々を無視する」3.「緊急の疑問を持ち出す」4.「贅沢に浸って生活する」

(23)3は逆。消費量が多いのはヨーロッパ、北アメリカ、日本の人々である。1.were it not for energy「エネルギーがなければ」倒置によってifを省略している。2.essential for the production of the necessities of life「生活の必需品の生産に不可欠である」4.the amount of energy used by people in the world「世界の人々によって使われているエネルギーの総量」year after year「毎年毎年」

## 全文訳

私たちは食べ物を用意するために、家に明かりをつけ家を暖めるために、そして交通機関を動かすために、エネルギーを必要とする。私たちは木や石炭やガスや石油を燃焼させて、あるいは電気によって食べ物を料理する。私たちは同じエネルギー資源によって家に明るくしたり暖めたりする。私たちは車のためにガソリンと石油を、電車や船や飛行機のために石炭か石油か電気を必要とする。私たちの服や家具や冷蔵庫や皿洗い機やレトルト食品をつくる工場はすべてエネルギーに依存している。

エネルギーがなければ、これはすべて止まるだろう。工場で何も作ることができないかもしれない。自動車および列車、および船および飛行機はもはや可能ではないだろう。私たちの家は暗く寒いだろう。また私たちは生の食物を食べなければならぬだろう。私たちの生活は、生きる価値がほとんどなくなるだろう。確かに、私たちはそれほど長く生き残らないだろう。

世界の人口は増加していて、また1人あたりのエネルギー需要も増加している。私たちは\*それぞれますます多くのエネルギーを望む。私たちはより大きな車あるいはより大きな家を欲しがらる。私たちはより多くの衣服およびより多くの省力化装置を欲する。私たちは休日の間もっと遠くに行きたいと望む。もしこれらの需要が満たされると、毎年私たちは前の年使ったよりもっと多くのエネルギーを使い果たすことになる。

結果は、世界で使用されているエネルギーの量が人口よりさらに速く増加しているということだ。しかしながら、エネルギーの実際の消費は世界のエネルギー需要の本当の尺度を提供しない。なぜなら多くの人がエネルギーをとんでも必要としているがエネルギーを得てはいないからだ。ヨーロッパ、北アメリカおよび日本の人々は高い生活水準を持っており、1人あたりでアジアやアフリカの貧しい国の人々の10倍以上のエネルギーを平均で使っている。もしより貧しい国々の人々すべてにヨーロッパや北アメリカや日本と同じくらい多くのエネルギーを供給するとすれば、私たちは世界のエネルギー生産を少なくとも10倍にしなければならぬだろう。これは単に経済的に非常に困難ではなく、環境に対しても害になるだろう。

豊かな者と貧乏な者のエネルギーの必要性は完全に異なっている。豊かな者にとってよりたくさんエネルギーは2台目の車、より頻繁な旅行、より多くの省力化装置などを意味する。貧しい者にとってはそれは文字通り死活問題である。(18)世界の貧しい人たちのほとんどは生活の基本的な必需品のためのエネルギーが不足している。彼らにとって、エネルギーの欠乏は食料ではなく飢えを、家ではなく小屋を、暖かさでなく寒さを、健康ではなく病いを意味する。ようするに、豊かさではなく貧窮を意味する。

この大きな違いは緊急の疑問を持ち出す。そのような差異が存在することは正しいのか。私たちはそれに対して何をができるのか。私たちは貧しい人々を無視して贅沢に浸って生活することを続けてよいのだろうか。私たちは自分たちのエネルギー使用量を減らして貧しい人々によりエネルギーを利用できるようにするべきではないだろうか。私たちがもしかりにこうしたとしても、それ問題解決のための小さな寄与に過ぎないだろう。それを(注)どちらの見方で見ると、世界はより多くのエネルギーを必要としている。

## 44 知覚とは何か

How often do we say “Of course I believe it – I saw it with my own eyes!” But can we really be so sure what it is that our eyes tell us? For example, take the simple question, “How big is the moon?”

Could any of us make any better estimate of the moon’s size if we had not read what astronomers tell us about its diameter? (1)What does looking at the moon, or any other object, tell us about its real size? (2)What do we mean by “real” size, or “real” shape, or other appearance, for that matter? Can we believe what we see of things; or rather, (3)putting it the other way round, what do we mean when we say we believe that a thing has a certain size or shape?

Going back to the moon, you may say, “Of course it is a long way off, and that’s why it looks like a cheese, for instance.” But how do we know it is a long way off? Only because we cannot touch it or (4)(arrive, reach) it by travel. Certainly this gives some help in finding out the significance, as we say, of its appearance. We interpret the image that falls upon the \*retina of our eye (5)in terms of all sorts of other information we already (6)possess, about distance and whether we can reach or touch an object. (7)This shows at once that (8)when we say that a thing appears to be of a certain size, we are not merely reacting to an image on the retina in the same way as we react to a simple stimulus such as a prick with a needle. When the needle pricks the skin, the nerves carry messages quickly to the \*spinal cord, and thence back to the muscles; the reaction is \*reflex. But when we look at something and speak about its size, the process involved in this reaction is much more complicated. The brain interprets the image on the retina in the light of all sorts of other “information” it receives. Perception, in fact, is (9)by no means a simple recording of the details of the world seen outside. It is a selection of those features (10)( ) which we are familiar. (11)What it amounts to is that we do not so much believe what we see as we see what we believe. (12)Seeing is an activity not only of our ( A ) but of the ( B ), which works as a sort of selecting machine. (13)Out of all the images presented to it it chooses for recognition those that fit most nearly with the world learned by past experience.

(注) retina : 網膜    spinal cord : 脊髄    reflex : 反射作用

## 設問

(1)(2)(8)(11)(13)下線部を和訳せよ。

(3)(5)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (3) 1. expressing it in reverse    2. looking from behind  
3. on the other hand    4. turning it upside down

- (5) 1. in the language peculiar to    2. in the context of  
3. by collecting    4. through counting

(4)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(6)下線部の名詞形を答えよ。

(7)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(9)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(        ) but a simple recording

(10)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(12)下線部の2つの空所にあてはまる適語をそれぞれ本文中から抜き出せ。

(14)本文の内容と一致しないものを次から2つ選べ。

1. We cannot always find the real size of any object by merely looking at it.
2. Because we cannot touch the moon or reach it by travel we know it is a long way off.
3. Given information about the moon by astronomers, we can guess its size.
4. It is because they look smaller than the sun or the moon that we think stars are little.
5. We say that a thing appears to be large or small, reacting to an image on the retina.
6. Seeing is not only the work of the eyes but also of the brain.
7. Perception is not merely a recording of the things of the outside world.
8. The brain is a kind of machine which selects information from the eyes.

(15)本文全体を60字程度の日本語で要約せよ。

### **Further Expressions**

#### **《ある程度》**

This explanation of the moon is helpful to some extent [degree]. 【ある程度】

This explanation of the moon is helpful to a certain extent [degree].

This explanation of the moon is more or less helpful. 【多かれ少なかれ】

This explanation of the moon is somewhat helpful. 【いくぶん】

This explanation of the moon is helpful in part.

#### **《けっしてない》**

Perception is by no means a simple recording of the details of the world.

【けっして～ない】

Perception is not by any means a simple recording of the details of the world.

Perception is not in the least a simple recording of the details of the world.

Perception is not at all a simple recording of the details of the world.

Perception is far from (being) a simple recording of the details of the world.

Perception is anything but a simple recording of the details of the world.

## 解答

(1)全文訳参照 (2)全文訳参照 (3)1 (4)reach (5)2 (6)possession (7)私たちが、目の網膜に何かが映った時、すでに持っているあらゆる情報を使って、その物を解釈するという。 (8)全文訳参照 (9)anything (10)with (11)全文訳参照 (12)(A)eyes (B)brain (13)全文訳参照 (14)2, 4 (15)知覚するとは、目に見える外の世界を単純に記録することではなく、受け取った情報を脳が慣れ親しんだ特性に合わせて選択することである。(64字)

## 解説

- (1)主語は looking at the moon, or any other object「月や他の物体を見ること」で、動詞は tell となっている。about its real size「その本当の大きさ」 its は moon or any other object「月や他の物体」を指す。
- (2)what do we mean by A?「私たちは A によって何を意味するのか?」=「A とはどういう意味か?」 A には"real" size「本当の大きさ」、"real" shape「本当の形」、other appearance「他の外観」が該当する。for that matter「さらに言えば」
- (3)put it the other way round「逆にいえば」 put が「表現する、言う」で、the other way round は「逆に、あべこべに」という構造となっている。1.in reverse「逆に」 2.from behind「後から」 3.on the other hand「他方では」 4.upside down「上下さかさまに」
- (4)reach「着く、達する」という意味の他動詞。arrive も「着く、到達する」であるが、自動詞なので arrive at it とならねばならないので不適。
- (5)in terms of A「A の観点から、A によって」 1.in the language peculiar to A「A に特有のことばで」 2.in the context of A「A の文脈において」 3.by collecting A「A を集めることによって」 4.through counting A「A を計算することを通じて」 2 が最も近い。ちなみに in terms of A には選択肢 1 の意味もある。
- (6)possess「持つ」 possession「所有」
- (7)This shows at once that...「これは直ちに...ということを示す」 This は前文 We interpret the image...touch an object.の内容を受けている。the images that falls upon the retina of our eye「私の目の網膜に映る像」 in terms of all sorts of other information「あらゆる情報によって」
- (8)appear to be「...に見える」 of a certain size「ある大きさである」 of + 抽象名詞で形容詞の役割を果たす。we are not merely reacting to an image on the retina「私たちはただ網膜上の像に反応しているだけではない」 react to A「A に反応する」 in the same way as S V「~と同じ方法で」 we react to a simple stimulus「単純な刺激に反応する」 such as A「A のような」 a prick with a needle「針で刺すこと」
- (9)by no means a simple recording「けっして単なる記録ではない」 by no means ~ = anything but ~ 「少しも~ではない、~どころではない」 よって anything が正解。ちなみに anything but の but は except と同じ意味である。

### 前置詞の but

「...を除いて」という意味になる。

Everybody but me agreed. 私を除いてみんな賛成した。

その際、except ほど除外の意味は強くない。

All but my brother went there. 兄を除いて全員がそこへ行った。(みんなが行ったことに重点)

All went there except my brother. 兄を除いて全員がそこへ行った。(兄が行かなかったことに重点)

前置詞 but の用例は以下のとおり。

She did nothing but cry. 彼女は泣き叫ぶだけだった。(nothing but「ただ~だけ」)

I was anything but happy. 私は少しも幸福ではなかった。(anything but「少しも~ではない」)

All but she can't answer the question. 彼女のほかはみな答えられない。(all but「~以外のすべて」)

He cannot choose but resign. 彼は辞めざるをえない。(動詞の原形を伴って)

I had no choice but to leave her alone. 彼女をそっとしておくしかなかった。(不定詞を伴って)

But for his help, I could not succeed. 彼の助けなしに成功はないだろう。(but for A「A なしでは」)

(10)be familiar with A「A に精通している、A と親しい」 この with が関係代名詞の前についた形になっている。those features with which we are familiar「私たちが親しんでいるところのそれらの特性」

(11)what it amounts to is「それが帰着するところは」=「つまり」 amount to A「結局 A になる」 not so much A as B=more B than A=rather B than A「A というよりむしろ B」 A が believe what we see「私たちが見るものを信じる」で、B が see what we believe は「私たちが信じるものを見る」なので、組み合わせると「私たちが見るものを信じるというより私たちが信じるものを見ている」となる。

- (12)not only ~ but also ... 「～だけではなく...も」なので、下線部は「見るということはAの活動だけでなく、Bの活動でもある」という意味。第3段落の中ごろで、視覚の反応過程がどういふものであるかが述べられている。The brain interprets the images...とあるように、ものを見るということは、網膜に映った像を脳が解釈することによって可能になるのである。よって「見ることは(A)eyesだけではなく(B)brainの活動である」が正解。
- (13)Out of all the images presented to it 「それに対して示された全ての像から」 out of A「Aから」 presented は images を修飾している過去分詞。present to A「Aに示す」このitは前文((12)(B)の)brainを受けている。it chooses for recognition those that...「それは認識のために...のようなものを選択する」chooseの目的語はthose that...で、その間にfor recognitionがはさまっている形。those that...「...のようなもの(人)」those that fit most nearly with the world 「世界にもっとも近く当てはまるようなもの」 fit with A「Aにあてはまる」ここでは前置詞を伴っているので自動詞の用法。自動詞のfitは、同じ意味で他にintoやinやtoをとる。the world learned by past experience 「過去の経験によって学習された世界」 learned「学ばれた」はworldを修飾する過去分詞。
- (14)2「私たちは月に触ったり、旅して行って月にたどり着いたりすることができないので、月の大きさを当てることはできない」、4「星が太陽や月よりも小さく見えるので、私たちは星が小さいのだと考える」、1「私たちは、単に物体を見ることによって、その物の本当に大きさを知ることが、いつもできるわけではない」、3「天文学者によって月にに関する情報が与えられれば、私たちは月の大きさを当てることができる」、5「私たちは網膜に映る像に反応して、物が大きく見えるとか小さく見えるとかと言う」、6「見ることは、目の働きであるのみならず、脳の働きでもある」、7「近くは外界にある物の単なる記録ではない」、8「脳は、目を通して情報を選ぶ、ある種の機械である」
- (15)第3段落の後半 Perception, in fact, is...以降の部分に知覚とは何かがまとめられている。知覚は私たちが思っているように、目を通して見えた外的な世界の単純な記録ではないということ。受け取った情報の中から過去の経験によって慣れ親しんだ特性を、脳が選択するのであるということ。この2点についてまとめる。

## 全文訳

どれほど頻繁に、私たちは、「もちろん私はそれを信じています。私はそれを自分のこの目で見たのです」と言うことだろう。しかし、私たちは、自分の目が見た物が何であるかについて、本当にそれほど確信を持てるものだろうか。たとえば、単純な疑問を例に取ってみよう。「月はどのくらい大きいだろうか」

もし、天文学者が月の直径について書いたものを読んだことがないとしたら、私たちのうちの誰が、月の大きさについて、天文学者よりも妥当な見積もりを立てられるだろうか。(1)私たちが月やその他の物体を見ることによって、その物の本当の大きさについて一体何がわかるというのだろうか。(2)さらに言えば、「本当の」大きさと「本当の」形とか、他の外観などといったものが意味するものは何なのだろうか。私たちは、物に関して、自分が見たことを信じられるだろうか。いや、むしろ、反対に言うならば、ある物がある大きさや形をしていると私たちが信じると言う場合、それはどういう意味なのだろうか。

月の話に戻ると、あなたは「もちろん、月は遠い所にあるので、そのせいで、たとえばチーズのように見えるのですよ」と言うかもしれない。しかし、月が遠い所にあるということ、私たちはどのようにして知るのだろうか。それは、単に、私たちが月に触ることも、旅して行ってたどり着くこともできないからである。確かにこのことは、私たちの言う通り、外観に関して重要なことを見つけ出すのに、いくらか役に立つだろう。私たちは、距離に関してや、その物体に手が届くか、触ることができるか、などといった、私たちがすでに持っているあらゆる種類の情報を使って、目の網膜に届く像を解釈する。このことが直ちに意味することは、(8)私たちが、ある物体がある大きさをしていう場合、それは、針で刺されるような単純な刺激に対して反応するのと同じような方法で網膜上の像に反応しているのではないということである。針が皮膚を刺す場合には、神経は情報を脊髄に素早く伝え、それから筋肉に情報が伝わる。その反応は、反射作用なのである。しかし、私たちが何かを見て、その大きさについて話す時、この反応に含まれる過程はもっと複雑なものである。脳は、受け取ったあらゆる種類の「情報」に照らし合わせて、網膜上の像を解釈する。知覚とは、実際、外側に見える世界の詳細を単純に記録したものなどでは、けっしてない。知覚とは、私たちが慣れ親しんでいる特性からの選択なのだ。(11)これはつまり、私たちが、信じている物を見る程には、見た物を信じていないということである。見るということは、目だけの活動ではなく、脳の活動でもある。そして、脳は、ある種の選択のための機械として作動する。(13)脳に対して示されたすべての像の中から、脳は、過去の経験から学習された世界にもっともあてはまるような物を選んで、認識する。

## 45 法秩序の光と影

How necessary are law and (1)order in human life! (2)Without their protection, our condition would be no better than that of wild beasts in the jungle, preying on each other. Under their protection, we can live reasonably peaceful lives and develop the better part of ourselves — the angel and not the beast in us.

Those who destroy law and order on a school campus, often (3)abusing the name of “freedom,” (4)make (5)it impossible for a school to be what (6)it ought to be: a place of study and education. Those who destroy law and order in a nation, often abusing the name of “revolution,” likewise make it impossible for the citizens to live in peace and contentment.

While we enjoy law and order, we hardly notice their (7)presence, so basic they are to our lives, like the air we breathe. (8)Only when they are removed do we come to realize how much we relied on them. Their loss is lamented : their gain is taken for granted. While we have them, we are only too ready to find the defects in them.

They (9)do have their defects like everything else on this earth. For one thing, there is something cold and impersonal about them. (10)They deal with everyone in precisely the same way, considering them rather as equal citizens than as individual human beings. For (11)another, in order to maintain this equality and to prevent any abuses, they resort to increasing complexity and bureaucracy. Thirdly, (12)in their execution, they are severe, inflicting punishment equally on all offenders according to the nature and extent of their offence.

At the same time, in themselves law and order are merely abstractions. They only become concrete in the human beings who administer and (13)enforce them, as well as in the human beings who offend against them. When this human element is overlooked in the administration and the enforcement of law, justice may itself become injustice. Something else is needed to balance — not to (14)displace — the rigour of justice.

## 設問

(1)(3)(7)下線部の意味として正しいものを次から選べ。

(1) 1. 順序 2. 命令 3. 規則 4. 秩序 5. 注文

(3) 1. 悪口を言う 2. 濫用する 3. 虐待する 4. 使わない 5. 使い損なう

(7) 1. 現在 2. 出席 3. 存在 4. 贈物 5. 出現

(2)(8)(10)(12)下線部を和訳せよ。

(4)下線部の主語を次から選べ。

1. freedom 2. those 3. law and order 4. who 5. the name of freedom

(5)(6)下線部の指す内容を次から選べ。

(5) 1. freedom 2. school 3. law and order

4. for a school 5. to be what it ought to be

(6) 1. freedom 2. school 3. education 4. campus 5. law

(9)下線部と同じ用法の do を含む文を次から選べ。

1. What does he do for a living? 2. I have nothing to do.

3. You must do your best. 4. That's exactly what you do say.

5. These shoes won't do for mountain-climbing.

(11)下線部の後に補うことのできる語句を次から選べ。

1. human 2. thing 3. beings 4. man 5. citizen

(13)(14)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(13) 1. give attention to 2. compel obedience to 3. send away by force

4. attack in great force 5. force to do

(14) 1. dislocate 2. put out of the right position 3. misplace

4. take the place of 5. display

(15)法秩序の欠点として本文中に述べられている3点を日本語で説明せよ。

(16)アクセントの位置が異なる組み合わせを次から2つ選べ。

1. administer 2. destroy 3. equal 4. execution

administrative destructive equality executive

## Further Expressions

### 〈信頼する〉

We can rely on [upon] law and order. 【頼る】

We can depend on [upon] law and order.

We can turn to law and order.

We can have [place] trust in law and order. 【信頼】

We can count on law and order. 【あてにする】

### 〈まず第一に〉

In the first place, law and order are something cold. 【まず第一に】

To begin with, law and order are something cold.

Firstly, law and order are something cold.

For one thing, law and order are something cold.

First of all, law and order are something cold.



## 解答

(1)4 (2)全文訳参照 (3)2 (4)2 (5)5 (6)2 (7)3 (8)全文訳参照 (9)4 (10)全文訳参照(11)2  
(12)全文訳参照 (13)2 (14)4 (15)すべての人間を個人として見なさず同じように扱う非人間的な  
ところ。複雑でお役所主義的なところ。罰則の実行に関して厳格であるところ。 (16)3,4

## 解説

- (1)law and order「法と秩序」 order は他の選択肢に挙がっているものもすべて意味として持つ。  
(2)without their protection「それらの保護なしには」 our condition would be no better than that of  
wild beasts「私たちの状況は野獣のそれ同然だろう」 would は仮定法過去の用法。no better than A  
「A に過ぎない、A も同然である」 that は condition の繰り返しを避けている。preying on each  
other「お互いを食べ物にする」は wild beasts の修飾。ここを分詞構文であるにとると our condition  
が主語になってしまい不適切になる。prey on A「A を捕食する、食べ物にする」  
(3)abuse「濫用する、虐待する」学校で法と秩序を破壊する人々とはどんなことをする人か、から推  
測を働かせてもわかる。abusing the name of “freedom”「自由という名を濫用する」  
(4)主語は Those で who destroy law and order が関係詞節。また abusing the name of “freedom”も  
Those にかかる。つまり、Those...make it impossible...がこの文の基本的な構造となっている。。  
(5)Those...make it impossible for A to 不定詞「それらはAが～することを不可能にしている」 it は形  
式目的語(仮目的語)で it=to 不定詞である。よって正解は 5.to be what it ought to be「それがあるべ  
きものであること」

### 仮目的語

SVOC の構文(O=C)

I found a man asleep. 男が眠っているのを見つけた。(O=a man, C=asleep)

What made you so happy? 何が君をそんなに幸せにしたのかい?(O=you, C=happy)

SVOC の O の位置に仮の it をおき、後の to 不定詞や that 節などを指す。< V + it + C + 真の O >

I thought it wrong to tell her. 彼女に話すのは間違っていると私は思った。(O=to tell her)

You'll find it difficult to persuade me. 私を説得するのは難しいとわかるだろう。(O=to persuade...)

I made it a rule to get up early. 私は朝早く起きることにしていた。(O=to get up early)

Let's keep it secret that he got married. 彼が結婚したことは秘密にしよう。(O=that she got...)

- (6)make it impossible for a school to be what it ought to be「学校にとってそれがあるべきものであ  
ることを不可能にする」 to be what it ought to be とは「それ(=学校)があるべき姿であること」で  
ある。学校のあるべき姿が、法秩序を壊す人々によって不可能になるということ。文意としては  
campus でも通るが、it は基本的にその前に出てきた単語を指すので school が正解。  
(7)presence には「出席、存在、面前」といった意味があるが、文脈から「存在」 While we enjoy law and  
order, we hardly notice their presence「私たちは法と秩序を享受する一方で、その存在にほとんど  
気づかない」  
(8)Only when they are removed「それらが取り除かれ時だけ」 副詞節が強調のため文頭におかれて  
いるので倒置が起きている。つまり、do we come to realize「私たちは悟ようになる」は語順を戻  
せば、we come to realize only when...となる。come to 不定詞「～ようになる」 rely on A「A  
を信頼する」  
(9)They do have their defects「それらは欠点を持っているのだ」 do は do + 動詞の原形で強意の助動  
詞になる。つまり、do を省略しても文が成立するものを選ぶ。よって 4.That's exactly what you do  
say「それがまさしくあなたの言っていることです」が正解。それ以外の選択肢では do が疑問文で出  
てくる do が動詞として使われている do なので省略できない。3.do one's best「全力を尽くす」  
5.These shoes won't do for mountain-climbing.「これらの靴は山登りに役立つ」 do for A「A のた  
めになる、役立つ、A に間に合う」  
(10)They deal with everyone in precisely the same way「それらはすべての人をちょうど同じよう  
に扱う」 they は law and order「法秩序」を指す。deal with A「A を扱う」 considering 以下は分詞  
構文で主語は they。consider A as B「A を B としてみなす」ここでは B の部分が比較されている。  
rather as equal citizens than as individual human beings.「個人としてよりもむしろ同等な市民  
として」  
(11)For another,...「もう一つに...」 この文は前文 For one thing,「一つには...」と対になって法律の持  
つ欠点を説明している。つまり another のあとには thing が省略されているのである。

- (12)in their execution「それらの執行、実行において」 inflicting 以下は分詞構文で、they are severe 「それらは厳格である」の内容を具体的に説明している。inflict A on B「A を B に科す、与える」 all offenders「すべての犯罪者」 according to the nature and extent of their offence「罪の種類と程度に応じて」 nature はここでは「(犯罪の)性質、種類」 according to A「A にしたがって、に応じて」
- (13)enforce「強いる、(法律などを)実施する」 2.compel obedience to A「A への服従を強いる」に近い。 1.give attention to A「A を注意に払う」 3.send away by force「力で行かせる、派遣する」 4.attack in great force「大きな力で攻撃する」 force は他動詞なので、動詞の直後に目的が必要。つまり、force to do という表現はなく、force A to 不定詞「A に～させる」が be forced to 不定詞「...せざるを得ない」となる。
- (14)displace「移す、置き換える」よって 4.take the place of A「A の代わりをする、取って代わる」が正解。 1.dislocate「～の場所をずらす」 2.put out of the right position「正しい位置から出す」 3.misplace「誤って与える、置き違える」 5.display「展示する」 Something else is needed to balance – not to displace「置き換えるのではなく、バランスを保つために、何か他のものが必要だ」
- (15)第4段落の For one thing...以下に1点目(法秩序の非人間的な面)、For another...以下に2点目(法秩序の複雑でお役所主義的なところ)、Thirdly,...以下に3点目(執行に際し厳格であるところ)が説明されているのでそこをまとめる。
- (16)3.équal「等しい」 equality「同等」 4.execución「実行」 exécutive「行政官、重役」

## 全文訳

法と秩序がどんなに人間生活において必要であることか！(2)その保護がなければ、私たちの状況はジャングルに住み、互いを食い物にする野獣同然である。それらの保護のもとで、私たちは理性的に平和な生活を営み、私たち自身のよりよい部分を 私たちの中にある、野獣ではなく天使の部分を、伸ばすことができる。

学校のキャンパス内でしばしば「自由」の名を濫用し、法と秩序を破る人々のために、学校はあるべき姿にとどまることが不可能になる。つまり、研究と教育の場所であることが不可能になってしまう。同様に、国家の中でしばしば「改革」の名を濫用し、法と秩序を破る人々のために、市民は平和で満足した生活をおくることができなくなってしまうのである。

私たちは法と秩序を享受する一方で、それらは私たちの生活にとってとても基本的な空気のようなものである。それらの存在に注目することはほとんどない。(8)それらが取り除かれたときだけ、私たちは自分がどんなにそれらを頼っている信頼していたかを悟るようになる。法秩序を失うことは悲しみである。しかしその利益は当然のものと思われている。私たちはそれらを持っているが、それらの欠点を見つけようとするばかりである。

この地球上のほかのものすべてと同様に、法秩序は欠点を持っている。たとえばひとつに、それらは冷たくて、非人格的なところがある。(10)それらは人間を個人としてというより同等な市民としてみなし、すべての人間を正確に同じように扱うのである。もうひとつには、このような平等性を維持し濫用を防ぐために、法秩序はより複雑化し、お役所主義的なものになる。三番目に、(12)法秩序は罪の種類と程度に応じてすべての犯罪者を等しく罰するが、その実行において厳格である。

同時に、法と秩序はそれ自体ではただ抽象的なものにすぎない。それらに違反し罪を犯した人間においてはもちろん、それらを執行し守らせる人間においてのみ、法秩序は現実的なものになる。この人間的な要素が法の執行や法を守らせる段階で見逃されると、正義は正義でなくなるかもしれない。正義の厳格さにとって代わるのではなく、正義の厳格さとバランスを保つための何か別のものが必要なのである。

## コラム 語源研究

### 語根 FID、FAI、FI

【語源】ラテン語の fidere「信じる」を語源とする。faith「信頼、信仰」、fidelity「忠誠、忠実、貞節」は同語源。fiance「フィアンセ、婚約者」も「信頼する」「約束する」「婚約する」という変遷をたどった。

### 【単語】

- confide con(完全) + fide(信じる) 「完全に信用する(= 信頼する、秘密を打ち明ける)」
- confident con(完全) + fident(信じる) 「完全に信用できるほどの(= 自信のある、確信している)」
- defy de(離れて) + fy(信じる) 「離れたものを信じる(= 無視する、公然と反抗する、挑む)」
- diffident dif(否定) + fident(信じる) 「(自分や他人を)信じられない(= 自信のない、内気な)」
- infidelity in(否定) + fidelity(忠実) 「忠実でないこと(= 不信心、不誠実)」

## 第 10 章 同意語を選択する

### 46 植物の成長

Fruit growers, in the course of (1)storing and (2)shipping apples, have made (3)a remarkable discovery. If late types are picked before they are ripe and packed for transport they will ripen in a given time. But if they are packed together with early-maturing types, they ripen considerably faster. They are therefore obviously stimulated to early ripeness by their forward companions. And for this to happen the two kinds do not even need to touch one another. How is this mutual influence possible?

Many growers of indoor plants will have noticed that different specimens of the same species will bloom on the same day; indeed, buds (4)emerging later on one plant will (5)overtake more developed ones on another, (6)so as to burst open with them at the same time. But (7)how can plants in separate pots come to an understanding about their progress in bud development?

Influences must be of a chemical nature. And indeed it has been discovered that ripening apples (8)emit small quantities of ethylene gas, which is capable of strongly influencing other plants. The later types of apple ripen in storage under the effect of this gas, and young bean plants, for example, will grow much more slowly than usual in 'apple air', but they are stronger. (9)A multitude of these (10)'wireless' influences of various plants have been observed. They include not only ethylene gas but also a whole series of other (11)agents, of which only a few have been scientifically (12)investigated.

Man has discovered the use of chemical weapons, for (13)the art of war has always been ahead of other fields of human activity. The use of harmless chemical substances for any kind of peaceful communication is a matter of (14)sheer utopianism for the chemical technologist. Yet (15)it would be worth while to devote more research to chemically controlled relationships between plants; besides the influencing of growth, these includes such phenomenon as the promotion of leaf fall, changes in outer shape, contacts between the higher plants and micro-organisms in the ground, and certainly many more unknown modes of behavior.

## 設問

(1)(2)(4)(8)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。動詞は原形で示してある。

1. appear 2. examine 3. give off 4. put aside 5. sail 6. sell  
7. transport

(3)下線部の具体的内容を 50 字以内の日本語で説明せよ。

(5)(6)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

- (5) catch ( A ) ( B ) more developed ones on another  
(6) in ( ) to burst open with them

(7)(13)(15)下線部を和訳せよ。

(9)(11)(14)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (9) 1. numerous 2. significant 3. various 4. wonderful  
(11) 1. laboratories 2. managers 3. means 4. representatives  
(14) 1. complete 2. huge 3. imaginary 4. mere

(10)下線部はどのようなことを言っているのか、20 字以内の日本語で説明せよ。

### **Further Expressions**

#### **〈驚くべき〉**

We are surprised [amazed, astonished, astounded] by the speed of computers. 【驚く】

We marvel at the speed of computers.

The speed of computers is surprising [amazing, astonishing, astounding, marvelous, terrific]. 【驚くべき】

#### **〈値する〉**

All languages deserve of scientific study. 【値する】

All languages are worth studying scientifically. 【価値がある】

All languages are worthy of being studied scientifically.

It is worth while studying all languages scientifically.

## 解答

(1)4 (2)7 (3)熟成の遅いりんごは早く熟すりんごと共に詰めておくと、たとえ接していなくても刺激を受けて早く熟す。(49字) (4)1 (5)(A)up (B)with (6)order (7)全文訳参照 (8)3 (9)1 (10)化学的性質の気体で遠いものに与える影響。(20字)(11)3 (12)2 (13)全文訳参照 (14)1 (15)全文訳参照

## 解説

- (1)store「蓄える、保存する」 4.put aside「脇へおく、蓄える」が正解。in the course of storing「保存という過程の間に」
- (2)ship「送る、輸送する」 7.transport「輸送する」が正解。shipping apples「りんごを輸送すること」
- (3)a remarkable discovery「注目すべき発見」 if late types are picked...「熟れる前に包装しておくと一定期間で熟す」それと比較して if they are packed for transport...「熟れ始めたのと熟れる前のを一緒に包装しておくで熟するのが早い」が発見の内容。ここでは fruit growers「果実栽培者」の発見が問われているので、第2段落の内容は含まない。
- (4)emerge「現れる」 1.appear「現れる、姿をあらわす」が正解。buds emerging later「遅くできたつぼ」
- (5)overtake A = catch up with A「Aに追いつく」である。よって(A)up (B)withが正解。overtake more developed ones on another「別のもの(植物)のより成長しているそれら(つぼみ)に追いつく」
- (6)so as to 不定詞 = in order to 不定詞「～するために」 so as to burst open with them「それらと一緒に咲くために」
- (7)in separate pots「離れた鉢植えで」 potは「つぼ」だが植物なので「鉢」 come to A「Aの状態になる」 their progress in bud development「つぼみの成長における発達」=「つぼみの発育状態」
- (8)emit「出す、放つ」 3.give off「発する」が正解。emit small quantities of ethylene gas「少量のエチレンガスを放出する」
- (9)A multitude of = numerous「多くの～」 1が正解。a multitude of these 'wireless' influences「多くのこれらの『遠隔』作用」
- (10)'wireless' influences「『遠隔』作用」はその段落で説明されているように、1.植物の発する気体の化学的性質によって 2.離れた別の植物に影響を与えることである。wireless「無線の」の意味がわかるように、この2点についてまとめる。
- (11)agentsは「代理人」という意味だがここでは「手段、媒介」という意味。3.means「手段」が正解。a whole series of other agents「一連の媒介すべて」
- (12)investigate「調べる」 2.examine「調査する」が正解。only a few have been scientifically investigated「ほんの少ししか科学的に調査されていない」
- (13)art of war「戦争の技術」 artには「芸術」の他に「技術、人工」という意味がある。ahead of Aは「Aの前に、Aの先に」 field「分野」
- (14)sheer「まったくの」 1.completeが正解。sheer utopianism「まったくの夢物語」
- (15)it would be worth while to 不定詞[~ing]「～することは価値があるだろう」 devote more research to chemically controlled relationships between plants「より多くの研究を植物間の化学的にコントロールされた関係に向ける」=「植物間の化学的にコントロールされた関係をもっと研究する」 devote A to B「A(時間・努力など)をBに向ける、充てる」

## 全文訳

果実栽培者はりんごを保存、出荷する過程ですばらしい発見をした。晩成の種のりんごを熟す前に収穫し、輸送のために梱包しておくそれらは一定の期間が経つと熟す。しかしそれらを早熟型のりんごと共に梱包しておくとなり早く熟す。従ってそれらは明らかに、早く熟れるように早熟の種によって刺激されているのである。さらにこれが起こる際、二種類のりんごは互いに接している必要すらない。この相互の影響はどのように起こっているのだろうか。

多くの室内植物の栽培者は、同じ種の違う個体が同じ日に咲くということに気付いているだろう。実際、ある植物の、遅くできたつぼみは、同時に咲くために他の植物のより成長したつぼみに追いつく。しかし(7)離れた鉢の植物がどのようにして互いのつぼみの発育状態を知るのだろうか。

影響は化学的性質によるものに違いない。実際、熟している最中のりんごは少量のエチレンガスを放出し、それは他の植物に強く影響を与えることができるということが発見された。晩成型のりんご

は保管中にこのガスの影響を受けて熟し、そしてたとえば若い豆植物は「りんごガス」の中で普通よりもっとゆっくり、しかし強く育つ。様々な植物のこのような「遠隔」作用は多く観察されている。それらはエチレンガスのみならず他の一連の媒介を含み、そのうちのいくつかしか科学的に調査されていない。

人類は化学兵器の使用法を発見した。なぜなら(13)戦争の技術は常に人間の他の活動分野より先にあったからである。どのようなものであれ平和なコミュニケーションのための無害な化学物質の使用は科学技術者にとってはまったくの夢物語である。しかし(15)植物間の化学的にコントロールされた関係をもっと研究することは価値があるだろう。それらの関係とは発育への影響の他に、落葉の促進や外見の変化、高木と土の中の微生物との関連やさらに何らかの知られていない形での作用などの現象を含むのであるから。

## コラム 語源研究

### 語根 FORM

【語源】ラテン語の formare「形作る」を語源とする。form「形」、formal「形式的な」、formalize「形式化する」はそのまの形がよく残っている。format「一定の方法で形作られた」「構成、体裁を整える」、formation「形成、構成、陣形」、formula「決まり文句、公式」、formulate「公式化する」も同語源である。

#### 【単語】

- conform con(共に) + form(形作る) 「一緒に形作る(=従う、一致させる)」
- deform de(離れて) + form(形作る) 「(本来の形から)離れて形作る(=形を損なう)」
- inform in(中に) + form(形作る) 「(相手の心の中に)形作る(=知らせる、告げる)」
- perform per(完全に) + form(形づくる) 「完全に形づくる(=行う、演じる)」
- reform re(再び) + form(形作る) 「再び形作る(=改善する、改革する)」
- transform trans(越えて) + form(形作る) 「ある形から別の形へ移す(=変形させる、変える)」
- uniform uni(1) + form(形作る) 「ひとつの形(=同形の、一定の、制服)」

## コラム 語源研究

### 語根 PEL

【語源】ラテン語の pellere「押し動かす、動揺させる、追い出す」を語源とする。pulse「(血液を押し動かす)脈拍」も同語源。

#### 【単語】

- appeal ad(...に) + peal(押し動かす) 「...の方に押し動かす(=懇願する、求める、上訴する)」
- compel com(完全) + pel(押し動かす) 「完全に押し動かす(=無理やり...させる、強いる)」
- dispel dis(離れて) + pel(追い出す) 「ばらばらに追い出す(=追い散らす)」
- expel ex(外へ) + pel(追い出す) 「外へ追い出す(=排出する、追い出される)」
- impel im(中に) + pel(押し動かす) 「中で押し動かす(=強いる、駆り立てる、推進する)」
- propel pro(前に) + pel(押し動かす) 「前に押し動かす(=前進させる、推進する)」
- repel re(後へ) + pel(押し動かす) 「押し返す(=追い払う、拒絶する)」

## コラム 語源研究

### 語根 PRESS

【語源】ラテン語の pressare「押す、圧迫する」を語源とする。press「押す」、pressure「圧力」にはよく形が残っている。かつて出版物を作るときに版画を用いたことから、pressには「新聞、出版」という意味もある。

#### 【単語】

- compress com(完全) + press(押す) 「完全に押す(=押しつける、圧縮する)」
- depress de(下に) + press(押す) 「下に押す(=抑圧する、憂鬱にする、不景気にする)」
- express ex(外へ) + press(押す) 「(内面を)外へ押し出す(=表現する)」
- impress im(中に) + press(押す) 「(心の中に)押し込む(=感銘を与える、印象を与える)」
- oppress ob(対して) + press(押す) 「...に対して押しつける(=圧迫する)」
- repress re(再び) + press(押す) 「(感情や反乱を)元に戻す(=抑える、鎮圧する)」
- suppress sub(下へ) + press(押す) 「下に押さえつける(=鎮圧する、抑圧する、抑えつける)」

## 47 脳と夢

It has been suggested recently by an American psychologist, Robert Ornstein, that the two halves of the brain, the left and right hemispheres, deal with different (1)mental functions. The left side deals with the more academic processes, while the right deals with the more artistic and (2)(imagine) activities. Current interest in the activities of the right side has led to (3)investigations of the more (2)(imagine), rhythmical and colourful aspects of the mind.

Much of the work on the mind has involved studies of sleep. Investigation of sleep deprivation by John Lilly and his colleagues showed, (4)( ) the surprise of the experimenters, that people seemed to be able to (5)make do with very little sleep but (6)(suffered, were suffered) if (7)they were not allowed to dream. Those who had little sleep and who were allowed to dream were slightly more irritable than usual but (8)otherwise normal. Those who had little sleep and who were not allowed to dream became, within a few days, very (9)disturbed. A number of them began hallucinating during the day. In other words, the mind needs to dream and unless it can do so during sleep then it has to (10)compensate in waking hours.

The studies concluded that although the normal requirements for sleep vary (11)enormously, most people need to exercise their creative and (2)(imagine) faculties through the process of dreaming. Some people, however, require little sleep and seldom dream.

Further work on dreams and imagination has shown that (12)rather than being things about which people should feel fear and guilt, dreams may well be the playground of the mind – stories, plays and fantastic shows and panoramas that amuse, educate and sometimes advise and give warning. (13)The more people come to terms with their dreams and cease to regard them as irrelevant or shameful, the more relaxed, creative and “whole” they may become. (14)Dreams have provided inspiration for many works of imagination. For example, some stories of Edgar Allan Poe were based on his nightmares and the artist Salvador Dali also made use of the landscape of his dreams.

### 設問

(1)左右の関係が成立するように次の空所に適語を入れよ。

mind : mental = body : ( )

(2)カッコ内の語句を正しい形容詞形に直せ。

(3)(9)(11)下線部と意味が異なるものを次から選べ。

(3) 1. examinations 2. exploitations 3. inquiries 4. inspections

(9) 1. disordered 2. refreshed 3. troubled 4. upset

(11) 1. extremely 2. frequently 3. immensely 4. tremendously

(4)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(5)(10)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(5) 1. deal successfully with 2. get used to 3. manage to go with  
4. work hard with

(10) 1. come up to it 2. do away with it 3. get along with it

4. make up for it

(6)かっこ内の語句のうち正しいものを選び。

(7)(14)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(7) they were prohibited ( A ) ( B )

(14) Many works of imagination ( A ) ( B ) provided ( C ) inspiration by dreams

(8)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(12)(13)下線部を和訳せよ。

(15)本文の内容と一致するものを2つ選べ。

1. The left side of the brain is superior to the right side because it deals with the more academic processes.
2. Nowadays, investigations of the mind have been so interesting that they are drawing attention to the activities of the right side of the brain.
3. Dreams often prevent people from falling into a deep sleep.
4. When people are deprived of dreams, hallucinations take the place of them.
5. As for sleeping hours, there is little difference among individuals.
6. Those who sleep have no time to dream.
7. Some dreams make people prepare for what will take place.
8. People are likely to become superstitious by dreams.
9. Salvador Dali used to dream of painting landscape.

### Further Expressions

#### 《調査する》

Psychologists examined the activities of the brain. 【調査する】

Psychologists investigated the activities of the brain.

Psychologists inspected the activities of the brain.

Psychologists inquired the activities of the brain.

Psychologists looked over the activities of the brain.

Psychologists looked into the activities of the brain.

Psychologists went into the activities of the brain.

#### 《さえぎる》

If sleep is interrupted, we will get tired. 【さえぎる】

If sleep is disturbed, we will get tired. 【妨げる】

If we are deprived of sleep, we will get tired. 【奪う】

#### 《～について言えば》

As for sleeping hours, there is a great difference among individuals. 【～について言えば】

From the point of view of sleeping hours, there is a great difference among individuals.

【～の観点から言えば】

In terms of sleeping hours, there is a great difference among individuals. 【～の点では】

In the way of sleeping hours, there is a great difference among individuals.

There is a great difference among individuals with [in] respect to sleeping hours.

【～に関しては】

There is a great difference among individuals with [in] regard to sleeping hours

There is a great difference among individuals regarding sleeping hours

There is a great difference among individuals so far as sleeping hours are concerned.



## 解答

(1)physical (2)imaginative (3)2 (4)to (5)3 (6)suffered (7)(A)from (B)dreaming (8)普段より少しいらいらすこと以外の点では (9)2 (11)2 (12)夢は、人々が恐れや罪悪感を感じるものというよりむしろ、心の遊び場であるだろう。(13)全文訳参照 (14)(A)have (B)been (C)with (15)4,7

## 解説

- (1)mind「心」： mental「心の」 = body「身体」： physical「身体の」  
(2)imagine から派生した形容詞には imaginable「想像できる」、imaginary「想像上の」、imaginative「想像的な、想像力に富んだ」の3語があり、ここでは文脈的に imaginative が正しい。artistic and imaginative activity「芸術や想像に関する活動」

### imagine の派生語

imaginable 「想像できる、考えられる」

We should prepare for the every imaginable possibility of terrorism.

私たちは、想定されるテロリズムの可能性に対してすべて準備すべきである。

imaginary 「想像上の」

A unicorn is an imaginary animal. ユニコーンは想像上の動物である。

imaginative 「想像力に富んだ、想像の」

They say that kids are very imaginative. 子どもはとても想像力に富むといわれる。

- (3)investigation, examination, inquiry, inspection はすべて「調査」という意味があり、exploitation「開発、搾取」のみ異なる。しかし、同じ「調査」の訳語にもニュアンスに差があるので注意。

### 「調べる」のいろいろ

examine「(状態、性質などを検査して)調べる」 investigate「(警察や研究機関などが事実関係や原因などを)捜査する、調べる」 inquire「(照会などをして)調べる」 inspect「(税関・衛生関係の役所などが公式に)検査する」 research「(長期的に科学的)研究をする」 survey「(測量・統計などで概観的に)調べる」

- (4)to one's surprise「(人が)驚いたことに」 to the surprise of the experimenters「実験者たちが驚いたことに」  
(5)make do with A「A で間に合わせる」 deal with A「A を扱う」 get used to A「A に慣れる」 manage to 不定詞「なんとかやっていく」 work hard with A「A と一生懸命働く」 4 が最も近い。be able to make do with very little sleep「非常に少ない睡眠で間に合わせることができる」  
(6)suffer「苦しむ」は自動詞として使うので、I was suffered by a bad cold.とはいわず、I suffered from a bad cold.となる。参考までに、surprise「驚かせる」は他動詞なので、「～が驚く」という文を作りたいときには受身形を用い、I was surprised at the victory of the team.となる。  
(7)人 be not allowed to 不定詞「...が～することを許されない」 prohibit 人 from ~ing「...が～することを禁じる」それぞれ不定詞、動名詞であることに注意。直後の if 節中の動詞が過去形なのは仮定法を用いているためではなく、Investigation...showed that...people...suffered if they were not allowed to dream.「調査は、もしも夢見ることを許されなかったら、人々は苦しむことを示した」というように、that 節内の時制の一致のためと考えられる。  
(8)otherwise には「別のやり方で」「さもなければ」という意味もあるが、ここでは「その他の点では」の意味。直前の Those who had little sleep...were slightly more irritable than usual を受け、「slightly more irritable than usual な点以外は(ふつうである)」ということを示している。解答は otherwise normal の和訳まで含めて、「睡眠時間は少ないが夢を見ることを許された人々は、普段より少しいらいらしたという以外の点では、ふつうの人と変わらなかったということ」としてもよい。  
(9)disturbed「精神的に病んでいる、平穏を乱された」、disordered「無秩序な、乱れた、心身が不調の」、troubled「心配そうな、問題の多い、乱れた」、upset「取り乱す、動揺する」に対し、refreshed「さわやかになった、元気づけられた」のみ意味の方向性が異なる。  
(10)compensate=make up for「補償する、埋め合わせする」 compensate in waking hours「日中に補う」  
(11)enormously, extremely, immensely, tremendously はすべて、程度がはなはだ大きい様子を示しているのに対し、frequently「しばしば、頻繁に」が異なる。  
(12)rather than A「A というよりむしろ」 things about which people should feel fear and guilt「人々が怖いとか罪悪感を感じるべきもの」 may well「たぶん～だろう」「～するのをもっともだ」ここでは前者の意味。

### may [might]の慣用表現

may well 「 ~するのはもつともだ たぶん ~だろう」  
You may well be surprised at the news. 君がそのニュースに驚くのももつともだ。  
The rumor may well be true. そのうわさはたぶん本当だろう。  
may as well 「 (気は進まないが) ~するほうがいい ~するのも同じだ」  
He might as well throw his money away as spend it in such a way.  
そんな使い方をするくらいなら、彼は金を捨てた方がました。  
The road was so crowded, we might just as well have walked.  
道があまりに込んでいて、歩いていっても同じだった。

- (13)the 比較級, the 比較級「...になればなるほど ~になる」 come to terms with A「A と折り合いがつく、A をあきらめて受け入れる」 cease to 不定詞「 ~するのをやめる」 regard A as B「A を B とみなす」 them は their dreams を指す。 irrelevant「不適切な、無関係な」は relevant「関連がある、適切な」の反意語。 relaxed、 creative、“whole”は並列で become にかかる。 whole「完全なもの」  
(14)provide B with A = provide A for B「B に A を供給する」 Dreams have provided inspiration for many works of imagination「夢は多くの想像力あふれる作品に示唆を与えてきた」  
(15)1.「左脳は右脳より優れている。なぜなら左脳はよりアカデミックなプロセスを取り扱っているからである」 superior to A「A より優れている」 比較級だが than ではなく to を用いる。  
2.「今日では、心に関する調査は関心がとても高いので右脳の活動に注意を引いている」 so 形容詞 that S V「あまりに...なので ~」 draw attention「注意を引く」 3.「夢はしばしば人々を深い眠りから妨げる」 prevent A from ~ing「A が ~するのを妨げる」 4.「人々は夢を奪われると、幻覚が夢の代わりをする」 deprive of A「A を奪う」 hallucination「幻覚症状」 take the place of A「A の代わりをする」第2段落後半に書かれている。 5.「睡眠時間についていえば、個人間にあまり差がない」 as for「 ~についていえば」 6.「眠る人は夢を見る時間がない」 7.「ある夢は人々に将来起こることに対して準備をさせる」 make + 人 + 動詞の原形「...に ~させる(使役構文)」 take place「起こる」 第4段落の前半に書かれている。 8.「人々は夢によって迷信深くなりがちである」 be likely to 不定詞「 ~し がちである」 superstitious「迷信深い」 9.「サルヴァドール = ダリはかつて絵を描いている風景の夢をよく見たものだった」 used to 不定詞「(かつて)よく ~したものだ」 landscape「風景」

### 特殊な比較級

ラテン語の形容詞・比較級に由来して or で終わるものがある  
superior「優れた、上位の」 inferior「劣った、下位の」 senior「年上の、上級の」 junior「年下の、下級の」 major「大きい方の、主要な」 minor「小さい方の、重要でない」 prior「前の」 posterior「後の」  
これらの比較級は、than の代わりに to を用いる  
This wine is inferior to that one in flavor. このワインはあれよりも風味が劣る。  
He is two years senior to me. 彼は私より2歳年上だ。

### 全文訳

最近、アメリカの心理学者ロバート・オーンSTEINによって、脳のふたつの半球、つまり左半球と右半球は、異なる心理機能を扱っているということが示唆された。左側はより学術的な過程を扱い、一方の右側はより芸術的・想像的な活動を扱う。脳の右側の活動に関する現在の関心は、心の、想像力やリズム感や色に関する側面の調査を招いた。

心理に関する研究の多くは、睡眠の研究を含んできた。睡眠不足に関するジョン・リリーと彼の同僚の調査は、彼らも驚いたことに、人々は非常に少ない睡眠でもやっていけるが、夢を見ることができないと苦しむということを示した。睡眠が少なく、夢を見ることがゆるされた人々は、普段よりほんの少しだけ短気になったがあとは普段どおりだった。睡眠が少なく、夢を見ることをゆるされなかった人々は、数日で非常に精神が不安定になった。彼らの多くは、日中、幻覚を見始めた。言い換えれば、我々の脳は夢を見る必要があり、睡眠の最中にそれができないと、日中、それを補償しなければならないのである。

その研究は、一般的な睡眠の必要量は様々であるが、ほとんどの人々は創造力・想像力の部門を、夢を見る過程を通して鍛える必要があると結論付けた。しかしある人々は少しの睡眠とごく少ない夢しか必要としない。

夢と想像力のさらなる研究は、(12)夢は、人々が恐怖や罪の意識を感じるべきものというよりはむしろ、心の遊び場、すなわち、驚かせ、教育し、そして時として忠告・警告する物語、遊び、ファンタジーショー、パノラマであることを示している。(13)夢を受け入れれば受け入れるほど、夢を不適切なものとか恥ずべきものとみなさなくなればなるほど、人々はよりリラックスし、より創造的となり、より「完全」な存在となるだろう。夢は多くの想像力を働かせた作品に示唆を与えてきた。たとえばエドガー・アラン・ポーのいくつかの物語は彼の悪夢に基づいているし、芸術家サルバドール・ダリも彼の夢の風景を使ったのである。

## 48 男女と理性

Many a man complains bitterly that his wife will not attempt to reason things out. Many a wife feels that her husband is all reason, able to argue about anything under the sun, but never able to go straight to the truth as she feels she can. The truth is that, (1)generally speaking, (2)men are ( A ) and women ( B ).

(3)Needless to say, women are no more guided exclusively by intuition than men are by reason. There are women whose (4)make-up includes an almost (5)masculine approach to life. There are men — especially those with artistic gifts — who possess (6)marked intuitive tendencies.

If the husband will keep this fact in mind, it will help him avoid (7)one basic error which causes an (8)immense amount of disagreement and friction. It is a mistake for him to use cold reasoning to overcome anything which he cannot understand in his wife. The wife who feels deeply about something or other may well feel like screaming, and indeed may do so, if she is (9)confronted with a series of arguments, however logical they may be. Indeed, (10)the more persuasive the arguments, the more irritating they are bound to be.

The wise husband realizes that a woman's intuition is part of her basic make-up, and must therefore be respected. He will accept the undeniable fact that it is a quality which often yields of genius and reaches areas of truth that mere reasoning can never find. (11)He will seek to understand his wife, not to try to make her reason as he does. The greater the understanding, the deeper the admiration. (12)There will grow a feeling of wonder that this gift of intuition can so often solve problems which a reasoning brain can work on for hours and still not answer.

## 設問

(1)(8)下線部と意味が異なるものを次から選べ。

- (1) 1. as a rule 2. by and large 3. in theory 4. on the whole  
(8) 1. enormous 2. huge 3. minute 4. vast

(2)空所にあてはまる語の組み合わせを次から選べ。

1. (A) artistic (B) intuitive 2. (A) artistic (B) logical  
3. (A) rational (B) intuitive 4. (A) rational (B) logical

(3)(10)(11)(12)下線部を和訳せよ。

(4)(6)(9)下線部と意味が近い語句を次から選べ。

- (4) 1. appearance 2. behavior 3. character 4. decision  
(6) 1. admirable 2. distorted 3. evil 4. striking  
(9) 1. delighted 2. disgusted 3. faced 4. unsatisfied

(5)左右の関係が成立するように、空所に適語を入れよ。

man : masculine = woman : ( )

(7)下線部の具体的内容を 30 字程度の日本語で説明せよ。

### **Further Expressions**

#### **《と同様に～でない》**

Women are no more intuitive than men are rational. 【Bでないのと同様にAではない】

Women are not intuitive any more than men are rational.

#### **《一般的に》**

Generally speaking, men are rational and women are intuitive. 【一般的に言えば】

In general, men are rational and women are intuitive.

As a rule, men are rational and women are intuitive. 【概して】

By and large, men are rational and women are intuitive. 【全体から見て】

On the whole, men are rational and women are intuitive.

#### **《考慮に入れる》**

The husband should keep this tendency in mind. 【心に留めておく】

The husband should have this tendency in mind.

The husband should bear this tendency in mind.

The husband should take this tendency into account. 【考慮に入れる】

The husband should take this tendency into consideration.

The husband should allow for this tendency.

The husband should make allowance for this tendency.

## 解答

(1)3 (2)3 (3)全文訳参照 (4)3 (5)feminine (6)4 (7)妻の理解できないことを克服するために夫が冷淡な理屈を用いること。(32字) (8)3 (9)3 (10)全文訳参照 (11)全文訳参照 (12)全文訳参照

## 解説

- (1)generally speaking「一般的に言って」 3. in theoryは「理論上は」で意味が異なる  
(2)第1文目で多くの男性は妻が論理的に考えないことに不満をいい、妻の方は夫が全て理詰めで考えてまっすぐ真実に到達することができないと感じている、と述べられている。つまり夫は理論的で妻は直感的であるということであるから、men are rational and women intuitive「男性は合理的であり、女性は直感的である」となる。3が正解。intuitive「直感的」logical「論理的」rational「合理的」  
(3)needless to say「言うまでもなく」この文は、A is no more B than C is D。「CがDでないのと同様、AはBではない」という構文である。よって直訳すると、women are no more guided exclusively by intuition than men (are guided exclusively) by reason。「男性がもっぱら理性によって動かされるのでないのと同様、女性はもっぱら直感によって動かされるわけではない」となり、カッコ内の部分は省略されている。この構文ではthan以下が肯定文の形をしていても、否定文として訳されるので注意すること。be guided by A「Aによって動かされる、左右される」exclusively「もっぱら」intuition「直観」reason「理性」

### no more A than Bの用法

< no more A than B > : 「Bでないのと同様 Aではない」

I can no more swim than fly. 私は飛べないのと同様、歌えない。

< A is no more B than C is D. > : 「CがDでないのと同様、AはBではない」

He is no more young than I am. 私が若くないのと同様、彼は若くはない。

- (4)make-up「構造、(人の)性質、体格」よって3.character「個性、性格」が正解。1.appearanceは「外見、様子」で人の外的特徴のことであるからここでは誤り。  
(5)man : masculine「男性：男の、男らしい」これと同じ関係になるのだから woman : feminine「女性：女性の、女性らしい」となる。  
(6)marked「著しい、際立った」marked intuitive tendencies「極めて直感的な傾向」4.striking「著しい、目立った」が正解。1.admirable「賞賛に値する」2.distorted「曲がった、ゆがんだ」  
(7)one basic error「基本的な間違い」はその後でto use cold reasoning to overcome anything which he cannot understand in his wife「夫が妻の中で理解できない側面を克服するために無味乾燥な理屈を用いること」と言い換えられ、具体的に説明されている。この点をまとめる。  
(8)immense「巨大な、多大な」3.minuteは「微小な」で反対の意味。その他は同じ意味である。  
(9)be confronted with A「Aに直面する」3.faced「直面する」が正解。2.disgusted「うんざりした」if she is confronted with a series of arguments「もし彼女が一連の議論に直面すると」  
(10)the more..., the more ~「...すればするほど~する」persuasive「説得力のある」the argumentsの後にはareが省略されている。S is bound to do「きつと~する、~するに違いない」  
(11)seek to 不定詞 = try to 不定詞「~しようと努める」reasonは動詞で「論理的に考える」make her reason「彼女を論理的に考えさせる」使役構文。as he does = as he reasons「彼が論理的に考えるように」  
(12)There will grow a feeling of wonder「驚きの感情が育つだろう」that以下がどのようなwonderであるかの説明である。this gift of intuition「直感というこの天賦の才能」which以下はproblemsにかかる。a reasoning brain can work on for hours and still not answer.「論理的思考が何時間もとりかかり、それでも答えの出ない(そのような問題)」a reasoning brain「論理的に考える頭脳」reason「理論的に考える、判断する」のing形がbrainを修飾している。work on A「Aの作業をする、Aに従事する、Aを手がける」

## 全文訳

多くの男性は、妻が物事を論理的に考えないとひどく不満を言う。多くの女性は、夫がすべて理詰めで考え、世の中の何についても議論できるけれども、彼女が自分自身でできると思っているようにまっすぐに真実に到達することができないと感じている。実際、一般に、男性は合理的であり、女

性は直感を重視する。

(3)言うまでもなく、女性は、男性が理詰めであるのと同程度に直感に頼っているに過ぎない。生活の中でまるで男性のように考える性質を持つ女性もいる。とくに芸術的才能のある男性の中にはきわめて直感的な傾向を持つ男性もいる。

夫がこの事実を頭に留めるならば、ひどい見解の不一致や摩擦を生む基本的な間違いを避けるのに役立つ。妻の理解できない側面を何でも負かすために無味乾燥な理屈を用いることは間違いである。物事を深く感じる妻は議論に直面するとそれがどんなに論理的であっても叫びたくなるであろうし、実際そうするかもしれない。事実、(10)議論が説得的であればあるほど、それらはいらいらす原因となりやすい。

賢い夫は女性の直感が彼女の根本的な性質の一部であり、尊重されなければならないということに気付いている。彼は、しばしば天才のきらめきを生み、単なる理屈では決して見つけられない真実の領域に到達するのは人の特性だという否定できない事実を受け入れる。(11)彼は自分のように妻を論理的に考えさせようとするのではなく、妻を理解しようとする。理解するほど尊敬は深くなる。(12)直感という天賦の才能は、論理的に考える頭脳が何時間もとりかかり、それでも答の出ない問題をよく解決するという驚きの感情が育つだろう。

### コラム 語源研究

#### 語根 CLUDE、CLUS

【語源】ラテン語の claudere「閉じる」を語源とする。close「閉じる」、closet「(小さく囲まれたところ)物置、収納室」、cloister「(囲まれたところ)回廊、修道院」、clause「(法律の)条項」などは全て同語源である。

#### 【単語】

- conclude con(一緒に) + clude(閉じる) 「(相手と)話を一緒に終わらせる(= 終える、結論を下す)」
- disclose dis(ない) + close(閉じる) 「(外に)閉じないで開放する(= あばく、発表する)」
- enclose en(~する) + close(閉じる) 「閉じる状態にする(= 囲む)」
- exclude ex(外へ) + clude(閉める) 「外へ閉め出す(= 締め出す、除外する)」
- include in(中に) + clude(閉じる) 「(あるものを)中に閉じこんでいる(= 含む)」
- preclude pre(前に) + clude(閉じる) 「(時間的に)前もって閉め出す(= 排除する)」
- seclude se(離す) + clude(閉じる) 「離れたところに閉じ込める(= 引き離す、遮断する)」

### コラム 語源研究

#### 語根 FIN

【語源】ラテン語の finire「境界を定める、制限する、終える、終わる」を語源とする。英語 finish「終える、終わる」、フランス語 finir「終える、終わる」、イタリア語 finire「終える、終わる」も同語源。final「最後の」、finance「(支払いの)終わり」財政、fine「(質において)終わり」立派な、すばらしい、fine「(争いの)終わり」罰金、finite「限界のある、有限の」は形がよく残っている。

#### 【単語】

- confine con(完全) + fine(境界を引く) 「完全に制限する(= 制限する、閉じ込める)」
- define de(完全) + fine(境界を引く) 「完全に境界を引く(= 定義する、限定する)」
- infinite in(否定) + finite(終わる) 「終わりが無い(= 無限の)」
- refine re(再び) + fine(境界を引く) 「境界をきれいに引きなおす(= 精製する、洗練する)」

### コラム 語源研究

#### 語根 LEG

【語源】ギリシア語から入ったラテン語の legere「拾い集める、選び出す」を語源とする。intellectua「(試験によって)選び出されるほど勉強した、後天的な)知性の」、intelligent「(多くのものからよいものを選び出す能力のある、先天的な)知能の高い、理解力のある」などは同語源である。

#### 【単語】

- collect com(共に) + lect(集める) 「一緒に集める(= 集める、収集する)」
- elect ex(外へ) + lect(選ぶ) 「選び出す(= 選ぶ、選挙する)」
- neglect nec(否定) + lect(集める) 「集めない(= 無視する、ほうっておく、怠る、無視、怠慢)」
- recollect re(再び) + collect(集める) 「(過去の出来事を)再び集める(= 思い出す)」
- select se(離す) + lect(選ぶ) 「選んで離す(= 選び出す)」

## 49 民主主義を守るもの

The word “democracy,” which is used carelessly enough (1)in our time, is usually taken to mean a certain type of political structure the purpose of (2)( ) is to enable people to govern themselves. And yet it is obvious to all, and especially obvious in America, that politics and self-government are not (3)by any means the same thing. American self-government is only (4)partially achieved by the political parties. Much of it is achieved through unofficial, (5)unpaid services of (6)private citizens.

Most Americans are kept as busy by their unofficial duties (7)( ) by their official ones. And these (8)off-duty activities have a deeper and more (9)lasting effect upon American life and even (10)( ) American policies than (11)( ) the activities of the professional politicians and Government officials. This voluntary tradition is a long one in America.

(12)The more successful a man is, as a rule, the more numerous and far-reaching are the social obligations and responsibilities that he feels it necessary for him to undertake. Nor, as a rule, is it just a question of giving away money. Most people today have heard of the great foundations — Carnegie, Rockefeller, Ford and so on — and know something about the work costing billions of dollars they are doing in all parts of the world. But fewer perhaps realize how much unpaid time and thought went into the (13)setting up of these organizations, and how much unpaid activity their administration still (14)calls for from directors and advisers.

There are now (15)some hundreds if not thousands of those foundations in America. (16)Most of them are too small and too specialized to come to the attention of the general public, but all are doing work, good work, which would (17)otherwise have to be done by some paid Government officials, or not get done at all.

The work of the foundations, both large and small, is (18)only a very small part of the total number and extent of “public-spirited” activities (19)( ) which Americans engage.

This enormous army of volunteer citizens, who take time out from their jobs and pleasures to work more (20)( ) less unselfishly for the betterment of the community, not only protects American democracy, but it makes American democracy work. (21)For though a few of these organizations may be impractical, and others self-interested, the volunteers as a whole are always ready to work and fight for what they think is right.

設問

(1)(3)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(1) 1. at a time 2. in time 3. nowadays 4. present 5. timely

(3) 1. all 2. at all 3. in the meantime 4. never 5. rarely

(2)(7)(10)(11)(19)(20)空所にあてはまる適語を答えよ。

(4)(6)下線部の反意語を答えよ。

(5)(8)下線部と近い意味のものを次から選べ。

1. 非課税の 2. 無報酬の 3. 勤務時間外の 4. 私的な

(9)(13)(14)下線部と近い意味の動詞を次から選べ。動詞は原形で示してある。

1. abolish 2. continue 3. establish 4. represent 5. require

(12)(21)下線部を和訳せよ。

(15)(18)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(15) some hundreds not to ( ) thousands of those foundations

(18) ( ) but a very small part

(16)下線部を、them の具体的内容を明示して和訳せよ。

(17)下線部と置き換えられる語句を次から選べ。

1. if they aren't 2. if they didn't 3. if they don't 4. if they hadn't

5. if they weren't

(22)アクセントの位置がすべて同じ場合は を、すべて異なる場合は×を、1つだけ異なる場合はその番号を答えよ。

(A) 1. democracy 2. democratic 3. democrat

(B) 1. politics 2. political 3. politician

**Further Expressions**

**《永久の》**

These off-duty activities have a **lasting** effect on American life. 【永久の】

These off-duty activities have an **eternal** effect on American life.

These off-duty activities have an **everlasting** effect on American life.

These off-duty activities have a **perpetual** effect on American life.

These off-duty activities have a **permanent** effect on American life.

**《引き受ける》**

Successful people usually don't want to **undertake** social obligations. 【引き受ける】

Successful people usually don't want to **take on** social obligations.

Successful people usually don't want to **answer for** social obligations. 【責任を負う】

Successful people usually don't want to **be responsible for** social obligations.

Successful people usually don't want to **attend to** social obligations. 【精を出す】

**《やむを得ず》**

Successful people **are forced to** undertake numerous things. 【強いられる】

Successful people **are compelled to** undertake numerous things.

Successful people **are obliged to** undertake numerous things.

Successful people **have no choice but to** undertake numerous things. 【するより他ない】

Successful people **have no alternative but to** undertake numerous things.



## 解答

(1)3 (2)which (3)2 (4)totally (5)2 (6)public (7)as (8)3 (9)2 (10)upon[on] (11)do  
(12)全文訳参照 (13)3 (14)5 (15)say (16)そのような数百の財団のほとんどは小規模で専門的  
過ぎるので、一般人の知るところとなりえない。(17)5 (18)nothing (19)in (20)or(21)全文訳参  
照 (22)(A)× (B)×

## 解説

- (1)in our time「私たちの時代には」、つまり、「今日、現代では」という意味である。3.nowadays「今日では」が正解。4.presentは「現在の、現在」という意味で単独で用いることはできない。at the present day「今日では」とすれば意味は近くなる。2.in time「間に合って」 5.timely「時を得た」
- (2)...a certain type of political structure the purpose of which is to enable people to govern themselves.「その目的が人々に自己管理を可能にすることであるような、あるタイプの政治的構造」となる。the purpose以下はa certain...structureにかかる説明文であり、関係代名詞の所有格of whichによってつながれる。この文は...structure whose purpose is to...と表すこともできる。
- (3)not by any means「けっして～しない、全く～でない」 not at allと同じ意味である。2が正解。3.in the meantime「その間に、とかくするうちに」
- (4)partially「部分的に」 totally「全体的に」 partially achieved by the political parties「政党によって部分的に達成される」
- (5)unpaid services「無報酬の活動」 2が正解。
- (6)private「私的な、公職についていない」 public「公的な」 private citizens「一市民たち」
- (7)同等比較as ~ as A「Aと同じくらい～である」の構文である。ここでは忙しさの原因by their unofficial duties「非公式の勤め」とby their official ones(=duties)「公式の勤め」が比較されていて、後者と同じくらい前者が忙しいと述べている。
- (8)off-duty「勤務時間外の」 よって3が正解。these off-duty activities「これらの勤務外の活動」
- (9)last「持続する、続く」 2.continueが近い。lasting effect「持続的な影響力」
- (10)a deeper and more lasting effect upon American life and even upon American policies.「アメリカの生活や、さらにアメリカの政策にも、より深く持続的な影響」 effect upon A「Aへの影響」のAがAmerican lifeとAmerican policiesの2つ並置されている。よってここにはupon(またはon)が入る。
- (11)空欄に埋める語はそれがなくても文が成立するが、比較の対象をより明確にするため入れる語句である。つまり、文法的には「これらの勤務外の活動は、専門の政治家と政府の活動よりも～である」としても「...は、専門の政治家と政府の活動に対してよりも、アメリカ人の生活やアメリカの政策に対して、～である」としても文は成立する。しかし、意味的に考えれば前者のほうが適切であり、それをより明確化するためにthanの後に動詞を置くのである。動詞はhaveだが繰り返しを避けてdoが使われる。
- (12)the 比較級, the 比較級「～すればするほど...」が基本的な文の構造になっている。The more successful a man is「人がより成功すればするほど」 the more numerous and far-reaching are the social obligations and responsibilities「社会的な義務や責任はより数が多くなり、より広範囲になる」 as a rule「概して」は間に挿入されている。thatは同格「～という」の用法で、social obligations and responsibilities「社会的義務と責任」にかかる。he feels it necessary「彼はそれを必要と感じる」SVOCの構文。itは仮目的語でto undertakeにかかる。undertake「引き受ける」
- (13)set up「建設する、設立する」 3.establishが近い。setting up of these organizations「これらの組織の設立」
- (14)call for A「(Aを)声をあげて求める、必要とする」 5.requireが近い。
- (15)some hundreds if not thousands of those foundations「数千までではないにしろ、それらの財団数百」if notには「もしもそうでないなら」という意味のほか、形容詞、副詞のあとで「～でなくとも、～とまではいなくても」という意味がある。not to sayがこれと同じく「～とは言わないまでも」という意味である。
- (16)too 形容詞 to不定詞「～すぎて...できない」の構文である。Most of themのthemは前文のsome hundreds...of those foundations「そのような財団数百」を指す。specialized「専門的な」come to the attention of the general public「一般人の知るところとなる」come to A's attention「Aの知るところとなる」general public「一般大衆」
- (17)all are doing work, good work, which would otherwise have to be done by...「すべて(の財団)は、

もしそうでなかったら、...によってなされねばならないだろうような、良い仕事をしている」これは現在の事実と反する事を仮定する仮定法過去の文である。otherwise「さもなければ」はこの場合「すべての財団が(現実にはしているが)仕事をしていないなら」という仮定を表すので、if 節の動詞は過去形になる。

- (18)only a very small part of the total number「全体の数のうち、ごく少数の部分にすぎない」 nothing but A「A に過ぎない」 よって nothing が正解。
- (19)engage in A「A に従事する」 American engage in activities を関係代名詞を使って「アメリカ人の従事する活動」に変化させる。activities which American engage in となるが、in を which の前に出せば、activities in which American engage という本文の文章になる。extent of “public-spirited” activities in which Americans engage.「アメリカ人が従事する「公の精神」の範囲」
- (20)more or less「多かれ少なかれ」 more or less unselfishly「多かれ少なかれ無私の精神で」
- (21)For は前文「民主主義を守るだけではなく民主主義を機能させる」を受けて、「というも～だからである」という理由の接続詞。though 以下 a few...self-interestedの部分は挿入で「いくつかの組織は非現実的で、他の(一部の)組織は利己的であるかもしれないが」の意味。impractical「非現実的」 other は the other ではないので、「その他すべての組織」ではなく「その他のうち、一部の組織」という意味。othersの後に may be が省略されている。self-interested「利己的な」 as a whole「概して」 be ready to 不定詞「～する用意ができてい」 what they think is right「彼らが正しいと思っているもの」
- (22)(A)1.democracy「民主主義」 2.democrático「民主主義の」 3.démocrat「民主主義者、民主党員」  
(B)1.pólitics「政治、政治学」 2.political「政治の」 3.politician「政治家」

## 全文訳

「民主主義」という言葉は、現代においてとても不注意に使用されるので、たいていは人々が自己管理できるようにすることを目的とする政治的構造のある特定のタイプを意味するととられている。そしてすべての人に、とくにアメリカにおいては明らかであることだが、政治と自治とは決して同じものではない。アメリカの自治は政党によって部分的に達成される。その多くは市民による非公式で無報酬の個人的活動を通してなされる。

ほとんどのアメリカ人は、公の職務と同じくらい非公式のつとめのために忙しい。そしてこれらの勤務外の活動は、アメリカの生活やさらには政策にさえも、専門の政治家や政府の役人の活動よりもより深く、持続的な影響力をもっているのである。この自主的な伝統は、アメリカにおいて長く続いているもののひとつである。

(12)概して、人は成功すればするほど、自分が引き受ける必要があると感じる社会的義務や責任が多くなり、その範囲も広がる。そしてまた概して、それはただお金を与えるという問題ではない。今日、ほとんどの人々は、カーネギー、ロックフェラー、フォードなどといった巨大な財団の名を聞いたことがあるだろう。そしてそれらが世界中で行っている十数億ドルをかけての仕事を知っているだろう。しかし恐らく、どれほどの無報酬の時間や考えがこれらの組織の設立につながったか、そして重役や顧問による無償の活動がどれほどその運営に必要であるかに気づいている人はより少ない。

現在アメリカには、数千とまではいかないにしろ、そのような財団が数百存在している。それらのうちほとんどは小規模で専門的過ぎるので、一般人の知るところとはなりえない。だがすべての財団は、もしそれらが仕事をしていなければ雇われた政府の役人がしなければならぬか、あるいはまったくなされなかつたろうような良い仕事をしている。

財団の仕事は、大きくても小さくても、アメリカ人が従事する「公の精神」の活動全体のうちのごく小さな部分に過ぎないのである。

多かれ少なかれ無私の精神をもって、自分たちの仕事や楽しみを割いてまで社会の向上のための仕事にあてるような、自主的市民による巨大な団体は、アメリカの民主主義を守るだけでなくアメリカの民主主義を機能させる。(21)というのも、これらの組織のごく少数は非現実的で、その他のものは利己的であるかもしれないが、概してボランティアたちは常に自分が正しいと思うもののために働き、戦う準備ができていからである。

## 50 記憶と人生

When I was a school boy we were made (1)(learn, learning, to learn) lists of facts (2)( ) heart. I was pretty good at remembering but didn't take any pleasure or pride (3)( ) it; to me it was just a game, a trick that came naturally, not a skill of any value. (4)Now, I'm not so sure. (5)We take it for granted that we have the same ability to store things in our mind, don't give it a second thought, until suddenly, one day, we can't remember the name of a good friend or a relative. It's lost; we've forgotten it. Once this happens, there are further losses. (6)( ) then do we appreciate the importance of memory.

Among the other special human abilities that memory makes possible, none is more important than (7)this; if we are to achieve some understanding of ourselves and our lives, we need to be able to recall past experiences.

Looking back as far as I can, to my childhood, the clearest (8)(remember) I have is of my mother. While my father was part of everyday, ordinary life, my mother, as I first knew her, was different and other-worldly. My father found it easy to make friends, to joke and laugh and tell stories. Mother had no close friends, (9)( ) do I think she felt the need to discuss her innermost thoughts and hopes. Whereas the other women in the neighbourhood were chiefly concerned with being efficient housewives and were proud of their neat homes, Mother looked down on such things, which she considered (10)( ) very small significance. She was strong and (11)definite in her opinions, yet her manner with people was always gentle. She spoke softly, moved about quietly. Often it seemed that her mind was far away from her body.

With me, though I knew she loved me deeply, she was never (12)( ) such terms of friendship as sometimes exist between mother and son. When I was a small boy I was often conscious of Mother's searching eyes fixed on me. She would gaze for minutes (13)on end without speaking one word. (14)I would look down at the ground, feeling guilty, anxiously turning over in my mind what I could have done wrong. Later, I knew that (15)(it / she / such / that / things / thinking / was / wasn't) about: her thoughts were not at all on my little daily activities.

My mother was somewhat older than my father but to me seemed a lot older. Unlike other people, she never celebrated her birthday and one day I ventured to ask her when she was born.

'I was born. I'm alive as you can see, so what more do you need to know?' she replied, so sharply that I never asked her about her age again. She had a (16)still, sad face and was rather thin, always slightly bent forward as if a weight lay on her shoulders. For a long time she showed no trace of growing older until, near the end of her life, she suddenly became an old lady.

Perhaps I remember these various details so vividly because, at the time, they struck me

as (17) odd, separate facts. Now, when by means of (18) ( ) I can gather them together, I have, I think, some understanding of what my mother's character was and of the influence she had on mine.

#### 設問

- (1) カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。  
(2)(3)(10)(12) 空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。  
(4) 下線部はどのようなことを言っているのか、日本語で説明せよ。  
(5)(14) 下線部を和訳せよ。  
(6)(9) 空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。  
1. after 2. nor 3. not 4. only 5. so 6. until  
(7) 下線部の具体的内容を日本語で答えよ。  
(8) カッコ内の語を適当な名詞形に直せ。  
(11)(16)(17) 下線部と近い意味の語句を次から選べ。  
(11) 1. positive 2. proper 3. selfish 4. violent  
(16) 1. careless 2. colorless 3. motionless 4. powerless  
(17) 1. natural 2. pleasant 3. sad 4. strange  
(13) 下線部の語句は、次のいずれかの動詞の副詞形と近い意味になる。その副詞形を答えよ。  
consider continue despair respect  
(15) カッコ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。  
(18) 空所にあてはまる適当な語句を本文中より選んで答えよ。

#### **Further Expressions**

##### **《年のわりに》**

My mother looked old for her age. 【年のわりに】

My mother looked old considering her age.

##### **《続けて》**

She would often look at me on end. 【続けて】

She would often look at me continuously.

She would often keep (on) looking at me. 【し続ける】

She would often go on looking at me.

She would often continue to look at me.

She would often continue looking at me.

She would often look me in the face. 【じっと見る】

She would often gaze at me.

## 解答

(1)to learn (2)by (3)in (4)かつては物事を記憶するのはいとも簡単なことだと思っていたが、今はそうだと確信できない、ということ。(5)全文訳参照 (6)4 (7)過去の経験を思い出すことで、自分自身や自分の人生を理解することが可能になる。(8)remembrance (9)2 (10)of (11)1 (12)on (13)continuously (14)全文訳参照 (15)it wasn't such things that she was thinking (16)3 (17)4 (18)memory

## 解説

- (1)They made us learn lists of facts by heart「彼らは私たちに物事のリストを暗記させた」の受身の形である。使役の < make + 人 + 原形 > は受動態にすると < 人 + be made to 不定詞 > という形になる。
- (2)learn by heart「暗記する」 learn lists of facts by heart「物事のリストを暗記する」
- (3)take pleasure in A「Aを楽しむ」 take pride in A「Aを誇りに思う」 didn't take any pleasure or pride in it「喜んだり誇りに思ったりしない」
- (4)When I was a school boy...I was pretty good at remembering「学校時代、私はとても覚えることが得意だった」という文を受けて Now, I'm not so sure.「けれど今は定かではない」と言っている。つまり、自分の記憶力に以前ほどの自信がもてないということである。
- (5)take it for granted that S V「~だということを当然のこととみなす」 it は仮目的語で that 節を指している。ability to store things in our mind「記憶の中に物事を蓄える能力」=「物事を記憶しておく能力」 don't give it second thought「再考せずに」 until suddenly, one day...「ある日突然...するまで」 not...until ~で「~してはじめて...した」とも訳せる。relative「親戚、親類」
- (6)Once this happens, there are further losses.「一度こうなると、さらに失う」という前文を受けて Only then do we appreciate the importance of memory.「そのときだけ、私たちは記憶の重要性を認めるのである」となる。強調のために Only then が文頭に出て動詞が倒置を起こしている。
- (7)this「このこと」は ; 以下で説明している。if we are to achieve some understanding「もし私たちがいくらかの理解に達したいと思うなら」 be to 不定詞は if 節で意志をあらわす。recall「思い出す」 past experiences「過去の経験」
- (8)remember「思い出す」 remembrance「思い出」
- (9)no close friend の no を受けて nor「そしてまた...ない」が入る。Mother has no close friend, nor do I think...「母には親しい友人がいなかったし、私は...とは思わない」 否定語 nor に節を続けるときは、< nor + (助)動詞 + 主語 > の順になる。
- (10)be of small significance「小さな重要性しかない」 of + 抽象名詞で形容詞の意味となる。she considered of very small significance「ごくわずかな重要性しか彼女は感じていなかった」
- (11)definite「はっきりした、明確な」 positive は「確信のある」や「積極的な」の他に「明確な」という意味がある。proper「適切な」 selfish「利己的な、自分勝手な」 violent「乱暴な、激しい」 She was strong and definite in her opinions「彼女は意見が強くはっきりした人だった」
- (12)be on + 形容詞 + terms「...の間柄である」 she was never on such terms of friendship「彼女はそのような友情関係の間柄になることはけっしてなかった」 such は as と呼応している。as sometimes exist between mother and son「ときどき母と子の間で存在するような(そのような友情関係の間柄)」
- (13)on end「続けて」よって continue「続ける」の副詞形 continuously「連続的に」に近い。また、continue の派生語には continual「断続的な」、continually「絶えず、頻繁に」もあるので注意。She would gaze for minutes on end「彼女は数分間じっとみつめたものだ」
- (14)I would look down at the ground「私はうつむいたものだった」 would は過去の習慣をあらわす。turning over in my mind what I could have done wrong.「そして、自分はなんの悪いことをしたのだろうかと思ひめぐらした」 分詞構文。turn over「思いめぐらす」 could have done は過去の推量「~だったかもしてない」

### 過去の習慣

would : 「よく~したものだ」(不規則な反復行為・単なる回想)

He would visit us from time to time. 彼は折にふれて私たちを訪ねてきたものだ。

used to : 「よく~したものだ」(長期の常習行為・ふつつ現在そうではないことを含意する)

He used to visit us on Sundays. 彼は日曜日によく私たちを訪ねてきたものだ。

状態に would は用いない。

He used to like vegetables. 彼はかつては野菜が好きだった。

× He would like vegetables.

- (15) < it is A that ~ > の強調構文の否定形になる。think about A「Aについて考える」のAにあたる such things が強調される。it wasn't such things that she was thinking about「彼女が考えていたのはそんなことではなかった」
- (16) still「じっとしている、静止した」 motionless「静止した」が正解。careless「不注意な」 colorless「無色の」 powerless「無力な、弱い」 She had a still, sad face「彼女は静止した悲しい顔をした」
- (17) odd はここでは「変わった」という意味。4. strange「奇妙な」が正解。they struck me as odd「それらは奇妙なものとして私の心を打った」
- (18) by means of A「Aによって」 I can gather them together.「私はそれらを集め合わせることができる」 them は前にある separate facts「引き離された出来事」を指す。過去の経験を思い出すためには memory「記憶」が必要である。

## 全文訳

学生のころ、私たちは物事のリストを暗記させられた。私はよく思い出すことができたが、それを喜んだり誇りに思ったりすることはまったくなかった。私にとって、それは価値のある技能ではなくて、ゲームやたやすい芸当のようなものだった。けれど今は定かではない。(5)ある日突然親しい友達や親戚の名が思い出せなくなるまでは、私たちは物事を記憶しておく能力がまったく同じであることを当然のことだと思っていて、そのことを考えなおさない。それは消えてしまったのだ。私たちはそれを忘れてしまったのだ。一度こうなるとさらに忘れてしまう。そうなったときはじめて、私たちは記憶の重要性を認めるのである。

記憶によって可能になるようなその他の人間が持つ特別な能力のうちで、これ以上に重要なことはない。もし私たちが自分自身や、自分の人生についてのいくらかを理解することに達したいと思うなら、私たちは過去の経験を思い出すことができる必要がある。

子ども時代について、私が思い返すことのできる限りでもっともはっきりと覚えている記憶は、母についてのものだ。私の父は毎日の、日常生活の一部のようであったが、一方で私の母は、初めて彼女のことを知ったとき、異質な別世界の人のようだった。私の父は友達をつくることもジョークを言うことも、笑うことも物語を話すことも簡単だと思っていた。母には親しい友人がなかったし、自分の中のもっとも深い思想や希望について話しあう必要を感じていなかったのだと思う。近所に住んでいたその他の女性たちは主として能率的な主婦であることに関心を持っていて、自分の家をきれいにしておくことを誇りにしていたにもかかわらず、母はそのようなことを軽蔑していて、ごくわずかな意義しか感じていなかった。彼女は強く、意見のはっきりした人だったが、人との接し方はいつもやさしかった。彼女は穏やかに話し、静かに動いた。しばしば彼女は心が体から遠く離れてしまっているようにも見えた。

私に関して言えば、彼女が私を深く愛してしてくれたことを知っていたが、母親と息子の間に時に存在するような友情関係の間柄になることはけっしてなかった。私は幼いころ、母の探るような視線が私に向けられているのに気づいていた。彼女は一言も話さずに、数分間じっと見つめたものだ。(14)私はうつむいて、罪悪感を感じながら、自分は何の悪いことをしたのだろうかかと不安に感じながら思いをめぐらしたものだ。その後、私は彼女が考えていたことはそんなことではなかったとわかった。彼女が考えていたのは、私の些細な日常の行いについてなどではなかったのだ。

私の母はいくらか父より年上だったが、私にはずっと年上に思えた。他の人々と異なり、彼女は自分の誕生日を祝うことはけっしてなかった。ある日私は思いきって彼女に誕生日を尋ねてみた。

「私は生まれたの。おまえが見ているとおり私は生きているのよ、だからこれ以上に何を知る必要があるの？」と、彼女はとても厳しく答えたので、私は彼女の年齢について二度と尋ねなかった。彼女はじっと悲しげな顔をし、かなりやせていて、まるで型におもりが乗っているかのようになり、わずかに前の方に体が曲がっていた。長い間彼女は年をとった様子がなかったが、人生の終わりに近くに、初めて彼女は、突然年老いたのである。

おそらく私はこれらのさまざまなことの詳細を、とても鮮やかに思い出せる。というのもその当時それらは、奇妙で他のものとは引き離されたできごととして私の心を打ったからだ。今、私は記憶によってそれらを集め合わせれば、私は母がどんな性格であったのか、そして彼女が私の性格にどんな影響を及ぼしたのかをいくらかは理解できると私は思っている。

## レベル III 第 11 章 大意・要旨を要約する

### 51 Message と metamessage

You're sitting at a bar – or in a coffee shop or at a party and suddenly you feel lonely. (1)You wonder, “What do all these people find to talk about that’s so important?” Usually the answer is, Nothing. Nothing that’s so important. But people don’t wait until they have something important to say in order to talk.

(2)Very little of what is said is important for the information expressed in the words. But that doesn’t mean that the talk isn’t important. It’s crucially important, as a way of showing that we are involved with each other, and how we feel about being involved. Our talk is saying something about our relationship.

Information conveyed by the meanings of words is the message. What is communicated about relationships – attitudes toward each other, the occasion, and what we are saying – is the metamessage. And it’s metamessages that we react to most strongly. (3)If someone says, “I’m not angry,” and his jaw is set hard and his words seem to be squeezed out in a hiss, you won’t believe the message that he’s not angry; you’ll believe the metamessage conveyed by the way he said it – that he is. Comments like “(4)It’s not what you said but the way that you said it,” or “Why did you say it like that?” or “(5)Obviously it’s not nothing; something’s wrong,” are responses to metamessages of talk.

Many of us (6)dismiss talk that does not convey important information as (7)(valuable, worthless) – meaningless small talk if it’s a social setting or “empty rhetoric” if it’s public. Such requests as “Skip the small talk,” “(8)Get to the point,” or “Why don’t you say what you mean?” may seem to be reasonable. (9)But they are reasonable only if information is all that counts. (10)This attitude toward talk ignores the fact that people are (11)(emotionally, rationally) involved with each other and that talking is the major way we establish, maintain, monitor, and adjust our relationships.

(12)Whereas words convey information, how we speak those words – how loud, how fast, with what intonation and emphasis – communicates what we think we’re doing when we speak; teasing, flattering, explaining, or complaining; whether we’re feeling friendly or angry; whether we want to get closer or (13)back off. (14)( ), (15)how we say what we say communicates social meanings.

## 設問

(1)(4)(5)(8)(9)(15)下線部を和訳せよ。

(2)下線部の要旨を 100 字以内の日本語で答えよ。

(3)下線部の状況で(A)message と(B)metamessage はそれぞれ何か、次から選べ。

1. (A)怒っている (B)怒っている
2. (A)怒っている (B)怒っていない
3. (A)怒っていない (B)怒っている
4. (A)怒っていない (B)怒っていない

(6)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. set about
2. set aside
3. set off
4. set out

(7)(11)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(10)下線部はどのような態度を指しているか、日本語で説明せよ。

(12)下線部の要旨を 50 字程度の日本語で答えよ。

(13)下線部と近い意味のものを次から選べ。

1. 支援する
2. 対立する
3. 大らかに話す
4. 距離を置く

(14)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. For instance
2. In other words
3. Nevertheless
4. What is better

## Further Expressions

### 〈怒り〉

I knew from his face that he was angry with me. 【怒る】

I knew from his face that he was angry about [at] my request.

I knew from his face that he was furious with me. 【激怒する】

I knew from his face that he was mad at me. 【頭にきている】

He answered me in anger. 【怒って】

He lost his temper. 【腹を立てる】

### 〈議論する〉

Why do they discuss unimportant things? 【議論する】

Why do they argue unimportant things?

Why do they talk about unimportant things?

Why do they talk over unimportant things?



## 解答

(1)全文訳参照 (2)話されていることは情報の伝達という点ではあまり重要ではないが、話し手同士がお互いにかかわりあっているということやそのかわりをどう感じているかなど、私たちの人間関係を表現するので重要である。(95字) (3)3 (4)全文訳参照 (5)全文訳参照 (6)2 (7)worthless (8)全文訳参照 (9)全文訳参照 (10)世間話や美辞麗句など重要な情報のない話は価値がないので省こうとする態度。(11)emotionally (12)ことば自体が情報を伝える一方で、そのことばをどのように話すかも、話し手がどうしようとしているのかを伝える。(52字) (13)4 (14)2 (15)全文訳参照

## 解説

- (1)wonder「不思議に思う」what...that's so important?「そんなに重要なこととして何を...するだろう?」thatはwhatを先行詞とする関係代名詞。
- (2)very little of what is said「話されていることのほとんどは...ない」whatは先行詞を含む関係代名詞。is important for the information expressed in the words「ことばで表現された情報という点で重要である」expressed in the words「ことばで表現された」はinformation「情報」を修飾している。It's crucially important, as a way of showing that..., and how...「それは、...を示す方法として、そして、どのように...するかを示す方法として、決定的に重要である」itはthe talk「話」を指す。as「...として」showingは、that以下とhow以下の両方にかかる。(that) we are involved with each other「私たちがお互いにかかわりあっている(ということ)」how we feel about being involved「私たちがかわりあうこと(being involved)に対して、どう感じるか」ポイントは、「話は情報の伝達という点では重要ではない」「しかし、話し手同士がお互いにかかわりあっているということとそのかわりへの感じ方を表現する」「つまり話は私たちの関係を物語る」「ゆえに重要である」の4点。
- (3)誰かがI'm not angry「怒ってないよ」と言いつつ、his jaw is set hard「歯を食いしばって」て、his words seem to be squeezed out in a hiss「搾り出されるような声」であつたら、内心は怒っていると感じるだろう。つまり、messageは怒っていないと言っても、怒っているというmetamessageが伝達されるのである。よって3が正解。
- (4)not A but B「AではなくBである」Aにあたるのはwhat you said「あなたの言ったこと」Bにあたるのがthe way you said it「あなたの言い方」it is~は直訳すると「それは~である」だが、ここでは「それが問題だ」という意味がこめられている。
- (5)it's not nothingは二重否定で「それはなんでもなくはない」その後のsomething's wrong(= something is wrong)「何かがおかしい」は近い意味で言いかえた文である。
- (6)dismissは「解散させる」という意味だが、ここでは「(考えなどを)捨てる、退ける」という意味である。よって2.set aside「棚上げる、除外する、無視する」が近い。1.set about「とりかかる」3.set off「作動させる」4.set out「出発する、手がける」
- (7)Many of us dismiss talk...as ~「私たちの多くは...の話を~として片付けてしまう」片付けてしまうのだから~にはworthless「無価値の」が適切である。meaninglessはこのworthlessを別のことばで言いかえたものである。
- (8)このpointは「話の要点」という意味である。つまりget to the point「要点に触れる、本題に入る」という意味。reach the point, come to the pointも同じ意味である。
- (9)reasonable「道理にかなった」only if「...の場合に限り」information is all that counts「情報は重要なものすべてである」thatはallを先行詞とする関係代名詞。count「価値がある、重要である」

### 関係代名詞 that の特徴

先行詞が以下のとき、関係代名詞 that が好まれる、とされる。

最上級の形容詞や the first[last, only, same, very]が先行詞を修飾するとき 【唯一性】

He is the strongest man that I have ever seen. 彼は私が会ったもっとも強い男だ。

He is the only student that can solve the problem. 彼はこの問題を解ける唯一の学生だ。

This is the very thing that I want to buy. これはまさに私が買ったかった物だ。

all, every, any, no, little, much が修飾したりその合成語(anything, everything, nothing など)が先行詞のとき 【全または無】

She gave me all the money that she had. 彼女は持っているお金をすべて私にくれた。

Is there anything that I can do for you? 私にできることが何かありますか?

\*ただし実際には、以上のようなケースでも which や who が用いられることも多い。

先行詞が <人+事物> のとき、関係代名詞 that を使う。

Look at the boy and the dog that are walking together. 一緒に歩いている少年と犬を見よ。

関係代名詞 that には非制限用法がない

<p>× I'm from Tokyo, that is the capital of Japan.          I'm from Tokyo, which is the capital of Japan.</p>	<p>私は東京の出身で、東京は日本の首都です。</p>
--	-----------------------------

- (10)この段落の最初から前の文までの内容を踏まえて考える。重要でない話をさっさと片付けてしまうと、つまり、重要な情報を含まない話は、価値がないものであるとして省こうとする態度である。
- (11)この段落で言われているように、重要でない話はさっさと片付けてしまうような態度は、people are involved with each other「人間同士が関わりあう」という事実を無視してしまう。どのようにかかわりあっているのかと言えば、当然 rationally「理性的に」ではなく emotionally「感情的に」である。
- (12)whereas「...だが一方( while)」 convey「運ぶ、伝える」 how we speak...communicates what...we're doing...「どのように...を私たちが話すかは、私たちが何をしているところか、を伝達する」 how 以下が主語、communicates が動詞、what 以下が目的語になっている。...で囲まれた中は、how we speak those words の具体的説明。with what intonation and emphasis「どのようなイントネーションとアクセントで」 communicates what we think we're doing when we speak「私たちが話しているときに、私たちがしていると思うことを伝える」まとめると、ポイントは、「ことば自体が情報を伝える一方で」「そのことばをどのように話すかも」「話し手がどうしようとしているのかを伝える」の3つ。
- (13)back off「後退する」という意味であるが、ここでは whether we want to get closer or back off なので、get closer「近づく」の反対の意味で使われていることがわかる。よって4.距離を置く、が正解。
- (14)この段落で述べられている、ことばは情報だけでなく私たちがどのように話すのかも伝えるということを受けて、それを別の「私たちの話し方は、社会的意味を伝える」という言い方で結論づけているのが最後の一文である。よってここには 3.In the other word「言いかえれば」が適当。3.nevertheless「～にもかかわらず」
- (15)主語は how we say what we say = the way that we say what we say「私たちが言うことを言う(ときの)、その言い方」 動詞が communicates「伝達する」 social meanings「社会的な意味」

## 全文訳

あなたがパー、もしくはコーヒーショップかパーティーで座っていると、突然孤独であると感じる。  
 (1)「この人たちはみんな、話題にするほど重要な事柄として何を見出すのだろうか？」あなたは不思議に思う。いつも答えは、「何もない」だ。そんなに重要なことは何もない。しかし、人々は、話をするために、重要な話題を思いつくまで待ったりはしない。

ことばで表現された情報として、話されていることのほとんどは重要ではない。しかしそれは、話をすることが重要ではない、ということの意味してはいない。お互いにかかわりあっていることを示す手段として、そしてそのかわりをどのように感じているかを示す手段として、話をすることは決定的に重要である。話をすることは、私たちの関係についての何かを物語っている。

ことばの意味によって伝達される情報は「メッセージ」である。関係について伝えられるもの、たとえば、お互いに対する態度、節折、そして私たちが言おうとしているようなこと、は「メタメッセージ」である。そして、私たちがもっとも強く反応するのが、メタメッセージである。もし誰かが「怒ってないよ」といいつつ、歯を食いしばり、押し殺すように搾り出される声であつたら、あなたは「怒っていない」というメッセージを信じたりしないだろう。彼の言い方によって伝達されたメタメッセージ、つまり彼が怒っているということ、をあなたは信じるのである。「(4)あなたの言ったことではなく、言い方が問題だ」とか「なぜそんなふうにいるんだい？」とか「(5)あきらかになにかあるだろう。なにかおかしいよ」というようなコメントは、話のメタメッセージに対する反応である。

私たちの多くは、重要な情報を伝達していない話を、社交的な場では意味のない世間話、公的な場では空虚な美辞麗句というように、価値のないものとしてさっさとかたづけしてしまう。「世間話はとばして」「(8)要点に移れ」「言いたいことを言ってくれない？」というような要求はもっともなように思えるかも知れない。(9)しかし、情報こそがすべてであるというときのみ、それらはもっともなのである。話に対するこのような態度は、人々はお互いに感情的にかかわりあっているという事実、そして、話をすることが人間関係を成立させ、維持、監視、調整する主な方法であるという事実を無視している。

ことばは情報を伝達する一方で、どのようにことばをしゃべるか、どのくらいの大きさで、どのくらい早く、どのようなイントネーションとアクセントで が、私たちがしていると思うことを伝える。たとえば、からかい、お世辞、説明、不満。親しみを感しているのか怒っているのか。より近づきたいのか距離をおきたいのか、など。言い換えれば、(15)話す内容をどのように言うかが社会的な意味を伝えるのである。

## 52 偏見と差別

In an ideal society there would be no need to study prejudice. However, we do not live in a utopia where prejudice does not exist. In our world, prejudice based on race, sex, religion, physical characteristics, age, intelligence, and political ideals is something we must all (1)cope with. It is important to understand the difference between prejudice and discrimination. Prejudice is an attitude whereas discrimination is an act. We might never know one is prejudiced unless that person discriminates. It is these acts of discrimination that (2)reveal prejudice.

Where does one develop a prejudice? By (3)( ) the word *prejudice*, we can gain some insight into the source of biased thinking. The word means pre-judging or forming an opinion before you know all of the facts. Intellectually we know that prejudice is wrong. The basis for every (4)sound decision is a complete knowledge of all the facts. Then why do people pre-judge?

Unfortunately, fear plays an important part in prejudging. Sometimes we fear that someone will take our jobs, (5)( ) the harmony of our neighborhoods, do better on a test or be a better athlete, beat us in an election, or (6)make fun of our appearance. (7)To prevent these seemingly unfair occurrences, we discriminate against other persons who we suspect may harm us.

When we observed discrimination in the form of (8)( ) or (9)(humanity, humidity, humiliation, humility) of an innocent person, we have many choices of response. (10)We may react with anger, we may intervene on behalf of the injured party, or we may choose to say nothing. Unfortunately, (11)in many instances it is to our advantage not to fight back, for the forces of prejudice can be much larger than one person can (12)combat, for example our society's neglect and mistreatment of elderly people. (13)Whatever the situation, our awareness of other people's feelings is the key issue, (14)for concern for individual human needs is a quality that sets us apart from animals.

## 設問

(1)(2)(6)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. abolish 2. avoid 3. deal 4. disclose 5. enjoy 6. ridicule 7. struggle

(3)(5)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

analyze disturb maintain predict

(4)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. bad 2. good 3. quick 4. slow

(7)(10)(11)(14)下線部を和訳せよ。

(8)空所にあてはまる名詞は、次のいずれかの動詞の名詞形である。その名詞形を答えよ。

conclude exclude include

(9)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(13)下線部の後に省略されている2語を答えよ。

(15)本文全体を200字程度の日本語で要約せよ。

(16)次の各語のアクセントのある音節を選べ。

(A) prej-u-dice (B) char-ac-ter-is-tic (C) dis-crim-i-nate

1 2 3

1 2 3 4 5

1 2 3 4

## Further Expressions

### 《差別する》

Why do people discriminate against someone? 【差別する】

Why do people have discrimination against someone? 【差別】

Why do people have a prejudice against someone? 【偏見】

Why are people prejudiced against someone? 【偏見を持った】

### 《取り除く》

We must get rid of prejudice. 【取り除く】

We must remove prejudice.

We must abandon prejudice. 【捨てる】

We must do away with prejudice. 【廃止する】

We must put an end to prejudice.

We must eliminate the problems of prejudice. 【除去する】

We must take away the problems of prejudice.

### 《とにかく》

Whatever the situation, our awareness of other people's feelings is the key issue.

【状況がどうあれ】

Come what may, our awareness of other people's feelings is the key issue.

【何が起ころうとも】

## 解答

(1)3 (2)4 (3)analyzing (4)2 (5)disturb (6)6 (7)全文訳参照 (8)exclusion (9)humiliation (10)全文訳参照 (11)全文訳参照 (12)7 (13)may be (14)全文訳参照 (15) この世界には様々な偏見が存在するが、心構えとしての偏見は差別という行為によって明らかになる。その言葉を分析するとわかるように、偏見は事実を知る前に判断してしまうことで生まれる。そこには他人によって自分が害を被ることへの恐れが多く関係している。また不当な差別に気づいたとき、多くの場合は偏見の力が大きいため何も言わずににおいてしまうが、どんな状況でも他人を思いやる気持ちがこの問題を解決する鍵である。(199字) (16)(A)1 (B)4 (C)2

## 解説

- (1)cope with A = deal with A 「A をうまく処理する、扱う」 よって 3.deal が正解。
- (2)reveal 「明らかにする、示す」 4.disclose 「暴く、発表する」が正解。reveal prejudice 「偏見を明らかにする」
- (3)Where does one develop a prejudice? 「どこで偏見は育っているのだろうか?」という問いに対して、prejudice という言葉を分析することで、ある洞察を得ることができる、という文を続ければよい。よって、By analyzing the word prejudice...とするのが適切である。
- (4)sound 「健全な」 2.good 「よい」が正解。sound decision 「健全な決定」
- (5)Sometimes we fear that... 「私たちは時々...を恐れる」 その恐れる内容であるから「誰かが近所の調和を乱さないか」とするのが正しい。someone will disturb the harmony of our neighborhood とする。disturb が正解。
- (6)make fun of A 「A をからかう」 6.ridicule 「嘲笑する、あざける」が正解。make fun of our appearance 「私たちの外見をからかう、馬鹿にする」
- (7)prevent 「妨げる」 seemingly 「見たところでは、外見上は」 these seemingly unfair occurrences 「こういった外見上は不当な出来事」 discriminate against A 「A を差別する」 persons who we suspect may harm us 「自分たちを害するかもしれないと私たちが疑う人たち」 we suspect は挿入と捉えてもよい。
- (8)exclude 「締め出す、除外する」の名詞形 exclusion 「排除」が適切。When we observed discrimination in the form of exclusion 「私たちが差別の形で差別を見たとき」 その他は conclude 「終える、結論を下す」 include 「含む」
- (9)humiliation 「屈辱」が正解。in form of humiliation 「屈辱の形で(私たちが差別を見たとき)」 humidity 「湿気、湿度」 humility 「謙遜」
- (10)react 「反応する」 with anger 「怒りをもって」 intervene 「干渉する」 on behalf of A 「A のために」 the injured party 「(法律用語で)被害者」 choose to say nothing 「何も言わないことを選ぶ」
- (11)instance 「例」 to A's advantage 「A に有利な、都合のよい」 it は仮主語で not to fight back を指す。fight back は「抑える、こらえる」という意味もあるが、ここでは「反撃する、やりかえす、抵抗する」の意味。
- (12)combat 「戦う」 7.struggle 「もがく、戦う」が正解。than one person can combat 「ひとりの人間が戦うことのできるよりも」
- (13)whatever ~ 「どんな ~ でも」の譲歩節では、may が使われるが、省略されることも多い。whatever the situation may be 「どんな状況であっても」
- (14)for 「なぜなら」 concern for individual human need 「個々の人間の欲求への配慮」 concern は後ろに for や about や over を伴うと「関心、気遣い、心配」の意味となり、with や in を伴うと「関係、関連、関与」の意味になる。quality that sets us apart from animals 「動物から私たちを区別する特性」 quality 「特性」 set apart A from B 「A を B から区別する、際立たせる」 A が代名詞なので副詞 apart の前に来ている。
- (15)第 1 段落ではこの世界に存在する様々な偏見について、また偏見と差別の違いについて、第 2 段落では偏見はどこで育つのかについて、それが事実を知る前に判断することによるのだと述べられている。第 3 段落では、人が偏見を持ち、差別を行う大きな要因の一つが恐れであるということ、第 4 段落ではさらに、差別に対する反応と他人を思いやることの重要性について説明されている。これら段落ごとの主旨を盛り込んでまとめる。
- (16)(A)préjudice 「偏見」 1 が正解。  
(B)characteristic 「特有な、特性、特色」 4 が正解。  
(C)discriminate 「差別する」 2 が正解。

## 全文訳

理想的な社会では偏見など研究する必要はないだろう。しかしながら、わたしたちは、偏見が存在しないユートピアに住んでいるわけではない。この世界における、人種、性、宗教、身体的特徴、年齢、知性、そして政治理念に基づいた偏見は、わたしたちみなが対処しなければならないものである。偏見と差別の違いを理解することは重要である。差別が行為であるのに対し、偏見は心構えである。もし人が差別をしなければ、その人が偏見を持っているとはわからないかもしれない。偏見を明らかにするのは差別の行為なのだ。

では、どこで偏見が育っているのだろうか？“prejudice”(偏見)ということばを分析することによって、偏った思考の源に対するある洞察を得ることができる。“prejudice”とは“pre”(前に)に“judging”(判断)すること、つまり、すべての事実を知る前に意見を形作る、という意味である。私たちは、頭では、偏見が間違っていることを知っている。あらゆる健全な決定の基礎は、すべての事実に対する完全な知識である。それでは、なぜ人は前もって判断してしまうのだろうか？

残念ながら、恐れが偏見に重要な役割を果たしている。ときどき私たちは、他人が仕事を取ってしまわないか、近所の和を乱さないか、テストでいい点を取らないか、スポーツがよくできないか、選挙で打ち負かされないか、外見をばかにしないか、などと恐れる。(7) こういった外見上不当なできごとを防ぐため、自分たちに害を与えるかもしれないと疑う他人を差別するのである。

無実な人の排除や屈辱の形で差別に気が付くとき、たくさんの反応の選択肢がある。(10) 怒るかもしれないし、被害者のために仲裁するかもしれないし、何も言わないことを選ぶかもしれない。残念ながら、(11) 多くの場合にはやりかえさないのが得策である。なぜなら、たとえば、お年寄りに対する社会の無視や待遇の悪さのように、偏見の力は一人の人が戦える力よりはるかに大きいからである。どんな状況であっても、他人を思いやる気持ちが問題の鍵となる。(14) なぜなら、個人個人の欲求に対する配慮が「動物」から「人間」を区別する特性だからである。

### コラム 語源研究

#### 語根 JECT

【語源】ラテン語の jacere「投げる、投げ出す」を語源とする。jet「噴出、ジェット機」もこれを語源とする。

#### 【単語】

- abject ab(離れて) + ject(投げる) 「投げ捨てられた(= みじめな、みすぼらしい)」
- adjective ad(...に) + jective(投げる) 「(名詞に)投げ加えられたもの(= 形容詞)」
- conjecture con(共に) + jecture(投げる) 「(考えをまとめて)一緒に投げる(= 推測、憶測)」
- deject de(下に) + ject(投げる) 「下に投げ出す(= 落胆する、がっかりする)」
- eject ex(外へ) + ject(投げる) 「外に投げ出す(= 追い出す、排出する)」
- inject in(中に) + ject(投げる) 「中に投げ込む(= 注入する、注射する)」
- interject inter(間に) + ject(投げる) 「(ことばを)間に投げ入れる(= 不意に言葉をさしはさむ)」
- object ob(...に対して) + ject(投げる) 「...に対して投げられたもの(= 物、対象、目的、反対する)」
- project pro(前へ) + ject(投げる) 「前に投げる(= 計画する、投影する、計画)」
- reject re(後に) + ject(投げる) 「投げ返す(= 拒絶する)」
- subject sub(下に) + ject(投げる) 「下に投げる(= 服従させる、題目、学科、臣民)」

### コラム 語源研究

#### 語根 RUPT

【語源】rumpere「破る、破壊する」を語源とする。route「(切り開かれた道)道、道筋」、routine「(いつもの小道)決まってること、日常の」は同語源。

#### 【単語】

- abrupt ab(離れて) + rupt(破れる) 「(ゴムの両端を引き離すと)ぷちんと切れる(= 突然の)」
- bankrupt bank(銀行) + rupt(破れる) 「銀行が破れる(= 破産する)」
- corrupt con(完全) + rupt(破れる) 「すっかり破壊する(= 墮落させる、墮落した)」
- disrupt dis(離れる) + rupt(破れる) 「破り離す(= 分裂させる、崩壊させる)」
- erupt ex(外へ) + rupt(破れる) 「破れて外へ出る(= 噴火する、爆発する)」
- interrupt inter(間に) + rupt(破れる) 「間に入って破壊する(= 仕事の邪魔をする、中断する)」

## 53 時間の概念

Remember the story of the tortoise and the hare? The hare started out fast, leaving the tortoise far behind. He soon became exhausted and had to take a nap, overconfident that he would outrun his slower competitor. The tortoise paced himself, plodding along but never stopping. The tortoise won the race.

Many of us say we don't have (1)adequate time to complete all the things our job demands, (2)much less get it all done and still have time for family, friends, and fun. To try to cope with the pace of our work life, (3)we often turn to technology (electronic organizers, laptop computers, pagers, cellular phones, fax machines, e-mail, the Internet) and time management systems. (4)Ironically, the more time we save through time-saving devices, the more we try to cram into a day. (5)We just keep raising our expectations of ourselves, our employees, and our families. (6)This innocent attempt to find more time is doomed to fail because we are failing to recognize where our experience of time comes from — thought. Slowing down our thinking process can help us pace ourselves at work so that we manage our work time differently.

(7)The experience of time has very little to do with clock time and everything to do with thought. Do you experience time differently when you are waiting for someone who is late than when you are the one who is late? (8)In the first case time goes slow, (9)in the second time goes fast. Our (10)( ) of time is directly related to how we are thinking. The root canal patient's time drags on painfully (11)( ), while the dentist's day flies by with not enough time to see every patient. What we are thinking determines how (12)impatient we feel, how anxious we are about the future, and how frustrated we become with how slowly things are happening. If you don't think time is related to thinking, travel to a country where people experience time differently than do North Americans. (13)We are likely to feel stressed, impatient, and angry, while they are relaxed and puzzled as to why we are so upset and in a hurry.

設問

(1)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(1) 1. deficient 2. efficient 3. proficient 4. sufficient

(12) 1. healthy 2. hopeful 3. irritated 4. relaxed

(2)(4)(5)(6)(7)(13)下線部を和訳せよ。

(3)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

we often ( ) on technology

(8)(9)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(10)空所にあてはまる名詞は、次のいずれかの動詞の名詞形である。その名詞形を答えよ。

conceive deceive perceive receive

(11)空所にあてはまる適当な副詞を答えよ。

(14)本文全体を 30 字程度の日本語で要約せよ。

(15)次の各語のアクセントのある音節を選べ。

(A) ad-e-quate (B) man-age-ment (C) rec-og-nize

1 2 3

1 2 3

1 2 3

**Further Expressions**

**《追いつく》**

The tortoise finally caught up with the hare. 【追いつく】

The tortoise finally overtook the hare.

**《勝つ》**

The tortoise got the better of the hare. 【打ち勝つ】

The tortoise beat the hare. 【負かす】

The tortoise defeated the hare.

**《自信がある》**

Everyone was convinced that you need not practice reading. 【確信している】

Everyone was sure of its uselessness.

Everyone was confident of its uselessness.



## 解答

(1)4 (2)全文訳参照 (3)depend[count, rely] (4)全文訳参照 (5)全文訳参照 (6)全文訳参照 (7)全文訳参照 (8)約束に遅れている誰かを待っている場合。 (9)自分が時間に遅れている場合。 (10)perception (11)slowly (12)3 (13)全文訳参照 (14)時間の経験は時計の針よりもむしろ思考と結びついている。 (15)(A)1 (B)1 (C)1

## 解説

- (1)adequate=sufficient「十分な」 deficient「欠けている、不足した」 efficient「能率的な」 proficient「熟練した」 We don't have adequate time「私たちには十分な時間がない」  
(2)much less「(否定的語句の後で)まして、なおさら～ない」 get A done「Aをしてしまう」 much lessが文頭に出て倒置文になっている。 we...get it all done「私たちがそれをすべてしてしまう」 and以下にも much lessの否定がかかる。 and still have time for family...「そしてさらに家族や...に費やす時間などない」

### get + O + 過去分詞

< get + O + 過去分詞 > には3つの用法がある。

使役 「Oを...してもらおう」

I got my hair cut. 私は髪を切ってもらった。

完了 「Oを...してしまう」

Can you get your work finished by tomorrow? 明日までに仕事を終えてしまえますか?

受身 「Oを...される」

He got his arm broken while playing soccer. 彼はサッカーをしているときに腕を折られた。

- (3)turn to A=depend on A「Aに頼る」 なお、dependの代わりにcountやrelyも使える。  
(4)Ironically「皮肉にも」 the 比較級 S V, the 比較級 S V「...すればするほどますます～」の構文。 through「...を通じて」 time-saving devices「時間節約のための道具」 cram into A「Aにぎっしり詰め込む」 cram into a day「一日の中にぎっしり詰め込む」  
(5)We just keep raising our expectations of ourselves「私たちは自分自身への期待を増し続ける」 keep ~ing「～し続ける」 raise「上げる」 our employees「私たちの従業員」  
(6)This innocent attempt to find more time「より多くの時間を見つけようというこの無邪気な試み」これが主語である。 be doomed to 不定詞「～するよう運命づけられている」 fail to 不定詞「～しそこなう」 thought「思考」は where our experience of time comes from「私たちの時間経験がやってくる場所」のことである。  
(7)have to do with A「Aと関係がある」 has very little to do with clock time「時計の時間とほとんど関係ない」これと has everything to do with thought「思考と大いに関係がある」が対照になっている。  
(8)ふたつの場合とはその前文で言われていることを指す。 time goes slow.「時間がゆっくり流れる」のは when you are waiting for someone...「あなたが誰かを待っているとき」の方である。  
(9)time goes fast.「時間が早く流れる」のは when you are the one who is late.「あなたが遅れているとき」である。  
(10)時間経験は私たちがどう考えるかに直接的に関係している、ということ。ここでは experienceを別の言葉で言いかえている。よって perceive「知覚する」の名詞形 perception「知覚」が正解である。 conceive「思いつく、想像する」 deceive「だます」 receive「受け取る」  
(11)the dentist's day flies「歯医者の一日は飛ぶように過ぎる」のに対し、苦痛な治療を受ける患者の時間経験はどうであるか。遅刻している人を待つとき同様、当然時間が slowly「ゆっくり」過ぎるように感じるのである。 root canal「根管治療」 drag on「だらだらと過ぎる」 The root canal patient's time drags on painfully slowly「根幹治療の患者の時間は痛々しいほどゆっくりだらだらと過ぎる」  
(12)impatient「我慢できない、いらいらしている」 3.irritated「いらいらした」が正解。 healthy「健康な」 hopeful「希望している、希望を持った」 how impatient we feel「私たちがどれだけいらいらするか」  
(13)be likely to 不定詞「～しがちである」 feel stressed「ストレスを感じる」 while「一方で」 puzzled「当惑した」 as to A「Aについては」 be upset「うろたえてる、取り乱している」 in a hurry「急いで、あわてて」

(14)本文のキーワードthe experience of time「時間経験」という言葉を使ってまとめる。それが実際にはどこに由来するものなのかが第3段落で明らかにされている。時間経験は物理的な時間に関係しているのではない、ということと、時間経験は私たちの思考に由来する、という2点をもりこむとよい。

(15)(A)adequate「十分な量の、適した」

(B)management「管理、取り扱い」

(C)recognize「認識する」

## 全文訳

ウサギとカメ物語を覚えているだろうか？ウサギはカメをはるか後ろに残して速い速度で走り始めた。すぐにウサギは疲れて居眠りをしてしまうことになった。遅い競争相手より自分は速く走れるのだと過信して。カメは自分でゆっくりと歩いた、ゆっくりとではあったが、けっして立ち止まらなかった。そしてカメが競争に勝ったのである。

仕事で求められているすべてのことを成し遂げる十分な時間がない、(2)ましてやそれをすべてやった上で、さらに家族や友人や楽しみに費やす時間などなおさらなく、と私たちのうち多くの人々は言う。職業生活のペースを上手くしようとして、私たちはしばしば科学技術(たとえば電子手帳やラップトップ型コンピュータ、ポケベル、携帯電話、FAX、Eメール、インターネット)や時間管理システムに頼る。しかし(4)皮肉なことに、時間節約のための道具で時間を節約すればするほど、私たちはますます多くのことを一日の中に詰め込もうとする。(5)私たちは自分自身や、従業員、家族に対する期待を増やし続ける。(6)このように、より多くの時間を見つけようと無邪気に試みても、うまくいかない運命にある。というのも私たちは、私たちの時間経験がどこからやってくるのかを認識できていないからだ。それは思考からやってくるのである。時間をかけて考えることによって、私たちは自分でゆっくりと仕事を行うようになり、その結果私たちは自分の仕事の時間を違ったように管理するようになるのだ。

(7)時間経験は時計の時間とはほとんど関係がなく、思考と大いに関係がある。あなたは約束に遅れている誰かを待っているときと、自分が遅れているときでは、違った時間経験しているのではないか。前者の場合には、時間はゆっくり進み、後者の場合には時間は早く進むのである。私たちの時間認知は、私たちがどのように考えているかに直接に関係しているのである。歯の根管治療を受ける患者の時間は、苦痛なくらいゆっくりと進むのに、一方で歯医者の一日は、すべての患者を診る十分な時間がないまま飛ぶように過ぎていく。とてもゆっくりと事が起こっていることに対して、私たちがどれだけ待ち遠しく思うのか、どれだけ未来に対して不安に思うのか、そしてどれだけいらいらするのかは、私たちが考えていることによって決まる。もしあなたが、時間は思考とは関係ないと思うのであれば、北アメリカの人々と異なる時間経験をしている人々の国を旅してみなさい。(13)私たちはストレスを感じ、いらいらしたり、腹を立てがちなのに対し、彼らはのんびりして、なぜ私たちがそんなにうらたえてあくせくしているのかと当惑するだろう。

## コラム 語源研究

### 語根 GRESS

【語源】ラテン語の gradi「歩行する、進む」を語源とする。grade「(一步一步)等級、学年」、gradation「色の推移、グラデーション」、gradual「徐々に」、graduate「(一步一步進んで grade をとる)卒業する」も同語源。

### 【単語】

- aggress ad(...に) + gress(歩く) 「...に向かって歩く(=攻撃する、侵略する)」
- congress con(共に) + gress(歩く) 「一緒に歩いて集まること(=会議、議会)」
- degrade de(下に) + grade(等級) 「等級を下げる(=地位を下げる)」
- degree de(下に) + gree(一步) 「階段を下へ一段(=程度、学位)」
- digress di(離れて) + gress(歩く) 「(本線から)離れて歩く(=わき道へそれる、脱線する)」
- egress ex(外へ) + gress(歩く) 「外へ向かって歩く(=出口、はけ口)」
- ingress in(中へ) + gress(歩く) 「中へ向かって歩く(=進入、入場、入り口)」
- progress pro(前へ) + gress(歩く) 「前へ歩く(=前進する、前進)」
- regress re(後へ) + gress(歩く) 「後ろへ歩く(=後戻りする、後退する、後退)」
- retrograde retro(後へ) + grade(歩く) 「後ろへ歩く(=後退する、逆行する)」
- transgress trans(越えて) + gress(歩く) 「(限度を)越えて歩く(=逸脱する、違反する)」

## 54 Self-handicapping とは

Bad luck always seems to strike at the (1)(best, least, most, worst) possible moment. A man about to interview for his dream job gets stuck in traffic. A law student taking her final exam wakes up with a blinding headache. A runner twists his (2)ankle minutes before a big race. Perfect examples of (3)cruel fate.

(4)Or are they? Psychologists who study unfortunate incidents like these now believe that in many instances, they may be carefully arranged schemes of the subconscious mind. People often engage in a form of self-defeating behaviour known as simple process; by taking on a heavy handicap, a person makes it more likely that he or she will fail at an (5)endeavour. Though it seems like a crazy thing to do, it is actually a clever trick of the mind, (6)one that sets up a difficult situation which allows a person to save face when he or she does fail.

A classic self-handicapper was the French chess champion Deschappelles, who lived during the 18th century. Deschappelles was a (7)distinguished player who quickly became champion of his region. But when competition grew tougher, he (8)(adapted, adopted) a new condition for all matches: (9)he would compete only if his opponent would accept a certain advantage, increasing the chances that Deschappelles would lose. If he did lose, he could blame it (10)( ) and no one would know the true limits of his ability; but (11)if he won against such odds, he would be all the more respected for his amazing talents.

Not surprisingly, the people most likely to become habitual excuse-makers are those too eager for success. Such people are so afraid of being labeled a failure at anything that they constantly develop one handicap or another in order to explain away failure. True, self-handicapping can be an effective way of coping with anxiety for success (12)now and then, but, as researchers say, it makes you lose in the end. (13)Over the long run, excuse-makers fail to live up to their true potential and lose the status they care so much about. And despite (14)their protests to the contrary, they have only themselves to blame.

## 設問

(1)(8)かっこ内の語句のうち正しいものを選び。

(2)下線部と最も近い体の部分を次から選べ。

1. arm 2. leg 3. neck 4. waist

(3)(5)(7)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (3) 1. brutal 2. dominant 3. obscure 4. rigorous

- (5) 1. adventure 2. competition 3. effort 4. incident

- (7) 1. corresponding 2. everlasting 3. outstanding 4. surrounding

- (12) 1. frequently 2. hardly 3. occasionally 4. usually

(4)下線部を、省略されている語句を補って和訳せよ。

(6)(9)(11)(13)下線部を和訳せよ。

(10)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. on the other player's advantage

2. for the other player's advantage

3. on the limit of his ability

4. for the limit of his ability

(14)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(15)本文全体を「Self-handicappingとは」で始まる80~100字の日本語で要約せよ。要約にあたっては「self-handicapping」を定義し、それについての筆者の見方をまとめること。

(16)アクセントの位置が同じ組み合わせを次から選べ。

1. anxious 2. competition 3. habit 4. psychology

- anxiety competitive habitual psychologist

(17)次の下線部の発音と異なるものを選び。

- (A) example 1. execute 2. executive 3. exhaust 4. exhibit 5. exist

- (B) scheme 1. ache 2. character 3. chase 4. epoch 5. monarch

- (C) lose 1. disease 2. ease 3. hose 4. increase 5. possess

- (D) though 1. bathe 2. breathe 3. smooth 4. thorough 5. worthy

## Further Expressions

### 〈せいにする〉

He blamed his defeat on the other player's advantage. 【～のせいにする】

He attributed his defeat to the other player's advantage. 【帰する】

He ascribed his defeat to the other player's advantage.

### 〈うらやましい〉

He is jealous of his opponent's success. 【ねたんで】

He is envious of his opponent's success. 【うらやんで】

He envies his opponent's success. 【うらやむ】

His opponent's success is enviable to him. 【うらやましい】

## 解答

(1)worst (2)2 (3)1 (4)それらは本当に残酷な運命の完璧なまでの実例であろうか？ (5)3 (6)全文訳参照 (7)3 (8)adopted (9)全文訳参照 (10)1 (11)全文訳参照 (12)3 (13)全文訳参照 (14)ハンデがあったから失敗したのであって、非は自分にはないという主張。(15)Self-handicapping とは、失敗しても面目を保つため、わざと状況を困難にして失敗へ誘導する現象。成功への過度な熱望と失敗への恐れから生じるが、かえって力を十分発揮できず成功できないことが多い。(16)4 (17)(A)1 (B)3 (C)4 (D)4

## 解説

- (1)不幸が襲ってくるのはどのようなときか。その後「あこがれの仕事の面接を受けようとしている男が交通渋滞に巻き込まれる…」といった例が挙げられていることから、不運が重なることが言いたいのだとわかる。at the worst possible moment「ありうる最悪の瞬間」が適切、worstが正解である。
- (2)ankle「足首」であるから、最も近い部位は2.leg「足」である。3.neck「首」4.waist「腰」
- (3)cruel「残酷な」1.brutal「獣のような、残酷な」が正解。2.dominant「支配的な」3.obscure「不明瞭な」4.rigorous「厳格な」
- (4)Or are they?は前段落の最後の一文を受けている。(Or are they) perfect examples of cruel fate?が省略されている。つまり、不幸は最悪のときに襲ってくると述べたが、それは本当にそうなのだろうか？と疑問を示しているのである。
- (5)endeavour「努力」3.effort「努力」が正解。2.competition「競争」4.incident「出来事、事件」
- (6)oneはその前の a clever trick of the mind「心の巧妙な策略」のことで、ここではそれがどのような策略であるかを説明している。one that sets up a difficult situation「困難な状況を準備するような策略」この set up は「設立する、建設する」という意味だが、ここではもしもその人が失敗する状況になったときのために、という意味だから「準備する」が良い。situation which allows a person to save face「人に面目を保たせる状況」save face「メンツを保つ」
- (7)distinguished「すぐれた」3.outstanding「目立った、傑出した」が正解。2.everlasting「永遠に続く、絶え間のない」
- (8)adopt「採用する」が正解。he adopted a new condition for all matches「彼はすべての試合に新しい条件をつけた」adapt は「順応する、適応させる」
- (9)he would compete「試合をしようとした」would は意志を表す。only if his opponent would accept a certain advantage「彼の相手がある有利な条件を受け入れようとするときのみ」if 節中で would が用いられているのは、主語の opponent にそのような意志がある、ということを示している。(advantage) increasing the chances that Deschappelles would lose「デシャペル氏が負けるような機会を増やす(有利な条件)」
- (10)blame A on B「AをBの責任にする」blame B for Aとしても同じ意味である。ここでは「彼はそれを相手の有利な条件のせいに行ける」という意味の文を作りたい。it = A であるから、on B と続けるのが適切。よって1が正解。
- (11)仮定法過去の文。win against A「Aに勝つ」such odds「そのような差、ハンディキャップ」all the more...for ~「～だからいっそう...」his amazing talents「彼の驚くべき才能(のためにいっそう...)」
- (12)now and then「時々」3.occasionally「時折、ときたま」が正解。
- (13)over the long run = in the long run「長い目で見れば」in the short run「短期的には」fail to 不定詞「～できない」live up to A「Aを全部使う」potential「潜在能力」lose the status they care so much about「それほどまでに気にかけていた地位を失う」statusの後に目的格の関係代名詞 which を補う。
- (14)their protests to the contrary「それとは反対の抗議」to the contrary「それと反対の(に)」ここでいう「それ」とは、この後に出てくる内容、つまり they have only themselves to blame「責められるべきなのは自分しかない」に対応している。「失敗して責められるべきなのはハンディキャップではなく、下手なハンディキャップを負ってしまった自分でしかない」とは反対の主張をまとめればよい。
- (15)まず各段落別の主張を整理する。  
第1段落 悪運はいつも最悪な瞬間に訪れるように思われる。  
第2段落 しかし、心理学者たちは、人々がわざと自分を追い詰める行動をとることを指摘した。

つまり、失敗しても責められないようにより困難な状況をわざと作り出す。

第3段落 具体例。

第4段落 言い訳ばかりする人は成功をあまりに熱望しすぎ、失敗が怖いので、言い訳作りにハンディキャップを負ってしまう。そして、力を発揮できず、結果は最悪となる。

self-handicappingの定義は、第2段落にある。また、それに対する筆者の見方は第4段落にある。定義では、現象の定義(わざと失敗へ誘導する)とその目的(面目を保つ)を、筆者の見方ではそれが生じる原因の分析(成功への過度な熱望と失敗への恐れ)と結果の分析(力を発揮できず成功できない)をもちこむとよい。

(16)psychology「心理学」 psychologist「心理学者」で4が正解。あとはすべてアクセントの位置が異なる。

(17)(A)1のみ[ks]で、他は[gz]

(B)3のみ[tj]で、他は[k]

(C)4のみ[s]で、他は[z]

(D)4のみ[θ]で、他は[ð]

## 全文訳

不幸はいつも最悪のときに襲ってくるようにみえる。あこがれの仕事の面接を受けようとしている男が交通渋滞に巻き込まれる。最終試験に臨む法学部生が目もくらむような頭痛とともに目覚める。大レースの数分前、走者が足首をひねってしまう。残酷な運命の完璧なまでの実例たち。

はたして本当にそうだろうか。このような不幸なできごとを研究している心理学者は、今、これらの多くの場合は、入念に仕組まれた潜在意識によるたくらみである、と信じている。人はある種の自滅行為に走ってしまうことがよくある。重いハンディキャップを背負って、努力がより失敗するように仕組む。おかしなことのように思えるが、実際には精神の巧妙な策略である。(6)失敗したときに面目を保てるような困難な状況を準備するという策略なのである。

古典的な”self-handicapping”の例は、フランス人チェスチャンピオン、デシャペルに見られる。彼は18世紀に生きた。デシャペルは早くから地域のチャンピオンになった抜群の打ち手だった。しかし、試合がタフになると、すべての試合に新しい条件をつけた。(9)相手が何か有利な条件を受け入れ、自分が負ける可能性が増える場合のみ試合を行ったのである。もし彼が負けても、相手の条件のせいででき、誰も彼の能力の真の限界を知ることができないう。 (11)もし彼がそのようなハンディにかかわらず勝ったら、その驚くべき才能ゆえ、よりいっそう尊敬されるだろう。

驚くことではないが、習慣的に言い訳ばかりする人は、成功をあまりに熱望する人である。そのような人は何事にも失敗のレッテルを貼られるのを恐れるあまり、失敗を言い逃れするために常に何らかのハンディを作り出す。たしかに、”self-handicapping”は、成功への切なる願望を扱うのに効果的な方法と時になりうるが、研究者の言うように、最終的にはそのせいで負けているのである。(13)長い目で見れば、言い訳をつくる人は自分の本当の潜在能力をすべて使いきることができず、自分がそれほどまでに気にかけていた地位を失ってしまう。非は自分にはないと抗議しようが、責められるべきなのは自分しかいない。

## コラム 語源研究

### 語根 PREHEND, PRIS

【語源】ラテン語のprehendere「取る、捕らえる」を語源とする。

#### 【単語】

- apprehend ad(...に) +prehend(つかむ) 「...に捕らえる(=捕らえる、逮捕する、理解する)」
- comprehend com(完全) +prehend(つかむ) 「すっかりつかむ(=理解する)」
- comprise com(共に) +prise(つかむ) 「一緒に取り入れる(=含む、構成する)」
- enterprise enter(間に) +prise(つかむ) 「新しさに手を突っ込む(=事業、進取の気性、企業)」
- imprison im(中に) +prison(捕らえる) 「中に捕らえておく(=投獄する、閉じ込める)」
- reprehend re(後へ) +prehend(つかむ) 「つかんで連れ帰る(=強く非難する、叱責する)」
- surprise sur(上から) +prise(つかむ) 「上からつかまえる(=不意をつく、驚かす)」

## 55 模倣から生まれる創造性

In music or writing we don't expect the child to burst naturally into creativity without first (1)having gone through the laborious process of mastering the basic techniques, and this often involves copying what the teacher does, whether it be playing a particular \*chord or correctly writing the letter "b." In fact, there is usually some element of copying involved in almost everything we have to learn. It is (2)odd, then, that in drawing young children are expected to develop without help in this way. Apart from (3)providing the materials and perhaps suggesting and discussing a (4)stimulating topic, many parents or teachers rarely give further help. (5)They see their role in terms of providing encouragement but not of giving direct assistance in the drawing process itself. The child is expected to find her own way and (6)this is what creativity is supposed to be all about. Not surprisingly, then, adults often express (7)unease if children copy the way other people draw things, especially if they copy the characters from books or comics.

In spite of these adult doubts, however, children often do copy drawings, and it is my belief that this need not (8)block their creativity. After all, the greatest artists have (9)routinely copied the work of the great masters who went before (10)them. (11)Understanding how others have achieved a certain effect hasn't prevented them from moving on and trying something different. Nevertheless, (12)you say, it may prevent ordinary people from doing so. But I suspect that without the experience of copying, (13)they will not only fail to move on but they will not have got very far, artistically, in the first place. Although I would certainly not wish to reduce drawing to the level of copying alone, I do think that we can use children's copying ability in (14)positive and constructive ways. By disapproving of their copying activities, we may be closing the door on a very useful way of maintaining their interest in drawing and in widening their knowledge of the many ways in which things can be drawn. Far from (15)having a dulling effect on creativity, copying can be used to open it up.

(注) chord : 和音、コード

### 設問

(1)(6)(11)(13)(15)下線部の具体的内容を表すものを次から選べ。

- (1) 1. having repeated the simple and short process  
2. having experienced the slow and difficult process  
3. having repeated the easy and amusing process  
4. having experienced the work-saving process
- (6) 1. creativity is supposed to be about studying past masters  
2. people think creativity comes from doing what the teacher says  
3. creativity is supposed to be about finding one's own way  
4. people think creativity is about seeing yourself in others
- (11) 1. Understanding how other artists have worked has blocked great artists  
2. Comprehending how former artists have worked has not blocked the work of following artists  
3. Understanding how other artists have worked has not blocked children in their creativity  
4. Comprehending how former artists have worked has blocked the creativity of

children

- (13) 1. they will succeed artistically in moving on  
2. they will fail in copying artistically  
3. they will succeed in art and also succeed in moving on  
4. they will fail both to move on and to grow artistically

- (15) 1. improving the progress of creativity  
2. creating ineffective drawings  
3. providing the effect on creativity  
4. delaying the progress of creativity

(2)(3)(4)(7)(8)(9)(14)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (2) 1. natural 2. strange 3. stupid 4. wrong  
(3) 1. checking 2. handling 3. preparing 4. removing  
(4) 1. exciting 2. expressing 3. living 4. surprising  
(7) 1. anxiety 2. difficulty 3. insufficiency 4. unconcern  
(8) 1. construct 2. improve 3. prevent 4. protect  
(9) 1. firmly 2. minutely 3. nicely 4. regularly  
(14) 1. affirmative 2. doubtful 3. additional 4. uncertain

(5)下線部を和訳せよ。

(10)(12)下線部の具体的内容を次から選べ。

- (10) 1. the greatest artists 2. these adults 3. children 4. the great masters  
(12) 1. teachers 2. readers 3. parents 4. the greatest artists

(16)本文の内容と一致するものを次から4つ選べ。

1. Creativity in drawing means planned copying of what the parent or teacher does.  
2. There are positive things to be said about copying in art.  
3. It is not useful to allow children to continue copying activities.  
4. The greatest artists always try to encourage others.  
5. Adults expect a child to copy what the teacher does in music or writing.  
6. Moving on and trying something different is a form of copying.  
7. Adults do not like children to copy other people's drawings.  
8. Copying does not help in opening the door to a child's creativity.  
9. The author believes that copying in drawings does not hinder a child's creativity.  
10. In learning most subjects, people seldom directly copy from others.  
11. It is not possible to use children's copying ability in positive ways.  
12. The author believes that drawing is a form of copying alone.

(17)本文全体を30字程度の日本語で要約せよ。

### Further Expressions

#### 《無理もない》

Children may well copy other people's drawings. 【無理もない】

No wonder children copy other people's drawings. 【何の不思議もない】

It is no wonder that children copy other people's drawings.

It is natural that children copy other people's drawings. 【当然だ】

It stands to reason that children copy other people's drawings. 【理にかなって】

#### 《不思議なことに》

Strangely enough, young children learn to draw pictures without help. 【奇妙なことに】

Oddly enough, young children learn to draw pictures without help.

Strange to say, young children learn to draw pictures without help.

Odd to say, young children learn to draw pictures without help.

Surprisingly enough, young children learn to draw pictures without help. 【意外にも】

Believe it or not, young children learn to draw pictures without help.

【信じようが信じまいが】



## 解答

(1)2 (2)2 (3)3 (4)1 (5)全文訳参照 (6)3 (7)1 (8)3 (9)4 (10)1 (11)2 (12)2 (13)4  
(14)1 (15)4 (16)2,5,7,9 (17)模倣は創造性を妨げず、逆に創造性を広げることに役立つ。(27字)

## 解説

- (1)having gone through the laborious process「骨の折れる過程を経る」 having によって時制をひとつさかのぼっている。go through A「A を通り抜ける、A を経験する」 骨の折れる過程であるから、  
2.having experienced the slow and difficult process「時間がかかり困難な過程を経験すること」が適切。  
4.work-saving process「仕事の節約になる過程」
- (2)odd=strange 「奇妙な、変わった」 It is odd 「それは奇妙なことだ」 it の指すものは that 以下。
- (3)provide 「準備して供給する、用意する」 3.preparing 「用意すること」が正解。2.handling 「手を触れること、扱うこと」 4.removing「取り除くこと」 Apart from providing the materials 「材料を与えることを別にすれば」
- (4)stimulating 「刺激する、非常に興味のある」 1.exciting が正解。discussing a stimulating topic 「刺激的なテーマについて話し合うこと」
- (5)in terms of A「A によって、A の点から」 They see their role in terms of...but not of ~「彼らは～ではなく...の点で自分の役割を見ている」 providing encouragement「激励を与える」 giving direct assistance「直接的な援助を与える」 in the drawing process itself「絵を描く過程それ自体において」
- (6)this is what creativity is supposed to be all about.「これこそが創造性がするところのものであると考えられている」 be supposed to 不定詞「～だと思われる、することになっている」 what creativity is all about「創造性が目的としているもの、創造性が意図しているもの」 この about は「...を目的として」の意味。this が指すのはその前にある to find own her own way「自分の道を見つけること」である。よって 3 が正解。to be about A「A を目的としている」 1.to be about studying past masters「過去の名人を研究することを目的としている」 2.doing what the teacher says「教師が言ったことをする」 3.to be about finding one's own way「自分自身の道を見つけることを目的としている」 4.is about seeing yourself in others「別の人[物]の中に自分自身を見ることを目的とする」
- (7)unease(=uneasiness) 「不安、心配」 1.anxiety が正解。否定の接頭辞 un がついているからといって ease「容易」の反意語にはならないことに注意。2.difficulty「困難、難しさ」 3.insufficiency「不十分なこと、不足」 4.unconcern「無関心」 adults often express unease 「大人はしばしば不安を示す」
- (8)block 「ふさぐ、妨害する」 3.prevent 「妨げる」が正解。1.construct「建設する」 2.improve「改善する」 4.protect 「保護する、守る」 this need not block their creativity 「これは彼らの創造性を妨げる必要はない」 この need は助動詞で「～が必要である」
- (9)routinely 「規則的に、いつものように」 routine「日常の」の派生語で 4.regularly 「規則的に」が正解。1.firmly 「堅く、しっかりと」 2.minutely「厳密に、事細かに」 the greatest artists have routinely copied 「偉大な芸術家たちはいつものように模写してきた」
- (10)the greatest artists have routinely copied the work of the great masters who went before them. 「偉大な芸術家は決まって、彼ら(=自分たち)に先立つ巨匠の作品を模写してきた」 them は the greatest artists のことである。
- (11)下線部の主語は understanding...effect である。prevent A from ~ing「A が～するのを妨げる」 下線部「他の人々がどのようにある効果を成しえたのかを理解しても、先へ進んで何か別のものに挑戦する妨げになつたりはしない」とはつまり、前文の After all 以下「偉大な芸術家は決まって自分に先立つ巨匠の作品を模倣してきたのだ」を踏まえた意見である。よって 2 が正解。3 と 4 に関しては、下線部の them が the great artists を指すので誤り。1.has blocked great artists「偉大な芸術家たちを阻害してきた」 2.comprehending=understanding「理解すること」 has not blocked the work of following artists「次の芸術家たちの作品を阻害しなかった」 3.has not blocked children in creativity「子どもたちの創造性を阻害しなかった」 4.has blocked the creativity of children「子どもたちの創造性を阻害してきた」
- (12)you say の you は「読者」を想定した言葉である。you say「(読者である)君たちは～と言うだろう」
- (13)not only A but (also) B「A だけでなく B も」 fail to 不定詞「～しそなう」 move on「先へ進む、進歩する」 get very far artistically「芸術的にさらに遠くへ進む」 in the first place「まず第一に、

- そもそも」下線部「彼らは先へ進みそこなうだけでなく、そもそもあまり芸術的成功をおさめることもないだろう」つまり move on「先へ進む」ことも get very far artistically「芸術的にさらに遠くへ進む」ことも、両方ともなしえないだろう、という意味である。よって4が正解。1.succeed in A「Aに成功する」succeed artistically in moving on「芸術的に進歩することに成功する」2.fail in copying artistically「芸術的に模倣することに失敗する」
- (14)positive「積極的な、肯定的な」1.affirmative「肯定的な」が正解。3.additional「追加の、付加的な」positive and constructive ways「肯定的で建設的な方法で」
- (15)having a dulling effect on creativity「鈍くする効果を創造性にあたえること」つまり、模倣が創造性の発達を遅らせてしまう、という懸念のことである。4.delaying the progress of creativity「創造性の発達を遅らせること」が正解。3.providing the effect on creativity「創造性に影響を与えること」はどのような影響かに言及していないので不適。
- (16)there is usually some elements of copying involved...とあり私たちが学ぶほとんどすべてのものは模倣の要素を伴うこと、模倣の練習の上に創造性が開花することが述べられているので2は正解。In music or writing we don't expect...とあり音楽や作文では、子どもが先生のやり方を模倣することを大人は望むと言っているので5は正しい。にもかかわらず大人は音楽や作文の時と違って絵を描くことに関しては、子どもが他の人の絵を模倣することを不安がる、よって7は正解。I do think that we can use children's copying activities in positive and constructive ways.とあるので9は正しい。
- (17)子どもが他人の絵をまねるとしばしば大人は不安がるように、模倣は創造性を妨げる否定的なものとして見られがちであるということ。しかし実はそうではなくて、創造性は模倣の上に開花し、またその豊かさを広げるために役立つものであるということ。以上の2点をまとめる。

## 全文訳

音楽や文章を書くことにおいて、まず始めに基本的な技術を習得するという骨の折れる過程を経ずに、自然と創造性を開花させるというようなことを、私たちは子どもに期待したりしない。そしてこの過程には、それが特定のコードを弾くことであれ、あるいは”b”の文字を正しく書くことであれ、教師のすることを模倣することがしばしば必要となる。事実、私たちが学ばねばならないほとんどすべてのことは、たいてい模倣の要素を伴う。したがって幼い子どもが絵を描くときに、このような助けなしに成長するよう期待されるのはおかしなことである。材料を与え、ことによると刺激的なテーマを提示したり、話し合ったりするのを別にすれば、多くの親や教師はまずそれ以上の手助けをしたりしない。(5)彼らは絵を描く過程そのものを直接援助するのでなく、励ますという観点で自分たちの役割をみているのだ。子どもは自分のやり方を見つけることを期待される、そしてそれこそが創造性というものであると考えられている。そのために、もし子どもがほかの人の描き方を真似ると、それも特に本や漫画の登場人物を真似たりすると、大人がしばしば不安だというのも驚くことではない。

しかしながら、大人がこのように疑わしく思っているにもかかわらず、子どもはしばしば真似て描くものだし、私の考えではこのことは必ずしも彼らの創造性を妨げるものではない。なにしろ偉大な芸術家は決まって、自分に先立つ巨匠の作品を模写してきたのだ。他の人々がどのようにある効果を成しえたのかを理解しても、先へ進んで何か別のものに挑戦する妨げになったりはしない。にもかかわらず、普通の人間にとってはそれをする上で妨げになるかもしれない、とあなたは言うだろう。けれど模倣の経験を経なくては、彼らは先へ進みそこなうだけでなく、そもそもあまり芸術的成功をおさめることもないだろう、と私は思うのだ。もちろん私は描くことを単なる模倣のレベルに引き下げたいわけではないけれども、私たちは子どもの模倣する能力を肯定的で建設的な方法として生かすことができると思うのだ。彼らの模倣能力を認めないことで、描くことや、ものは様々な方法で描けるのだと知識を広げることへの関心を保つために、とても役立つ方法への扉を閉ざしているのかもしれない。創造性を鈍らせるどころか、模倣はそれを解放するのに使えるのである。

## 第 12 章 指示語の内容を答える

### 56 専門用語と日常語

We sometimes rather thoughtlessly (1)criticize an announcement or a government printed paper which refers to ‘male persons over the age of twenty-one years.’ What (2)ridiculous jargon, we think; why couldn’t this self-important official have used the word ‘man’! But (3)the official may be forced into a jargon that he likes no more than we do, by the imprecision of the ordinary words that we may prefer. In (4)the present instance, man may sound perfectly (5)obvious as the right word for ‘male person over the age of twenty-one years’, but would (6)the latter be equally our automatic interpretation if simply the word ‘man’ had been used? The word ‘man’ is applied regularly to (7)hundreds of thousands of students, only a minority of whom have reached the age of twenty-one. We often use it of still younger males of sixteen or seventeen, and it can be applied to a school-boy of ten ((8)the team is a man short). It may simply mean ‘(9)( ) person’, as when we tell a little boy of four to ‘stop crying and be a man’. Or it may mean ‘human being’, without regard to (10)( ), as in a phrase like ‘not fit for man or (11)( )’.

This is the *ordinary* use of language which makes the *extraordinary* use of language (as in science or law) a constantly repeated difficulty, because – (12)important as law and science may be – we cannot sacrifice the ordinary, everyday use of language merely in order to leave language permanently suitable for the ‘(13)higher purposes’. And let us make no mistake: the (14)( ) of ordinary language is essential to the use and permanence of language of any kind. One simply must be able to make expressions of a general and imprecise kind: ‘Quick – there’s a man on the phone – long distance.’ If one is not allowed a shorthand expression of this kind, (15)it would cost the unfortunate ‘person whose voice suggested that he was a male who had reached full maturity’ a fair number of coins merely to have his call announced.

## 設問

(1)(12)下線部と近い意味になるように、次の空所に適語を入れよ。

(1) find ( ) with an announcement

(12) ( ) law and science may be important

(2)(5)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. absurd 2. ambiguous 3. complicated 4. evident 5. formal 6. legal

(3)(8)(15)下線部を和訳せよ。

(4)(6)(13)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

(7)下線部と近い意味のものを次から選べ。

1. 百人いや千人の 2. 何百人いや何千人もの 3. 十万人の 4. 何十万人もの

(9)(10)(11)(14)空所にあてはまる適語を次から選べ。

(9) 1. brave 2. grown-up 3. intelligent 4. male

(10) 1. age 2. nationality 3. religion 4. sex

(11) 1. beast 2. child 3. human 4. woman

(14) 1. difficulty 2. imprecision 3. precision 4. specialization

(16)アクセントの位置が異なる組み合わせを次から2つ選べ。

1. difficult 2. govern 3. mature 4. prefer 5. ridicule  
difficulty government maturity preferable ridiculous

## Further Expressions

### 《非難する》

We sometimes criticize a ridiculous announcement. 【非難する】

We sometimes reproach a ridiculous announcement.

We sometimes complain about a ridiculous announcement. 【不平を言う】

We sometimes censure a ridiculous announcement. 【酷評する】

We sometimes condemn a ridiculous announcement. 【きびしく責める】

We sometimes disapprove of a ridiculous announcement. 【不賛成である】

We sometimes find fault with a ridiculous announcement. 【文句を言う】

We sometimes blame government for a ridiculous announcement. 【非難する】

### 《ぴったりの》

“Man” is the right word for “male person over the age of twenty-one.” 【適切な】

“Man” is the suitable word for “male person over the age of twenty-one.” 【適した】

“Man” is a word that becomes the situation. 【ふさわしい】

## 解答

(1)fault (2)1 (3)全文訳参照 (4)公示や政府発行紙で「成人男性(man)」と書けばすむところを、「21歳以上の男性」と書いてある例。(5)4 (6)「21歳以上の男性」という語。(7)4 (8)全文訳参照 (9)1 (10)4 (11)1 (12)though[although] (13)日常なことばよりもことばの使い方に正確さが要求される科学や法のような専門分野の目的。(14)2 (15)全文訳参照 (16)4,5

## 解説

- (1)criticize A「Aを批判する」 find fault with A「Aに欠陥を見つける = Aに文句を言う、Aを非難する」なので faultが入る。criticize an announcement「公示を批判する」
- (2)ridiculous「馬鹿げた」 1.absurd「常識に反した、馬鹿げた」に近い。What ridiculous jargon, we think.「なんて馬鹿げた用語だろう、と私たちは思う」
- (3)official「公務員、役人」 force into A「Aを強制する」 be forced into A「Aを強いられた、余儀なくされた」 a jargon that he likes no more than we do「私たちと同様に彼も好まないような専門用語」 no more A than B「Bでないと同様 Aでない」の構文で、ここでは likes が否定される。by imprecision「不正確、不明瞭によって」 the ordinary words that we may prefer「私たちがより好むかもしれない日常なことば」
- (4)the present instance「今の例」 つまり直前で取り上げられている、公の文書での言葉遣いに関する問題を指している。
- (5)obvious「明らかな、明白な」 4.evident「明白な」が正解。man may sound perfectly obvious as the right word「manという言葉は適切な言葉として全く明らかに聞こえるかもしれない」
- (6)the latter「後者」 ここでは「manが male person over the age of twenty-one yearsを指す言葉であるというのが明らかだと思われるかもしれない」という言葉を受けて the latterが使われているので、後に出てくる「21歳以上の成人男性」を指している。
- (7)hundreds of「何百もの」 thousands of「何千もの」 hundreds of thousands ofはこれらの掛けあわせで「何十萬もの」 具体的な数を表すのではなく、数の多いことを表す言い方である。
- (8)it can be applied to a school-boy of ten「それは10歳の生徒にも当てはまる」に対してその具体的な例を挙げている。'the team is a man short.'「チームには男の子(man)が一人足りない」 shortは名詞の後について「...が足りない」という意味を表す。
- (9)その後 to as when we tell a little boy of four 'stop crying and be a man'「4歳の少年に「泣くのをやめて男らしくなりなさい」というときのように」とある。この man は簡単に泣いたりしない「男らしい」人の意味。よって 1.brave「勇敢な」が適切。2.grown-up「成長した」
- (10)it may mean 'human being'「それは「人間」を意味するかもしれない」 もともと「男性」の意味である man が人間一般を指す場合があることを言っているのだから without regard to sex「性別に関係なく」が適切。2.nationality「国籍」 3.religion「宗教」
- (11)man が「人間」を意味するとすれば 'not fit for man or...'「人間にも...にもあてはまらない」には人間以外のものが入るはずである。よって 1.beast「獣」が正解。
- (12)important as law and science may be「法律と科学は重要だろうけれども」 この as は譲歩の as「~だけれども」である。譲歩の as では程度を示す形容詞、副詞、名詞、動詞(ここでは important)が前に来る。よって though(although)が適切である。
- (13)higher purposes「高次の目的」 これは the extraordinary use of language(as in science or law)「科学や法におけるようなことばの特別な使い方」に呼応している。つまり、法や科学のような学術的な専門分野では、ことばは正確かつ厳密な定義が必要とされるのである。
- (14)次の文に One simply must be able to make expressions of a general imprecise kind「人は一般的な不明確な種類の表現ができなくてはならないのである」と言っている。よってふつうの言葉にとって極めて重要なのはその 2.imprecision「不正確さ」である。3.precision「正確、精密」 4.specialization「専門化」
- (15)would は仮定法の表現。暗に「現実にはありえないだろうが、もしありえたら...となるだろう」ということを示している。it cost A B「A(人)に B(費用・金額)がかかる」が基本的な文の構造になっている。Aにあたるのは the unfortunate 'person whose...maturity'「...という不幸な人」で、Bは a fair number of coins「かなり大量の硬貨」である。person whose voice suggested that...「その声が...であることを暗示している人」 he was a male who had reached fully maturity「彼は完全な成熟に達した男性である」 merely to have his call announced「ただ電話があったと告げてもらうために」 have は使役で、have + O + 過去分詞は「(事物を)~してもらう」を意味する。つまりこの文

の趣旨は、あいまいさを伴う簡潔な表現が使えないと、ある男性からの電話を取り次ぐだけで膨大な時間がかかってしまう、ということを示している。

(16)4 と 5 が正解。 préférer「より好む」 préférable「より好ましい」 ridicule「あざける」 ridiculous「ばかげた」

## 全文訳

「21 歳以上の男性」と書いている公示や政府発行紙をみると、私たちはしばしばかなり軽率に批判する。なんてばかげた用語だろう、と私たちは思うわけである。どうして、この尊大な役人は man という単語を使えなかったのだろうか、と。けれども(3)役人は、私たちが好む日常語が不明瞭であるために、私たちと同様に彼も好まないような専門用語を使わなければならないのかもしれない。今の例では、man は「21 歳以上の男性」を指すことばであるというのがまったく明らかであるように思われるかもしれない。しかし、もした単に man ということばが使われていたら、私たちは機械的に後者の「21 歳以上の男性」という語と等しいものとして解釈するだろうか。man ということばは通常、何十万人もの学生に対してあてはまり、そのうち 21 歳に達した人はごく少数である。私たちはしばしばそれを 16、17 歳のまだ若い男性にも使うし、10 歳の生徒にあてはまることもありうる。(たとえば(8)そのチームには男の子(man)が一人足りない!)というように。)またそれは、私たちが 4 歳の少年に「泣くのをやめて男らしくなさい(be a man)」という時のように、単に「勇敢な人」を意味するかもしれない。あるいはそれは、「人間(man)にも獣にもあてはまらない」という表現のように、性別に関係なく「人間」ということを意味するのかもしれない。

ことばの「ふつうでない」使い方(たとえば科学や法律で使われるような)をいつも繰り返し難しいものにしてしているのは、ことばの「ふつうの」使い方なのである。というのも、法律と科学は重要であるけれども、単に「高次な目的」のためにことばを恒常的で安定したものにしておこうとして、ふつうの日常的なことばの使い方を犠牲にすることは、私たちにはできないのである。そして私たちは間違えないようにしましょう。ふつうのことばの不正確さは、あらゆる種類の言語の使用や普遍性にとってきわめて重要なのだ。人は一般的で不明確な種類の表現ができなくてはならないのである。「急いで、男の人から電話だ。遠距離で。」もし人がこのような簡略な表現を使えないとしたら、(15)その不幸な「男性で、その声からして成人年齢に達しているだろう人」は、ただ電話があったと告げてもらうために、かなり多くの硬貨をかけることになるだろう。

## コラム 語源研究

### 語根 VERS, VERT

【語源】ラテン語の *vertere*「回す、回転する、向きを変える、回る、向く」を語源とする。 *verse*「(行を変える)韻文、詩」、*version*「(内容を変える)説明、翻訳、版」、*versus*「...対、VS」は同語源。

### 【単語】

- *adverse* ad(...に) + *verse*(回る) 「...に向きを変える(= 逆の、反対の)」
- *advertise* ad(...に) + *vertise*(回る) 「...に人々の注意を向けるようにする(= 広告する)」
- *anniversary* *annni*(年) + *versary*(回る) 「年に一度回ってくる(= ...周年記念日)」
- *averse* ab(離れて) + *verse*(回る) 「他のほうを向く(= 反対で、嫌って)」
- *avert* ab(離れて) + *vert*(回る) 「他のほうを向く(= そむける、そらす)」
- *controversy* *contra*(反対に) + *versy*(回る) 「反対に向くこと(= 論争)」
- *conversation* *con*(共に) + *versation*(回る) 「共に向き合うこと(= 会話)」
- *convert* *con*(完全) + *vert*(回る) 「すっかり向きを変える(= 変える、改宗させる)」
- *diverse* *dis*(離れて) + *verse*(回る) 「別々に向いている(= 異なった、多様な)」
- *invert* *in*(中に) + *vert*(回る) 「表にあったものを内側に向ける(= 逆さまにする、ひっくり返す)」
- *pervert* *per*(完全) + *vert*(回る) 「すっかり向きを変える(= 誤った道に陥らせる、曲解する)」
- *reverse* *re*(後に) + *verse*(回る) 「後ろに向きを変える(= 逆、入れかえる、逆にする)」
- *revert* *re*(後に) + *vert*(回る) 「元の向きを向く(= 戻る)」
- *traverse* *trans*(越えて) + *verse*(回る) 「越えて回る(= 横切る、横断する)」
- *universe* *uni*(1) + *verse*(回る) 「すべてがひとつとなって回る(= 宇宙、全世界)」
- *university* *uni*(1) + *verse*(回る) 「学者と学生がひとつとなって回る(= 大学)」

## 57 手紙の書き方

Everyone likes to receive letters, but practically no one likes to write them. For most people letter writing is one case in which it is far better to receive than give. Each of us has a hundred reasons why he can't write a letter. (1)Rare indeed is the person who can sit down and dash off a wonderful letter without giving it a second thought.

But just stop a minute and think how (2)vital letters are to us. Through letters we meet friends, make friends, and keep alive the warm glow of love. Letters bring friends and family together across the miles. If it weren't for letters, how difficult it would be to (3)( ) merchandise, pay bills, borrow money, join a club, (4)( ) on a civic committee, (5)( ) invitations or (6)( ) for a job — to (7)( ) just a few of the things that are part of the routine of living.

And this essential portion of your life — writing a letter — is really based only on these two rules:

BE TIMELY and

BE YOURSELF!

Be timely: (8)This is such an easy rule to follow and yet, when broken, it can lose friendships, cause great inconvenience, and inflict hurt feelings. A letter whose aim is to (9)( ) a social obligation fails completely when it arrives late. (10)A tardy letter of acceptance or regret can spoil a hostess's party and insures your not being invited again. A letter of friendship, like a visit with a friend, loses warmth and purpose when it is delayed. (11)"Don't put off till tomorrow what you can do today" applies just as much to letter writing as it does to other human endeavors.

Be yourself: (12)Too many letter writing guides insist on originality at the expense of the writer's personality. The true secret of writing a good letter is to write as if you were talking. Before you actually put pen to paper, sit down and (13)visualize the person to whom you are planning to write. Remember the last time you saw him and (14)recall what you know of him — his interests, his hobbies, his work, his family. Think of what (15)this person would want to hear, what you would tell him if you were in the same room chatting with him. Then write the letter in the kind of language and phrasing that is your everyday speech.

設問

(1)(8)(10)(11)(12)下線部を和訳せよ。

(2)(13)(14)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(2) 1. essential 2. harmful 3. profitable 4. wasteful

(13) 1. draw 2. illustrate 3. imagine 4. meet

(14) 1. remark 2. remember 3. remind 4. remove

(3)(4)(5)(6)(7)(9)空所にあてはまる適当な動詞を次から選べ。

1. accept 2. apply 3. fulfill 4. name 5. order 6. work

(15)下線部の具体的内容を日本語で答えよ。

**Further Expressions**

**《実感する》**

We sometimes realize the importance of letters. 【実感する】

The importance of letters sometimes bring home to us. 【実感させる】

**《延期する》**

Don't put off until tomorrow what you can do today. 【延期する】

Don't postpone until tomorrow what you can do today.



## 解答

(1)全文訳参照 (2)1 (3)5 (4)6 (5)1 (6)2 (7)4 (8)全文訳参照 (9)3 (10)全文訳参照 (11)全文訳参照 (12)全文訳参照 (13)3 (14)2 (15)あなたが手紙を書こうとしている人間

## 解説

- (1)rare が文頭に出て倒置になっている。主語は the person の部分。rare indeed「本当にまれだ」dash off A「A を急いでやってのける、一気に仕上げる」without giving it a second thought「それに再考を与えずに」it is a letter を指す。second thought「再考」つまり、「手紙の文章を推敲せずに」ということ。
- (2)vital「生命の、きわめて重要な」1.essential「必要不可欠な」に近い。harmful「有害な」profitable「有益な」wasteful「無駄の多い、浪費的な」think how vital letters are「手紙がいかに重要か考えよ」
- (3)5.order が正解。order merchandise「商品を注文する」
- (4)6.work が正解。work on A「A に影響を与える、働きかける」work on a civic committee「市の委員会に働きかける」
- (5)1.accept が正解。accept invitations「招待を受ける」
- (6)2.apply が正解。apply for A「A を志願する」apply for a job「職に応募する」
- (7)4.name が正解。to name (but) a few で「ほんの 2,3 例をあげると」という熟語である。to name just a few of the things that are part of the routine of living「日常生活のごく一部をあげてみるだけでも」
- (8)such an easy rule to follow「とても従うのが容易な規則」and yet「それにもかかわらず、しかし」when broken「破られたときには」when it is broken を省略した形。省略された主語 it は This「時を得ること」を指す。can lose friendship「友情を失うかもしれない」can は可能性「ありうる」の意味であとの cause や inflict にもかかっている。cause great inconvenience「大きな不便を引き起こす」inflict「(打撃、苦痛などを)与える、負わせる」hurt「傷ついた」
- (9)3.fulfill「果たす、実行する」が正解。fulfill a social obligation「社会的義務を果たす」
- (10)a tardy letter of acceptance or regret「時機の遅れた受諾もしくは断りの手紙」tardy「のろい、遅れた」acceptance「受諾」regret「(通例複数形で)丁寧な断り」a letter of regret で「お悔やみ状」という意味もあるが、acceptance との対比より「断り状」と解釈する。spoil「だめにする」hostess「女主人」insure「...を確実にする」ここでは 3 単現の s がついているので can にはかかっていない。your not being invited again「再び君が招かれないこと」

### 動名詞の意味上の主語

動名詞の意味上の主語は動名詞の前に目的格か所有格を置く。所有格はやや堅い言い方となる。

I'm proud of my father[father's] being a carpenter. 私は父が大工であることを誇りに思っている。

I can't understand him[his] leaving. 私は彼が去ったことを理解できない。

Would you mind me[my] opening the window? 私が窓を開けてもよいですか？

He insisted on me[my] not going there. 彼は私がそこへ行くべきではないと主張した。

\* 否定形 not は、動名詞の直前に置く。

- (11)put off「延期する」what you can do today「今日あなたができること」what は先行詞を含む関係代名詞。apply to A「A にあてはまる」文の構造を解釈すると、it does to other human endeavors「それが他の人間の活動にあてはまる」のと、as much as「同じくらい」に、"Don't put off..." applies to letter writing<sup>『...を延期するな』(という格言)は、手紙を書くことにあてはまる」となっている。it は"Don't put off till tomorrow what you can do today"、does は applies をそれぞれ指す。endeavor「努力、試み」</sup>
- (12)too many letter writing guides「あまりに多くの手紙の書き方のガイドブック(が)」insist on A「A を主張する」originality「独創性、オリジナリティ」at the expense of A「A の費用で、A を犠牲にして」personality「個性」
- (13)visualize「心に思い浮かべる」3.imagine「想像する」に近い。2.illustrate「説明する」visualize the person to whom you are planning to write.「これから書こうとしている人物を思い浮かべる」
- (14)recall「思い出す、思い出させる」2.remember「思い出す」に近い。1.remark「言う、述べる」recall what you know of him「彼について知っていることを思い出す」
- (15)Think of what this person would want to hear「この人が何を聞きたがるかを考えなさい」そ

の前に visualize the person to whom you are planning to write とある。あなたが手紙を書こうとしている人間が、何を聞きたがるかを考えよということである。この段落ではそうすることが手紙を上手く書く秘訣であると述べられているのである。

## 全文訳

だれでも手紙をもらうのは好きだが、手紙を書くのが好きな人はほとんどいない。大部分の人にとって、手紙は出すよりももらう方がずっとよいというのが一面の真理である。私たちにはそれぞれ、手紙を書けない理由が沢山ある。(1)席について、考え直しもせず、一気にすばらしい手紙を書き上げられる人は本当にまれだ。

けれどここで立ち止まって、手紙が私たちにとってどれだけ重要であるかを考えてみよう。手紙を通じて、私たちは友達に会い、親しくなり、温かな愛情を保ちつづけるのである。手紙は遠く彼方にいる友人や家族と再会させてくれる。もしも手紙がなかったら、日常生活のごく一部のものをあげてみるだけでも、商品を注文したり、支払いをしたり、お金を借りたり、クラブに参加したり、市の委員会に働きかけたり、招待を受けたり、あるいは職に応募したりといったことが、どんなにか難しくなっていたらう。

そしてあなたの生活のかけがえのない部分である「手紙を書く」ということは、実際のところ次のたったふたつのルールに基づいているのである。つまり、

時を得よ、そして

自分らしくあれ

「時を得よ」：(8)これはとても守りやすいルールであるが、もし破られたら、友情を失ったり、大きな不便を引き起こしたり、相手の感情を傷つけることもありうる。手紙とは社会的義務を果たす目的をもっているのだから、到着が遅れると完璧に失敗である。(10)受諾であれお断りであれ、届くのが遅れた手紙は招待主のパーティーを台無しにするかもしれない、そしてあなたはきっと2度と招待されないだろう。親睦の手紙は、友人の家を訪問するときと同様に、遅れば思いやりと目的を欠いたものになる。(11)「今日できることを明日まで延ばすな」という格言は、その他の人間の努力についてもあてはまるように、手紙についてもちょうであてはまるのだ。

「自分らしくあれ」：(12)書き手の個性を犠牲にして、独創性を主張するような手紙の書き方の手引書が多すぎる。よい手紙を書く真の秘訣は、あなたが話しかけているように書くことである。実際に筆を執って紙に向かう前に、席について、あなたがこれから書こうとしている相手を思い浮かべよ。彼に最後に会ったときのこと、そしてあなたが彼について知っていること...たとえば彼の関心事や趣味、家族のことを思い起こすのだ。もしあなたが彼と同じ部屋にいてしゃべっているとしたら、彼が何を聞きたがるか、自分が彼に何を言うだろうかと考えよ。そして、あなたが日常生活で話すときのようなことばと表現で、手紙を書くのである。

## コラム 語源研究

### 語根 SIST

【語源】ラテン語の sistare「立てる、置く、立つ」を語源とする。

### 【単語】

- assist ad(...に) + sist(立つ) 「そばに立つ(=助ける、手伝う、支援する)」
- consist con(共に) + sist(立つ) 「(要素が)一緒に立つ(=...から成り立つ)」
- exist ex(外へ) + sist(立つ) 「外で立つ(=存在する)」
- desist de(離れて) + sist(立つ) 「立ち去る(=やめる、思いとどまる)」
- insist in(上に) + sist(立つ) 「上に立って譲らない(=要求する、主張する)」
- persist per(完全に) + sist(立つ) 「(何があっても)立ち通す(=固執する、持続する)」
- resist re(後に) + sist(立つ) 「逆らって立つ(=抵抗する、耐える)」
- subsist sub(下に) + sist(立つ) 「(現実の)下に立つ(=生存する、存続する)」

## 58 ジェスチャーを学問する

(1)The importance of human gestures has been greatly underestimated. Students of linguistics are everywhere, and the analysis of human languages is a widely accepted scientific subject, but (2)the gesture specialist is a rare bird indeed – not so much a vanishing species, as one that has hardly yet begun to evolve.

There are two reasons for this. In the first place, gestures have quite wrongly been considered a (3)( ), second-class form of human communication. Because (4)verbal exchanges are the crowning glory of humankind, all other forms of contact are viewed as somehow (5)inferior and primitive. Yet social intercourse depends heavily on the actions, postures, movements and expressions of the talking bodies. (6)Where communication of changing moods and emotional states is concerned, we would go so far as to claim that gestural information is even more important than verbal. Words are good for facts and for ideas, but without gestures, human social life would become a cold and mechanical process.

(7)If this is so, then why has the science of gestures lagged so far behind the science of linguistics? (8)The second factor working against such studies is a curious one and is difficult to express. It is as if, (9)by their very nature, gestures do not like being written about. They resist verbal analysis. (10)On reflection, this is not so surprising. Their very existence depends upon the fact that they provide a non-verbal channel of communication, and (11)attempts to verbalize it are bound to meet with a special set of problems. These are problems that every art critic will understand. To describe in words the visual qualities that make a painting by Rembrandt a great work of art is an almost impossible task, and to convey the precise significance of a fleeting gesture is equally (12)challenging. But there is a way. We can greatly deepen our understanding of great works of art by investigating the geography and history of art movements. (13)And with gestures, too, we can learn much from a detailed examination of the geographical and historical background of the so-called trivial actions we all take so much for granted.

We each of us use hundreds of expressive movements every day as we pass through the social events that surround us from waking to sleeping. Each of these actions has a particular history – sometimes personal, sometimes cultural, and sometimes more deeply biological. By tracing the geographical range and the history of these actions we can begin to see them more clearly as an understandable pattern of human behaviour. To do this systematically is to open up a whole new area of comprehension, and (14)one that is as exciting as any other area of the science of humankind.

## 設問

(1) 下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

The importance of human gestures has been greatly thought ( ) of.

(2)(6)(11)(13) 下線部を和訳せよ。

(3) 空所にあてはまる適語を次から選べ。

1. significant 2. temporary 3. trivial 4. virtuous

(4) 下線部と最も関連の深い語句を次から選べ。

1. action 2. conversation 3. gesture 4. posture

(5) 下線部の反意語を答えよ。

(7) 下線部はどのようなことを言っているのか、日本語で説明せよ。

(8)(14) 下線部の具体的内容を本文中の英語で答えよ。

(9)(12) 下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(9) 1. extremely 2. inherently 3. persistently 4. strangely

(12) 1. desirable 2. difficult 3. exciting 4. possible

(10) 下線部を、this の具体的内容を明示して和訳せよ。

(15) 第1音節にアクセントのあるものを次から3つ選べ。

1. analysis 2. biological 3. challenging 4. event 5. inferior

6. investigate 7. pattern 8. precise 9. quality 10. scientific

## Further Expressions

### 〈本来〉

By nature, gestures are difficult to analyze. 【本来】

In essence, gestures are difficult to analyze.

Inherently, gestures are difficult to analyze.

Intrinsically, gestures are difficult to analyze.

Fundamentally, gestures are difficult to analyze. 【基本的に】

Gestures in themselves are difficult to analyze. 【それ自体】

### 〈無理〉

To describe Rembrandt's paintings is almost impossible. 【ほとんど】

To describe Rembrandt's paintings is practically impossible. 【~も同然】

To describe Rembrandt's paintings is next to impossible. 【ほとんど】

To describe Rembrandt's paintings is all but impossible.

To describe Rembrandt's paintings is as good as impossible. 【~も同様】

To describe Rembrandt's paintings is hardly [rarely] possible. 【ほとんど~ない】

To describe Rembrandt's paintings is beyond our power. 【超えている】

To describe Rembrandt's paintings is out of the question. 【まったく不可能】

There is no describing Rembrandt's paintings. 【できない】

## 解答

(1) little[lightly] (2) 全文訳参照 (3) 3 (4) 2 (5) superior (6) 全文訳参照 (7) もしも身振りが社会的関係において重要な役割を果たしているということが本当ならば、ということ。(8) They resist verbal analysis (9) 2 (10) よく考えてみれば、身振りは言語による分析と相反するものであるということは、それほど驚くことではない。(11) 全文訳参照 (12) 2 (13) 全文訳参照 (14) a whole new area of comprehension (15) 3, 7, 9

## 解説

- (1) The importance of human gestures has been greatly underestimated 「人間の身振りの重要性は非常に過小評価されている」 underestimate 「過小評価する」これと近い意味で使われているのは think little(lightlly) of 「軽んじる、軽視する」である。よって little(lightlly)が適切。
- (2) is a rare bird indeed 「本当にまれな鳥である」 bird には俗語で「人、やつ」という用法もあり、どちらで捉えてもよい。not so much A as B 「A というよりむしろ B (= rather B than A, more B than A)」ここでは A が vanishing species 「絶滅しつつある種」で、B が one that has hardly yet begun to evolve 「ほとんど進化をまだはじめていない種」となっている。vanish 「絶滅する」 species 「種」 species は単複同形。one は species を指す。hardly 「ほとんど...ない( scarcely) 」

### so much の比較のイディオム

< not so much A as B > : 「A というよりむしろ B」

He is not so much a scholar as an artist. 彼は学者というよりむしろアーティストだ。

= He is rather an artist than a scholar.

= He is more an artist than a scholar.

He is not so much a husband as a servant in his house. 彼は家では夫というよりむしろ召使だ。

< not so much as 動詞 > : 「~さえない」

He didn't so much as say good-bye. 彼はさよならさえ言わなかった。

- (3) 3. trivial 「ささいな、つまらない」が正解。1. significant 「重要な」 2. temporary 「一時的な」 4. virtuous 「有徳の、高潔な」 gestures have quite wrongly been considered a trivial, second-class form of human communication. 「身振りは取るに足らない二流の人間の意志伝達手段と非常に誤ってみなされている」
- (4) verbal exchanges 「言語の交換」つまり言葉によってコミュニケーションをとることである。2. conversation 「会話」が正解。4. posture 「ポーズ、態度」
- (5) inferior 「劣った、下級の」 反意語は「すぐれた、上級の」だから superior が正解。
- (6) where...is concerned 「...のこととなると」 changing moods and emotional states 「変化する気分や感情の状態」 go so far as to 不定詞「...さえしさえる」 gestural information is (even) more important than verbal 「身振りによる情報はことばによる情報より(ずっと)重要である」 even は比較級の強め。verbal 「ことばの」の後には information が省略されている。
- (7) If this is so 「もしこのことがそうなら(本当なら)」 this は前の第 2 段落の内容を指している。つまり、身振りは言語に劣る原始的な意志伝達的手段と考えられがちであるが、実は社会的関係において重要な役割を果たしている、ということである。
- (8) the second factor 「二番目の要因」 work against A 「A に不利に働く」 such studies 「そのような研究」とは the science of gestures を指す。答えは一文後の、(It is as if, by their very nature,) gestures do not like being written about 「それはまさにその本質から、あたかも)ジェスチャーは書かれることを好まないかのようである」か、They resist verbal analysis 「それらは言語的な分析を嫌う」の部分となる。できれば後者の方が好ましい。
- (9) by their very nature 「まさにそれらの性質によって」 2. inherently 「生まれつきで、固有に」が近い。1. extremely 「極端に」 3. persistently 「しつこく、永続的に」
- (10) On reflection 「よく考えると」 this is not so surprising 「このことはそれほど驚くことではない」その後で Their very existence depends upon the fact that... 「まさにそれらの存在そのものが...という事実依存するのだ」と、「驚くことでない」についての理由が説明されている。よって this 「このこと」とは直前の They resist verbal analysis 「それら(身振り)は言語による分析に相反するものなのである」を指していることがわかる。
- (11) attempts to verbalize it 「それを言語化する試み」 attempt 「試み」 verbalize 「言語化する」 it は a non-verbal channel of communication 「コミュニケーションの非言語的な伝達経路」を指す。be

- bound to 不定詞「きっと～する」 meet with A「遭遇する」 a special set of A「一連の特有な A」
- (12)challenging は「興味をそそる」といった意味もあるが、ここでは「困難な、やりがいのある」といった意味である。よって 2.difficult 「難しい」が正解。 1.desirable 「望ましい」
- (13)with A「Aに関して」 a detailed examination of the geographical and historical background「地理的・歴史的背景の詳細な調査」 detailed examination「詳細な調査」 background of the so-called trivial actions (which) we all take so much for granted「私たちがみな当然とみなしている、いわゆるささいな行動の背景」 so-called「いわゆる」 trivial「ささいな、ありふれた」 actions の後に目的格の関係代名詞が省略されている。 take A for granted「A を当然のことと思う」 A は先行詞 trivial actions である。
- (14)one that is as exciting as any other area of the science of humankind 「人類に関する他の科学の領域と同様に興味を引くそれ」 one は直前の a whole new area of comprehension 「全く新しい理解の領域」を指す。その新しい領域について、他の領域と比較し説明しているのである。
- (15)3.challenging 「困難な、やりがいのある」 7.páttérn 「模範、原型、模様」 9.quality 「質」

## 全文訳

人間の身振りの重要性は非常に過小評価されている。言語学の学生は至る所におり、人間の言語の分析は科学的な主題として広く受け入れられているが、しかし(2)身振りの専門家は実際滅多にいない鳥であり、絶滅しつつある種というより、まだほとんど進化が始まっていない種である。

これには2つの理由がある。第一に身振りは取るに足らない二流の人間の意志伝達手段と非常に誤ってみなされている。言語によるやり取りは人間の最上級の榮譽であるという理由で、その他のすべての伝達手段はなぜか劣った、原始的なもののみなされるのだ。しかし、社会的関係は会話をしている人の行動、姿勢、動作、表情に大いに依存している。(6)変化する気分や感情の状態に対する意志の疎通に関しては言語による情報より身振りによる情報の方がはるかに重要であるとさえ主張する。ことは事実や考えに対しては有効であるが、身振りが無ければ人間の社会生活は冷たく機械的なものになってしまうだろう。

もしそうであれば、なぜこれまでのところ身振りの科学は言語の科学より遅れをとってしまっているのだろうか？ こうした研究を遅らせている2番目の要素は奇妙なものであり、表現し難いものである。身振りはまさにその性質により、まるで書き留められることを好まないかのようなのである。それらは言語による分析に相反するものなのである。よく考えるとこれはそれほど驚くことではない。まさにそれらの存在そのものが言語によらない意思の疎通の選択肢を生み出すという事実に依存するものであり、(11)それを言語化する試みはきっと一連の特有な諸問題に遭遇する。これらは芸術評論家全員が理解しているであろう問題である。レンブラントの絵画を偉大な芸術作品にしている視覚的特質をことばによって描写することはほとんど不可能なことであり、束の間の身振りの正確な重要性を伝達することは同様に困難なのである。しかし方法が1つある。我々は芸術の動向に関する地理や歴史を調べることで偉大な芸術作品の理解を大いに深めることができるのだ。(13)身振りに関しても同様に、我々が当然のものとしてみなしている、いわゆる些細な行動の、地理的・歴史的背景を詳細に調べることから、多くのことを学ぶことができる。

起床から睡眠まで我々が自らを取り巻く社会的できごとを経験するのと同様に各人が毎日何千もの表現的動作を使用している。こうした動作はそれぞれが特有の歴史を持ち、時には個人的なものであり、時には文化的なものであり、時には生物学的に非常に深く根差したものである。これらの動作の地理的範囲と歴史を追跡する事によりそれらを理解可能な人間の行動としてより明確に理解始めることが可能だ。系統立ててこれを行うことはまったく新しい理解の領域を開くことであり、それは人類に関する科学の他の領域と同様に興味を引くものである。

## 59 トレード・オフの経済学

The first lesson about making decisions is summarized in the saying: “There is no such thing as a free lunch.” To get one thing that we like, we usually have to give up another thing that we like. Making decisions requires trading off one goal against another.

Consider a student who must decide how to use her most valuable resource — her time. She can spend all of her time studying economics; she can spend all her time studying psychology; or she can (1)( ) her time between the two fields. For every hour she studies one subject, she gives up an hour she could have used studying the other. And (2)for every hour she spends studying, she gives up an hour that she could have spent working at her part-time job for some extra spending money. Or consider parents deciding how to spend their family income. They can buy food, clothing, or a family vacation. Or they can save some of the family income for retirement or the children’s college education. (3)When they choose to spend an extra dollar on one of these goods, they have one less dollar to spend on another of them.

When people are grouped into societies, they face different kinds of tradeoffs. (4)The classic tradeoff is between “guns and butter.” The more we spend on national (5)defense to protect our shores from foreign aggressors, the less we can spend on personal goods to raise our standard of living at home. Also important in modern society is the tradeoff between a clean environment and a high level of income. Laws that require firms to reduce pollution (6)( ) the cost of producing goods and services. Because of the higher costs, these firms end (7)(down, in out, up) earning smaller profits, paying lower wages, charging higher prices, or some combination of (8)these three. Thus, (9)while pollution regulations give us the benefit of a cleaner environment and the improved health that comes with it, they have the cost of reducing the incomes of the firms’ owners, workers, and customers.

Another tradeoff society faces is between efficiency and equity. Efficiency means that society is getting the most it can from its (10)scarce resources. Equity means that the benefits of those resources are distributed fairly among society’s members. In other words, efficiency refers to the size of the economic pie, and equity refers to how the pie is divided. Often, when government policies are being designed, (11)these two goals conflict.

Consider, for instance, policies aimed at achieving (12)a more equal distribution of economic well-being. Some of these policies, such as the welfare system or unemployment insurance, try to help those members of society who are most (13)in need. Others, such as the individual income tax, ask (14)the financially successful to contribute more than others to support the government. Although (15)these policies have the benefit of achieving greater equity, they have a cost in terms of reduced efficiency. When the government redistributes income from the rich to the poor, it reduces the reward for working hard; as a result, people work less and produce fewer goods and services. In other words, (16)when the government tries to cut the economic pie into more equal slices, the pie gets smaller.

Recognizing that people face tradeoffs does not by itself tell us what decisions they will or should make. A student should not (17)abandon the study of psychology just because doing so would increase the time available for the study of economics. Society should not stop protecting the environment just because environmental regulations reduce our material standard of living. The poor should not be ignored just because helping them (18)distorts work incentives. (19)Nonetheless, acknowledging life's tradeoffs is important because people are likely to make good decisions only if they understand the options that they have available.

### 設問

- (1)(6)空所にあてはまる適当な動詞を本文中から抜き出せ。
- (2)(9)(19)下線部を和訳せよ。
- (3)下線部の意味を、one of these goods および another of them の具体的内容を明示して日本語で説明せよ。
- (4)下線部の具体的内容を 50 字以内の日本語で説明せよ。
- (5)下線部の反意語を答えよ。
- (7)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。
- (8)下線部の具体的内容 3 つをそれぞれ 10 字以内の日本語で答えよ。
- (10)(17)下線部と近い意味の語句を次から選べ。
- (10) 1. abundant 2. natural 3. precious 4. rare
- (17) 1. give up 2. keep up 3. set up 4. take up
- (11)下線部の具体的内容を 60 字以内の日本語で説明せよ。
- (12)下線部の具体的な政策例として本文中に述べられているもの 2 つを、それぞれ漢字 4 字で答えよ。
- (13)(14)(18)下線部と近い意味のものを次から選べ。
- (13) 1. 社会に貢献している 2. 困窮している 3. 周囲と親しくしている
- (14) 1. 収入の多い人 2. 政府の援助を受けている人 3. 政策に関わる人
- (18) 1. 仕事为非効率になる 2. 仕事量が増える 3. 労働意欲をなくさせる
- (15)下線部の具体的な政策例として本文中に述べられているものを、漢字 3 字で答えよ。
- (16)下線部の理由として本文中に述べられている点を 60 字以内の日本語で説明せよ。
- (20)次の各語のアクセントのある音節を選べ。
- (A) ec-o-nom-ics (B) stan-dard (C) in-sur-ance (D) in-di-vid-ual (E) con-trib-ute
- 1 2 3 4            1 2            1 2 3            1 2 3 4            1 2 3

### Further Expressions

#### 《犠牲にする》

Firms must reduce pollution at the cost of producing goods. 【～を犠牲にして】

Firms must reduce pollution at the price of producing goods.

Firms must reduce pollution at the sacrifice of producing goods.

Firms must reduce pollution at the expense of producing goods.

#### 《自由にできる》

It is difficult to increase the time available for study. 【利用できる】

It is difficult to increase the time at our disposal to study. 【自由になる】



## 解答

(1)divide (2)全文訳参照 (3)親が食料や衣服や家族の休暇か、または退職後の生活や子どもの大学教育のうちのひとつに1ドル余分に費やすごとに、別のものに費やす分が1ドル減るということ。(4)外国の侵略から自国を守る国防のための費用と、生活水準向上のため市民が個人的に使う費用の間の取引。(48字) (5)offense (6)raise (7)up (8)より小さな利益、より安い賃金、より高い価格。(9)全文訳参照 (10)4 (11)限られた資源から最大限のものを引き出す効率とその利益を構成員に公平に分配する平等という2つの社会の目標は対立する。(57字) (12)福祉制度・失業保険 (13)2 (14)1 (15)所得税 (16)政策がより公平さを達成しようとする、人々の労働報酬をそぎより働かなくさせ、財やサービスを生み出させなくしてしまうから。(60字) (17)1 (18)3 (19)全文訳参照 (20)(A)3 (B)1 (C)2 (D)3 (E)2

## 解説

- (1)第4段落にある how the pie is divided の divide が適当。divide A between[among] B「AをBと分ける」 divide her time between the two fields「時間をふたつの分野に分ける」
- (2)for every hour (that) she spends studying「彼女が勉強に費やすどの時間も」目的格の関係代名詞 that を補って考える。for every hour「毎時間のために」 spend+時間+~ing「~するのに(時間)を費やす」 an hour that she could have spent...「彼女が費やしえた時間」 could have+過去分詞で、仮定法過去完了の条件節を省略した文「(現実には費やさなかったが)費やしえた時間」となっている。spent working 以下は、先の spends studying の場合と同じ。for some extra spending money「追加のお小遣いのために」 spending money=pocket money「小遣い」
- (3)直前の They can buy food...と Or they can save some of the family income...という2つの文に注目する。one of these goods「これらのもののうち一つ」とは「食料や衣服や家族の休暇」あるいは「退職後の生活や子どもの大学教育」といったもののうちどれか1つ、という意味である。another of them「それらのうちもう1つ」とはそれらの中の別の1つ、という意味である。
- (4)直後の一文が the classical tradeoff「古典的なトレードオフ」の説明となっている。つまり guns の表す national defense「国防」と、butter が表す personal goods「個人的な品物」の間のトレードオフを対比的に説明すればよい。
- (5)defense「防御、守り」 反意語は offense「攻撃」である。
- (6)Laws that require firms to reduce pollution「会社に汚染を減らすことを要求する法律」は「商品やサービスを生み出すコストを増やす」とするのが文脈上適切である。その2文前の to raise our standard of living の raise「あげる」を使う。
- (7)end up (by)~ing「ついには~することになる」という熟語である。these firms end up earning smaller profits「これらの会社はついにはより小さな利益しか得られなくなる」
- (8)or some combination of these three「あるいはこれら3つの組み合わせ」これら3つとは、その直前で言われている earning smaller profits, paying lower wages, charging higher prices「より小さな利益、より安い賃金、より高い価格」を指している。
- (9)while...「...する一方で」 pollution regulations「汚染規制」 the benefit of a cleaner environment「よりきれいな環境という利益」 the benefit of...the improved health that comes with it「それとともに生じる改善された健康という利益」ただし the benefit of...と the improved health...を「...という利益」と「...という改善された健康」というように別々にもとることも可能。they have the cost of reducing the incomes「彼らは収入を減らすという代価をもつ」この cost は「犠牲、代価」の意味である。つまりそのような代価を支払うことになる、という意味。
- (10)scarce「乏しい、不十分な」 4.rare「まれな、めったにない」に近い。1.abundant「豊富な」 its scarce resources「その乏しい資源」
- (11)two goals「2つの目標」とは、efficiency「効率」と equity「平等」である。この段落で説明されているように「効率」は少ない資源からできる限り多くのものを得ることであり、「平等」とはその資源から得た利益を構成員に平等に分配することである。この2つの内容に加え、それらが目標としてはしばしば対立するものでもあることも述べる。
- (12)policies aimed at achieving a more equal distribution of well-being「福利のより平等な分配の達成を目標とする政策」の具体的例はその後に such as...で示されている the welfare system or unemployment insurance「福祉制度や失業保険」である。
- (13)in need「困った事態、貧困に陥っている」 who are most in need「最も困窮している人々」
- (14)the financially successful「財政上成功している人」つまり収入が多く経済的に豊かな人である。
- (15)these policies「これらの政策」は、その前文に福祉制度や失業保険と対比されて具体的に述べられている。Others, such as the individual income tax がそれにあたる。individual income tax「個人の収入に対する税金」とはつまり所得税のことである。
- (16)when the government tries to cut the economic pie into more equal slices, the pie gets smaller「政府が経済的なパイをより均等に分けようとすると、パイはより小さくなる」 In other

word「言いかえれば」といっているように、これは前文の内容をパイのたとえで言いかえたものである。When the government redistributes income...の文に注目する。政府が税金の再分配によって公平を期すと、逆に人々の労働報酬を減らし、人々を働かせなくしてしまうから、パイの大きさ(効率)は小さくなってしまっているのである。

- (17)abandon「捨てる、あきらめる」 1.give up「あきらめる」に近い。2.keep up「維持する、続ける」 3.set up「設立する」 4.take up「引き継ぐ」 A student should not abandon the study of psychology「学生は心理学の勉強をあきらめるべきではない」
- (18)distort「ゆがめる、曲げる」 incentive「刺激、動機」 helping them distorts work incentives「彼らを助けることは労働のインセンティブ(動機)をゆがめる」つまり労働意欲をなくさせるということである。
- (19)nonetheless = nevertheless「それにもかかわらず」 acknowledging life's tradeoffs「生活の中の取引(の存在)を認識すること」が主語。acknowledge「認める、認識する」 tradeoff「(妥協のための)取引」 be likely to 不定詞「～しがちである」 make good decisions「よい決定を下す」 only if「...する場合に限り」 the options that they have「彼らが持つ選択肢」 understand the options...available「利用できる選択肢を理解する」 available は、関係詞節をはさんで、後ろから options を修飾している。
- (20)(A)economics「経済学」(B)standard「基準、標準の」(C)insurance「保険、保険金」(D)individual「個々の、個人」(E)contribute「寄付する、寄与する」

## 全文訳

物事の決定を下すことについての第一の教訓は、以下のことわざに集約される。「無料のランチのようなものなどない(ただ飯などない)好きなものをひとつ手に入れるためには、ふつうもうひとつの好きなものをあきらめなければならない。決定を下すということは、ある目標と別の目標を取引する必要がある。

もっとも価値ある資源 - 時間 - をどのように使うか決めなければならない学生を考えてみよう。経済学を勉強するのにすべての時間を費やすこともできる。心理学を勉強するのにすべての時間を費やすこともできる。もしくは、ふたつの分野に時間を分けることもできる。毎時間ひとつの科目を勉強すれば、ほかの科目を勉強できたかもしれない時間をあきらめることになる。そして、(2)勉強に費やしているどの時間も、追加のお小遣いのためのアルバイトに費やした時間をあきらめているのだ。あるいは、家族の収入をどのように使うか決めている両親を考えてみることにする。彼らは食べ物や衣服や余暇を買うことができる。退職後の生活や子どもの大学教育に備えて家族の収入を貯金することもできる。これらの使い道のひとつに 1 ドル費やすことを選ぶたびに、他の使い道に費やす分が 1 ドル減ることになる。

人々は社会集団にグループ分けされると、異なる種類の取引に直面する。その典型的な取引が「銃(大砲)とバター」である。外国の侵略者から海岸を守るため、国防に費やせば費やすほど、家庭の生活レベル向上のための個人的な商品に費やすお金は減る。また、現代社会で重要なのが、汚れていない環境と高レベルの収入の取引だ。会社が汚染を減らすように要求する法律は、商品やサービスを生み出すコストを引き上げる。より高くなったコストのため、これらの会社はより小さな利益、より安い賃金、より高い価格、もしくはこれら 3 つの組み合わせに直面することになる。このように、(9)汚染規制はよりきれいな環境とそれとともに生じる改善された健康という利益を被る一方で、会社の経営者、労働者、消費者の収入を減らす代価を支払うことになる。

社会が直面するもうひとつの取引は、効率と公平である。効率とは、社会が希少な資源からできる限り多くを得ている、ということの意味する。公平とは、資源から得た利益が社会の構成員の間で公正に分配される、ということの意味する。いいかえれば、効率は経済的なパイの大きさについて言及し、公平はそのパイをどのように分けるかについて言及しているのである。政府の政策が計画される際に、しばしばこのふたつの目標が衝突する。

たとえば、経済的福利のより平等な分配を達成することを目的とする政策について考えてみてほしい。福祉制度や失業保険といったこれらの政策は、もっとも困窮している社会構成員を助けようとする。所得税のような別の政策は、財政的成功者に、政府を支援するため他の人より多く貢献するように求める。これらの政策は公平さをより達成する利点を持っているが、効率さが下がるという点で代価を支払っている。政府が富めるものから貧しきものへ所得を再分配すると、一生懸命働くことへの報酬を減らすことになる。結果として、人々はより働かなくなり、財やサービスをより生み出さなくなる。いいかえれば、経済的なパイをより平等に切り分けようとするれば、パイが小さくなるのである。

人々が取引に直面していると認識することは、それ自体でどのような決定を下す、もしくは下すべきなのか、を語ってはいない。学生は、経済学の勉強に使える時間が増えるからという理由だけで、心理学の勉強をやめるべきではない。社会は、環境規制が私たちの物質的な生活水準を低下させるからという理由だけで、環境を保護することをやめるべきではない。貧しいものは、彼らを助けると労働に対するインセンティブ(動機付け)がゆがむという理由だけで、無視されるべきではない。(19)それにもかかわらず、生活の中の取引の存在を認識することは、重要である。なぜなら、人々は、自分が利用できる選択肢を理解している場合に限り、よい決定を下せるようになるからである。

## 60 個人あつての社会あり

When we (1)survey our lives and endeavors, we soon (2)observe that almost the whole of our actions and desires is (3)bound up with the existence of other human beings. We notice that our whole nature resembles that of the social animals. We eat food that others have produced, wear clothes that others have made, live in houses that others have built. The greater part of our knowledge and beliefs has been communicated to us by other people through the (4)medium of a (5)language which others have created. (6)Without language our mental capacities would be poor indeed, comparable to those of the higher animals; (7)we have, therefore, to admit that we owe our principal advantage over the beasts to the fact of living in human society. (8)The individual, if left alone from birth, would remain primitive and beastlike in his thoughts and feelings to a degree that we can hardly conceive.

A man's value to the community depends primarily on how far his feelings, thoughts, and actions are directed toward promoting the good of his fellows. We call him good or bad according to his attitude (9)in this respect. It looks (10)at first sight as if our estimate of a man depended entirely on his social qualities.

And yet (11)such an attitude would be wrong. It can easily be seen that (12)all the valuable achievements, material, spiritual, and moral, which we receive from society have been brought about in the course of countless generations by creative individuals. Someone once discovered the use of fire, (13)someone the cultivation of (14)edible plants, and (15)someone the steam engine.

Only the individual can think, create new values for (16)society, and even set up new moral standards to which the life of the community conforms. Without creative personalities able to think and judge independently, (17)the upward development of society is as unthinkable as the development of the individual personality without the nourishing soil of the community. The health of society thus depends quite as much on the independence of the individuals composing (18)it on their close social cohesion.

## 設問

(1)(2)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. examine 2. follow 3. notice 4. start

(3)(10)(14)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(3) closely ( ) to the existence of other human beings

(10) at first (g )

(14) plants that we can ( )

(4)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. average 2. condition 3. means 4. middle

(5)(16)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。

(5) economy : economics = language : ( )

(16) economy : economics = society : ( )

(6)(7)(8)(12)下線部を和訳せよ。

(9)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(11)下線部の具体的内容を次から選べ。

1. discouraging a man from promoting the good of his fellows
2. discovering the way society is judged by a man
3. judging a man's value entirely by his social qualities
4. taking it for granted that we call a man good or bad according to his individual value

(13)(15)下線部の人物と最も関連の深い語句を次から選べ。

1. agriculture 2. commerce 3. fishery 4. industry 5. mining

(17)下線部に対して必要なものについての筆者の意見を日本語で説明せよ。

(18)下線部の具体的内容を英語で答えよ。

(19)次の各語のアクセントのある音節を選べ。

(A) en-deav-or (B) com-pa-ra-ble (C) val-u-a-ble (D) spir-i-tu-al

1 2 3

1 2 3 4

1 2 3 4

1 2 3 4

## Further Expressions

### 《関係がある》

Our actions are bound up with other human beings. 【密接な関係がある】

Our actions are closely related to other human beings.

Our actions are relevant to other human beings. 【関連がある】

Our actions have much to do with other human beings.

There is a close relationship between our actions and other human beings.

【密接な関係】

### 《次第である》

Whether a man is valuable to the community or not depends on [upon] his actions.

【次第である】

Whether a man is valuable to the community or not is up to his actions.

A man's actions determine his value to the community. 【決定する】

A man's actions are responsible for his value to the community. 【原因である】

## 解答

(1)1 (2)3 (3)related (4)3 (5)linguistics (6)全文訳参照 (7)全文訳参照 (8)全文訳参照 (9)共同体内の一人の人間の感情や思考、行動が仲間のよい部分を促してやることにどれくらい結びついてるかという観点。(10)glance (11)3 (12)全文訳参照 (13)1 (14)eat (15)4 (16)sociology (17)社会が上向きに発展するためには、社会のために新たな価値基準を確立することさえできるような、自主的に考え判断できる創造的個人が必要である。(18) society (19)(A)2 (B)1 (C)1 (D)1

## 解説

- (1)survey「見渡す、調査する」 1.examine「調査する」が正解。When we survey our lives and endeavor「私たちが自分たちの生活や努力を調べてみるとき」  
(2)observe は「観察する、述べる」という意味があるが、ここでは「気づく」という意味。3.notice が正解。we soon observe that...「...ということにすぐ気づく」  
(3)be bound up with A「A と密接な関係にある」 relate「関係づける」の過去分詞が入る。be related to A で「A に関係する」という意味。  
(4)medium は「中間、中間の」や「生活条件」などといった意味もあるが、ここでは「媒体、手段」の意味。よって 3.means「方法、手段」が正解。means は必ず s が語末につくことに注意。through the medium of a language「言語という媒体を通して、言語によって」  
(5)economy「経済」 economics「経済学」同様に language「言語」に対応して linguistics「言語学」

### 学問のいろいろ

mathematics「数学」 physics「物理学」 solid state physics「物性物理学」 quantum mechanics「量子力学」 electromagnetics「電磁気学」 (elementary) particle physics「素粒子物理学」 cosmophysics「宇宙物理学」 chemistry「化学」 organic chemistry「有機化学」 inorganic chemistry「無機化学」 biology「生物学」 molecular biology「分子生物学」 biochemistry「生化学」 medicine「医学」 physiology「生理学」 anatomy「解剖学」 pharmacy「薬学」 agriculture「農学」 veterinary medicine「獣医学」 astronomy「天文学」 geology「地質学」 geography「地理学」 engineering「工学」 information science「情報科学」 law「法学」 politics「政治学」 economics「経済学」 literature「文学」 philosophy「哲学」 theology「神学」 ethics「倫理学」 aesthetics「美学」 art history「美術史」 archaeology「考古学」 history「歴史学」 linguistics「言語学」 psychology「心理学」 cultural anthropology「文化人類学」

- (6)Without language our mental capacities would be poor indeed「言語がなかったら、私たちの精神能力は実に貧しいものであるだろう」 現在の事実と反する事柄を述べる仮定法過去の文である。without language は if it were not for language「現実にはありえないが」もしも言語がない」と言い換えられる。comparable to A「A と比較できる = A と同種の、類似の」 those は mental capacities「精神的な能力」を指す。the higher animals「高等動物」  
(7)we have, therefore, to admit that...「私たちは、それゆえ...を認めなければならない」 we have to admit...という文に therefore が挿入されている。owe A to B「A を B に負う、A は Bのおかげである」 A にあたるのは our principal advantage over the beasts「獣に対する私たちの優位の主たる部分」で、B にあたるのは the fact of living in human society「人間社会における生活の事実」である。principal「主要な」は principle「原理」と発音が同じ。advantage over A「A に対して有利な点」  
(8)The individual, if left alone from birth, would remain primitive and beastlike「もし一人の人間が、生まれたときから一人きりにされるなら、原始的で獣じみたままであるだろう」 if 節で主語 the individual と動詞 were が省略されている。現在の事実と反する仮定を述べる仮定法過去の文。in his thoughts and feelings「彼の思想と感情において」 to a degree that we can hardly conceive「私たちがほとんど想像できないほどに」  
(9)in this respect「この観点から」 その人がどのような人間かを判断する観点については、その前文で述べられている。共同体における人間の価値は depends primarily on how far his feelings, thoughts, and actions are directed toward promoting the good of his fellows.とある。depend primarily on A「主に A による」 how far「どれくらい」 direct toward A「A に向ける、わりあてる」 promote「促進する」 the good of his fellows「仲間たちのよい点」  
(10)at first sight「一目で、ただちに、一見したところでは」 glance「ちらりと見ること、一瞥」が入る。at first glance「一目見てすぐに」  
(11)And such an attitude would be wrong.「しかしこのような態度は間違っているだろう」 このような態度は前段落で指摘されている態度、つまり一人の人間を、彼がどれだけ仲間のよい部分を促しているかによって評価する態度のことである。前段落ではさらに、その態度によると our estimate of a man depended entirely on his social qualities.「一人の人間に対する私たちの評価

- は、完全にその人の社会的な質の度合いによっている」かのように思われる、と言っている。よって3が正解。1.discouraging a man from promoting the good of his fellows.「一人の人間に仲間のよい部分を促進することをやめさせる」4.「私たちが、その人の個人的な価値によってよいとか悪いとか呼ぶのを当然と思う」individual value「個人的な価値」ではなく social qualities「社会的な質」によって価値が決まる。つまり、「社会から見た(個人の価値)」という視点が欠けているので誤り。
- (12)主語は all the valuable achievements...「...のようなすべての価値ある業績」 material, spiritual, and moral「物質的・精神的・道徳的」は achievements を修飾し、さらに which 以下も achievements を説明している。bring about A「Aを引き起こす」ここでは受身形。in the course of countless generations「数え切れない世代の間に」 by creative individuals「創造的な個人たちによって」
- (13)someone the cultivation of edible plant「誰かが食用植物の栽培を発見した」動詞の discover が省略されている。食用植物の栽培に成功するとは農耕の始まりのことである。よって 1.agriculture が正解。
- (14)edible plants「食用植物」 edible「食べられる、食用の」という意味。よって plants that we can eat「食べることのできる植物」が正解。
- (15)someone the steam engine.「誰かが蒸気機関を発明した」蒸気機関は産業革命時に発明され、紡績業などの機械に利用されて産業を飛躍的に発展させた。4.industry が正解。2.commerce「商業」 3.fishery「漁業」 5.mining「採鉱、鉱業」
- (16)society「社会」に対応するのは sociology「社会学」である。
- (17)the upward development of society「社会の上向きの発展」はなにがなければ考えられないのか。同じ段落の Only the individual can think...「ただ個人だけが...を考えることができる」という部分と、Without creative personalities...「創造的な個人なくしては...」という部分がポイントになる。set up「確立する」 to which the life of the community conforms「共同体の生活がそれに適応していくような」
- (18)the independence of the individuals composing it on their close social cohesion「緊密な社会的結合の上でそれを構成する個人の自主性」 it は society を指す。
- (19)(A)endéavor「努力、勤める」  
 (B)cómparable「比較できる」  
 (C)váluable「価値のある」  
 (D)spíritual「精神的な」

## 全文訳

私たちの生活や努力を調べてみると、私たちの行動や願望のほとんどすべてが他の人間の存在と密接な関係にあることにすぐに気づく。私たちは自分たちの性質全体が社会的動物のそれと似ていることに気づくのである。私たちは他人の作った食物を食べ、他人が作った服を着て、他人が建てた家に住む。私たちの知識や信条の大きな部分は、他人が作り出した言語という媒体を通して、他人によって伝えられている。(6)言語がなかったら、私たちの精神的能力は実に、高等動物と同じくらいの貧しいものであるだろう。(7)そのため私たちは、獣に対する私たちの優位の主たる部分は、人間社会における生活のおかげであるということを認めるべきである。(8)もし一人の人間が、生まれたときから一人きりにされたなら、その思考も感情も私たちがほとんど想像できないほどに原始的で、獣じみたままであるだろう。

共同体に対する一人の人間の価値は、主として彼の感情や思考や行動が、仲間の良い部分を促してやることにどれくらいあてられているかによる。私たちは彼の態度にしたがって、この観点から彼を良い人だとか悪い人だとか言うのである。それはただちに一人の人間に対する私たちの評価は、完全にその人の社会的な質の度合いによっているかのように思われる。

しかしこのような態度は間違っているだろう。(12)私たちが社会から受け取るすべての価値ある業績、物質的、精神的、道徳的業績は、創造的な個々の人々による数え切れない世代の連年のうちに生みだされたものなのであると、私たちは容易に知ることができる。かつて誰かが火を発見し、誰かが食用植物の栽培に成功し、誰かが蒸気機関を発明したのである。

個人だけが思考し、社会のために新しい価値を創造し、そして共同体の生活がそれに順応していくような、新たな道徳的基準を確立することさえできるのである。自主的に考え、判断できるような創造的個人なくしては、社会の上向きの発展など、共同体という栄養土なしに個人が発達するのと同じくらい考えられないことである。したがって社会の健康は、緊密な社会的結合の上でそれを構成する個人の自主性に、極めて大きくかかっているのである。

## 第 13 章 本文の内容を日本語で説明する

### 61 死の出会いと子ども

Children may meet the idea of death for the first time at any age. In the normal course, the death of an older member of the family is likely to be the first experience of the kind that (1)touches a child closely. Whenever the child asks about death, it is important to answer in simple (2)terms, without (3)instilling fear but also without false explanations that may only confuse the child.

(4)Some of the explanations grown-ups give a child, though easiest to give, are not the wisest. When a child is told that the person who died has “gone to sleep and won’t wake up,” he may be (5)frightened about going to sleep himself in (6)(case, fear, lest, that) he should also die. Or if he is told that someone died because he was sick, he may be afraid when he or his parents have any illness, even a cold, believing that illness will result in death.

For the young child, details are not necessary and are best avoided. The simplest statement is enough: People die because their bodies get (7)worn out. If the child wants to know where a person goes when he dies, parents have their own religious belief to share with the child. When parents are without beliefs that they can share, the child can accept their acknowledgement that they don’t really know.

(8)Exact explanations are not so important as the manner in which an answer is given. When parents have accepted the fact of death with quiet courage, they convey this attitude to the child along with their words.

When there is a death in the family, (9)grown-ups sometimes unwisely exclude the children from sharing in the family sorrow with the idea of protecting them. To be sure, it is not good for a child to see his parents or other older people (10)overwhelmed with shock or grief. But it is also not good for him to be pushed aside, or sent out of the house to be taken care of by strangers. A family loss is the child’s loss too, and he should not be separated from those who are closest to him at such a time.

(11)However grief-stricken a mother or father may be, it is important to remember that the children, too, are suffering and need to be comforted. (12)A parent will feel for the children at such a time and try not to give way to uncontrolled expressions of grief in the children’s presence.

(13)Complete control is neither necessary nor wise. When the adults master themselves entirely for the children’s (14)( ), and show no grief at all, children are (15)puzzled and are often unable to give vent to their own feelings. It is important for the children to be allowed to take some (16)( ) in the family’s mourning. When they can share it in their own (17)( ), they find an (18)outlet for their own sorrow and are comforted. Mourning relieves sorrow by giving it (19)( ), and by recalling happy and loving memories of the

person who is gone. (20) Children need this relief as grown-ups do.

### 設問

(1)(2)(3)(10) 下線部と近い意味のものを次から選べ。

(1) 1. 関係する 2. 心を動かす 3. 成長させる 4. 傷つける

(2) 1. 言葉 2. 態度 3. 表情 4. 場面

(3) 1. 取り除く 2. 妄想を抱かせる 3. 植えつける 4. 詳しく説明する

(10) 1. 大げさに表す 2. 克服する 3. 屈する 4. 隠す

(4) 下線部のような説明の具体例を1つ挙げ、それが the wisest でない理由を日本語で答えよ。

(5)(7)(15) 下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(5) 1. confused 2. scared 3. sensitive 4. skeptical

(7) 1. decayed 2. exhausted 3. overburdened 4. wounded

(15) 1. confused 2. disappointed 3. shocked 4. surprised

(6) カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(8)(11)(12) 下線部を和訳せよ。

(9) 下線部を、them の具体的内容を明示して和訳せよ。

(13) 下線部のように筆者が主張する理由を日本語で答えよ。

(14)(16)(17)(19) 空所にあてはまる適語を次から選べ。

1. account 2. expression 3. part 4. sake 5. want 6. way

(18) 下線部と近い意味の1語を同じ段落から選べ。

(20) 下線部はどのようなことを言っているのか日本語で説明せよ。

(21) 第1段落において、子どもが死についてたずねた時、大人はどのようなことに気をつけて答えてやるのが大切だと筆者は述べているか、3点を日本語で答えよ。

### Further Expressions

#### 《同情する》

A parent will sympathize the children who suffer from grief. 【同情する】

A parent will feel sympathy for the children who suffer from grief.

A parent will feel for the children who suffer from grief.

A parent will feel sorry for the children who suffer from grief. 【ふびんに思う】

A parent will feel pity for the children who suffer from grief.

A parent will take [have] pity on the children who suffer from grief.

#### 《恐れて》

The child may keep awake in case he should die. 【～するといけないから】

The child may keep awake lest he should not die.

The child may keep awake for fear that he may die. 【～するのを恐れて】

The child may keep awake for fear of dying.

The child may keep awake so as not to die. 【～しないように】

The child may be anxious about dying. 【不安で】



## 解答

(1)2 (2)1 (3)3 (4)例：死んだ人は眠ってしまって目を覚ますことがないのだ、と教える。理由：自分も死んでしまうのではないかと心配して子どもが眠ることを怖がるかもしれないから。(5)2 (6)case (7)2 (8)全文訳参照 (9)子どもを保護するつもりで大人は時に家族の悲しみを共に体験することから子どもを締め出すが、賢明とはいえない。(10)3 (11)全文訳参照 (12)全文訳参照 (13)悲しみを表現しない親の不自然な態度に、子どもが当惑して自分の感情を発散できなくなるから。(14)4 (15)1 (16)3 (17)6 (18)vent (19)2 (20)家族の死の悲しみを和らげるため、子どもを死から遠ざけるよりも、大人と同様に喪に服し、感情を吐き出したり、故人のよい記憶を思い起こしたりする機会を設けることが必要だ、ということ。(21) やさしい言葉で答えること。 子どもを怖がらせないこと。 子どもを混乱させる結果にしかならないかもしれないというその説明をしないこと。

## 解説

- (1)the first experience of the kind that touches a child closely「より身近に子どもに触るはじめての経験のようなもの」 of the kind「そのような」 touch「触れる」はここでは子どもの心に触れるという意味。2.心を動かすが近い。4.傷つける、は言い過ぎである。
- (2)it is important to answer in simple terms「簡単な言葉で答えてあげることが重要である」 termには「期間、条件」といった意味もあるがここでは1.言葉という意味である。
- (3)instill「教え込む、しみこませる」 without instilling fear「恐怖をしみこませる = 恐怖を植えつける」で3が正解。
- (4)grown-ups「大人」 some of the explanations「説明のいくつか」は下線部の後に具体的に述べられている。亡くなった人は「眠ってしまってもう起きないのだ」と言う場合と、「病気のために亡くなったのだ」と言う場合である。後者が良くない理由は「言われた子は、自分が両親が何かの病気にかかったとき、たとえそれが風邪でも、死んでしまうと信じて怖がるかもしれないから」どちらかの例とその理由が書いていけばよい。
- (5)he may be frightened「彼は怖がるかもしれない」 2.scared「おびえた」が正解。1.confused「当惑した、混乱した」 3.sensitive「敏感な、感じやすい」 4.skeptical「疑い深い」
- (6)in caseには2つの意味がある。「もし～ならば、万一～の場合には」という仮定(= if)の意味と、「～といけなから、～の場合に備えて」という意味である。ここは後者で、in case he should also die.「彼もまた死ぬといけなから(彼は一人で眠ることを怖がるかもしれない)」 in that「...という点で」
- (7)wear out「すりへる」 2.exhausted「つかれきった、使い果たされた」が正解。体が年を経てもう使い古されてしまったという意味なので3.overburdened「負担をかけられすぎた」は不適。1.decayed「腐らされた」 4.wounded「負傷した」 because their bodies get worn out「彼らの体がすりへってしまったから」
- (8)A is not so ~ as B is「AはBほど～でない」という構造の文である。Bにあたるのは、the manner in which an answer is given「答えの与えられ方」
- (9)unwisely「賢明でないことに」 exclude the children from sharing in the family sorrow「家族の悲しみを共有することから子どもを締め出す」 exclude A from B「AをBから締め出す」 share in A「Aを分担する、ともにする」 sorrow「悲しみ」 with the idea of protecting them「彼らを守ろうという考えのために」 protect A「Aを保護する、守る」 このthemはchildrenをさす。ofは同格「～という」の用法。
- (10)overwhelm「力で圧倒する」 overwhelmed with shock or grief「ショックや悲嘆で圧倒される、苦しむ」という意味である。近いのは3.屈する。
- (11)However grief-stricken a mother or father may be = No matter how grief-stricken...「母親や父親がいかに深い悲しみに打ちひしがれていても」 however + 形容詞で「どんなに～でも」という意味。grief-stricken「悲しみに打ちひしがれた」 it is important to remember that...「...を思い出すことが重要である」 need to be comforted「慰められる必要がある」
- (12)feel for A「Aに同情する」 at such a time「そのようなときに」 つまり、家族を失ったときのこと。try not to 不定詞「...しないように努める」 give way to A「Aに屈する、譲歩する」 uncontrolled expressions of grief「抑えきれない悲しみの表れ」 in A's presence「Aの面前で」
- (13)neither necessary nor wise「必要でも賢明でもない」 その理由は直後に説明されている。When the adults master themselves entirely「大人が自分の感情をすべて抑えたとき」 つまり complete controlのとき。children are puzzled and often unable to give vent to their own feelings「子どもたちは困惑して、しばしば自分の感情を表に出すことができなくなってしまう」これが理由である。
- (14)for one's sake「～のために、～を目的として」 4.sakeが正解。for the children's sake「子ども

たちのために」

- (15) children are puzzled「子どもたちは困惑する」 1.confused「混乱した」が正解。  
(16) take part in A「Aに参加する」 3.partが正解。to be allowed to take some part in the family's mourning「家族の喪にいくらかは参加させてあげること」  
(17) in one's own way「それなりに」 6.wayが正解。When they can share it in their own way「彼らがそれをそれなりに分かちあえれば」  
(18) outlet「出口、はけ口」同じ意味の単語は同段落 2 行目の終わりにある vent である。vent は「穴、通気孔、(感情などのはけ口)」という意味。give vent to A「Aにはけ口を与える」つまり「表に出す」 they find an outlet for their own feelings「彼らは自分の感情にはけ口をみつける」  
(19) give expression to A「Aを表現する」 2.expressionが正解。by giving it expression「それを表現する、表に出す」  
(20) children need this relief as grown-ups do「大人たちと同様に、子どもたちもこの種の緩和を必要としている」 this relief は take some parts in the family's mourning「家族の喪に参加する」こと、そして Mourning relieves sorrow by giving it expression, and by recalling...「それを表現したり、...を思い出したりすることによって、喪が悲しみを和らげる」ことを踏まえた表現。  
(21) 第 1 段落の最後の行に Whenever the child asks about death, it is important to answer...と注意すべき 3 点が述べられている。それは in simple terms「簡単な言葉で」 without instilling fear「恐怖を植えつけることなく」 without false explanations「嘘の説明をせずに」の 3 点である。

## 全文訳

子どもというのは、いくつであっても初めて死の概念に出会うものかもしれない。平均的な場合において、家族の中で年長の人の死というのは、子どもの心を動かす初めての経験のようなものになるだろう。子どもが死について尋ねるときにはいつでも、子どもを怖がらせたり、混乱させるだけの嘘の説明をしたりしないで、簡潔なことばで答えてあげることが重要である。

大人が子どもに与える説明には、言うのはもっとも簡単だが、もっとも賢明であるとはいえないものがある。死んだ人は「眠ってしまってもう起きないのだ」と言われると、子どもは自分もまた死んでしまうといけなそうと思って、一人で眠ることを怖がるかもしれない。あるいは、もしも病気のために誰かが亡くなったのだといわれると、彼は自分が自分の両親がなにかの病気にかかったとき、たとえそれが風邪であっても、死んでしまうと信じて怖がるかもしれない。

幼い子どもにとって、細かいことは必要でなく、避けるのがもっともよい。簡潔な説明で充分である。つまり、人は体を使い古していつか死んでしまうのであるということだ。もしも子どもが、死んだ人はどこへ行くのか知りたがったら、両親は自分の宗教的な信仰を子どもに話す必要がある。両親が子どもに話せるような信仰を持たないなら、自分たちもよくわからないのだと認めれば、子どもは受け入れられるのだ。

(8) 正確な説明は、答え方ほど重要ではない。両親が死の事実を、勇気をもって受け入れれば、彼らはこの態度をことばと一緒に伝えるのである。

家族に不幸があったとき、大人たちは子どもを守ろうとして家族の悲しみを分かち合うことから子どもを締め出すことがときどきあるが、あまり賢いことではない。確かに子どもにとって、自分の両親や他の年長の人々が動揺や悲嘆で苦しんでいるのを見ることはよいことではない。けれども脇に置かれたり、見知らぬ人に世話をしてもらおうようにと家から送り出すこともまた、よいことではない。家族にとっての喪失は、子どもにとっての喪失でもある。子どもは、そのような時もっとも近くにいる人々から隔てられるべきではないのだ。

(11) 母親や父親がいかに深い悲しみに打ちひしがれていても、子どももまた苦しんでおり、悲しみを和らげてあげる必要がある、と思い出すが重要である。(12) このような時、親は子どもに同情して、子どものいる前で抑えきれない悲しみに屈して、それを外に出してしまうことのないように努めるだろう。

悲しみを表現することを完全に抑制してしまうのは、必要でも賢明でもない。大人が子どものために自分の感情をすべて抑え、まったく悲しい様子を見せなかったら、困惑してしばしば自分の感情を表に出すことができなくなってしまう。いくらかは家族の喪に参加させてあげることが子どもにとって大切である。彼らが悲しみをそれなりに共有できれば、彼らは自分の悲しみのはけ口を見つけ、慰められる。喪に服するということは、それを表に出すことで、そして亡くなった人との幸福で愛すべき記憶を思い起こすことで、悲しみを和らげるのである。子どもは大人と同じようにこの緩和を必要としているのである。

## 62 なぞの下宿人

I came home from school one day to find a strange man in the kitchen. He was making something on the stove, peering intently into a saucepan.

'Who are you? What are you doing here?' I asked him. It was a week since my father died.

The man said, 'Shh. Not now. Just a minute.' He had a strong foreign accent.

I recognised that he was concentrating and said, 'What's that you're making?'

This time he glanced at me. 'Polenta,' he said.

I went over to the stove and looked inside the saucepan. The stuff was yellowy, sticky, a thick semolina. 'That looks (1)disgusting,' I told him, and then went in search of my mother.

I found her in the garden. 'Mum, there's a man in the kitchen. He's cooking. He says he's making polenta.'

'Yes, darling? Polenta?' said my mother. (2)I began to suspect she might not be much help. I wished my father were here. 'I'm not exactly sure what that is,' my mother said (3)vaguely.

'Mum, I don't care about the polenta. Who is he? What's he doing in our kitchen?'

'Ah!' exclaimed my mother. She was wearing a thin flowery summer dress, and I noticed suddenly how thin she was. *My mother*, I thought. (4)Everything seemed to pile on top of me and I found myself unexpectedly crying. 'Don't cry, love,' said my mother. 'It's all right. He's our new lodger.' She hugged me.

I wiped my eyes, sniffing. 'Lodger?'

'With your father gone,' my mother explained, 'I'm afraid I'm having to (5)( ) one of the spare rooms.' She turned and began to walk back towards the house. We could see the lodger in the kitchen, moving about. I put my hand on my mother's arm to stop her going inside.

'Is he living here then?' I asked. 'With us? I mean, will he eat with us and (6)( )?'

'This is his home now,' said my mother. 'We must make him feel (7)at home.' She added, as if it were an afterthought, 'His name's Konstantin. He's Russian.' Then she went inside.

I paused to take (8)( ) this information. A Russian. This sounded exotic and interesting and made me inclined to forgive his rudeness. I watched my mother enter the kitchen. Konstantin the Russian looked up and a smile lighted up his face. 'Maria!' He opened his arms and she went up to him. They kissed on both cheeks. My mother looked around and beckoned to me.

'This is my daughter,' she said. (9)There was a note in her voice that I couldn't identify. She stretched out her hand to me.

'Ah! You must be Anna,' the Russian said.

(10)I was startled, not expecting him to have my name so readily on his lips. I looked at my mother. (11)She was giving nothing away. The Russian held out his hands and said, 'Konstantin. I am very pleased to meet you. I have heard so much about you.'

We shook hands. I wanted to know how he had heard so much about me, (12)but couldn't think of a way of asking, at least not with my mother there.

The Russian turned back to his cooking. He seemed familiar with our kitchen. He sprinkled salt and pepper over the top of the mass of semolina-like substance, and then carried it through to the living room. For some reason, my mother and I followed him. We all sat in armchairs and looked at one another. I thought I was the only one who felt any sense of (13)( ).

When I got home late next evening, Konstantin and my mother were deep in conversation (14)( ) dinner. There were candles on the table.

'What's going on?' I asked.

'Are you hungry, darling?' said my mother. 'We've left you some. It's in the kitchen.'

I was starving. 'No thanks,' I said (15)sullenly, 'I'm fine.'

Though it was early, I went upstairs to bed.

Later I heard my mother's footsteps on the stairs. She came into my room and leant over me. I kept my eyes closed and breathed deeply. 'Anna?' she said, 'Anna, are you awake?'

I remained silent.

'I know you're awake,' she said.

There was a pause. (16)I was on the point of giving in when she spoke again. She said, 'Your father never loved me. You should not have had to know this. He did not love me.' She spoke each word with a terrible clarity, as if trying to burn it into my brain. I squeezed my eyes tight. (17)Rigid in my bed, I waited for my mother to leave the room, wondering if I would get over all this with time.

### 設問

(1)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. delicious 2. interesting 3. strange 4. terrible

(2)下線部の説明として適当なものを次から選べ。

1. 母親は料理の知識が不足しているという落胆を表している。  
2. 母親は驚いていないのではないかという懸念を表している。  
3. 母親は自分の質問を理解できないという失望を表している。  
4. 母親だけでは家の管理ができないという不安を表している。

(3)(15)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. angrily 2. cheerfully 3. clearly 4. loudly 5. silently 6. unclearly

(4)下線部に示される筆者の気持ちの説明として最も適当なものを次から選べ。

1. I was still in the depths of depression.  
2. I suddenly realised how defenceless she was.  
3. My mother's arms felt heavy on my shoulders.  
4. I suddenly felt that things were too much to bear.

(5)(6)(8)(13)(14)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

- (5) 1. close 2. decorate 3. keep 4. let  
(6) 1. anything 2. everything 3. nothing 4. something  
(8) 1. down 2. in 3. out 4. over  
(13) 1. direction 2. humour 3. purpose 4. unease  
(14) 1. above 2. below 3. over 4. under

(7)下線部と近い意味の形容詞を答えよ。

(9)(11)下線部の意味として正しいものを次から選べ。

- (9) 1. I didn't know why she spoke so softly.  
2. I couldn't tell how she had changed her voice.  
3. The melody of her voice made it difficult to understand.  
4. There was something unfamiliar about the way she spoke.

(11) 1. She wasn't holding out her hands.

2. Nothing was missing from the house.  
3. I couldn't tell anything from her face.  
4. The situation was completely under her control.

(10)(12)(17)下線部を和訳せよ。

(16)下線部の解釈として最もふさわしくないものを次から選べ。

1. I was about to cry. 2. I was about to speak to her.  
3. I was about to open my eyes. 4. I was about to admit that I was awake.

(18)コンスタンチンについて本文中に述べられていることを 30 字以内の日本語で説明せよ。

## 解答

(1)4 (2)3 (3)6 (4)4 (5)4 (6)2 (7) comfortable (8)2 (9)4 (10)全文訳参照 (11)3 (12)全文訳参照 (13)4 (14)3 (15)1 (16)1 (17)全文訳参照 (18)父親の死の1週間後にアンナの家へやってきたロシア人の下宿人。(30字)

## 解説

- (1)disgusting「気分が悪くなるような、不愉快な」4.terrible「ひどく悪い、不愉快な」が正解。3.strange「奇妙な」は disgusting より表現が弱いので不適。
- (2)I began to suspect she might not be much help.「私は彼女が大して助けにならないのではないかと疑い始めた」アンナは男が誰であるのかが知りたかったのに、母親が的外れな答えを返したことに落胆したのである。3が正解。
- (3)vaguely「ぼんやりと」 my mother said vaguely「私の母はぼんやりと言った」 6.unclearly「不明瞭に」が正解。
- (4)「すべてが私にのしかかっているようだった」 seem to 不定詞「～のようである」 pile「積み重なる」 on top of meの類似表現で、get on top of A「Aの手に余る」というのもある。母親のやつれた様子を見て、アンナに言い知れぬ不安感が募ったのである。4.「私は突然、物事が背負うには多すぎると感じた」が正解。2.「私は彼女がなんと無防備なんだと気づいた」は前の how thin she was と結びつきにくい。3.「母の腕が私の肩に重く感じた」はこの時点ではまだ hug「抱きしめる」をしていないので不適切。
- (5)I'm afraid that ~「残念ながら～のようだ」 正解は 4.let「貸す」 let は主に(英)で「賃貸する、貸す」という意味になる。父親が亡くなって部屋が空いたので、そこを貸さねばならないと言っているのである。2.decorate「飾る」、3.keep「保つ」
- (6)And everything「(列挙して)そしてその他もろもろ」 will he eat with us and everything?「彼は私たちと食事して、そしてその他もろもろ(共にするの)?」
- (7)feel at home「くつろぐ、気楽にする」 comfortable「くつろいだ」と近い意味である。
- (8)I paused to take in this information.「私はこの情報を理解するために少しとまった」母に言われたことを理解しようとしているという意味。正解は、2.take in A「Aを理解する」 他は 1.take down「下ろす」 3.take out「取り出す」 4.take over「引き継ぐ」
- (9)「彼女の声には彼女のものと思えないような響きがあった」 note「声の調子」 identify「同一人物であると認める」 マリアは母の話す声音がいつもと違うことを感じたのである。正解は 4.「彼女のしゃべり方にはなじみのないものがあった」 1.「私はなぜ彼女がそんなやわらかく話したのか知らなかった」は触れられていない。2.「私は彼女がどのように声を変えたのか言うことができなかった」や 3.「彼女の声の抑揚のために、理解するのが難しくなった」は文の趣旨が異なる。
- (10)I was startled「私は驚いた」 not 以下は分子構文で驚いた理由を説明している。not expecting him to ~「彼が～するとは予想しなかったので」 readily「快く」という意味もあるがここは「容易に、難なく」の意味。have my name so readily on his lips「私の名前をそんなに簡単に(彼が)口にすると(私は)予期していなかった)」
- (11)「彼女は何も表に出さなかった」 give away「(秘密などを)もらす、表に出す(=reveal)」よって 3.I couldn't tell anything from her face.「私は彼女の表情から何もわからなかった」が正解。tell A from B「BでAがわかる」その他の選択肢はすべて文意が異なる。1.「彼女は手を差し出していなかった」 2.「何も家から失われなかった」 4.「その状況は完全に彼女の支配下にあった」
- (12)couldn't think of a way of asking「尋ねる方法を思いつくことができなかった」主語は下線部の前にある I「私」である。think of A「Aを思いつく」 at least not with my mother there.「少なくとも母がそこにいる限りは」 at least「少なくとも」 not with my mother there の not は with 以下を否定しているのではなく、否定の意味を強調する not である。(I could) not (think of it) with my mother there と補って考えてもよい。つまり「母がそこにいない限りは」ではなく「母がそこにいる限りは(できなかった)」と訳す。with my mother there は付帯状況を表し、「...な状態では」と訳す。
- (13)sense of unease「不安感」 unease = uneasiness「不安、心配」であり、ease「簡単」の反意語ではないことに注意。ゆえに、4が正解。1.sense of direction「方向感覚」 2.sence of humour「ユーモアを解する心」 3.sense of purpose「目的意識」
- (14)3.over が正解。over dinner「夕飯を食べながら」 この over は「～をしながら」の意味である。
- (15)solely「むっつりと。不機嫌に」 1.angrily「怒って、憤慨して」に近い。4.loudly「大声で、騒々しく」 5.silently「黙って、静かに」
- (16)「私はまさに屈しようとしていた」 on the point of ~ing「まさに～しようとして」 give in「屈服する」屈することの内容として不適切なものは、1.cry「泣く」である。それ以外の選択肢 2.「話しかける」、3.「目をあける」、4.「起きていたことを認める」は文の流れにそっている。
- (17)Rigid in my bed は being が省略された分子構文。「ベットの中で身を固くしながら」 wondering 以下も分子構文である。get over「乗り越える」 wondering if I would get over all this with time「時とともにこのようなことすべてを乗り越えるのだろうか、と思いながら」
- (18)字数が限られているので、彼がいつどこにやってきた、どういう立場の人間であるか、という点に絞って簡潔に述べる必要がある。父の死後一週間後にアンナたちの家にやってきたこと、下宿人であること、ロシア人であることの3点を盛り込んでまとめる。

## 全文訳

ある日、学校から帰ると、キッチンで見知らぬ男を見た。彼はコンロで何かを作っていて、熱心にシチュー鍋の中を見つめていた。「どなたですか？ここで何をなさっているのですか？」私は彼に尋ねた。父が死んで1週間のことだった。「しーっ。今はだめだ。ちょっと待ってくれ。」彼には強い外国なまじりがあった。私は彼が集中しているのを認め、言った。「それ、何を作っているんですか？」今度は、彼が私をチラッと見た。「ポレンタだ。」彼は言った。私はコンロの方へ行き、シチュー鍋の中のをぞきこんだ。黄色く、粘っこい、どろっとしたセモリーナ（パスタやブディングに使う粗く固い小麦粉）だった。「うー。気持ちわるーい！」そういうと、母を探しにいった。庭で母を見つけた。「お母さん、キッチンに男の人がいるよ。料理してるの。ポレンタを作ってるんだって。」「そうなの？ポレンタねえ。」母がそういうと、私は彼女が大して助けにならないのではないかと疑い始めた。お父さんが今ここにいてくれたらなあ、と思った。「それがどんなものなのか、よくわからないなあ。」ぼんやりと彼女は言った。「お母さんったら、ポレンタのこと気にしてるんじゃないのよ！誰なの、彼？私たちのキッチンで何してるの？」「ああっ！」母は大きな声で言った。母は花柄のうすいサマードレスを着ていた。突然、母がひどくやつれていることに気づいた。お母さん...、そう思った。すべてが私にのしかかっている気がし、いつのまにか泣いてしまっている自分に気がついた。「泣かないで、ね？」母は言った。「だいじょうぶなの。彼はうちの新しい下宿人なの。」彼女は私を抱きしめた。私は涙をぬぐい、鼻をすすった。「下宿人？」「あなたのお父さんが逝き...」母は説明した。「残念なことに空き部屋を貸さねばならなくなったの。」母は向きを変え、家のほうに戻りはじめた。キッチンで動き回る下宿人の姿が私たちの目に入った。母が部屋に入るのを止めるため、母の腕に手を置いた。「それじゃあ、あの人はここに住むってこと？」私は尋ねた。「私たちと一緒に？...つまり...、私たちと一緒に食事をとったりなんなりするってこと？」「今や、ここはあの人の家なのよ。」母は言った。「私たちは彼にくつろいでもらわなきゃならないの。」そう付け加えた。まるで、あとから思いついたかのように。「彼の名前はコンスタンチン、ロシア人よ。」そういうと、母は家の中に入った。私はこの情報を飲み込むため、一息入れた。ロシア人。エキゾチックで興味深い響きだ。先ほどの彼の無礼を許すほうに心が傾いた。私は母がキッチンに入るのが見えた。ロシア人コンスタンチンは視線を上げ、笑顔がぼっと顔にさした。「マリア！」彼は両手を広げ、母は彼のほうに近寄っていった。ふたりはお互い両頬にキスしあった。母はあたりを見回し、私に手招きをした。「これが私の娘よ。」母は言った。母の声には私が聴いたこともない響きがあった。母は私に向かって手を差し向けた。「ああ！君はアンナだよ。」ロシア人は言った。(10)私は驚いた。彼の唇からそんなに簡単に私の名前が出てくるとは思いもしなかったのだ。私は母に視線を向けた。彼女は顔色ひとつ変えず平然としていた。ロシア人は手を差し出し言った。「コンスタンチンだ。会えてうれしいよ。君のことはずいぶん聞いてるんだ。」私たちは握手をした。私は、どのように彼が私のことを聞いたのか知りたかったが、(12)尋ねる方法が思いつかなかった。少なくとも、母がそこにいる限りは、ロシア人は回れ右して料理に戻った。彼は私たちのキッチンに慣れ親しんでいるかのようにだった。彼はセモリーナのような物体のかたまりに胡椒と塩を振りかけた。そして、それをリヴィングに運び入れた。どういうわけか、母と私も彼についていった。私たちはみなアームチェアに座り、お互い顔を見合わせた。居心地の悪さを感じているのは私だけだ、と思った。次の日の晩遅く、家に帰ると、コンスタンチンと母は夕食を囲んで会話にのめりこんでいた。テーブルにはろうそくが灯っていた。「いったいどうしたの？」私は尋ねた。「おなかすいてる？」母が言った。「ちょっとお夕飯を残しておいたわ。キッチンにあるわよ。」私はおなかペコペコだった。「結構よ。」むっつりと言った。「大丈夫だから。」まだ早かったが、2階へ上がりベッドに入った。その後、階段を上る母の足音を聞いた。彼女は私の部屋に入り、私のほうにかがんだ。私は目をつぶったまま、深く息をした。「アンナ？」母は言った。「アンナ、起きてる？」私は黙っていた。「起きてるのはわかっているのよ。」母は言った。間があった。私が屈しようとしたとき、母はまた話し始めた。「あなたのお父さんはけっして私のことを愛してくれなかった。おまえはこんなこと知らなくてもよかったけど。彼は私を愛していなかったの。」彼女は一語一語おそろしい明瞭さで話した。まるで私の脳裏に焼き付けるかのように。私は目をきゅっと閉じた。(17)ベッドの中で身を固くし、母が部屋を出て行くのを待った。時とともにすべて乗り越えていくのだろうか、と思いつつながら。

### Further Expressions

#### 【隠す】

My mother answered the question vaguely [ambiguously]. 【あいまいに】

My mother concealed the fact. 【隠す】

My mother did not reveal the fact. 【明らかにする】

My mother kept the secret to herself. 【秘密にしておく】

My mother decided on it in my absence. 【いないところで】

My mother decided on it behind my back. 【内緒で】

#### 【屈する】

I was about to give in to my mother. 【屈する】

I was about to give way to my mother.

I was about to submit [yield] to my mother.

## 63 人生の意味

I doubt whether a doctor can answer the question what the meaning of one's life is in general terms. For the meaning of life differs from man to man, from day to day and from hour to hour. (1)What matters, therefore, is not the meaning of life in general but rather the specific meaning of a person's life at a given moment. To put the question in general terms would be comparable to the question posed to a chess champion: "Tell me, Master, what is the best move in the world?" There simply is no such thing as the best or even a good move apart from a particular situation in a game and the particular personality of one's opponent. (2)( ) One should not search for an (3)abstract meaning of life. Everyone has his or her own specific mission in life to carry out a concrete assignment which demands fulfillment. One cannot be replaced, nor can one's life be repeated. (4)( )

We must never forget that we may also find meaning in life even when confronted with a hopeless situation, when facing a fate that cannot be changed. (5)For what then matters is to bear witness to the uniquely human potential at its best, which is to transform a personal (6)tragedy into a (7)triumph, to turn one's crisis into a human achievement. (8)( )

Once, an elderly man consulted me because of his severe depression. He could not overcome the loss of his wife who had died two years before and whom he had loved above all else. (9)( ) Well, (10)I refrained from telling him anything but instead confronted him with the question, "What would have happened if you had died first and your wife had had to survive you?" "Oh," he said, "for her this would have been terrible; how she would have suffered!" "You see," I replied, "such a suffering has been spared her, and it was you who have spared her this suffering — to be sure, at the (11)price that now you have to survive and mourn her." He said no word but shook my hand and calmly left my office. In some way, suffering ceases to be suffering at the moment it finds a meaning, such as the meaning of a sacrifice.

Of course, this was no treatment in the (12)proper sense since, first, his despair was no disease, and second, I could not change his fate or revive his wife. But in that moment I did succeed in changing his attitude toward his (13)unchangeable fate because from that time on he could at least see a meaning in his suffering. Our main concern is not to gain pleasure or to avoid pain but rather to see a meaning in our life. (14)That is why we are even ready to suffer, on the condition, to be sure, that our suffering has a meaning.

## 設問

(1)(5)(10)(14)下線部を和訳せよ。

(2)(4)(8)(9)空所にあてはまる適当な文を次から選べ。

1. Now, how could I help him?
2. The same holds for human existence.
3. Thus, everyone's task is as unique as is his or her specific opportunity to fulfill it.
4. When we are no longer able to change a situation, we are challenged to change ourselves.

(3)(6)下線部の反意語を答えよ。

(7)(11)(12)(13)下線部と意味が異なる語句を次から選べ。

- (7) 1. achievement 2. defeat 3. success 4. victory  
(11) 1. cost 2. expense 3. sacrifice 4. value  
(12) 1. appropriate 2. correct 3. prosperous 4. suitable  
(13) 1. elastic 2. fixed 3. inflexible 4. rigid

(15)筆者は、老人(an elderly man)との対話の中で、老人の苦しみにどのような意味があると指摘したのか、40字以内の日本語で答えよ。

(16)アクセントの位置が同じ組み合わせを次から選べ。

1. compare      2. depress      3. ignore      4. situate      5. triumph  
comparable      depression      ignorance      situation      triumphant

### **Further Expressions**

#### **《成功する》**

I succeeded in changing his attitude toward fate. 【成功する】

I was successful in changing his attitude toward fate. 【うまくいった】

I managed to change his attitude toward fate. 【なんとか~できる】

#### **《よりもむしろ》**

What matters is not the meaning of life in general but rather the specific meaning of a person's life. 【むしろ】

What matters is the specific meaning of a person's life rather than the meaning of life in general. 【BよりもむしろA】

What matters is not so much the meaning of life in general as the specific meaning of a person's life. 【AよりもむしろB】

#### **《克服する》**

The elderly man could not overcome depression. 【克服する】

The elderly man could not get over depression.

The elderly man could not get the better of depression.



## 解答

(1)全文訳参照 (2)2 (3)concrete (4)3 (5)全文訳参照 (6)comedy (7)2 (8)4 (9)1 (10)全文訳参照 (11)4 (12)3 (13)1 (14)全文訳参照 (15)老人の苦しみは、老人が先立った時の苦しみを奥さんに味あわせないための代償である。(40字) (16)2

## 解説

- (1)matter「重要である」 what matters「重要なこと」 is not A but rather B「Aではなく、むしろBである」この文では、Aがthe meaning of life in general「一般的な人生の意味」で、Bがthe specific meaning of a person's life at a given moment「特定の瞬間における具体的な意味」となっている。in general「一般に、一般の」 specific「具体的な」 given「特定の」
- (2)the same holds for human existence.「同じことは人間の存在にあてはまる」 hold for A「Aに適用できる、あてはまる」
- (3)abstract「抽象的な」 concrete「具体的な」
- (4)everyone's task is as unique as is his or her specific opportunity to fulfill it「すべての人の課題は、それを果たす具体的な機会がそうであるのと同じように、唯一無二のものである」 fulfill「果たす、実行する」
- (5)Forは理由。前文の「変えることのできない運命に直面したときでさえも、人生の意味を見つかるかもしれない」を受けて、「というも～だから」とその理由を述べているのである。主語はwhat then matters「そのとき重要なこと」 witness「証人、証拠」 bear witness「証言する」 uniquelyは次のhumanにかかる。uniquely human potential「他にないほど人間的な潜在能力」 at its best「最高の状態で」
- (6)tragedy「悲劇」 comedy「喜劇」
- (7)triumph「勝利」 2.defeat「破る、敗北」のみ意味が異なる。
- (8)when we are no longer able to change a situation「私たちがもはや状況を変えることができないとき」 no longer「もはや～でない」 we are challenged to change ourselves「私たちは私たち自身を変えることを要求される」 challengeには「挑戦する」の意味があるが、ここでは「要求する」の意でとった。
- (9)how could I help him?「どのように彼を助けられたらだろうか」
- (10)refrained from telling him anything but instead confronted him with the question「一切のことを言うことを差し控えたが、その代わりに、彼に(以下の)質問をつきつけた」 refrain from A「Aを差し控える」 instead「その代わりに」 confront with A「Aを直面させる、つきつける」 what would have happened if you had died first and your wife had had to survive you?「もしあなたが先に死に、奥さんがあなたより長生きしていたとしたら、何が起きていたのでしょうか?」 仮定法過去完了「もし～だったら、...だっただろうに」の文。 <survive + 人>で「(人)より長生きする(= be survived by 人)」
- (11)price「価格」だがここでは「代価、犠牲」の意味。at the price of A「Aを犠牲にして」 4.value「価格、価値」のみが「代価」といった意味を持たない。
- (12)proper「適切な、正しい」 treatment in the proper sense「正しい意味での治療」 3.prosperous「反映している」のみ意味が違う。 1.appropriate「適切な」
- (13)unchangeable「変えることのできない」 1.elastic「弾性のある、融通のきく」は意味が異なる。 3.inflexible「曲がらない、確固とした」
- (14)that is why「そういうわけで」 be ready to 不定詞「喜んで～する、進んで～する」 even「～さえ」 on the condition...that our suffering has a meaning「私たちの苦しみが意味を持つという条件で」 on the condition that...「...という条件で」 to be sure「確かに、なるほど」
- (15)第3段落の後半の「私」の台詞”such a suffering...”の一文に注目する。老人は、妻を看取ったことで自分が感じているような最愛の人に先立たれた苦しみを、妻に味あわせずにすんだのであり、その代償が、今の老人の苦しみであるのだ、と言っている。この点を40字内にまとめる。
- (16)2.が正解。depress「押し下げる、意気消沈させる」が動詞。名詞はdepression「窪地、憂鬱不景気」 5.is triumph「勝利」 triumphant「勝利した、成功した」

## 全文訳

医者が一般的なことばで人生の意味は何かという質問に答えることができるかどうかは疑わしい。なぜなら、個人個人、日にち、時間によって人生の意味は異なるからである。(1)問題なのは、一般的な人生の意味ではなく、むしろある特定の瞬間における個人の人生の具体的な意味なのである。この質問に一般的なことばで言い表すことは、次のような質問をチェスのチャンピオンにしてみるようなものである。「名人、世界で一番いい手はなんでしょう？」ゲームの中の特有な状況や対戦相手の特異なくせを離れて、世界一いい手とか、もしくは単にいい手というものでさえ、まったくないのである。これと同じことは人間の存在に適用できる。だから、人は抽象的な人生の意味を探してもしょうがない。人はみな、それぞれに成就されねばならない具体的な課題をやりとげる人生の使命を持っている。ある人は他人にとって代わることはできないし、ある人の人生は繰り返すこともできない。このように、人の任務は、それを果たす具体的な機会がその人にしかないのと同じように、唯一無二のものである。

そして、けっして忘れてはならないのが、私たちは、絶望的な状況に直面したとき、変えることのできない運命に直面したときでさえも、人生の意味を見つけるかもしれないということである。(5) というのもそのとき重要なのは、他にないほど人間的で、その最高の状態にある潜在能力を証言することだからである。それは、個人的な悲劇を勝利へと変質させ、ある人の危機を人間の業績に変えることである。もはや状況を変えられなくなったとき、私たちは私たち自身を変える努力を促されるのである。

かつて、年配の男が、ひどい病のため私のところに診察にやってきたことがある。彼は、2年前に亡くなった、他の何にもまして愛していた妻の喪失を克服できなかった。さて、わたしはどのように彼の力になることができるだろうか。(10) 私はいろいろなことを言うのを差し控え、代わりにこう質問を差し向けた。「もしあなたが先に亡くなり、奥様が後に残されたら、どうなっていたでしょう？」「ああ」彼は言った。「彼女にとって、それはとても大変なことになっていたでしょう。どんなに彼女が苦しむだろうか！」「ええ。」私は答えた。「彼女はそのような苦しみにあわずにすんだのです。そして、その苦しみを彼女からとりぬいてやったのは、他でもなくあなたなのです。 - 確かに、今ではあなたが生き長らえ、喪に服すという犠牲を払っていますが。」彼は何も言わなかった。が、私の手を握り、穏やかに診察室をたった。苦しみは、犠牲など、その意味を見つけた瞬間になくなるのである。

もちろん、これは正確な意味での治療ではない。なぜなら、第一に、彼の絶望は病気ではなく、第二に、私は彼の運命を変えることも彼の奥さんを生き返らせることもできないからである。しかし、あの瞬間、私は、変えることのできない運命に対する、彼の態度を変えることに成功したのだ。なぜなら、あのときから彼は少なくとも彼の苦しみに意味を見出すことができるようになったからだ。私たちの大きな目的は、喜びを得ることで、苦痛を避けることでなく、むしろ人生に意味を見出すことにある。(14) それゆえ、もちろん、苦しみに意味があるという条件の下では、私たちは進んで苦しむことさえできるのである。

### コラム 語源研究

#### 語根 GEN

【語源】ラテン語の *generare*「生む」を語源とする。*general*「一般的な」、*generate*「発生させる、生み出す」、*generation*「世代」、*generous*「(高貴な種族から生まれた)寛大な」、*genuine*「本物の、真の」は同語源。

#### 【単語】

- *degenerate* de(下へ) + *generate*(生む) 「生まれ(家運)が下へ傾く(=退化する、悪化する)」
- *hydrogen* hydro(水) + *gen*(生む) 「水を生み出すもの(=水素)」
- *oxygen* oxy(酸) + *gen*(生む) 「酸を生み出すもの(=酸素)」
- *ingenious* in(中に) + *genious*(生む) 「生まれもって中に生じた才能(=工夫に富む、独創的な)」

### コラム 語源研究

#### 接頭辞 AD

【語源】ラテン語の前置詞 *ad*「...に、...の方に」を語源とする。フランス語 *à*、イタリア語 *a*、スペイン語 *a*、ポルトガル語 *a* というように現在でもラテン系言語ではよく使われる。英語の *to*(*at*, *in*)のイメージに近い。後ろにつく子音によってさまざまに変化した形でも出ることもある。

#### 接頭辞 ANTI

【語源】古典ギリシア語の接頭辞を語源とする。名詞や形容詞について「反...、対...、抗...」の意味となる。

## 64 子どもの自立心を養うには

For today's families, many factors work against providing children with opportunities to develop self-reliance. For a start, families today are generally smaller. In the days when large families were common, children had to learn to do things for themselves because there simply wasn't enough parent time to go around. (1)Children also had responsibility from an early age to carry out the tasks that are essential for a large family's day-to-day survival.

Secondly, whereas families of a few generations ago had to be self-reliant in providing for the necessities and comforts of life, today's children have much less required of them in a household. Whatever they need can usually be provided by the flick of a switch or a drive to the nearest shop. For example, they aren't expected to create their own toys by using a bit of imagination, cardboard boxes, and Sellotape. The availability of plastic toys (2)( ) by the latest popular movie or television series denies children the chance to create and craft playthings for themselves, and to experience the power of their own imagination.

Thirdly, there is the real problem of danger. Because of the risks on the roads with fast traffic, and the slight but worrying chance of harm from adults who prey on children, (3)many parents now worry about letting their children do the things which didn't cause parents a second thought twenty or thirty years ago — simple activities, such as riding a bike around the neighbourhood, walking to the local shops, or walking alone to school. Parents now have to hesitate over and think carefully about whether their children can do these things safely, and some decide that they cannot. This means, of course, that (4)children now have fewer opportunities for those natural, spontaneous learning experiences that extend their skills in small but important ways, and help them to grow almost imperceptibly in self-confidence.

From my (5)(observances, observations), the balance has probably tipped a little too far in the direction of (6)( ), and we have become too protective of our children. (7)It actually does them no harm to walk half a mile or so to school, and even to walk there in the rain, provided they have the right clothing and footwear. And what about the pleasure of taking shoes and socks off and splashing in a puddle or \*squelching in some mud? If we (8)shelter children too much from natural experiences of (9)fatigue, cold, rain, and dirt, and if we deny them the chance to encounter a little discomfort, how will they cope with some of the major problems that life has in (10)( ) for most of us?

Discomfort, disappointment, and frustration are part of life for us on this planet. Modern society shields us from much of it, but as a result we are beginning to expect that there is a technological solution to all the problems we experience. (11)Unfortunately, this is not the case. (12)We need to allow our children the chance to confront and overcome little obstacles and discomforts, so that they gradually build up confidence in their ability to deal with them on their own.

We also need to be careful not to inflict our own fears and \*phobias on our children. There may be situations or activities that make us unreasonably anxious or afraid. (13)We owe it to our children not to infect them with our fear, or deny them the chance to take part in activities which make us nervous but which they enjoy.

(注) squelching : sound made when walking in mud

phobia : irrational fear of something

### 設問

(1)(3)(4)(12)(13)下線部を和訳せよ。

(3)空所にあてはまる適当な動詞を次から選び、適当な語形に直せ。

aspire    conspire    inspire    perspire

(5)かっこ内の語句のうち正しいものを選び。

(6)(10)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

(6) 1. caution    2. destruction    3. goodness    4. harmony

(10) 1. common    2. need    3. search    4. store

(7)下線部を、them と they の具体的内容を明示して和訳せよ。

(8)下線部と近い意味の1語を答えよ。

(9)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. accident    2. disaster    3. illness    4. tiredness

(11)下線部を、this の具体的内容を明示して和訳せよ。

(14)self-reliance を育むために親は子どもに対してどうしなければならないと考えられるか、本文の趣旨に沿って25字程度の日本語で答えよ。

(15)次の各語のアクセントのある母音と同じ発音の母音を含む語を選び。

(A) develop    (B) comfort    (C) spontaneous    (D) fatigue

1. aisle    2. seize    3. sweat    4. tongue    5. vague    6. wool

(16)次の各語のアクセントのある音節を選び。

(A) bal-ance    (B) ob-sta-acle

1    2                    1    2    3

### Further Expressions

#### 《成し遂げる》

Children had responsibility to carry out their tasks. 【遂行する】

Children had responsibility to put their tasks into practice. 【実行する】

Children had responsibility to execute [perform, accomplish, achieve, attain, finish, fulfill] their tasks. 【達成する】

Children had responsibility to go through with their tasks. 【やり遂げる】

Children had responsibility to get through (with) their tasks.

#### 《自分でする》

Children today don't have opportunities to be independent of their parents. 【独立して】

Children today don't have opportunities to do things by themselves. 【自分で】

Children today don't have opportunities to do things on their own account.

#### 《熟考する》

Parents have to think over whether children can do these things safely. 【熟考する】

Parents have to think thoroughly about whether children can do these things safely.

【徹底的に】

Parents have to dwell on whether children can do these things safely. 【くよくよ考える】

## 解答

(1)全文訳参照 (2)inspired (3)全文訳参照 (4)全文訳参照 (5)observations (6)1 (7)実際、半マイルやそこら学校へ歩くことは子どもたちに何の害も与えないし、もし子どもたちが正しい服装と履物を身につけていれば、雨の中を学校へ行くことでさえ何の害も子どもたちに与えない。(8)protect (9)4 (10)4 (11)あいにく、私たちが経験する問題すべてに科学技術的な解決法があるとは、真実ではない。(12)全文訳参照 (13)全文訳参照 (14)過度に干渉せず、障害を独力で克服する機会を与える。(25字) (15)(A)3(B)4(C)5(D)2 (16)(A)1(B)1

## 解説

- (1)had responsibility...to carry out...「...を遂行する責任がある」 carry out「~を遂行する」 from an early age「早い時期から」 tasks that are essential for...「...に不可欠な仕事」 large family「大家族」 day-to-day「毎日の、日々の」 survival「生存」
- (2)inspire「鼓舞する、促す」の過去分詞形が適切。The availability of plastic toys inspired by the latest popular movie or television series「最近の人気映画やテレビ番組に触発されたプラスチックの玩具が手に入ること」他の選択肢は、conspire「共謀する」 perspire「汗をかく」
- (3)worry about letting their children do...「子どもに...させることを心配する」 let + 人 + 原形「(人)に...させる」 the things which didn't cause parents a second thought「両親に再考をもたらさなかったようなこと」 cause + 人 + 事態「(人)に(事態)をもたらす」 second thought「再考」
- (4)children...have fewer opportunities for...「子どもたちは...のための機会がより少なくなっている」 those natural, spontaneous learning experiences「それらの自然で、自発的な学習経験」 that 以下文の終わりまでが experience を修飾する。extend their skills「技能を拡張する」 in small but important ways「些細だが重要な方法で」 help them to grow almost imperceptibly「彼ら(子どもたち)がほとんど無意識に成長することを助ける(そのような学習経験)」 in self-confidence「自信を持って」
- (5)observations「観察記録」が正解。From my observations「私の観察記録によれば」 observances「順守、慣習」 ちなみに observation は単数形で「観察」という意味であるが、同じ意味で複数形の時は「情報、観察記録」という意味になるので注意。
- (6)tip「傾く」 in the direction of「...の方向に」 direction は前置詞が to ではなく in をとる。文脈から、親は、「警戒(caution)の方向に少し傾きすぎている」が適切。destruction「破壊」 goodness「善良さ」
- (7)It does them no harm to walk..., and even to walk..., provided ~「...を歩くことは彼らに害を及ぼさないし、もし~ならば、...を歩くことでさえ彼らに害を及ぼさない」 it は仮主語で、文中の 2 つある to 不定詞以下の部分を指す。do + 人 + harm「(人)に害を及ぼす」 them は前文の our children を指す。half a mile or so「半マイルやそこら」 there は to school「学校へ」を指す。provided「もし~ならば」 they は前文の our children を指す。have the right clothing and footwear「正しい服装と履物を身につけている」
- (8)shelter「~を保護する、守る」 protect が同じ意味である。
- (9)fatigue「疲労」 4.tiredness「疲労、倦怠」が正解。2.disaster「災害」 3.illness「病気」
- (10)in store for A「Aを待ち構えた」 have A in common「共通してAを持つ」 be in need of A「Aを必要とする」 be in search of A「Aを探している」 in store for most of us「私たちの多くを待ち構えた」
- (11)unfortunately「不運にも、あいにく」 This is not the case. = This is not true.「これは本当ではない」this は(that) there is a technological solution to all the problems we experience「私たちが経験する問題すべてに科学技術的な解決法がある(こと)」を指している。
- (12)allow our children the chance「私たちの子どもに機会を与える」 the chance to confront and overcome「立ち向かい、克服する機会」 little obstacles and discomforts「わずかな障害と不快」 so that ~ 「そしてその結果～」 build up「築き上げる」 confidence in their ability「自分の能力に対する自信」 ability to deal with them on their own「自分自身でそれら进行处理する能力」 deal with A「Aを扱う」 on one's own「自分で、独力で」
- (13)owe A to B には 3 つの意味がある。「B(人)に A(金額)の借りがある」「A は B のお陰である」「B に対して A すべきである」ここでは 3 番目の意味。We owe it to our children not to infect...or (not to) deny them the chance...「私たちは子どもたちに対して、...の影響を与えるべきではないし、あるいは、彼らに...の機会を与えることを拒絶すべきではない」 it は仮目的語で not to infect...と (not to) deny them the chance...を指す。infect A with B「A に B で影響を与える」 them は our

children を指す。deny A B = deny B to A「A に B を与えることを拒絶する、与えない」ここでも them は our children を指す。the chance to 不定詞「～する機会」take part in A「A に参加する」activities which ~ but which ...「～であるが...な活動」ともに which の先行詞は activities。make us nervous「私たちを不安にする(活動)」

### owe A to B の 3 つの意味

「B(人)に A(金など)を借りている」

I owe fifty dollars to my brother. 私は兄に 50 ドル借りがある。

「B に A の恩恵を被っている、A は B のおかげである」

I owe my success to my wife. 私が成功したのは妻のおかげだ。

「B(人)に A(義務)を負っている、B に A を果たさなければならない」

We owe allegiance to the king. われわれは王に忠誠を尽くさねばならない。

(14)最後から 2 番目の段落と最後の段落をまとめる。「障害を克服する機会を与えること」と「あまり干渉しすぎないこと」のふたつのポイントを入れる。

(15)母音の発音はそれぞれ次のとおり。(A) [e] (B) [A] (C) [ei] (D) [i:] 1.[ai] 2.[i:] 3.[e] 4 [A] 5.[ei] 6.[u]

(16)(A)balance 「天秤、均衡」 1 が正解。

(B)obstacle 「障害、障害物」 1 が正解。

## 全文訳

現代の家族に対して、多くの要素により子どもたちは独立独歩の精神を養う機会を奪われている。まず第 1 に現代の家族は一般的に昔より小さい。大家族が一般的であった頃は単に親が世話をする時間が十分になかったので、子どもたちは自分のことは自分でやるということを学ばなければならなかった。(1)子どもたちも幼い頃より大家族の日々の生活に必要な仕事をする責任があった。

第 2 に数世代前の家族は生活の必需品と安寧のために独立独歩である必要があったのに対し、現在の子供たちは家事においてはるかにわずかな事しか自身に要求しない。彼らがしなくてはならないことはすべてが大抵スイッチを押すか、非常に近い店に行けば済むことなのである。たとえば想像力と段ボールとセロテープを用いて自身の玩具を作るとは要求されない。最新の人気映画やテレビ番組に触発されたプラスチック玩具が手に入るにより子どもたちは自分自身で遊び道具を考え付き、製作する機会と自信の想像力を試す機会を失われているのだ。

第 3 に危険という現実的な問題がある。高速の車両が走る道路における危険や、子どもを虐待する大人から危害を加えられるという滅多にないが厄介な機会があるので(3)現在多くの親が 2,30 年前には親が余計なことを考えなくてよかったようなことを子どもにさせるのは心配なのである。それは近所を自転車で乗り回したり、地域の店に歩いていったり、学校に 1 人で行ったりといった簡単な行動である。現在親は自分の子どもがこうした行動をできるかどうかを迷い、注意深く考え、中には自分の子どもにはできないと判断する親もいる。勿論これは(4)現在の子どもが些細だが重要な方法で技術を発達させ、ほとんど無意識に自信を持って成長することを助けるような自然で自発的な経験をすることが昔より少ないという意味である。

私の観察記録によると注意の方向へとバランスがちよっと崩れ過ぎているようであり、我々は子どもを余りにも保護し過ぎているのだ。実際きちんとした服を着て、きちんとした靴を履いていれば、半マイル(約 800m)歩いたり、学校に歩いていったり、そこに雨の中歩いていくことさえ子どもにも害はまったくないのだ。靴と靴下を脱ぎ、水溜りでバシャバシャしたり、泥の中でクチュクチュしたりする喜びはどうだろうか？もし我々が疲労、寒さ、雨、汚れといった自然な経験から子どもを遠ざけ過ぎているとしたら、もし彼らを少々不快なことから隔離しているとしたら、彼らは我々のほとんどを人生において待ち構える多くの問題のいくつかにどう対処するのだろうか？

不快、落胆、挫折はこの地球において我々の生活の一部である。現代社会はその大部分から我々を遠ざけているが、結果として我々は経験するすべての問題に対する技術的解決が地球上に存在すると期待し始めている。不幸な事にこれは真実ではない。(12)我々はわずかな障害と不快に立ち向かい、克服する機会を子どもに与える必要がある。その結果彼らは自分自身で対処する能力に対する自信を段々と培っていくのだ。

我々はまた自身の心配や杞憂を子どもに押し付けないように注意する必要がある。我々を理不尽に心配させ、恐れさせるような状況やできごとは存在するだろう。(13)我々は自分の恐れが子どもに影響したり、我々がハラハラし、子どもが楽しむようなことに子どもが参加するのを否定したりしてはならないのだ。

## 65 兄弟姉妹の対抗意識

Adele Faber and Elaine Mazlish, co-authors of the helpful handbook *Siblings Without Rivalry*, began to (1)(expire, explode, exploit, explore) sibling conflict while their children were growing up and fighting. They emphasize that parents shouldn't compare a kid with a sibling — even favorably. (2)Most parents know better than to ask, “Why can't you be more like your brother?” (3)Comparison puts one child against another, and it subtly damages their relationship when a parent says, “You're much better organized than your sister.” (4)Each child should be appreciated individually — though not necessarily equally — and should be praised as if he were an only child.

Parents can't (5)intervene in every kid's quarrel, but neither can they avoid their responsibilities. They should establish a “no-hitting, no-hurting” rule, so kids will know they are expected to work out their problems peacefully, sometimes with assistance. A parent can be helpful by listening to each side and then explaining the problem aloud: “So, I see that you're really mad because...” (6)Depending on the severity of the problem, a parent might then express confidence that the kids can solve it and then leave the room.

Parents should intervene directly, however, whenever an argument turns violent. Most kids hate fighting — even when they're winning. They (7)do it because they don't have other tools for dealing with their frustrations. Fighters should be separated to (8)cool off, and a parent should later listen to both parties, asking the kids to help (9)come up with a solution. The parent shouldn't cast one child as a bully and the other as the victim; fights among siblings are seldom (10)this simple.

Parents also may need to intervene, even before things turn violent, if persistent (11)verbal abuse between siblings is leaving one or both constantly angry or with weakened confidence.

Imagine a life without siblings: there would be no quarreling or living-room wrestling matches or hair-pulling. Forty-one percent of American families get to run single-child households. But for the rest, and for the increasing number of families that are blending stepchildren together, (12)relationships among brothers and sisters are of primary concern — as they should be. As one of four children — the one who was once caught fighting with a sister over some small things — I can say with authority that positive sibling relationships can be a source of strength for life, whereas unresolved early conflicts can create (13)wounds that never quite heal.

## 設問

(1)かっこ内の語句のうち正しいものを選び。

(2)(3)(4)(6)(12)下線部を和訳せよ。

(5)(11)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(5) 1. interact 2. interfere 3. interpret 4. interrupt

(11) 1. fighting 2. insult 3. misunderstanding 4. relationship

(7)(10)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(8)(9)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

(8) calm ( )

(9) hit ( )

(13)下線部と同じ発音の母音を含む語を次から選べ。

1. soul 2. soup 3. south 4. southern

(14)複数の子どもを持つ親が果たすべき役割として本文中に述べられている事柄を、日本語で箇条書きにせよ。

### **Further Expressions**

#### **《首を突っ込む》**

Parents should not intervene in children's quarrel. 【介入する】

Parents should not poke their nose into children's quarrel. 【おせっかいをやく】

Children's quarrel has nothing to do with parents. 【関係がない】

Children's quarrel is foreign to parents. 【無縁の】

Children's quarrel is none of the business of parents. 【かかわりのない】

Parents should mind their own business. 【知ったことではない】

#### **《説明する》**

A parent can listen to each other and explain the problem. 【説明する】

A parent can listen to each other and account for the problem.

A parent can listen to each other and illustrate the problem.



## 解答

(1)explore (2)全文訳参照 (3)全文訳参照 (4)全文訳参照 (5)2 (6)全文訳参照 (7)兄弟姉妹が暴力を用いてけんかすること。(8)down (9)upon[on] (10)兄弟姉妹のけんかは、一方が加害者で一方が被害者であるというように単純であること。(11)2 (12)全文訳参照 (13)2 (14)兄弟間で比較をしないこと。けんかには暴力を用いないというルールを確立し、子どもたち自身が問題を解決するよう助けること。暴力を用いたけんかは直接止め、解決策を見つげ出すよう促すこと。暴力は用いていなくても、口げんかが絶え間なく続く場合は、必要に応じて仲裁をすること。

## 解説

- (1)explore「調査する、調べる」が正解。expire「期限が切れる、終了する」explode「爆発する」exploit「利用する、搾取する」 began to explore sibling conflict「兄弟姉妹のけんかを調べ始めた」
- (2)most parents「多くの親たち」 know better than to不定詞「～するほどばかりではない」 Why...?「(反語として)どうして～なのか？」 be more like your brother「より兄のようになる」 why can't you be more like your brother は直訳すれば「どうしてお前はもっと兄のようになれないのか」という意味。
- (3)Comparison puts one child against another「比較は一方の子どもを他方の子に対立させる」この put は「～の状態にする」の意味。it subtly damages...「それは...を微妙に傷つける」 it は comparison を指す。“You're much better organized than your sister”「お前の方がお前の姉さんより有能だ」この organized は「有能な、うまくやれる」という意味である。
- (4)appreciate「価値を認める、正しく評価する」individually「個々に、個人として」は individual「個人」の派生語。though not necessarily equally は though they should not be appreciated necessarily equally「平等に価値を認める必要はないが」と補って考える。equally「平等に」は equal「平等な」の派生語。praise「ほめる」 as if he were an only child「まるで彼がひとりっ子であるかのように」 as if「まるで～かのように」ふつう as if 以下は仮定法を用い、ここでは仮定法過去となっている。そのため、現在のことを示すのに過去形を用い、また was ではなく were となっている。
- (5)intervene in A「A に干渉する、とりなす」ここでは後者の意味である。Parents can't intervene in every kid's quarrel「両親は子どもの口げんかの度にとりなすことはできない」 2.interfere「調停する」が近い。4.interrupt は「邪魔をする」で「とりもつ」という意味はないのでこの場合はふさわしくない。
- (6)depending on the severity of the problem「問題の重大さ次第で」 depend on A「A 次第である」 depending on...で分詞構文を作っている。 might...express confidence that the kids can solve it「子どもたちがそれを解けるという確信を表現するかもしれない」 that は同格「～という」で confidence「確信」と the kids can solve it「子どもたちはそれを解ける」とつないでいる。 it は the problem を指す。 leave the room「部屋をあとにする」は、 a parent が主語であるのに、leave に三単現の s がついていないので、might にかかっている。
- (7)it は直前の fighting を指すので、do it は「(口ではなく暴力を伴う)けんかをする」を指す。
- (8)cool off「静める、落ち着かせる」 calm down「～を静める、なだめる」なので、down が正解。
- (9)come up with A「A を思いつく」と「A に追いつく」という意味があるが、ここでは help come up with a solution「解決策を思いつくように促す」となるので前者の意味である。hit upon[on] A「A を思いつく」がこれに近い意味である。よって upon または on が正解。
- (10)fight among siblings are seldom this simple「兄弟姉妹のけんかはこのように単純なことはほとんどない」 this は形容詞や副詞を修飾して「これほど、こんなに」の意味。下線部の内容は、直前の文の The parents shouldn't cast one child as a bully and the other as the victim「親は一方をいじめっ子とし、もう一方を犠牲者として扱べきではない」を踏まえ、「兄弟げんかは一方が加害者で一方が被害者だ」という単純な図式を指す。もちろん、このような単純な図式では割り切れない、と著者は主張している。
- (11)verbal abuse「言葉の乱用、悪用」つまり言葉で相手をののしることである。よって 2.insult「侮辱、侮辱的言動」が正解。
- (12)relationships among brothers and sisters「兄弟や姉妹の間の関係」 of + 抽象名詞で形容詞の意味となる。primary concern「最大の関心事」 as「～だけれども」 they should be「そうあるべき」 should be のあとに of primary concern を補う。
- (13)wound は名詞で「傷」、動詞で「傷つける」という意味で、いずれも[wu:nd]という発音。wind ([wind]ではなく[waiנד]、「曲がる」)の過去形は、スプリングは同じ wound でも[waiנד]になる

ので注意。母音が同じものは、2 の soup[su:p]

- (14)本文は大きく分けると「兄弟間の能力比較」と「兄弟間のけんか」の2点について述べている。1点目は第1段落中ほどに They emphasize that parents shouldn't compare a kid with a sibling 「両親はその子と兄弟とを比較すべきではないと彼らは主張する」とある。2点目のけんかについては第2~4段落にかけて3つのことが述べられている。すなわち第2段落では、子どもたちのけんかが平和裏に終わるよう、暴力を用いないというルールを確立し、子どもたち自身が問題の解決を助けること。第3段落では、けんかが暴力を用いるものになったときには直接阻止し、子どもたち自身に解決を促すこと。第4段落では、口げんかにとどまっても、それが絶えず続く場合は必要に応じてとりなすこと。これら4点を押さえ、まとめる。

## 全文訳

アデル＝フェバーとエレヌ＝マズリッシュ、『対抗意識をもたない兄弟姉妹』という役に立つハンドブックの共著者であるが、彼女たちは自分たちの子どもが成長してけんかをする過程で、兄弟げんかについて調べ始めた。彼女たちは、両親が、たとえよいことであっても、兄弟間で子どもを比較すべきではないことを強調する。(2)多くの両親は、「なんでお兄ちゃんのようにもっとしっかりしないの?」と聞いてはならないことくらい知っている。(3)比較は、片方の子どもをもう片方の子どもと対立させることになり、そして、両親が「お前のほうがお姉さんよりよっぽどできるねえ。」というと、兄弟姉妹の関係を微妙に傷つける。(4)どの子どもも個々に評価されるべきであり - もっとも、同等にする必要はないが - 、あたかもその子がひとりっ子であるかのように褒められるべきである。

両親は、子どもの口げんかのたびにとりなすことはできないが、かといって、親の責任を避けることもできない。両親は「たたかない、傷つけない」というルールを確立すべきであり、そうすれば子どもたちは平和裏に、時に手伝われながら、問題を解決するよう求められていることを知るだろう。親は双方に耳を傾け、そして「わかった。本当に怒っているのだね。その原因は...」と声に出して問題の内容を説明してやれば、子どもたちにとってたすけとなりえる。(6)問題の重大さ次第では、親は子どもたちに問題を解決する能力がある、という確信を子どもたちに伝えてから、部屋をあとにしてもよいだろう。

しかしながら、口げんかが暴力に変わったら、いつでも、両親は直接とりなすべきである。ほとんどの子どもは、たとえ勝っているときでも、取っ組み合いのけんかを嫌う。子どもたちがそうするのは、フラストレーションを有効に扱うほかの手段がないからだ。けんかをしている子どもたちはまず、落ち着きを取り戻すために引き離されるべきであり、その後双方の言い分に耳を傾け、子どもたちに解決策を見つけるよう促してやればよい。親は一方をいじめっ子とし、もう一方を犠牲者として扱ってはならない。多くの兄弟げんかはそんなに単純ではないのだから。

口げんかが取っ組み合いに変わる前でも、もし兄弟間で絶え間なくののしりあいが続く、それが一方もしくは両方を絶えず怒らせていたり、自信をなくさせていたら、両親は子どもたちをとりなす必要があるかもしれない。

兄弟姉妹のいない生活を想像してみしてほしい。口げんかもないし、リビングでのレスリングもない。髪を引っ張り合うことだってない。アメリカの家族の41%が一人っ子の家庭を営んでいる。しかし、残りの家庭にとって、そして増えつつある継子が一緒に暮らす家庭にとって、(12)兄弟姉妹の関係は最大の関心事となっている 当然ではあるが、4人兄弟の一人として、- かつてささいなことで姉妹とけんかしたひとりとして - 、私は、積極的な兄弟姉妹の関係は人生の活力の源になりえるが、一方で、解決されなかった小さいころのけんかは、けっして癒えることのない傷を作り出す可能性がある、と説得力をもって言うことができる。

## コラム 語源研究

### 接頭辞 COM

【語源】ラテン語の前置詞 cum「ともに、いっしょに」を語源とする。イタリア語 con、スペイン語 con、ポルトガル語 com はよく使われる。英語の with のイメージに近い。後に続く子音によって、b や p や m の前では com-、l の前では col-、h や gn の前では co-、r の前では cor-、その他は con- というように変化する。ギリシア語系では syn- という接頭辞となる。「まったく、完全に」というように強意で使われる。

### 接頭辞 DE

【語源】ラテン語の前置詞 de「...から、...から下へ」を語源とする。下降「下に」、分離「離れて」、否定「...ない」、強意「まったく、完全に」、悪化の意味で使われる。英語の from、down、away、of のイメージ。フランス語 de、イタリア語 di、スペイン語 de、ポルトガル語 de では「(限定・所属)...の」や「(起点)...から」という意味でよく使う。

## 第 14 章 下線部の意味・理由を説明する

### 66 断るということ

(1)There are relatively few people who, when asked to do something by someone they know, find it easy to say no. Sometimes this is because they fear it might make them appear selfish or troublesome — particularly if they don't feel able to come up with a good reason for their (2)( ). However, it can be essential to your (3)well-being that you learn to say no. (4)Allowing yourself to become overburdened can lead to excessive stress which, as everyone knows, creates its own problems.

If you are someone who has trouble saying no, then, in a work situation you might be the one (5)to find your desk being piled high with work. In social circumstances, a person who has difficulty saying no to someone excessively (6)persistent can be faced with even greater problems.

(7)It is one thing to be helpful and willing to do someone a favour; it is quite another to feel that you are being taken advantage of. Some people fear that if they refuse to do what is asked of them the person doing the asking will no longer like them — yet, if the only reason they like you is that you are a willing slave, do you really want their (8)( )? Others may be concerned about the reaction of the one making the request if they refuse — will they have to cope with an angry (9)( )? (10)This is less likely than you might think but, should there be an angry outburst, you have already learned something of how to deal with it — and you will be learning more.

Failing to say no — for whatever reason — can create its own problems in the short and long term. It is all very well remembering the old saying that (11)“if you want something done, you should ask a busy person” — but there are limits to what anyone can cope with. Surely a (12)firm but (13)polite ‘no’ at the beginning (thus allowing time for the favour to be sought elsewhere) is better than agreeing and then finding that you can't possibly fulfill your promise. (14)It is no virtue to deliver poor-quality work because you did not have the time to give it your full attention. (15)You will not be doing your reputation much good and you will not be pleasing the person you set out to please.

## 設問

(1)(4)(7)(10)(14)(15)下線部を和訳せよ。

(2)(8)(9)空所にあてはまる名詞は、次のいずれかの動詞の名詞形である。その名詞形を答えよ。

admire refuse respond

(3)(12)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(3) 1. beauty 2. generosity 3. intelligence 4. welfare

(12) 1. cooperative 2. flexible 3. hesitant 4. resolute

(5)下線部の理由に最も近いものを次から選べ。

1. you are depressed 2. you are lazy 3. you are successful 4. you are timid

(6)下線部と近い意味のものを次から選べ。

1. がんこな 2. しつこい 3. 首尾一貫した 4. 辛抱強い

(11)下線部で言っているように、なぜ「忙しい人」に頼むべきなのか、日本語で答えよ。

(13)下線部の反意語を次から選べ。

1. brief 2. enthusiastic 3. frank 4. rude

(16)アクセントの位置が異なる組み合わせを次から2つ選べ。

1. admire 2. excess 3. persist 4. relation

admirable excessive persistent relative

(17)下線部の発音が同じ組み合わせを次から2つ選べ。

1. busy 2. create 3. high 4. know 5. please

business creature height knowledge pleasant

## Further Expressions

### 《容易に》

There are many people who hesitate to say no. 【躊躇する】

There are few people who find it easy to say no. 【たやすく～する】

There are few people who can refuse requests easily. 【容易に】

There are few people who can refuse requests with ease.

### 《頼む》

You should ask a busy person to do something. 【頼む】

You should beg a busy person to do something.

You should entreat a busy person to do something. 【懇願する】

You should implore a busy person to do something.

You should ask a busy person for something. 【求める】

You should go to a busy person when you want to ask for something.

### 《約束を守る》

He never breaks his promise [word]. 【約束を破る】

He is a man of his word. 【約束を守る人】

He is as good as his word. 【約束を守る】

He always keeps his promise [word].

He always lives up to his promise. 【添う】

He always fulfills his promise. 【満たす】

## 解答

(1)全文訳参照 (2)refusal (3)4 (4)全文訳参照 (5)4 (6)2 (7)全文訳参照 (8)admiration  
(9)response (10)全文訳参照 (11)「忙しい人」は多くの人から頼まれごとをされても断れないから忙しいのであり、頼みごとを引き受けてくれる可能性が高いから。(12)4 (13)4 (14)全文訳参照  
(15)全文訳参照 (16)1,4 (17)1,3

## 解説

- (1)relatively「比較的」relatively fewで、「比較的ほとんどいない」が直訳だが、「比較的少ない」の方が日本語としてはわかりやすい。people who...find it easy to say no「No と言うことを易しく思う人々」itは仮目的語で、to say noを指す。when (they are) asked to...「頼まれたとき」は挿入。by someone (whom) they know「彼らが知っている人によって」
- (2)refuse「断る」の名詞形 refusal「拒否」が適当。come up with a good reason for their refusal「断るための良い理由を思いつく」
- (3)well-being「幸福、健康」4.welfare「幸福」が正解。2.generosity「物惜しみしないこと、寛大」
- (4)Allowing...can lead to excessive stress「...を許すことは過度なストレスへ導きうる」allowing yourself to become overburdened「あなた自身が負担のかけ過ぎる状態になることを許すこと」つまり「過度の負担を許すこと」overburden「負担をかけ過ぎる」canは可能性を示す。excessive「過度の」はexceed「超過する」、excess「超過」の派生語。as everyone knows「みなが知るように」このasは「~のように」という意味。stress which...creates its own problems「それ自身の問題を作り出すストレス」itsはstressを指す。
- (5)to find your desk being piled high with work「あなたの机の上に仕事が山積みになっているのを発見する」この部分の前にIf you are someone who has trouble saying no「もしもあなたがNoと言えない」とある。つまり、あなたももし”No”と言えないほど臆病であったなら、どんどん仕事を押しつけられて、仕事の山で机が一杯になってしまうだろう、と述べているのである。よって理由としては4.you are timid「あなたが臆病である」が適当。
- (6)persistent「しつこい、固執する」to someone excessively persistent「過度にしつこい人に対して」つまり何か面倒な仕事や用件をしつこく言い寄って押しつけようとする人間のことである。2が正解。
- (7)It is one thing to ~; it is quite another to ...「~することと...することはまったく別である」itは仮主語でto不定詞以下を指している。to be helpful and willing to do someone a favour「人の役に立ち喜んで人の願いをかなえること」と、to feel that you are being taken advantage of「人につけこまれていると感じること」がまったく別物なのである。willing to不定詞「喜んで~する」do + 人 + a favour「(人)の願いを聞く」take advantage of A「Aを利用する、Aにつけこむ」
- (8)admire「感心する、ほめる」の名詞形 admiration「賞賛、感嘆」が正解。do you really want their admiration?「あなたは本当に彼らの賞賛が欲しいだろうか?」
- (9)respond「応える」の名詞形 response「反応、応答」が正解。will they have to cope with an angry response?「彼らは怒りの応答を上手く処理しなければならないのだろうか?」
- (10)this is less likely than...「これは...より起こりそうにない」should there be an angry outburstはif there should be an angry outburst「万一怒りの爆発があるとしても」と同じ。倒置によって、条件節のifが省略されている。if S should ~「万一、Sが~ならば」you have already learned「あなたはすでに身につけている」something of how to deal with it「ある程度それを対処する方法」something of A「ある程度のA、多少のA」deal with A「Aを扱う、対処する」itはshould there be an angry outburst、つまり「相手が怒りを爆発させること」を指す。

### ifのいろいろ

ifの代用 : suppose[supposing], provided[providing], as long as, in case, on condition (that)  
Suppose you were in my place, what would you do? もし私の立場にあるとしたら、どうする?  
I will go, provided (that) the weather is clear. もし天気さえよければ私は行く。  
\* provided「もし...ならば」はifより意味が強くonly ifに近い。可能性がありえない節には用いない。  
I don't care as long as you are happy. あなたが幸せでありさえすれば、私はかまわない。  
\* as long as「...さえすれば」は仮定法には用いない。  
In case I miss the train, don't wait to start. 私が列車に乗り遅れた場合には待たずに出発してね。  
\* in case「(米)もし~ならば」とin case「(英)...だといけないから」の違いに注意。  
You can go out on condition that you are back by ten. 10時までに帰る条件なら出かけてよい。  
\* on condition (that)は「...という条件で」という意味。  
仮定法におけるifの省略 : 倒置 < were[had, should] + 主語 >  
Were I young, I would marry such a beautiful lady. もし若ければ、あんな美人と結婚するのに。  
Had I known the truth, I would have told it to you. もし真実を知っていたら、君にもう話したよ。

Should anything happen to you, call me at once. もし君に何かあったら、すぐ電話しなさい。

条件説の否定 : if not と unless

If it does not rain, I will go. 雨が降らないならば行く。

Unless it rains, I will go. 雨が降る場合を除いて行く。

\* if not「もし...でなければ」と unless「...でない限り」は用法が少し異なる。unless は「...でない場合に限り」や「...という場合を除いて」という except if に近いニュアンスで、仮定法ではほぼ使わない。

If you don't come, I'll be surprised. もし君が来なければ驚きだ。

x Unless you come, I'll be surprised. 君が来ない場合に限り驚きだ。(?)

(11)第2段落の If you are someone...you might be one...という文からもわかるように、頼まれたことに“No”と言えない人は、そのためにどんどん仕事を引き受けてしまい忙しくなるのである。だから、逆に忙しい人に頼めば、その人は断りきれずに仕事を引き受けてくれる可能性が高い、ということである。

(12)firm「堅い、断固とした」よって 4.resolute「決心の固い」が正解。3.hesitant「ためらいがちな、煮え切らない」

(13)polite「丁寧な」反意語は 4.rude「失礼な、無礼な」である。3.frank「率直な」は反意語とは言えない。

(14)It is no virtue to deliver poor-quality work「質の劣ったものを提供するの**は**美徳ではない」itは仮主語で to deliver poor-quality work を指す。virtue「美徳」because you did not have the time to give it your full attention「それにすべての注意力を与える時間がなかったという理由で」itはwork、つまり「**任された仕事**」を指す。

(15)do + A + good「Aの役に立つ」do your reputation much good「あなたの評判にと**ても**役立つ」will not be pleasing the person you set out to please「喜ばせるつもりだった人を喜ばせること**は**ないだろう」please「喜ばせる」the personのあとには目的格の関係代名詞のwhomを補って考える。set out to 不定詞「~しはじめる」

(16)1,4がアクセントの位置が異なる。1.admire「ほめる、感心する」ádmirable「賞賛に値する」4.rélation「関係」rélati**ve**「比較上の、関係のある」

(17)1がともに[i]、3がともに[ai]

## 全文訳

(1)知り合いから何か頼まれたとき、“No”とたやすく言える人は比較的少ない。断るためのよい理由を思いつくことができると感じないときに特に、わがままとか気難しいと思われるのを恐れるのである。しかしながら、“No”と主張することを身に付けることは、人々がうまく生きていくために必要不可欠である。(4)過度の負担を許すと、みなが知るように、それ自身で問題を作り出す過度なストレスへと導かれてしまうのである。

もし、“No”といえないと、仕事場の机の上に書類が山積みになってしまうだろう。実社会の場においては、過度につきまとってくる人に対して“No”といえない人は、ずっと大きな問題に直面しうる。

(7)人の役に立ち、喜んで人の願いをかなえてあげると、自分が人につけこまれていると感じるのはまったく別のことである。ある人は、もし頼まれたことをやるのを断れば、頼んだ人がもはや彼のことを好かないのではないかと恐れる。しかしながら、彼らが好印象を抱く唯一の理由が快く“奴隷”をやりつづけていることだとすれば、本当にそこまでして彼らの賞賛を欲するのだろうか？ほかの人は、彼らが断ったときの、要求をなした人の反応を心配する。彼らは怒りの応答をうまく処理しなければならぬのだろうか？(10)こういったケースは、みなが考えるより少ないが、しかしもし万一相手が怒りを爆発させたとしても、それをどう扱うかはある程度すでに身につけている。そして、よりうまくなっていくだろう。

短期的にも長期的にも、“No”といえないことは、どんな理由であれ、それ自身で問題をつくりうる。「何かやってほしいことがあれば忙しい人に頼めばよい」という古いことわざを覚えるのは結構だが、しかし、誰でも扱える量には限界がある。もちろん、最初に断固としてしかも丁寧に“No”ということは、引き受けた後、約束を果たせないことに気づくよりよい。(14)全力を注いでやる時間が十分なかったからといって、質の劣ったものを提供するの**は**美徳ではない。(15)よい評判も得られないし自分が喜ばせるつもりだった人を喜ばせることにもならないだろう。

## 67 少年時代のニュートン

On Christmas Day, in the year 1642, Isaac Newton was born at the small village of Woolsthorpe, in England. (1)Little did his mother think, when she beheld her new-born baby, that he was destined to explain many matters which had been a mystery ever since the creation of the world.

Isaac possessed a wonderful faculty of acquiring knowledge by the simplest means. For instance, what method do you suppose he took to find out (2)the strength of the wind? You will never guess how the boy could compel that unseen, inconstant, and ungovernable wonder, the wind, to tell him the measure of its strength. (3)Yet nothing can be more simple. He jumped against the wind; and by the length of his jump he could calculate the force of a gentle breeze, a brisk gale, or a tempest. Thus, even in his boyish sports, he was continually searching out the secrets of philosophy.

Not far from his grandmother's residence there was a windmill which operated on a new plan. Isaac (4)(going / habit / in / of / place / that / the / to / was) frequently, and would spend whole hours in examining its various parts. While the mill was at rest he pried into its (5)internal machinery. When its broad sails were set in motion by the wind, he watched the process by which the mill-stones were made to revolve and crush the grain that was put into the hopper. After gaining a thorough knowledge of its (6)construction he was observed to be unusually busy with his tools.

(7)It was not long before his grandmother and all the neighborhood knew what Isaac had been about. He had constructed a model of the windmill, (8)though not so large, I suppose, as one of the box-traps which boys set to catch squirrels, yet every part of the mill and its machinery was complete. Its little sails were neatly made of linen, and whirled round very swiftly when the mill was placed in a draft of air. Even a puff of wind from Isaac's mouth or from a pair of bellows was sufficient to set the sails in motion. And, what was most curious, if a handful of grains of wheat were put into the little hopper, they would soon be (9)converted into snow-white flour.

Isaac's playmates were (10)enchanted with his new windmill. They thought that (11)nothing so pretty and so wonderful had ever been seen in the whole world.

"But, Isaac," said one of them, "you have forgotten (12)one thing that belongs to a mill."

"What is that?" asked Isaac; for he supposed that, from the roof of the mill to its foundation, he had forgotten nothing.

"Why, where is the miller?" said his friend.

"That is true, — I must look out for one," said Isaac; and he set himself to consider how the deficiency should be (13)supplied.

As Isaac grew older, it was found that he had far more important matters in his mind than the manufacture of toys like the little windmill. All day long, (14)if left to himself, he was either (15)absorbed in thought or engaged in some book of mathematics or natural

philosophy. At night, I think it probable, he looked up with reverential curiosity to the stars, and wondered whether they were worlds like our own, and how great was their distance from the earth, and what was the power that kept them in their courses. Perhaps, even so early in life, Isaac Newton felt a presentiment that he should be able, hereafter, to answer all these questions.

設問

- (1)(3)(7)下線部を和訳せよ。  
 (2)下線部についてニュートンはどうやってそれを知ったか日本語で説明せよ。  
 (4)かっこ内の語句を正しい順序に並べ替えよ。  
 (5)(6)下線部の反意語を答えよ。  
 (8)下線部に省略されている語句を補え。  
 though ( A ) ( B ) not so large  
 (9)(10)(13)(15)下線部と近い意味の語句を次から選べ。  
 1. attracted 2. demanded 3. distracted 4. engrossed 5. supplemented  
 6. transferred 7. transformed 8. transmitted  
 (11)下線部を能動態の文に直せ。  
 (12)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。  
 (14)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。  
 if left ( )  
 (16)次の各語のアクセントのある音節を選べ。  
 (A) op-er-ate (B) suf-fi-cient (C) math-e-mat-ics (D) man-u-fac-ture  
 1 2 3 1 2 3 1 2 3 4 1 2 3 4

**Further Expressions**

《熱中する》

- Isaac was absorbed in books of mathematics. 【熱中する】  
 Isaac was engaged in books of mathematics.  
 Isaac was engrossed in books of mathematics.  
 Isaac was lost in books of mathematics.  
 Isaac was bent on studying mathematics.  
 Isaac was keen on books of mathematics.  
 Isaac drowned himself in mathematics.  
 Isaac devoted himself to mathematics. 【ふける】  
 Isaac indulged himself in mathematics.

《断続的に》

- Isaac was constantly searching out the secrets of philosophy. 【絶えず】  
 Isaac was continually searching out the secrets of philosophy.  
 Isaac was regularly searching out the secrets of philosophy. 【定期的に】  
 Isaac was incessantly searching out the secrets of philosophy. 【絶え間なく】  
 Isaac was searching out the secrets of philosophy off and on. 【断続的に】  
 Isaac was searching out the secrets of philosophy on and off.

《魅了する》

- Isaac's friends were enchanted with his windmill. 【魅了させられる】  
 Isaac's friends were attracted with his windmill.  
 Isaac's friends were fascinated with his windmill.



## 解答

- (1)全文訳参照 (2)風とは逆方向に飛んで、その距離を測るという方法によって風の強さを測った。  
(3)全文訳参照 (4)was in the habit of going to that place (5)external (6)destruction(7)全文訳参照  
(8)(A)it (B)was (9)7 (10)1 (11)they had never seen anything so pretty and so wonderful in the whole world. (12)風車で働く小麦を挽く人 (13)5 (14)alone (15)4 (16)(A)1 (B)2 (C)3 (D)3

## 解説

- (1)Little did his mother think,...that S V.「彼の母親は、～とはまったく思わなかった」副詞 little は思考に関係ある動詞の前に用いて、「まったく～ない」という意味を表す。little など否定語句が強調のために文頭に置かれると、後の文は倒置構文になる。Little do S V... = S never V... = S not V...at all となる。beheld は behold の過去形で「(文語)...を見る」の意味。new-born baby「生まれたばかりの赤ん坊、新生児」be destined to 不定詞「～する運命にある」matters which had been a mystery ever since the creation of the world「世界の創造以来ずっとなどとされてきた事柄」had been は時制の一致(大過去)、つまり he was destined to...より過去であることを示している。ever since は「～からずっと」で、持続状態を表す。
- (2)the strength of the wind「風の強さ」 そのあとに He jumped against the wind; and by the length of his jump he could calculate the force of...「彼は風に対して飛んだ。そして彼が飛んだ距離によって...の強さを測った」とある。つまり、風の向きとは逆方向に跳ぶことで風がどれくらい強さのものであるかを知ろうとしたのである。
- (3)Yet「しかしながら」 nothing can be more simple「何もより簡単になりえない」この文は than his means「彼の方法よりも」が省略されている。can は可能性を表す。
- (4)Isaac was in the habit of going to that place frequently. = Isaac had a[the] habit of going to that place frequently.「アイザックはその場所に頻繁に行く癖があった」be in the habit of ~ ing=have a[the] habit of ~ ing「...する癖がある」
- (5)internal「内部の、内側の」 反意語は external「外部の」である。its internal machinery「その内側の機械装置」
- (6)construction「建設、構造」 反意語は destruction「破壊、滅亡」である。knowledge of its construction「その構造についての知識」
- (7)It was not long before his grandmother and all the neighborhood knew...「まもなく祖母と近所の人全員は...を理解した」 it is not long before S V「～の前は長くない」つまり、「ほどなく、すぐに～」ということ。what Isaac had been about.「アイザックが何をしようとしていたか」had been は時制の一致(大過去)の用法で、knew より過去のことを示している。S be about to 不定詞「～しようとしている」

### 時制の一致

過去における時制の一致

I knew he would be busy. 彼が忙しくなるであろうことを知っていた。【過去の時点における未来】

I knew he was busy. 彼が忙しいことを知っていた。【過去の時点と同時】

I knew he had been busy. 彼が忙しかったことを知っていた。【過去の時点からさらに過去・大過去】

時制の一致における時の表現のいいかえ

「今」now→then 「今日」today→that day 「昨日」yesterday→the day before[the previous day]

「明日」tomorrow→(the) next day[the following day]

「来週」next week→the next week[the following week]

「去年」last year→the year before[the previous year] 「3日前」three days ago→three days before

- (8)He had constructed a model of the windmill, though not so large.「彼は風車の模型を作っていたが、それはそんなに大きくはなかった」not so largeの主語は a model of the windmill で、it was が省略されている。動詞の時制を過去に合わせることに注意。
- (9)S be converted into A = S be transformed into A「SはAになった、変形した」they soon would be converted into snow-white flour.「それらは雪のように白い小麦粉に変わった」
- (10)S be enchanted with[by] A = S be attracted with[by] A「SはAに魅了される」Isaac's playmates were enchanted with his new windmill.「アイザックの遊び友達は新しい風車に魅了された」
- (11)nothing so pretty and so wonderful had ever been seen in the whole world「世界中のどこにもこれほど見事でこれほど素晴らしいものは見られなかった」能動態にすれば「～は見たことがなかった」となる。they had ever seen nothing.という形よりも they had never seen anything so

- pretty and so wonderful.という形の方がよい。
- (12)one thing はその後の台詞にある miller「粉引き、粉屋」のことである。つまりその友人は、風車の模型が他の点では完璧であるが、そこで働く人間が欠けている、と言っているのである。
- (13)supply は「供給する、(足りないものを)満たす」の意味。supplement「補充する、補う」he set himself to consider how the deficiency should be supplied.「彼はその欠点をどう補うかを考えようとした」
- (14) if の後に he is が省略されている。if left to himself「もしも彼が自分だけで残されると」、つまり一人きりで残されると、という意味であるから if left alone が近い。
- (15)be absorbed in A = be engrossed in A「A に夢中になる」he was...absorbed in thought「彼は考えることに熱中した」他の選択肢は、2.demand「要求する、尋ねる」3.distract「そらす」6.transfer「移す」8.transmit「送る、伝える」
- (16)(A)operate「働く、操作する、経営する」1が正解。  
 (B)sufficient「十分な」2が正解。  
 (C)mathematics「数学」3が正解。  
 (D)manufacture「製造、製品、作る」3が正解。

## 全文訳

1642年のクリスマスの日にイングランドのウールストープという小さな村でアイザック・ニュートンは生まれた。(1)彼の母親は生まれたばかりの赤ん坊を見たとき、彼が天地創造以来神秘的なことでされてきた多くのことを解明する運命にあるとは露程も考えなかった。

アイザックもっとも簡単な方法で知識を習得するという素晴らしい能力を有していた。たとえば風の強さを測るために彼が行った方法はどのような方法だと思うか？その少年がその目に見えず、不安定で、制御不能な驚異である風の強度をどうやって測定したかは、けっして推定できないだろう。(3)しかしこれ以上ないくらい簡単な方法なのだ。彼は風と逆方向にジャンプしたのだ。そしてジャンプの幅により穏やかな微風、激しい強風、大嵐の力を計算できたのだ。このように、子どもっぽい運動においても彼は絶えず哲学の謎を探し求めているのである。

彼の祖母の家からそれ程遠くないところに新しい考えに影響を与える風車があった。アイザックはその場所に頻繁に行く癖があり、すべての時間を風車の様々な部品を調べるのに費やした。風車が動いてない時は、内部構造を詳しく調べた。その広い羽根が風によって動くとき、彼はそれにより粉引き石が回転し、器へと移された穀物を突く過程を観察していた。その構造を理解した後に彼が道具を用いて尋常でないほど忙しくなっているのが目撃された。

(7)まもなく祖母と近所の人全員は彼が何をしようとしていたのか理解した。彼は風車の模型を作っていたのだ、もっともそれはそれほど大きくなく、子どもがリスを捕まえるために設置する箱型の罠ぐらいの大きさだったと思われるが、風車のすべての部品と構造は完璧だった。その羽根は亜麻布できちんと作られており、風車を風がある場所に置くと、非常に速く回転した。アイザックの口や肺から吹いた息でも羽根を回転させるのには十分であった。そしてもっとも興味を引くことは、一掴みの小麦を小さな器に入れれば、すぐに雪のように白い小麦粉になることである。

アイザックの遊び友達は彼の新しい風車に魅了された。彼らは世界中のどこにもこれほど見事なこれほど素晴らしいものはなかっただろうと考えた。

「でもアイザック、風車につきものものをひとつ忘れてるよ。」

と彼らの1人が言った。

「それは何だい？」

とアイザックが訊いた、彼は風車の屋根からその土台まで何ひとつ忘れていないと思っていたからである。

「なぜって、粉屋はどこにいるの？」

と友達が言った。

「そりゃそうだ。 - 探さなきゃいけないな。」

とアイザックは言い、そしてその欠点をどう補うか考え出した。

アイザックは成長し、小さな風車のようなおもちゃの構造よりもはるかに重要なことを考えるようになっていた。1人でいると日中は思考に没頭するか、数学の本や自然の原理の本に夢中になっていた。夜には敬虔な好奇心により星を眺め、それら我々の世界に似た世界なのかどうか、地球からそれらまでの距離はどれくらいなのか、それらをその軌道に存在させている力は何なのかを考えたということが十分有り得ると私は思う。恐らく若いときであってもアイザック・ニュートンはこれらの疑問すべてに答えられるようになるべきだという予感を感じていたのだろう。

## 68 言語に優劣はない

All languages are equal in the sense that there is nothing especially limiting about any of them, that they all meet the social and psychological needs of their speakers, and that they are all equally deserving of scientific study. There are, however, some misconceptions about languages which stem from a failure to recognize the above statement.

The most important of (1)these is the idea that there are such things as ‘primitive’ languages. The fact of the matter is that every culture which has been investigated, no matter how ‘primitive’ it may be in cultural terms, possesses a fully-developed language with a complexity (2)(compare) to those of the so-called ‘civilized’ nations. Although the human race can be said to have (3)(evolution) from a primitive to a civilized state, (4)there are no signs of language having gone through the same kind of evolution. There are no ‘bronze age’ or ‘stone age’ languages: all have a complex grammar.

Opinions or misconceptions at the other end of the scale from so-called ‘primitive’ languages are those concerning the ‘natural superiority’ of certain languages. (5)Latin and Greek, for example, were once, and by some still are, viewed as models of excellence in Western Europe because of the literature and philosophy these languages expressed.

The idea that one’s own language is superior to others is widespread, but the reasons given for the superiority vary greatly from culture to culture. A language might be viewed as the most logical, or the language of gods, or the oldest, or the most subtle, or simply the easiest to pronounce. Arabic speakers, for example, feel their classical language is the most beautiful and logical, with an incomparable grammatical symmetry and richness of words. Classical Arabic is strongly identified (6)( ) the language of God – the language used in heaven, and thus must be superior to all others. A similar argument has also been applied (7)( ) other classical languages, such as Sanskrit or Hebrew, especially with regard (8)( ) which language is the oldest. Some Japanese feel that their language is too difficult or too complex for foreigners to master and is therefore inherently ‘superior’. Ultimately, such a sense of superiority can lead to laziness. For instance, (9)many speakers of English are unwilling to learn foreign languages knowing that their language is studied in just about every country on the planet.

Some languages are, of course, more useful or prestigious than others at a given period in history, but this is due to the political or economic dominance of the speakers of the time, and not to any inherent linguistic characteristics. The view of modern linguistics is that a language should not be valued on the basis of such political or economic influence. (10)If this were otherwise, modern American English would be ‘better’ than British English, or the dialect of Tokyo Japanese would be ‘superior’ to that of Tsugaru.

At present, therefore, it is not possible to rate the excellence of languages in linguistic terms. How, ultimately, could we compare the merits of Latin and Greek with the proverbial wisdom of the Chinese, the (11)extensive oral literature of the Polynesian

islands, or the depth of scientific knowledge which has been expressed in English?  
(12)Perhaps one day some kind of objective linguistic evaluation will be devised, but until then the theory that some languages are in themselves better than others ought to be rejected.

### 設問

- (1)下線部の具体的内容を本文中の1語で答えよ。
- (2)かっこ内の語句を適当な形容詞形に直せ。
- (3)かっこ内の語句を適当な動詞形に直せ。
- (4)下線部を、the same kind of evolution の具体的内容を明示して和訳せよ。
- (5)(12)下線部を和訳せよ。
- (6)(7)(8)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。
- (9)下線部の具体的理由を日本語で説明せよ。
- (10)下線部を、otherwise の具体的内容を明示して日本語で説明せよ。
- (11)下線部の反意語を答えよ。
- (13)ある言語が他の言語より優れていると主張される理由の例として本文中に述べられていないものを次から選べ。
  1. 客観的である
  2. 発音しやすい
  3. 微妙で複雑である
  4. 論理的である
- (14)本文中に述べられていない内容を次から選べ。
  1. 自分の言語が他の言語より優れているという考え方には言語学的な根拠はない。
  2. 日本語は難しすぎて外国人には身につけることかできないと思っている日本人がいる。
  3. 文化的な発達とその文化で話されている言語の発達とは密接な関係がある。
  4. ラテン語やギリシャ語の優れた点と中国語のことわざの英知とを比較することはできない。
- (15)アクセントの位置が同じ組み合わせを次から選べ。
  1. influence
  2. objection
  3. politics
  4. science
  - influential
  - objective
  - political
  - scientific

### **Further Expressions**

#### **〈あてはまる〉**

A similar argument is also applied to other classical languages. 【応用される】

A similar argument is also applicable to other classical languages. 【応用できる】

This is also true of other classical languages. 【あてはまる】

This is also the case with other classical languages.

## 解答

(1)misconceptions (2)comparable (3)evolved (4)言語には、人類が原始的な状態から文明化した状態に進化してきたのと同じような過程を経たという証拠がない。(5)全文訳参照 (6)with (7)to (8)to (9)自分たちの話している英語が地球上のほとんどすべての国で学ばれていることを知っているから。(10)言語がその話し手の政治的・経済的影響力に基づいて評価されるならば (11)intensive (12)全文訳参照 (13)1 (14)3 (15)2

## 解説

- (1)The most important of these is the idea that...「これらのうちで最も重要なのは...という考え方である」 these は第1段落の some misconceptions about languages「言語に関するいくつかの誤解」を指し、ここでその具体例を挙げて以下で説明しようとしているのである。よって正解は misconceptions「誤解」
- (2)compare「比較する」 comparable「比較できる」が入る。comparable to A「Aと同種の、同類の」また、派生語にはもうひとつ comparative は「比較による、比較に基づいた」がある。
- (3)evolution「進化」 動詞は evolve「進化する、進化させる」ここでは現在完了形になっているので evolved が入る。

### 時制をひとつさかのぼる have

分詞 < having + 過去分詞 > (動詞の時点より前の時点を表す)

Having finished my work, I took a bath. 仕事を終えてから、お風呂に入った。

My teacher, not having heard the chime, kept on teaching. 先生はチャイムが聞こえなかったので授業を続けた。

助動詞の過去 < 助動詞 + have + 過去分詞 >

She cannot have done such a thing. 彼女がそんなことをしたはずがない。

完了不定詞 < to have + 過去分詞 > : 「～であった」(動詞より前の時点のことであることを表す)

He seems to have been ill. 彼は病気だったように思われる。(seems の時点より ill の時点が過去)

He seemed to have been ill. 彼は病気だったように思われた。(seemed の時点より ill の時点が過去)

\* He seems to be ill. 彼は病気であるように思われる。(seems の時点と ill の時点が同じ)

\* He seemed to be ill. 彼は病気であるように思われた。(seemed の時点と ill の時点が同じ)

大過去 < had + 過去分詞 > (動詞が過去時制のとき、さらに過去を表す)

I heard that he had been ill. 彼は病気だったと聞いた。(heard の時点より ill の時点が過去)

\* I hear that he was ill. 私は彼が病気だったと聞く。(hear の時点より ill の時点が過去)

\* I heard that he was ill. 私は彼が病気だと聞いた。(heard の時点と ill の時点が同じ)

- (4)there are no signs「証拠がない」 having gone through...「...を経た」 the same kind of evolution はその前で Although the human race can be said...「人類は...と言われているけれども」という部分を受けて「(その人類の過程と)同じような進化」と言っている。つまり、人類が原始的状態から文明的状態へと進化してきた過程のことである。

(5)Latin and Greek...were once...viewed as...「ラテン語やギリシア語はかつて...と見なされていた」というのが基本的な文構造である。and by some still are の挿入は、and by some people still are viewed as...「(みなされたという過去形ではなく)いくらかの人々によっては今もまだ...とみなされているが」という意味。models of excellence「卓越性した規範」

(6)identify with A「Aと同一視する」 Classical Arabic is strongly identified with the language of God「古典アラビア語は神の言葉と強く同一視される」

(7)apply to A「Aに適用する、あてはまる」 A similar argument has been also applied to other classical languages「同じような議論が他の古典語にも適用されている」 apply to A for B「A(人)に B(仕事・許可・援助など)を求める、志願する」との違いに注意。

(8)with[in] regard to A「Aに関して」 with regard to which language is the oldest「どの言語が最も古いかということに関しては」

(9)be unwilling to 不定詞「～したがる」英語を話す人の多くが外国語を学びたがらない理由は、knowing that「～と知っているので」以下に説明されている。just about「ほとんど、だいたい」

(10)If this were otherwise「もしこれがそうでなければ」this が指すのは前文の The view of modern linguistics「現代言語学の見解」のこと。otherwise「さもなければ」とは、その見解が現在あるように a language should not be valued on the basis of such political or economic influence「言語はそのような政治的、経済的影響に基づいて評価されるべきでない」の逆。つまり、「言語が政治的・経済的影響に基づいて評価すべきだとしたら」という意味。

(11)extensive「広範な、広い」 intensive「集約的な、集中的な」 the extensive oral literature「広

範な口承文学」

- (12) some kind of objective linguistic evaluation will be devised 「何らかの客観的な言語学的評価法が考案されるだろう」 objective は subjective 「主観的な」の反対で「客観的な」という意味。linguistic 「言語学的な」 evaluation 「評価」 devise 「考案する」 until then 「それまで」とは「客観的な言語学的評価法が考案されるまで」という意味。but 以下の主語は the theory that some languages...others で、「そのような理論」は ought to be rejected 「拒否されるべきだ」という文構造。in themselves 「それ自体では、元来」 some languages are in themselves better than others 「ある言語はそれ自体で他の言語より優れている」
- (13) ある言語が他の言語よりすぐれているという意見については第 4 段落に示されている。A language might be viewed as at the most logical,...or the most subtle, or simply the easiest to pronounce. 「ある言語がもっとも論理的であるとか、...もっとも微妙であるとか、あるいはただ単純にもっとも発音しやすいとか見なされるかもしれない」とあるのでここには 1 が正解である。ここでの subtle 「微妙な」とは delicate 「繊細な」という意味で捉えるとよい。
- (14) 第 6 段落の最初に it is not possible to rate...とあり言語を他の言語と比較することは不可能であると述べられているので 1 は正しい。2 は第 4 段落に Some Japanese feel that...とあるので正しい。4 は第 6 段落に How, ultimately, could we compare...とあるので正しい。間違っているのは 3 で、文化と言語の発達の関係については述べられていない。
- (15) 2 が正解。objection 「反論、欠点」 objective 「目標、目標の」 ただし object 「物、目標」は名詞のときこれらとアクセントが異なる。

## 全文訳

すべての言語は、どの言語についても特に制限するものがなく、すべての言語が話し手の社会的・心理的要求にかなっており、どれも等しく科学的研究を行う価値がある、といった意味で同等である。しかしながら、上記のことを認識できていないために、言語についていくつかの誤解が存在しているのである。

これらのうちもっとも重要なのは、「原始的な」言語なるものが存在するという考え方である。しかし事の真相は、調査されたすべての文化では、文化的な観点でいかに「原始的」であろうとも、いわゆる「文明化した」国に匹敵するような複雑さを備え、十分に発達した言語を有しているということだ。人類は原始的な状態から文明的なそれへと進化したといわれるが、言語が同様の進化を経てきたという証拠はまったくないのである。言語に「青銅器時代」や「鉄器時代」はない。どれも複雑な文法を有していたのである。

いわゆる「原始的な」言語という考え方の対極に位置する意見、あるいは誤解は、ある特定の言語の「生来的優越性」に関するものだ。(5)たとえばラテン語やギリシア語はかつて、あるいはいくらかの人々によって今でもまだ、西欧における卓越した規範としてみなされている。これらの言語が表した文学や哲学作品のゆえに。

自分の国の言語が他のものよりも優位であるという考え方は広まっているが、その優越性の理由は文化によって大きく異なる。もっとも合理的であるとか、神の言語であるとか、最古の言語だとか、もっとも微妙であるとか、あるいは単純にもっとも発音しやすいだとかみなされるのかもしれない。たとえばアラビア語を話す人々は、比類のない調和のとれた文法と語彙の豊かさのために、古典アラビア語こそがもっとも美しくて論理的な言語であると考え。古典アラビア語は神の言葉、天国で使われる言語と強く同一視される。それゆえに他の言語に勝るに違いないのである。同じような議論が、特にどの言語がもっとも古いかということに関して、サンスクリット語やヘブライ語といった他の古典言語にも適用されてきた。日本人の中には、自分たちの言語は難しすぎるか複雑すぎるから、外国人は習得できない。だから日本語が本質的に優れていると感じている人もいる。最終的には、このような優越性の意識は怠惰につながる可能性がある。たとえば英語を話す人々の多くは、自分たちの言語が地球上のほとんどすべての国で学ばれているのを知っているのに、外国語を学びたがらないのだ。

もちろん言語の中には、歴史上の一時期に他の言語よりも有用で名声があるものもある。しかしこれは、その時代の話し手の政治的、経済的優位によるのであって、どんな生来の言語的特徴によるものでもない。現代言語学の見解では、言語を政治的・経済的影響に基づいて評価すべきではない。さもなければ、現代アメリカ英語はイギリス英語より「優れている」ということになり、日本語の東京方言は津軽方言よりも「勝る」ということになるだろう。

それゆえ現時点では、言語学的観点で言語の卓越性を評価することは不可能である。最終的にわれわれは、ラテン語とギリシア語の美点を、中国語のことわざの英知や、ポリネシア諸島の広範な口承文学、あるいは英語で表現されるような科学的知識の深さと比較できるのであるだろうか？(12)恐らくいつか何らかの客観的な言語学的評価法が考案されるのだろうが、そのときまで、ある種の言語がそれ自体で他のものよりも優位であるという理論は拒否されるべきである。

## 69 すぐれた読者になるために（前編）

As you probably already know, reading is not a simple skill like catching a ball or opening a pocket knife or purse. Reading, like painting, is instead a very closely integrated (1)succession of skills which may take years to master and a lifetime to bring to perfection.

(2)Until a few decades ago, everyone was thoroughly convinced that to read you needed only to pay attention and practice during the early grades in school. So you made your way from the first through the sixth or seventh grades, and there you were: a finished, accomplished reader. In short, you had progressed from “reading” as a subject to study or acquire, to the elevated stage where reading became merely a tool, a (3)means to the (4)end of getting a history or literature lesson, understanding a mathematical problem, or performing a scientific (5)( ).

Now we know better, and (6)so should you. (7)No reader should consider himself so fully experienced and accomplished that he no longer has a chance to improve. If you are (8)dubious about this statement, try comparing a young child’s story of some great event like a famous battle or a dreadful (9)( ) with an adult (10)account of the same (11)subject using the experiences of eye-witnesses or experts on whatever the event might be — a battle, fire, earthquake, or typhoon. (12)The child’s book is greatly oversimplified, with some of the most significant causes or effects omitted for the sake of clarity and simplicity. (13)But the older reader is presumed to have the judgment, knowledge, and skills by which he may assimilate all the facts (some of which may be or seem contradictory) and arrive at what the author considers the correct interpretation.

Perhaps at this stage the best way to approach the problem is to ask yourself. What is a good reader? What does he do? What does he avoid? How does he act differently from a poor or mediocre reader? Well, it is a combination of factors, without any (14)( ). Moreover, it is not simply speeding recklessly across and down the page paying little or no attention to the (15)( ) the writer has given. Of course, care and practice and intelligent improvement will certainly bring speed for almost every reader. But as has been noted, speed is not really the primary (16)( ).

設問

(1)(3)(4)(10)(11)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. explanation 2. medium 3. purpose 4. series 5. topic

(2)(7)(12)(13)下線部を和訳せよ。

(5)(9)(14)(15)(16)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. catastrophe 2. clues 3. doubt 4. experiment 5. goal

(6)下線部の具体的内容を 60 字程度の日本語で答えよ。

(8)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. concerned 2. confident 3. doubtful 4. ignorant

**Further Expressions**

**〈要するに〉**

In short, reading became a means to the end of understanding. 【要するに】

To be brief, reading became a means to the end of understanding.

To sum up, reading became a means to the end of understanding.

In a word, reading became a means to the end of understanding.

To make a long story short, reading became a means to the end of understanding.



## 解答

(1)4 (2)全文訳参照 (3)2 (4)3 (5)4 (6) 読者は数十年前までの、読書に必要なのは少し注意深く  
なることと低学年のうちに訓練することだけだという考え方より賢くあるべきだ。(62字) (7)全文  
訳参照 (8)3 (9)1 (10)1 (11)5 (12)全文訳参照 (13)全文訳参照 (14)3 (15)2 (16)5

## 解説

- (1)succession は「相続」という意味もあるがここでは「連続」 4.series「連続、続き物」が正解。  
succession of skills「一連の技術」
- (2)Until a few decades ago「数十年前までは」 be convinced that「～と信じている」 thoroughly  
「まったく、すっかり」 that 以下は you が主語である。to read「読むために」 you needed only to  
～「あなたは～だけが必要だった」 pay attention「注意を払う」 early grades「低学年」
- (3)means「方法、手段」よって 2.medium「中間、媒体物、手段」が正解。merely a tool, a means to...  
「単なる道具、...の方法」
- (4)end はここでは「目的」の意味。よって 3.purpose「目標、目的」が正解。the end of getting a history  
or literature lesson「歴史や文学の授業を受けるという目的」
- (5)performing a scientific experiment「科学的実験を行う」 perform「果たす、(仕事などを)行う」  
4.experiment「実験」が正解。
- (6)Now we know better, and so should you. 「いま私たちはより賢くなっているだろう、そしてあ  
なたはそうなるべきなのである」 これは前段落での Until a few decades ago... 「数十年前までは  
...」という状況を踏まえている。それと対比的に現在の私たちはそのときよりも賢くなっており、  
またあなたはそのように賢くなるべきなのだ、ということ。so should you=you should know better  
である。より賢く、とはどういうことかも具体的に説明する。
- (7)so～that...「とても～なので...だ、...なほど～だ」の構文である。ただし主語が no reader であるか  
ら、「...なほど～である読者はいない」となる。～は so fully experienced「十分に経験している」...  
は he no longer has a chance to improve「彼はもはや改善の余地がない」である。consider  
himself...experienced「彼自身を経験のつんだものと考える」 no longer「もはや～ない」 chance to  
improve「改善する機会」
- (8)be dubious about A「A について疑わしいと思う」 3.doubtful「疑わしい、疑っている」が正解。  
1.concerned「 関係している 心配そうな」 2.confident「確信している、自信がある」 4.ignorant  
「無知な」 if you are dubious about this statement「もしもあなたがこの発言を疑わしく思うなら  
ば」
- (9)a famous battle or a dreadful catastrophe「有名な戦いや恐ろしい大惨事」 1.catastrophe「大異変、  
大災害、不幸」が正解。
- (10)account は「勘定」という意味もあるがここでは「説明、報告、話」の意味。1.explanation「説明、  
弁明」が正解。an adult account of...「...に関する大人向けの説明」
- (11)subject は「題目、主題」という意味。5.topic「話題、トピック」が正解。the same subject「同じ話  
題」
- (12)be oversimplified「簡略化され過ぎている」 with は付帯状況で子ども向けの本がどのようなものか  
を説明している。with...causes or effects omitted...「原因や結果が取り除かれた状態で」 some of  
the most significant causes or effects「最も重要な原因や結果」 be omitted「除外されている」 for  
the sake of A「A のために」 clarity「清澄、明快さ」 simplicity「簡単、単純」
- (13)be presumed「～と推測される、考えられる」 judgment「判断力」 the judgement, knowledge,  
and skills by which he may assimilate all the facts「それによって彼がすべての事実を理解する  
ような判断力や知識や技能」 関係代名詞 which は the judgment...skills を先行詞としている。  
assimilate by A「A によって消化する、理解する」の by が which の前についた形になっている。か  
っこ内の which は all the facts を先行詞とする。some of which may be or seem contradictory「そ  
のうちのいくつかは矛盾しているか、あるいはそのように見えるかもしれないが」 arrive at what  
the author considers the correct interpretation.「筆者が正しい解釈だと考えていることにたどり  
着く」 arrive は is presumed to にかかっている。consider A B「A を B と考える、だともなす」
- (14)it is combination of factors, without any doubt「それは疑いもなく、いくつかの要因が組み合わ  
さったものだ」 without any doubt「疑いもなく、あきらかに」 3.doubt が正解。
- (15)paying little or no attention to the clues the writer has given「作者が与えた手がかりに、ほとん  
どあるいはまったく注意を払わずに」 2.clue「手がかり、糸口」が正解。

(16) speed is not really the primary goal「速さは実は第一の目的ではない」 5. goal「ゴール、目標、目的」が正解。

## 全文訳

おそらくあなたもすでに知っているように、読書はボールを捕まえたり、折りたたみナイフや財布を開いたりするような単純な技能ではない。そうではなくて読書は、絵を描くことのように、習得するのに何年もかかり、完璧なものにするのに一生を費やすかもしれないような、とても緊密に統合された一連の技術なのである。

(2)数十年前まで、読書に必要なのは注意深くなることと低学年のうちに訓練することだけだと、すべての人がすっかり信じきっていた。だからあなたは1年生の時から6年、中学1年になるまで進んできて、そして今のあなたのようになったわけだ。完璧に熟練した読者になったわけである。要するに、勉強し、身につける目的としての読書から、単なる道具としての読書、つまり歴史や文学の授業を受け、数学的な問題や科学的実験を理解することを目的とする、方法としての読書というより高い段階に進歩したのだ。

だが、いまや私たちはより賢くなっているだろう、そしてあなたもそうであるべきなのである。(7)どんな読者も、これ以上改善する余地はないというほど十分に経験し、完成されたと自分で思うべきではないのだ。もしもあなたがこの発言を疑わしく思うなら、有名な戦いや恐ろしい大惨事のような、大きな出来事についての幼い子ども向けの話を、同じ話題に関する大人向けの説明と比べてみなさい。目撃者の証言や、どんな出来事でも 戦いだらうと火事、地震、あるいは台風だらうと、その出来事に関する専門家の経験的知識を用いた大人向けの説明と。(12)子どもむけの本では、わかりやすく単純化するために、もっとも重要な原因や結果のいくつかがとり除かれ、簡略化されすぎている。(13)けれども大人の読者は、それによってすべての事実を(そのうちのいくらかは矛盾しているが、あるいはそのように見えるかもしれないが)理解し、筆者が正しい解釈だと考えていることに達することができるような判断、知識、技能を持っているとみなされている。

おそらくこの段階で問題に接近するもっとも良い方法は、あなたが自分自身にたずねてみることだ。すぐれた読者とはなんだろうか？何をする人だろうか？何を避ける人だろうか？下手な読者や普通の読者と、どう異なった行動をとるのだろうか？そう、それは疑いもなく、いくつかの要因が組み合わさったものである。その上それは、作者が与えた手がかりにほとんどあるいはまったく注意を払わずに、ただ無鉄砲に急いでページを繰ることではない。もちろん注意と訓練、それに知性を向上させることで、確実にほとんどすべての読者は読む速度はあがる。けれど注意されているように、速さは実は第一の目的ではないのだ。

## コラム 語源研究

### 接頭辞 DIS

【語源】ギリシア語の dis「2度」、ラテン語の duo「2」、bis(duis)「2度」と同根。「2つに分かれる」という分離を基本とし、除去、剥奪、欠如、否定、逆、強意などを表す接頭語となった。

### 接頭辞 EN、EM

【語源】フランス語 en「...に」が語源で、このフランス語もラテン語の in が形を変えたもの。「...の中に入れる」という意味から、「...の状態にあるようにする」や「...させる(他動詞化)」という意味も持つようになった。b・m・p で始まる子音が続くときは em-になる。

### 接頭辞 EX、E

【語源】ラテン語の前置詞 ex「...から、...から外へ」(前の子音によっては e という形も取る)を語源とする。fの前では ef-、c,p,q,s,tの前では e-になる。

### 接頭辞 IN、IM

【語源】否定を表す接頭辞で、ラテン語起源の語に多くつく。古英語からある un-という接頭辞と同根といわれる。「不...、非...、無...」という意味。p・b・mの前では im-、lの前では il-、rの前では ir-となる。文字通り英語の in を語源とし、ラテン語の in「中で、中へ」と同語源とされる。in や into のイメージ。

### 接頭辞 INTER

【語源】ラテン語の前置詞 inter「...の間に」を語源とする。「...の間に」や「相互に」という意味を作る。international は inter(間) + national(国家の)で、「国家間の、国際的な」という意味。似たような意味の単語で global「世界的な」という語があるが、これは globe「球、地球」から来ており、ニュアンスが異なる。

### 接頭辞 OB

【語源】ラテン語の前置詞 ob「...に逆らって、...に向かって」を語源とする。c,f,pの前ではそれぞれ oc-, of-, op-,となる。「...に反対して(against)」「...の方へ(toward, to)」「...の上に(on, over)」「逆に(reversely、主に科学用語)」などの意味で使われる。

## 70 すぐれた読者になるために（後編）

(1)The good reader is so competent in adapting himself to the circumstances that he adjusts to whatever conditions may exist. For instance, on one particular (2)( ) he finds that he has (3)only about an hour to read and digest a long, thoughtful article that runs to as much as 100 pages. So he adapts his speed to his time limits and to what he must get from the article. He increases his concentration, moves at a rather rapid rate, but slowly enough to acquire the writer's main points, his (4)secondary ideas, and some of the examples and details.

Later in the week, perhaps, the same reader must go to an airport and await the arrival of a friend. To pass the time easily, he takes along some professional magazines in his own (5)( ) of interest. After his arrival at the terminal he prepares to wait as much as an hour. So he settles down, reading easily, without tension, and unconcerned about getting all the author's ideas. The plane is delayed; another hour must be spent waiting. So the reader bides his time and decides to buy a newspaper. His paper reading is partly to occupy his time, but it is also to (6)(acquaint, aware, inform, tell) him with what is going on in the world. Still, he realizes that much that is stated on the pages of the daily newspaper will be modified, denied, or expanded upon in the next day's or week's papers. So his concentration is not very intense, his concern for the material is only that of an intelligent person "keeping up" with developments in the (7)( ) about him.

In each of these instances, the reader with training and (8)(competence, competition) adjusts his purpose to various conditions. In (9)the first case when he is reading under severe time limitations, he feels it necessary to get main ideas, to see how minor details support or relate to major points, and to absorb and (10)retain what he reads. So he forces his concentration to the (11)utmost. But in (12)the latter two cases, purpose differs greatly. No need is felt to get a great deal from the reading. As purpose differs, then, so does degree of concentration or extent of demand for high (13)( ).

Generally speaking, awareness of one's purpose is essential, paramount. Having purpose clearly in mind seems to fuse the various skills and acts of reading so as to produce an effective (14)( ). Adapting purpose to circumstance, to time available, and to degree of difficulty or significance of the reading matter is an acquired habit. It requires practice. And (15)the well-trained or disciplined reader makes every one of the combined skills adjust to what he wishes to achieve.

設問

(1)(15)下線部を和訳せよ。

(2)(5)(7)(13)(14)空所にあてはまる適当な名詞を次から選べ。

1. comprehension 2. field 3. occasion 4. outcome 5. universe

(3)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

no ( ) than an hour

(4)左右の関係が等しくなるように次の空所に適語を入れよ。

first : ( ) = second : secondary

(6)(8)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(9)(12)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(10)(11)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(10) 1. attain 2. contain 3. maintain 4. obtain

(11) 1. maximum 2. majority 3. minimum 4. minority

**Further Expressions**

**《詳しい》**

The newspaper will **inform** the reader of many things. 【知らせる】

The newspaper will **acquaint** the reader with many things.

The reader will be at home in **[with]** many things. 【精通している】

## 解答

(1)全文訳参照 (2)3 (3)more (4)primary (5)2 (6)acquaint (7)5 (8)competence (9)100 ページにも及び長くて思想に富む記事を読むのに1時間ほどの時間しかないので、読むスピードを持ち時間に合わせて、筆者の主張や要点など重要な内容に絞って読み取る人の例。(10)3 (11)1 (12)空港で友達の到着を待つ間、自分の関心のある分野の雑誌を読んで気楽に時間をつぶす場合と、さらにもう一時間待つ間、世界の発展に関心を向けつつさほど集中せずに新聞を読む場合。(13)1 (14)4 (15)全文訳参照

## 解説

- (1)so ~ that...「とても～なので...なほどだ」がこの文の基本的な構造である。competent in A「Aに堪能な、有能な」adapt A to B「AをBに適応させる、合わせる」that 以下は、he adjusts to whatever conditions may exist.「たとえどんな状況であろうとも彼は適応する(それほどである)」adjust to A「Aに順応する、慣れる」Aにあたるのが whatever conditions may exist = any conditions that may exist「ありうるあらゆる種類の状況」である。
- (2)For instance, on one particular occasion「たとえば、ある特別な場合に」3.occasion「場合、出来事」が正解。
- (3)only about an hour「ほんの約1時間」近い意味にするには more を補って no more than an hour とする。no more than A は「Aにすぎない」という意味だが、数詞の前で「わずか、たった」という意味を表す。逆に no less than は「...ほど多くの、...もの」は数量の多さを強調する。
- (4)second「第2番目、第2の」は順番を表し、secondary「第2位の、二次的な」は段階・優先順位のようなものを表す。よって同じ関係にするためには、first「第1番目」に対し、primary「第1番目の、最初の、主要な」が入る。ちなみに、third に対しては tertiary「第3位の、第3次の」を使う。
- (5)some professional magazines in his own field of interest「興味のある彼自身の分野の専門的な雑誌」3.field「分野、領域」が正解。
- (6)it is also to...「それ(=彼が本を読むこと)はまた、...である」という文に続くので「世界で何が起きているかを彼に知らせること」となるように単語を入れたい。acquaint A with B「AにBを知らせる」よって acquaint「知らせる」が正解。その他は aware「気づいている」inform A of/about, on B「AにBを知らせる」tell A of/about B「AにBを告げる」
- (7)“keeping up” with development in the universe「世界の発展に“ついていこうとする”」5.universe「全世界」が正解。universe には「宇宙」という意味もある。keep up with A「Aにおくれないでついていく」
- (8)the reader with training and...「経験と...のある読者」よって文脈から competence「能力、力量」が入る。competition は「競争」
- (9)In each of these instances...「このような状況のそれぞれにおいて...」この段落は前の2つの段落での具体例を受け、解説をしている。よって the first case「最初のケース」とは第1段落にあった、100ページほどもある長くて思慮にとんだ記事を、たった1時間で読み消化せねばならない、という場合のことである。
- (10)retain「保つ、保持する」3.maintain「維持する、保つ」に近い。1.attain「達成する」2.contain「含む」4.obtain「獲得する」to absorb and retain what he reads「彼が読んでいるものを吸収し、覚えておくこと」
- (11)utmost「最大の、最大限」1.maximum「最大限」に近い。2.majority「大多数、過半数」3.minimum「最小限」4.minority「半数未満、少数部分」he forces his concentration to the utmost「彼は集中を最大限にまで強める」
- (12)the first case と対比的に言われている。第2段落の、空港で友達が着くのを待つ間、雑誌を読んで時間をつぶす場合と、飛行機が遅れてさらに時間をつぶすために新聞を読む場合のことである。
- (13)extent of demand for high comprehension「深い理解が要求される度合い」1.comprehension「理解、理解力」が正解。
- (14)so as to produce an effective outcome「効果的な成果をあげるために」4.outcome「結果、成果」が正解。so as to 不定詞「～するために」
- (15)the well-trained or disciplined reader「よく訓練されたか、鍛えられた読者」discipline は名詞では「訓練、規律」だが、ここでは動詞で「訓練する」makes every one of the combined skills adjust to ~「組み合わせられた技能のどれでも～にあわせる」make は使役で adjust to A「Aに順応する」がそれに呼応している。every one of the combined skills「組み合わせられた技能のひとつひとつ」one

of+名詞に every がついた形。what he wishes to achieve「彼が達成したいと願うこと(にあわせる)」 what は先行詞を含む関係代名詞。wish は仮定法である that 節か to 不定詞をとる。

## 全文訳

(1)すぐれた読者は自分をその環境に適応させる能力がともあるので、たとえどんな状況にでも順応できる。たとえばある特別な状況で、100 ページほどもある長くて思慮にとんだ記事を、たった1時間で読み消化せねばならないとする。そこで彼は、自分の読む速度を制限時間とその記事から得なければならないものに合わせるのだ。彼は集中して、より速い速度で読み、しかし作者の主要なポイントと、二次的な意見、そしていくつかの具体例と詳細まで得られるほど、十分にゆっくりと読むのである。

その後同じ週に、その読者は空港に行き友達がつくのを待たなければならない。気楽に時間をつぶすために、彼は関心のある自分の分野の専門的な雑誌をもっていく。彼はターミナルについてから1時間ほど待つ覚悟をする。そこで彼は座りこんで、気楽に読むわけである。緊張したり、集中して作者の考えすべてを理解しようとしたりせずに、飛行機が遅れたら、もう一時間彼は時間をつぶさねばならない。彼は期を見て新聞を買いに行く。彼にとって新聞を読むことは、ひとつに時間をつぶすためであるが、世界で起きていることを知るためでもある。にもかかわらず、彼は日刊の紙面に書かれていることの多くが、明日の新聞や週刊では修正され、否定され、あるいは展開されているのに気づく。だから彼はそれほど集中しているわけではない、彼の関心は世界の発展に「ついていこう」とする知識人のそれに過ぎないのである。

このような状況のそれぞれにおいて、経験と能力のある読者は自分の目的をさまざまな状況にあわせる。最初にあげたケースのような厳しい時間的制約下では、主たる主張をおさえること、比較的重要でない細かな事柄がどのように主要な点を助け、それと関係しているのかを理解すること、そして読んでいるものを吸収し、覚えておくことが大切だと彼は感じるのだ。そこで彼は最大限に集中する。けれどあとの二つの場合では、目的が大きく異なっている。読書によってたくさんのものである必要はない。目的が違うので、集中の度合いや深い理解が要求される程度も変わってくる。

一般的にいえば、自分の目的を意識するのがもっとも本質的で重要なことなのだ。心に明確な目的を持つことは、効果的な成果をあげるために、さまざまな技能と読書という行為を融合させるように思われる。目的を状況や使える時間、あるいは読みものの難易度や重要性に合わせることは、後天的に身につける習慣である。それには訓練が必要だ。そして(15)よく訓練されたか、鍛えられた読者は、組み合わせさせた技能のどれでも、達成したいと願うことにあわせるのである。

## コラム 語源研究

### 接頭辞 PER

【語源】ラテン語の前置詞 per「...を通して、...によって、...にわたって、...の間」を語源とする。よく使われる用法は ...を通して、完全に、非常に、のふたつがある。

### 接頭辞 PRE

【語源】ラテン語の prae「先に、前へ、以前に」を語源とする。イタリア語の prima「...の前に」には形が残っている。「...以前の」という時間的な前をいうことが多い。反対は post「...の後に」である。

### 接頭辞 PRO

【語源】ラテン語の pro「...の前に、...の前で、前方へ、...のために」を語源とする。フランス語 pour、スペイン語 por、ポルトガル語 porなどは形がよく残っている。

### 接頭辞 RE

【語源】ラテン語の re-という接頭辞を語源とする。主に、「後方へ、戻って(back)」「再び、新たに~しなおす(again)」の二つの用法がある。Renaissance「ルネサンス」はフランス語で re-「再び」+ naissance「生まれること」で、「古典文化の復興」を意味している。

### 接頭辞 TRANS

【語源】ラテン語の前置詞 trans「越えて、通って、彼方に、向こうに」を語源とする。フランス語 travers、イタリア語 attraverso、スペイン語 través、ポルトガル語 través は形を残す。tra になることもあり、sの前ではしばしば tran となる。transatlantic は「大西洋横断の」となる。

### 接頭辞 SUB

【語源】ラテン語の前置詞 sub「下へ、下に」を語源とする。ラテン系の近代語では、フランス語 sous、イタリア語 sotto など形が少し変わっている。後に続く子音にあわせて、su、suc、suf、sug、sum、sup、sur、sus とさまざまに変化する。submarine は「海の下を走るもの」から「潜水艦」、subway は「下の道」より「地下鉄、地下道」という意味となる。

## 第 15 章 下線部を和訳する

### 71 少年時代のフランクリン

In the year 1716, or about that period, a boy used to be seen in the streets of Boston who was known among his schoolfellows and playmates by the name of Ben Franklin. Ben was born in 1706; so that he was now about ten years old. His father, who had come over from England, was a \*soap-boiler and \*tallow-chandler, and resided in Milk Street, not far from the Old South Church.

Ben was a bright boy at his book, and even brighter one when he was at play with his (1)comrades. (2)He had some remarkable qualities which always seemed to make him take the lead, whether at sport or in more serious matters. I might tell you a number of amusing anecdotes about him. You are acquainted, I suppose, (3)( ) his famous story of the Whistle, and how he bought it with a whole pocketful of coppers and afterwards repented of his bargain. But Ben had grown a great boy since those days, and had gained wisdom by experience; for it was one of his peculiarities, that (4)no incident ever happened to him without teaching him some valuable lesson. Thus he generally profited more by his misfortunes than many people (5)do by the most favorable events, that could befall them.

Ben's face was already pretty well known to the inhabitants of Boston. The selectmen and other people of note often used to (6)visit his father, (7)( ) the sake of talking about the affairs of the town or province. Mr. Franklin was considered a person of great wisdom and (8)integrity, and was respected by all who knew him, although he supported his family by the (9)humble trade of boiling soap and making tallow candles.

While his father and the visitors were holding deep consultations about public affairs, little Ben would sit on his stool in a corner, listening with the greatest interest, as if he understood every word. Indeed, his features were so full of intelligence that (10)there could be but little doubt, not only that he understood what was said, but that he could have expressed some very wise opinion out of his own mind. But in those days boys were expected to be silent in the presence of their elders. However, Ben Franklin was looked upon as a very (11)promising lad, who would talk and act wisely by and by.

"Neighbor Franklin," his father's friends would sometimes say, "(12)you ought to send this boy to college and make a minister of him."

"I have often thought of it," his father would reply; "and (13)my brother Benjamin promises to give him a great many volumes of manuscript sermons, in case he should be educated for the church. But I have a large family to support, and cannot afford the expense."

In fact, (14)Mr. Franklin found it so difficult to provide bread for his family, that, when the boy was ten years old, it became necessary to take him from school. Ben was then employed in cutting candle-wicks into equal lengths and filling the molds (15)( )

tallow; and many families in Boston spent their evenings by the light of the candles which he had helped to make. Thus, you see, in his early days, as well as in his manhood, his labors contributed to throw light upon dark matters.

(注) soap-boiler : one who makes soap by boiling

tallow-chandler : maker and seller of animals' hard fat candle

### 設問

(1)(11)下線部と意味が異なる語句を次から選べ。

(1) 1. company 2. fellow 3. mate 4. opponent

(11) 1. arrogant 2. gifted 3. talented 4. up-and-coming

(2)(4)(10)(12)(13)(14)下線部を和訳せよ。

(3)(7)(15)空所にあてはまる適当な前置詞を答えよ。

(5)下線部を本文中の別の1語で表せ。

(6)下線部と近い意味になるように次の空所に適語を入れよ。

call ( ) his father

(8)(9)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(8) 1. generosity 2. honesty 3. modesty 4. rapidity

(9) 1. busy 2. noble 3. poor 4. skillful

(16)本文の内容と一致するものを次から2つ選べ。

1. ベンは学校の成績は良かったが、スポーツはあまり得意ではなかった。
2. ボストンの人達はベンの父親を立派な人物であると考えた。
3. 当時の子供達は年長者の前で能弁であることが大いに期待された。
4. ボストンの人達はベンの作ったろうそくを毎晩のように買いに来てくれた。
5. ベンの父親は彼を聖職者にするための教育費を出す余裕がなかった。

### Further Expressions

#### 《優秀な》

Ben was excellent in everything he did. 【優秀な】

Ben was second to none in everything. 【誰にも劣らない】

Ben stood out from others in everything. 【きわだつ】

Nobody was equal to Ben in everything. 【匹敵する】

#### 《有名な》

Ben was known to everyone in Boston. 【知られた】

Ben was familiar to everyone in Boston.

Everyone in Boston were familiar with Ben.

Everyone in Boston knew Ben by name. 【名前を知っている】

Ben was famous for his great wisdom. 【有名な】

Ben gained fame through his great wisdom. 【名声を得る】

Ben came to fame through his great wisdom. 【有名になる】

Ben had a reputation for his great wisdom. 【評判】

Ben passed for a wise man in Boston. 【～として名が通っている】

#### 《余裕がある》

Mr. Franklin could not afford the expense of sending his son to college. 【余裕がある】

Mr. Franklin could not afford to send his son to college.

Mr. Franklin was not rich [wealthy] enough to send his son to college. 【裕福な】

Mr. Franklin was not well off enough to send his son to college.



## 解答

(1)4 (2)全文訳参照 (3)with (4)全文訳参照 (5)profit (6)on (7)for (8)2 (9)3 (10)全文訳参照 (11)1 (12)全文訳参照 (13)全文訳参照 (14)全文訳参照 (15)with (16)2,5

## 解説

- (1)comrades「仲間、同志」 4.opponent「相手、対抗者」でこれだけ意味が違う。他はみな近い意味。  
(2)some remarkable qualities「目立った特性、非凡な素質」 lead は名詞で「先導、指揮、手本」という意味。which always seemed to make him take the lead「いつも彼に指揮をとらせるかに見える(そんな非凡な素質)」 which 以下は qualities を修飾するが、「その素質のために～であった」と訳し下げることができる。whether at sport or in more serious matters「スポーツであっても、より深刻な事柄についてであっても」  
(3)be acquainted with A「Aを知っている」 You are acquainted...with his famous story of the Whistle「あなたは笛についての彼の有名な話を知っている」  
(4)No incident...happened to him without teaching ~「～を教えることなしにどのできごとにも彼には起こらなかった」、つまり「あるできごとが起こると、必ず～を教えた」 incident「できごと」 happen to A「(事が)Aにふりかかる、起こる」似た形として、happen to不定詞「偶然...する」というものもある。teaching him some valuable lesson「彼に何らかの価値ある教訓を教えること」  
(5)he...profited more...than many people do...「彼は多くの人がそうするのより多くを得ていた」が文の基本構造。do は profit を指す。do が現在形なため、profit も現在形と考えられる。  
(6)visit his father「彼の父を訪ねる」 call on ~「～(人)を訪ねる」なので、on が入る。ちなみに call at ~「～(場所)を訪ねる」である。  
(7)for the sake of A「Aのために」 for the sake of talking about the affairs「できごとを話しあうために」  
(8)integrity「正直さ、誠実」 a person of great wisdom and integrity「偉大な知識と、誠実さを持った人」 2.honesty「正直、誠実」が正解。1.generosity「寛大、寛大な行為」  
(9)humble「つましやかな、質素な」 he supported his family by the humble trade「彼はつましい仕事で彼の家族を養った」 3.poor「貧しい、質素な」に近い。2.noble「気高い、高貴な」  
(10)but little「(文語的)ほんの少ししかない」 but は only「ほんの、ただ～だけ」と同じ意味。there could be but little doubt「ほんの少しの疑いしかありえなかつただろう」 doubt not only that..., but that...「...という疑いだけでなく、...という疑いも」ふたつある that はともに doubt にかかり、同格「～という」の役割を果たす。understood what was said「話されていることを理解した」 what は先行詞を含む関係代名詞。he could have expressed「(実際にはしなかったが)彼は表現できたであろう」 could have + 過去分詞で、条件節(if節)の省略された仮定法過去完了表現。out of his own mind「彼自身の考えから」  
(11)promising「前途有望な」 a very promising lad「非常に有望な若者」 1.arrogant「横柄な、尊大な」は意味が異なる。あとは似たような意味である。4.up-and-coming「有望な、やり手の」  
(12)ought to「～すべきである」 make A of B「BをAにする」 minister「(とくにプロテスタントの)聖職者、牧師」大文字にすると、Minister「大臣」、とくに、Prime Minister「首相」

### 特殊な助動詞

dare : 「あえて～する」 \* 否定文や疑問文でよく使われる。過去形は dared。本動詞も使われる。  
I **dare not** tell her the sad news. 私は彼女にその悲しい知らせを伝える勇気がない。  
= I don't dare (to) tell her the sad news.  
need : 「～する必要がある」 \* 否定文と疑問文でしか使われない。  
You **need not** do that. 君はそれをする必要がない。  
= You don't need to do that.  
ought to : 「～すべきだ」 \* 現在形のみ。否定は ought not to になる。  
You **ought to** see a doctor. 君は医者に診てもらうべきだ。  
used to : 「(習慣)よく～したものだ」 \* 否定形は didn't used to を使う。would との違いに注意。  
I **used to** go fishing every Sunday. 昔はよく日曜日に釣りをしたものだ。  
(cf) I **would** often go fishing. 昔しばしば釣りをしたものだ。(不定期)

### make A of B

< make A of B > には「BをAにする」という意味がある。  
Her parents made a lawyer of her. 彼女の両親は彼女を弁護士にした。  
次の熟語は、いずれもこの形を利用している。  
I don't **make a fool of** you. 僕は君をからかわない。

My teacher makes an exception of her. 先生は彼女を特別扱います。  
My brother makes a habit of reading before breakfast. 兄は朝食前の読書を常としている。  
We make a secret of her marriage. 私たちは彼女の結婚を秘密にしている。

- (13) a great many volumes of manuscript sermons 「たくさんの説教の写本」 in case...には「もしも万一...ならば」と「...の場合に備えて、...だといけなから」という2つの意味があるが、ここでは前者である。in case he should be educated for the church 「もしも万一彼が教会のための教育を受けるのならば」 次の But 以下で述べられているように、フランクリン少年が教育を受けられる可能性が低いのでここでは in case という接続詞が使われているのである。
- (14) Mr. Franklin found it so difficult to provide... 「フランクリン氏は、...を供給することをとても困難だと思った」 it は仮目的語で、to provide 以下を指している。find it 形容詞 to do 「...するのを~だと思ふ」 bread はもともと「パン」という意味だが、伝統的に「食糧、糧」の意味でも使われ、この文では後者の用法。so difficult..., that..., it became necessary to... 「あまりにむずかしく(思われたので)、...することが必要になった」 so 形容詞 that 「あまりに~なので...」の構文。it は to take him from school 「学校から彼を取り去ること」つまり「彼を学校から退学させること」を指す仮主語。
- (15) fill A with B 「A を B で満たす」 mold 「鋳型」 tallow 「獣脂」
- (16) 2 は第3段落の後半部 Mr. Franklin was considered a person of great wisdom and integrity... に一致。5 は第6段落の But I have a large family to support, and cannot afford the expense という部分に一致する。

## 全文訳

1716年に、というか、おおよそそのあたりの時期に、1人の少年がボストンの通りで見かけられたものだった。彼は、学校の友達や遊び仲間の中で、ベン・フランクリンという名で知られていた。ベンは、1706年に生まれたので、その頃はだいたい10歳くらいだった。彼の父親は、英国からやってきたのだが、石鹼製造人且つ獣脂ろうそく製造人であり、オールド・サウス教会から遠くないミルク街に住んでいた。

ベンは、勉学において利発な少年であったが、仲間と遊んでいる時には、それ以上に利発な少年だった。②彼にはいくつかの非凡な素質があって、それゆえに、スポーツにおいても、もっと深刻な事柄においても、いつも指揮をとることになるようだった。私はあなたに、彼に関するおもしろい逸話をたくさん話すことができるだろう。あなたは、笛についての彼の有名な話を知っているだろうと思う。どのように彼が笛をポケットいっぱいの銅で買って、そして後にどのようにその買い物を後悔したかということを知っているだろうと思う。しかしベンは、それらの日々以来、立派な少年に育ち、経験から知恵を得てきた。というも、④どんなできごととも貴重な教訓を与えることなしに彼に降りかかることはなかったということが、彼に特有なことの1つだったのである。そのようにして、多くの人々が、彼らに訪れるもっとも好ましいできごとから得るよりも多くのことを、彼は概して不運から得たのだった。

ベンの顔は、すでに、ボストンの住人にかなりよく知られていた。理事や他の名士たちは、街や州でのできごとについて話し合うために、しばしば彼の父を訪問したものだ。フランクリン氏は、石鹼を作ったり獣脂ろうそくを作ったりという、つましい仕事で家族を養ってはいたものの、偉大な知識人であり誠実な人物であるとみなされており、彼を知るすべての人に尊敬されていた。

父親と訪問者たちが、公共的な事柄について深刻な相談をしている間、小さなベンは、よく、隅の椅子に座って、あたかもすべてのことばを理解しているかのように、非常な興味を持って聞いていたものだった。実際、彼の顔は知性に溢れていたので、(10)彼が話の内容を理解しているだけでなく、頭の中で考えている何らかの非常に賢明な見解を示すことさえ、ほとんど疑いなく、あり得そうであった。しかし、当時は、少年たちは、年長者がいる時にはおとなしくしているものだとしていたのだった。しかしながら、ベン・フランクリンは、やがて賢明に話し、賢明に行動するようになる、非常に有望な若者であるとみなされていた。

「隣人フランクリンよ」彼の父親の友人たちは、ときどきこのように言ったものだった。「(12)君は、この少年を大学へ行かせてやって、聖職者にしてやるべきだよ」

「私もよく、そのことを考えているよ」と彼の父親は応えたものだった。「(13)私の兄のベンジャミンが、もしも万一私の息子が教会のための教育を受けるのならば、説教の本をたくさんやると約束してくれているんだよ。でも、私には養うべき家族が大勢いて、費用の余裕がないんだ」

実際、(14)フランクリン氏は、家族の生活の糧を得ることがとても困難だったので、10歳の時に、ベン少年に学校をやめさせなくてはならなかった。ベンは、その後、ろうそくの芯を同じ長さに切りそろえたり、型に獣脂を注いだりする仕事をした。そして、ボストンの多くの家族は、彼が作るのを手伝ったろうそくの明かりで、夜を過ごしたのだった。ご承知の通り、このように、大人になってからと同じように、子どもの頃にも、彼の仕事は暗い物事に光を投げかけることに貢献したのである。

## 72 あいまいな言葉遣い

Equivocation means using words ambiguously. Often done with intent to deceive, it can even (1)deceive the person who is using the expression. Equivocation occurs when words are used with more than one meaning, even though the soundness of the reasoning requires that the same use be kept throughout.

‘Happiness is the (2)end of life.

The (3)end of life is death;

So happiness is death.’

‘Half a loaf is better than nothing.

(4)( ) is better than good health;

So half a loaf is better than good health.’

Equivocal use of words is misleading because it invites us to transfer what is true of one concept onto another concept which happens to have the same name. Logic, which deals with the relationship between concepts, is useless if the concepts themselves change.

‘Elephants are not found in Britain, so if you have one,

don’t lose it or you will never find it again.’

(The word ‘found’ represents (5)two different concepts here.)

Many of the equivocal uses are easy to spot. Many more of them are not. (6)Fortunetellers specialize in equivocal expressions to protect themselves in case things turn out otherwise than they expect. Politics would be a totally different art if it had to avoid equivocation. So would business (7)correspondence.

‘You can rest assured that (8)your letter will receive the attention it full deserves.’

(As it makes a gentle curve in the air towards the waste paper basket.)

‘Anyone who gets Mr Smith to work for him will indeed be fortunate.’

Puns and music hall jokes often depend on equivocation.

‘My dog’s got no nose.’

‘(9)How does he smell?’

‘Terrible!’

The advice given to a political candidate facing a selection committee is ‘When (10)in doubt, equivocate.’ The simple fact is that you cannot please all of the people all of the time, but you can have a fairly good chance of (11)fooling most of them for much of (12)it. (13)The candidate assures those in favor of the death penalty that he wants ‘realistic’ penalties for murder. (14)To those against, he wants ‘humane consideration.’ But he could be in favor of realistic light (15)(paragraphs, sentences, words) or humane killing.

Equivocation is a particularly powerful paste for pouring into the cracks of international (16)(accord, concord, discord, record). It joins irreconcilable differences with a smooth and undetectable finish. Many ‘full and frank’ discussions are terminated happily by the appearance of a joint treaty, whose wording is carefully chosen to mean (17)( ) things to each of the countries that have signed it.

The vocabulary of equivocation may be learned from the visitors’ gallery in the Houses of Parliament. (18)If you have a seat in Parliament, there is nothing you have to learn about it.

## 設問

(1)下線部の意味として正しいものを次から選べ。

1. だました人にだまされる
2. 自分が論理のわなにはまる
3. 嘘をついたために損をする
4. 言葉のトリックを見破られる

(2)(3)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. aim
2. last day
3. means
4. termination

(4)空所にあてはまる適語を答えよ。

(5)下線部における2つのconceptとは何か、日本語で説明せよ。

(6)下線部を和訳せよ。

(7)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

1. coincidence
2. communication
3. harmony
4. similarity

(8)下線部は2通りの意味に解することができる。それらにもっとも近いものを次から2つ選べ。

1. we will be honest in replying to your letter
2. we will offer you good advice in response to your letter
3. your letter will be considered carefully because it is important
4. your letter will be dealt with carefully because it may cause some trouble
5. your letter will not be taken seriously because it is not worth bothering about

(9)下線部では、話し手と聞き手の間に smell という語についての誤解がある。それぞれの解釈にしたがって、下線部を2通りの日本語に訳し分けよ。

(10)下線部の言い換えとしてもっとも適当なものを次から選べ。

1. if you are not sure what to say
2. if you are suspected of dishonesty
3. if you are afraid of being deceived
4. if you don't think you will be selected

(11)下線部と近い意味の動詞を本文中から抜き出せ。

(12)下線部の具体的内容を本文中から抜き出せ。

(13)下線部の The candidate は、death penalty についてどのようにうまく立ち回ったか、日本語で説明せよ。

(14)下線部を、後に省略されている語句を補って和訳せよ。

(15)(16)カッコ内の語句のうち正しいものを選べ。

(17)空所にあてはまる適当な語句を次から選べ。

1. entirely different
2. exactly the same
3. fairly indefinite
4. utterly unreasonable

(18)下線部の説明として正しいものを次から選べ。

1. If you are a politician, you must already be good at equivocation.
2. You don't have to know the art of equivocation in the world of politics.
3. You should have studied the art of equivocation before entering Parliament.
4. If you are clever enough to be a politician, there is no need to resort to equivocation.

## Further Expressions

### 《わざと、悪意で》

We often use ambiguous words intentionally. 【意図的に】

We often use ambiguous words deliberately. 【わざと】

We often use ambiguous words on purpose.

We often use ambiguous words to deceive someone. 【だます】

We often use ambiguous words to take in someone.

### 《予想する》

The fortuneteller cannot always foresee the future. 【予見する】

The fortuneteller cannot always forecast the future.

The fortuneteller cannot always predict the future. 【予言する】

The fortuneteller cannot always foretell the future.

The fortuneteller cannot always prophesy the future.

His predictions are not always right. 【予言】

## 解答

(1)2 (2)1 (3)4 (4)Nothing (5)「発見される、見つげられる」という意味と「いる、存在する」という意味。(6)全文訳参照 (7)2 (8)3,5 (9)「その犬はどのようにかくのか?」「その犬はどのようになおいがするのか?」(10)1 (11)deceive (12)the time (13)死刑賛成派の人には「現実的な」罰を望む、反対派の人には「人道的な配慮」を求める、とあいまいな表現を用いることで、実際のところ死刑に賛成するか反対するかを明言しない。(14)死刑に反対している人々には(15)sentences(16)discord (17)1 (18)1

## 解説

- (1)deceive「だます、欺く」itはequivocation「あいまいなことば遣い」を指す。「だます目的で使っておきながら、自分の使ったことばで本人もだまされる」のだから、「自分で自分の論理にはまった」のである。
- (2)end「(究極の)目的」aimが近い。Happiness is the end of life「幸福は人生の目的である」
- (3)end「終わり」terminate「終わらせる」の派生語である termination「終わり、結末」が近い。The end of life is death「人生の終わりは死である」
- (4)nothing「ない」と「なににもない」を使ったequivocation。loaf「パン1個」
- (5)findは「見つける、発見する」という意味であるが、Elephants are not found in Britainと言うと「象はイギリスには存在しない」という意味になる。ここでは後者の意味で言っておきながら、don't lose it or you will never find it again「それをなくしてはいけない。さもないと2度と見つからないだろう」と言っているからおかしいのである。
- (6)fortunetellers「占い師」specialize in A「Aを専門に研究する」in case...はこの場合「...という場合に備えて、...ということがないように」という意味である。otherwise than ~「~とは異なった」in case things turn out otherwise than they expect「万が一、事が予想通りに運ばなかった場合に備えて」
- (7)correspondenceには「一致すること」「相当すること、類似」「文通、通信」という意味があるがここではbusiness correspondenceで「商業通信」である。よって2.communicationが近い。1.coincidence「同時発生、一致」
- (8)attention「配慮、考慮」attention which it full deserves「それが十分に値する配慮」下線部は、「あなたの手紙はその価値に値する配慮がなされます」という意味となり、手紙の内容がくだらなかつたとき、それ相応の配慮(つまり重視されない)がなされ、手紙の内容がよかつたときも、それ相応の配慮(つまり重んじられる)がなされる。たいていは前者として扱われるであろうことが直後のかっこ内にかかっている。
- (9)smellには、「においをかぐ」と「においがする」のふたつの意味がある。つまり、how does he smell?には「どうやって嗅ぐの?」と「どんなにおいがするの?」のふたつの意味がある。
- (10)When (you are) in doubt「迷ったときは」equivocate「あいまいなことばを言う」ここでは命令形で使われている。equivocationはその派生語。
- (11)fooling「だすこと、ごまかすこと」you can have a fairly good chance of fooling most of them「あなたには彼らをごまかしておける見込みがかなりある」第1段落の2文目にあるdeceive「だます、あざむく」が近い。
- (12)most of them for much of itはその前のall of the people all of the time「すべての人々を常に」と対になっている。つまりitはthe timeを指している。すべての人々を常に満足させることはできないが「ほとんどの人々を、多くの時間」ごまかすことはできる、と言っているのである。
- (13)死刑賛成派の人にはhe wants 'realistic' penalties「現実的な罰を望む」と言い、一方反対派の人々にはhe wants 'humane consideration'「人道的な配慮を望む」と言う。だが実際に死刑賛成するのか、反対するのかが明言しないことで「現実的な軽い判決や、人道的な極刑(安楽死)」に賛成する可能性を残しておく。つまりあいまいな言葉をつかうことで、賛成とも反対とも取れるようにしているのである。
- (14)To those (who are) against (the death penalty)「死刑反対の人々」thoseは「人々」の意味で使われている。against「反対して」for「賛成して」
- (15)sentencesが正解。「文」という意味があるがここでは「宣告、判決」の意味である。he could be in favor of realistic light sentences or humane killing「彼は現実的な軽い判決や人道的な極刑に賛成するかもしれない」
- (16)discord「不和、争い」が正解。the international discord「国家間の不和」accord「一致」concord「一致、協調」
- (17)international discord「国際的不調和」が生み出すirreconcilable differences「相容れない相違」を

join「結合させる」ために、どの国にもよいように多様な解釈が可能な条約が必要になるのである。  
1.entirely different「まったく異なる」が正解。2.exactly the same「まったく同じ」 3.fairly indefinite「かなり不明瞭な」 4.utterly unreasonable「まったく理不尽な」

(18)Parliament「国会」 there is nothing you have to learn about it「それに関して学ばねばならないことは何もない」つまり、「すでにあいまいなことは遣いを習得しているからこそ国会議員に選ばれた」のである。3 は「国会に入る前に君はあいまいな言葉遣いの技術を学ぶべきであった」の意味で、後悔を示す表現となっているので誤り。「国会に入る人はみなあいまいなことは遣いができる」のである。art「技術、業」

## 全文訳

"Equivocation"(あいまいなことは遣い)というのは、ことばをいろいろな意味に取れるように、多義的に使うことである。それはしばしば人を騙そうとして用いられるが、その表現を用いた本人を騙すことさえありうる。あいまいなことは遣いは、たとえ正しい論理性が、同じ用法を一貫して用いることを要求していても、ことばがふたつ以上の意味をもって使われるときに生じる。

「幸福は人生の end(目的)である。

人生の end(終わり)は死である。

よって、幸福は死である。」

「半分のパンでも nothing(ない)よりはましである。

健康にまさるものは nothing である(なにもない)。

よって、半分のパンは健康に勝る。」

ことばをあいまいに使うことが人を惑わすのは、それによって私たちが、あるひとつの正しい概念から、たまたまその概念と同じ名前をもっている別の概念にひきよせられてしまうからである。論理は、概念同士の間の関係を扱うものであるが、もしその概念自体が変わってしまったら役立たずである。

「イギリスでは象は not be found (いない/みつからない)、だから、もしあなたが象を飼っているなら、それをなくしてはいけぬ。さもないと、you will never find it again.(2度と見つからないだろう)。」(ここでは、"found"ということばがふたつの異なった意味を表している)

あいまいなことばの使用は、多くの場合簡単に見抜くことができる。だが、簡単に見抜くことができない場合のほうがそれより多い。(6)占い師は、万が一事が予想通りに運ばなかった場合に備えて、自己防衛のために、あいまいなことは遣いを専門的に研究している。政治は、もしあいまいなことは遣いを避けなければならないとしたらまったく違う技術になっていたであろう。それは商業通信でも同じことである。

「貴殿の書簡はその価値に十分値するような配慮をさせていただきたく所存ですのでなにとぞご安心ください。」

(その時その手紙は、ゴミ箱へ向かって宙に緩やかな曲線を描いている)

「スミス氏に働いてもらえる人は、実に幸せものでしょうね。」

だじゃれや、寄席でのジョークはしばしばあいまいなことは遣いに依存している。

「うちの犬は鼻がないんだ。」

「じゃあ、臭いは？」

「それがくさいんだよ！」

選定委員会に臨む立候補者に与えられるアドバイスは、「どう言うか迷ったら、あいまいなことは遣いを使え」である。有り体に言ってしまうと、すべての人を常に満足させることはできないが、大方の人を大方の時間ごまかしておける見込みはかなりある、ということである。立候補者は、死刑賛成派の人々には自分が殺人罪に対して「現実的な」罰を望むことを断言する。反対派の人々には、「人道的な配慮」を求めることを断言する。しかしこの立候補者は、現実的な軽い判決とか、人道的な極刑に賛成するかもしれないのである。

あいまいなことは遣いはとくに、国家間の不和というひびに注入する強力な接着剤となる。それは国同士の相容れない差異を接合して、なめらかで目立たない仕上がりにするのである。多くの「十分に率直な議論」は協定文書の出現によってうまくおさまるのである。なぜなら、その文書は、調印した国それぞれにとってまったく異なったことを意味するように、注意深くことばを選んで書かれているからだ。

あいまいなことは遣いの語彙は、議会の傍聴席から学ぶことができるかもしれない。もし議会議席をお持ちなら、それについて学ぶべきことは何もないはずである。

## 73 歴史から学ぶもの

We all remember the kind of history we were taught at school. (1)It was a queer sort of stuff, which aimed at doing two things; it endeavoured in the first place to nourish us on a diet of facts, and in the second to provide us with a set of “correct” opinions.

The facts consisted (2)( ) isolated pieces of information. They told us the year in which William I (3)came to the throne, the Christian names of Edward III's wives, and what Henry VIII had for his dinner on his fortieth birthday.

(4)Why we were told these things we did not know, and it is probable that our teachers knew no better than we did. (5)Certainly we had no notion of what sort of people they were about whom these facts were recorded; we knew nothing of the lives they lived, the customs they (6)observed, or the civilization they achieved. History, indeed, seemed to have (7)(little, much) to do with (8)people; it was full of kings and generals, of great men and of bad men, but of common men, who were neither great nor bad, it had nothing to say. To judge from the number of battles that figured in these records, the great men and the bad men, the kings and the generals, were a bloodthirsty lot, usually (9)at each other's throats; but (10)the extent to which the wars affected the civilian population was a matter on which history was silent.

Since the facts we had accumulated meant nothing to us, we forgot them as soon as we conveniently could, (11)( ) the result that we grew up into men and women, and, (12)( ) is more, into citizens governing a great Empire, and (13)we knew nothing about history at all.

But our history teachers were not content that we should get our facts right; our opinions had to be right as well. Right opinions in this connection mean (14)patriotic opinions. (15)It is necessary that the young citizen should think his country deserving of support into whatever quarrel she may enter; her history, therefore, should be such as to win his admiration.

設問

- (1)(4)(5)(10)(15)下線部を和訳せよ。  
(2)(11)(12)空所にあてはまる適語を答えよ。  
(3)(6)(9)下線部と近い意味の語句を次から選べ。  
(3) 1. became a Christian 2. became a king 3. married 4. was born  
(6) 1. followed 2. noticed 3. stated 4. watched  
(9) 1. competing with each other 2. cooperating with each other  
3. fighting with each other 4. finding fault with each other  
(7)かっこ内の語句のうち正しいものを選べ。  
(8)下線部と近い意味の語句を本文中から抜き出せ。  
(13)下線部の具体的理由を日本語で答えよ。  
(14)下線部の意味を次のように表したとき、空所にあてはまる適語を答えよ。  
having great love of one's ( )

**Further Expressions**

**《対立する》**

The men were fighting each other. 【戦う】

The men were quarrelling each other. 【口論する】

The men were conflicting with each other. 【論争する】

The men were falling out with each other. 【けんかする】

The men were at each other's throats. 【いがみ合う】

**《から考えると》**

To judge from the number of battles, they were always fighting. 【～から判断すると】

Judging from the number of battles, they were always fighting.

Considering the number of battles, they were always fighting. 【～を考慮すると】



## 解答

- (1)全文訳参照 (2)of (3)2 (4)全文訳参照 (5)全文訳参照 (6)1 (7)little (8)common men  
(9)3 (10)全文訳参照 (11)with (12)what (13)断片的な歴史的事実は無意味なもので、私たちは都合よくすぐ忘れて、そのまま大人になり、さらに一国の指導的国民にもなっていたから。  
(14)country (15)全文訳参照

## 解説

- (1)It was a queer sort of stuff 「それは奇妙なものの一種だった」 a sort of A 「A のようなもの、A の一種」 stuff 「もの、こと」 staff 「職員、スタッフ」との違いに注意。which aimed at doing two things 「2 つの行うことを目標にする(ところのもの)」 aim at A 「A をねらう、A を目指す」；以下でその 2 つの内容を説明する。endeavour to 不定詞「～しようと努める」 in the first place 「まず第一に」 後の in the second 「第二に」と対応している。nourish A on B 「B で A を育てる、養う」 a diet of facts 「事実という食物」 of は同格「～という」の用法。provide A with B 「A に B を供給する(=provide B for A)」 a set of “correct” opinions 「一連の“正しい”見解」  
(2)consist of A 「A からなる(=be made up of A)」 consist in A 「A にある」との違いに注意。The facts consisted of isolated pieces of information. 「この事実というのは断片的な情報から成り立っている」  
(3)William I came to the throne 「ウィリアム 世が即位した」 throne 「王座、王権」 come to throne 「王位につく」 よって 2.became a king が近い。  
(4)Why we were told these things we did not know 「これらのことをなぜ言われたのか私たちは知らなかった」は目的語(Why we were told these things)が主語 + 動詞の前に出た倒置構文。We did not know why we were told these things.と同じ意味になる。and it is probable that our teachers knew no better than we did. 「そしておそらく私たちと同じくらい、私たちの先生もわかってはいなかった」 it is probable that ~ 「たぶん～だろう」 no+比較級 + than + A 「A より～というわけではない、A と同じくらい～」 know no better than A 「A と同じ程度しかよく知らない」 better に no がついているので、「～しか」という否定的なニュアンスで書かれている。

### ◇倒置が起こるとき

◎so, neither, nor で文が始まる時 < So[Neither] + V + S >

I hear she loves oranges. So do I. 彼女はオレンジが好きだそうだ。僕もだよ。

You cannot play rugby. Neither does he. 君はラグビーができない。彼もだよ。

◎if を省略するとき

Had I known the truth, I would have told it to you. もし真実を知っていたら、君にもう話したよ。

◎< 形容詞[副詞] + as + S + V > : 「...だけれども」 < 動詞 + as + S + 助動詞 > : 「...したけれども」

Poor as they are, they are happy. 彼らは貧しいが、幸せだ。

Try as he would, he could not move the rock. どんなにやってみても、彼は岩を動かせなかった。

◎補語が文頭に来的时候 < 補語 + V + S >

Wide is the gate, and broad is the way, that leads to destruction.

滅びに到る門は広くその道も広い。

目的語が文頭に来的时候 < 目的語 + S + V >

What will happen in the future no one can tell. 将来何が起こるか誰にもわからない。

◎否定語が文頭に来的时候 < 否定語 + 疑問文の語順 >

No sooner had he arrived there than she started crying. そこに彼が着くと彼女は泣き出した。

Little did I dream that he has a son. 彼に子どもがいるなんて夢にも思わなかった。

Not until yesterday did I know of the event. 昨日になって初めてその出来事を知った。

- (5)Certainly we had no notion of A 「確かに私たちは A について全く知らない」直訳すれば「A の概念をまったく持ち合わせていない」となる。what sort of people they were 「彼らがどのような種類の人々であったかということ」 about whom these facts were recorded 「これらの事実が記録されているところの人々」 whom は they にかかる関係代名詞で、about は record about A 「A について記録する」の about が関係代名詞の前についたものである。  
(6)the customs they observed 「彼らが守っていた習慣」 observe は「観察する、気づく、述べる」という意味もあるが、この場合は「(法律などを)守る」という意味である。1.followed が近い。  
(7)have ~ to do with A 「A と ~ の関係がある」 ; の後に it was full of kings and generals, ...but of common men 「それ(歴史)は国王や将軍...に満ちていたが、普通の人々はそうでなかった」とあるので、「歴史と人々はほとんど関係がないように思えた」とするのが正しい。正解は little。  
(8)ここで言う people とは、歴史に記述されるような有名なひとではなく「一般的な人々、市民」のことである。 ; 以下に kings や generals らと対比的に用いられている言葉、common men が同じ意味である。

- (9)be at each other's throats「互いにいがみ合っている、争っている、けんかしている」 throat「のど」 be at each other's throats は「ふたつの立場がお互いに合意点を見出せないため、ときに暴力的な方法で争うこと」の意味であり、compete with のような「他人より成功しようと、競い合う」とはニュアンスがずれる。たとえば management「経営者」と union leader「労働組合代表」は、compete する関係というよりむしろ、be at each other's throat の関係である。よって 3.fighting with each other が近い。
- (10)the extent...was a matter「(...)の程度は問題であった」が基本的な文の構造である。the extent to which the wars affected the civilian population「戦争が一般の人々に影響を及ぼした程度は」which は extent を先行詞とする関係代名詞。the wars affected the civilian population to the extent「戦争はその程度まで一般の人々に影響を及ぼした」の extent を前に出して関係文にしたため、前置詞 to が which の前に出ている。civilian population「一般の人々」 a matter on which history was silent「歴史が黙った問題」 which は matter を先行詞とし、その前に be silent on A「A について黙っている、言及しない」の on がついた形である。関係代名詞の元の文は history was silent on a matter「歴史はある問題について黙っている」となる。
- (11)with the result that...「その結果...ということになる」 as a result of A「A の結果として」との違いに注意。with the result that we grew up into men and women「その結果私たちは大人になった」
- (12)what is more「その上、おまけに(=moreover)」
- (13)we know nothing about history at all.「私たちは歴史についてまったく知らなかったのだ」その理由は同段落 Since the facts we had were...に述べられている。歴史的事実は前段落にあるように断片的なもので、意味がない。私たちはすぐ忘れてしまい、結果としてそのまま大人になってしまった。だから今私たちは歴史について何も知らないのだと言っているのである。
- (14)patriotic opinions「愛国的な意見」 patriotic「愛国的な、愛国心の強い」という意味である。愛国とは祖国を愛することであるから、having great love of one's country「自分の国をとて愛すること」となる。
- (15)think his country deserving of support「彼の国は支持する価値があるのだと考える」 SVOC の文。his country が O で、deserving が C にあたり、「国を価値があるものと考えろ」という構造になっている。into whatever quarrel she may enter「たとえどんな紛争に彼女が突入しようと」into は enter into A「A に入る」の into が前に出た形である。she は country を指す。一般に、古い名残りで country は she で受けることがある。以下は前文を受けて結論づけている。such A as to 不定詞「～するほどの A」A にあたる her story は主語として前に出ている。her は国を指す。win his administration「彼の賞賛を得る」 his とは前にある young citizen のことである。

## 全文訳

私たちはみな、学校で習った類の歴史を覚えている。(1)それは二つのことを行うことを目標とする、奇妙なものだった。つまりそれは第一に、歴史的事実という食物を与えて私たちを育てようとし、第二に一連の「正しい」見解を私たち備えつけるのである。

この歴史的事実というのは断片的な情報から成り立っている。私たちはウィリアム 世の即位した年や、エドワード 世の妻の洗礼名、それにヘンリー 世が 40 歳の誕生日の晩餐に何を食べたか、といったことを教わった。

(4)なぜ私たちがこれらのことを教えられたのか、私たちは知らなかった。そしておそらくは私たちと同じくらい、教師もわかってはいなかった。(5)確かに私たちは、これらの歴史的事実が記録されている人々が、どんな人間であったのかまったくわからないのだった。彼らの生活、守っていた慣習、あるいは成し遂げた文明についてはまったく知らなかった。歴史は、実際、一般の人々とはほとんど関係がないように思えた。それは国王と将軍、偉大な人間と悪人で満ちていて、偉くも悪くもないような普通の人間についてはなにも語る事がなかった。これらの記録に現れる戦いの数から判断するに、偉大な人と悪人、国王と将軍は、とても血に飢えていて、たいいて互いにいがみ合っていた。しかし(10)戦争が一般の人々にどれだけの影響を及ぼしたのかということについて、歴史は黙ったままであった。

私たちが脳に蓄積した事実たちは、私たちにとって無意味なものだったので、都合よくもできるだけ早く忘れてしまった。その結果、私たちは大人になり、さらに、一国家を指導する国民となったが、歴史のことはまったく知らなかったのである。

けれど私たちの歴史の教師は、私たちが事実をちゃんと覚えるだけでは満足しなかった。私たちの見解も同様に正しくなくてはならないのだ。ここでいう正しい見解というのは愛国的見解を意味している。(15)若い市民は、たとえどんな紛争に突入しようと、自分の国は支持する価値があるのだと考える必要があるのだ。それゆえその歴史は、彼の賞賛を得るものでなければならぬのである。

## 74 音楽と数学

Until recently, studying music in school was regarded as (1)a luxury. A child's math and language skills or scientific problem solving were considered to deserve the major portion of the curriculum, while music, art, and other related subjects received only (2)passing attention at (3)(last, least, most, worst). Music teachers faced (4)competing demands from extra lessons, sports practice, and play rehearsals. But with the help of science, (5)this erosion of time devoted to music looks like being halted and even (6)reversed.

According to one scientific study, music raises the learning capacity in so-called "hard" subjects as mathematics and physics in addition to language (7)acquisition, and this should help restore a more balanced curriculum. (8)Researchers, in the paper on music and spatial task performance, reported that listening to as little as ten minutes of Mozart's music produced an elevation in brain power lasting ten to fifteen minutes, a finding that triggered much of the current interest in the positive effect of music on learning.

The observation of the close relationship between music and mathematics stretches back for a couple thousand years. Pythagoras acknowledged the importance of proportion in harmony and melody. Mozart's sudden musical development, too, shows math and music are connected. The musical genius was (9)initially (10)cool towards the profession that would later bring him great fame, leading a happy and not too burdened childhood, learning his lessons, whatever they were, easily and quickly. (11)Then Mozart suddenly exploded with a passion for music, filling every bit of space in the house with scribbled figures after he learned the fundamentals of arithmetic. His passion for music was closely connected to his understanding of mathematics.

Moreover, there are even recent findings that further clarify the linkage. Researchers connected the discovery to a complex theory about the way our minds are organized. (12)In essence, scientists are saying higher mental operations such as music and mathematics use a common, structured, and spatial-temporal language that allows people including children to work across seemingly unrelated academic disciplines that are tied together by this communication link.

The relationship between music and the scientific subjects or language learning is, as a matter of fact, highly (13)controversial. There are (14)some studies that have thrown doubt upon it. In any case, playing music and singing use a wide range of senses. Being able to integrate these and produce a satisfying (15)synthesis is a powerful experience for children, deserving greater appreciation than has been given (16)thus far. (17)When learning like this happens in a chorus or orchestra, the total effect is even more potent. (18)What other school activity cultivates a strong community spirit, helps us learn languages, increases our mathematical and scientific capacity, and puts us in touch with our musical heritage?

## 設問

(1)(2)(4)(9)(10)(16)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

- (1) 1. something desirable and respectable    2. something expensive and unnecessary  
3. something expensive but necessary    4. something important but difficult

- (2) 1. among few people    2. extremely bad  
3. for a short time    4. rather superficial

- (4) 1. incapable    2. incompatible    3. incredible    4. indispensable

- (9) 1. at first    2. at first sight    3. for the first time    4. in the first place

- (10) 1. excellent    2. impudent    3. not enthusiastic    4. not friendly

- (16) 1. as far    2. by far    3. so far    4. too far

(3)かっこ内の語句のうち正しいものを選べ。

(5)下線部の具体的内容を日本語で説明せよ。

(6)下線部の本文中での意味に最も近いものを次から選べ。

1. 音楽についての科学研究が進歩した
2. 音楽についての科学研究が後退した
3. 音楽の授業時間が増えた
4. 音楽の授業時間が減った

(7)下線部の動詞形を答えよ。

(8)(11)(12)(17)(18)下線部を和訳せよ。

(13)下線部と近い意味のものを次から選べ。

1. 相反する    2. 議論の好きな    3. 議論の余地のある    4. 強く主張される

(14)下線部を、it の具体的内容を明示して和訳せよ。

(15)下線部の反意語を答えよ。

### **Further Expressions**

#### **〈実は〉**

As a matter of fact, the relationship between music and science is controversial. 【実は】

In fact, the relationship between music and science is controversial.

To tell the truth, the relationship between music and science is controversial.

#### **〈そのうえ〉**

Moreover, there are even recent findings that further clarify the linkage. 【そのうえ】

Furthermore, there are even recent findings that further clarify the linkage.

Besides, there are even recent findings that further clarify the linkage.

In addition, there are even recent findings that further clarify the linkage.

On top of that, there are even recent findings that further clarify the linkage.

What is more, there are even recent findings that further clarify the linkage.

#### **〈増やす〉**

Other school activities increase our mathematical and scientific capacity. 【増やす】

Other school activities add to our mathematical and scientific capacity.

Other school activities enlarge our mathematical and scientific capacity. 【大きくする】

Other school activities enhance our mathematical and scientific capacity.

Our mathematical and scientific capacity is on the increase. 【増加している】

## 解答

(1)2 (2)3 (3)most (4)2 (5)算数など他の教科のために音楽にあてられる時間が削られること  
(6)3 (7)acquire (8)全文訳参照 (9)1 (10)3 (11)全文訳参照 (12)全文訳参照 (13)3 (14)音楽  
と科学に関連する科目や言語学習との間の関係に疑いを投げかける研究 (15)analysis (16)3 (17)  
全文訳参照 (18)全文訳参照

## 解説

- (1)luxury「贅沢」よって 2.something expensive and unnecessary「高価で不必要なもの」が正解。  
1.something desirable and respectable「望ましく、きちんとしたもの」
- (2)passingは「通過する」という意味から転じて「一時の」よって3が正しい。2.extremely bad「極端に悪い」4.rather superficial「かなり表面的な」ratherには「かなり」という程度を表す意味もある。passing attention「一時的な注意」
- (3)music...received only passing attention「音楽や...は一時的な関心を向けられるだけだ」と言っているのだから、at most「せいぜい」が正しい。at last「ついに」at least「少なくとも」at worst「最悪の場合でも」
- (4)competing demands「両立しない要求」competing「両立しない」は compete「競い合う」の派生語。2.incompatible「両立しない」が正解。incompatible compatible「両立できる、相いれる」  
1.incapable「無力の、...できない」3.incredible「信じられない」4.indispensable「欠くことのできない」
- (5)this erosion of time「この時間の侵食」侵食とは、他の教科に多くの時間をとるために音楽の時間が削られることである。
- (6)with the help of science, this erosion of time...even reversed「科学のおかげでこの時間の侵食は...反転してさえいるようだ」this erosion time devoted to music「音楽にあてられる時間の侵食」devote to A「Aにささげる、Aにあてる」look like A「Aであるように思われる」halt「とめる、中止する」reverse「逆転させる」他の教科などによって削られていた音楽の時間が、逆に増やされるようになったと言っている。3.音楽の授業時間が増えた、が正解。
- (7)acquisition「習得」の動詞形は acquire「獲得する、知識などを身につける」
- (8)in the paper on music and spatial task performance「音楽と空間操作能力に関する論文において」paper「論文」spatialはspace「空間」の派生語。spatial task performance「空間の課題遂行能力」主語はlistening、動詞はproduced、目的語はan elevation。as little as ten minutes of Mozart's music「モーツァルトの音楽の10分程度」produced an elevation in brain power lasting ten to fifteen minutes「頭脳の力において10分から15分続く高まりを生んだ」lastingはelevationを修飾している。a finding「発見」はResearchers...reportedの後のthat節と同格。つまり、文法的にはreportedにつながり「...という発見を報告した」となるが「これは...という発見である」と意識してもよい。a finding that triggered much of current interest「最近の関心をひきおこした発見」thatは関係代名詞の主格用法。trigger「引き起こす、きっかけとなる」interest in A「Aに対する関心、興味」effect on A「Aに対する影響」the positive effect of music on learning「学習に対する音楽のよい影響」
- (9)initially「初めは」1.at first「最初は、初めは」が正解。2.at first sight「一見したところ」3.for the first time「初めて」4.in the first place「まず初めに、まず第一に」
- (10)cool「冷たい、ひややかな」だから3.not enthusiastic「熱心でない」が正解。1.excellent「優秀な、素晴らしい」2.impudent「厚かましい」cool towards the profession「その職業に対して冷ややかである」
- (11)explode with A「A(感情)が爆発する、Aを突然あらわにする」a passion for music「音楽に対する情熱」filling以下は分詞構文。Mozart suddenly exploded with a passion for musicの具体的内容を説明している。filling A with B「AをBでうめる、満たす」every bit of space「どんなわずかな空間(をも)」scribbled figures「書きなぐられた数字」fundamental「基本、基礎」arithmetic「算数」
- (12)in essence「本質的には」scientists are sayingのあとにthatが省略されており、それ以下はすべてthat節の中身(科学者の言っている内容)である。higher mental operations such as music and mathematics「音楽や数学のようなより高度な知性の活動」mental「知性の」operation「活動」such as A「Aのような」use a common, structured, and spatial-temporal language「共通の、構造化された、空間的かつ時間的な言語を使用する」spatial-temporal「空間的かつ時間的な」language that allows people...to work across...academic disciplines「人々に諸学問を越えて勉強することを可能にする言語」people including children「子どもたちを含む人々」workはここでは「勉強する」seemingly unrelated「一見関係のない」academic disciplines「諸学問、学問の諸分野」

- academic disciplines that are tied together by this communication link「この意思疎通の連結によって一緒に結び付けられた諸学問」 this communication link とは language を指している。
- (13)controversial「議論の余地がある」 その後の文である There are some studies that have thrown doubt upon it.からも単語の意味を推測できる。
- (14)it は前文の The relationship between music and the scientific subjects or language learning 「音楽と科学系科目や言語習得の関係」を指す。some studies「ある研究」 throw doubt upon A「Aに疑いをかける」
- (15)synthesis「総合、統合、合成」 analysis「分析、分解」
- (16)thus far=so far「これまでは、いままでのところ」 so far には「そこまで、その程度まで」という意味もある。 2.by far は比較級や最上級を強めて「はるかに」 deserving greater appreciation than has been given so far「これまで与えられてきた以上の大きな評価に値する」
- (17)learning like this「このような学習」 happens in a chorus or orchestra「コーラスやオーケストラの中で生じる」 the total effect is even more potent.「全体の影響はいつそう強くなる」 even は比較級の強め。 potent「勢力のある、強大な、影響力の大きい」
- (18)What other school activity「どんなその他の学校活動」が主語で、cultivates, helps, increases, puts がそれに続く動詞である。cultivates a strong community spirit「強い共同体精神を養う」 help us learn languages「私たちが言語を習得するのを助ける」 help + 人 + 原形で「(人)が...するのを助ける」 increase our mathematical and scientific capacity「私たちの数学や科学の能力を推進させる」 puts us in touch with our musical heritage「私たちの音楽的遺産に私たちを触れ合わせる」 put + A + 副詞句「A を ~ な状態にする」 put us in touch with A「私たちが A に触れた状態にする」 heritage「遺産」

## 全文訳

つい最近まで、学校で音楽を習うことは、贅沢だと見なされてきた。子どもの算数や言語能力の熟練、あるいは科学的な問題解決型学習には、教育課程の主要な部分を占めるに値すると考えられてきたが、一方で音楽や美術、それにその他それに近い教科はせいぜい一時的な関心を向けられるにすぎなかった。音楽の先生は、課外授業やスポーツの練習、劇のリハーサルからのあいまいな要求に直面していた。けれども科学のおかげで、このような音楽にあてられる時間の侵食は歯止めがかかっているようだし、状況が反転してさえいるようだ。

ある科学的研究によれば、音楽は言語の習得に加えて、数学や物理のような、いわゆる「堅い」教科の習得能力を高めてくれるということだ。そしてこのことが、よりバランスのとれた教育課程を復活させる助けになってくれるはずだ。(8)音楽と空間における課題遂行能力についての研究論文で研究者たちが報告するところによると、モーツァルトの音楽をたった10分程度聞くことによって、頭脳は10分から15分の間高められたという。これは音楽が学習に及ぼすプラスの効果に、最近になって多くの関心が集まるきっかけとなった発見である。

音楽と数学の間の親密な関係についての報告は、さかのぼること2、3千年前にまで及んでいる。ピタゴラスは和音と旋律の調和の重要性に気づいていた。モーツァルトの音楽が突然開花したのも、数学と音楽が結びついていることを示している。この音楽の天才は、後に彼に偉大な名声をもたらす職業に対して、最初のころは冷やかかであった。そして幸せで不自由のない子ども時代を送っていたが、どんなものでも習ったことは簡単に、しかも素早く身につけていた。(11)その後モーツァルトの音楽への情熱は突然爆発し、算数の基礎を習ってからは、家の中にわざわざ空いているところがあれば、そのすべてを数字の落書きでうめたのである。彼の音楽への情熱は、彼の数学の理解と緊密に結びついていたのである。

その上、その連関をより明確にするような発見さえも、最近では見つかってきている。研究者たちはその発見を、私たちの精神が組織される仕方についての複雑な理論と結びつけた。(12)本質的には、音楽や数学のような高度に知的活動には、共通の、構造的である、空間的かつ時間的な言語を用いるのであると科学者たちは言っている。それによって子どもも含めて人々は、一見すると無関係ではあるが、この意思疎通が可能つながりによって、互いに結びついている学問分野の枠を超えて学習することができるのである。

音楽と科学に関連する科目や言語学習との間の関係は、実際にはかなり論争の余地がある。それに疑いを投げかける研究もあるのである。いずれにせよ、音楽を演奏したり歌をうたうことには、広範な感覚を用いる。これらを統合し、十分な総合性を作りだすことができるということは、子どもたちに強い印象を与える経験なのであり、これまでに与えられてきた以上の大きな評価を受けるに値するものである。(17)このような学習がコーラスやオーケストラにおいて行われれば、その全体が受ける影響はいつそう大きなものになる。(18)その他のどんな学校活動が、強い共同体精神を培い、言語学習を助け、数学や科学の能力を増し、そして私たちの音楽的遺産に私たちを触れ合わせてくれるだろうか？

## 75 私が語り手になった理由

When a story is told from the heart, it is true communication, natural and straightforward. (1)It becomes living language in which words are inherently bound up with spirit and are more than themselves. The storyteller can convey not only the content of the story and something of herself but can pass on the power of the word to (2)(aspire, conspire, inspire) the listener, (3)in turn, to speak from the heart. Thus, a most ancient ritual is protected – human communication – so we can (4)participate with one another in our world.

It was thirteen years ago that I actually told someone a story – quite by accident, on a chilly April afternoon in New York’s Central Park. I was (5)directing a young people’s theater and poetry group in front of the Hans Christian Andersen statue before a crowd of adults and children. (6)During the \*intermission my students begged me to do something so that they wouldn’t lose the audience. I got up and told a story I had heard from a white-haired librarian in Toronto (7)( ) name I have forgotten.

I began the story nervously; I wasn’t quite sure I could recall it entirely. But suddenly, (8)the story took over. (9)Somehow, by speaking directly to the audience, I brought the story to life – as though I had read it in their eyes. Our mutual attention to the (10)narrative brought the story out of my memory and into vivid detail. Because of the presence of the audience, the space that we were occupying became the invisible stage for the tale. And we were all painting pictures as brilliant as the cool April sunshine. Images and characters (11)emerged, with the powerful flow of the story guiding us to a resolution. (12)When it was over, the audience and I were all stilled, surprised that our hearts and imaginations had been so thoroughly captured. On (13)that day I decided to become a (14)( ).

(注) intermission : 休憩時間

設問

(1)(6)(9)(12)下線部を和訳せよ。

(2)カッコ内の語句のうち正しいものを選び。

(3)(8)下線部と近い意味のものを次から選べ。

(3) 1. 逆戻りをして 2. 引き続いて 3. 今度は 4. かわるがわる

(8) 1. 話が前後した 2. 話の糸が切れた 3. 話がひとり歩きを始めた  
4. 話が現実にとってかわった

(4)下線部の具体的内容に近いものを次から選べ。

1. 心が通いあって世界中の人びとが平和に暮らす。
2. 世界中の人間は互いに理解しあえるものだと感じる。
3. 一人一人が次々に世界に参加する。
4. 各人がその属する社会で互いにその任務を分担する。

(5)(10)下線部と近い意味の語句を次から選べ。

(5) 1. aiming 2. guiding 3. pointing 4. reaching

(10) 1. audience 2. expression 3. speaker 4. story

(7)空所にあてはまる適語を答えよ。

(11)下線部の名詞形を答えよ。

(13)下線部の「その日」に起きた出来事を日本語で説明せよ。

(14)空所にあてはまる適語を本文中より選んで答えよ。

(15)本文の内容と一致するものを次から選べ。

1. By telling a story you can make a living out of your own language if you have a large number of listeners who understand it.
2. When you speak from the heart, your words can sometimes do more than they are expected to do in themselves.
3. Thirteen years ago, on a cold spring day, I talked to my first audience about an accident I had had.
4. During my narration the members of the audience were looking at each other with renewed attention as if they had been changed in appearance as well as in spirit.
5. I was so carried away by the power of the word that I felt as if I were painting brilliant pictures all by myself.

**Further Expressions**

**《駆り立てる》**

The storyteller can **inspire** the listeners to speak from the heart. 【駆り立てる】

The storyteller can **urge** the listeners to speak from the heart.

The storyteller can **stir** the listeners to speak from the heart.

The storyteller can **encourage** the listeners to speak from the heart.

The storyteller can **arouse** the listeners to speak from the heart.

**《注意して聴く》**

The audience **paid attention to** my speech. 【注意する】

The audience were **all ears** to my speech. 【耳を傾けている】

The audience listened to my speech **enthusiastically** [**ardently, earnestly, zealously**].

【熱心に】



## 解答

(1)全文訳参照 (2)inspire (3)3 (4)2 (5)2 (6)全文訳参照 (7)whose (8)3 (9)全文訳参照 (10)4 (11)emergence (12)全文訳参照 (13)若者たちの公演の休憩時間に、初めて観客を前に物語を語り、聴衆も自分も物語の魅力に捕らえられてしまった。(14)storyteller (15)2

## 解説

- (1)in which words are inherently bound up with spirit「言葉が本質的に心と深く結びつけられている(ところの)」 in which=where 以下は words are から than themselves までがひとまとまり。先行詞は living language「生きている言語」 bound up with A「A と密接な関係である」 and are more than themselves「そして(言葉が)それら自身以上のものである」この文の主語は words で、themselves は「言葉自体」のことである。つまり、そこにあっては言葉が言葉以上のものとなる、そういうところの living language「生きた言語」という意味である。
- (2)inspire「奮い立たせる、感激させる」aspire「熱望する」conspire「共謀する」The storyteller...can pass on the power of the word to inspire the listener...to speak from the heart「物語の語り手は、言葉の持つ力を伝えることで聞き手の方が心から話すよう奮い立たせることができるのだ」
- (3)in turn「交替で、順番に」の意味もあるが、ここでは「今度は」の意味。つまり、「今まで話していた語り手にかわって、今度は聞き手が語りだす」ということ。
- (4)so we can participate with one another in our world「だから私たちはみな、お互いにこの世界に参与することができるのである」 one another「お互い」 participate in A「A に参加する、関与する」 コミュニケーションが守られることによって、みなと一緒にこの世界に参与できるようになる。それはつまりこの世界で、コミュニケーションによって人間がお互いを理解しあえるということである。2 が正解。1 は平和に暮らすというのが言いすぎである。3 は一人一人が次々に、という部分が with one another と一致しない。つまり、one after another「次々に」と混同している。4 はその属する社会ではなく、私たちに共通の世界である。

### one another と each other

one another も each other もともに「お互い」という意味の代名詞である。

They helped one another. 彼らはお互いを助けた。(=彼らはお互いに助け合った。)

They love each other. 彼らはお互いを愛している。(=彼らはお互いに愛し合っている。)

代名詞なので、副詞的に用いる場合は to や with を伴う。

They talked to one another about the game. 彼らは試合についてお互いに話し合った。

We communicated with each other by gesture. 私たちはジェスチャーでお互いに会話をした。

2 者間では each other を用いる。3 者間以上ではいずれも用いられるが、one another の方がより堅い表現となる。

- (5)direct「向ける」という意味だがここでは「指揮する、指導する」よって 2.guiding が正解。guide「案内する、指導する」 1.aiming「狙うこと」 I was directing a young people's theater and poetry group「私は若者の演劇と詩のグループの公演を指導していた」
- (6)my students begged me to do something「私の生徒は何かをするよう私に頼んだ」 beg A to 不定詞「～するよう A に頼む、乞う」 so that they wouldn't lose their audience「彼らが観客を失わないように」 so that はここでは「～するように、するために」という目的の意味である。
- (7)I had heard from a white-haired librarian in Toronto「私はトロントのある白髪の図書館員から聞いた」この後に name I have forgotten をつなげて「私がお互いの名前を忘れてしまったところの(白髪の図書館員)」という意味にする。A white-haired librarian を先行詞にとる関係代名詞 whose が正解である。
- (8)the story took over.「物語が自然に出てくるようになった」 take over「引き継ぐ、譲り受ける」この「物語が引き継いだ」というのはつまり、「物語が私から語り手の役割を引き継いだ」ということで、物語自身が勝手に流れ始めた、ということの意味している。3.話がひとり歩きを始めた、が正解。
- (9)Somehow, by speaking directly to the audience「どういうわけか、聴衆に直接物語ることによって」 somehow「 どういうわけか どうにかして」ここでは の意味。I brought the story to life「私は物語を生き返らせたのだ」 bring A to life「A を生き返らせる、A(話などを)生き生きさせる」 as though + 仮定法=as if + 仮定法「あたかも～のように」 仮定法過去は主節の動詞と同じ時制を、仮定法過去完了は主節の動詞よりも過去を表す。I had read it in their eyes「私は聴衆たちの目にそれを感じとった」 read「読み取る、見抜く、感じとる」 it は the story を指す。

- (10)narrative「物語、話」 4.storyが正解。Our mutual attention to the narrative「私たちのお互いの物語に対する注目」
- (11)emerge「現れる」名詞形は emergence「出現」である。emergency は「緊急事態」で意味が違うので注意。Images and characters emerged「像や登場人物たちが現れた」
- (12)When it was over「それが終わったとき」 it は the story を指す。the audience and I were all stilled, surprised「聴衆と私はみなしんとして、驚いた」 stilled は動詞 still「静かにさせる、静止させる」の過去分詞形「静かになった、静止した」である。驚いた内容は that 以下。our hearts and imaginations had been so thoroughly captured「私たちの心と想像力がそんなにも完全に捕らえられてしまった」 had been は was surprised より過去であることを示す。thoroughly「まったく、完全に」 capture「捕らえる」
- (13)that day「その日」とはもちろん筆者が初めて物語の語りを経験した日のことである。筆者が語り手になると決めた理由がはっきりわかるように、その日はどのような状況であったか、筆者は何をしたか、その結果どうであったのか、といったことを本文全体から読み取って短くまとめる。
- (14)その日筆者は物語を語ることの魅力に取りつかれたのであるから、物語の語り手になることを決めたと考えるのが妥当である。第 1 段落の中ほどにある storyteller「語り手」が正解。
- (15)1 は、前半は正しいが後半の if you have a large number of listeners who understand it.「もしあなたにそれを理解できる聴衆がたくさんいるのなら」という部分が誤り。2 は第 1 段落の最初の内容と一致するので正解。3 は about an accident I had had「私が経験した事故について」というのが間違い。4 は聴衆が「新しい注意をもってお互いをみつめた」ということはどこにも書かれていないので間違い。as if they had been changed in appearance as well as in spirit「まるで彼らは精神面だけではなく、外見的にも変えられたかのように」 A as well as B「B だけでなく A も、B はもちろん A も」 5 は I felt as if I were painting brilliant pictures all by myself「私はまばゆく光輝く絵をすべて一人で描いているように感じた」という部分が間違い。聴衆の存在によってそれは可能になった、と第 3 段落で述べられている。

## 全文訳

物語が心から語られるならば、それは自然で率直な真のコミュニケーションである。(1)それは生きた言語になり、そのなかでことばが本質的に心と密接な関係にあり、ことば以上のものとなるのである。物語の語り手は話の内容や自分自身についての何かを伝えるだけでなく、ことばのもつ力を伝えることで、今度は聞き手の方が心から話すように奮い立たせることができるのだ。こうして、人間同士のコミュニケーションという、非常に古くからある儀式が守られている。だから私たちはみな、お互いにこの世界に関与することができるのである。

私が実際に誰かに物語を語り聞かせたのは 13 年前だ。それはまったくの偶然で、ニューヨークのセントラル・パークで、うすら寒い 4 月の午後のことだった。私はハンス=クリスチャン=アンデルセンの像の前で、大人子どもの群集を前に、若者の演劇と詩のグループの公演を指導していた。(6)休憩時間中、学生たちは私に、観客が帰ってしまわないように何かしてくれないかと私に頼んだ。そこで私は立ち上がって、名前は忘れてしまったが、トロントのある白髪の図書館員から聞いた話を語ったのだ。

私はあがり気味に話し始めた。全部思い出せるかどうかでなかつたからだ。けれど突然、物語が自然に出てくるようになった。(9)どういうわけか、聴衆に直接物語ることによって、まるで彼らの目の中にその話を読み取ったかのように、私は物語を生き返らせたのだ。私たちがお互いにその物語に注目することによって、それは私の記憶から引き出され、隅々まで生き生きとしたものになった。聴衆の存在によって、私たちがいた空間は目に見えない物語の舞台になった。そして私たちはみな、そのひんやりとした 4 月の太陽と同じように、まばゆく光り輝く絵を描いていたのだ。物語の映像や登場人物たちが現れ、私たちは力強い物語の流れによって結末へと導かれていった。(12)話し終えたとき、聴衆と私はみなしんとして、私たちの心と想像力がそんなにも完全に捕らえられてしまったことに驚いた。その日、私は語り手になることを決めたのだ。

語句さくいん(1)

番号は問題番号-設問番号またはF(Further Expressions)の順

abandon	同意語	21-11	advantage		54-9
abandon		52-F	advantageous	be advantageous to	54-F
ability	man of abilities	8-F	advice	on one's advice	4-F
ability	同意語	30-5	advise	advise ... that	4-F
able	be able to	1-7	advise	advise ... to	4-14
able	be able to	26-9	advise	advise ... to	4-F
about	be about	67-7	affect	同意語	36-13
about	be about to do	62-16	affect		36-F
about	what ... is all about	55-6	affirmative	同意語	55-14
above	反意語	12-10	afford	afford to	71-F
abreast	keep abreast of	17-F	afford		71-F
absence	in one's absence	62-F	afraid	be afraid of	1-4
absorb	be absorbed in	67-F	afraid	be afraid that	40-F
absorb	同意語	67-15	after	~にちなんで	22-2
abstract	反意語	63-3	after	after all	30-F
absurd	同意語	56-2	after	year after year	43-23
abuse		45-3	against	win against	54-11
access	have access to	41-17	against		15-21
accident	by accident	11-2	against		21-7
accident	by accident	35-F	against		36-F
accidentally		35-F	against		72-14
accidentally		35-F	age	at the age of	32-4
accomplish		64-F	age	for one's age	50-F
according	according to	45-12	agent	同意語	46-11
account	account for	65-F	agree	agree to	21-F
account	on account of	18-F	agree	agree with	21-F
account	on account of	27-F	ahead	ahead of	33-F
account	on account of	36-7	ahead	ahead of	46-13
account	on one's own account	64-F	alike		5-F
account	take ... into account	48-F	all	all ... have to do is	15-F
account	同意語	69-10	all	all but	58-F
accuse	同意語	11-15	all	at all	21-7
accustom	be accustomed to	34-F	all	for all	19-F
accustom	be accustomed to ...ing	34-14	all	not at all	49-3
achieve	名詞形	22-13	all	with all	19-F
achievement	同意語	63-7	allow	allow ... to	7-F
acquaint	acquaint ... with	70-6	allow	allow ... to	11-13
acquaint	acquaint ... with	70-F	allow	allow for	48-F
acquaint	be acquainted with	71-3	allow	make allowance for	48-F
acquire	acquired	36-3	allow	反意語	7-15
acquisition	動詞形	74-7	allow		64-12
act	act on	36-F	almost		42-F
active	反意語	15-14	almost		58-F
adapt	adapt ... to	70-1	alone	leave ... alone	6-11
add	add to	74-F	alone	leave ... alone	67-14
add	反意語	28-13	alone		27-4
addition	in addition	8-18	alter	同意語	26-7
addition	in addition	17-11	alternative	have no alternative but	49-F
addition	in addition	28-10	although		19-2
addition	in addition to	37-17	although		19-F
addition	in addition	74-F	amaze	同意語	28-14
addition	in addition to	74-F	amaze		46-F
adequate	同意語	53-1	ambiguous		62-F
advance	in advance	33-14	amount	a great amount of	14-F
advance	in advance	33-F	amount	amount to	44-11
advantage	take advantage of	12-F	analysis	反意語	74-15
advantage	take advantage of	18-11	ancestor	同意語	20-2
advantage	take advantage of	66-7	anger	in anger	51-F
advantage	to one's advantage	52-11	angry	angry with	51-F
advantage	同意語	30-6			

## 語句さくいん(2)

angry	angry about [at]	51-F	as	as though	75-9
annoy	be annoying to	36-F	ascribe	ascribe ... to	54-F
annoy		36-15	ask	ask ... for	66-F
annoy		36-F	ask	ask ... if	4-12
another	one ... another	10-8	ask	ask for	66-F
another	one ... another	66-7	assume	it is assumed that	42-15
another	one after another	1-1	astonish	同意語	28-14
another		9-12	astonish		46-F
answer	answer for	49-F	astound		46-F
anxiety	同意語	55-7	attain		64-F
anxious	be anxious about	61-F	attend	attend to	18-9
anxious	be anxious for	31-F	attend	attend to	49-F
anxious	be anxious to	31-F	attend	名詞形	7-11
anything	anything but	44-F	attention	pay attention to	35-F
apart	apart from	13-14	attention	pay attention to	75-F
apart	apart from	37-1	attract	be attracted with	67-F
apart	set ... apart	52-14	attract	同意語	67-10
apologize		11-F	attribute	attribute ... to	54-F
apology	make an apology for	11-F	avail	avail oneself of	12-F
apparent		20-F	avail	without avail	16-F
appear	it appears that	37-15	available		43-21
appearance	make appearance	33-8	available		59-19
applicable	applicable to	68-F	available		59-F
apply	apply ... to	68-7	average	on the average	43-13
apply	apply ... to	68-F	avoid	avoid ...ing	40-F
apply	apply for	57-6	aware	be aware of	26-13
apply	apply to	57-11	aware	be aware of	36-4
apply	名詞形	25-13	back	behind one's back	62-F
approach	同意語	36-10	backward		8-16
appropriate	同意語	40-16	badly		43-F
approve	approve of	26-4	base	be based on	25-5
approximation		40-11	bear	bear ... in mind	48-F
apt	be apt to	28-12	bear	同意語	25-10
apt	be apt to	28-F	bear		25-F
architecture	名詞形	14-12	beat		53-F
ardent		75-F	because	because of	27-F
argue		51-F	because	because of	36-7
arouse		75-F	because	not ... because	9-6
artificial	反意語	28-1	become	become of	1-F
as	~するにつれて	6-14	become		56-F
as	~するように	36-14	beforehand	同意語	33-14
as	~として	14-5	beforehand		33-F
as	as ... as	3-F	beg		66-F
as	as ... as	23-6	begin	to begin with	45-F
as	as ...as ~ can	1-15	behalf	on behalf of	52-10
as	as for	47-F	behind	behind the times	17-F
as	as if	14-3	being	for the time being	26-F
as	as if	33-7	believe	believe in	30-14
as	as if	65-4	believe	believe it or not	55-F
as	as it is	42-17	believe	make believe	42-F
as	as they are	10-10	believe	名詞形	22-17
as	as to	53-13	beneficial	be beneficial to	37-F
as	not ... as ~ as	7-2	benefit		37-F
as	not ... as ~ as	7-F	bent	be bent on	67-F
as	not ... so ~ as	7-F	beside	beside oneself	32-F
as	so as to	46-6	besides	besides	74-F
as	twice as ... as	27-13	besides	同意語	28-10
as	倒置	56-12	best	at one's best	63-5
as	~すると	9-11	better	for the better	37-F
as	~であるが	65-12	better	get the better of	53-F

### 語句さくいん(3)

better	get the better of	54-F	care	take care of	2-1
better	get the better of	63-F	care	take care of	2-F
better	had better	1-11	care	with care	6-6
better	had better	1-F	care	with care	35-F
better	make ... better	37-F	careful	be careful of	1-3
better	no better than	45-2	carefully	同意語	6-6
birth	give birth to	10-F	carefully		35-F
blame	blame ... for	56-F	carry	carry out	36-6
blame	blame ... on	54-10	carry	carry out	64-1
blame	blame ... on	54-F	carry	carry out	64-F
blind		22-4	case	in any case	30-F
block	同意語	55-8	case	in case	61-6
bore		25-6	case	in case	61-F
both	both ... and	15-F	case	in case	71-13
both		5-13	case	in case	72-6
bound	be bound to do	48-10	case	the case	64-11
bound	be bound to do	58-11	case	the case with	68-F
bound	bound up with	60-3	catch	catch up with	46-5
bound	bound up with	60-F	catch	catch up with	53-F
bound	bound up with	75-1	cause		10-F
break	break down	15-20	censure		56-F
break	break out	39-F	certain	a certain	44-8
breath	take a breath	32-13	challenge	challenging	58-12
brief	to be brief	43-19	chance	as chance would have it	35-F
brief	to be brief	69-F	chance	by chance	35-F
bring	be brought up	22-F	chance	chance to	35-F
bring	bring about	10-F	chance	chance to do	35-9
bring	bring about	41-14	chance	chances are	29-19
bring	bring about	60-12	chance	同意語	30-16
bring	bring up	21-10	character	同意語	48-4
bring	bring up	23-12	charge	free of charge	29-14
bring	bring up	26-10	charge	free of charge	29-F
brink	on the brink of	24-F	charge	in charge of	30-F
burst	burst into	32-F	charge	without charge	29-F
burst	burst out ...ing	32-F	cheap		41-F
business	mind one's own business	65-F	chemist	名詞形	35-8
business	none of one's business	65-F	choice	have no choice but	49-F
but	but for	20-6	choice	make a choice	15-13
but	but for	20-F	choose	名詞形	22-14
but	but for	43-3	circumstance	under ... circumstance	11-1
but	not ... but	10-10	clear	同意語	28-15
but	not ... but	33-4	clear		20-F
but	not ... but	39-11	close	be close to	36-10
but	not ... but	63-F	close		18-10
but	=except	24-15	collapse		24-F
but	=only	71-10	combat	同意語	52-12
by	by ...ing	43-1	come	come about	39-7
by	year by year	20-14	come	come about	39-F
call	call for	49-14	come	come near	42-F
call	call off	42-6	come	come to do	34-14
call	call on	71-6	come	come to do	45-8
calm	calm down	65-8	come	come up with	8-17
cancel	同意語	42-6	come	come up with	35-F
cannot	cannot ... too	38-6	come	come up with	65-9
cannot	cannot but do	32-F	come	come what may	52-F
capable	be capable of	26-9	comedy	反意語	63-6
capture		75-12	command	a good command of	33-15
care	care about	18-2	company	keep ... company	6-11
care	care about	54-13	company	keep company with	22-10
care	care for	2-F	company	多義語	16-13

## 語句さくいん(4)

comparable	comparable to	60-6	continue	continue ...ing	50-F
compare	形容詞形	15-4	continue	continue to	50-F
compare	形容詞形	68-2	continue	同意語	5-2
comparison	in comparison with	39-4	continuously	同意語	50-13
compel	be compelled to	49-F	continuously		50-F
compensate	同意語	47-10	contrary	to the contrary	54-14
compete	competing	74-4	controversial	同意語	74-13
compete	形容詞形	25-1	convert	同意語	67-9
competence	同意語	70-8	convince	be convinced that	16-5
complain	complain about	56-F	convince	be convinced that	53-F
complain	complain of	3-12	cool	cool off	65-8
complain	名詞形	21-1	cool	同意語	74-10
complex	同意語	40-2	cope	cope with	52-1
complicated	同意語	40-2	correspondence	同意語	72-7
compose	be composed of	9-15	cost	at the cost of	59-F
compose	be composed of	9-F	cost	同意語	63-11
comprehend		8-F	cost	第4文型	16-7
compulsory	反意語	29-1	cost	第4文型	56-15
compulsory		29-F	could	could have	30-21
comrade	同意語	71-1	could	could not	1-7
conceal		62-F	count	count on	45-F
concentrate	concentrate on	40-18	count	重要である	51-9
concept	動詞形	23-13	countless		60-12
concern	be concerned with	35-5	course	a matter of course	16-3
concern	concern oneself with	35-5	course	a matter of course	16-F
concern	so far as ... is concerned	47-F	course	in the course of	60-12
concern	where ... is concerned	58-6	course	of course	20-F
concern		7-3	course	of course	42-15
conclude	名詞形	28-4	criticize	同意語	56-1
concrete	反意語	63-3	criticize		56-F
condemn		56-F	curious	同意語	8-15
condition	on the condition that	63-14	current	同意語	15-17
condition	under ... condition	20-7	cut	cut down	43-F
confident	be confident of	53-F	cut	cut off	41-10
conflict		73-F	damage		27-F
confront	be confronted by [with]	24-F	danger	in danger of	24-F
confront	be confronted with	48-9	dare		42-15
confront	confront ... with	63-10	date	out of date	17-18
confuse	be confused to	19-F	date	out of date	17-F
confuse	同意語	61-15	date	up to date	17-F
confuse		19-4	deal	a good deal of	14-F
confuse		19-F	deal	deal with	7-13
conscious	be conscious of	20-1	deal	deal with	40-5
consider	consider ... to be	17-3	deal	deal with	66-10
consider	considering	73-F	death	to death	12-4
consider	形容詞形	13-6	debt	in debt	42-3
consider	形容詞形	20-8	deceive	同意語	72-11
consider	第5文型	10-8	deceive		72-F
consider	第5文型	16-8	decide	decide on	28-9
considerable		14-F	decide	decide to	4-3
consideration	take ... into consideration	48-F	decide	名詞形	21-6
considering		50-F	decide		4-F
consist	consist of	9-F	declare	名詞形	21-17
consist	consist of	73-2	decline		42-F
constantly		67-F	decrease		43-F
construction		67-6	defeat	be defeated	39-6
consumption	反意語	43-11	defeat		53-F
content	be content with	6-F	defense	反意語	59-5
content	多義語	13-5	definite	同意語	50-11
continually		67-F	degree	by degrees	39-F

## 語句さくいん(5)

degree	to ... degree	25-F	disapprove	disapprove of	56-F
degree	to ... degree	60-8	disclose	同意語	52-2
degree	to some degree	44-F	discord	同意語	72-16
deliberately		72-F	discover	名詞形	41-5
delight	be delighted to	6-F	discriminate	discriminate ... from	28-F
delight	be delighted with	6-13	discriminate	同意語	28-18
delight	be delighted with	6-F	discriminate		28-F
delight	to one's delight	6-F	discriminate		52-F
demand	meet the demand	43-9	discrimination	have discrimination against	52-F
demand	反意語	17-4	discuss		3-7
deny		36-F	discuss		51-F
deny	第4文型	64-13	disdain	同意語	26-3
depend	depend on	43-2	disdain		26-F
depend	depend on [upon]	45-F	disgust	disgusting	34-F
depend	depend on [upon]	60-F	disgusting	同意語	62-1
deprive	deprive ... of	11-11	dismiss	同意語	51-6
deprive	deprive ... of	40-9	disorder	同意語	47-9
deprive		47-F	dispense	dispense with	43-F
derive		37-F	displace	同意語	45-14
deserve	deserve of	46-F	disposal	at one's disposal	59-F
deserve	deserve of	73-15	distant	同意語	15-18
deserve		72-8	distinct	同意語	28-5
desire	have a desire to	31-F	distinction	make distinction	28-18
desire		31-F	distinction	make distinction	28-F
desperate	名詞形	43-12	distinguish	distinguish ... from	28-F
despise		26-3	distinguish	distinguished	54-7
despise		26-F	distinguish	同意語	28-18
despite	despite oneself	32-F	distinguish		28-F
despite	同意語	8-4	disturb	disturbed	37-4
despite	同意語	36-8	disturb	disturbing	34-1
despite		19-F	disturb	同意語	47-9
destine	be destined to do	67-1	disturb		47-F
destiny	同意語	30-1	do	do away with	52-F
destruction	反意語	67-6	do	do for	1-13
determine	be determined on [upon] ...ing	4-F	do	do without	43-F
determine	be determined to	4-F	do	make do with	47-5
determine		4-F	do	強調	22-5
determine		60-F	domestic	同意語	27-17
devoid	devoid of	43-F	doom	be doomed to do	53-6
devote	devote ... to	46-15	doom	同意語	30-1
devote	devote oneself to	67-F	doubt	in doubt	72-10
die	die from	20-10	doubt	throw doubt upon	74-14
die	die of	16-16	doubtful	同意語	69-8
diet		73-1	drown	drown oneself in	67-F
differ	differ from	21-F	dubious	同意語	69-8
differ	differ from	23-14	due	due to	18-F
different	be different from	21-F	due	due to	27-F
different	be different from	36-2	during		7-7
differentiate	同意語	28-18	duty	be off duty	49-8
differentiate		28-F	duty	反意語	11-12
difficulty	have difficulty in ...ing	25-11	duty		30-F
diminish		43-F	dwell	dwell on	64-F
direct	同意語	75-5	each	each other	10-13
disadvantage		5-17	each	each other	39-11
disagree		36-F	each	each time	32-F
disappoint	be disappointed at [with]	14-F	each		7-10
disappoint	be disappointing to	14-F	eager	be eager to	31-F
disappoint	同意語	14-2	eager	be eager to do	6-5
disappoint		14-F	eagerness	eagerness to	24-3
disappoint	同意語	19-10	ear	be all ears	75-F

## 語句さくいん(6)

earnest		75-F	etc.		13-F
earth	on earth	5-F	eternal	反意語	31-5
ease	with ease	66-F	eternal		49-F
easily		66-F	even	even if	10-7
easy	find it easy to	66-F	even	even more	33-F
economic		17-16	even	even though	19-11
edible		60-14	even	比較級の強め	27-12
effect	have an effect on [upon]	36-F	even	五分五分の	42-16
effort	with some effort	38-15	event	in any event	30-F
eliminate		52-F	eventually		30-12
embarrass		19-12	eventually		30-F
embarrass		19-5	everlasting	反意語	31-5
emerge	同意語	46-4	everlasting		49-F
emerge	同意語	75-11	every	every time	32-F
emit	同意語	46-8	every	once every ...	4-16
employee	反意語	16-1	evident	同意語	28-15
employer	反意語	16-1	evident	同意語	56-5
empty	同意語	11-7	evident		20-F
enable	enable ... to	33-1	evolution	動詞形	68-3
enchant	be enchanted with	67-F	exaggeration	it is no exaggeration to say that	20-5
enchant	同意語	67-10	exaggeration	it is no exaggeration to say that	20-F
encounter	同意語	36-12	examination	同意語	47-3
encourage		75-F	examine	同意語	8-6
end	in the end	30-F	examine	同意語	46-12
end	on end	50-13	examine		47-F
end	on end	50-F	example	for example	5-14
end	put an end to	52-F	example	for example	13-10
end	多義語	69-4	example	for example	13-F
end	同意語	72-3	excellent		71-F
endeavor	同意語	54-5	except		10-3
endeavor	endeavor to	73-1	excessive	動詞形	23-2
endure	同意語	25-10	excite		15-11
endure		25-F	execute		64-F
enforce	同意語	45-13	exhaust	同意語	35-4
engage	be engaged in	67-F	exhaust	同意語	61-7
engage	engage in	13-8	expect	expect ... to	7-5
engage	engage in	49-19	expect	expect ... to	11-17
engross	be engrossed in	67-F	expect	expect ... to	21-13
engross	同意語	67-15	expect	expect ... to	36-14
enhance		74-F	expect	名詞形	21-4
enjoy	enjoy ...ing	19-18	expense	at the expense of	57-12
enjoy		17-6	expense	at the expense of	59-F
enlarge		74-F	expense	同意語	63-11
enormous	同意語	47-11	expensive		41-F
enough	have enough of	34-F	expert	同意語	28-2
enough		20-9	explain		65-F
enter		26-6	extensive	反意語	68-11
enthusiastic		75-F	extent	to ... extent	25-4
entreat		66-F	extent	to ... extent	25-F
enviable		54-F	extent	to ... extent	73-10
envious	be envious of	54-F	extent	to some extent	44-F
envy		54-F	external	反意語	67-5
equal	be equal to	71-F	extreme	同意語	47-11
escape	escape from	21-13	eye	keep an eye on	35-F
escape	escape from	40-F	face	be faced by	24-7
essence	in essence	58-F	face	be faced by [with]	24-F
essence	in essence	74-12	face	be faced with	48-9
essence	形容詞形	25-8	face	face to face	25-14
essential		43-F	face	in the face of	24-F
establishment	同意語	49-13	face	直面する	17-8



## 語句さくいん(7)

face	面子	54-6	first	first of all	45-F
fact	as a matter of fact	20-4	first	for the first time	19-1
fact	as a matter of fact	74-F	first	for the first time	37-10
fact	in fact	39-11	first	in the first place	45-F
fact	in fact	74-F	firstly		45-F
fail	fail to	16-14	fit	fit with	44-13
fail	fail to do	53-6	fond	be fond of	1-14
fail	fail to do	54-13	fool	make a fool of	22-F
fail	never fail to	32-F	fool	同意語	72-11
fail	without fail	32-F	for	というのも～だからだ	24-12
fail	名詞形	25-3	for	というのも～だからだ	49-21
fall	fall down	24-F	for	というのも～だからだ	52-14
fall	fall out	73-F	forbear		25-F
fame	come to fame	71-F	forbid	forbid ... to	7-F
fame		71-F	forbid	forbid ... to	27-16
familiar	be familiar to	71-F	force	be forced to	49-F
familiar	be familiar with	71-F	forecast		72-F
famous	be famous for	71-F	forefather	同意語	20-2
famous	名詞形	21-15	foreign	foreign to	65-F
fancy	同意語	42-4	foresee		72-F
far	as far as	23-F	foretell		72-F
far	far from	44-F	former		15-2
far	so far	74-16	fortune		14-F
far	so far as	23-F	foster		22-F
far	thus far	74-16	foundation	財団	49-16
far	比較級の強め	27-12	free	be free from	40-F
fascinate	be fascinated with	67-F	free	for free	29-F
fate	同意語	30-1	frequently		13-F
fatigue	同意語	64-9	friend	make friends with	18-13
fault	find fault with	56-1	friend	make friends with	18-F
fault	find fault with	56-F	frighten	同意語	61-5
fault	同意語	30-18	from	from ... to	8-9
favor	do ... favor	66-7	from	from ... to	13-9
favor	do a favor	32-15	fulfill		64-F
favor	in favor of	21-F	full	be full of	23-8
fear	for fear	61-F	fun	make fun of	22-9
fear	for fear of	40-F	fun	make fun of	22-F
fear	for fear of ...ing	40-10	fun	make fun of	52-6
fear	for fear of ...ing	61-F	fundamentally		58-F
fear		40-F	furious		51-F
feed	be fed up with	34-F	furnish	furnish ... to	37-F
feel	feel for	61-12	furnish	furnish ...with	37-F
feel	feel for	61-F	furniture		32-5
feel	feel like ...ing	14-11	furthermore		74-F
feminine	反意語	48-5	gain	反意語	4-8
few		41-22	gaze	gaze at	50-F
fifty	in one's fifties	17-1	general	in general	17-2
fight		73-F	general	in general	48-F
figure	figure out	8-F	general	in general	63-1
fill	be filled with	8-13	generally	generally speaking	17-2
fill	be filled with	23-8	generally	generally speaking	19-16
fill	fill ... with	71-15	generally	generally speaking	48-1
fill	fill out	38-11	generally	generally speaking	48-F
finally	同意語	6-18	genius		8-F
finally		30-F	geography	同意語	10-2
find	find oneself	24-7	get	get along with	18-F
find		17-5	get	get over	20-3
firm	同意語	66-12	get	get over	62-17
first	at first	8-21	get	get over	63-F
first	at first	74-9	get	get through with	64-F

## 語句さくいん(8)

gift	同意語	30-5	have	使役動詞	15-15
gift		8-F	have	使役動詞	35-2
gift	才能	48-12	head	make head or tail of	8-F
gifted	同意語	8-1	hear	hear ... do	38-5
gifted		8-F	hear	hear from	38-1
gifted	才能のある	71-11	hear	hear of	3-11
give	give in	62-16	hear	I hear	23-F
give	give in to	62-F	heart	learn ... by heart	5-11
give	give off	46-8	heart	learn ... by heart	39-2
give	give up	21-11	heart	learn ... by heart	50-2
give	give up	59-2	help	cannot help ...ing	32-1
given	特定の	63-1	help	cannot help ...ing	32-F
glad	be glad to	6-F	help	cannot help but do	32-1
glance	at first glance	60-10	help	cannot help but do	32-F
glimpse	take glimpses of	18-12	help	help ... do	41-4
go	go ...ing	2-11	help	help ... with	2-10
go	go into	47-F	hesitate	hesitate to	66-F
go	go off	18-3	hinder	hinder ... from ~ing	18-F
go	go on	5-2	hit	hit on	35-7
go	go on ...ing	50-F	hit	hit on [upon]	35-F
go	go so far as to	58-6	hit	hit upon	8-17
go	go through	55-1	hit	hit upon	65-9
go	go through	64-F	hold	hold back	40-12
go	go through	68-4	home	at home	62-7
go	go through with	64-F	home	at home in [with]	70-F
go	it goes without saying that	20-F	home	bring ... home	57-F
good	as good as	58-F	home		4-11
good	be good at	4-1	hope	hope that	31-F
gradually		39-F	hope	hope to	31-F
grant	take ... for granted	16-F	horrify	be horrified at	42-7
grant	take ... for granted	58-13	how	how about	6-F
grant	take it for granted that	50-5	how	how come	5-F
grasp	同意語	36-11	however	しかし	26-2
grow	grow up	22-F	however	=no matter how	26-5
grow	grow up	30-15	however	=no matter how	61-11
grow	名詞形	22-12	huge	同意語	48-8
grow	第2文型	22-7	humble	同意語	71-9
guilty	feel guilty	50-14	hundred	hundreds of	8-8
habit	in the habit of ...ing	34-F	hundred	hundreds of thousands of	56-7
hand	on the other hand	5-8	hurt	be hurt	11-14
hand	on the other hand	6-9	hurt	hurt oneself	29-17
happen	happen to	1-F	idea	have no idea	19-F
happen	happen to	35-F	identify	identify ... with	68-6
happen	happen to	71-4	if	if it were not for	14-14
happen	happen to do	35-9	if	if it were not for	20-6
happen	同意語	36-9	if	if it were not for	20-F
happen		39-F	if	if it were not for	43-3
hard	have a hard time ...ing	33-12	if	if not	49-15
hardly		14-14	if	if only	18-1
hardly		39-2	if	if only	18-F
hardly		58-2	illustrate	同意語	11-5
hardly		58-F	illustrate		65-F
harm	do harm	64-7	imagine	形容詞形	47-2
harm	do harm to	27-F	immediate	同意語	10-5
harm	do more harm than good	27-F	immediately		10-F
harmful		27-1	immense	同意語	47-11
harmful		27-F	immense	同意語	48-8
hate		34-F	impatient	be impatient to	31-F
have	don't have to	1-10	impatient	同意語	53-12
have	don't have to	2-F	implore		66-F

## 語句さくいん(9)

importance	put importance on	5-7	intolerable		25-F
importance	put importance on	5-F	intrinsically		58-F
impossible		1-7	invaluable	反意語	16-6
impossible		18-F	investigate	同意語	46-12
impossible		21-9	investigate		47-F
improve	同意語	40-4	investigation	同意語	47-3
improve	同意語	30-7	involve	be involved with	51-2
improve		37-F	irritate	be irritating to	36-F
inborn	反意語	36-3	irritate		36-F
incessantly		67-F	issue		30-21
incline	be inclined to	28-12	it	it ... for ~ to	6-20
incline	be inclined to	28-F	it	it ... for ~ to	7-16
increase	increase in	12-18	jealous	be jealous of	54-F
increase	on the increase	74-F	join		17-F
increase		74-F	joke	play a joke on	22-F
independent	be independent of	64-F	judge	judging from	73-F
indispensable		43-F	judge	to judge from	73-F
indulge	indulge oneself in	67-F	keen	keen on	67-F
industry	形容詞形	23-5	keep	keep [on] ...ing	50-F
industry	同意語	23-3	keep	keep ... from ~ing	18-F
inevitable	同意語	40-1	keep	keep ... to oneself	62-F
inevitable		40-F	keep	keep ...ing	6-2
infant	同意語	26-11	keep	keep from ...ing	40-F
inferior	反意語	58-5	keep	keep up with	17-F
influence	同意語	36-13	keep	第5文型	9-3
influence		36-F	know	be known to	71-F
inform	inform ... of	70-F	know	know better	73-4
information		10-1	know	know better than to	65-1
inherent	反意語	36-3	knowledge	to the best of one's knowledge	23-F
inherently	同意語	58-9	lack	be lacking in	43-F
inherently		58-F	lack		43-18
initially	同意語	74-9	lack		43-F
inquire		47-F	large	by and large	48-1
inquiry	同意語	47-3	large	by and large	48-F
insist		15-F	last	at last	6-18
inspect		47-F	last	at last	26-8
inspection	同意語	47-3	last	the last thing	29-7
inspire	同意語	75-2	last	同意語	49-9
inspire		64-2	lasting		49-F
inspire		75-F	late		2-3
instance	for instance	13-F	latter		15-3
instance	例	52-11	latter		56-6
instead	instead of	12-12	laugh	laugh at	22-F
instead	instead of	12-F	lead	lead ... to	22-16
instead	instead of	30-9	lead	lead a life	21-18
instead		5-10	lead	lead to	10-F
instead		8-16	lead	lead to	31-4
instead		63-10	lead	lead to	40-7
instill		61-3	lead	lead to	66-4
integrity	同意語	71-8	lead	take the lead	71-2
intensive		68-11	learn	learn to	10-10
intentionally		72-F	learned	反意語	36-3
interest	be interested in	4-2	least	at least	27-20
interest	interest in	12-5	least	at least	62-12
interest		4-2	least	not in the least	44-F
interfere	同意語	65-5	leave	leave ... alone	60-8
internal	反意語	67-5	leave	leave ... to oneself	67-14
interrupt		47-F	leg	pull one's legs	22-F
intervene	同意語	65-5	less	less ... than	66-10
intervene		65-F	less	no less than	33-11

## 語句さくいん(10)

less		41-18	lose	get lost	1-8
lessen		43-F	loss	at a loss	19-F
lest		61-F	lot	a lot of	14-F
let	let ... down	14-2	lot	lots of	14-F
let	let alone	15-10	luxury	同意語	74-1
let	let alone	33-F	mad	mad at	51-F
let	let down	14-F	maintain	同意語	70-11
let		7-F	majority	反意語	17-9
let	同意語	11-13	make	be made up of	9-15
liable	be liable to	28-12	make	be made up of	9-F
liable	be liable to	28-F	make	make ... of	34-2
lie	過去形	38-2	make	make ... of	71-12
lie		15-12	make	make it ... for ~ to	9-4
life	bring ... to life	75-8	make	make out	8-14
light	make light of	26-F	make	make out	8-F
lightly	take lightly of	51-F	make	make up	9-8
like	what ... be like	8-7	make	make up for	47-10
like	what ... like	39-3	make	使役動詞	1-20
likely	be likely to	11-18	make	使役動詞	5-7
likely	be likely to	27-13	make	使役動詞	6-1
likely	be likely to	53-13	make	使役動詞	9-2
linguistics		60-5	make-up	同意語	48-4
lip	on one's lips	62-10	manage	manage to	32-9
little	have little to do with	73-7	manage	manage to	63-F
little	little by little	39-F	manifest	同意語	28-15
little		10-1	manifest		20-F
little		30-12	many	as many as	33-11
little	have little to do with	53-7	many	比較級の強め	7-1
live	live up to	54-13	marked	同意語	48-6
live	live up to	66-F	marriage		3-F
livelihood	earn a livelihood	16-F	marry	be married to	3-F
livelihood	make a livelihood	16-F	marry	get married to	3-F
living	earn a living	16-F	marry		3-1
living	make a living	16-10	marry		3-F
living	make a living	16-F	marvel	同意語	28-14
long	before long	4-4	marvel		46-F
long	it was not long before	67-7	marvelous	同意語	28-14
long	no longer	9-13	marvelous		46-F
long	no longer	17-14	masculine	反意語	48-5
long	not ... any longer	9-13	matter	for that matter	44-2
look	look ... in the face	50-F	matter	no matter	26-5
look	look after	2-1	matter	no matter	33-2
look	look after	2-F	matter	what's the matter with	1-9
look	look after	6-4	matter	重要である	63-1
look	look away	34-7	maximum	同意語	70-11
look	look down on [upon]	26-F	may	may have	22-3
look	look down upon	26-3	may	may well	47-12
look	look into	8-6	may	may well	55-F
look	look into	47-F	mean	mean ... by	44-2
look	look like	5-4	means	by all means	11-F
look	look like	5-F	means	by means of	31-3
look	look on [upon] ... as	9-F	means	by no means	44-9
look	look out	35-F	means	by no means	44-F
look	look out for	35-F	means	not ... by any means	49-3
look	look over	47-F	means	not by any means	44-F
look	look up	33-3	means	同意語	60-4
look	look up to	17-F	means	同意語	69-3
look	look upon ... as	9-10	means	同意語	46-11
look	look upon ... as	17-13	medium	同意語	60-4
lose	be lost in	67-F	medium	同意語	69-3

## 語句さくいん(11)

memorize	同意語	5-11	natural	反意語	28-1
mental	反意語	37-16	natural		55-F
mental	反意語	47-1	nature	by nature	58-9
mention	not to mention	15-10	nature	by nature	58-F
mention	not to mention	33-F	nearly		42-F
merit	同意語	30-6	necessary		2-F
mind	do you mind ...ing	4-10	need	in need	59-13
mind	do you mind if	11-9	need	in need of	43-F
mind	do you mind if	11-F	need	need not	2-6
mind	do you mind one's ...ing	11-F	need	need not	2-F
mind	have ... in mind	48-F	needless	needless to say	20-F
mind	keep ...in mind	48-F	needless	needless to say	34-15
mind	make up one's mind	4-F	needless	needless to say	48-3
mind	make up one's mind to	4-3	negative	反意語	37-16
mind	mind one's ...ing	11-9	neglect		6-7
mind		2-F	neither	neither ... nor	13-13
minority	反意語	17-9	neither	neither ... nor	61-13
misfortune	have the misfortune to do	42-2	nerve	get on one's nerves	36-F
misfortune	形容詞形	12-3	nevertheless		10-12
mock		22-F	nevertheless		27-2
more	all the more	54-11	next	next to	58-F
more	more or less	44-F	nonetheless		59-19
more	more or less	49-20	nor		50-9
more	no more ... than	48-3	normal	反意語	35-17
more	no more ... than	48-F	nose	poke one's nose into	65-F
more	no more than	56-3	not	not at all	11-10
more	no more than	70-3	not	not at all	44-F
more	not any more ... than	48-F	not	not if	39-1
more	nothing more than	31-1	nothing	for nothing	29-F
moreover		74-F	nothing	have nothing to do with	11-4
moreover	同意語	8-18	nothing	have nothing to do with	65-F
moreover	同意語	17-11	nothing	to say nothing of	33-F
moreover	同意語	28-10	nothing	nothing but	49-18
most	at most	10-6	notwithstanding		19-F
most	at most	74-3	nourish		73-1
most	make the most of	12-F	now	every now and then	38-F
most	make the most of	22-15	now	now and again	18-5
mostly		25-F	now	now and again	38-F
much	as much ... as	34-8	now	now and then	38-3
much	have much to do with	60-F	now	now and then	38-F
much	it is not too much to say that	20-5	now	now and then	54-12
much	it is not too much to say that	20-F	now	now that	41-13
much	make much of	5-F	nowadays		26-F
much	much less	53-2	nuisance	同意語	6-15
much	much more	33-F	number	a ... number of	37-12
much	not so much ... as	44-11	number	a number of	20-11
much	not so much ... as	58-2	number	in large numbers	24-3
much	not so much ... as	63-F	numerous	同意語	46-9
much	see much of	14-7	nurture		22-F
much	比較級	2-12	obey	形容詞形	26-16
much		14-F	object	object to	36-F
much	比較級の強め	27-12	oblige	be obliged to	49-F
multitude	a multitude of	46-9	observe	同意語	28-7
must	must not	7-F	observe	同意語	35-12
name	by name	71-F	observe	同意語	60-2
name	name after	22-2	observe	同意語	73-6
name		9-7	observe		35-F
name		57-7	obvious	同意語	28-15
narrative	同意語	75-10	obvious	同意語	56-5
narrowly	narrowly escape	42-F	obvious		20-F

## 語句さくいん(12)

occasion	on occasion	38-F	oppose	be opposed to	36-F
occasion	同意語	30-16	order	in order to	9-8
occasional	同意語	34-16	order	in order to	35-1
occasionally	同意語	18-5	order	in order to	41-F
occasionally	同意語	54-12	order	in order to	46-6
occasionally		38-F	order	多義語	45-1
occupy	同意語	11-6	organize	be organized	65-3
occur	occur to	16-7	original	in the original	33-6
occur	occur to	35-7	otherwise	他の点では	47-8
occur	occur to	35-F	otherwise	もしそうでなければ	49-17
occur	同意語	36-9	otherwise	違うような	68-10
occur	同意語	26-1	otherwise	otherwise than	72-6
occur		39-F	ought	ought to	1-F
odd	odd to say	55-F	ought	ought to	68-12
odd	同意語	50-17	ought	ought to	71-12
odd	同意語	55-2	over	~をしながら	62-14
oddly	oddly enough	55-F	overcome	同意語	20-3
of	it ... of ~ to	42-14	overcome		63-F
of	of + 抽象名詞	1-16	overtake		53-F
of	of + 抽象名詞	16-6	overwhelm	be overwhelmed with	61-10
of	of + 抽象名詞	43-F	owe	owe ... to	42-2
of	of + 抽象名詞	50-10	owe	owe ... to	60-7
of	of ...ing	12-14	owe	owe to	64-13
of	of concern	65-12	owing	owing to	27-F
off	off and on	67-F	owing	owing to	36-7
offense	反意語	59-5	own	on one's own	22-8
often	as often as not	13-F	own	on one's own	64-11
often	more often than not	13-F	pace	keep pace with	17-F
often		13-F	pain	take pains	16-4
old-fashioned		17-F	part	for the most part	25-F
on	on and off	67-F	part	in part	44-F
once	all at once	19-F	part	on one's part	15-16
once	at once	10-5	part	play a part	15-1
once	at once	15-F	part	play a part	20-16
once	once in a while	38-F	part	take part in	17-F
once	接続詞	41-17	partial	反意語	49-4
one	for one thing	45-F	participate	participate in	17-F
oneself	by oneself	22-8	party	take part in	64-13
oneself	by oneself	64-F	party	側	52-10
oneself	in oneself	15-23	pass	pass away	32-3
oneself	in oneself	58-F	pass	pass for	71-F
oneself	in oneself	68-12	passing		74-2
oneself	say to oneself	3-3	passive	反意語	15-14
only	have only to	15-9	patriotic		73-14
only	have only to	15-F	pay	pay off	32-16
only	not only ... but also	3-6	perceive	名詞形	53-10
only	not only ... but also	15-F	perform	同意語	36-6
only	not only ... but also	43-16	perform		64-F
only	only child	14-6	permanent	反意語	31-5
only	only if	51-9	permanent		49-F
only	only if	54-9	permission	give one's permission to	7-F
only	only if	59-19	permission	have one's permission	7-16
only	only to	15-8	permission	have one's permission to	7-F
only	only to	16-F	permit	permit ... to	7-F
only	only when	12-F	perpetual	反意語	31-5
only	only have to	15-F	perpetual		49-F
open	be open to	36-F	perplex	be perplexed	19-F
opinion	in my opinion	15-F	persistent		66-6
opinion	of the opinion that	15-F	persuade	persuade ... to	16-14
opportunity	同意語	30-16	physical	反意語	37-16

語句さくいん(13)

physical	反意語	47-1	pride	take pride in	23-F
pick	pick out	42-11	pride	take pride in	50-3
piece	a piece of	9-9	primary	反意語	70-4
piece	fall ... to pieces	24-7	principle		31-13
piece	fall to pieces	24-F	private	反意語	49-6
pity	feel pity for	61-F	production	反意語	43-11
pity	take pity on	61-F	progress	make progress	20-13
place	in place of	12-12	prohibit	prohibit ... from ~ ing	7-F
place	in place of	12-F	prohibit	prohibit ... from ~ ing	27-15
place	take place	26-1	prohibit	prohibit ... from ~ ing	47-7
place	take place	39-7	prohibit	反意語	7-15
place	take place	39-F	promise	break one's promise	66-F
please	be pleased to	6-F	promise	fulfill one's promise	66-F
please	be pleased with	6-F	promise	keep one's promise	66-F
please		1-17	promising	同意語	71-11
pleasure	take pleasure in	50-3	prompt	be prompted	25-9
plenty	plenty of	14-F	prone	prone to	28-F
point	from the point of view	47-F	pronounce	名詞形	40-17
point	get to the point	51-8	prophecy		72-F
point	make a point of ...ing	34-F	proud	be proud of	1-18
point	on the point of ...ing	62-16	proud	be proud of	23-F
point	point out	15-F	provide	provide ... for	47-14
polite	反意語	66-13	provide	provide ... to	37-F
popular	be popular among [with]	41-F	provide	provide ... with	16-11
popular	名詞形	41-9	provide	provide ... with	37-F
positive	positive about	21-F	provide	provide ... with	47-14
positive	同意語	55-14	provide	provided	39-12
positive	反意語	37-16	provide	provided	64-7
possible	as ... as possible	1-15	provide	同意語	55-3
possible		33-1	public	反意語	49-6
postpone		57-F	purpose	on purpose	11-2
power	beyond one's power	58-F	purpose	on purpose	72-F
practically		58-F	purpose	to no purpose	16-F
practice	put ... into practice	64-F	purpose	with [for] the purpose of ...ing	41-F
practice		41-13	put	put ... into	33-4
predict		72-F	put	put off	57-11
prediction		72-F	put	put off	57-F
prefer	prefer ... to	22-10	put	put on	38-12
prefer	prefer ... to	22-F	put	put up with	25-10
prefer	prefer ...ing rather than	22-F	put	put up with	25-F
preferable	preferable to	22-F	puzzle	同意語	61-15
prejudice	be prejudiced against	52-F	puzzle		19-F
prejudice		52-F	qualify	qualified	33-13
presence	in the presence of	61-12	quality	反意語	15-22
presence		45-7	quantity	反意語	15-22
present	at present	26-F	quarrel		73-F
present	for the present	26-F	queer		73-1
present	present ... to	15-15	question	be out of the question	58-F
pretend	pretend to	19-15	quick	be quick to	11-17
pretend		42-F	raise	同意語	21-10
prevent	prevent ... from ~ ing	18-8	raise		22-F
prevent	prevent ... from ~ ing	18-F	raise	多義語	43-15
prevent	prevent ... from ~ ing	29-5	rarely		58-F
previously		33-F	rate	at any rate	30-F
price	at ... price	41-F	rather	rather than	13-15
price	at the price of	59-F	rather	rather than	47-12
price	同意語	63-11	rather	rather than	63-F
priceless	反意語	16-6	rather	would rather	22-F
pride	pride oneself on	23-F	reach	within the reach of	41-6
pride	take pride in	23-4	reach		44-4

## 語句さくいん(14)

ready	be ready to do	49-21	responsible	be responsible to	30-4
ready	be ready to do	63-14	responsible	be responsible to	30-F
reality	become a reality	3-F	result	as a result	27-14
reality	in reality	25-12	result	as a result	37-8
reality	in reality	42-17	result	as a result	40-19
realize		3-F	result	as a result of	27-F
realize		57-F	result	result from	27-F
reason	for ... reason	7-6	result	result from	40-3
reason	make ... reason	48-11	result	result in	10-F
reason	stand to reason	55-F	result	with the result that	73-11
recall	同意語	57-14	retain	同意語	70-10
recover	recover from	37-6	reveal		52-2
reduce		43-F	reveal		62-F
refer	refer to	13-2	reverse		74-6
refer	refer to	41-20	rid	get rid of	6-17
reflection	on reflection	58-10	rid	get rid of	52-F
refrain	refrain from ...ing	63-10	ridicule		22-F
refuse	refuse to	14-10	ridiculous	同意語	56-2
refuse		42-F	right	多義語	4-16
regard	regard ... as	9-F	right	反意語	4-15
regard	regard ... as	17-14	right	反意語	11-12
regard	regard ... as	47-13	right		56-F
regard	regarding	47-F	right away		10-F
regard	with [in] regard to	47-F	rise	give rise to	10-F
regard	with regard to	68-8	role	play a role	17-15
regularly		67-F	round	put the other way round	44-3
reject		42-F	routine	同意語	55-9
relate	related to	60-F	rude	反意語	66-13
relationship		60-F	rule	as a rule	48-1
relevant	be relevant to	60-F	rule	as a rule	48-F
reluctant	be reluctant to	42-F	rule	as a rule	49-12
reluctantly	反意語	42-10	rule	make it a rule to	34-F
reluctantly		42-F	rumor	rumor has it that	23-F
rely	rely on	45-8	run	in the long run	30-F
rely	rely on [upon]	45-F	run	over the long run	54-13
remember	名詞形	50-8	run	run out of	43-F
remind	remind ... of	31-7	run		16-15
remove		52-F	sacrifice	at the sacrifice of	59-F
replace	replace ... with	12-F	sacrifice	同意語	63-11
reply	reply to	13-12	safety		7-6
reply	同意語	40-14	sake	for the sake of	61-14
reproach		56-F	sake	for the sake of	71-7
reputation		71-F	same	same ... as	17-7
require	be required to	30-2	satisfy	be satisfied with	6-F
require	required	29-F	satisfy	形容詞形	31-11
require	同意語	49-14	save	save ... from ~ ing	29-2
resemblance	have a resemblance to	5-F	say	be said to	23-1
resemble		5-F	say	be said to	23-F
resent	resent ...ing	16-4	say	it is said that	23-1
resolve		4-F	say	it is said that	23-F
respect	in this respect	60-9	say	not to say	49-15
respect	with [in] respect to	47-F	say	they say	23-F
respect		17-F	scarce	同意語	59-10
respectable		14-F	scare	同意語	61-5
respectful		17-F	scorn		26-F
respond	同意語	40-14	search	in search of	15-6
responsibility	take responsibility for	30-10	second	second + 最上級	41-21
responsibility		30-F	second	second thought	23-7
responsible	be responsible for	49-F	second	second thought	50-5
responsible	be responsible for	60-F	second	second thought	57-1



## 語句さくいん(15)

second	second thought	64-3	specialize	specialize in	72-6
second	second to none	71-F	spend	spend ... ~ing	8-21
secondary	反意語	70-4	spend	spend ... on	59-3
secondhand		27-3	spend	spend ... on ~ing	2-4
see	see to it that	35-F	spite	in spite of	8-4
seek	seek to do	48-11	spite	in spite of	19-2
seem	seem to	71-2	spite	in spite of	19-F
sensible		35-13	spite	in spite of oneself	32-F
sensitive		35-13	spoil	同意語	34-13
sentence	同意語	72-15	spoil		57-10
series	同意語	69-1	stand	stand by	21-F
set	set out	66-15	stand	stand for	31-14
set	set up	49-13	stand	stand out from	71-F
set	set up	54-6	stand	stand up for	21-F
sew	過去分詞	32-6	stand	同意語	25-10
shall	shall we	6-F	stand		25-F
share	share ... with	61-9	startle		62-10
sheer	同意語	46-14	state	名詞形	21-16
shelter	同意語	64-8	step	step by step	39-F
ship	同意語	46-2	still	still less	39-2
shock	be shocked	32-11	still	still more	33-F
short	in short	43-19	still	静止した	18-10
short	in short	69-F	still	比較級の強め	27-12
short	run short of	43-F	still	静止した	50-16
short	不足して	56-8	still	静止させる	75-12
shortcoming	同意語	30-18	stimulate	同意語	55-4
should	should have	30-21	stir		75-F
should		1-F	store	in store for	64-10
sight	at first sight	60-10	store	同意語	46-1
sight	at the sight of	38-14	store		50-5
sight	gain sight	22-5	story	to make a long story short	69-F
silent	be silent on	73-10	strange	strange to say	55-F
similar	similar to	5-F	strangely	strangely enough	55-F
simultaneously	同意語	40-15	strength	同意語	30-6
since	~なので	40-18	strike	strike on [upon]	35-F
since	~なので	42-15	strike		35-F
slip	let ... slip	40-18	striking	同意語	48-6
smell		22-5	subject	be subject to	36-F
so	and so on	13-3	subject	同意語	69-11
so	and so on	13-F	submit	submit to	62-F
so	so ... that	69-7	substitute	substitute ... for	12-F
so	so as not to	61-F	subtract	反意語	28-13
so	so as to	41-F	succeed	succeed in ...ing	63-F
so	so V + S	16-2	succeed	名詞形	25-2
so	so V + S	43-7	success	without success	16-F
so	so V + S	69-6	success	同意語	63-7
sociology		60-16	successful		63-F
some	some ... others	68-12	succession	同意語	69-1
something	something + 形容詞	7-12	successive		40-11
sometimes		38-F	such	as such	17-14
somewhat		44-F	such	such ... as	34-9
soon	as soon as	1-21	such	such as	13-F
soon	no sooner ... than	1-21	such	such as	37-13
soon	同意語	4-4	such	such as	44-8
sophisticated	同意語	31-10	sudden	all of a sudden	19-F
sorry	feel sorry for	61-F	suddenly		19-F
sound	sound like	4-5	sue	同意語	11-15
sound	同意語	52-4	suffer	suffer from	43-F
speak	not to speak of	33-F	suggest	suggest to ... that	1-F
speak	speak ill of	22-F	suggest	suggest to ... to	1-F

## 語句さくいん(16)

suit	be suited for	41-7	term	in terms of	55-5
suitable	同意語	40-16	term	on ... term	50-12
suitable		56-F	term	on ... terms with	18-F
sullen	同意語	62-15	term		61-2
sum	a great sum of	14-F	terrific	同意語	28-14
sum	to sum up	69-F	than	関係代名詞	34-4
superior	反意語	58-5	than	関係代名詞	37-13
supplement	同意語	67-13	thank	thanks to	36-7
supply	supply ... to	37-F	that	in that	28-17
supply	supply ... with	37-2	that	so ... that	1-5
supply	supply ... with	37-F	that	so ... that	3-6
supply	同意語	67-13	that	so ... that	15-1
supply	反意語	17-4	that	so that	12-4
support		21-F	that	so that	35-1
sure	be sure of	53-F	that	so that	64-12
sure	be sure to do	28-12	that	such ... that	15-1
sure	make sure	6-12	that	that of	45-2
sure	make sure that	35-F	that	関係代名詞	4-14
sure	to be sure	63-14	that	名詞節を導く接続詞	5-16
surprise	be surprised at	1-19	that	同格の名詞節	12-9
surprise	to one's surprise	47-4	that	名詞節を導く接続詞	14-8
surprise	同意語	28-14	that	関係代名詞	19-7
surprise		5-5	the	the + 形容詞	59-14
surprise		46-F	the	the + 比較級	22-11
surprisingly	surprisingly enough	55-F	the	the + 比較級	36-5
survey	同意語	60-1	the	the + 比較級	47-13
survive		43-6	the	the + 比較級	48-10
survive		63-10	the	the + 比較級	49-12
suspect		62-2	the	the + 比較級	53-4
sympathize		61-F	the	the + 比較級	19-9
sympathy	feel sympathy for	61-F	there	there is no ...ing	58-F
synthesis	反意語	74-15	therefore		60-7
take	take away	52-F	these	these days	26-F
take	take in	72-F	think	think highly of	17-F
take	take it that	15-F	think	think lightly of	58-1
take	take off	38-12	think	think little of	58-1
take	take on	49-F	think	think much of	3-13
take	take over	75-8	think	think of	12-20
talent	同意語	30-5	think	think of ... as	9-10
talent		8-F	think	think of ... as	9-F
talented	同意語	8-1	think	think over	64-F
talented		8-F	this	this or that	39-11
talented		71-11	thoroughly		64-F
talk	talk ... into ~ing	16-14	those		72-14
talk	talk about	51-F	though		19-2
talk	talk over	51-F	though		19-F
taste		22-5	though	挿入節	65-4
tell	tell ... from	28-F	throat	at each other's throat	73-9
tell	tell ... to	1-F	throat	at one's throat	73-F
temper	lose one's temper	51-F	throne	come to the throne	73-3
temporary	反意語	31-5	throw	throw away	36-16
tend	tend to	7-8	time	at times	38-F
tend	tend to	28-12	time	from time to time	38-3
tend	tend to	28-F	time	from time to time	38-F
tendency	have a tendency to	7-8	time	have a good time	19-17
tendency	have a tendency to	28-12	times	times as ... as	43-14
tendency	have a tendency to	28-F	tire	be tired of	1-2
term	come to terms with	47-13	tire	be tired of	34-F
term	in terms of	44-5	tire	be tired of	41-1
term	in terms of	47-F	to	be to	9-1

## 語句さくいん(17)

tolerant	同意語	40-20	use	be used to ...ing	15-19
tolerate	形容詞形	23-10	use	make use of	12-8
tolerate	同意語	25-10	use	make use of	12-F
tolerate		25-F	use	make use of	20-17
too	too ... to	1-5	use	no use ...ing	16-F
top	on top of that	28-10	use	put ... to use	12-F
top	on top of that	74-F	use	put ... to use	15-24
total	反意語	49-4	use	use up	43-F
touch	get in touch with	7-14	useful	同意語	1-16
touch	put ... in touch with	74-18	usual	as is usual with	34-F
touch		61-1	usual	as usual	34-F
tragedy	反意語	63-6	utilize	同意語	20-17
transform	同意語	67-9	utilize		12-F
translate	translate ... into	22-19	utmost	同意語	70-11
tremendous	同意語	47-11	vacant	同意語	11-7
trick	play a trick on	22-F	vague	同意語	62-3
triumph	同意語	63-7	vague		62-F
trivial		58-3	vain	in vain	16-14
trouble	同意語	47-9	vain	in vain	16-F
true	come true	3-4	vainly		16-F
true	come true	3-F	valuable	反意語	16-6
true	come true	12-7	value		5-F
true	true of	68-F	valueless	反意語	16-6
trust	have trust in	45-F	verge	on the verge of	24-F
trust	trust in	30-19	very		16-12
truth	to tell the truth	74-F	very		58-9
turn	in one's turn	31-17	vicious	vicious circle	40-8
turn	in turn	75-3	victory	同意語	63-7
turn	turn down	42-F	view	with a view to ...ing	41-F
turn	turn out	30-17	view	with the [a] view of ...ing	41-F
turn	turn out	72-6	virtue		66-14
turn	turn to	31-9	visualize	同意語	57-13
turn	turn to	45-F	vital	同意語	57-2
turn	turn to	53-3	vital		43-F
turn	turn up	32-10	voluntary	反意語	29-1
unable	be unable to	1-7	want		43-F
unable	be unable to	21-9	waste	waste ... ~ ing	30-21
unbearable		25-F	way	give way to	61-12
underestimate	同意語	58-1	way	give way to	62-F
understand	come to an understanding	46-7	way	in one's own way	61-17
understand	同意語	8-14	way	in the way	30-13
undertake		49-F	way	in the way of	47-F
undo		29-6	way	lose one's way	1-8
unease	同意語	55-7	way	no way	38-17
unfortunate	名詞形	12-3	weakness	同意語	30-18
unless		40-6	wealthy		71-F
unlike		41-2	wear	be worn out	61-7
unlock		38-10	wear	過去分詞	7-9
until	not until	12-6	welfare	同意語	66-3
until	not until	12-6	well	as well	16-12
until	not until	12-F	well	as well as	15-F
until		5-3	well	as well as	20-12
until		12-F	well	well off	42-16
up	be up to	30-4	well	well off	71-F
up	up to	60-F	well	比較級	2-14
up	up to ... to	30-F	well-being	同意語	66-3
up-and-coming	同意語	71-11	what	what about	6-F
upset	同意語	47-9	what	what do you say to ...ing	6-F
urge		75-F	what	what is more	28-10
use	be used to	34-F	what	what is more	73-12

## 語句さくいん(18)

what	what is more	74-F	word	keep one's word	66-F
what	關係代名詞	7-4	work	out of work	38-6
what	關係代名詞	10-8	work	work out	17-18
what	關係代名詞	12-19	world	in the world	5-F
what	關係代名詞	13-1	worth	be worth ...ing	18-13
what	關係代名詞	13-4	worth	be worth ...ing	43-5
what	關係代名詞	21-2	worth	be worth ...ing	46-F
what	關係代名詞	34-2	worth	worth while	46-F
what	關係代名詞	49-21	worth	worth while to	46-15
whatever	whatever the situation	52-13	worthy	be worthy of ...ing	46-F
whatever	名詞節	70-1	would	would like to	11-F
whatever	名詞節	73-15	would		8-3
whenever		32-F	would		19-8
where		24-8	wrong	anything wrong	1-9
whereas		51-12	wrong	do wrong	50-14
whether	whether ... or	15-1	wrong	in the wrong	11-18
whether	名詞節	16-7	yes		4-13
whether	whether ... or not	20-1	yet	しかし	57-8
whether	whether ... or	25-9	yet	しかし	67-3
which	with which to	24-6	yield	yield to	62-F
which	without which	12-20	youth	in one's youth	22-1
which	非制限用法	8-20	zealous		75-F
which	關係代名詞	13-16	過去完了受動態		8-12
whichever		33-2	仮定法過去		9-1
while	for a while	2-13	仮定法過去		11-3
while		6-16	仮定法過去		18-1
while		17-1	仮定法過去		36-1
whoever		38-7	仮定法過去完了		42-12
whole	as a whole	48-F	強調構文		6-4
whole	as a whole	49-21	強調構文		9-14
whole	on the whole	48-1	強調構文		14-3
whole	on the whole	48-F	強調構文		15-24
whose		9-7	強調構文		18-7
why	reason why	9-5	強調構文		19-19
why	why don't we	6-F	強調構文		31-4
why	why don't you	1-F	強調構文		33-9
will	against one's will	42-F	強調構文		38-8
will	will you	4-10	強調構文		50-15
willing	be willing to do	66-7	現在完了受動態		5-12
willingly	反意語	42-10	最上級		2-2
win		22-20	最上級		3-2
wipe	wipe out	41-3	受動態		8-2
wish	I wish	11-3	受動態		19-13
wish	I wish	18-F	第5文型		1-20
wit	at wit's end	19-F	倒置		16-2
with		1-12	倒置		20-6
with		3-9	倒置		26-12
within		32-7	倒置		26-14
without	never ... without ~ing	32-F	倒置		30-8
without	without ...ing	1-6	倒置		34-12
without	without ...ing	13-17	倒置		34-14
without		20-4	倒置		43-7
without		20-F	倒置		45-8
witness	bear witness to	63-5	倒置		48-12
wonder	no wonder	55-F	倒置		50-6
wonder	wonder if	33-5	倒置		57-1
word	a man of one's word	66-F	倒置		66-10
word	as good as one's word	66-F	倒置		67-1
word	break one's word	66-F	倒置		73-4
word	in a word	69-F	比較級		7-2

## 語句さくいん(19)

付帯状況	10-4
付帯状況	15-5
付帯状況	34-14
付帯状況	62-12
付帯状況	69-12
不定詞	15-8
不定詞	24-4
分詞構文	9-11
分詞構文	31-14
分詞構文	32-13

## コラム一覧

1 特殊な語順の冠詞	40 最上級とthe
2 -lyをつけると意味が変わる副詞	42 「It is 形容詞 of 人 to不定詞」型の形容詞
2 不規則な比較級	42 so S Vとso V S
2 比較級・最上級が二つあるもの	44 前置詞のbut
3 自動詞と誤りやすい他動詞	45 仮目的語
3 他動詞と誤りやすい自動詞	47 imagineの派生語
4 ing形をとる動詞	47 「調べる」のいろいろ
4 to不定詞をとる動詞	47 may [might]の慣用表現
4 ing形とto不定詞の両方をとるが意味に差のあるもの	47 特殊な比較級
5 時を表す前置詞の使い分け	48 no more A than Bの用法
6 強調構文	50 過去の習慣
7 比較の強め	51 関係代名詞thatの特徴
7 単数扱いか複数扱いか	53 get + O + 過去分詞
8 wouldの用法	57 動名詞の意味上の主語
9 使役動詞のいろいろ	58 so muchの比較のイディオム
10 語源geo	60 学問のいろいろ
10 as ifとeven if	64 owe A to Bの3つの意味
11 wishと仮定法	66 ifのいろいろ
11 自動詞と他動詞で形が似ているもの	67 時制の一致
11 分離のof	68 時制をひとつさかのぼるhave
12 同格	71 特殊な助動詞
12 関係代名詞の制限用法と非制限用法	71 make A of B
13 contentの用例	73 倒置が起こるとき
14 仮定法のいろいろ	75 one anotherとeach other
14 省略が起こるとき	
15 付帯状況のwith	
15 結果の不定詞	
16 前置詞 + 抽象名詞	
17 「享受する」のenjoy	
18 頻度(パーセンテージは状況によって変化する)	
20 「もしも～がなかったら」の文	
20 enough toの構文	
20 dieと結びつく前置詞	
21 「Aが～するのは(形容詞)だ」の文で、人を主語にとれない形容詞	
21 「Aが～するのは(形容詞)だ」の文で、事柄を主語にとれない形容詞	
22 助動詞の過去形の作り方	
24 動詞 + 人称代名詞 + 副詞	
24 to不定詞の用法	
24 前置詞 + 関係代名詞 + to不定詞	
25 whetherの用法	
26 否定のいろいろ	
26 話し手の確信度	
27 数詞	
27 数の表現	
29 the last + 名詞	
31 分詞構文とは	
33 疑問詞	
33 比較の熟語	
38 知覚動詞のいろいろ	
39 be toのいろいろ	

## タイトル・出題校一覧

レベル		レベル	
1 象の鼻が長い理由	近畿大付高	51 MessageとMetamessage	筑波大
2 家庭における男女の役割	上宮太子高	52 偏見と差別	佐賀大
3 あなたの嫌いなところ	大阪教育大平野高	53 時間の概念	徳島大
4 ふたつの時計	お茶の水女子大付高	54 Self-handicappingとは	東京大
5 北米とアジアの教育の違い	桐朋高	55 模倣から生まれる創造性	西南学院大
6 やっかいなベット	阪南大	56 専門用語と日常語	富山医薬大
7 校則の日米比較	愛知淑徳大	57 手紙の書き方	筑波大
8 天オレオナルド・ダ・ヴィンチ	大阪学院大	58 ジェスチャーを学問する	宇都宮大
9 光と色の関係	名城大	59 トレード・オフの経済学	新潟大
10 コミュニケーションの速度	東京電機大	60 個人あつての社会あり	中央大
11 I'm sorry とExcuse me	中京大	61 死の出会いと子ども	鹿児島大
12 飛行機の歴史	北海道教育大	62 なぞの下宿人	東京大
13 世間話の日英比較	東洋大	63 人生の意味	神戸大
14 「彼」が残してくれたもの	愛知学院大	64 子どもの自立心を養うには	静岡大
15 テレビの功罪	静岡大	65 兄弟姉妹の対抗意識	名古屋大
16 サムの生涯	東京経済大	66 断るということ	大阪女子大
17 高齢者の社会的役割	センター試験	67 少年時代のニュートン	奈良教育大
18 人と動物の距離	日本女子大	68 言語に優劣はない	北海道大
19 異国日本への挑戦	大阪経済大	69 すぐれた読者になるために(前編)	京都工芸繊維大
20 科学と人命	東洋大	70 すぐれた読者になるために(後編)	京都工芸繊維大
21 賃金の男女不平等	共通一次試験	71 少年時代のフランクリン	奈良教育大
22 障害児たちに贈る本	東北学院大	72 あいまいな言葉遣い	東京大
23 日本人は働き過ぎか	中央大	73 歴史から学ぶもの	九州大
24 樹木の効用	専修大	74 音楽と数学の関係	京都大
25 意思を伝える能力	京都女子大	75 私が語り手になった理由	東京大
レベル			
26 男女の役割の変化	名古屋学院大		
27 間接喫煙の害	名古屋学院大		
28 人工知能と人間の脳	松山大		
29 シートベルトの重要性	東京電機大		
30 子どもの成長と親の役割	東海大		
31 文字発達の歴史	共立女子大		
32 祖母の形見	センター試験		
33 同時通訳の仕事	東京家政大		
34 非言語コミュニケーション	成蹊大		
35 麻酔のはじまり	東北学院大		
36 習慣とは何か	東京理科大		
37 動物から受ける恩恵	神戸女子大		
38 見知らぬ訪問者	愛知大		
39 知識から知へ	昭和薬科大		
40 外国語学習の誤り	岡山大		
41 車社会がもたらしたもの	名城大		
42 白石と黒石のトリック	成蹊大		
43 エネルギーの重要性	千葉工業大		
44 知覚とは何か	法政大		
45 法秩序の光と影	武蔵大		
46 植物の成長	東京都立大		
47 脳と夢	工学院大		
48 男女と理性	東北大		
49 民主主義を守るもの	工学院大		
50 記憶と人生	大阪大		

<英語の正道 シリーズ>

英語 B (長文読解) ©TONAMI KK, 2003

初版発行 : 2003年7月1日

編集・発行 : 有限会社 トナミ教材開発

URL: <http://www.tonamikk.com>

Email: [info@tonamikk.com](mailto:info@tonamikk.com)

〒140-0004 東京都品川区南品川 5-11-50-514

TEL: 03-3450-7566

(発行者の許可なく転載・複製することを禁じます)